茨城県教育財団文化財調査報告第462集

筑 西 市

塔ノ内南遺跡

つくば明野北部工業団地(拡張②)造成
整備事業地内埋蔵文化財調査報告書

下　巻

令 和 4 年 3 月

公益財団法人茨城県開発公社
公益財団法人茨城県教育財団

茨城県教育財団文化財調査報告第462集　塔ノ内南遺跡　下巻　公益財団法人茨城県教育財団

茨城県教育財団文化財調査報告第462集

筑西（ちくせい）市

塔ノ内南（とうのうちみなみ）遺跡

つくば明野北部工業団地㈱拡張②造成
整備事業地内埋蔵文化財調査報告書

下　巻

令 和 4 年 3 月

公益財団法人茨城県開発公社
公益財団法人茨城県教育財団

目　　次

－下　巻－

4　鎌倉・室町時代の遺構と遺物 …… 315
(1)　掘立柱建物跡 …… 315
(2)　方形竪穴遺構 …… 326
(3)　井戸跡 …… 329
(4)　堀跡・溝跡 …… 350
(5)　柱穴列 …… 371
(6)　火葬施設 …… 377
(7)　ピット群 …… 382
5　時期不明の遺構と遺物 …… 391
(1)　竪穴建物跡 …… 391
(2)　円形周溝状遺構 …… 406
(3)　土　坑 …… 407
(4)　溝　跡 …… 476
(5)　ピット群 …… 476
6　遺構外出土遺物 …… 481
第４節　総　括 …… 486
写真図版 …… PL 1 ～ PL106
抄　録
付　図

挿 図 目 次

第 315 図　第３号掘立柱建物跡実測図……315
第 316 図　第４号掘立柱建物跡実測図……316
第 317 図　第５号掘立柱建物跡実測図……317
第 318 図　第６号掘立柱建物跡実測図……318
第 319 図　第８号掘立柱建物跡実測図……319
第 320 図　第９号掘立柱建物跡実測図……320
第 321 図　第 10 号掘立柱建物跡実測図……321
第 322 図　第 11 号掘立柱建物跡実測図(1)……322
第 323 図　第 11 号掘立柱建物跡実測図(2)……323
第 324 図　第 12 号掘立柱建物跡実測図……324
第 325 図　第 13 号掘立柱建物跡実測図(1)……324
第 326 図　第 13 号掘立柱建物跡実測図(2)……325
第 327 図　第１号方形竪穴遺構実測図……326
第 328 図　第１号方形竪穴遺構出土遺物実測図……327
第 329 図　第２号方形竪穴遺構実測図……328
第 330 図　第３号方形竪穴遺構実測図……328
第 331 図　第１号井戸跡実測図……329
第 332 図　第２号井戸跡実測図……329
第 333 図　第３号井戸跡実測図……330
第 334 図　第４号井戸跡実測図……330
第 335 図　第５号井戸跡実測図……330
第 336 図　第６号井戸跡実測図……331
第 337 図　第７号井戸跡実測図……331
第 338 図　第８号井戸跡実測図……331
第 339 図　第９号井戸跡実測図……332
第 340 図　第 10 号井戸跡実測図……332
第 341 図　第 10 号井戸跡出土遺物実測図(1)……333
第 342 図　第 10 号井戸跡出土遺物実測図(2)……334
第 343 図　第 11 号井戸跡・出土遺物実測図……335
第 344 図　第 12 号井戸跡実測図……336
第 345 図　第 12 号井戸跡出土遺物実測図……337
第 346 図　第 13 号井戸跡実測図……337
第 347 図　第 14 号井戸跡実測図……338
第 348 図　第 15 号井戸跡実測図……338
第 349 図　第 16 号井戸跡実測図……339
第 350 図　第 17 号井戸跡実測図……339
第 351 図　第 18 号井戸跡実測図……339
第 352 図　第 19 号井戸跡実測図……340
第 353 図　第 20 号井戸跡実測図……340
第 354 図　第 21 号井戸跡実測図……341
第 355 図　第 22 号井戸跡実測図……341
第 356 図　第 23 号井戸跡・出土遺物実測図……342
第 357 図　第 24 号井戸跡実測図……342
第 358 図　第 25 号井戸跡実測図……343
第 359 図　第 26 号井戸跡実測図……343
第 360 図　第 27 号井戸跡実測図……344
第 361 図　第 28 号井戸跡実測図……344
第 362 図　第 29 号井戸跡実測図……344

第 363 図　第 30 号井戸跡実測図……345
第 364 図　第 31 号井戸跡・出土遺物実測図……345
第 365 図　第 31 号井戸跡出土遺物実測図……346
第 366 図　第 32 号井戸跡実測図……346
第 367 図　第 33 号井戸跡実測図……347
第 368 図　第 34 号井戸跡実測図……347
第 369 図　第 53 号井戸跡実測図……347
第 370 図　第 54 号井戸跡・出土遺物実測図……348
第 371 図　第 1 号溝跡実測図……350
第 372 図　第 1 号溝跡出土遺物実測図……351
第 373 図　第 2 号堀跡実測図……352
第 374 図　第 2 号堀跡・出土遺物実測図……353
第 375 図　第 2 号堀跡出土遺物実測図……354
第 376 図　第 3 号堀跡・出土遺物実測図……355
第 377 図　第 5 号堀跡実測図……356
第 378 図　第 5 号堀跡・出土遺物実測図……357
第 379 図　第 6 号堀跡実測図……358
第 380 図　第 6 号堀跡出土遺物実測図(1)……359
第 381 図　第 6 号堀跡出土遺物実測図(2)……360
第 382 図　第 7 号溝跡実測図……360
第 383 図　第 8 号溝跡実測図……361
第 384 図　第 9 号溝跡実測図……361
第 385 図　第 10 号溝跡実測図……362
第 386 図　第 12 号堀跡・出土遺物実測図……362
第 387 図　第 13・14 号溝跡実測図……363
第 388 図　第 15 号溝跡実測図……364
第 389 図　第 15 号溝跡出土遺物実測図(1)……365
第 390 図　第 15 号溝跡出土遺物実測図(2)……366
第 391 図　第 16 号溝跡実測図……366
第 392 図　第 17 号溝跡実測図……367
第 393 図　第 19 号溝跡実測図……367
第 394 図　第 20 号溝跡実測図……367
第 395 図　第 21 号溝跡実測図……368
第 396 図　第 21 号溝跡出土遺物実測図……369
第 397 図　第 22 号溝跡実測図……369
第 398 図　第 23 号溝跡実測図……370
第 399 図　第 1 号柱穴列実測図……371
第 400 図　第 2 号柱穴列実測図……372
第 401 図　第 5 号柱穴列・出土遺物実測図……373
第 402 図　第 6 号柱穴列実測図……374
第 403 図　第 7 号柱穴列実測図……375
第 404 図　第 8 号柱穴列実測図……376
第 405 図　第 1 号火葬施設実測図……377
第 406 図　第 2 号火葬施設実測図……377
第 407 図　第 3 号火葬施設実測図……378
第 408 図　第 4 号火葬施設実測図……379
第 409 図　第 5 号火葬施設実測図……379
第 410 図　第 6 号火葬施設実測図……380
第 411 図　第 7 号火葬施設実測図……380
第 412 図　第 8 号火葬施設実測図……381
第 413 図　第 2 号ピット群出土遺物実測図……382
第 414 図　第 2 ・ 5 号ピット群実測図……383・384
第 415 図　第 5 号ピット群出土遺物実測図……387
第 416 図　第 7 号ピット群実測図……389
第 417 図　第 7 号ピット群出土遺物実測図……390
第 418 図　第 41 号竪穴建物跡実測図……391
第 419 図　第 42 号竪穴建物跡実測図……392
第 420 図　第 43 号竪穴建物跡・出土遺物実測図……393
第 421 図　第 44 号竪穴建物跡・出土遺物実測図……394
第 422 図　第 76 号竪穴建物跡実測図……395
第 423 図　第 83 号竪穴建物跡実測図……396
第 424 図　第 103 号竪穴建物跡・出土遺物実測図……397
第 425 図　第 104 号竪穴建物跡・出土遺物実測図……398
第 426 図　第 105 号竪穴建物跡実測図……399
第 427 図　第 125 号竪穴建物跡実測図……400
第 428 図　第 126 号竪穴建物跡・出土遺物実測図……401
第 429 図　第 129 号竪穴建物跡・出土遺物実測図……402
第 430 図　第 135 号竪穴建物跡実測図……403
第 431 図　第 137 号竪穴建物跡実測図……404
第 432 図　第 139 号竪穴建物跡実測図……405
第 433 図　第 1 号円形周溝状遺構実測図……406
第 434 図　時期不明土坑実測図(1) ……407
第 435 図　時期不明土坑実測図(2) ……408
第 436 図　時期不明土坑実測図(3) ……409
第 437 図　ア）時期不明土坑出土遺物実測図……410
第 438 図　時期不明土坑実測図(4) ……411
第 439 図　時期不明土坑実測図(5) ……412
第 440 図　時期不明土坑実測図(6) ……413
第 441 図　時期不明土坑実測図(7) ……414
第 442 図　時期不明土坑実測図(8) ……415
第 443 図　時期不明土坑実測図(9) ……416
第 444 図　時期不明土坑実測図(10) ……417
第 445 図　時期不明土坑実測図(11)……418
第 446 図　時期不明土坑実測図(12)……419
第 447 図　時期不明土坑実測図(13) ……420
第 448 図　時期不明土坑実測図(14) ……421
第 449 図　時期不明土坑実測図(15) ……422
第 450 図　時期不明土坑実測図(16) ……423
第 451 図　時期不明土坑実測図(17) ……424
第 452 図　時期不明土坑実測図(18) ……425
第 453 図　時期不明土坑実測図(19) ……426
第 454 図　時期不明土坑実測図(20)……427
第 455 図　時期不明土坑実測図(21)……428
第 456 図　時期不明土坑実測図(22)……429
第 457 図　時期不明土坑実測図(23)……430
第 458 図　時期不明土坑実測図(24)……431
第 459 図　時期不明土坑実測図(25)……432
第 460 図　時期不明土坑実測図(26)……433
第 461 図　時期不明土坑実測図(27)……434
第 462 図　時期不明土坑実測図(28)……435
第 463 図　時期不明土坑実測図(29)……436
第 464 図　時期不明土坑実測図(30)……437
第 465 図　時期不明土坑実測図(31)……438
第 466 図　時期不明土坑実測図(32)……439
第 467 図　時期不明土坑実測図(33)……440
第 468 図　時期不明土坑実測図(34)……441
第 469 図　時期不明土坑実測図(35)……442
第 470 図　時期不明土坑実測図(36)……443
第 471 図　時期不明土坑実測図(37)……444
第 472 図　時期不明土坑実測図(38)……445
第 473 図　時期不明土坑実測図(39)……446
第 474 図　時期不明土坑実測図(40)……447
第 475 図　時期不明土坑実測図(41)……448
第 476 図　時期不明土坑実測図(42)……449
第 477 図　時期不明土坑実測図(43)……450
第 478 図　時期不明土坑実測図(44)……451
第 479 図　時期不明土坑実測図(45)……452
第 480 図　時期不明土坑実測図(46)……453
第 481 図　時期不明土坑実測図(47)……454
第 482 図　時期不明土坑実測図(48)……455
第 483 図　時期不明土坑実測図(49)……456
第 484 図　時期不明土坑実測図(50) ……457
第 485 図　時期不明土坑実測図(51)……458
第 486 図　時期不明土坑実測図(52)……459
第 487 図　時期不明土坑実測図(53)……460
第 488 図　時期不明土坑実測図(54)……461
第 489 図　ウ）時期不明土坑・出土遺物実測図 ……462
第 490 図　ウ）時期不明土坑出土遺物実測図 ……463
第 491 図　時期不明溝跡実測図……476
第 492 図　第 1 号ピット群実測図……476

第 493 図　第４号ピット群実測図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・477
第 494 図　第８号ピット群実測図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・478
第 495 図　第９号ピット群実測図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・479
第 496 図　第 10 号ピット群・出土遺物実測図・・・・・・・・・・・・480
第 497 図　遺構外出土遺物実測図(1)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・481
第 498 図　遺構外出土遺物実測図(2)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・482
第 499 図　遺構外出土遺物実測図(3)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・483
第 500 図　遺構外出土遺物実測図(4)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・484
第 501 図　土師器坏における形態・技法の変遷(1)・・・・・・・・・488
第 502 図　土師器坏における形態・技法の変遷(2)・・・・・・・・・489
第 503 図　土師器坏類の消長関係・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・492
第 504 図　出土坏類変遷図(1)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・494
第 505 図　出土坏類変遷図(2)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・495
第 506 図　塔ノ内南遺跡出土手捏・ミニチュア土器・・・497
第 507 図　古墳・奈良時代の井戸跡・・・・・・・・・・・・・・・・・501
第 508 図　塔ノ内南遺跡集落変遷図(1)・・・・・・・・・・・・・・・503
第 509 図　塔ノ内南遺跡集落変遷図(2)・・・・・・・・・・・・・・・504
第 510 図　塔ノ内南遺跡集落変遷図(3)・・・・・・・・・・・・・・・505
第 511 図　方形館跡全体図（縮尺 800 分の１）・・・・・・・・507
第 512 図　方形館跡１期（縮尺 800 分の１）・・・・・・・・・・508
第 513 図　方形館跡２期（縮尺 800 分の１）・・・・・・・・・・509
第 514 図　火葬施設分類図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・511

挿 表 目 次

第 170 表　鎌倉・室町時代掘立柱建物跡一覧・・・・・・・・・・・・・325
第 171 表　第１号方形竪穴遺構出土陶器一覧（第 328 図）　327
第 172 表　第1号方形竪穴遺構出土馬歯一覧（計測値のみ　PL106）・327
第 173 表　鎌倉・室町時代方形竪穴遺構一覧・・・・・・・・・・・・・329
第 174 表　第 10 号井戸跡出土遺物一覧（第 341・342 図）　335
第 175 表　第 11 号井戸跡出土遺物一覧（第 343 図）・・・・・・・336
第 176 表　第 12 号井戸跡出土遺物一覧（第 345 図）・・・・・・・337
第 177 表　第 23 号井戸跡出土遺物一覧（第 356 図）・・・・・・・342
第 178 表　第 31 号井戸跡出土遺物一覧（第 364・365 図）　346
第 179 表　第 54 号井戸跡出土遺物一覧（第 370 図）・・・・・・・348
第 180 表　鎌倉・室町時代井戸跡一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・349
第 181 表　第１号溝跡出土遺物一覧（第 372 図）・・・・・・・・・・351
第 182 表　第２号堀跡出土遺物一覧（第 374・375 図）・・・・・354
第 183 表　第３号堀跡出土遺物一覧（第 376 図）・・・・・・・・・・355
第 184 表　第５号堀跡出土遺物一覧（第 378 図）・・・・・・・・・・358
第 185 表　第６号堀跡出土遺物一覧（第 380・381 図）・・・・・360
第 186 表　第 12 号堀跡出土遺物一覧（第 386 図）・・・・・・・・・363
第 187 表　第 15 号溝跡出土遺物一覧（第 389・390 図）・・・・365
第 188 表　第 21 号溝跡出土遺物一覧（第 396 図）・・・・・・・・・369
第 189 表　鎌倉・室町時代堀跡・溝跡一覧・・・・・・・・・・・・・・・370
第 190 表　第５号柱穴列出土遺物一覧（第 401 図）・・・・・・・・374
第 191 表　鎌倉・室町時代柱穴列一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・376
第 192 表　鎌倉・室町時代火葬施設一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・381
第 193 表　第２号ピット群出土遺物一覧（第 413 図）・・・・・・382
第 194 表　第２号ピット群一覧（第 414 図）・・・・・・・・・・・・・・385
第 195 表　第５号ピット群出土遺物一覧（第 415 図）・・・・・・387
第 196 表　第５号ピット群一覧（第 414 図）・・・・・・・・・・・・・・388
第 197 表　第７号ピット群一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・389
第 198 表　第７号ピット群出土遺物一覧（第 417 図）・・・・・・390
第 199 表　鎌倉・室町時代ピット群一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・390
第 200 表　第 43 号竪穴建物跡出土遺物一覧（第 420 図）・・・393
第 201 表　第 44 号竪穴建物跡出土遺物一覧（第 421 図）・・・395
第 202 表　第 103 号竪穴建物跡出土遺物一覧（第 424 図）・・398
第 203 表　第 104 号竪穴建物跡出土遺物一覧（第 425 図）・・399
第 204 表　第 126 号竪穴建物跡出土遺物一覧（第 428 図）・・402
第 205 表　第 129 号竪穴建物跡出土遺物一覧（第 429 図）・・403
第 206 表　時期不明竪穴建物跡一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・405
第 207 表　第 522 号土坑出土遺物一覧（第 437 図）・・・・・・・・410
第 208 表　第 523 号土坑出土遺物一覧（第 437 図）・・・・・・・・410
第 209 表　第 524 号土坑出土遺物一覧（第 437 図）・・・・・・・・410
第 210 表　第 526 号土坑出土遺物一覧（第 437 図）・・・・411
第 211 表　第 528 号土坑出土遺物一覧（第 437 図）・・・・411
第 212 表　ア）方形竪穴遺構の可能性がある土坑一覧・411
第 213 表　イ）井戸の可能性がある土坑一覧 ・・・・・・・・・414
第 214 表　第３号土坑出土遺物一覧（第 489 図）・・・・・・463
第 215 表　第 21 号土坑出土遺物一覧（第 489 図）・・・・・463
第 216 表　第 27 号土坑出土遺物一覧（第 490 図）・・・・・463
第 217 表　第 31 号土坑出土遺物一覧（第 489 図）・・・・・464
第 218 表　第 37 号土坑出土遺物一覧（第 490 図）・・・・・464
第 219 表　第 48 号土坑出土遺物一覧（第 490 図）・・・・・464
第 220 表　第 67 号土坑出土遺物一覧（第 489 図）・・・・・464
第 221 表　第 71 号土坑出土遺物一覧（第 489 図）・・・・・464
第 222 表　第 82 号土坑出土遺物一覧（第 489 図）・・・・・464
第 223 表　第 112 号土坑出土遺物一覧（第 489 図）・・・・464
第 224 表　第 117 号土坑出土遺物一覧（第 489 図）・・・・464
第 225 表　第 118 号土坑出土遺物一覧（第 489 図）・・・・464
第 226 表　第 182 号土坑出土遺物一覧（第 490 図）・・・・464
第 227 表　第 186 号土坑出土遺物一覧（第 490 図）・・・・465
第 228 表　第 218 号土坑出土遺物一覧（第 490 図）・・・・465
第 229 表　第 229 号土坑出土遺物一覧（第 489 図）・・・・465
第 230 表　第 233 号土坑出土遺物一覧（第 490 図）・・・・465
第 231 表　第 308 号土坑出土遺物一覧（第 489 図）・・・・465
第 232 表　第 437 号土坑出土遺物一覧（第 490 図）・・・・465
第 233 表　第 453 号土坑出土遺物一覧（第 490 図）・・・・465
第 234 表　第 474 号土坑出土遺物一覧（第 490 図）・・・・465
第 235 表　第 481 号土坑出土遺物一覧（第 490 図）・・・・465
第 236 表　第 486 号土坑出土遺物一覧（第 490 図）・・・・465
第 237 表　第 500 号土坑出土遺物一覧（第 490 図）・・・・466
第 238 表　ウ）その他の土坑一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・466
第 239 表　時期不明溝跡一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・476
第 240 表　第１号ピット群一覧（第 492 図）・・・・・・・・・・476
第 241 表　第４号ピット群一覧（第 493 図）・・・・・・・・・・477
第 242 表　第８号ピット群一覧（第 494 図）・・・・・・・・・・477
第 243 表　第９号ピット群一覧（第 495 図）・・・・・・・・・・479
第 244 表　第 10 号ピット群一覧（第 496 図）・・・・・・・・・479
第 245 表　第 10 号ピット群出土遺物一覧（第 496 図）480
第 246 表　時期不明ピット群一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・481
第 247 表　遺構外出土遺物一覧（第 497 ～ 500 図）・・・・484
第 248 表　土師器坏共伴遺構一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・491
第 249 表　塔ノ内南遺跡出土焼成粘土塊一覧・・・・・・・・・498

写真図版目次

PL１　遺跡全景

PL２　遺跡遠景(北西から)　基本層序

PL３　第110号竪穴建物跡 遺物出土状況(1)　第110号竪穴建物跡 遺物出土状況(2)　第110号竪穴建物跡 遺物出土状況(3)　第110号竪穴建物跡 炉　第110号竪穴建物跡　第28号土坑　第139号土坑 遺物出土状況(1)　第139号土坑 遺物出土状況(2)

PL４　第143･382号土坑　第158号土坑　第163号土坑 遺物出土状況　第180号土坑 遺物出土状況　第183号土坑第195号土坑　第251号土坑 遺物出土状況　第382号土坑　第389号土坑

PL５　第393号土坑　第397号土坑　第512号土坑　第513号土坑　第１A号竪穴建物跡 遺物出土状況　第１A号竪穴建物跡第１B号竪穴建物跡　第２号竪穴建物跡 遺物出土状況

PL６　第２号竪穴建物跡 竈 遺物出土状況　第２号竪穴建物跡　第３号竪穴建物跡　第４号竪穴建物跡 竈 遺物出土状況　第４号竪穴建物跡　第５号竪穴建物跡 竈 遺物出土状況　第５号竪穴建物跡　第６号竪穴建物跡

PL７　第７号竪穴建物跡 竈　第７号竪穴建物跡　第８号竪穴建物跡 竈　第８号竪穴建物跡　第９号竪穴建物跡 竈　第９号竪穴建物跡　第10号竪穴建物跡 遺物出土状況(1)　第10号竪穴建物跡 遺物出土状況(2)

PL８　第10号竪穴建物跡 遺物出土状況(3)　第10号竪穴建物跡 竈 遺物出土状況　第10号竪穴建物跡　第11号竪穴建物跡　第12号竪穴建物跡　第13号竪穴建物跡第13号竪穴建物跡 竈 遺物出土状況　第14号竪穴建物跡

PL９　第16号竪穴建物跡 遺物出土状況　第16号竪穴建物　第17号竪穴建物跡　第18号竪穴建物跡　第16号竪穴建物跡 竈　第17号竪穴建物跡 竈　第18号竪穴建物跡 遺物出土状況　第19号竪穴建物跡 竈 遺物出土状況

PL10　第19号竪穴建物跡　第20号竪穴建物跡 遺物出土状況(1)　第20号竪穴建物跡 遺物出土状況(2)　第20号竪穴建物跡 遺物出土状況(3)　第20号竪穴建物跡　第21号竪穴建物跡第22号竪穴建物跡 遺物出土状況(1)　第22号竪穴建物跡 遺物出土状況(2)

PL11　第22号竪穴建物跡 竈 遺物出土状況　第22号竪穴建物跡第23号竪穴建物跡 遺物出土状況　第23号竪穴建物跡 竈 遺物出土状況　第23号竪穴建物跡　第24号竪穴建物跡　第25号竪穴建物跡 遺物出土状況　第27号竪穴建物跡 遺物出土状況

PL12　第27号竪穴建物跡 貯蔵穴遺物出土状況　第28号竪穴建物跡 炉　第28号竪穴建物跡　第29号竪穴建物跡 竈　第29号竪穴建物跡　第30号竪穴建物跡　第32号竪穴建物跡　第33号竪穴建物跡 竈

PL13　第33号竪穴建物跡　第34号竪穴建物跡 竈１　第34号竪穴建物跡 竈１･２ 遺物出土状況　第34号竪穴建物跡　第35号竪穴建物跡 竈　第35号竪穴建物跡　第37号竪穴建物跡　第38号竪穴建物跡 炉

PL14　第38号竪穴建物跡　第39号竪穴建物跡　第39号竪穴建物跡 竈 遺物出土状況　第40号竪穴建物跡 遺物出土状況(1)　第40号竪穴建物跡 遺物出土状況(2)　第40号竪穴建物跡 竈　第40号竪穴建物跡　第45号竪穴建物跡 炉

PL15　第45号竪穴建物跡　第47号竪穴建物跡　第48号竪穴建物跡　第49号竪穴建物跡　第50号竪穴建物跡　第51号竪穴建物跡　第51号竪穴建物跡 竈　第52号竪穴建物跡 遺物出土状況

PL16　第52号竪穴建物跡 竈 遺物出土状況　第52号竪穴建物跡　第53号竪穴建物跡 遺物出土状況　第53号竪穴建物跡 竈 遺物出土状況　第53号竪穴建物跡　竪穴建第54号竪穴建物跡 竈　第54号竪穴建物跡　第55号竪穴建物跡 竈

PL17　第55号竪穴建物跡　第56号竪穴建物跡　第57号竪穴建物跡 竈　第57号竪穴建物跡　第58号竪穴建物跡 竈　第59号竪穴建物跡 竈　第58号竪穴建物跡　第59号竪穴建物跡

PL18　第60号竪穴建物跡　第62号竪穴建物跡 竈 遺物出土状況　第62号竪穴建物跡　第63号竪穴建物跡 竈　第63号竪穴建物跡　第64号竪穴建物跡 竈　第64号竪穴建物跡　第66号竪穴建物跡 竈

PL19　第66号竪穴建物跡　第67号竪穴建物跡　第68号竪穴建物跡　第69号竪穴建物跡 竈　第69号竪穴建物跡　第70号竪穴建物跡 焼土　第70号竪穴建物跡　第71号竪穴建物跡

PL20　第73号竪穴建物跡　第74号竪穴建物跡 遺物出土状況　第74号竪穴建物跡　第75号竪穴建物跡 竈 遺物出土状況　第77号竪穴建物跡 竈　第77号竪穴建物跡　第78号竪穴建物跡 竈 遺物出土状況　第78号竪穴建物跡

PL21　第79号竪穴建物跡　第80号竪穴建物跡 遺物出土状況(1)　第80号竪穴建物跡 遺物出土状況(2)　第80号竪穴建物跡 遺物出土状況(3)　第80号竪穴建物跡 遺物出土状況(4)　第80号竪穴建物跡 遺物出土状況(5)　第80号竪穴建物跡 竈 遺物出土状況　第80号竪穴建物跡

PL22　第81号竪穴建物跡 竈　第81号竪穴建物跡　第82号竪穴建物跡　第84号竪穴建物跡　第85号竪穴建物跡 遺物出土状況(1)　第85号竪穴建物跡 遺物出土状況(2)第85号竪穴建物跡 竈　第85号竪穴建物跡

PL23　第86号竪穴建物跡　第87号竪穴建物跡　第88号竪穴建物跡 竈　第88号建物跡　第90号竪穴建物跡 遺物出土状況　第90号竪穴建物跡 竈 遺物出土状況(1)　第90号竪穴建物跡 竈 遺物出土状況(2)　第91号竪穴建物跡 竈１

PL24　第91号竪穴建物跡 竈２ 遺物出土状況　第91竪穴建物跡　第93号竪穴建物跡　第94号竪穴建物跡 竈　第94号竪穴建物跡　第95号竪穴建物跡 竈 遺物出土状況　第95号竪穴建物跡　第96号竪穴建物跡 遺物出土状況

PL25　第96号竪穴建物跡 貯蔵穴遺物出土状況　第96号竪穴建物跡 竈 遺物出土状況　第96号竪穴建物跡　第97号竪穴建物跡 竈　第97号竪穴建物跡　第98号竪穴建物跡 炉　第98号竪穴建物跡　第100号竪穴建物跡 竈

PL26　第100号竪穴建物跡　第101号竪穴建物跡 竈　第101号竪穴建物跡　第102号竪穴建物跡 竈　第102号竪穴建物跡　第107号竪穴建物跡　第109号竪穴建物跡 遺物出土状況　第109号竪穴建物跡

PL27　第111号竪穴建物跡 遺物出土状況　第111号竪穴建物跡　第113号竪穴建物跡　第114号竪穴建物跡 竈 遺物出土状況　第114号竪穴建物跡　第115号竪穴建物跡 竈１･２ 遺物出土状況　第115号竪穴建物跡 竈２ 遺物出土状況　第115号竪穴建物跡 竈１

PL28　第115号竪穴建物跡　第116号竪穴建物跡　第118号竪穴建物跡掘方　第119号竪穴建物跡 遺物出土状況　第119号竪穴建物跡 竈 遺物出土状況(1)　第119号竪穴建物跡 竈 遺物出土状況(2)　第119号竪穴建物跡　第121号竪穴建物跡　第２号方形竪穴遺構

PL29　第122号竪穴建物跡　第131号竪穴建物跡 竈　第131号竪穴建物跡　132号竪穴建物跡 遺物出土状況(1)　第132号竪穴建物跡 遺物出土状況(2)　第133号竪穴建物跡　第134号竪穴建物跡 炉　第134号竪穴建物跡

PL30　第１号掘立柱建物跡　第２号掘立柱建物跡　第７号掘立柱

建物跡　第７号掘立柱建物跡 掘方　第38号土坑 遺物出土状況　第44号土坑 遺物出土状況　第110号土坑 遺物出土状況　第110号土坑

PL31　第115号土坑 遺物出土状況 (1)　第115号土坑 遺物出土状況 (2)　第115号土坑　第134号土坑　第153号土坑　第157号土坑　第161号土坑 遺物出土状況　第161号土坑

PL32　第162号土坑　第167号土坑 遺物出土状況　第175号土坑 遺物出土状況　第209号土坑 遺物出土状況　第214号土坑 第219号土坑 遺物出土状況　第223号土坑　第282号土坑

PL33　第285号土坑 遺物出土状況　第350号土坑 遺物出土状況 第444号土坑　第475号土坑 遺物出土状況　第483号土坑第487号土坑　第489号土坑　第516～518号土坑 遺物出土状況

PL34　第516号土坑 遺物出土状況　第520号土坑 遺物出土状況 第520号土坑　第521号土坑 遺物出土状況　第35号井戸跡 遺物出土状況　第35号井戸跡　第36号井戸跡 遺物出土状況　第36号井戸跡

PL35　第37号井戸跡　第38号井戸跡 土層断面　第38号井戸跡 第39号井戸跡　第40号井戸跡　第40号井戸跡 断割状況 第41号井戸跡 遺物出土状況　第42号井戸跡 遺物出土状況 (1)

PL36　第42号井戸跡 遺物出土状況 (2)　第42号井戸跡　第42号井戸跡 断割状況　第43号井戸跡 土層断面　第43号井戸跡 第44号井戸跡 遺物出土状況　第44号井戸跡　第44号井戸跡 断割状況

PL37　第45号井戸跡　第46号井戸跡 遺物出土状況　第46号井戸跡　第47号井戸跡　第47号井戸跡 土層断面　第48号井戸跡　第49号井戸跡 土層断面　第49号井戸跡

PL38　第50号井戸跡　第51号井戸跡　第15A号竪穴建物跡 竈 遺物出土状況　第15A号竪穴建物跡　第26号竪穴建物跡 遺物出土状況　第26号竪穴建物跡 竈　第26号竪穴建物跡 第31号竪穴建物跡 竈

PL39　第31号竪穴建物跡　第36号竪穴建物跡 遺物出土状況第36号竪穴建物跡 竈　第36号竪穴建物跡　第46号竪穴建物跡 遺物出土状況　第46号竪穴建物跡 竈　第46号竪穴建物跡 第61号竪穴建物跡 竈

PL40　第61号竪穴建物跡　第112号竪穴建物跡 遺物出土状況 (1) 第112号竪穴建物跡 遺物出土状況 (2)　第112号竪穴建物跡 竈　第112号竪穴建物跡　第128号竪穴建物跡 竈 遺物出土状況　第128号竪穴建物跡 遺物出土状況　第501号土坑

PL41　第52号井戸跡 遺物出土状況 (1)　第52号井戸跡 遺物出土状況 (2)　第52号井戸跡 遺物出土状況 (3)　第52号井戸跡　第３号掘立柱建物跡　第４号掘立柱建物跡　第５号掘立柱建物跡　第６号掘立柱建物跡

PL42　第８号掘立柱建物跡　第９号掘立柱建物跡　第10号掘立柱建物跡　第11号掘立柱建物跡　第12号掘立柱建物跡　第13号掘立柱建物跡　第１号方形竪穴遺構 遺物出土状況　第１号方形竪穴遺構

PL43　第２号方形竪穴遺構　第３号方形竪穴遺構　第１号井戸跡 土層断面　第２号井戸跡　第３号井戸跡　第４号井戸跡第５号井戸跡　第６号井戸跡

PL44　第８号井戸跡　第９・11号井戸跡　第10号井戸跡 遺物出土状況　第12号井戸跡 土層断面　第13号井戸跡 土層断面 第14号井戸跡　第16号井戸跡　第17号井戸跡 土層断面

PL45　第18号井戸跡 土層断面　第20号井戸跡　第23号井戸跡 第24号井戸跡　第25号井戸跡 土層断面　第26号井戸跡 第27号井戸跡　第28号井戸跡

PL46　第29号井戸跡　第30号井戸跡　第31号井戸跡　第32号井戸跡　第33号井戸跡　第34号井戸跡　第54号井戸跡 遺物出土状況　第54号井戸跡

PL47　第２・３号堀跡, 第１・７・９号溝跡(東から)　第５・６・12号堀跡, 第13～15・19～21・23号溝跡(南から)

PL48　第２号堀跡 土層断面 (1)　第２号堀跡 土層断面 (2)　第２号堀跡 土層断面 (3)　第２号堀跡 土層断面 (4)　第２号堀跡 土層断面 (5)　第２号堀跡 遺物出土状況 (1)　第２号堀跡 遺物出土状況 (2)　第３号堀跡 土層断面 (1)

PL49　第３号堀跡 土層断面 (2)　第３号堀跡 土層断面 (3)　第３号堀跡 土層断面 (4)　第３号堀跡 遺物出土状況　第５号堀跡 土層断面 (1)　第５号堀跡 土層断面 (2)　第５号堀跡 土層断面 (3)　第５号堀跡・第105号竪穴建物跡 土層断面

PL50　第６号堀跡 土層断面 (1)　第６号堀跡 土層断面 (2)　第６号堀跡 遺物出土状況 (1)　第６号堀跡 遺物出土状況 (2) 第12号堀跡 土層断面 (1)　第12号堀跡　第12号堀跡 土層断面 (2)　第15号溝跡

PL51　第１号火葬施設　第２・７号火葬施設　第３・８号火葬施設 第４号火葬施設土層断面　第４号火葬施設　第５号火葬施設　第41号竪穴建物跡　第42号竪穴建物跡

PL52　第43号竪穴建物跡　第44号竪穴建物跡　第76号竪穴建物跡 第83号竪穴建物跡　第103号竪穴建物跡　第104号竪穴建物跡　第105号竪穴建物跡　第125号竪穴建物跡

PL53　第126号竪穴建物跡　第129号竪穴建物跡 遺物出土状況 第129号竪穴建物跡　第137号竪穴建物跡　第139号竪穴建物跡　第１号円形周溝状遺構　第103号土坑　第116号土坑 土層断面

PL54　第138号土坑　第145号土坑　第225号土坑　第264号土坑 第361号土坑　第373号土坑　第468号土坑　第470号土坑

PL55　第485号土坑　第523号土坑　第524号土坑　第525号土坑 第526号土坑　第527号土坑　第528号土坑 遺物出土状況第535号土坑

PL56　第80号竪穴建物跡出土遺物　第90号竪穴建物跡出土遺物

PL57　第110・１A号竪穴建物跡出土土器

PL58　第２・４号竪穴建物跡出土土器

PL59　第４～６号竪穴建物跡出土土器

PL60　第６～８号竪穴建物跡出土土器

PL61　第９・10号竪穴建物跡出土土器

PL62　第10～13号竪穴建物跡出土土器

PL63　第13・14・16～18号竪穴建物跡出土土器

PL64　第18～20号竪穴建物跡出土土器

PL65　第21～23号竪穴建物跡出土土器

PL66　第23・25号竪穴建物跡出土土器

PL67　第25・27・30・33・34号竪穴建物跡出土土器

PL68　第34・35号竪穴建物跡出土土器

PL69　第39・40号竪穴建物跡出土土器

PL70　第51～55号竪穴建物跡出土土器

PL71　第53・55・58号竪穴建物跡出土土器

PL72　第58・60・63・66・67号竪穴建物跡出土土器

PL73　第67・69～71・73・74号竪穴建物跡出土土器

PL74　第80号竪穴建物跡出土土器

PL75　第80～82・84・85号竪穴建物跡出土土器

PL76　第85・86号竪穴建物跡出土土器

PL77　第86・87・90号竪穴建物跡出土土器

PL78　第90号竪穴建物跡出土土器

PL79　第90号竪穴建物跡出土土器

PL80　第90・91号竪穴建物跡出土土器

PL81　第91・96号竪穴建物跡出土土器

PL82　第96・97号竪穴建物跡出土土器

PL83　第101・102・109号竪穴建物跡出土土器
PL84　第109・111・114号竪穴建物跡出土土器
PL85　第114・115号竪穴建物跡出土土器
PL86　第115・116号竪穴建物跡出土土器
PL87　第119・131・132号竪穴建物跡出土土器
PL88　第132号竪穴建物跡出土土器, 第６・38・44・110・115号土坑出土土器
PL89　第115・157・161・167号土坑出土土器
PL90　第167・223・285・350・516号土坑出土土器
PL91　第516・520・521号土坑出土土器
PL92　第35・36・40・42号井戸跡出土土器
PL93　第42～45号井戸跡出土土器
PL94　第46・50号井戸跡, 第15A・26号竪穴建物跡出土土器
PL95　第26・31・36・46・61号竪穴建物跡出土土器
PL96　第61・112・128号竪穴建物跡出土土器
PL97　第52・10・31・54号井戸跡出土土器
PL98　第６号堀跡, 第15号溝跡, 第104号竪穴建物跡, 第21号土坑, 第５号ピット群, 遺構外出土土器
PL99　第８・13・27・80・85・95号竪穴建物跡, 第１号溝跡, 遺構外出土土製品
PL100　第１A・10・11・23・40・52・55・110号竪穴建物跡出土石器
PL101　第69・72号竪穴建物跡, 第35・36・40井戸跡, 第115号土坑, 第15号溝跡, 遺構外出土石器・石製品, 第35号竪穴建物跡出土金属製品
PL102　第１A・２・８・56・96号竪穴建物跡, 第28・180・520号土坑, 第41・44号井戸跡, 遺構外出土土器
PL103　第２・５・６・12号堀跡, 第15・21号溝跡, 第５号柱穴列出土土器 第１A・８・11・19・20・81号竪穴建物跡, 第282号土坑, 第７号溝跡, 遺構外出土土製品
PL104　第２・10・13・96・109・110号竪穴建物跡, 遺構外出土石器・石製品　第18・87・102・126号竪穴建物跡, 第218号土坑, 第３号堀跡, 遺構外出土金属製品
PL105　第２・４・５・11・19・33・35・67・112・116号竪穴建物跡, 第27・37・233号土坑出土金属製品
PL106　第１号方形竪穴遺構出土馬歯, 塔ノ内南遺跡出土焼成粘土塊

4　鎌倉・室町時代の遺構と遺物

当時代の遺構は，掘立柱建物跡 10 棟，方形竪穴遺構３棟，井戸跡 36 基，堀跡５条，溝跡 15 条，柱穴列６条，火葬施設８基，ピット群３か所を確認した。当時代の遺構に関しては，遺物が出土しておらず時期決定が難しい遺構が多数あるが，第２・３・５・６・12 号堀跡で構成された方形区画堀と主軸が揃うものや，区画内側に位置するものについては当時代で扱った。

以下，遺構及び遺物について記述する。

(1)　掘立柱建物跡

第３号掘立柱建物跡（第 315 図　PL41）

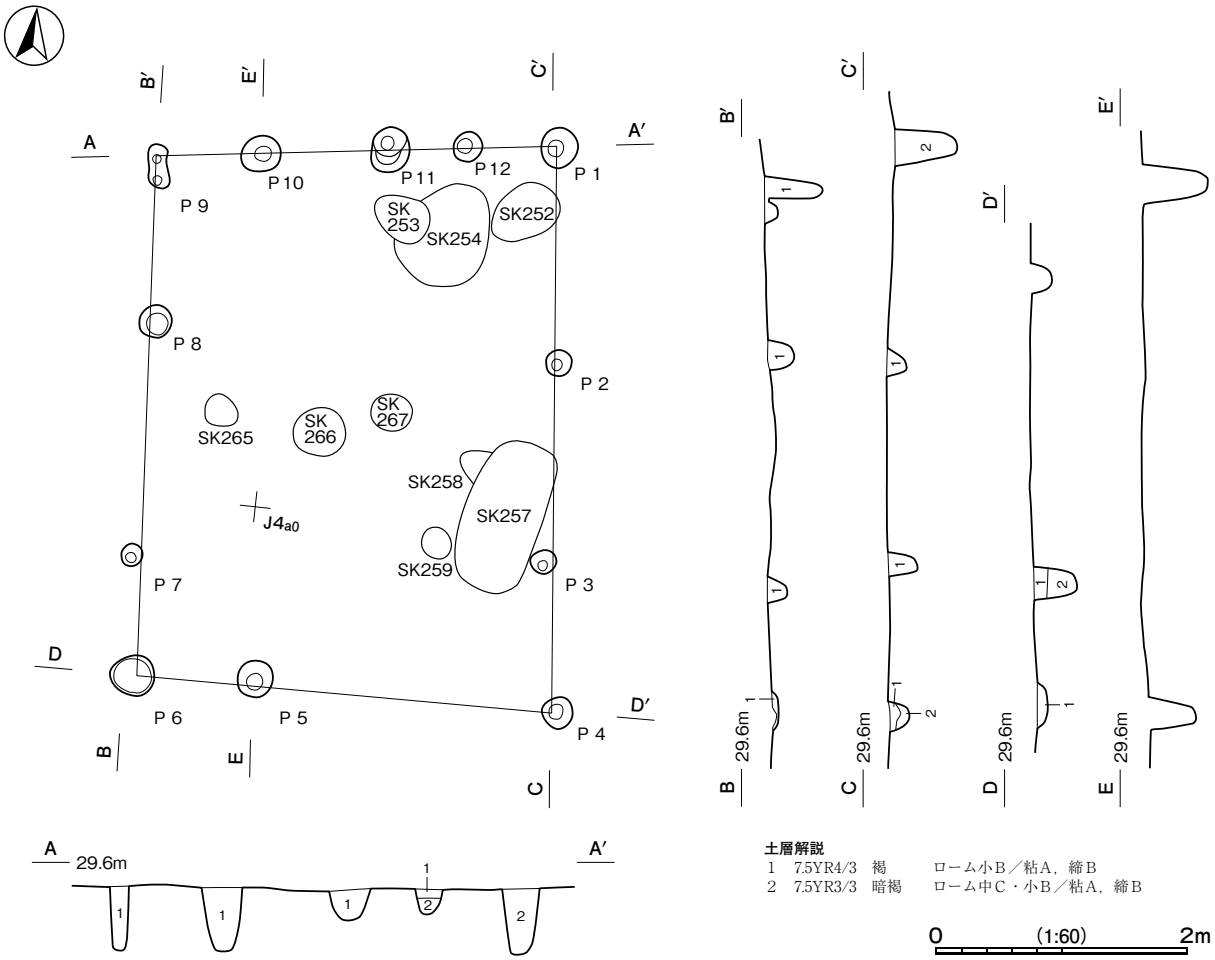
位置　調査区中央部のＩ４j0 区，標高 30 mほどの微高地上に位置している。

重複関係　第 252 ～ 254・257 ～ 259・265 ～ 267 号土坑と重複しているが，新旧関係は不明である。

規模と構造　桁行３間，梁行は北平４間，南平２間の側柱建物跡で，桁行方向Ｎ－６°－Ｗの南北棟である。規模は桁行 4.13 ～ 4.48 m，梁行 3.18 ～ 3.30 mで，面積は 13.92㎡である。柱間寸法は桁行 0.94 ～ 1.86 m，梁行 0.62 ～ 2.38 mで，柱筋は概ね揃っている。

柱穴　12 か所。平面形は円形または楕円形で，長径 18 ～ 38㎝，短径 18 ～ 32㎝である。深さは５～ 52㎝で，掘方の断面形はＵ字形である。柱痕跡は確認できなかった。

所見　時期は，方形区画堀の内側に構築され，堀跡とほぼ同軸であることから，同時代と考えられる。



第 315 図　第３号掘立柱建物跡実測図

第４号掘立柱建物跡（第 316 図　PL41）

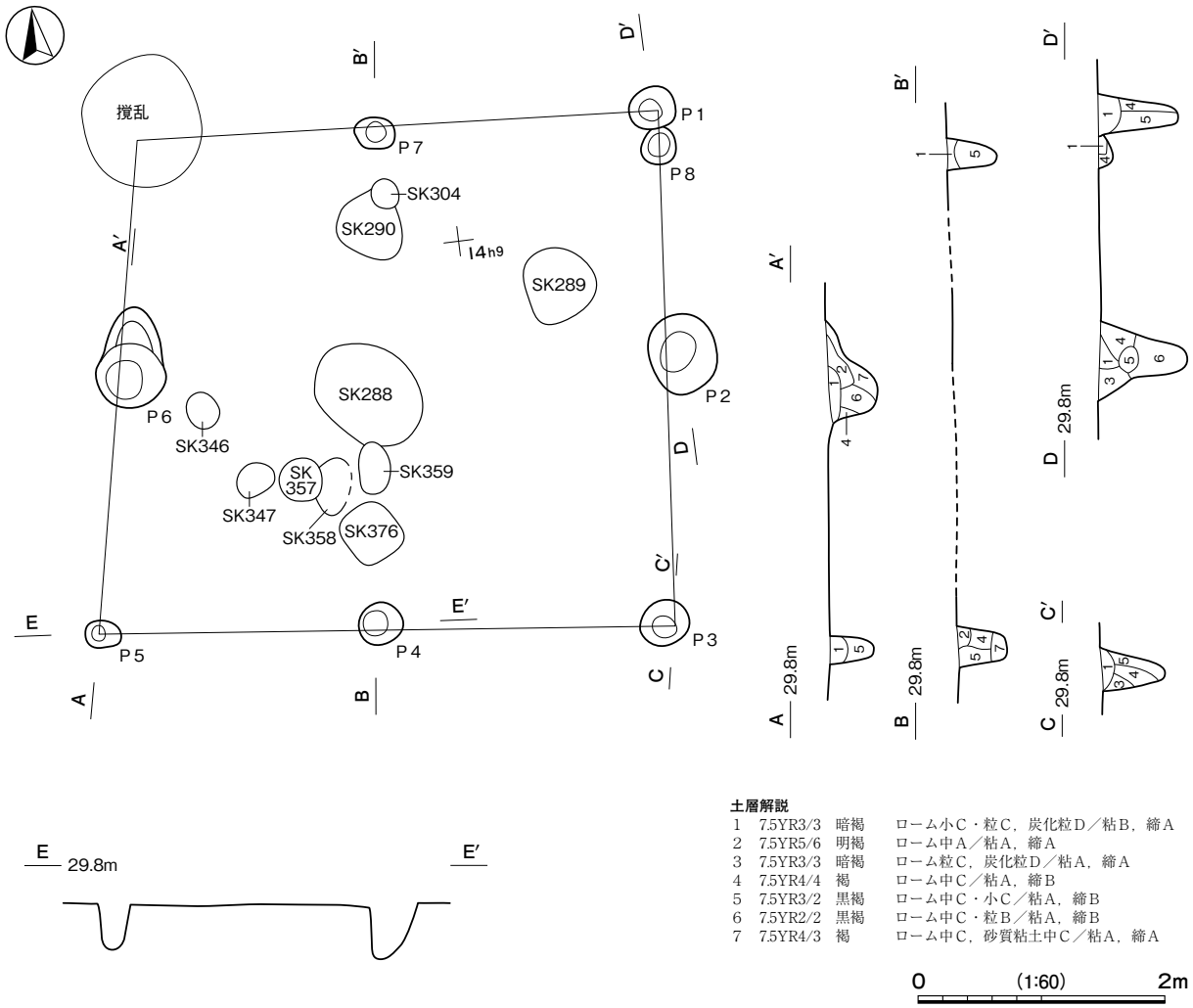
位置　調査区中央部のＩ４h8 区，標高 30 mほどの微高地上に位置している。

重複関係　第 288 ～ 290・304・346・347・357 ～ 359・376 号土坑と重複しているが，新旧関係は不明である。

規模と構造　桁行２間，梁行２間の側柱建物跡で，桁行方向はＮ－ 83°－Ｗである。規模は桁行 4.20 ～ 4.66 m，梁行 4.05 ～ 4.20 mで，面積は 18.19㎡である。柱間寸法は桁行 2.20 ～ 2.40 m，梁行 2.00 ～ 2.15 mで，柱筋は揃っている。

柱穴　８か所。平面形は円形または楕円形で，長径 30 ～ 85㎝，短径 22 ～ 55㎝である。深さは 35 ～ 72㎝で，掘方の断面形はＵ字形である。柱痕跡は確認できなかった。

所見　時期は，方形区画堀の内側に構築され，堀跡とほぼ同軸であることから，同時代と考えられる。



第 316 図　第４号掘立柱建物跡実測図

第５号掘立柱建物跡（第 317 図　PL41）

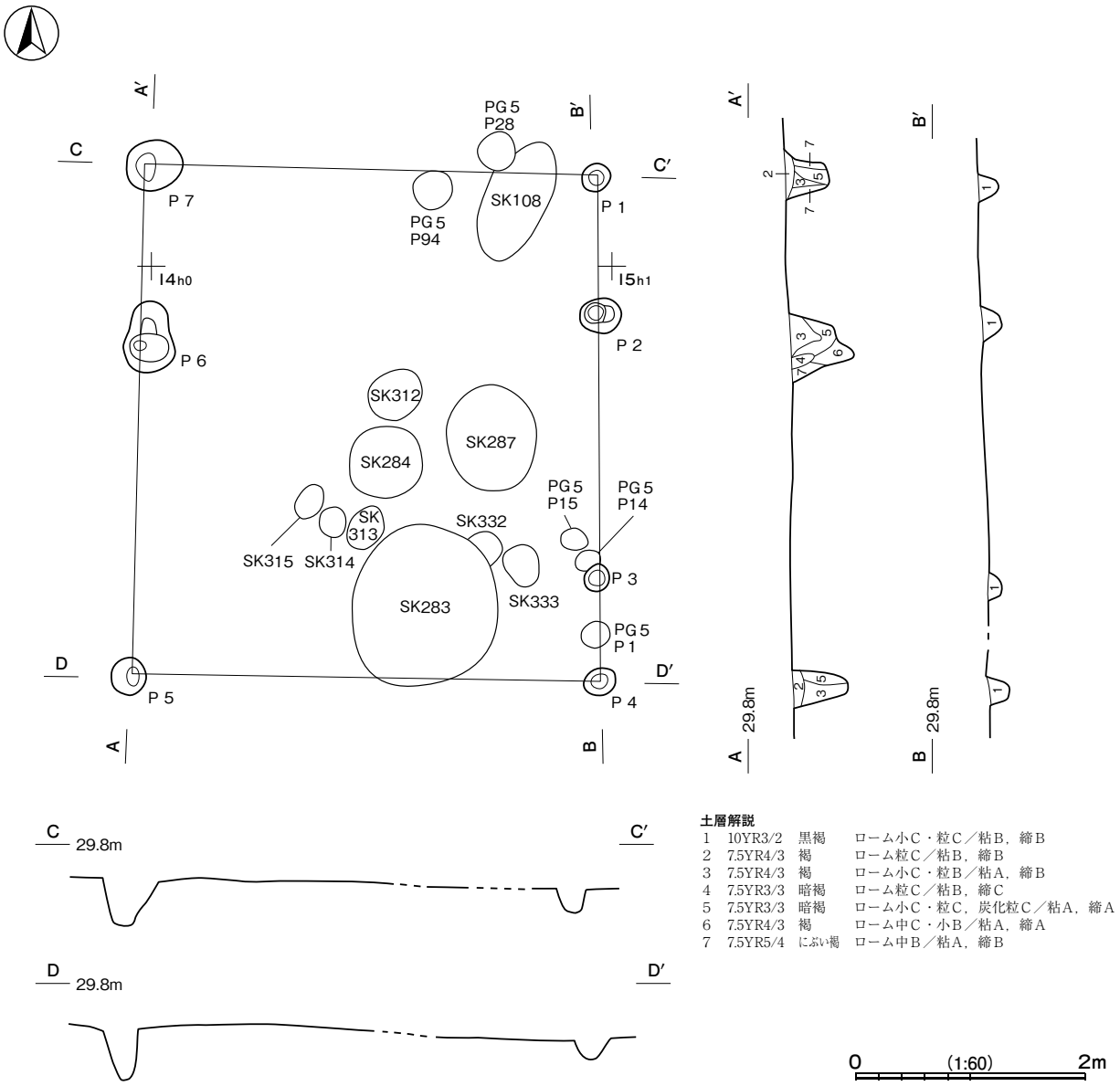
位置　調査区中央部のＩ４h0 区，標高 30 mほどの微高地上に位置している。

重複関係　第 179 号土坑を掘り込んでいる。第 108・283・284・287・312 ～ 315・332・333 号土坑，第５号ピット群と重複しているが，新旧関係は不明である。

規模と構造　桁行３間，梁行１間の側柱建物跡で，桁行方向Ｎ－０°の南北棟である。規模は桁行 4.38 m，梁行 4.05 mで，面積は 17.73㎡である。柱間寸法は桁行 0.93 ～ 2.82 m，梁行 4.05 mで，柱筋は揃っている。

柱穴　７か所。平面形は円形または楕円形で，長径 25 ～ 62㎝，短径 20 ～ 45㎝である。深さは 10 ～ 52㎝で，掘方の断面形はＵ字形である。柱痕跡は確認できなかった。

所見　時期は，方形区画堀の内側に構築され，堀跡とほぼ同軸であることから，同時代と考えられる。



第 317 図　第５号掘立柱建物跡実測図

第６号掘立柱建物跡（第 318 図　PL41）

位置　調査区北西部のＨ４f5 区，標高 30 mほどの微高地上に位置している。

重複関係　第 12 号堀に掘り込まれている。第 240 号土坑と重複しているが，新旧関係は不明である。

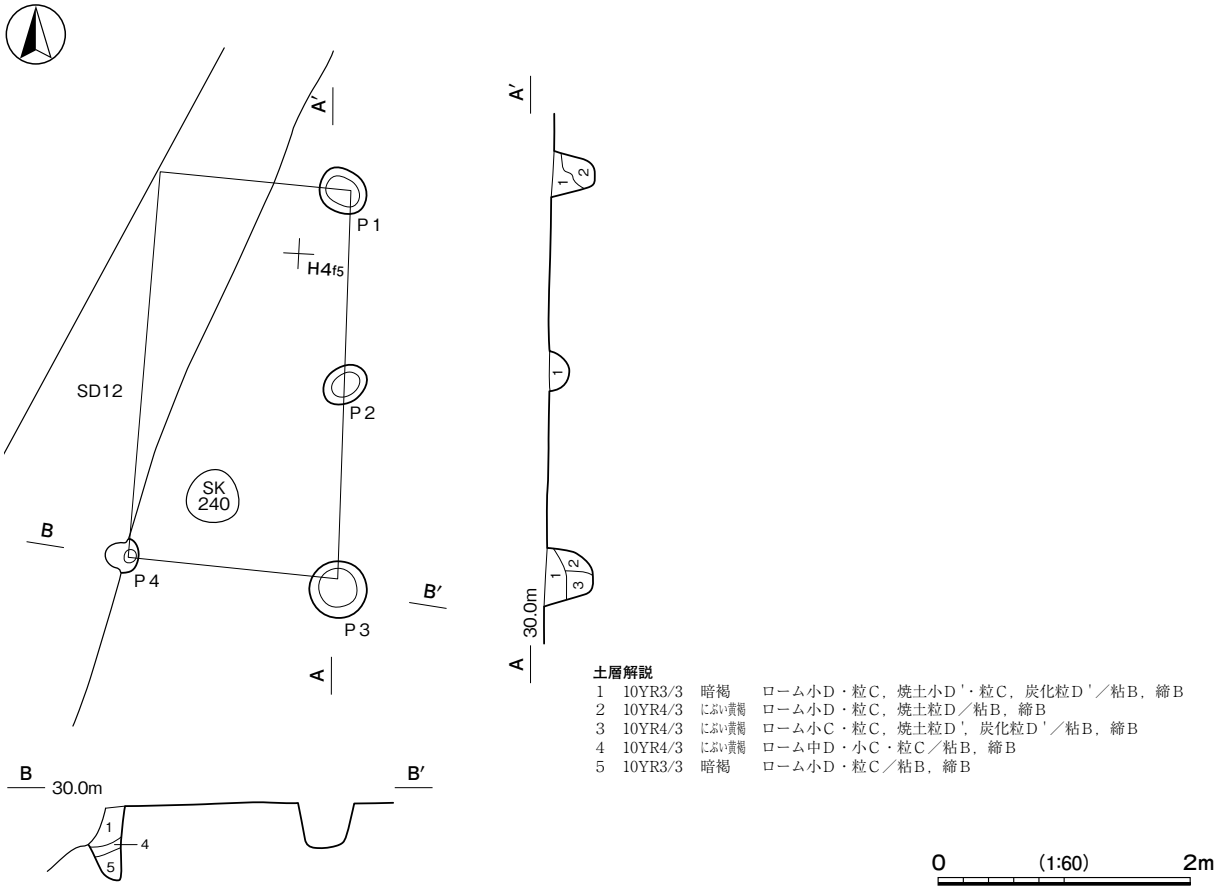
規模と構造　西部が調査区外に延び，第 12 号堀に掘り込まれているため，桁行２間，梁行１間しか確認できなかった。側柱建物跡で，桁行方向Ｎ－４°－Ｅの南北棟と推測される。規模は桁行 3.08 m，梁行 1.70 mで，

面積は 5.19㎡である。柱間寸法は桁行 1.50 ～ 1.60 m，梁行 1.66 mで，柱筋は概ね揃っている。

柱穴　4 か所。平面形は円形または楕円形で，長径 28 ～ 45㎝，短径 25 ～ 42㎝である。深さは 18 ～ 58㎝で，掘方の断面形はＵ字形である。

遺物出土状況　混入した土師器片２点（坏，甕）が出土している。

所見　時期は，方形区画堀の内側に構築され，堀跡とほぼ同軸であることから，同時代と考えられる。



第 318 図　第６号掘立柱建物跡実測図

第８号掘立柱建物跡（第 319 図　PL42）

位置　調査区中央部のＩ５c2 区，標高 30 mほどの微高地上に位置している。

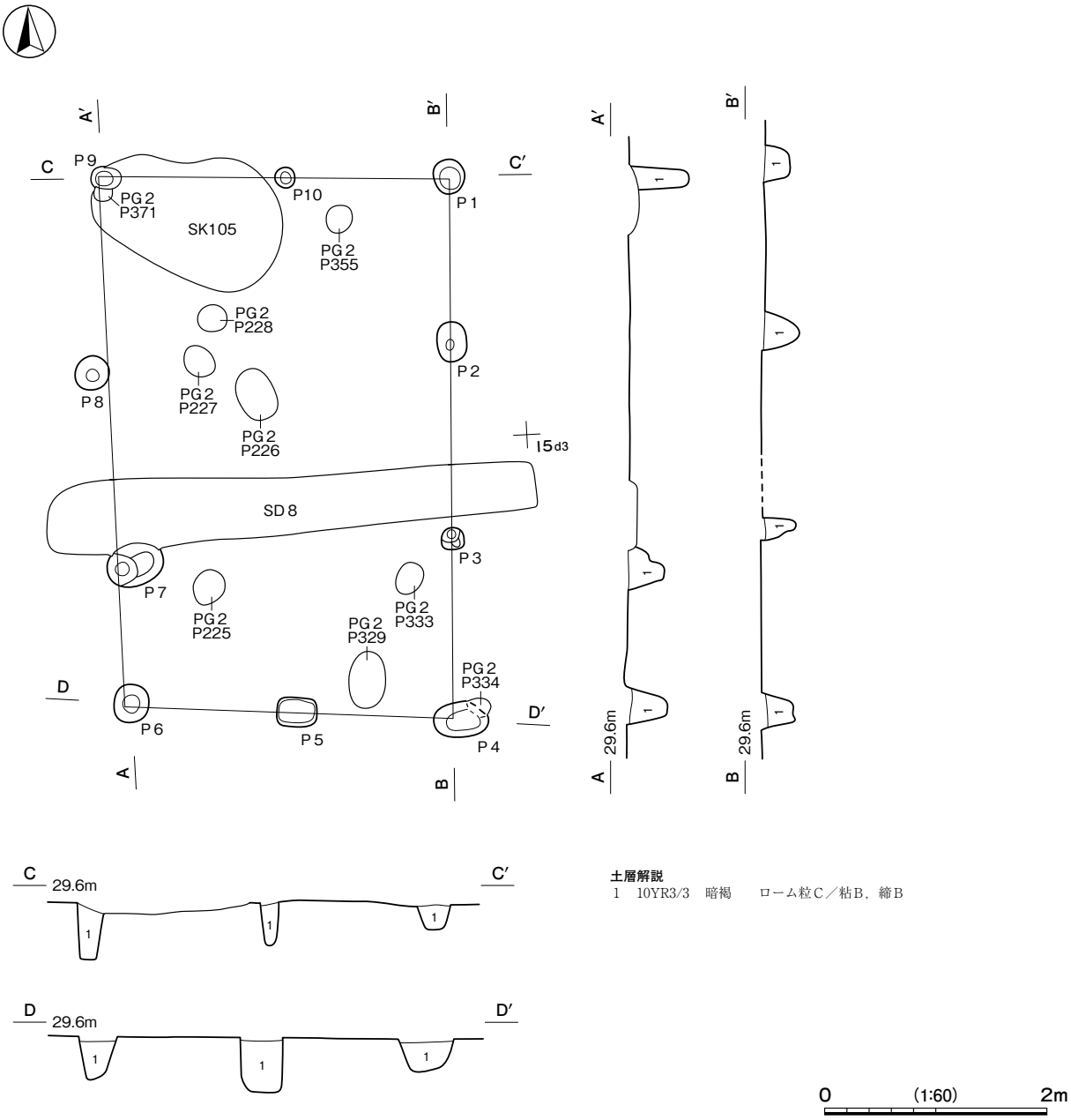
重複関係　第 50 号竪穴建物跡を掘り込み，第 105 号土坑，第８号溝に掘り込まれている。第２号ピット群と重複しているが，新旧関係は不明である。

規模と構造　桁行３間，梁行２間の側柱建物跡で，桁行方向Ｎ－４°－Ｅの南北棟である。規模は桁行 4.85 m，梁行 3.18 mで，面積は 15.43㎡である。柱間寸法は桁行 1.25 ～ 1.70 m，梁行 1.55 ～ 1.70 mで，柱筋は概ね揃っている。

柱穴　10 か所。平面形は円形または楕円形で，長径 20 ～ 52㎝，短径 18 ～ 38㎝である。深さは 22 ～ 48㎝で，掘方の断面形はＵ字形である。柱痕跡は確認できなかった。

遺物出土状況　混入した土師器片１点（甕）が出土している。

所見　時期は，方形区画堀の内側に構築され，堀跡とほぼ同軸であることから，同時代と考えられる。



第319図　第８号掘立柱建物跡実測図

第９号掘立柱建物跡（第320図　PL42）

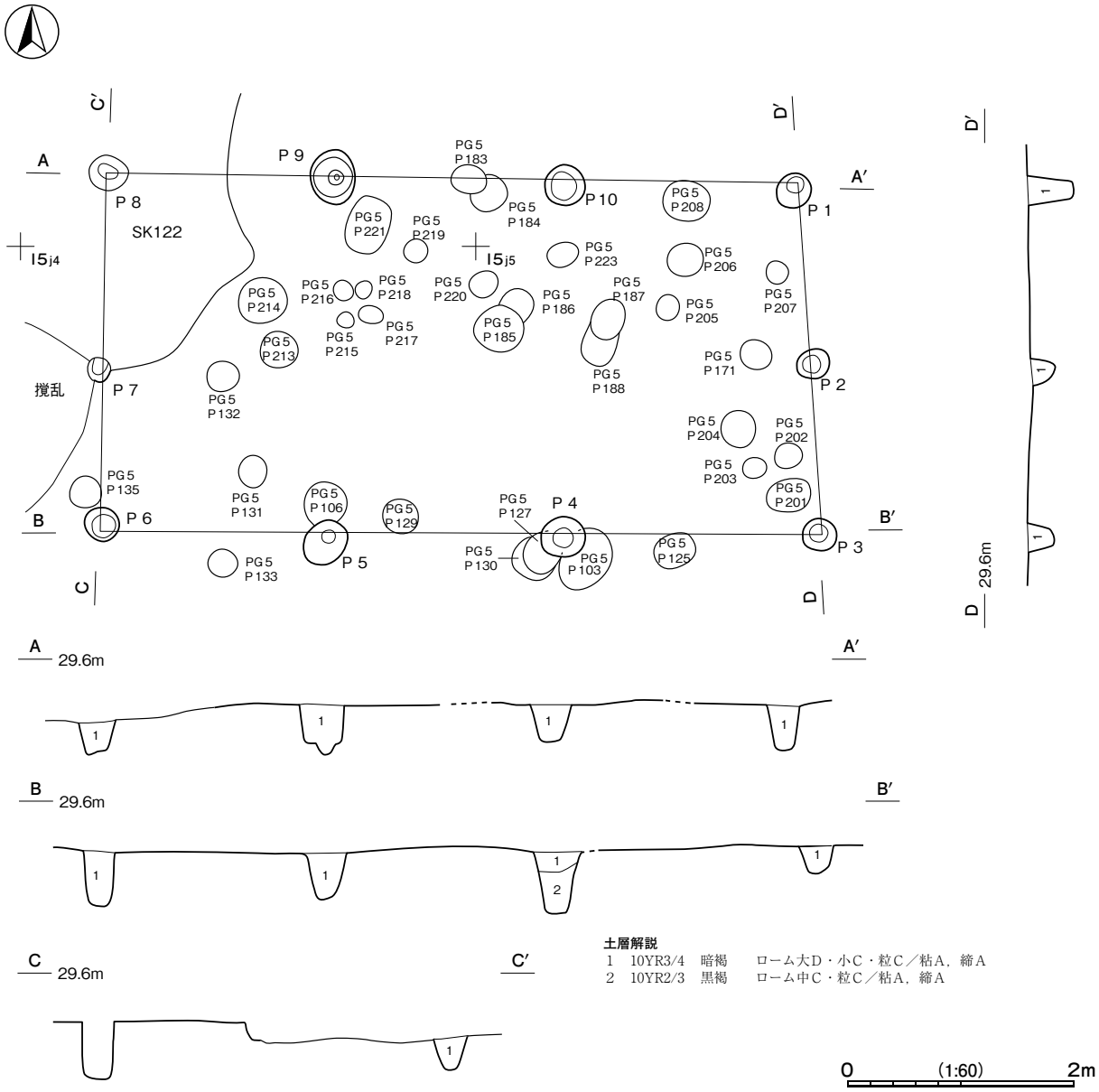
位置　調査区中央部のⅠ５j4区，標高29ｍほどの微高地上に位置している。

重複関係　第122号土坑に掘り込まれている。第５号ピット群と重複しているが，新旧関係は不明である。

規模と構造　桁行３間，梁行２間の側柱建物跡で，桁行方向N－90°の東西棟である。規模は桁行6.05～6.31ｍ，梁行3.08～3.15ｍで，面積は19.98㎡である。柱間寸法は桁行2.00～2.30ｍ，梁行1.45～1.60ｍで，柱筋は揃っている。

柱穴　10か所。平面形は円形または楕円形で，長径23～50㎝，短径20～38㎝である。深さは24～50㎝で，掘方の断面形はU字形である。柱痕跡は確認できなかった。

所見　時期は，方形区画堀の内側に構築され，堀跡とほぼ同軸であることから，同時代と考えられる。



第 320 図　第９号掘立柱建物跡実測図

第 10 号掘立柱建物跡（第 321 図　PL42）

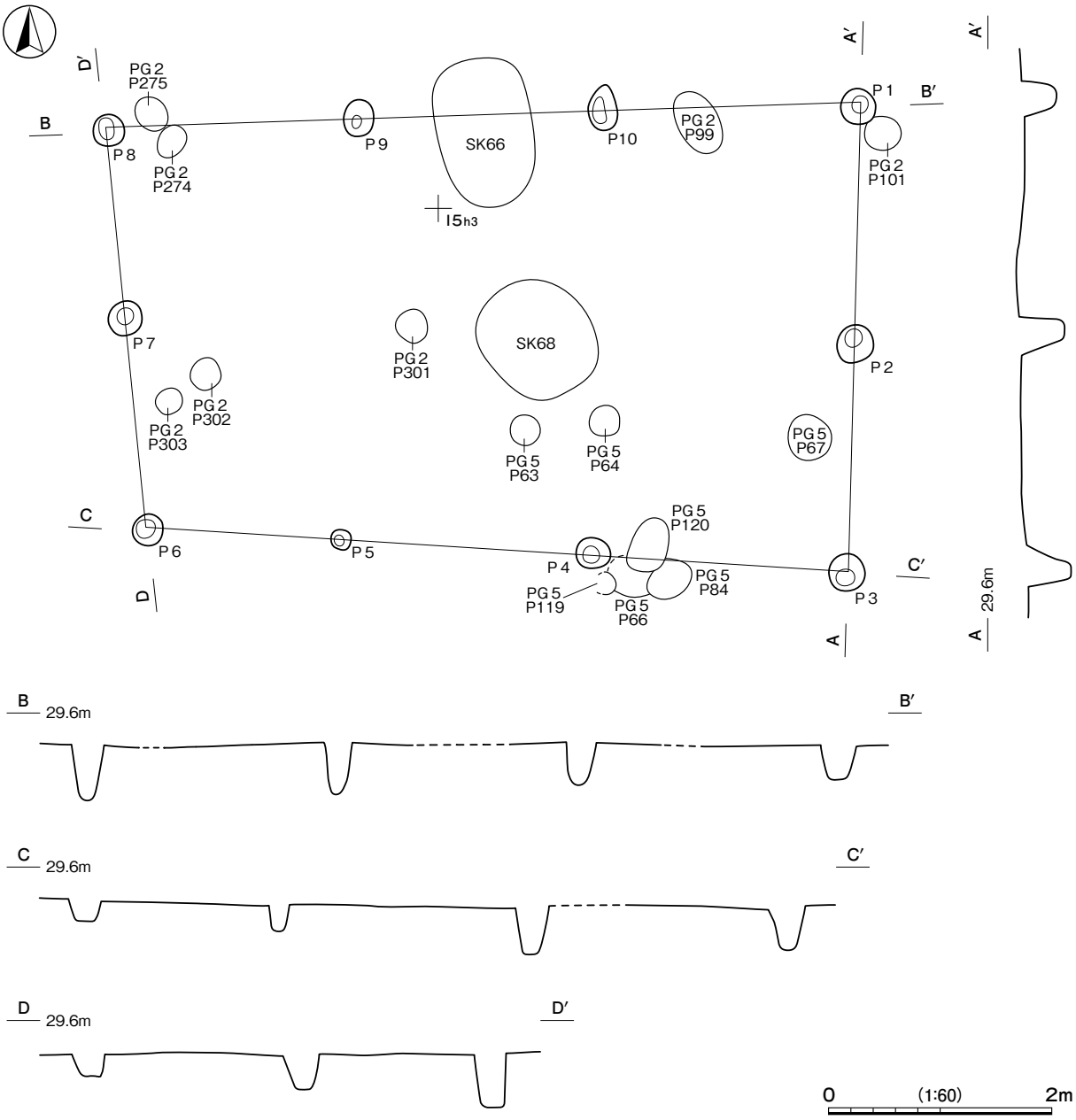
位置　調査区中央部のＩ５h3 区，標高 30 mほどの微高地上に位置している。

重複関係　第 123 号土坑，第 13 号溝跡を掘り込んでいる。第 66・68 号土坑，第２・５号ピット群と重複しているが，新旧関係は不明である。

規模と構造　桁行３間，梁行２間の側柱建物跡で，桁行方向Ｎ－ 90°の東西棟である。規模は桁行 6.31 ～ 6.75 m，梁行 3.60 ～ 4.20 mで，面積は 25.36㎡である。柱間寸法は桁行 1.74 ～ 2.32 m，梁行 1.70 ～ 2.10 mで，柱筋は揃っている。

柱穴　10 か所。平面形は円形または楕円形で，長径 18 ～ 38㎝，短径 18 ～ 32㎝である。深さは 20 ～ 50㎝で，掘方の断面形はＵ字形である。柱痕跡は確認できなかった。

所見　時期は，方形区画堀の内側に構築され，堀跡とほぼ同軸であることから，同時代と考えられる。



第 321 図　第 10 号掘立柱建物跡実測図

第 11 号掘立柱建物跡（第 322・323 図　PL42）

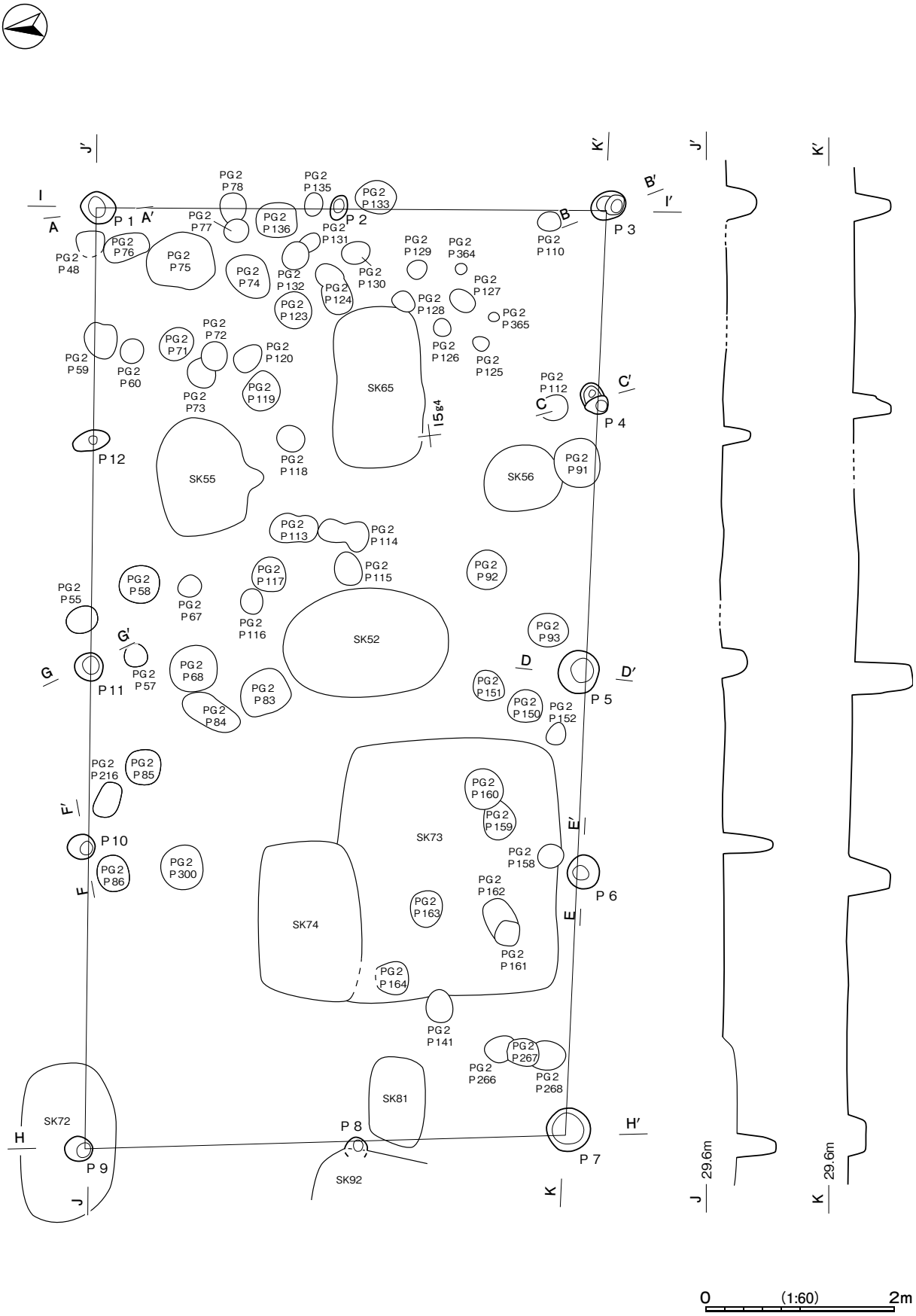
位置　調査区中央部のＩ５f2 区，標高 30 mほどの微高地上に位置している。

重複関係　第 52・55・56・65・72 ～ 74・81・92 号土坑，第２号ピット群と重複しているが，新旧関係は不明である。

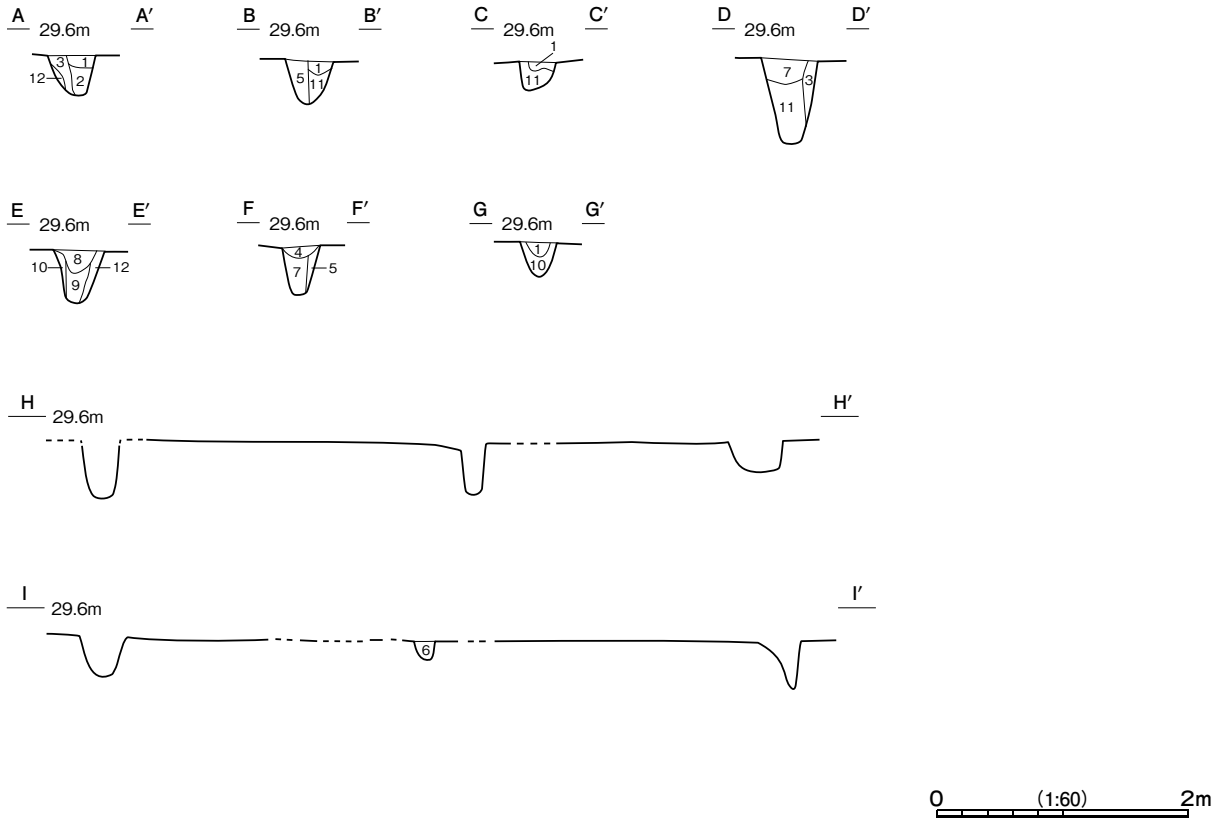
規模と構造　桁行４間，梁行２間の側柱建物跡で，桁行方向N － 81° －Wの東西棟である。規模は桁行 9.80 ～ 9.90 m，梁行 5.03 ～ 5.35 mで，面積は 51.57㎡である。柱間寸法は桁行 1.95 ～ 3.20 m，梁行 2.18 ～ 2.90 mで，柱筋は概ね揃っている。

柱穴　12 か所。平面形は円形または楕円形で，長径 29 ～ 45㎝，短径 15 ～ 45㎝である。深さは 15 ～ 68㎝で，掘方の断面形はU字形である。柱痕跡は確認できなかった。

所見　時期は，方形区画堀の内側に構築され，堀跡とほぼ同軸であることから，同時代と考えられる。



第 322 図　第 11 号掘立柱建物跡実測図(1)



土層解説

1	10YR3/2	黒褐	ローム小C・粒B／粘B，締B
2	10YR3/3	暗褐	ローム中D・粒C／粘B，締B
3	10YR4/3	にぶい黄褐	ローム中C・小B・粒B／粘B，締B
4	10YR4/4	褐	ローム中C・小B・粒B／粘B，締B
5	10YR3/4	暗褐	ローム小C・粒B／粘B，締B
6	10YR4/4	褐	ローム中B・小A・粒A／粘B，締B
7	10YR3/3	暗褐	ローム中B・小B・粒B／粘B，締B
8	10YR2/3	黒褐	ローム粒D／粘B，締B
9	10YR3/4	暗褐	ローム粒D，炭化粒D'／粘B，締B
10	10YR4/6	褐	ローム小B・粒B／粘B，締B
11	10YR5/3	にぶい黄褐	ローム中B・小B・粒A／粘B，締B
12	10YR4/2	灰黄褐	ローム小D'・粒D／粘B，締B

第 323 図　第 11 号掘立柱建物跡実測図(2)

第 12 号掘立柱建物跡（第 324 図　PL42）

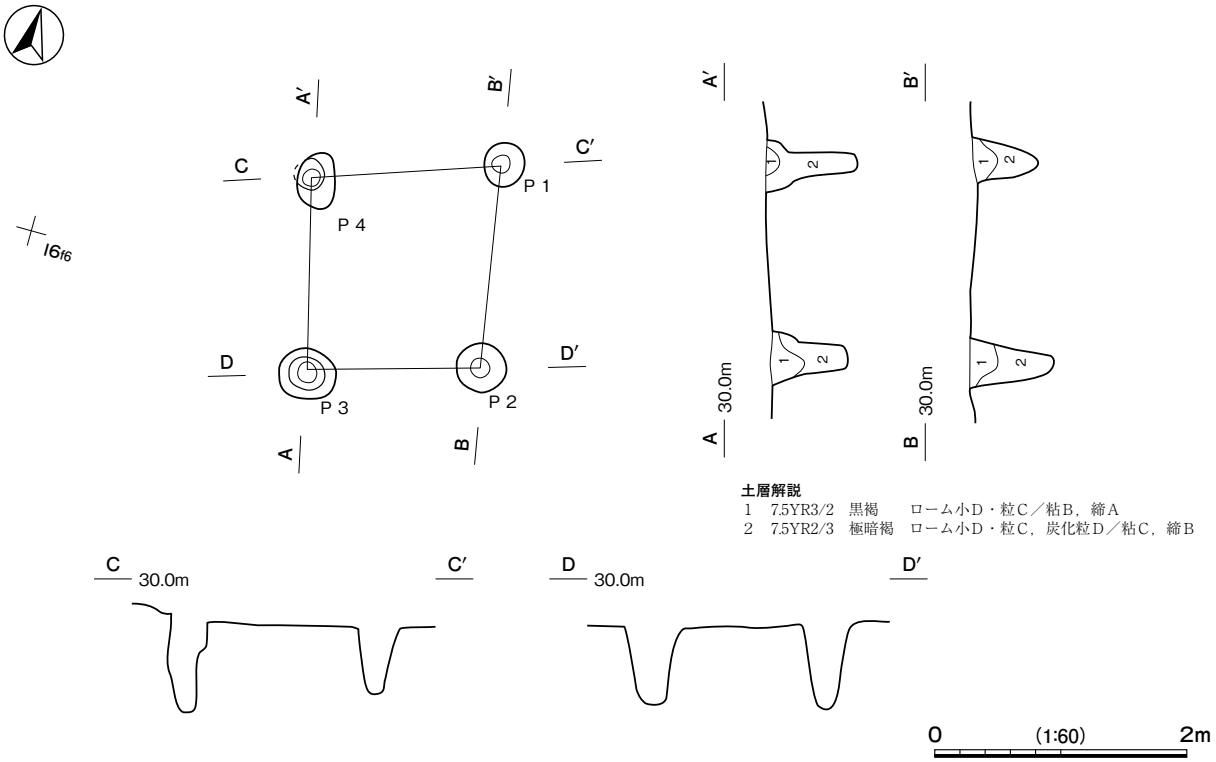
位置　調査区東部のⅠ６e6 区，標高 30 mほどの微高地上に位置している。

規模と構造　桁行１間，梁行１間の側柱建物跡で，桁行方向N－16°－Wの南北棟である。規模は桁行 1.50 ～ 1.60 m，梁行 1.36 ～ 1.50 mで，面積は 2.20㎡である。柱筋は揃っている。

柱穴　４か所。平面形は円形または楕円形で，長径 35 ～ 46㎝，短径 32 ～ 34㎝である。深さは 50 ～ 76㎝で，掘方の断面形はU字形である。柱痕跡は確認できなかった。

遺物出土状況　混入した土師器片 14 点（坏 12，甕２）が出土している。

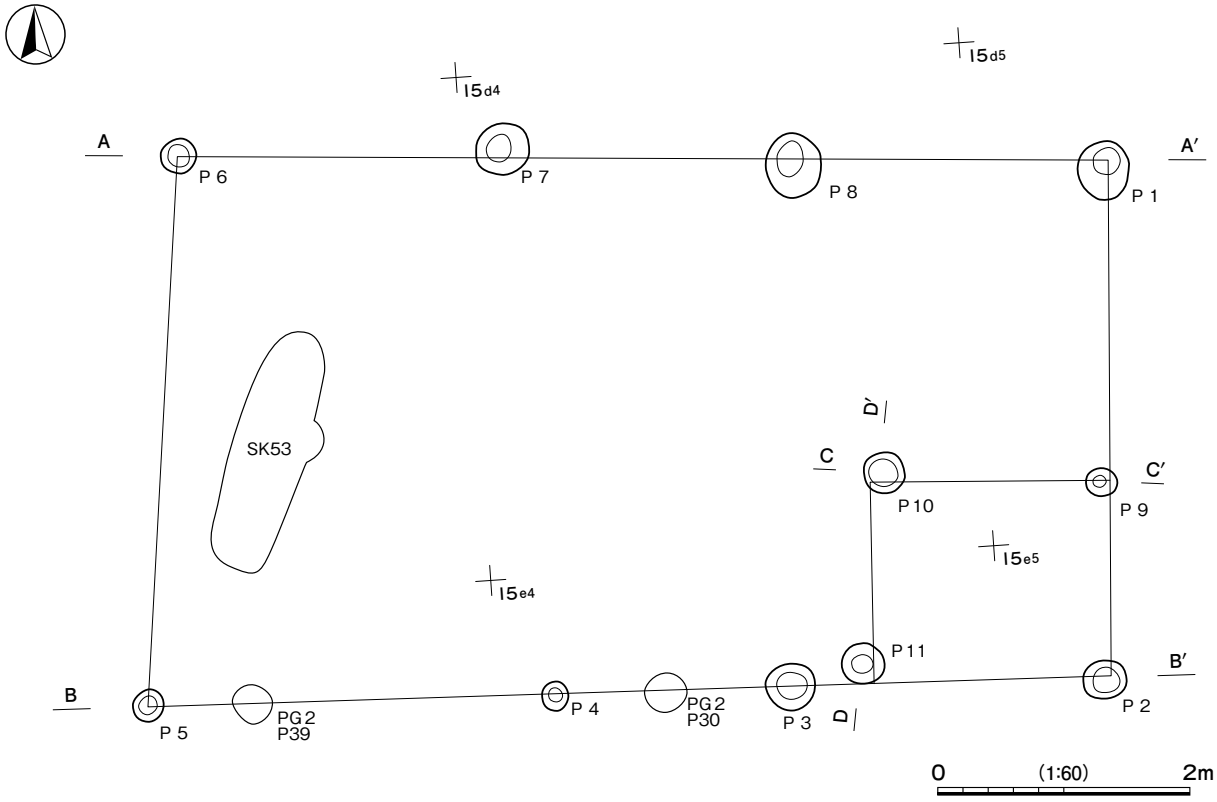
所見　時期は，第２・３号堀跡や，第２号柱穴列とほぼ同軸であることから，同時代と考えられる。



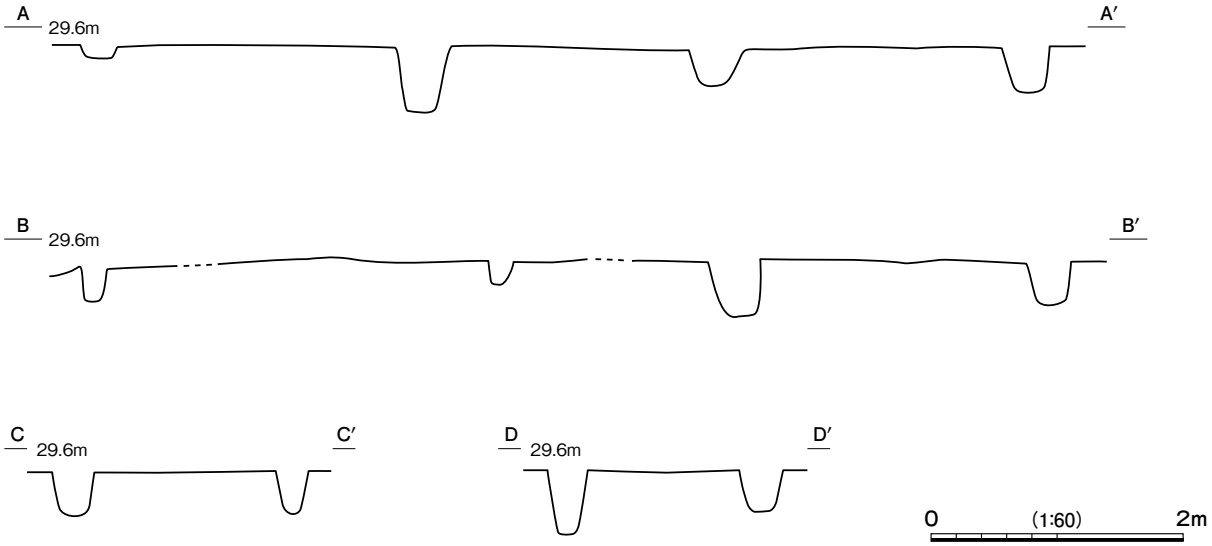
第 324 図　第 12 号掘立柱建物跡実測図

第 13 号掘立柱建物跡（第 325・326 図　PL42）

位置　調査区中央部のＩ５d4 区，標高 30 mほどの微高地上に位置している。



第 325 図　第 13 号掘立柱建物跡実測図(1)



第 326 図　第 13 号掘立柱建物跡実測図(2)

重複関係　第 53 号土坑，第２号ピット群と重複しているが，新旧関係は不明である。

規模と構造　桁行３・４間，梁行１・２間の側柱建物跡で，桁行方向N－87°－Wの東西棟である。規模は桁行 7.34 ～ 7.64 m，梁行 4.10 ～ 4.36 mで，面積は 31.68㎡である。柱間寸法は桁行 0.60 ～ 3.28m，梁行 1.55 ～ 4.36m で，柱筋は揃っている。

柱穴　11 か所。平面形は円形で，長径 25 ～ 50㎝，短径 21 ～ 45㎝である。深さは 10 ～ 50㎝で，掘方の断面形はU字形である。柱痕跡は確認できなかった。

所見　時期は，方形区画堀の内側に構築され，堀跡とほぼ同軸であることから，同時代と考えられる。

第 170 表　鎌倉・室町時代掘立柱建物跡一覧

番号	位置	桁行方向	柱間数	規模	面積	柱間寸法		柱穴				主な出土遺物	時期	備考
			桁×梁（間）	桁 × 梁（m）	(㎡)	桁間（m）	梁間（m）	構造	柱穴数	平面形	深さ(cm)			
3	Ⅰ4j0	N－6°－W	3 ×北4 南2	4.13～4.48 × 3.18～3.30	13.92	0.94～1.86	0.62～2.38	側柱	12	円形･楕円形	5 ～52	－	13～15世紀代	SK252～254・257～259・265～267と新旧不明
4	Ⅰ4h8	N－83°－W	2 × 2	[4.20]～4.66 × [4.05]～4.20	18.19	2.20～2.40	2.00～2.15	側柱	8	円形･楕円形	35～72	－	13～15世紀代	SK288～290・304・346・347・357～359・376と新旧不明
5	Ⅰ4h0	N－0°	3 × 1	4.38 × 4.05	17.73	0.93～2.82	4.05	側柱	7	円形･楕円形	10～52	－	13～15世紀代	SK179→本跡 SK108・283・284・287・312～315・332・333，PG5と新旧不明
6	H4f5	N－4°－E	2 × 1	3.08 × 1.70	5.19	1.50～1.60	1.66	側柱	4	円形･楕円形	18～58	－	13～15世紀代	本跡→ SD12 SK240と新旧不明
8	Ⅰ5c2	N－4°－E	3 × 2	4.85 × 3.18	15.43	1.25～1.70	1.55～1.70	側柱	10	円形･楕円形	22～48	－	13～15世紀代	SI 50→本跡→ SD8，SK105 PG2と新旧不明
9	Ⅰ5j4	N－90°	3 × 2	6.05～6.31 × 3.08～3.15	19.98	2.00～2.30	1.45～1.60	側柱	10	円形･楕円形	24～50	－	13～15世紀代	本跡→ SK122，PG 5と新旧不明
10	Ⅰ5h3	N－90°	3 × 2	6.31～6.75 × 3.60～4.20	25.36	1.74～2.32	1.70～2.10	側柱	10	円形･楕円形	20～50	－	13～15世紀代	SK123・SD13→本跡 SK66・68，PG 2・5と新旧不明
11	Ⅰ5f2	N－81°－W	4 × 2	9.80～9.90 × 5.03～5.35	51.57	1.95～3.20	2.18～2.90	側柱	12	円形･楕円形	15～68	－	13～15世紀代	SK52・55・56・65・72～74・81・92・PG 2と新旧不明
12	Ⅰ6e6	N－16°－W	1 × 1	1.50～1.60 × 1.36～1.50	2.20	1.50～1.60	1.36～1.50	側柱	4	円形･楕円形	50～76	－	13～15世紀代	
13	Ⅰ5d4	N－87°－W	北3 南4 ×西1 東2	7.34～7.64 × 4.10～4.36	31.68	0.60～3.28	1.55～4.36	側柱	11	円形	10～50	－	13～15世紀代	SK53，PG 2と新旧不明

⑵　方形竪穴遺構

第１号方形竪穴遺構（第 327・328 図　PL42）

位置　調査区中央部のＩ４e9 区，標高 30 ｍほどの微高地上に位置している。

重複関係　第 98 号竪穴建物跡を掘り込んでいる。

規模と形状　長軸 3.30 ｍ，短軸 2.83 ｍの長方形で，長軸方向はＮ－ 79 °－Ｗである。壁高は 10 ～ 32㎝で，ほぼ直立している。

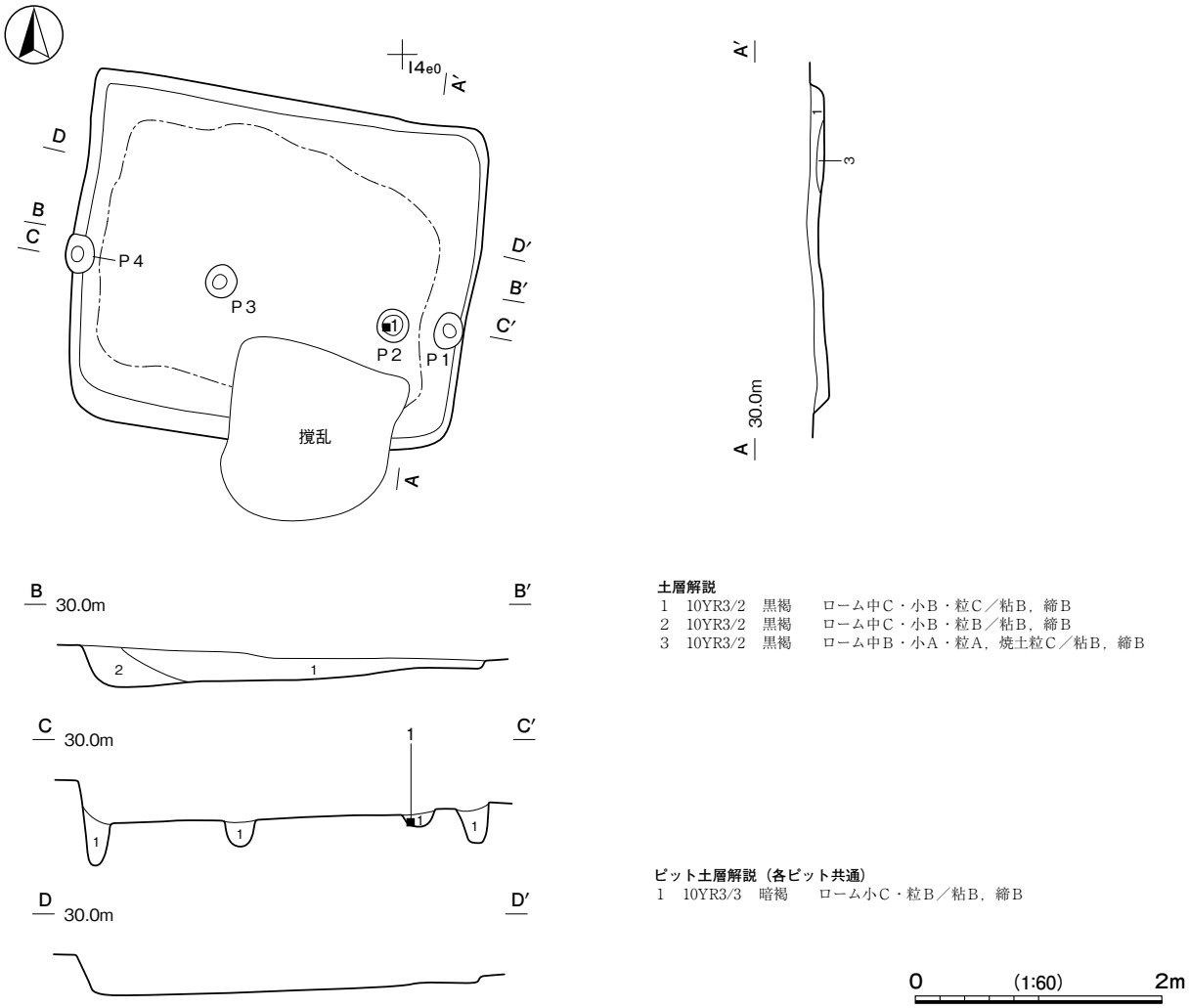
床　平坦で，中央部が踏み固められている。

ピット　４か所。Ｐ１～Ｐ４は径 18 ～ 22㎝の円形または楕円形で，深さ９～ 35㎝である。長軸方向に一列に配置されており，柱穴と考えられる。

覆土　３層に分層できる。ロームブロックが含まれていることから人為堆積である。

遺物出土状況　陶器片１点（甕），鉄滓１点（11.83g），自然遺物 24 点（馬歯）が出土しているほか，混入した土師器片 51 点（坏 44，椀１，高坏１，甕５）も出土している。１はＰ２の覆土下層から出土している。馬の臼歯が覆土中からまとまって出土している。

所見　時期は，出土遺物から 15 世紀代と考えられる。



第 327 図　第１号方形竪穴遺構実測図

第 328 図　第 1 号方形竪穴遺構出土遺物実測図

第 171 表　第 1 号方形竪穴遺構出土陶器一覧（第 328 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
1	陶器	甕	－	(13.8)	－	長石・石英	黄灰	良好	外面平行叩き	Ｐ２ 覆土下層	５％ 常滑窯

第 172 表　第 1 号方形竪穴遺構出土馬歯一覧（計測値のみ　PL106）

番号	歯冠高（cm）	残高（cm）	重量（g）	備　考	番号	歯冠高	残高	重量	備　考	番号	歯冠高	残高	重量	備　考
2- 1	－	5.81	17.02		2- 9	－	5.80	3.89		2-17	－	7.21	38.23	
2- 2	－	5.77	16.66		2-10	－	5.47	3.22		2-18	7.17	7.51	33.54	
2- 3	－	7.21	12.75		2-11	－	4.67	3.03		2-19	－	6.43	26.20	
2- 4	－	6.36	17.54		2-12	－	4.70	2.72		2-20	8.08	8.15	41.92	
2- 5	－	5.92	8.61		2-13	－	4.70	1.73		2-21	－	7.32	40.71	
2- 6	－	7.10	7.64		2-14	－	4.19	0.88		2-22	－	6.95	28.06	
2- 7	－	7.28	6.46		2-15	7.44	7.92	51.03		2-23	－	7.54	27.55	
2- 8	－	5.34	4.02		2-16	－	7.54	41.86		2-24	－	5.73	23.12	

第２号方形竪穴遺構（第 329 図　PL28・43）

位置　調査区北西部のＨ４i8 区，標高 30 ｍほどの微高地上に位置している。

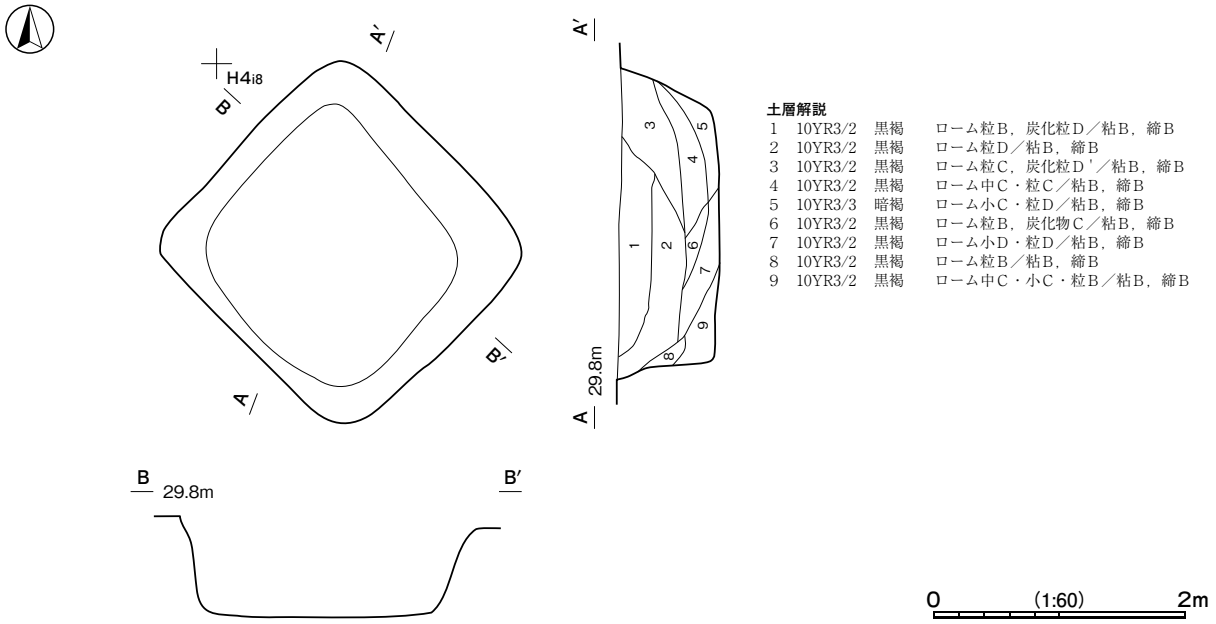
重複関係　第 121 号竪穴建物跡を掘り込んでいる。

規模と形状　長軸 2.31 ｍ，短軸 2.20 ｍの方形で，長軸方向はＮ－ 45 °－Ｗである。壁高は 77㎝でほぼ直立している。

床　平坦で，硬化面は確認できなかった。

覆土　９層に分層できる。不規則な堆積状況から人為堆積である。

所見　時期は，方形区画堀の内側に構築され，隣接する第 1 号溝跡とほぼ同軸であることから，同時代と考えられる。



第 329 図　第２号方形竪穴遺構実測図

第３号方形竪穴遺構（第 330 図　PL43）

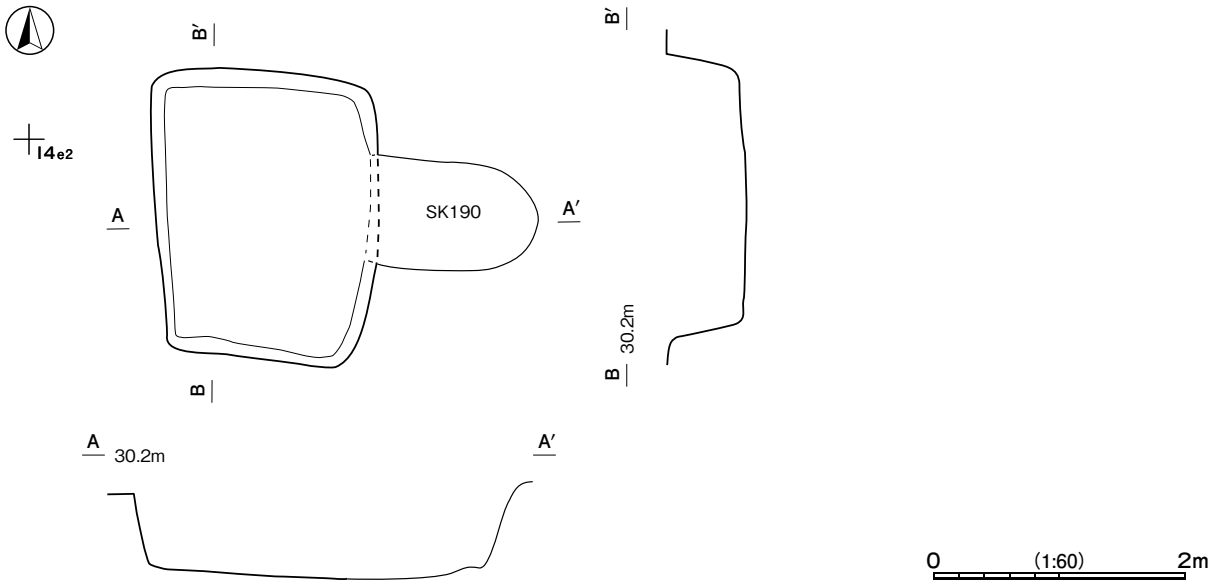
位置　調査区西部のＩ４e2 区，標高 30 mほどの微高地上に位置している。

重複関係　第 190 号土坑と重複しているが，新旧関係は不明である。

規模と形状　長軸 2.28 m，短軸 1.80 mの長方形で，長軸方向はＮ－４°－Ｅである。壁高は 60㎝でほぼ直立している。

床　平坦で，硬化面は確認できなかった。

所見　時期は，第 12 号堀とほぼ同軸であることから，同時代と考えられる。台風による水没によって土層断面の記録を取ることができなかったが，底面の高さが同じであることから，第 190 号土坑が本跡の出入口施設の可能性がある。



第 330 図　第３号方形竪穴遺構実測図

第173表　鎌倉・室町時代方形竪穴遺構一覧

番号	位置	長軸方向	平面形	規模	壁高	壁面	底面	内部施設			覆土	主な出土遺物	時期	備考
				長軸×短軸（m）	（cm）			柱穴	ピット	出入口				
1	I4e9	N－79°－W	長方形	3.30 × 2.83	10～32	ほぼ直立	平坦	4	－	－	人為	陶器，鉄滓，馬歯	15世紀代	SI 98→本跡
2	H4i8	N－45°－W	方形	2.31 × 2.20	77	ほぼ直立	平坦	－	－	－	人為	－	13～15世紀代	SI 121→本跡
3	I4e2	N－4°－E	長方形	2.28 × 1.80	60	ほぼ直立	平坦	－	－	－	不明	－	13～15世紀代	SK190と新旧不明

（3）井戸跡

第１号井戸跡（第331図　PL43）

位置　調査区北部のＨ６g2区，標高30ｍの微高地上に位置している。

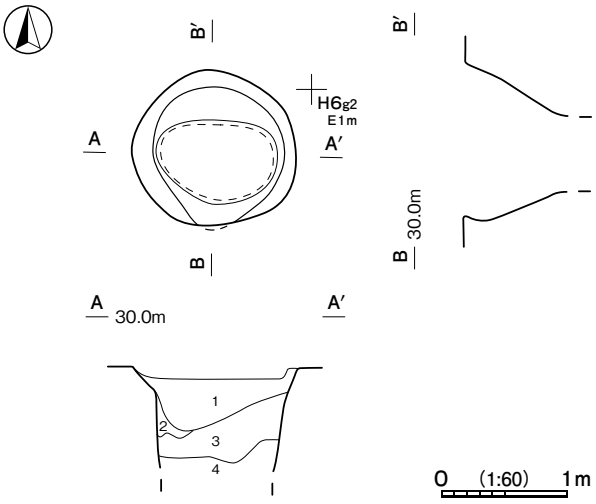
重複関係　第22号竪穴建物跡を掘り込んでいる。

規模と形状　長径1.30ｍ，短径1.20ｍの円形である。確認面から漏斗状に掘り込まれている。深さ80cmまで掘り下げたが，湧水のため下部の調査を断念した。

覆土　４層に分層できる。ロームブロックなどが含まれる不規則な堆積状況から人為堆積である。

遺物出土状況　混入した土師器片75点(坏58, 器台１，甕16)，須恵器片１点（甕），焼成粘土塊１点（4.65g）が出土している。

所見　時期は，方形区画堀の内側に構築されていることから，同時代と考えられる。



土層解説
1　10YR2/3　黒褐　ローム小Ｄ・粒Ｃ，焼土粒Ｄ'，細礫Ｄ／粘Ｂ，締Ｂ
2　10YR3/4　暗褐　ローム小Ｃ・粒Ｃ／粘Ｂ，締Ｂ
3　10YR4/4　褐　ローム小Ｄ・粒Ｂ，細礫Ｄ／粘Ｂ，締Ｂ
4　10YR2/2　黒褐　ローム粒Ｂ，細礫Ｄ／粘Ｂ，締Ｂ

第331図　第１号井戸跡実測図

第２号井戸跡（第332図　PL43）

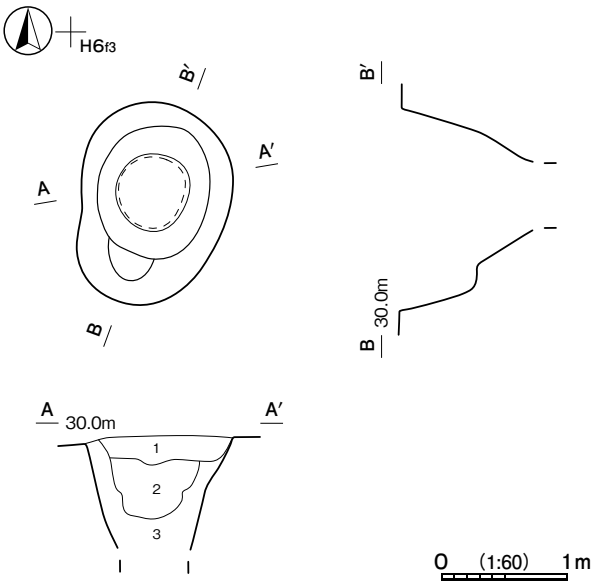
位置　調査区北部のＨ６f3区，標高30ｍの微高地上に位置している。

規模と形状　長径1.60ｍ，短径1.20ｍの楕円形で，長径方向はＮ－14°－Ｅである。確認面から漏斗状に掘り込まれている。深さ105cmまで掘り下げたが，湧水のため下部の調査を断念した。

覆土　３層に分層できる。第１層は黒褐色土主体で含有物が少なく，均質に含まれる堆積状況から自然堆積である。第２・３層はロームブロックが含まれていることから人為堆積である

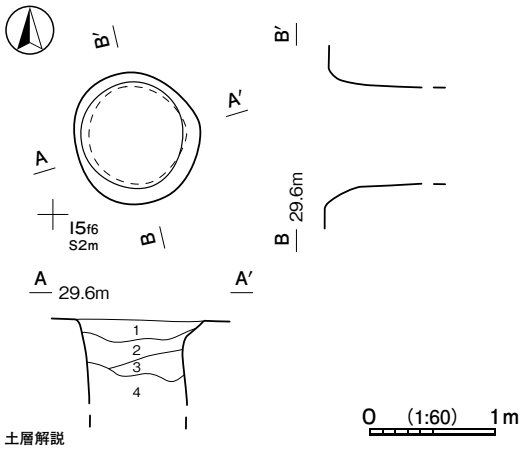
遺物出土状況　混入した土師器片16点（坏14，甕２）が出土している。

所見　時期は，特定できる土器が出土していないが，覆土の堆積状況が第11号井戸跡と類似していることから，同時代と考えられる。



土層解説
1　10YR2/3　黒褐　ローム小Ｃ・粒Ｃ／粘Ｂ，締Ｂ
2　10YR2/3　黒褐　ローム中Ｄ・小Ｃ・粒Ｂ／粘Ｂ，締Ｂ
3　10YR4/3　褐　ローム中Ｃ・小Ｂ・粒Ｂ／粘Ｂ，締Ｂ

第332図　第２号井戸跡実測図



土層解説
1　10YR3/4　暗褐　ローム小D・粒C，焼土粒D'，炭化粒D'／粘B，締B
2　10YR4/6　褐　ローム小B・粒A，焼土粒D'／粘B，締B
3　10YR5/6　黄褐　ローム大C・中B・小A・粒A'／粘B，締B
4　10YR3/3　暗褐　ローム中D・小C・粒C／粘B，締B

第333図　第３号井戸跡実測図

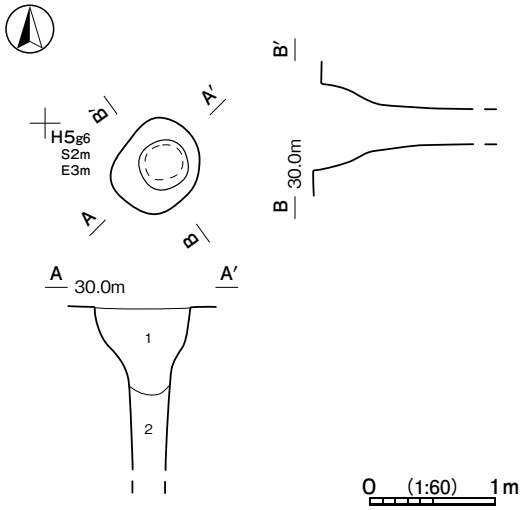
第３号井戸跡（第333図　PL43）

位置　調査区中央部のＩ５f6区，標高30ｍの微高地上に位置している。

規模と形状　長径1.05ｍ，短径1.00ｍの円形である。確認面から円筒状に掘り込まれている。深さ75㎝まで掘り下げたが，湧水のため下部の調査を断念した。

覆土　４層に分層できる。ロームブロックなどが含まれる不規則な堆積状況から人為堆積である。

所見　時期は，方形区画堀の内側に構築されていることから，同時代と考えられる。



土層解説
1　10YR2/3　黒褐　ローム中D・小C・粒C／粘B，締B
2　10YR4/6　褐　ローム中C・小B・粒A／粘B，締B

第334図　第４号井戸跡実測図

第４号井戸跡（第334図　PL43）

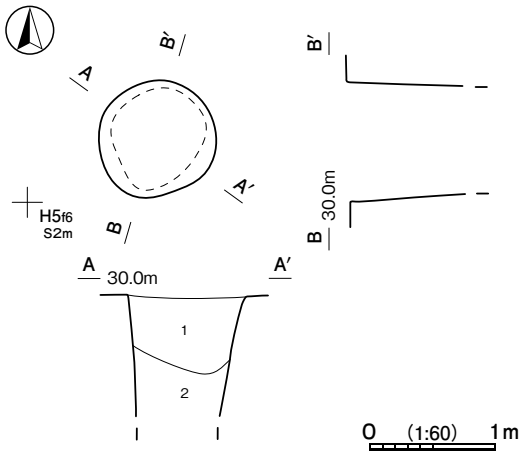
位置　調査区北部のＨ５g6区，標高30ｍの微高地上に位置している。

重複関係　第38号竪穴建物跡，第37号井戸跡を掘り込んでいる。

規模と形状　長径0.75ｍ，短径0.64ｍの楕円形で，長径方向はＮ－45°－Ｅである。確認面から漏斗状に掘り込まれている。深さ126㎝まで掘り下げたが，湧水のため下部の調査を断念した。

覆土　２層に分層できる。ロームブロックが含まれていることから人為堆積である。

所見　時期は，方形区画堀の内側に構築されていることから，同時代と考えられる。



土層解説
1　10YR2/3　黒褐　ローム中D・小C・粒C，焼土粒D／粘B，締B
2　10YR3/2　黒褐　ローム中D・小C・粒B／粘B，締B

第335図　第５号井戸跡実測図

第５号井戸跡（第335図　PL43）

位置　調査区北部のＨ５f6区，標高30ｍの微高地上に位置している。

規模と形状　径0.92ｍの円形である。確認面から円筒状に掘り込まれている。深さ94㎝まで掘り下げたが，湧水のため下部の調査を断念した。

覆土　２層に分層できる。ロームブロックなどが含まれていることから，人為堆積である。

遺物出土状況　混入した土師器片43点（坏30，甕13），須恵器片１点（甕）が出土している。

所見　時期は，方形区画堀の内側に構築されていることから，同時代と考えられる。

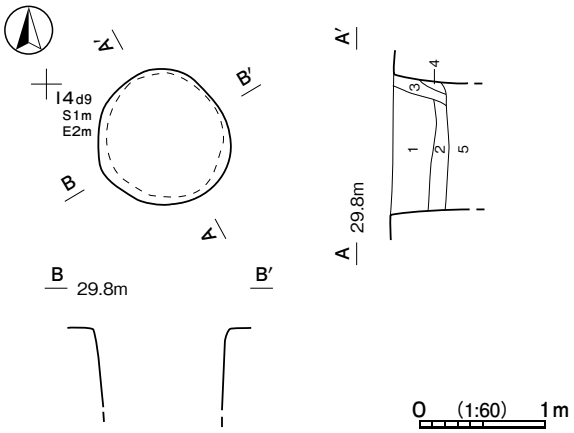
第６号井戸跡（第 336 図　PL43）

位置　調査区中央部のＩ４d9 区，標高 30 mの微高地上に位置している。

規模と形状　長径 1.08 m，短径 1.06 mの円形である。確認面から円筒状に掘り込まれている。深さ 62cmまで掘り下げたが，湧水のため下部の調査を断念した。

覆土　５層に分層できる。ロームブロックが含まれる不規則な堆積状況から人為堆積である。

所見　時期は，特定できる遺物が出土していないが，第１・15 号溝の内側に構築されていることから，同時代と考えられる。



土層解説
1　7.5YR2/2　黒褐　ローム中Ｃ・小Ｃ・粒Ｂ／粘Ｂ，締Ｂ
2　7.5YR3/3　暗褐　ローム中Ｃ・小Ｂ・粒Ｂ／粘Ｂ，締Ｃ
3　7.5YR3/3　暗褐　ローム中Ｄ・小Ｄ・粒Ｃ／粘Ｂ，締Ｂ
4　7.5YR3/3　暗褐　ローム小Ｄ・粒Ｄ／粘Ｂ，締Ｂ
5　7.5YR4/3　褐　ローム大Ａ・中Ｂ・小Ｃ・粒Ｃ／粘Ａ，締Ｂ

第 336 図　第６号井戸跡実測図

第７号井戸跡（第 337 図）

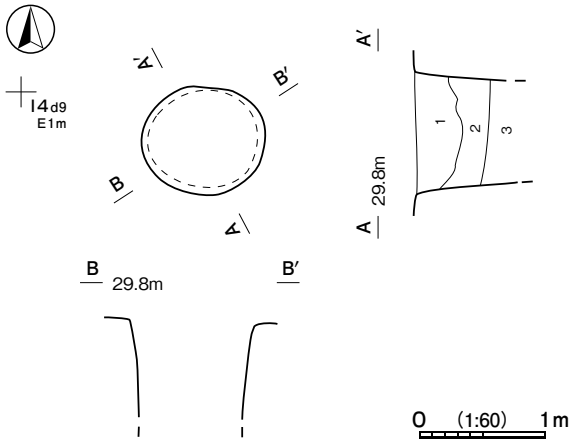
位置　調査区中央部のＩ４d9 区，標高 30 mの微高地上に位置している。

規模と形状　長径 0.96 m，短径 0.87 mの楕円形で，長径方向はＮ－ 70°－Ｅである。確認面から円筒状に掘り込まれている。深さ 76cmまで掘り下げたが，湧水のため下部の調査を断念した。

覆土　３層に分層できる。ロームブロックが含まれていることから人為堆積である。

遺物出土状況　陶器片３点(天目茶碗１，甕２)のほか，混入した土師器片１点（甕），が出土している。遺物は細片で図示できなかった。

所見　時期は，出土遺物から 14 ～ 15 世紀代と考えられる。



土層解説
1　7.5YR3/3　暗褐　ローム中Ｃ・小Ｄ・粒Ｃ／粘Ｂ，締Ｂ
2　7.5YR3/4　暗褐　ローム中Ｂ・小Ｃ・粒Ｃ／粘Ａ，締Ｂ
3　7.5YR3/3　暗褐　ローム中Ｂ・小Ｃ・粒Ｄ／粘Ａ，締Ｂ

第 337 図　第７号井戸跡実測図

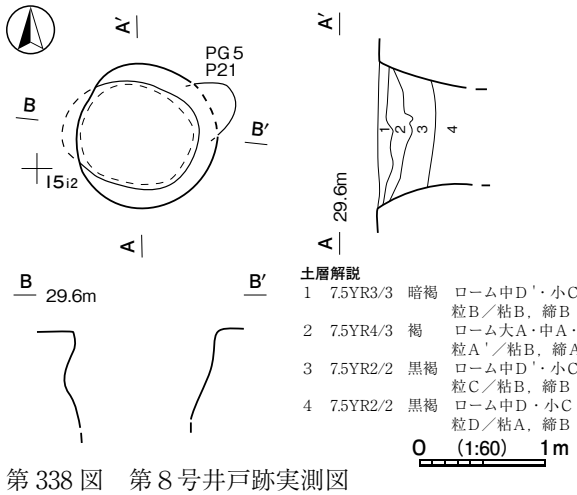
第８号井戸跡（第 338 図　PL44）

位置　調査区中央部のＩ５h2 区，標高 30 mの微高地上に位置している。

重複関係　第 292 号土坑を掘り込んでいる。第５号ピット群Ｐ 21 と重複しているが，新旧関係は不明である。

規模と形状　長径 1.13 m，短径 1.12 mの円形である。確認面から円筒状に掘り込まれている。深さ 75cmまで掘り下げたが，湧水のため下部の調査を断念した。

覆土　４層に分層できる。ロームブロックが含まれて

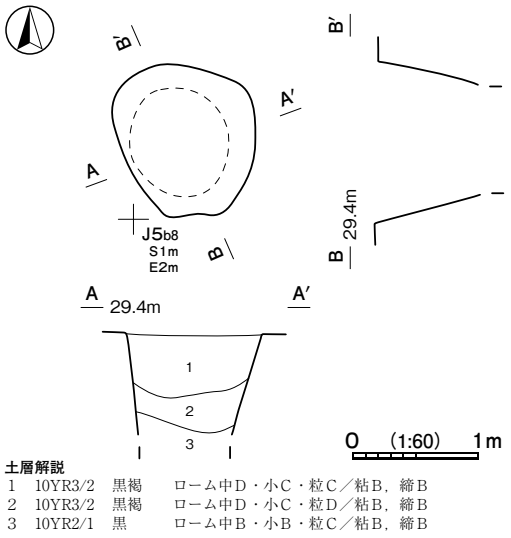


土層解説
1　7.5YR3/3　暗褐　ローム中Ｄ'・小Ｃ・粒Ｂ／粘Ｂ，締Ｂ
2　7.5YR4/3　褐　ローム大Ａ・中Ａ・小Ａ・粒Ａ'／粘Ｂ，締Ａ
3　7.5YR2/2　黒褐　ローム中Ｄ'・小Ｃ・粒Ｃ／粘Ｂ，締Ｂ
4　7.5YR2/2　黒褐　ローム中Ｄ・小Ｃ・粒Ｄ／粘Ａ，締Ｂ

第 338 図　第８号井戸跡実測図

いることから人為堆積である。

所見　時期は，特定できる遺物が出土していないが，第１・15号溝の内側に構築されていることから，同時代と考えられる。



第339図　第９号井戸跡実測図

第９号井戸跡（第339図　PL44）

位置　調査区中央部のＪ５b8区，標高30ｍの微高地上に位置している。

規模と形状　長径1.26ｍ，短径1.12ｍの楕円形で，長径方向はＮ－41°－Ｗである。確認面から円筒状に掘り込まれている。深さ81㎝まで掘り下げたが，湧水のため下部の調査を断念した。

覆土　３層に分層できる。ロームブロックが含まれていることから人為堆積である。

所見　時期は，特定できる遺物が出土していないが，方形区画堀の内側に構築されていることから，同時代と考えられる。

第10号井戸跡（第340～342図　PL44）

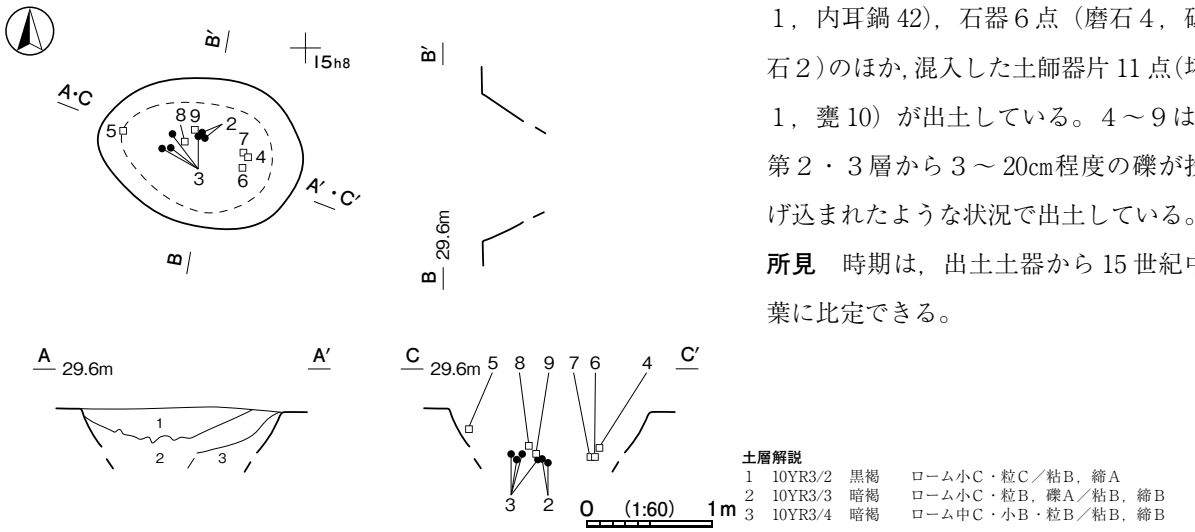
位置　調査区中央部のＩ５h7区，標高30ｍの微高地上に位置している。

規模と形状　長径1.66ｍ，短径1.10ｍの楕円形で，長径方向はＮ－70°－Ｗである。確認面から漏斗状に掘り込まれている。深さ34㎝まで掘り下げたが，湧水のため下部の調査を断念した。

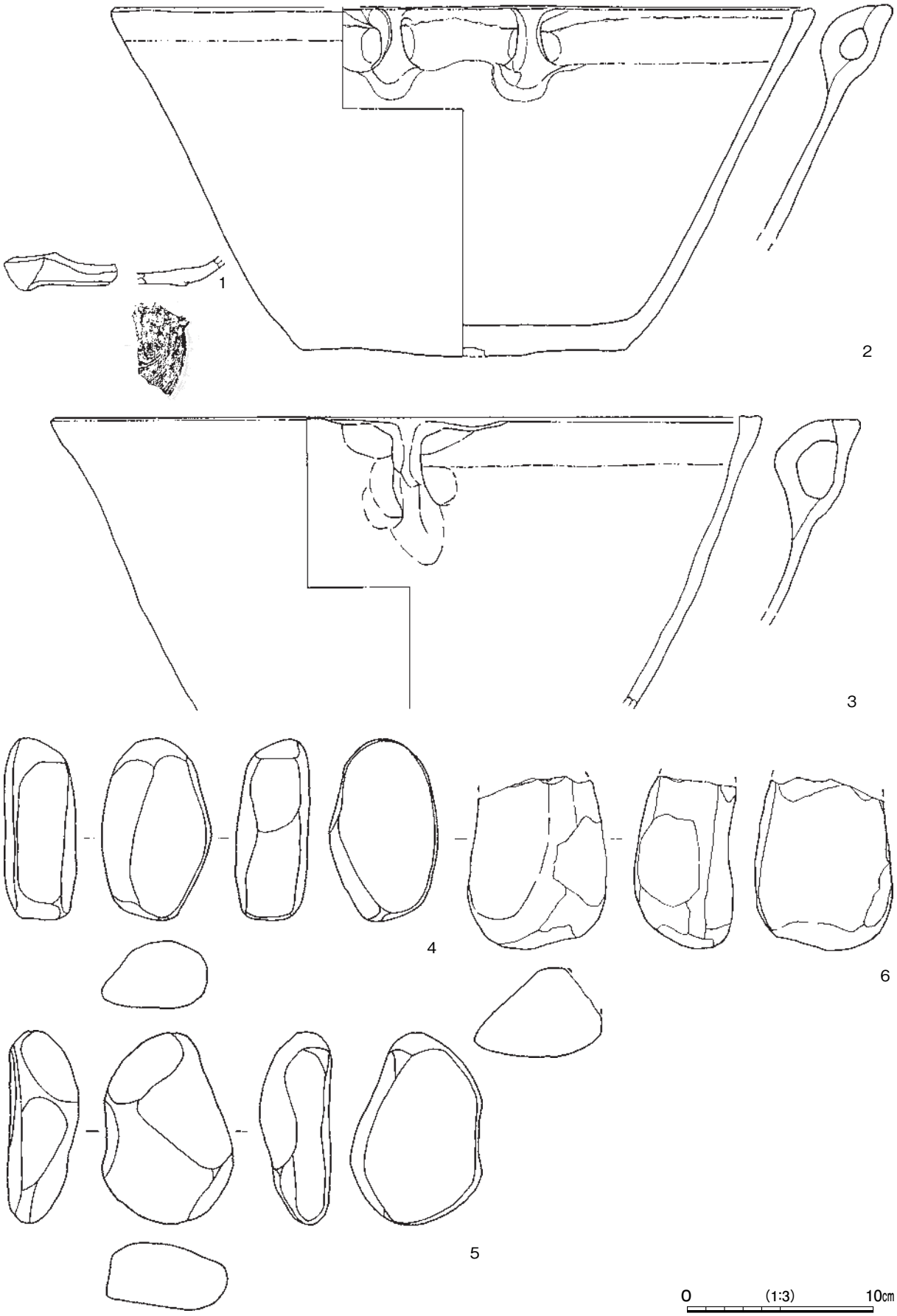
覆土　３層に分層できる。第１層は黒褐色土主体で，含有物が少なく，均質に含まれる堆積状況から自然堆積である。第２・３層は遺物や礫が含まれることから人為堆積である。

遺物出土状況　土師質土器片43点（皿１，内耳鍋42），石器６点（磨石４，砥石２）のほか，混入した土師器片11点（坏１，甕10）が出土している。４～９は，第２・３層から３～20㎝程度の礫が投げ込まれたような状況で出土している。

所見　時期は，出土土器から15世紀中葉に比定できる。



第340図　第10号井戸跡実測図



第 341 図　第 10 号井戸跡出土遺物実測図(1)

第 342 図　第 10 号井戸跡出土遺物実測図(2)

第 174 表　第 10 号井戸跡出土遺物一覧（第 341・342 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
1	土師質土器	皿	－	(1.8)	－	長石・石英・黒色粒子	橙	普通	ロクロ整形　底部糸切り痕	覆土中	10%
2	土師質土器	内耳鍋	[37.6]	19.0	17.4	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい褐	普通	外面厚く煤付着　底部内面痘痕状に剥落	覆土中層	50%　PL97
3	土師質土器	内耳鍋	38.0	(15.8)	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	明赤褐	普通	外面厚く煤付着	覆土中層	40%

番号	器　種	長さ	幅	厚さ	重量	材　　質	特　　徴	出土位置	備　考
4	磨石	9.8	5.8	3.8	297	礫岩	磨面５面	覆土中層	
5	磨石	10.3	7.1	3.9	333	礫岩	磨面２面	覆土中層	
6	磨石	(9.3)	7.5	5.4	(503)	砂岩	磨面３面	覆土中層	
7	磨石	13.1	7.5	5.4	554	礫岩	磨面３面	覆土中層	
8	砥石	(16.0)	9.0	(7.6)	(1,580)	砂岩	砥面３面	覆土中層	
9	砥石	15.9	13.2	10.8	2,604	花崗岩	全面被熱により砥ぎ方向不明	覆土中層	

第 11 号井戸跡（第 343 図　PL44）

位置　調査区中央部のＪ５b9 区，標高 30 mの微高地上に位置している。

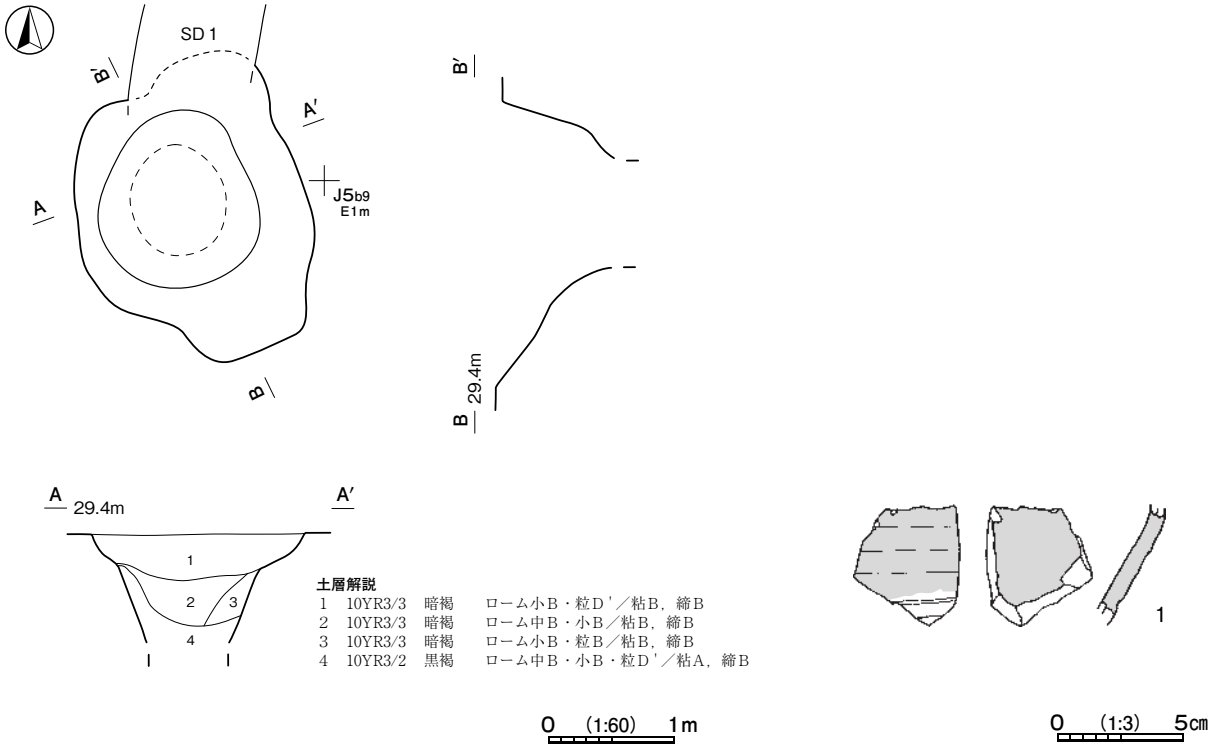
重複関係　第１号溝跡と重複しているが新旧関係は不明である。

規模と形状　長径 2.38 m，短径 1.89 mの不整楕円形で，長径方向はＮ－ 42°－Ｗである。確認面から漏斗状に掘り込まれている。深さ 90cmまで掘り下げたが，湧水のため下部の調査を断念した。

覆土　４層に分層できる。ロームブロックが含まれる不規則な堆積状況から人為堆積である。

遺物出土状況　陶器片１点（碗）のほか，混入した土師器片 11 点（坏 10，甕１），須恵器片１点（甕）が出土している。１は覆土中から出土している。

所見　時期は，出土土器から 15 世紀代と考えられる。



第 343 図　第 11 号井戸跡・出土遺物実測図

第 175 表　第 11 号井戸跡出土遺物一覧（第 343 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
1	陶器	碗	－	(4.7)	－	長石・石英	にぶい黄橙	良好	ロクロ整形　鉄釉	覆土中	5％ 瀬戸・美濃

第 12 号井戸跡（第 344・345 図　PL44）

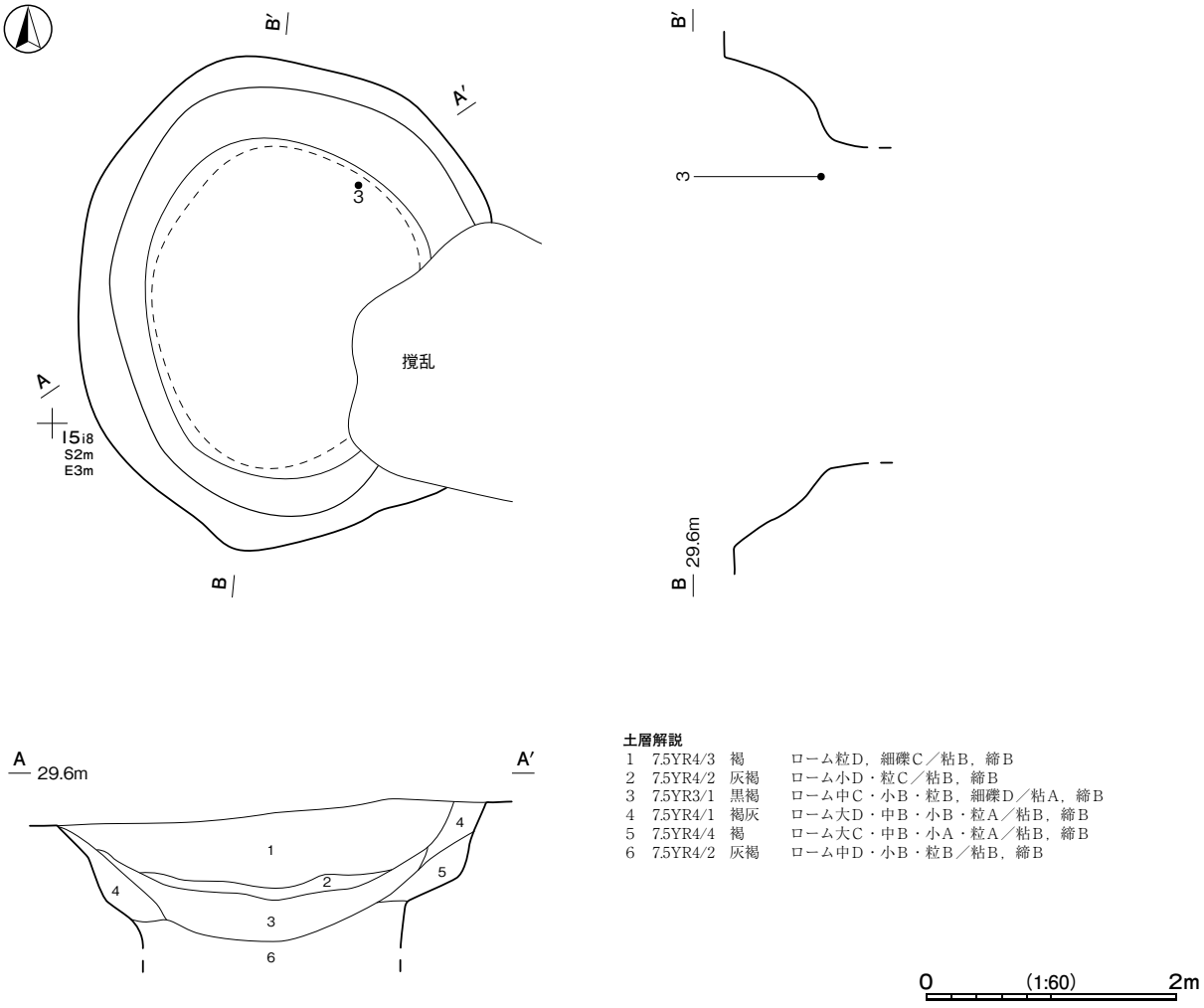
位置　調査区中央部のⅠ５i9 区，標高 30 mの微高地上に位置している。

規模と形状　長径 3.90 m，短径 3.32 mの楕円形で，長径方向はN－２°－Eである。確認面から漏斗状に掘り込まれている。深さ 117cmまで掘り下げたが，湧水のため下部の調査を断念した。

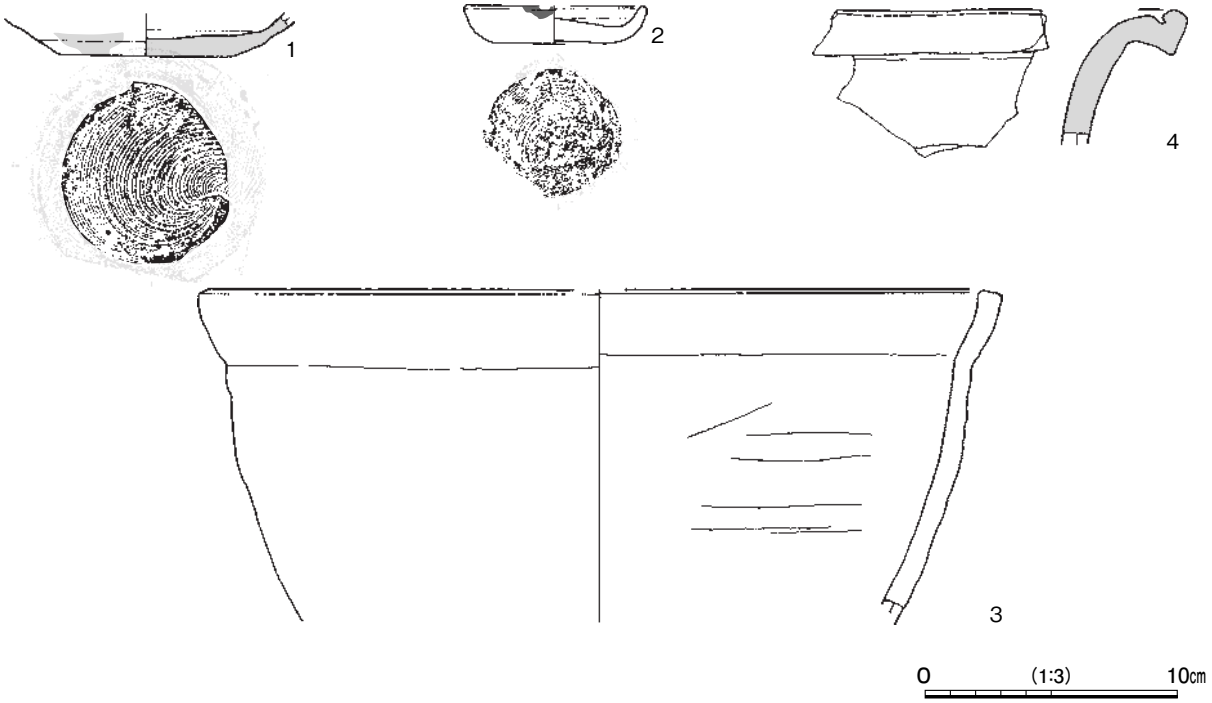
覆土　６層に分層できる。ロームブロックなどが含まれる不規則な堆積状況から人為堆積である。

遺物出土状況　土師質土器片３点（小皿１，内耳鍋２），陶器片２点（皿$_{カ}$，甕），石器１点（砥石）のほか，混入した土師器片 16 点（坏 12，甕４）が出土している。

所見　時期は，出土土器から，15 世紀中葉に廃絶されたと考えられる。



第 344 図　第 12 号井戸跡実測図



第 345 図　第 12 号井戸跡出土遺物実測図

第 176 表　第 12 号井戸跡出土遺物一覧（第 345 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
1	陶器	皿ヵ	－	(1.7)	6.7	長石・石英	釉／にぶい黄 素地／褐灰	良好	外面灰釉　底部回転糸切り痕	覆土中	30%
2	土師質 土器	小皿	[7.0]	1.4	5.0	長石・石英	橙	普通	ロクロ整形　底部回転糸切り痕	覆土中	70%
3	土師質 土器	内耳鍋	[32.0]	(13.1)	－	長石・石英・雲母	橙	普通	外面煤付着	覆土下層	10%
4	陶器	甕	－	(5.8)	－	長石・石英・細礫	灰褐	普通	外・内面施釉	覆土中	5％ 常滑

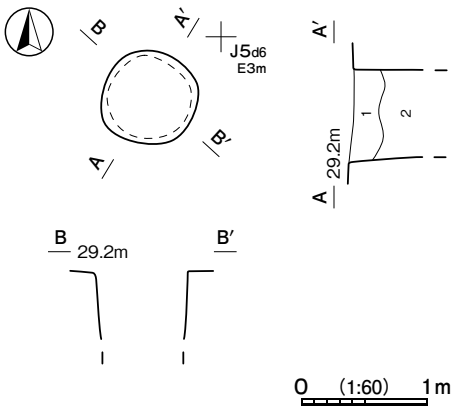
第 13 号井戸跡（第 346 図　PL44）

位置　調査区中央部のＪ５d6 区，標高 29 mの微高地上に位置している。

規模と形状　長径 0.76 m，短径 0.72 mの円形である。確認面から円筒状に掘り込まれている。深さ 52cmまで掘り下げたが，湧水のため下部の調査を断念した。

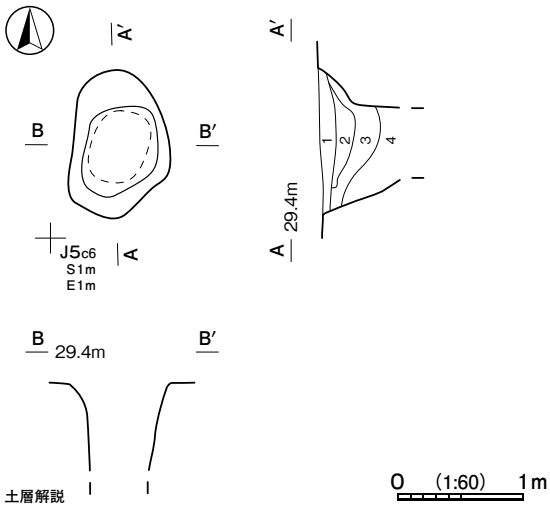
覆土　２層に分層できる。ロームブロックが含まれていることから人為堆積である。

所見　時期は，特定できる遺物が出土していないが，方形区画堀の内側に構築されていることから，同時代と考えられる。



土層解説
1　10YR2/2　黒褐　　ローム中Ｃ・小Ｃ・粒Ｃ／粘Ｂ，締Ｂ
2　10YR3/2　黒褐　　ローム小Ｃ・粒Ｃ／粘Ｂ，締Ｂ

第 346 図　第 13 号井戸跡実測図



土層解説
1　10YR3/4　暗褐　ローム小C・粒B／粘B，締B
2　10YR3/2　黒褐　ローム小C・粒C／粘B，締B
3　10YR4/4　褐　ローム大B・中B・小B・粒A／粘B，締B
4　10YR2/3　黒褐　ローム小B・粒B／粘B，締B

第 347 図　第 14 号井戸跡実測図

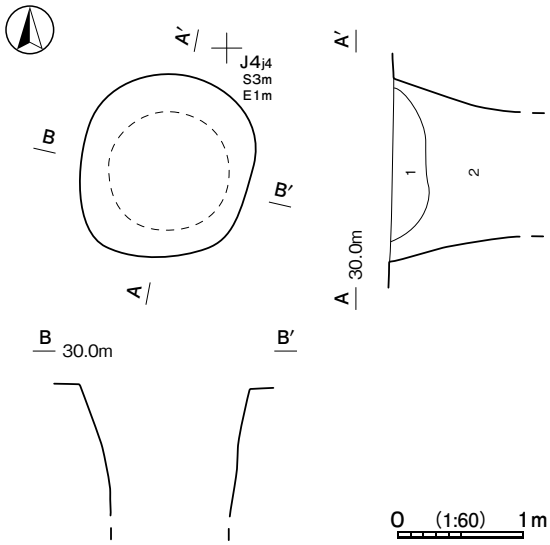
第 14 号井戸跡（第 347 図　PL44）

位置　調査区中央部のＪ５c6 区，標高 29 mの微高地上に位置している。

規模と形状　長径 1.18 m，短径 0.80 mの不整楕円形で，長径方向はＮ－４°－Ｅである。確認面から漏斗状に掘り込まれている。深さ 67cmまで掘り下げたが，湧水のため下部の調査を断念した。

覆土　４層に分層できる。ロームブロックが含まれていることから人為堆積である。

所見　時期は，特定できる遺物が出土していないが，方形区画堀の内側に構築されていることから，同時代と考えられる。



土層解説
1　10YR2/2　黒褐　ローム小D・粒C，細礫C／粘B，締B
2　10YR2/3　黒褐　ローム中D・小C・粒C／粘B，締B

第 348 図　第 15 号井戸跡実測図

第 15 号井戸跡（第 348 図）

位置　調査区南部のＪ４j4 区，標高 30 mの微高地上に位置している。

規模と形状　長径 1.46 m，短径 1.35 mの円形である。確認面から円筒状に掘り込まれている。深さ 102cmまで掘り下げたが，湧水のため下部の調査を断念した。

覆土　２層に分層できる。第１層は黒褐色土主体で含有物が少なく，均質に含まれる堆積状況から自然堆積である。第２層は層厚が厚く，ロームブロックなどが含まれていることから人為堆積である。

遺物出土状況　混入した土師器片 69 点（坏 47，甕 22），縄文土器片４点（深鉢），石器１点（打製石斧）が出土している。

所見　時期は，特定できる遺物が出土していないが，覆土の堆積状況が第 17 号井戸跡と類似していることから，中世と考えられる。

第 16 号井戸跡（第 349 図　PL44）

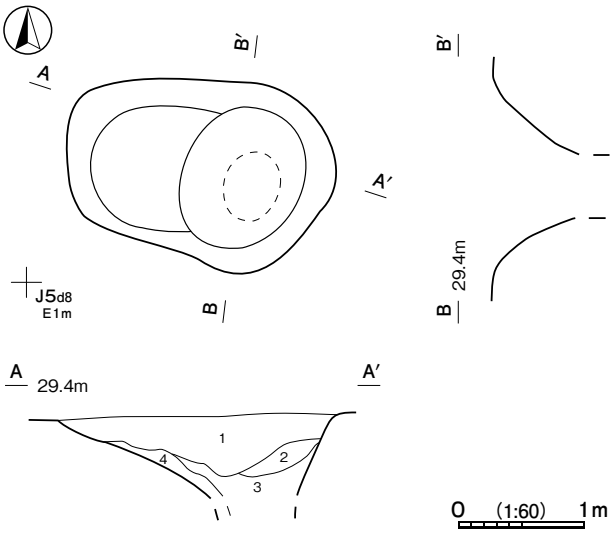
位置　調査区東部のＪ５c8 区，標高 30 mの微高地上に位置している。

規模と形状　長径 2.12 m，短径 1.52 mの楕円形で，長径方向はＮ－ 80°－Ｗである。確認面から漏斗状に掘り込まれている。深さ 80cmまで掘り下げたが，湧水のため下部の調査を断念した。

覆土　４層に分層できる。ロームブロックなどが含まれる不規則な堆積状況から人為堆積である。

遺物出土状況　混入した土師器片２点（椀）が出土している。

所見　時期は，特定できる遺物が出土していないが，方形区画堀の内側に構築されていることから，同時代と考えられる。



土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム小C・粒B，細礫C／粘B，締B
2　10YR5/2　灰黄褐　ローム粒D，砂質粘土粒A，細礫C／粘B，締B
3　10YR4/4　褐　ローム小A，粒A／粘A，締B
4　10YR3/2　黒褐　ローム小C，粒D／粘A，締A

第 349 図　第 16 号井戸跡実測図

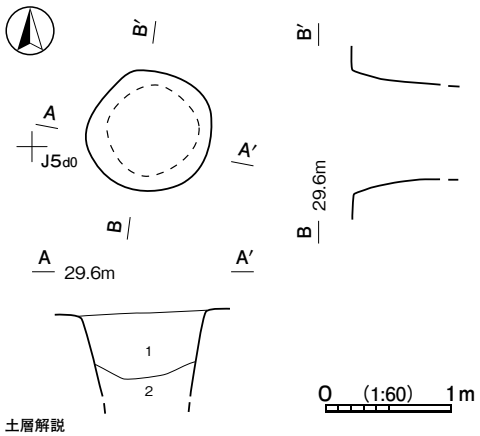
第 17 号井戸跡（第 350 図　PL44）

位置　調査区中央部のＪ５c0 区，標高 30 mの微高地上に位置している。

規模と形状　長径 1.00 m，短径 0.97 mの円形である。確認面から円筒状に掘り込まれている。深さ 70cmまで掘り下げたが，湧水のため下部の調査を断念した。

覆土　２層に分層できる。層厚が厚く，少量であるがロームブロックが含まれていることから人為堆積である。

所見　時期は，特定できる遺物が出土していないが，第１号溝と第２号堀との位置関係から，同時代と考えられる。



土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム小C・粒D，細礫D／粘B，締B
2　10YR3/2　黒褐　ローム小C・粒D′／粘B，締B

第 350 図　第 17 号井戸跡実測図

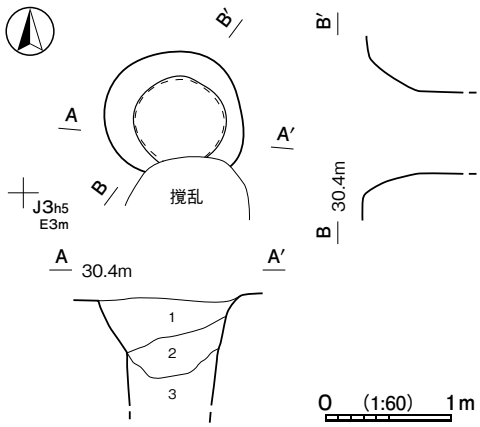
第 18 号井戸跡（第 351 図　PL45）

位置　調査区南西部のＪ３g5 区，標高 30 mの微高地上に位置している。

規模と形状　長径 1.07 m，短径 1.04 mの円形である。確認面から漏斗状に掘り込まれている。深さ 80cmまで掘り下げたが，湧水のため下部の調査を断念した。

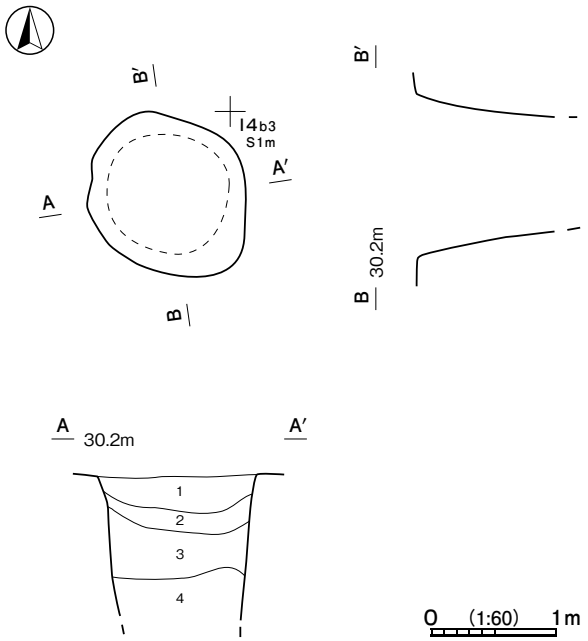
覆土　３層に分層できる。ロームブロックなどが含まれていることから人為堆積である。

所見　時期は，特定できる遺物が出土していないが，覆土の堆積状況が第 17 号井戸跡と類似していることから，中世と考えられる。



土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム小C・粒B，細礫D′／粘B，締B
2　10YR3/2　黒褐　ローム中D・小C・粒A，細礫D／粘B，締B
3　10YR4/2　灰黄褐　ローム小C・粒C，細礫B／粘B，締B

第 351 図　第 18 号井戸跡実測図



土層解説
1　10YR2/2　黒褐　ローム小C・粒C，焼土粒D′，炭化粒C，細礫B／粘B，締B
2　10YR2/2　黒褐　ローム小D・粒C，炭化粒D，砂質粘土小C・粒B，細礫C／粘B，締B
3　10YR3/3　暗褐　ローム小C，粒D，細礫A′／粘B，締C
4　10YR3/3　暗褐　ローム小D′・粒D，細礫D／粘A，締C

第352図　第19号井戸跡実測図

第19号井戸跡（第352図）

位置　調査区北西部のⅠ4b2区，標高30ｍの微高地上に位置している。

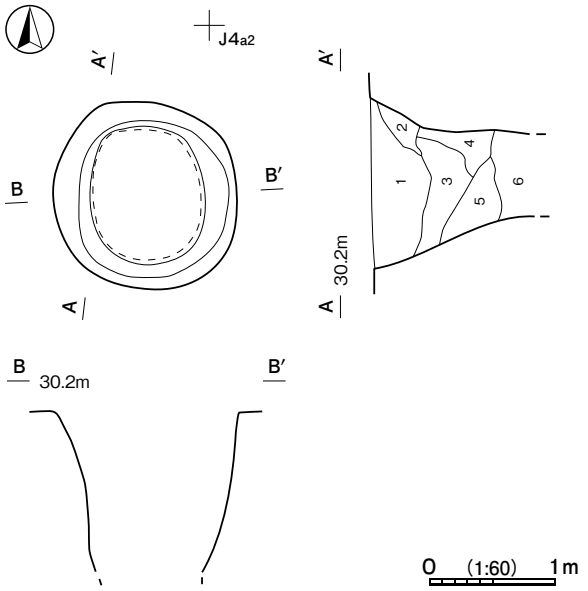
重複関係　第115号竪穴建物跡を掘り込んでいる。

規模と形状　長径1.48ｍ，短径1.17ｍの楕円形で，長径方向はＮ－30°－Ｗである。確認面から漏斗状に掘り込まれている。深さ115㎝まで掘り下げたが，湧水のため下部の調査を断念した。

覆土　４層に分層できる。ロームブロック，焼土，細礫などが含まれていることから人為堆積である。

遺物出土状況　陶器片３点（甕）のほか，混入した土師器片18点（坏10，甕８）が出土している。

所見　時期は，特定できる遺物が出土していないが，第12号堀との位置関係から，同時代と考えられる。



土層解説
1　7.5YR2/2　黒褐　ローム小B・粒B，焼土粒D／粘C，締B
2　10YR2/3　黒褐　ローム粒D，焼土粒D／粘C，締B
3　7.5YR2/3　極暗褐　ローム粒C，焼土粒D／粘C，締B
4　7.5YR2/2　黒褐　ローム粒C，焼土粒D／粘B，締A
5　7.5YR4/3　褐　ローム小C・粒B／粘B，締B
6　7.5YR2/3　極暗褐　ローム小C・粒B／粘B，締B

第353図　第20号井戸跡実測図

第20号井戸跡（第353図　PL45）

位置　調査区西部のＪ4a1区，標高30ｍの微高地上に位置している。

重複関係　第109号竪穴建物跡を掘り込んでいる。

規模と形状　長径1.48ｍ，短径1.45ｍの円形である。確認面から漏斗状に掘り込まれている。深さ128㎝まで掘り下げたが，湧水のため下部の調査を断念した。

覆土　６層に分層できる。ロームブロックが含まれる不規則な堆積状況から人為堆積である。

遺物出土状況　混入した土師器片24点（坏18，甕６）が出土している。

所見　時期は，特定できる遺物が出土していないが，第５・12号堀との位置関係から，同時代と考えられる。

第 21 号井戸跡（第 354 図）

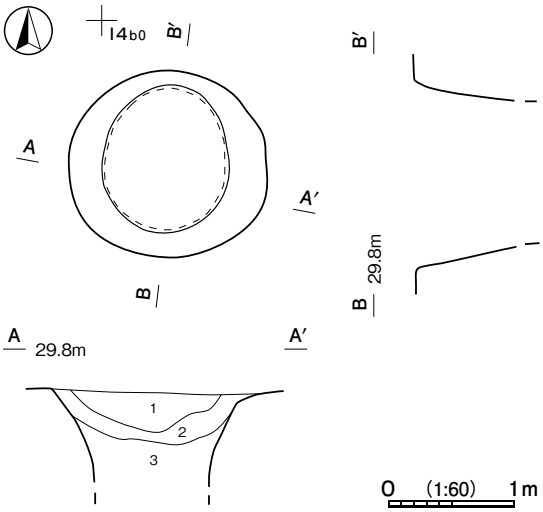
位置　調査区中央部のＩ４b0 区，標高 30 ｍの微高地上に位置している。

重複関係　第 126 号竪穴建物跡を掘り込んでいる。

規模と形状　長径 1.60 ｍ，短径 1.48 ｍの円形である。確認面から漏斗状に掘り込まれている。深さ 82㎝まで掘り下げたが，湧水のため下部の調査を断念した。

覆土　３層に分層できる。ロームブロックなどが含まれていることから人為堆積である。

所見　時期は，特定できる遺物が出土していないが，第１・15 号溝の内側に構築されていることから，同時代と考えられる。



土層解説
1　7.5YR4/2　灰褐　ローム粒Ｃ，細礫Ｂ／粘Ｂ，締Ｂ
2　7.5YR3/2　黒褐　ローム小Ｄ'・粒Ｃ／粘Ｂ，締Ｂ
3　7.5YR2/2　黒褐　ローム中Ｃ・小Ｃ・粒Ｄ／粘Ｂ，締Ｃ

第 354 図　第 21 号井戸跡実測図

第 22 号井戸跡（第 355 図）

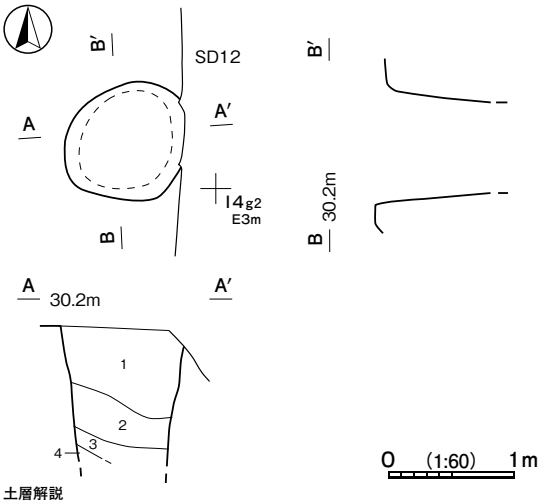
位置　調査区西部のＩ４f2 区，標高 30 ｍの微高地上に位置している。

重複関係　第 119 号竪穴建物跡を掘り込み，第 12 号堀に掘り込まれている。

規模と形状　長径 0.93 ｍ，短径 0.92 ｍの円形である。確認面から円筒状に掘り込まれている。深さ 103㎝まで掘り下げたが，湧水のため下部の調査を断念した。

覆土　４層に分層できる。ロームブロックなどが含まれていることから人為堆積である。

所見　時期は，特定できる遺物が出土していないが，方形区画堀の内側に構築されていることから，同時代と考えられる。



土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム粒Ｃ，細礫Ｄ／粘Ｂ，締Ｂ
2　10YR2/2　黒褐　ローム小Ｃ・粒Ｂ／粘Ｂ，締Ｂ
3　10YR3/4　暗褐　ローム小Ｂ・粒Ｂ／粘Ｂ，締Ｂ
4　10YR3/3　暗褐　ローム小Ｃ・粒Ｂ／粘Ｂ，締Ｂ

第 355 図　第 22 号井戸跡実測図

第 23 号井戸跡（第 356 図　PL45）

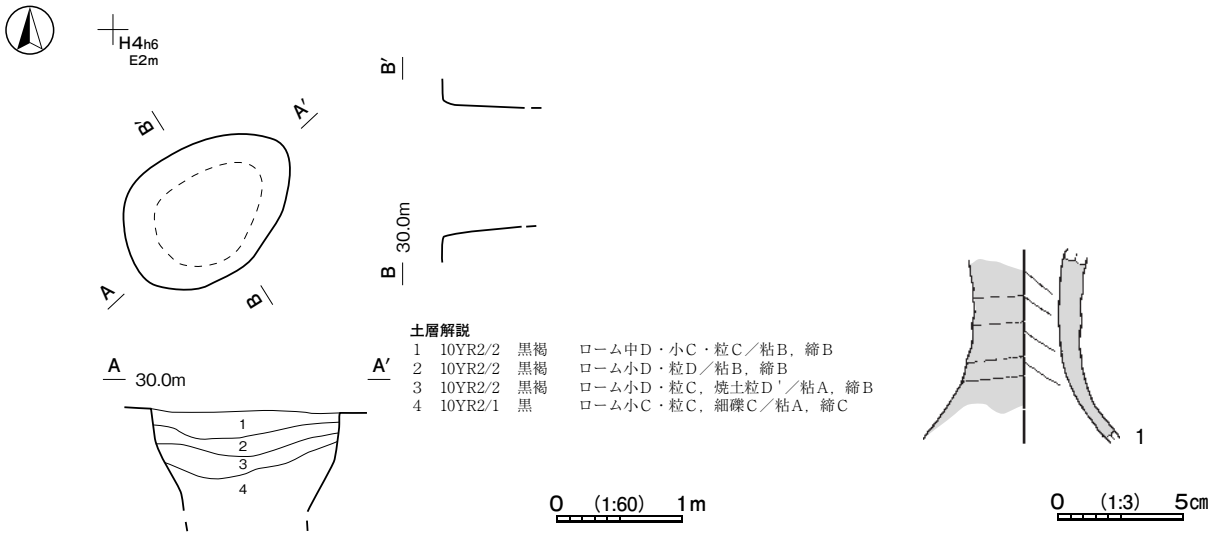
位置　調査区北西部のＨ４h6 区，標高 30 ｍの微高地上に位置している。

規模と形状　長径 1.53 ｍ，短径 1.08 ｍの楕円形で，長径方向はＮ－ 48°－Ｅである。確認面から漏斗状に掘り込まれている。深さ 76㎝まで掘り下げたが，湧水のため下部の調査を断念した。

覆土　４層に分層できる。第１～３層は黒褐色土主体で，均質な堆積であることから自然堆積である。第４層はロームブロックなどが含まれていることから人為堆積である

遺物出土状況　陶器片１点（瓶）のほか，混入した土師器片９点（坏５，甕４），須恵器片１点（坏）が出土している。１は覆土中から出土している。

所見　時期は，出土遺物から 14 ～ 15 世紀代と考えられる。

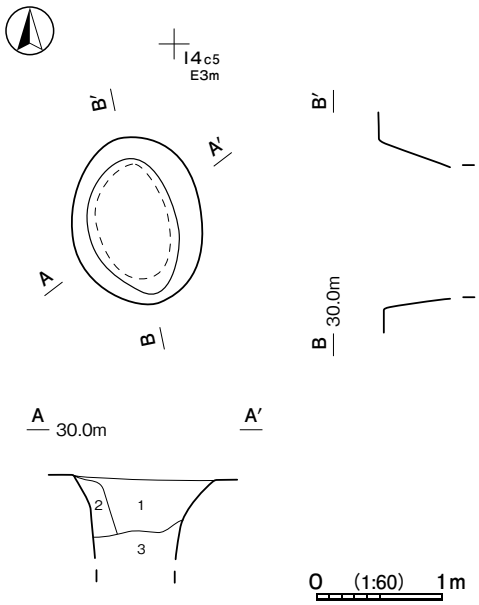


土層解説
1 10YR2/2 黒褐 ローム中D・小C・粒C／粘B，締B
2 10YR2/2 黒褐 ローム小D・粒D／粘B，締B
3 10YR2/2 黒褐 ローム小D・粒C，焼土粒D'／粘A，締B
4 10YR2/1 黒 ローム小C・粒C，細礫C／粘A，締C

第 356 図　第 23 号井戸跡・出土遺物実測図

第 177 表　第 23 号井戸跡出土遺物一覧（第 356 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
1	陶器	瓶	－	(7.6)	－	長石・石英	釉／灰オリーブ 素地／黄灰	良好	外面灰釉流し掛け	覆土中	20%



土層解説
1 10YR3/2 黒褐 ローム小D・粒C，細礫D／粘B，締B
2 10YR3/3 暗褐 ローム小C・粒C／粘B，締B
3 10YR3/3 暗褐 ローム中C・小C・粒D'／粘A，締B

第 357 図　第 24 号井戸跡実測図

第 24 号井戸跡（第 357 図　PL45）

位置　調査区北西部のⅠ4c5 区，標高 30 mの微高地上に位置している。

重複関係　第 95 号竪穴建物跡を掘り込んでいる。

規模と形状　長径 1.33 m，短径 1.03 mの楕円形で，長径方向はN－12°－Wである。確認面から漏斗状に掘り込まれている。深さ 66cmまで掘り下げたが，湧水のため下部の調査を断念した。

覆土　３層に分層できる。ロームブロックなどが含まれる不規則な堆積状況から人為堆積である。

遺物出土状況　混入した土師器片 43 点（坏 29，甕 14），焼成粘土塊２点（12.37g）が出土している。

所見　時期は，特定できる遺物が出土していないが，方形区画堀の内側に構築されていることから，同時代と考えられる。

第 25 号井戸跡（第 358 図　PL45）

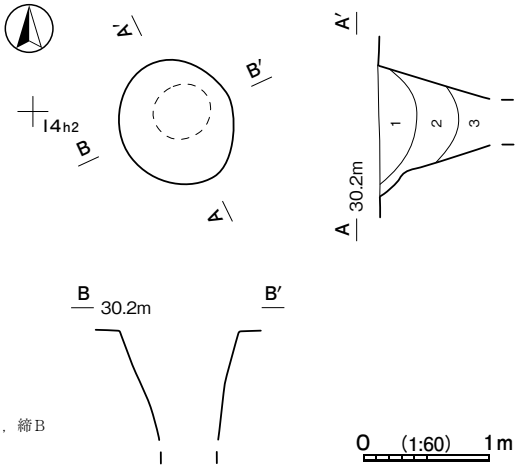
位置　調査区西部のⅠ4h2 区，標高 30 mの微高地上に位置している。

規模と形状　長径 1.06 m，短径 0.95 mの楕円形で，長径方向はN－27°－Wである。確認面から漏斗状に掘り込まれている。深さ 85cmまで掘り下げたが，湧水のため下部の調査を断念した。

覆土　３層に分層できる。ロームブロックが含まれていることから人為堆積である。

遺物出土状況　混入した土師器片 11 点（坏）が出土している。

所見　時期は，特定できる遺物が出土していないが，第 12 号堀との位置関係から，同時代と考えられる。



土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム小Ｄ・粒Ｄ／粘Ｂ，締Ｃ
2　10YR2/2　黒褐　ローム中Ｂ・小Ｃ・粒Ｂ／粘Ｂ，締Ｂ
3　10YR3/4　暗褐　ローム小Ｃ・粒Ｃ／粘Ｂ，締Ｂ

第 358 図　第 25 号井戸跡実測図

第 26 号井戸跡（第 359 図　PL45）

位置　調査区中央部のＩ４h6 区，標高 30 ｍの微高地上に位置している。

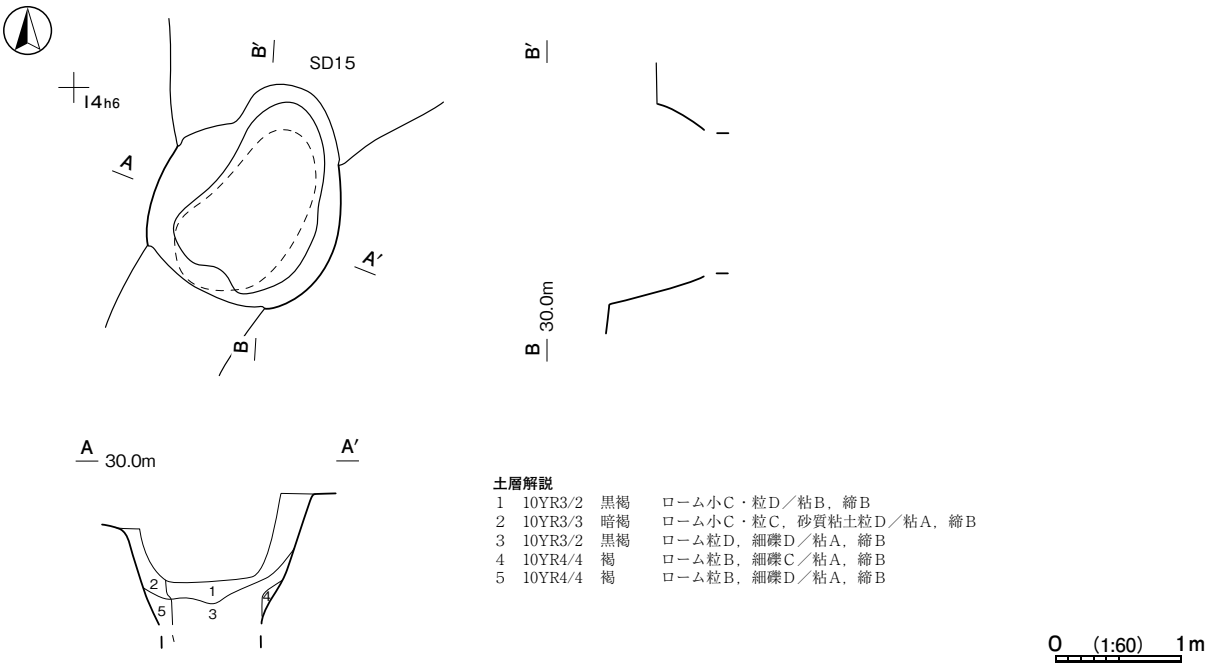
重複関係　第 15 号溝に掘り込まれている。

規模と形状　長径 1.76 ｍ，短径 1.50 ｍの不整楕円形で，長径方向はＮ－４°－Ｅである。確認面から漏斗状に掘り込まれている。深さ 92㎝まで掘り下げたが，湧水のため下部の調査を断念した。

覆土　５層に分層できる。不規則に堆積していることから人為堆積である。

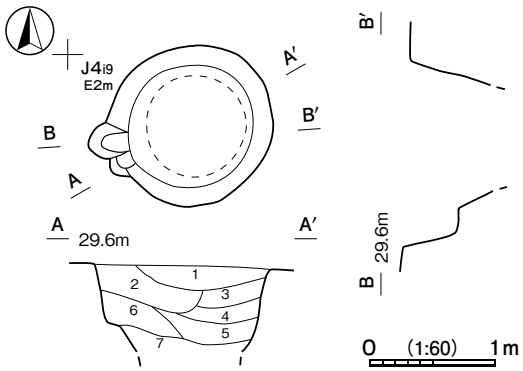
遺物出土状況　陶器片２点（甕）のほか，混入した土師器片１点（坏）が出土している。

所見　時期は，重複関係から 15 世紀中葉以前である。



土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム小Ｃ・粒Ｄ／粘Ｂ，締Ｂ
2　10YR3/3　暗褐　ローム小Ｃ・粒Ｃ，砂質粘土粒Ｄ／粘Ａ，締Ｂ
3　10YR3/2　黒褐　ローム粒Ｄ，細礫Ｄ／粘Ａ，締Ｂ
4　10YR4/4　褐　ローム粒Ｂ，細礫Ｃ／粘Ａ，締Ｂ
5　10YR4/4　褐　ローム粒Ｂ，細礫Ｄ／粘Ａ，締Ｂ

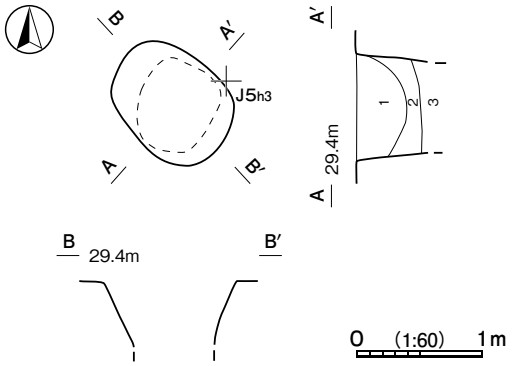
第 359 図　第 26 号井戸跡実測図



土層解説

1	7.5YR2/2	黒褐	ローム中D・小C・粒A／粘C，締A
2	7.5YR2/1	黒	ローム小D・粒C，炭化粒D／粘A，締A
3	7.5YR2/2	黒褐	ローム中D・小C・粒B／粘B，締A
4	7.5YR4/3	褐	ローム中C・粒B，炭化粒D／粘A，締A
5	7.5YR2/2	黒褐	ローム中B・小C・粒B／粘A，締B
6	7.5YR2/1	黒	ローム中D・小C，炭化粒D／粘A，締A
7	7.5YR2/1	黒	ローム小C・粒C，砂質粘土粒D／粘A，締A

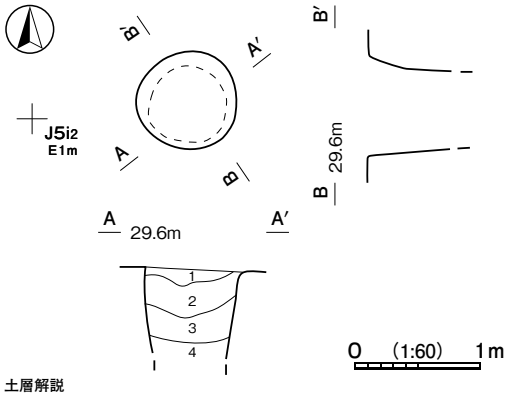
第360図　第27号井戸跡実測図



土層解説

1	10YR3/1	黒褐	ローム小D'・粒D，細礫D／粘B，締B
2	10YR2/1	黒	ローム小D'・粒C／粘B，締B
3	10YR2/1	黒	ローム中D'・小D・粒C，細礫C／粘A，締C

第361図　第28号井戸跡実測図



土層解説

1	7.5YR2/1	黒	ローム小C・粒C／粘B，締A
2	7.5YR2/1	黒	ローム粒D，炭化粒D／粘B，締A
3	7.5YR2/1	黒	ローム小D，炭化粒D／粘B，締A
4	7.5YR2/1	黒	ローム粒D／粘A，締B

第362図　第29号井戸跡実測図

第27号井戸跡（第360図　PL45）

位置　調査区西部のＪ４i9区，標高30ｍの微高地上に位置している。

規模と形状　長径1.28ｍ，短径1.25ｍの円形である。確認面から漏斗状に掘り込まれている。深さ70㎝まで掘り下げたが，湧水のため下部の調査を断念した。

覆土　７層に分層できる。ロームブロックが含まれる不規則な堆積状況から人為堆積である。

遺物出土状況　混入した土師器片12点(坏)が出土している。

所見　時期は，特定できる遺物が出土していないが，覆土の土質から中世と考えられる。

第28号井戸跡（第361図　PL45）

位置　調査区南部のＪ５h2区，標高30ｍの微高地上に位置している。

規模と形状　長径1.02ｍ，短径0.81ｍの楕円形で，長径方向はＮ－50°－Ｗである。確認面から漏斗状に掘り込まれている。深さ50㎝まで掘り下げたが，湧水のため下部の調査を断念した。

覆土　３層に分層できる。黒褐・黒色土主体で含有物が少なく，均質に含まれる堆積状況から自然堆積である。

遺物出土状況　混入した土師器片５点（坏）が出土している。

所見　時期は，特定できる遺物が出土していないが，覆土の土質から，中世と考えられる。

第29号井戸跡（第362図　PL46）

位置　調査区南部のＪ５h2区，標高30ｍの微高地上に位置している。

規模と形状　長径0.81ｍ，短径0.77ｍの円形である。確認面から円筒状に掘り込まれている。深さ65㎝まで掘り下げたが，湧水のため下部の調査を断念した。

覆土　４層に分層できる。含有物が少なく，均質に含まれる堆積状況から自然堆積である。

遺物出土状況　混入した土師器片４点（坏３，甕１）が出土している。

所見　時期は，特定できる遺物が出土していないが，覆土の土質から中世と考えられる。

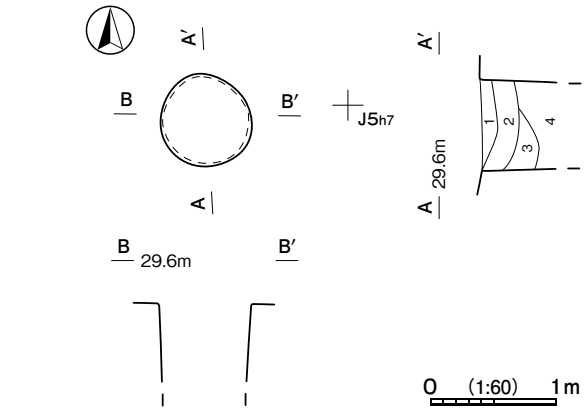
第30号井戸跡（第363図　PL46）

位置　調査区南部のＪ５h6区，標高30ｍの微高地上に位置している。

規模と形状　径0.72ｍの円形である。確認面から円筒状に掘り込まれている。深さ60㎝まで掘り下げたが，湧水のため下部の調査を断念した。

覆土　４層に分層できる。ロームブロックが含まれている不規則な堆積状況から人為堆積である。

所見　時期は，特定できる遺物が出土していないが，覆土の土質から中世と考えられる。



土層解説
1　7.5YR2/2　黒褐　ローム中Ｃ・小Ｃ・粒Ｂ，焼土粒Ｄ，炭化粒Ｄ／粘Ｂ，締Ａ
2　7.5YR2/1　黒　ローム中Ｃ・小Ｄ・粒Ｄ，焼土粒Ｄ／粘Ｂ，締Ａ
3　7.5YR2/1　黒　ローム中Ｄ・小Ｄ，粒Ｃ／粘Ｂ，締Ａ
4　7.5YR2/3　極暗褐　ローム大Ｄ・中Ｃ・小Ｃ／粘Ａ，締Ａ

第363図　第30号井戸跡実測図

第31号井戸跡（第364・365図　PL46）

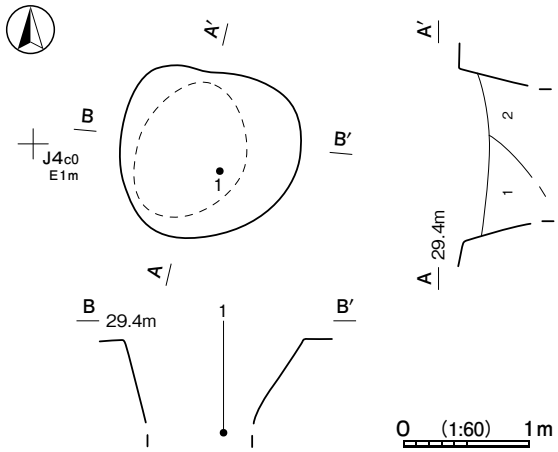
位置　調査区中央部のＪ４c0区，標高30ｍの微高地上に位置している。

規模と形状　長径1.48ｍ，短径1.45ｍの円形である。確認面から漏斗状に掘り込まれている。深さ69㎝まで掘り下げたが，湧水のため下部の調査を断念した。

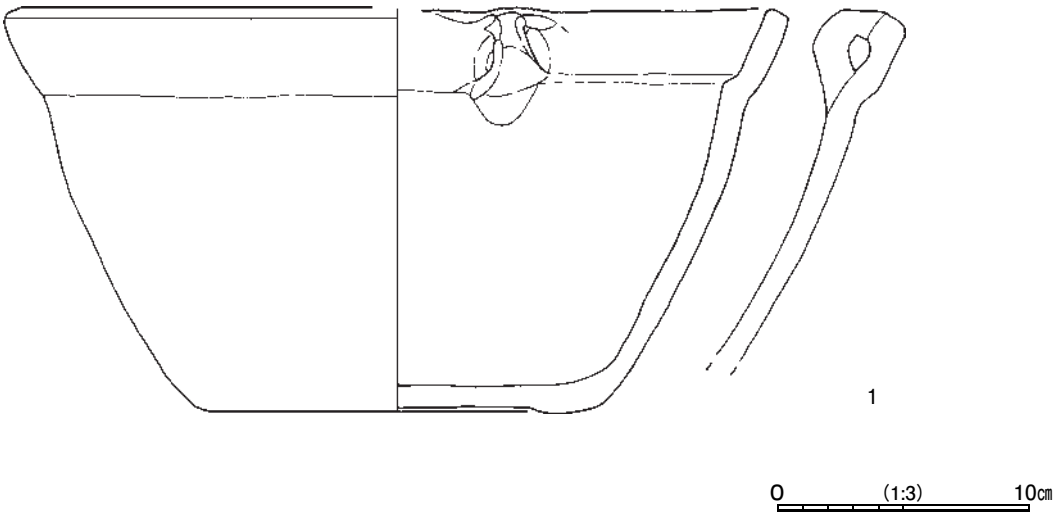
覆土　２層に分層できる。ロームブロックなどが含まれていることから人為堆積である。

遺物出土状況　土師質土器片１点(内耳鍋)，石器１点(砥石）のほか，混入した土師器片２点（甕）が出土している。１は覆土下層から出土している。

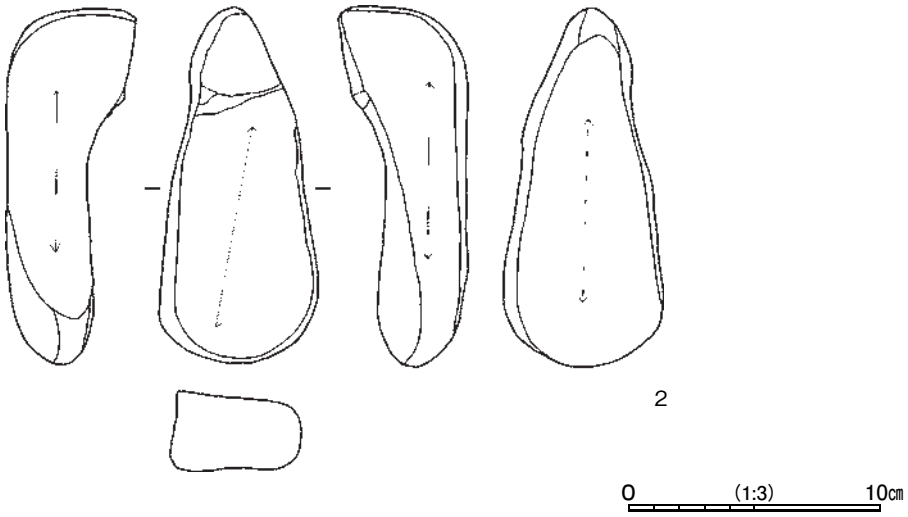
所見　時期は，出土土器から15世紀中葉に比定できる。



土層解説
1　10YR3/3　暗褐　ローム中Ｄ'・小Ｄ・粒Ｃ，細礫Ｃ／粘Ｂ，締Ｂ
2　10YR4/3　にぶい黄褐　ローム大Ｃ・中Ｂ・小Ｂ・粒Ｂ，炭化粒Ｄ／粘Ｂ，締Ｂ



第364図　第31号井戸跡・出土遺物実測図

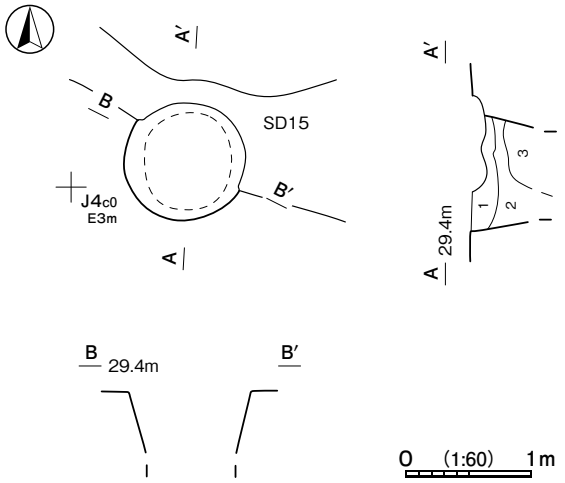


第 365 図　第 31 号井戸跡出土遺物実測図

第 178 表　第 31 号井戸跡出土遺物一覧（第 364・365 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
1	土師質土器	内耳鍋	［30.0］	16.1	［16.2］	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	外面煤付着	覆土下層	40%　PL97

番号	器　種	長さ	幅	厚さ	重量	材　質	特　　徴	出土位置	備　考
2	砥石	14.2	6.4	5.2	469	砂岩	砥面 4 面	覆土中	



土層解説
1　10YR2/2　黒褐　ローム小D・粒B，砂質粘土粒B，細礫D／粘B，締B
2　10YR2/2　黒褐　ローム中C・小B・粒C，砂質粘土粒C／粘B，締B
3　10YR2/1　黒　ローム小C・粒C，砂質粘土粒C，細礫B／粘B，締B

第 366 図　第 32 号井戸跡実測図

第 32 号井戸跡（第 366 図　PL46）

位置　調査区中央部のＪ４b0 区，標高 30 mの微高地上に位置している。

重複関係　第 15 号溝に掘り込まれている。

規模と形状　北部が重複によって壊されているが，径 1.00 mほどの円形である。確認面から円筒状に掘り込まれている。深さ 48cmまで掘り下げたが，湧水のため下部の調査を断念した。

覆土　３層に分層できる。ロームブロック，砂質粘土，細礫が含まれる不規則な堆積状況から人為堆積である。

所見　時期は，重複関係から 15 世紀中葉以前である。

第 33 号井戸跡（第 367 図　PL46）

位置　調査区中央部のＪ５b1 区，標高 30 mの微高地上に位置している。

重複関係　第 15 号溝跡を掘り込んでいる。

規模と形状　長径 1.78 m，短径 1.36 mの不整楕円形で，長径方向はＮ－ 65°－Ｗである。確認面から漏斗状

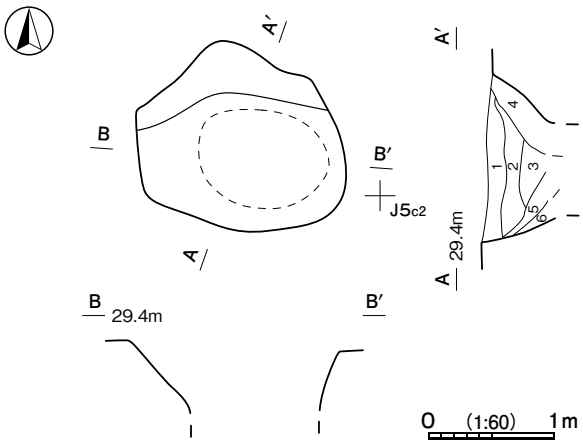
に掘り込まれている。深さ60cmまで掘り下げたが，湧水のため下部の調査を断念した。

覆土　６層に分層できる。第１層は含有物が少なく，均質に含まれる堆積状況から自然堆積である。第２～６層はロームブロックが含まれていることから人為堆積である。

所見　時期は，重複関係から15世紀中葉以降である。

土層解説

1	10YR3/3	暗褐	ローム粒Ｃ，細礫Ｄ'／粘Ｂ，締Ｂ
2	10YR4/2	灰黄褐	ローム小Ｃ・粒Ｄ／粘Ｂ，締Ｂ
3	10YR3/2	黒褐	ローム中Ｄ・小Ｃ・粒Ｄ'／粘Ｂ，締Ｂ
4	10YR2/2	黒褐	ローム中Ｄ・小Ｃ・粒Ｃ／粘Ｂ，締Ｂ
5	10YR4/3	にぶい黄褐	ローム中Ｄ'・小Ｃ・粒Ｂ／粘Ｂ，締Ｂ
6	10YR3/2	黒褐	ローム小Ｄ・粒Ｃ／粘Ｂ，締Ｂ



第367図　第33号井戸跡実測図

第34号井戸跡（第368図　PL46）

位置　調査区中央部のＪ５e2区，標高30ｍの微高地上に位置している。

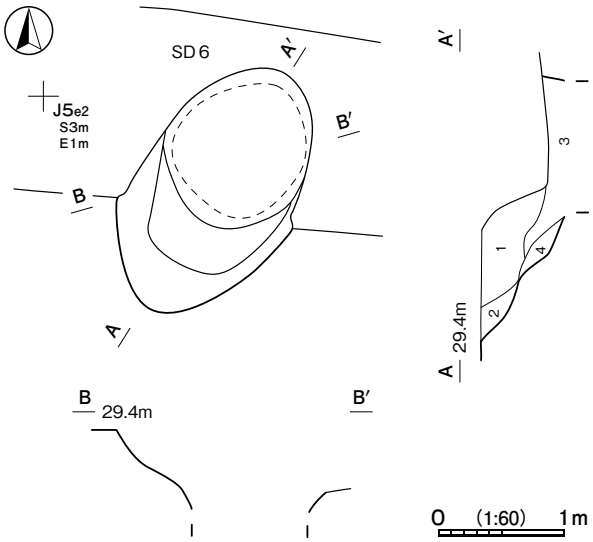
重複関係　第６号堀に掘り込まれている。

規模と形状　北部が第６号堀に掘り込まれているため，確認できた長径は2.16ｍ，短径1.30ｍの楕円形と推定され，長径方向はＮ－32°－Ｅである。確認面から漏斗状に掘り込まれている。深さ64cmまで掘り下げたが，湧水のため下部の調査を断念した。

覆土　４層に分層できる。ロームブロックなどが含まれていることから人為堆積である。

遺物出土状況　土師質土器片13点（内耳鍋）が出土している。

所見　時期は，重複関係から15世紀中葉以降である。



土層解説

1	10YR2/2	黒褐	ローム小Ｃ・粒Ｄ，炭化粒Ｄ'／粘Ｂ，締Ｂ
2	10YR3/3	暗褐	ローム小Ｃ・粒Ｃ／粘Ｂ，締Ｂ
3	10YR2/1	黒	ローム小Ｄ'・粒Ｃ／粘Ａ，締Ｂ
4	10YR2/1	黒	ローム中Ｄ'・小Ｄ・粒Ｄ／粘Ａ，締Ｂ

第368図　第34号井戸跡実測図

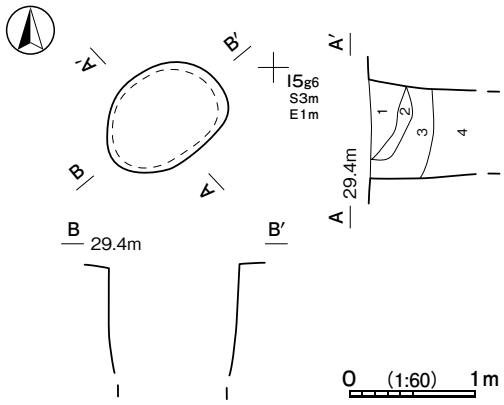
第53号井戸跡（第369図）

位置　調査区中央部のＩ５g6区，標高30ｍの微高地上に位置している。

規模と形状　長径1.02ｍ，短径0.77ｍの楕円形で，長径方向はＮ－51°－Ｅである。確認面から円筒状に掘り込まれている。深さ84cmまで掘り下げたが，湧水のため下部の調査を断念した。

覆土　４層に分層できる。ロームブロックなどが含まれる不規則な堆積状況から人為堆積である。

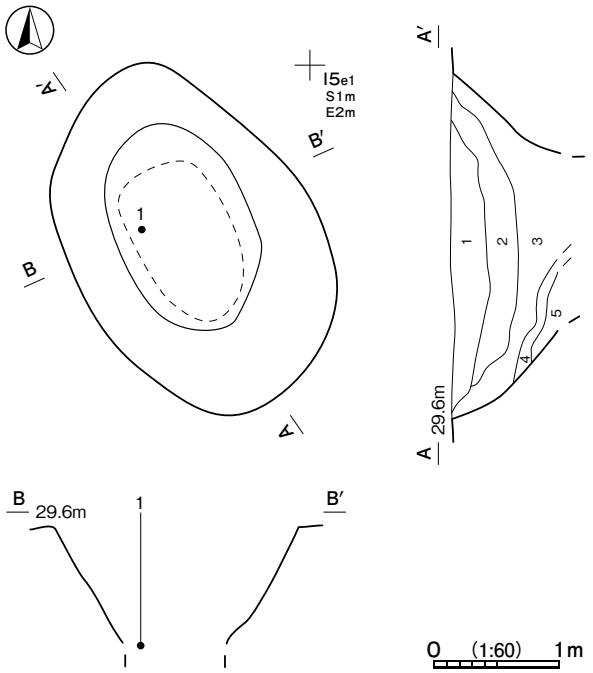
所見　時期は，特定できる遺物が出土していないが，第１・15号溝の内側に構築されていることから，同時代と考えられる。



土層解説

1	10YR4/4	褐	ローム中Ｃ・小Ｃ・粒Ｂ，焼土粒Ｄ'，炭化粒Ｄ／粘Ｂ，締Ｂ
2	10YR4/6	褐	ローム中Ｄ'・粒Ｂ／粘Ｂ，締Ｂ
3	10YR2/3	黒褐	ローム小Ｃ・粒Ｄ，細礫Ｄ'／粘Ｂ，締Ｂ
4	10YR2/1	黒	ローム小Ｄ・粒Ｃ／粘Ｂ，締Ｂ

第369図　第53号井戸跡実測図



土層解説

1	7.5YR2/2	黒褐	ローム粒D，焼土粒D，炭化粒D／粘C，締A
2	7.5YR2/2	黒褐	ローム粒B，炭化粒D／粘B，締A
3	7.5YR3/2	黒褐	ローム小C・粒B，炭化粒D／粘B，締A
4	7.5YR5/4	にぶい褐	ローム粒D，黄色粘土粒A／粘A，締B
5	7.5YR2/1	黒	ローム粒C，炭化粒C／粘A，締C

第54号井戸跡（第370図　PL46）

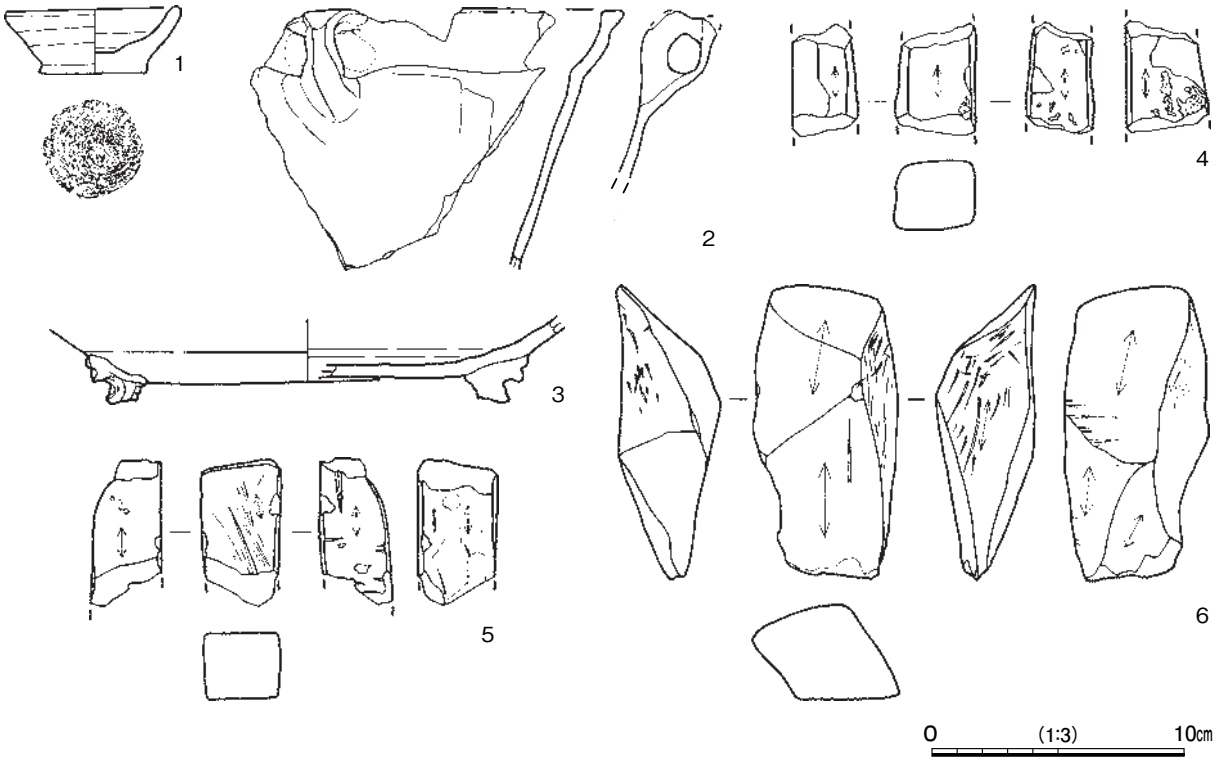
位置　調査区中央部のⅠ5e1区，標高30ｍの微高地上に位置している。

規模と形状　長径2.90ｍ，短径1.95ｍの楕円形で，長径方向はN－17°－Wである。確認面から漏斗状に掘り込まれている。深さ97㎝まで掘り下げたが，湧水のため下部の調査を断念した。

覆土　５層に分層できる。黒褐色土主体で，レンズ状の均質な堆積状況から自然堆積である。

遺物出土状況　土師質土器片２点（小皿，内耳鍋），陶器片１点（大皿），石器３点（砥石），石製品１点（石造物未製品カ）のほか，混入した土師器片34点（坏30，甕４），須恵器片２点（甕）が出土している。１は覆土下層から出土している。

所見　時期は，出土土器から15世紀代と考えられる。



第370図　第54号井戸跡・出土遺物実測図

第179表　第54号井戸跡出土遺物一覧（第370図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　土	色　調	焼成	特　徴	出土位置	備　考
1	土師質土器	小皿	6.6	2.5	4.0	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	ロクロ整形　底部回転糸切り	覆土下層	100%　PL97
2	土師質土器	内耳鍋	－	(10.3)	－	長石・石英・雲母	にぶい赤褐	普通	外面厚く煤付着	覆土中	5％

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
3	陶器	大皿	－	(3.3)	[14.6]	長石・石英	灰白	良好	ロクロ整形　体部下端から底部回転ヘラ削り	覆土中	10%

番号	器　種	長さ	幅	厚さ	重量	材　　質	特　　徴	出土位置	備　考
4	砥石	(4.4)	3.3	2.7	(46.7)	凝灰岩	砥面４面	覆土中	
5	砥石	(5.8)	3.2	2.9	(70.8)	凝灰岩	砥面４面	覆土中	
6	砥石	11.6	5.8	3.9	267	凝灰岩	砥面３面	覆土中	
7	石造物未製品ヵ	(21.4)	(18.5)	(12.6)	(724)	花崗岩	上・下面面取り　鑿による加工痕残る	覆土中	計測のみ

第 180 表　鎌倉・室町時代井戸跡一覧

番号	位 置	長径方向	平 面 形	規　　模		壁　面	底　面	覆　土	主 な 出 土 遺 物	備　考
				長径×短径（m）	深さ（cm）					
1	H6g2	－	円形	1.30 × 1.20	(80)	漏斗状	－	人為	－	SI 22 →本跡
2	H6f3	N－14°－E	楕円形	1.60 × 1.20	(105)	漏斗状	－	自然 人為	－	
3	I5f6	－	円形	1.05 × 1.00	(75)	円筒状		人為	－	
4	H5g6	N－45°－E	楕円形	0.75 × 0.64	(126)	漏斗状	－	人為	－	SI 38,SE37 →本跡
5	H5f6	－	円形	0.92 × 0.92	(94)	円筒状	－	人為	－	
6	I4d9	－	円形	1.08 × 1.06	(62)	円筒状	－	人為	－	
7	I4d9	N－70°－E	楕円形	0.96 × 0.87	(76)	円筒状	－	人為	陶器	
8	I5h2	－	円形	1.13 × 1.12	(75)	円筒状	－	人為	－	SK292 →本跡 PG ５と新旧不明
9	J5b8	N－41°－W	楕円形	1.26 × 1.12	(81)	円筒状	－	人為	－	
10	I5h7	N－70°－W	楕円形	1.66 × 1.10	(34)	漏斗状	－	自然 人為	土師質土器，磨石，砥石	
11	J5b9	N－42°－W	不整楕円形	2.38 × 1.89	(90)	漏斗状	－	人為	陶器	SD １と新旧不明
12	I5i9	N－２°－E	楕円形	3.90 × 3.32	(117)	漏斗状	－	人為	土師質土器，陶器，砥石	
13	J5d6	－	円形	0.76 × 0.72	(52)	円筒状	－	人為	－	
14	J5c6	N－４°－E	不整楕円形	1.18 × 0.80	(67)	漏斗状	－	人為	－	
15	J4j4	－	円形	1.46 × 1.35	(102)	円筒状	－	自然 人為	－	
16	J5c8	N－80°－W	楕円形	2.12 × 1.52	(80)	漏斗状	－	人為	－	
17	J5c0	－	円形	1.00 × 0.97	(70)	円筒状	－	人為	－	
18	J3g5	－	円形	1.07 × 1.04	(80)	漏斗状	－	人為	－	
19	I4b2	N－30°－W	楕円形	1.48 × 1.17	(115)	漏斗状	－	人為	陶器	SI 115 →本跡
20	J4a1	－	円形	1.48 × 1.45	(128)	漏斗状	－	人為	－	SI 109 →本跡
21	I4b0	－	円形	1.60 × 1.48	(82)	漏斗状	－	人為	－	SI 126 →本跡
22	I4f2	－	円形	(0.93) × 0.92	(103)	円筒状	－	人為	－	SI 119 →本跡→ SD12
23	H4h6	N－48°－E	楕円形	1.53 × 1.08	(76)	漏斗状	－	自然 人為	陶器	
24	I4c5	N－12°－W	楕円形	1.33 × 1.03	(66)	漏斗状	－	人為	－	SI 95 →本跡
25	I4h2	N－27°－W	楕円形	1.06 × 0.95	(85)	漏斗状	－	人為	－	
26	I4h6	N－４°－E	不整楕円形	(1.76) × 1.50	(92)	漏斗状		人為	陶器	本跡→ SD15
27	J4i9	－	円形	1.28 × 1.25	(70)	漏斗状	－	人為	－	
28	J5h2	N－50°－W	楕円形	1.02 × 0.81	(50)	漏斗状	－	自然	－	
29	J5h2	－	円形	0.81 × 0.77	(65)	円筒状	－	自然	－	
30	J5h6	－	円形	0.72 × 0.72	(60)	円筒状	－	人為	－	
31	J4c0	－	円形	1.48 × 1.45	(69)	漏斗状	－	人為	土師質土器，砥石	
32	J4b0	－	円形	1.00 × (0.99)	(48)	円筒状	－	人為	－	本跡→ SD15
33	J5b1	N－65°－W	不整楕円形	1.78 × 1.36	(60)	漏斗状	－	自然 人為	－	SD15 →本跡
34	J5e2	N－32°－E	［楕円形］	(2.16) × (1.30)	(64)	漏斗状	－	人為	土師質土器	本跡→ SD ６
53	I5g6	N－51°－E	楕円形	1.02 × 0.77	(84)	円筒状	－	人為	－	
54	I5e1	N－17°－W	楕円形	2.90 × 1.95	(97)	漏斗状	－	自然	土師質土器，陶器，砥石， 石造物未製品ヵ	

(4) 堀跡・溝跡

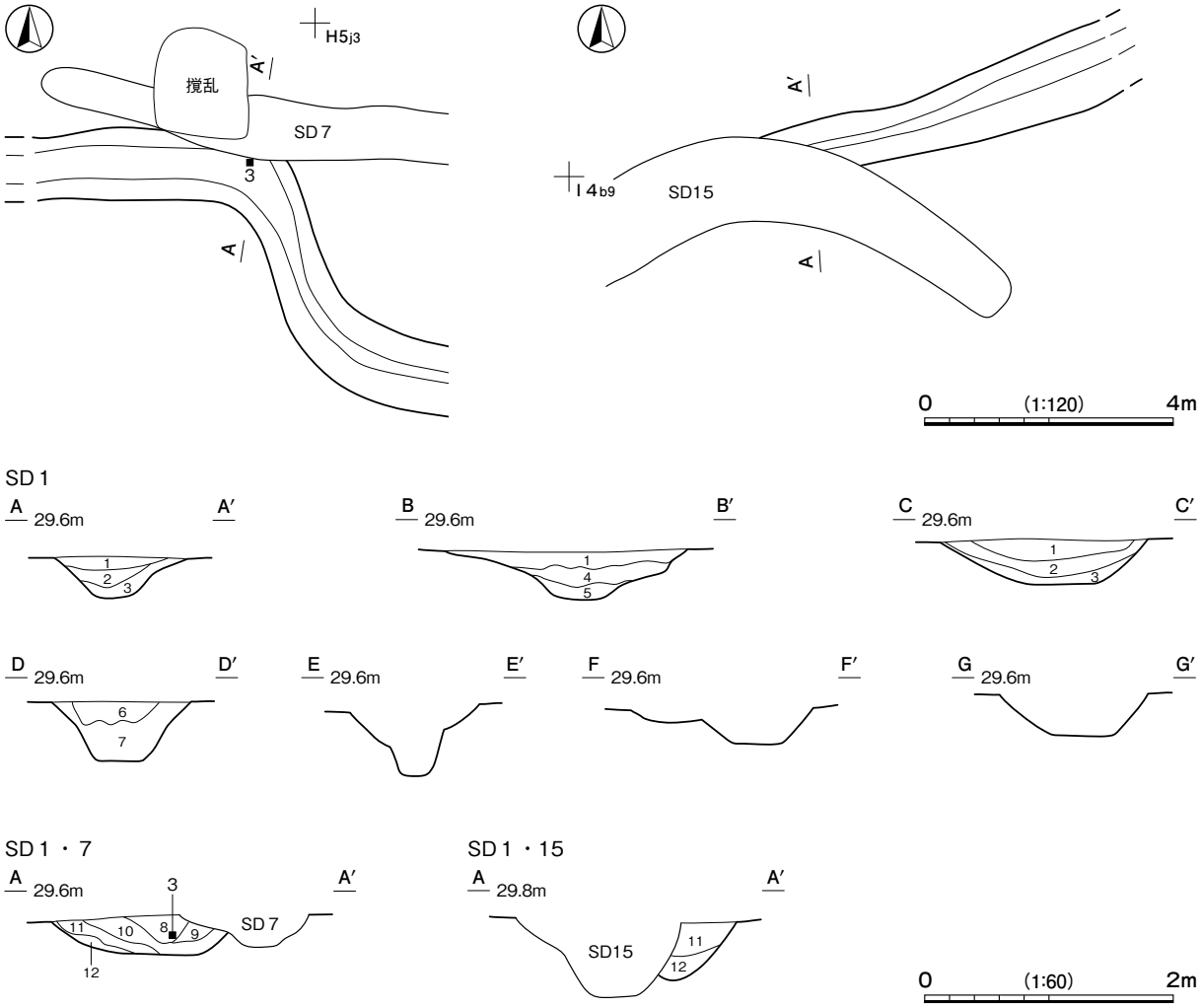
今回の調査では，堀跡５条・溝跡 15 条を確認した。本跡では上幅 1.4 m以上，深さ 0.7 m以上，断面形が逆台形で，平面形が直線状またはＬ字状のものを堀跡，それ以外を溝跡とした。遺物出土地点及び付属施設周辺を抜粋して掲載し，その他の平面図は全体図（付図）に掲載した。以下，実測図及び一覧表を記載する。

第１号溝跡（第 371・372 図　付図　PL47）

位置　調査区北部から中央部のＩ４a8 ～Ｊ５a9 区，標高 29 mほどの微高地上に位置している。

重複関係　第 47・49・126 号竪穴建物跡を掘り込み，第 217・224 号土坑，第７・15 号溝に掘り込まれている。第 11 号井戸跡と重複しているが，新旧関係は不明である。

規模と形状　Ｊ５a9 区から北東方向（Ｎ－ 16°－Ｅ）へ，Ｉ５j9 区から北西方向（Ｎ－ 56°－Ｗ）へ，Ｉ５i7 区から北方向（Ｎ－ 12°－Ｅ）へ，Ｉ５b8 区から西方向（Ｎ－ 78°－Ｗ）へ，Ｉ５a3 区から北西方向（Ｎ－ 21°－Ｗ）へ，Ｈ５j2 区から南西方向（Ｎ－ 115°－Ｗ）へ延びている。長さは 82.20 mで，上幅 82 ～ 198㎝，下幅 12 ～ 102㎝，深さ 62 ～ 98㎝である。断面形は逆台形で，壁は外傾して立ち上がっている。



土層解説

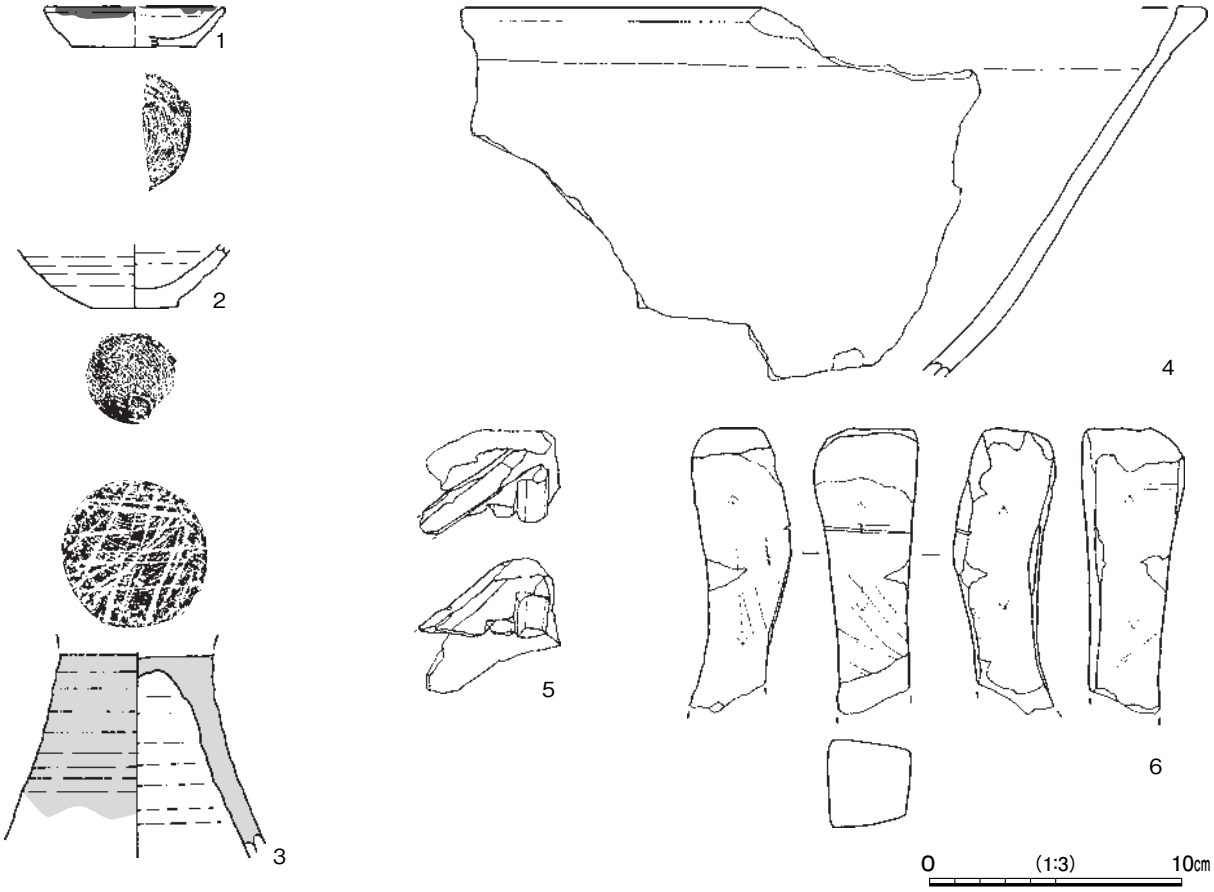
1	10YR3/4	暗褐	ローム中Ｄ・小Ｃ・粒Ｄ／粘Ｂ，締Ａ
2	10YR3/2	黒褐	ローム小Ｄ・粒Ｃ／粘Ｂ，締Ｂ
3	10YR3/3	暗褐	ローム中Ｃ・小Ｃ・粒Ｂ／粘Ｂ，締Ｂ
4	7.5YR3/3	暗褐	ローム中Ｃ・小Ｃ・粒Ａ／粘Ｂ，締Ａ
5	7.5YR4/3	褐	ローム中Ｃ・小Ｄ・粒Ｂ／粘Ａ，締Ｂ
6	10YR3/3	暗褐	ローム中Ｃ・小Ｃ・粒Ｃ／粘Ｂ，締Ｂ
7	10YR4/3	にぶい黄褐	ローム中Ｂ・小Ｂ・粒Ａ／粘Ｂ，締Ｂ
8	10YR3/2	黒褐	ローム中Ｃ・粒Ｃ，焼土粒Ｄ／粘Ｂ，締Ｂ
9	10YR2/3	黒褐	ローム小Ｄ・粒Ｄ，焼土小Ｃ／粘Ｂ，締Ｂ
10	10YR3/3	暗褐	ローム中Ｄ・小Ｂ・粒Ｃ／粘Ｂ，締Ｂ
11	10YR2/3	黒褐	ローム中Ｃ・小Ｂ・粒Ｂ／粘Ｂ，締Ｂ
12	10YR3/2	黒褐	ローム中Ｃ・小Ｂ・粒Ｂ／粘Ｂ，締Ｂ

第 371 図　第１号溝跡実測図

覆土　12 層に分層できる。第１～３層は含有物が均質に含まれる堆積状況から自然堆積である。第４～ 12 層は不規則な堆積状況から人為堆積である。

遺物出土状況　土師質土器片 95 点（小皿２, 内耳鍋 93), 陶器片４点（甕２, 鉢１, 花瓶１), 土製品１点（瓦塔), 石器１点（砥石）のほか，混入した土師器片 457 点（坏 290，椀７，器台２，高坏 14，壺４，甕 139，甑１), 須恵器片７点（坏４，甕３），焼成粘土塊１点（9.81g）も出土している。３は花瓶の脚部であり，北部の覆土下層から斜位で出土している。

所見　時期は，出土遺物から 15 世紀中葉に廃絶されたと考えられる。第１・15 号溝内側の居住空間を区画する溝として機能したと考えられる。



第 372 図　第１号溝跡出土遺物実測図

第 181 表　第１号溝跡出土遺物一覧（第 372 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
1	土師質土器	小皿	[7.0]	1.6	[5.0]	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	ロクロ整形　底部回転糸切り　外・内面口縁部油煙付着	覆土中	40%
2	土師質土器	小皿	－	(2.5)	3.5	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	ロクロ整形　底部回転糸切り	覆土中	50%
3	陶器	花瓶	－	(8.0)	－	長石	灰オリーブ	良好	脚部　ロクロ整形　外面灰釉流し掛け　上面糸切り後，刻み目	覆土下層	10% 瀬戸・美濃系
4	土師質土器	内耳鍋	－	(14.6)	－	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	外面に厚く煤付着	覆土中	10%

番号	器　種	幅	厚さ	高さ	重量	胎　土	色調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
5	瓦塔	(5.5)	(4.1)	(5.3)	(46.85)	長石・石英	灰白	良好	瓦質　隅木表現周辺のみ	覆土中	PL99

番号	器　種	長さ	幅	厚さ	重量	材　質	特　　徴	出土位置	備　考
6	砥石	(11.3)	4.1	4.0	(202)	凝灰岩	砥面４面	覆土中	

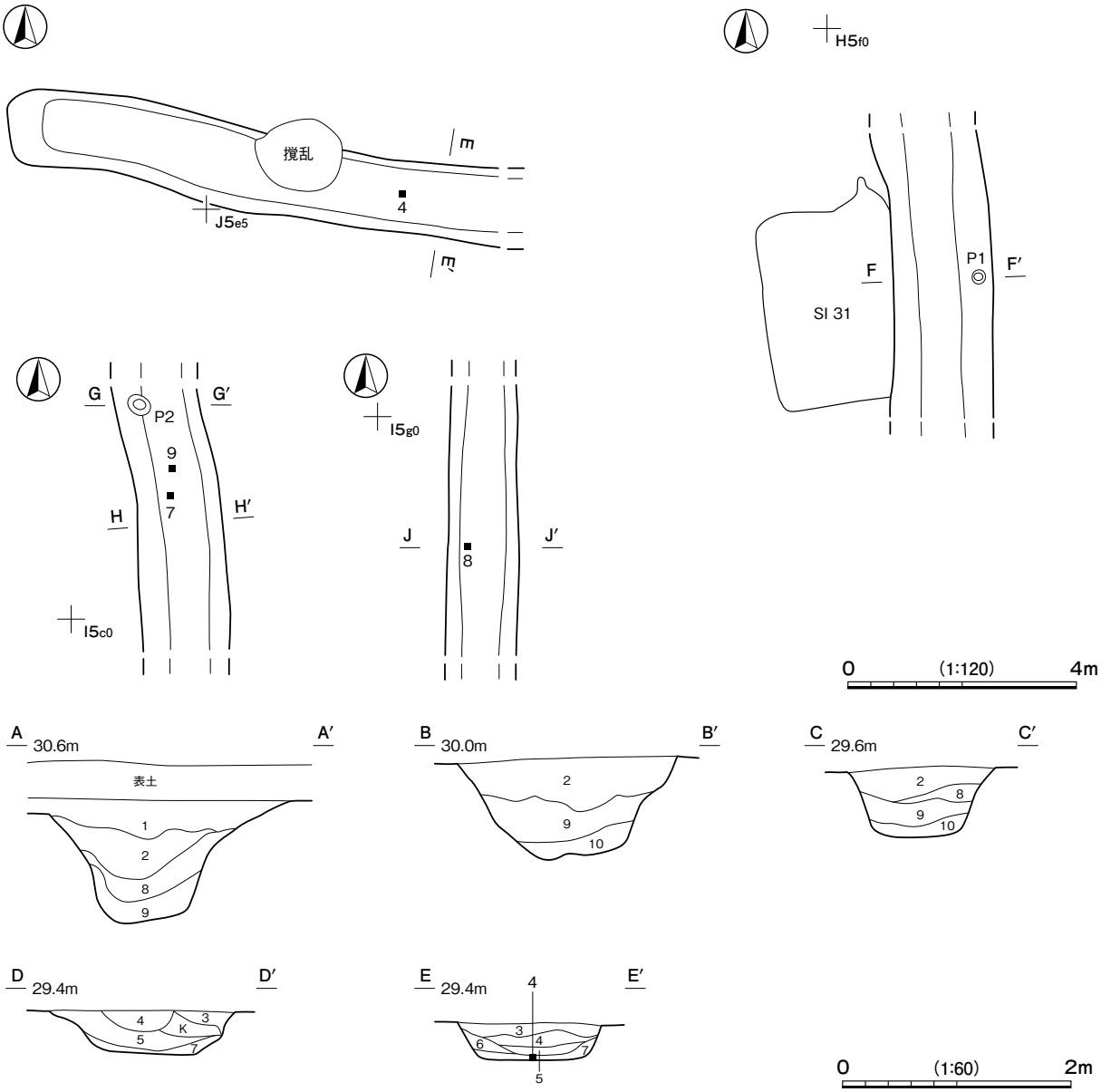
第２号堀跡（第 373 ～ 375 図　付図　PL47・48）

位置　調査区北部から中央部のＨ５e0 ～ Ｊ５d4 区，標高 30 mほどの微高地上に位置している。

重複関係　第９･27･31･32 号竪穴建物跡，第 364 号土坑を掘り込み，第 511 号土坑に掘り込まれている。第５・７号柱穴列と重複しているが，新旧関係は不明である。

規模と形状　北部が調査区域外に延びており，長さは 99.80 mしか確認できなかった。Ｊ５d4 区から東方向（Ｎ－ 95°－Ｅ）へ，Ｊ５d9 区から北方向（Ｎ－０°）へ延びている。上幅 96 ～ 180cm，下幅 54 ～ 106cm，深さ 68 ～ 180cmである。断面形は逆台形で，壁は外傾して立ち上がっている。

ピット　Ｐ１は径 20cmほどの円形で，堀の上端からの深さは 54cmである。Ｐ２は径 35cmほどの円形で，堀の上端からの深さは 78cmである。



土層解説

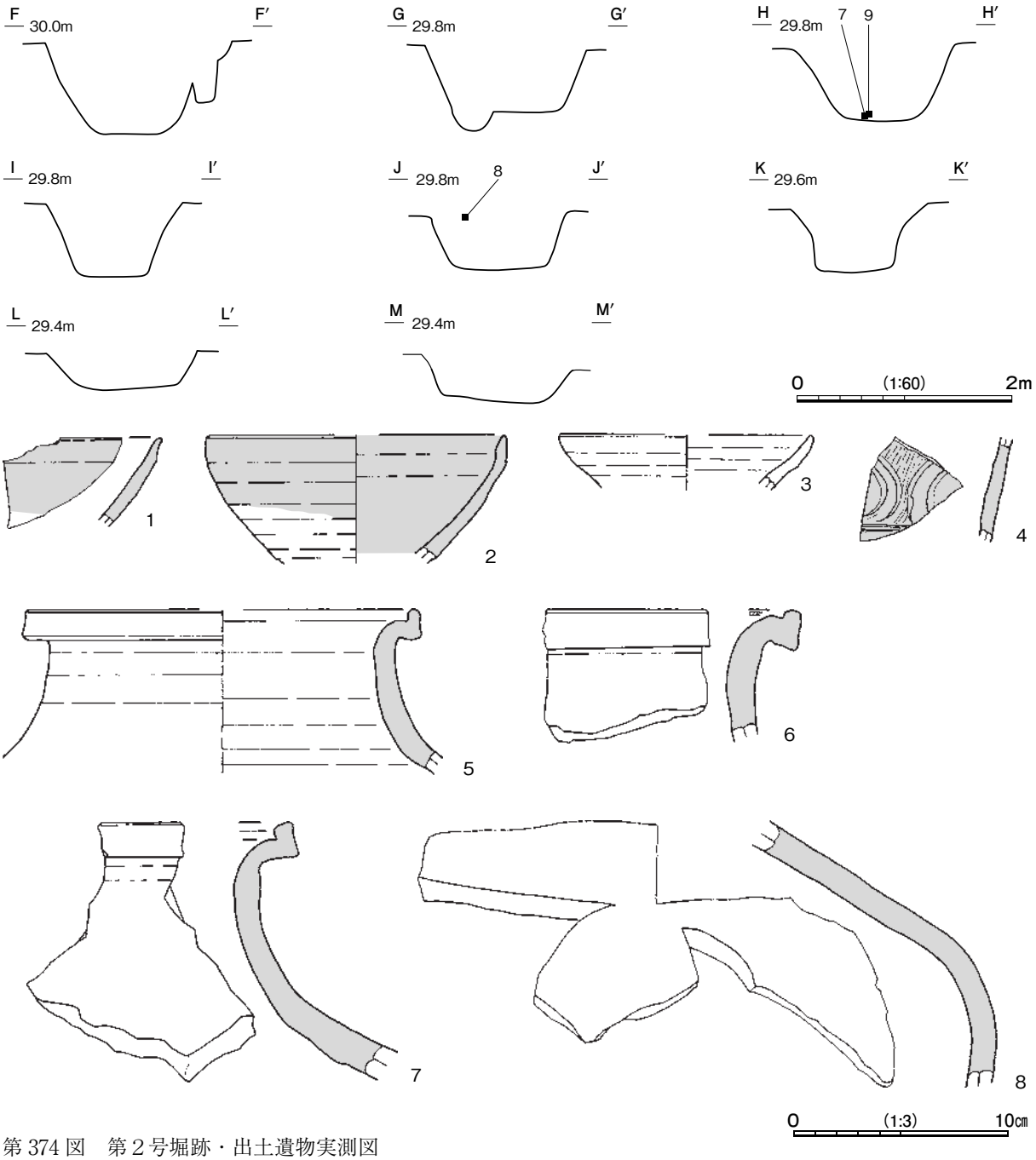
1	10YR3/3	暗褐	ローム中Ｄ・小Ｃ・粒Ｂ／粘Ｂ，締Ｂ
2	10YR3/3	暗褐	ロームＤ・小Ｃ・粒Ｃ，焼土粒Ｄ／粘Ｂ，締Ｂ
3	10YR3/2	黒褐	ローム中Ｄ'・小Ｃ・粒Ｃ／粘Ｂ，締Ｂ
4	10YR3/2	黒褐	ローム小Ｂ・粒Ｂ／粘Ｂ，締Ｂ
5	10YR2/3	黒褐	ローム中Ｃ・小Ｂ・粒Ｂ／粘Ｂ，締Ｂ
6	10YR3/2	黒褐	ローム中Ｄ・小Ｃ・粒Ｂ，焼土粒Ｄ／粘Ｂ，締Ｂ
7	10YR2/3	黒褐	ローム小Ｃ・粒Ｂ／粘Ｂ，締Ｂ
8	10YR3/2	黒褐	ローム中Ｄ・小Ｄ・粒Ｃ，焼土粒Ｄ／粘Ｂ，締Ｂ
9	10YR2/2	黒褐	ローム小Ｃ・粒Ｃ／粘Ｂ，締Ｂ
10	10YR2/1	黒	ローム小Ｄ・粒Ｄ／粘Ａ，締Ｂ

第 373 図　第２号堀跡実測図

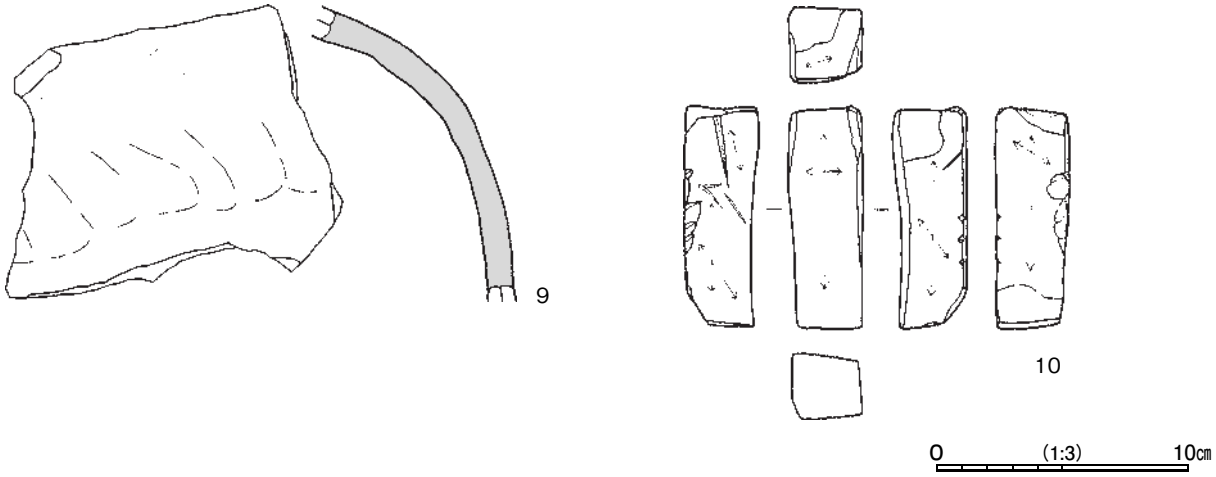
覆土　10 層に分層できる。含有物が均質に入っている堆積状況から自然堆積である。第６～８層の上面に掘り込みの痕跡があり，堀浚いが行われたと考えられる。

遺物出土状況　土師質土器片５点（小皿１，内耳鍋４），陶器片 14 点（碗２，甕 12），磁器片１点（梅瓶），石器７点（磨石２，砥石５），鉄滓１点（205g）のほか，混入した土師器片 1,199 点（坏 903，椀 10，坩１，器台１，高坏 15，鉢１，壺２，甕 266），須恵器片 25 点（坏５，甕 20），土製品２点（支脚，紡錘車），が出土している。４は南部の底面から出土している。９は中央部の底面から，７は覆土下層から，８は覆土上層からそれぞれ出土している。

所見　時期は，出土遺物から 15 世紀中葉に廃絶されたと考えられる。館を区画する堀として機能したと考えられる。覆土第１層の堆積状況から，堀の外側に比べ，方形区画内は低くなるように整地されていたと考えられる。



第 374 図　第２号堀跡・出土遺物実測図



第 375 図　第２号堀跡出土遺物実測図

第 182 表　第２号堀跡出土遺物一覧（第 374・375 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
1	陶器	碗	－	(4.1)	－	長石	釉／灰オリーブ 素地／浅黄	良好	ロクロ整形　灰釉付け掛け	覆土中	５％　PL103
2	陶器	碗	[13.6]	(6.0)	－	長石	釉／暗赤褐 素地／浅黄	普通	ロクロ整形　鉄釉付け掛け	覆土中	20%　PL103 瀬戸・美濃系
3	土師質 土器	小皿	[11.7]	(2.6)	－	長石・石英・ 赤色粒子	橙	普通	ロクロ整形	覆土中	20%
4	磁器	梅瓶	－	(4.8)	－	緻密	灰白	良好	画花文	底面	５％　PL103 景徳鎮
5	陶器	甕	[17.8]	(7.6)	－	長石・細礫	にぶい褐	良好	口縁部ロクロ整形　頸部以下降灰	覆土中	５％ 常滑窯
6	陶器	甕	－	(6.2)	－	長石	にぶい 黄橙	良好	口縁部ロクロ整形	覆土中	５％ 常滑窯
7	陶器	甕	－	(12.0)	－	長石	にぶい褐	良好	口縁部ロクロ整形　頸部以下降灰	覆土下層	５％ 常滑窯
8	陶器	甕	－	(12.4)	－	長石	灰黄褐	良好	頸部以下降灰	覆土上層	５％ 常滑窯
9	陶器	甕	－	(11.7)	－	長石・細礫	黄褐	良好	頸部以下降灰	底面	10% 常滑窯

番号	器　種	長さ	幅	厚さ	重量	材　　質	特　　徴	出土位置	備　考
10	砥石	8.8	3.0	2.9	120	凝灰岩	砥面５面	覆土中	

第３号堀跡（第 376 図　付図　PL47・49）

位置　調査区中央部のＩ６c1 ～Ｊ５e4 区，標高 30 ｍほどの微高地上に位置している。

重複関係　第５・９・14・65・79 号竪穴建物跡，第 20・23・477・499 号土坑を掘り込んでいる。

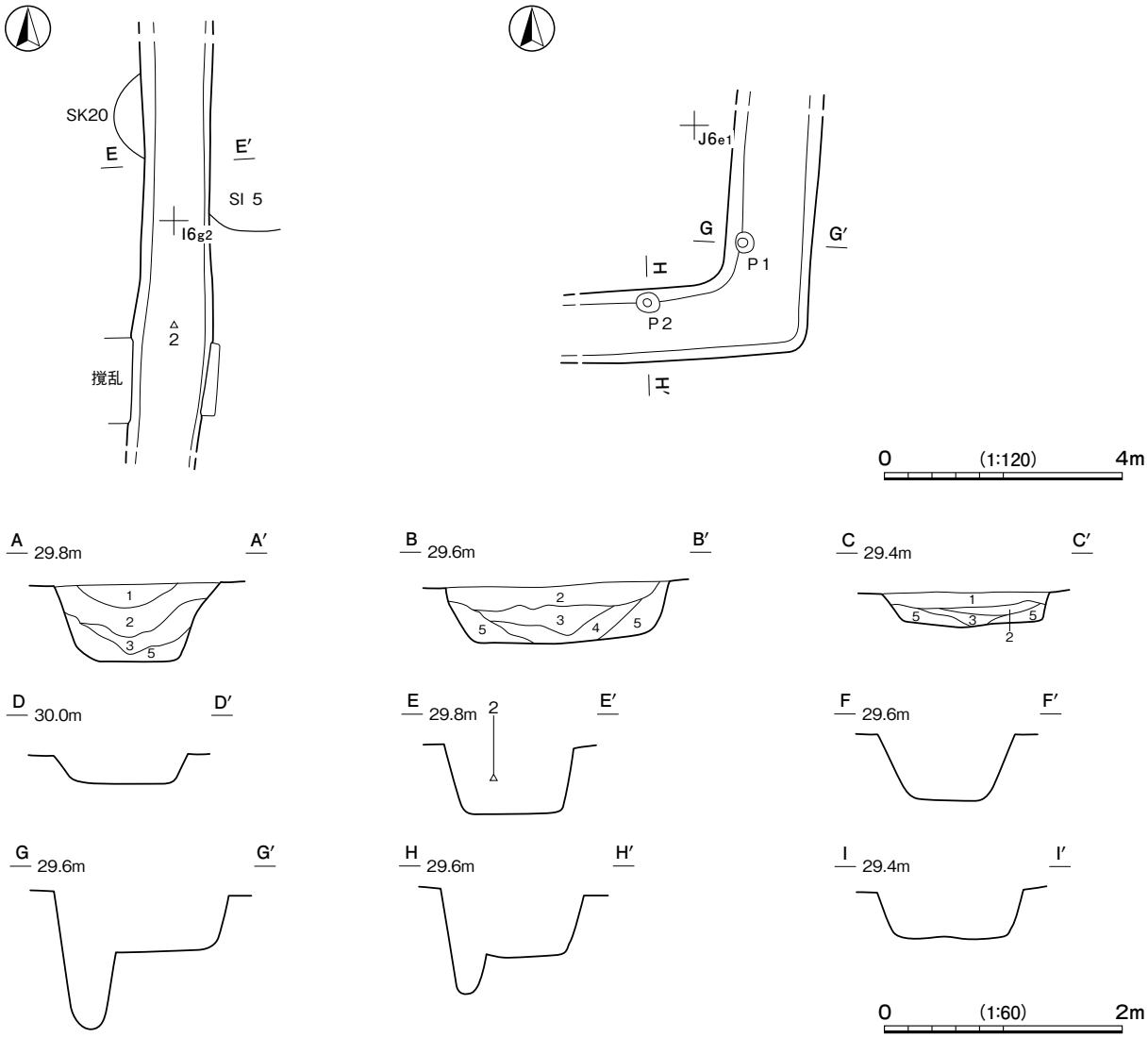
規模と形状　Ｊ５e4 区から東方向（Ｎ－ 85°－Ｅ）へ，Ｊ６e1 区から北方向（Ｎ－０°）へ延びている。長さは 77.20 ｍで，上幅 110 ～ 144cm，下幅 74 ～ 120cm，深さ 60 ～ 110cmである。断面形は逆台形で，壁は外傾して立ち上がっている。

ピット　２か所。Ｐ１・Ｐ２は径 18・20cmの円形で，溝の上端からの深さは 113・86cmである。

覆土　５層に分層できる。第１・２層は含有物が均質に入っている堆積状況から自然堆積である。第３～５層はロームブロックが含まれていることから人為堆積である。第５層の上面に掘り込みの痕跡があり，堀浚いが行われたと考えられる。

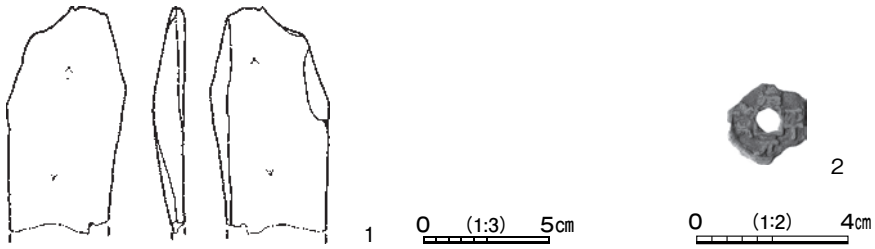
遺物出土状況　陶器片３点（甕），石器５点（砥石），銭貨１点のほか，混入した土師器片 524 点（坏 439，高坏４，鉢８，甕 73），須恵器片７点（坏１，高台付坏１，甕５）が出土している。２は北部の覆土中層から出土している。

所見　時期は，出土遺物から 15 世紀中葉に廃絶されたと考えられる。館を区画する堀として機能したと考えられる。



土層解説

1　10YR3/4　暗褐　ローム小C・粒C，焼土粒D／粘B，締B
2　10YR3/2　黒褐　ローム小C・粒B／粘B，締B
3　10YR2/2　黒褐　ローム中C・小C・粒B／粘B，締B
4　10YR3/3　暗褐　ローム大C・中C・小B・粒B／粘B，締B
5　10YR2/3　黒褐　ローム小D・粒C／粘A，締B



第 376 図　第３号堀跡・出土遺物実測図

第 183 表　第３号堀跡出土遺物一覧（第 376 図）

番号	器　種	長さ	幅	厚さ	重量	材　　質	特　　徴	出土位置	備　考
1	砥石	(8.9)	4.7	1.3	(48.65)	凝灰岩	砥面２面	覆土中	

番号	器　種	径	孔幅	厚さ	重量	材　　質	特　　徴	出土位置	備　考
2	銭貨	[2.2]	0.6	0.15	(1.67)	銅	1064 年「治平元寶」北宋銭	覆土中層	PL104

第５号堀跡（第 377・378 図　付図　PL47・49）

位置　調査区中央部から南西部のＩ３j6 ～ Ｊ５d3 区，標高 30 ｍほどの微高地上に位置している。

重複関係　第 88･105･109 号竪穴建物跡, 第 147･320･441 号土坑を掘り込み, 第 451 号土坑に掘り込まれている。

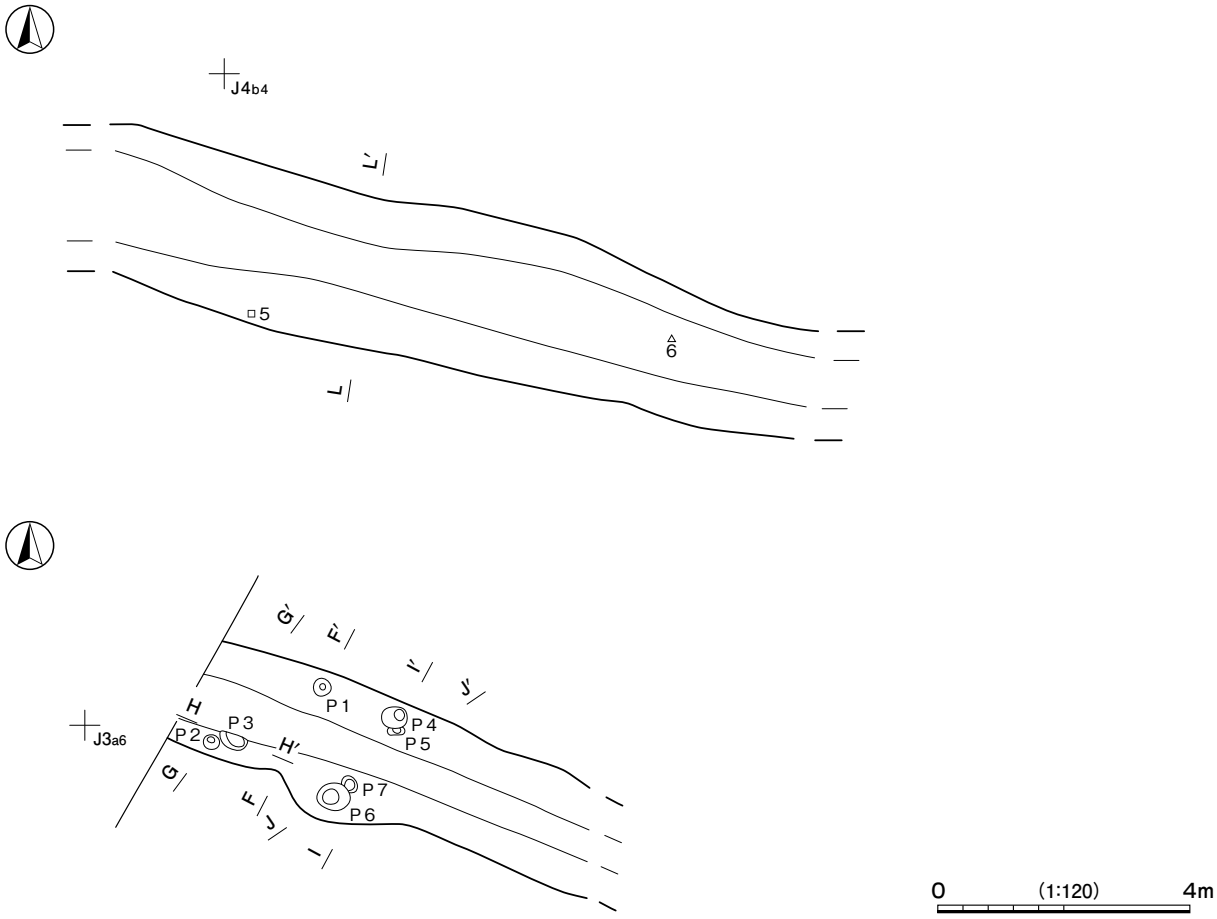
規模と形状　西部が調査区域外に延びており, 長さは 68.92 ｍしか確認できなかった。Ｊ５d3 区から西方向（N － 78° － W）へ延びている。上幅 134 ～ 248cm，下幅 48 ～ 120cm，深さ 43 ～ 84cmである。断面形は逆台形で，壁は外傾して立ち上がっている。

ピット　７か所。Ｐ１～Ｐ７は径 15 ～ 50cmの円形または楕円形で，深さ 27 ～ 88cmである。西部の堀の壁面下に位置し，直線上に並ぶものや対になるものがあり，橋脚の支柱穴である可能性がある。

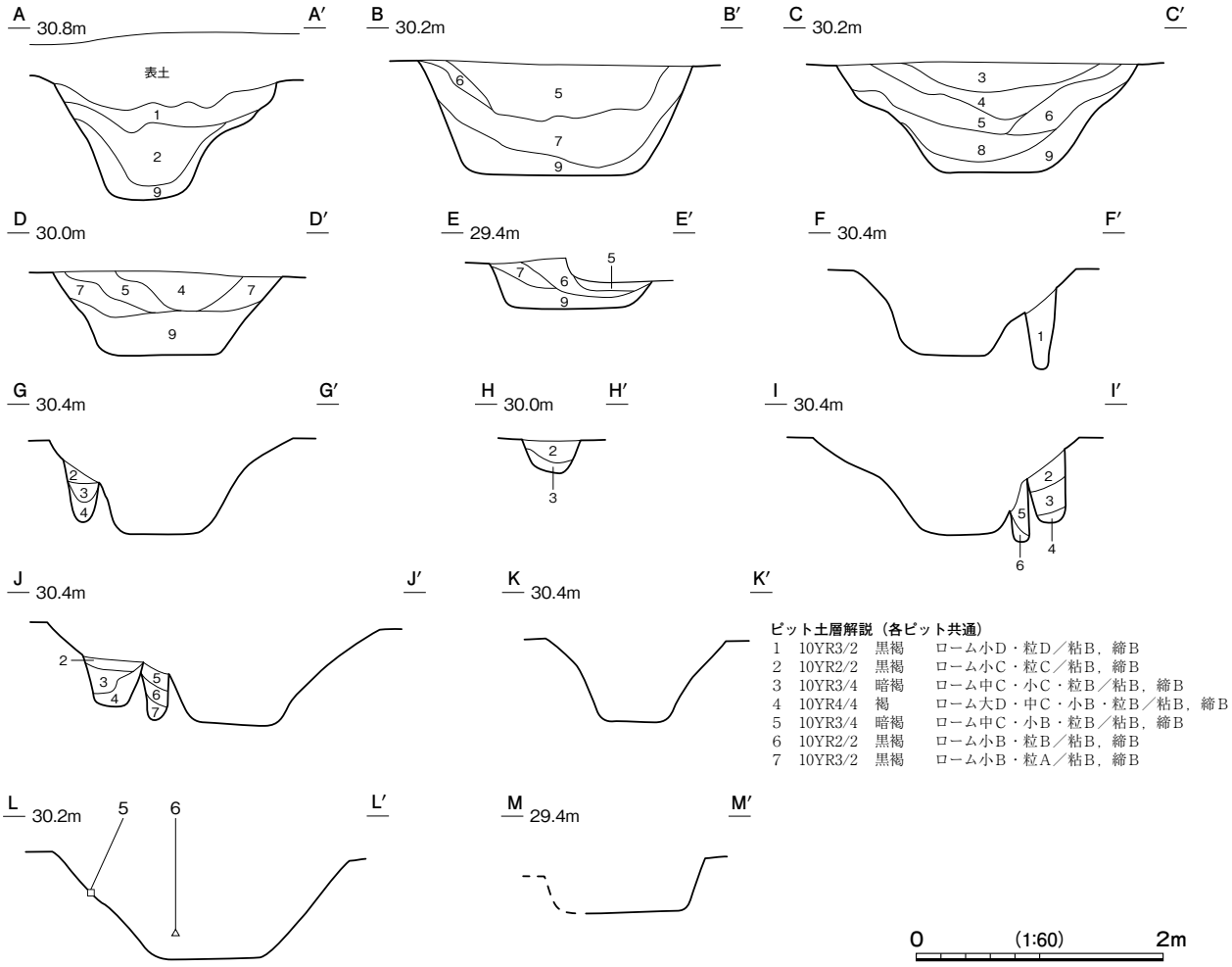
覆土　９層に分層できる。第１～６層はロームブロックが含まれていることから人為堆積である。第７～９層は，少量の含有物が均質に入っている堆積状況から自然堆積である。第９層の上面に掘り込みの痕跡があり，堀浚いが行われたと考えられる。

遺物出土状況　土師質土器片４点（鉢１, 内耳鍋３）, 陶器片８点（甕７, 鉢１）, 磁器片１点（碗）, 石製品１点（石造物），金属製品１点（鉄碗）のほか，混入した土師器片 578 点（坏 326，椀 24，高坏６，甕 221，甑１），須恵器片７点（坏１，甕６）が出土している。５は中央部の覆土中層から，６は覆土下層から出土している。６は鉄碗底部付近の破片であったが，腐食が進み図示できなかった。

所見　時期は，出土遺物から 15 世紀中葉に廃絶されたと考えられる。館を区画する堀として機能したと考えられる。



第 377 図　第５号堀跡実測図

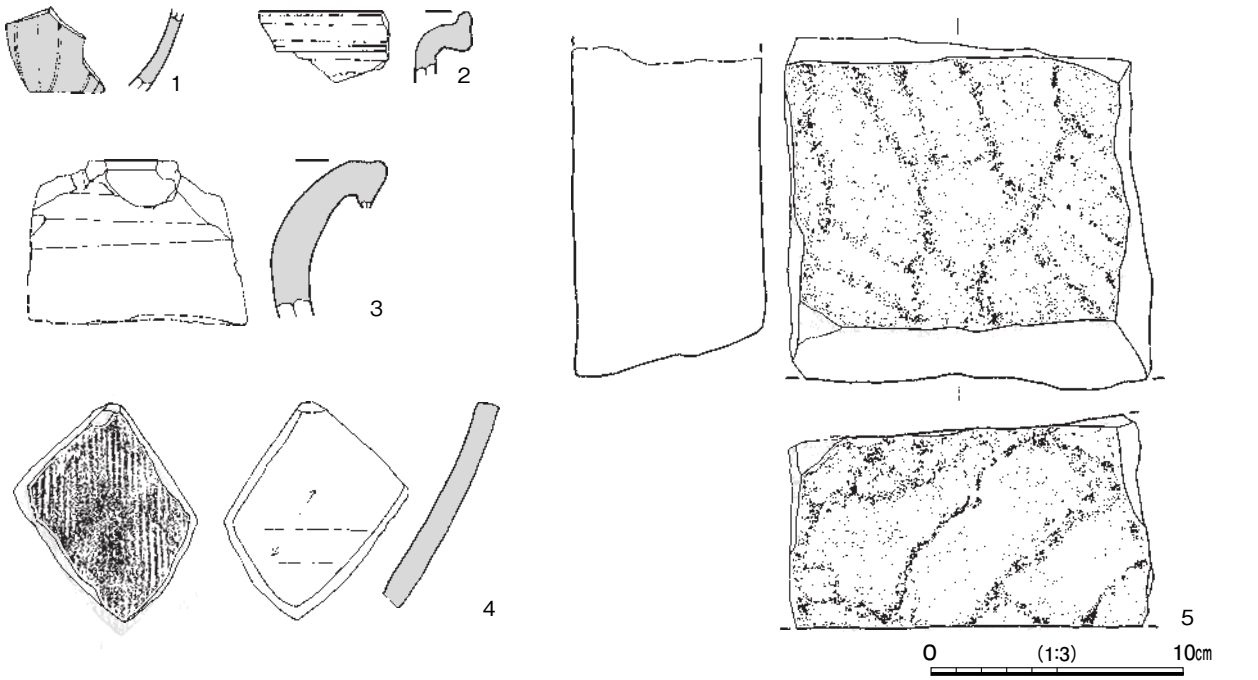


ピット土層解説（各ピット共通）

1	10YR3/2	黒褐	ローム小D・粒D／粘B，締B
2	10YR2/2	黒褐	ローム小C・粒C／粘B，締B
3	10YR3/4	暗褐	ローム中C・小C・粒B／粘B，締B
4	10YR4/4	褐	ローム大D・中C・小B・粒B／粘B，締B
5	10YR3/4	暗褐	ローム中C・小B・粒B／粘B，締B
6	10YR2/2	黒褐	ローム小B・粒B／粘B，締B
7	10YR3/2	黒褐	ローム小B・粒A／粘B，締B

土層解説

1	7.5YR3/3	暗褐	ローム中C・粒B／粘A，締A
2	7.5YR4/3	褐	ローム小D・粒B，炭化粒D／粘B，締A
3	7.5YR4/4	褐	ローム大D・中C・小B・粒B／粘B，締B
4	7.5YR3/3	暗褐	ローム大D・中C・小C・粒B／粘B，締B
5	7.5YR2/2	黒褐	ローム中C・小D・粒C，炭化粒D／粘B，締A
6	7.5YR3/2	黒褐	大D・中C・ローム小D・粒C／粘A，締A
7	10YR2/2	黒褐	ローム粒C／粘B，締B
8	10YR3/2	黒褐	ローム小C・粒B／粘B，締B
9	10YR3/4	暗褐	ローム小B・粒B／粘B，締B



第378図　第5号堀跡・出土遺物実測図

第 184 表　第５号堀跡出土遺物一覧（第 378 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
1	磁器	碗	－	(3.3)	－	緻密	明緑灰	良好	鎬蓮弁文	覆土中	５％　PL103 龍泉窯
2	陶器	甕	－	(2.8)	－	長石	にぶい赤褐	普通	口縁部ロクロ整形	覆土中	５％ 常滑窯
3	陶器	甕	－	(6.3)	－	長石	にぶい赤褐	普通	口縁部ロクロ整形	覆土中	５％ 常滑窯
4	陶器	甕	－	(8.1)	－	長石	灰	普通	外面平行叩き	覆土中	５％ 砥石転用

番号	器　種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特　　徴	出土位置	備　考
5	石造物	(14.0)	(14.5)	7.6	(3,010)	花崗岩	石塔の台座カ	覆土中層	

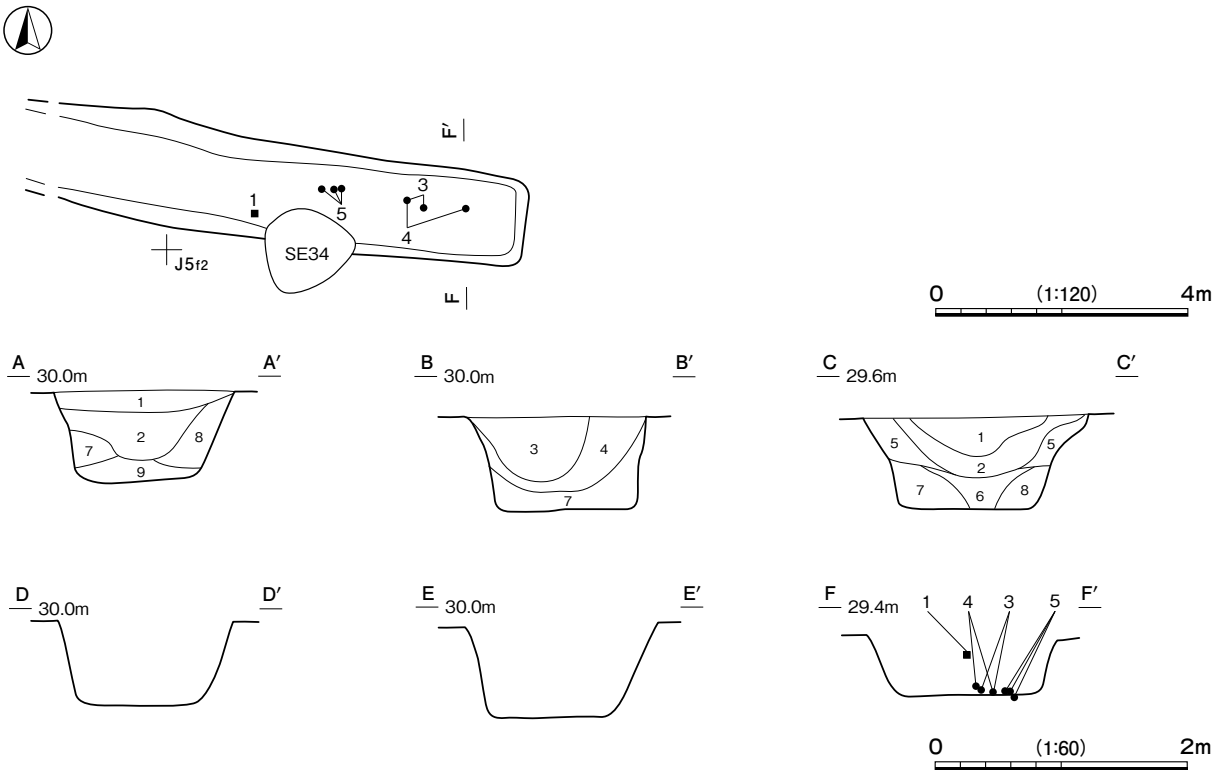
第６号堀跡（第 379 ～ 381 図　付図　PL47・50）

位置　調査区南西から南部のＪ３b0 ～ Ｊ５f3 区，標高 30 ｍほどの微高地上に位置している。

重複関係　第 86・87 号竪穴建物跡，第 34 号井戸，第 519 号土坑を掘り込み，第 478・496 号土坑に掘り込まれている。

規模と形状　Ｊ５f3 区から西方向（Ｎ－ 77°－Ｗ）へ延びている。長さは 51.54 ｍ上幅 116 ～ 158㎝，下幅 64 ～ 106㎝，深さ 48 ～ 74㎝である。断面形は逆台形で，壁は外傾またはほぼ直立している。

覆土　９層に分層できる。第１～４層は含有物が均質に入っている堆積状況から自然堆積である。第５～９層はロームブロックなどが含まれる不規則な堆積状況から人為堆積である。第６～９層の上面に掘り込みの痕跡があり，堀浚いが行われたと考えられる。



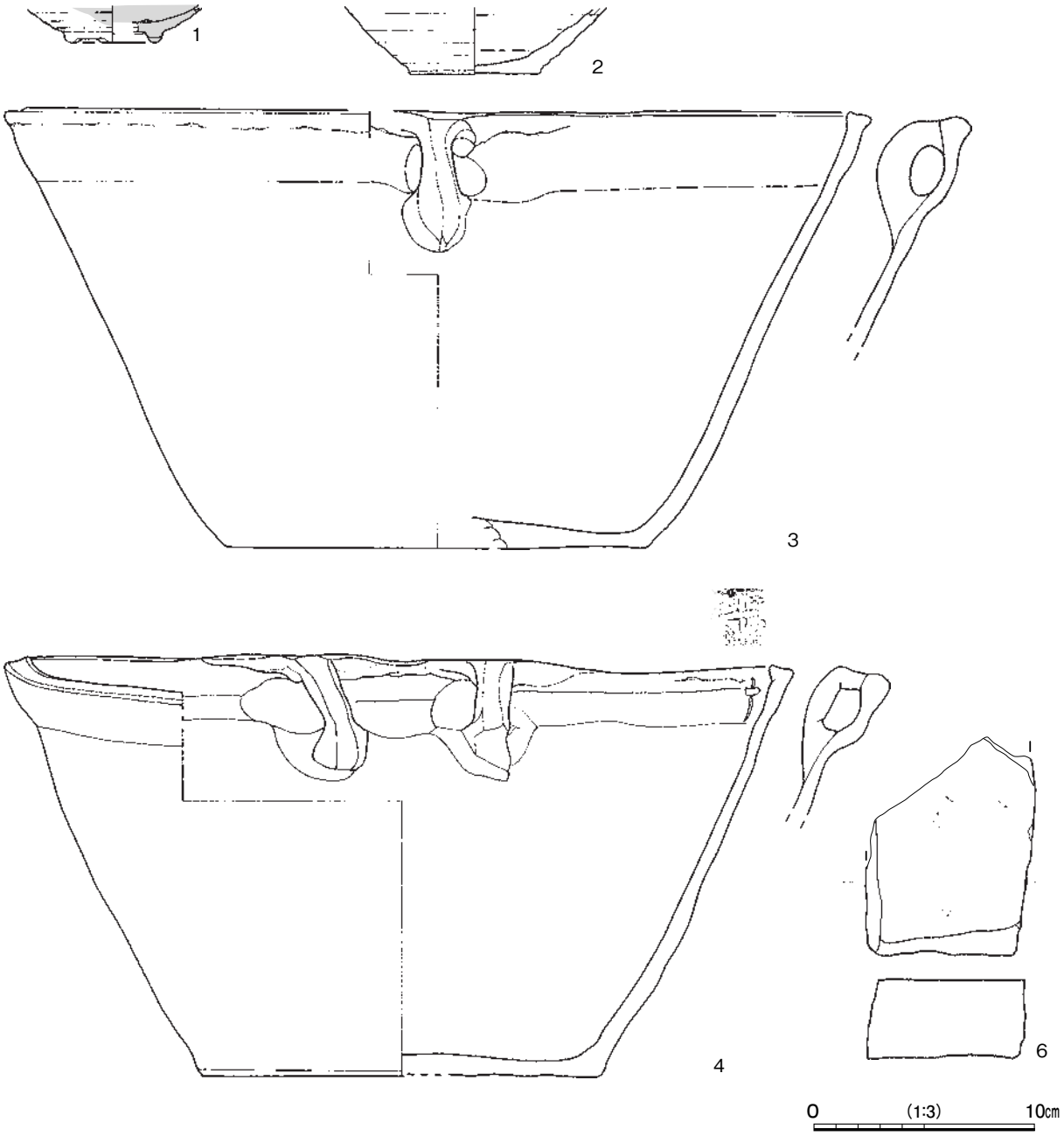
土層解説

1　10YR3/4　暗褐　ローム小Ｃ・粒Ｃ，粘土小Ｄ／粘Ｂ，締Ｂ
2　10YR2/2　黒褐　ローム粒Ｃ，炭化粒Ｃ／粘Ｂ，締Ｂ
3　10YR3/2　黒褐　ローム小Ｃ・粒Ｃ／粘Ｂ，締Ｃ
4　10YR3/4　暗褐　ローム小Ｃ・粒Ｂ／粘Ｂ，締Ｂ
5　10YR4/6　褐　ローム中Ｃ・小Ｂ・粒Ｂ／粘Ｂ，締Ｂ
6　10YR2/2　黒褐　ローム小Ｄ・粒Ｃ／粘Ｂ，締Ａ
7　10YR3/2　黒褐　ローム中Ｄ・小Ｄ・粒Ｃ／粘Ｂ，締Ｂ
8　10YR3/2　黒褐　ローム小Ｃ・粒Ｂ／粘Ｂ，締Ｂ
9　10YR3/2　黒褐　ローム粒Ｃ，粘土小Ｃ／粘Ｂ，締Ｂ

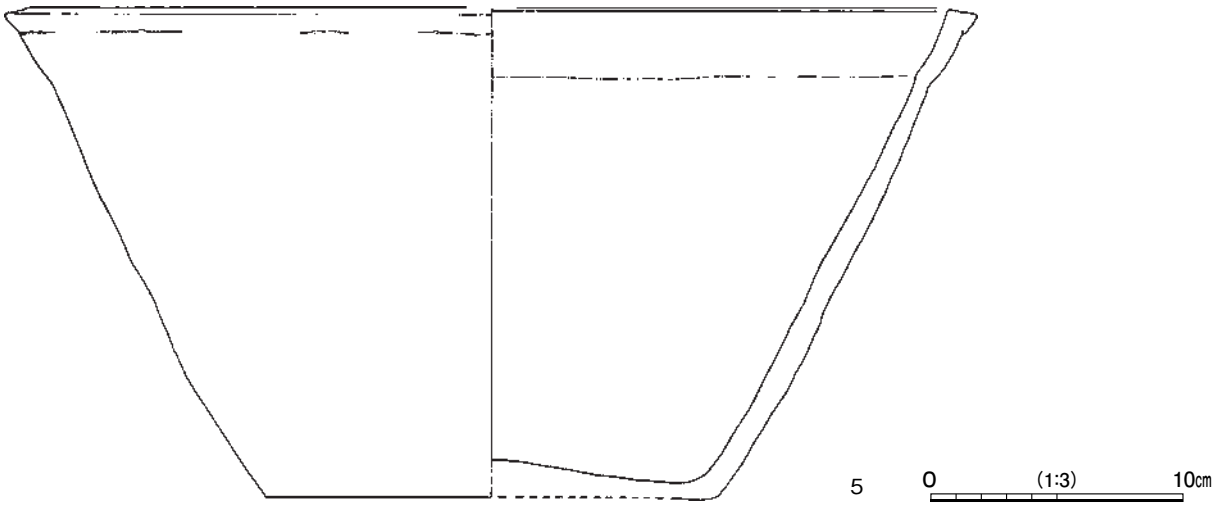
第 379 図　第６号堀跡実測図

遺物出土状況　土師質土器片 47 点（小皿１，内耳鍋 46），陶器片１点（甕），磁器片１点（碗），石器１点（砥石）のほか，混入した土師器片 384 点（坏 282，椀 19，器台４，鉢２，甕 77），須恵器片４点（坏３，甕１），石器１点（剥片），焼成粘土塊１点（5.69g）が出土している。１は東部の覆土中層から，３・５は底面から，４は底面と覆土下層から出土している。

所見　時期は，出土遺物から 15 世紀中葉に廃絶されたと考えられる。館を区画する堀として機能したと考えられる。



第 380 図　第６号堀跡出土遺物実測図(1)



第 381 図　第６号堀跡出土遺物実測図(2)

第 185 表　第６号堀跡出土遺物一覧（第 380・381 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
1	磁器	碗	－	(1.7)	[4.4]	粗い	釉／白 素地／浅黄	普通	高台部釉付着	覆土中層	５％　PL103 定窯系
2	土師質 土器	小皿	－	(3.0)	[6.0]	長石･石英･赤色粒子･ 黒色粒子・細礫	にぶい 黄橙	普通	ロクロ整形　底部糸切り後ナデ	覆土中	５％
3	土師質 土器	内耳鍋	[37.4]	19.9	[19.0]	長石・石英	にぶい褐	普通	外面に厚く煤付着　底部剥離	底面	30％
4	土師質 土器	内耳鍋	35.7	19.1	18.0	長石・石英・細礫	にぶい橙	普通	外面に厚く煤付着　内面口縁部「十」刻印 底部剥離	底面 覆土下層	90％　PL98
5	土師質 土器	内耳鍋	[36.6]	19.5	[18.0]	長石・石英	にぶい褐	普通	外面に厚く煤付着　底部外面剥離	底面	40％　PL98

番号	器　種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特　　徴	出土位置	備　考
6	砥石	(9.9)	(7.6)	3.6	(389)	凝灰岩	砥面１面	覆土中	

第７号溝跡（第 382 図　付図　PL47）

位置　調査区北部のＨ５j1 ～Ｉ５b4 区，標高 30 ｍほどの微高地上に位置している。

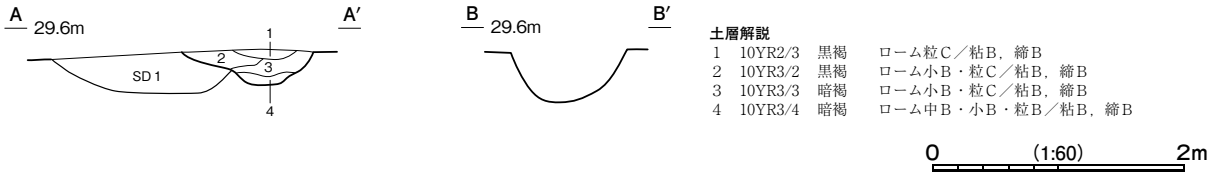
重複関係　第 47・48 号竪穴建物跡，第１号溝跡を掘り込んでいる。

規模と形状　Ｉ５b4 区から北方向（Ｎ－３°－Ｅ）へ，Ｈ５j4 区から西方向（Ｎ－ 82°－Ｗ）へ延びている。長さは 15.50 ｍで，上幅 60 ～ 100㎝，下幅 22 ～ 33㎝，深さ 28㎝である。断面形は浅いＵ字状で，壁は緩やかに立ち上がっている。

覆土　４層に分層できる。第１層は少量の含有物が均質に入っている堆積状況から自然堆積である。第２～４層はロームブロックが含まれていることから人為堆積である。

遺物出土状況　土師質土器片２点（内耳鍋，土釜），陶器片１点（甕）のほか，混入した土師器片 152 点（坏 88，甕 64），須恵器片２点（坏，甕），土製品１点（土玉）が出土している。

所見　時期は，重複関係から 15 世紀中葉以降である。



第 382 図　第７号溝跡実測図

第８号溝跡（第 383 図　付図）

位置　調査区中央部のＩ５d1 ～Ｉ５d3 区，標高 30 ｍほどの微高地上に位置している。

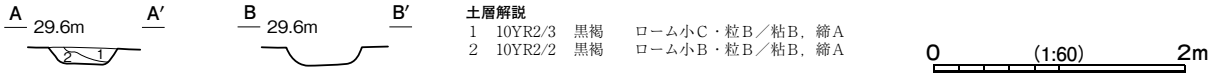
重複関係　第 50 号竪穴建物跡，第８号掘立柱建物跡を掘り込んでいる。

規模と形状　Ｉ５d1 区から東方向（Ｎ－ 88°－Ｅ）へ延びている。長さは 4.08 ｍで，上幅 46 ～ 65㎝，下幅 31 ～ 43㎝，深さ 12㎝である。断面形は逆台形で，壁は外傾して立ち上がっている。

覆土　２層に分層できる。ロームブロックが含まれていることから人為堆積である。

遺物出土状況　混入した土師器片１点（甕）が出土している。

所見　時期は，方形区画堀の内側に構築され，第２・５号堀跡とほぼ同軸であることから，同時代と考えられる。



第 383 図　第８号溝跡実測図

第９号溝跡（第 384 図　付図　PL47）

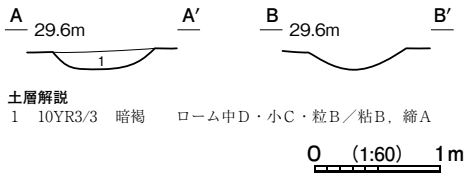
位置　調査区南東部のＪ５a0 ～Ｊ５e0 区，標高 30 ｍほどの微高地上に位置している。

規模と形状　Ｊ５e0 区から北方向（Ｎ－ ５°－Ｅ）へ延びている。長さは 15.20 ｍで，上幅 56 ～ 80㎝，下幅 28 ～ 50㎝，深さ 28 ～ 30㎝である。断面形は浅いＵ字状で，壁は緩やかに立ち上がっている。

覆土　単一層である。ロームブロックが含まれていることから人為堆積である。

遺物出土状況　土師質土器片１点（小皿）のほか，混入した土師器片 50 点（坏 38，甕 12），が出土している。

所見　時期は，特定できる土器が出土していないが，第２・３号堀跡とほぼ同軸であることから，同時代と考えられる。



第 384 図　第９号溝跡実測図

第 10 号溝跡（第 385 図　付図）

位置　調査区西部から北西部のＨ４i9 ～Ｊ４a5 区，標高 30 ｍほどの微高地上に位置している。

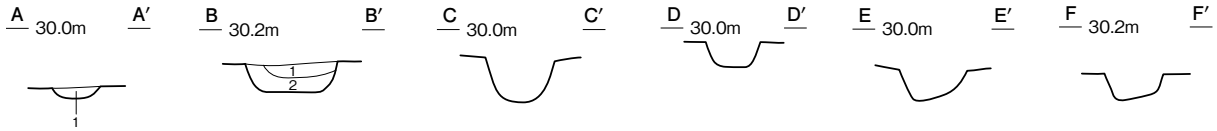
重複関係　第 90・94・95・113・121 号竪穴建物跡，第 263 号土坑を掘り込み，第 166・262 号土坑に掘り込まれている。第 20 号溝跡と重複しているが，新旧関係は不明である。

規模と形状　Ｊ４a5 区から西方向（Ｎ－ 75°－Ｗ）へ，Ｉ４j3 区から北方向（Ｎ－ ８°－Ｅ）へ，Ｉ４e4 区から北東方向（Ｎ－ 48°－Ｅ）へ延びている。長さは 62.10 ｍで，上幅 28 ～ 70㎝，下幅 16 ～ 44㎝，深さ８～ 35㎝である。断面形は逆台形で，壁は外傾して立ち上がっている。

覆土　２層に分層できる。ロームブロックが含まれていることから人為堆積である。

遺物出土状況　陶器片１点（甕）のほか，混入した土師器片 52 点（坏 39，甕 13），須恵器片１点（坏）が出土している。

所見　時期は，特定できる土器が出土していないが，第１・15 号溝跡と概ね平行して延びていることから同時代と考えられる。区画溝として機能したと考えられる。



土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム中D・小C・粒B／粘B，締B　　2　10YR2/2　黒褐　ローム大D・粒C／粘B，締B

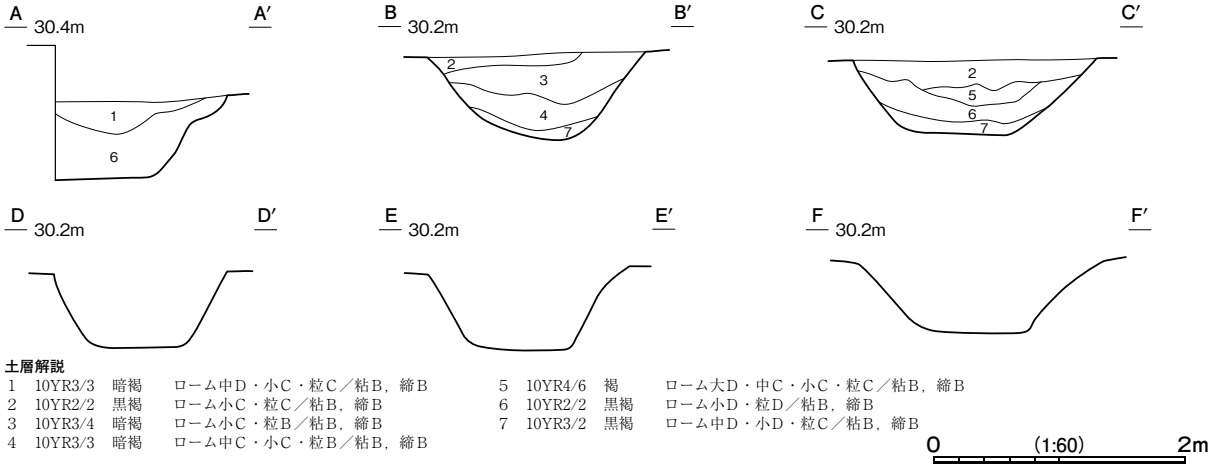
第 385 図　第 10 号溝跡実測図

第 12 号堀跡（第 386 図　付図　PL47・50）

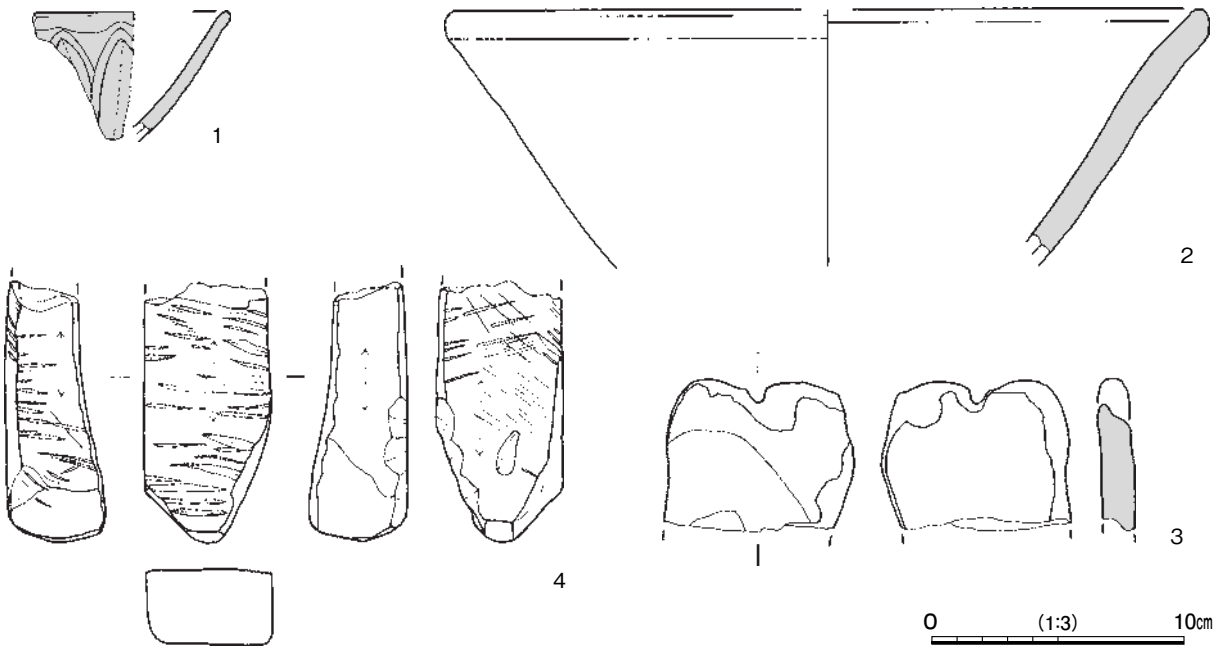
位置　調査区西部から北西部のＨ４e5 ～ Ｊ４a2 区，標高 30 ｍほどの微高地上に位置している。

重複関係　第 94・109・112・119・132・139 号竪穴建物跡，第 6 号掘立柱建物跡，第 216・218・453 号土坑，第 22 号井戸跡を掘り込み，第 190 号土坑に掘り込まれている。

規模と形状　Ｊ４a2 区から北方向（Ｎ－５°－Ｅ）へ延びている。長さは 66.00 ｍで，上幅 116 ～ 216㎝，下幅 48 ～ 100㎝，深さ 58 ～ 70㎝である。断面形は逆台形で，壁は外傾して立ち上がっている。



土層解説
1　10YR3/3　暗褐　ローム中D・小C・粒C／粘B，締B
2　10YR2/2　黒褐　ローム小C・粒C／粘B，締B
3　10YR3/4　暗褐　ローム小C・粒B／粘B，締B
4　10YR3/3　暗褐　ローム中C・小C・粒B／粘B，締B
5　10YR4/6　褐　ローム大D・中C・小C・粒C／粘B，締B
6　10YR2/2　黒褐　ローム小D・粒D／粘B，締B
7　10YR3/2　黒褐　ローム中D・小D・粒C／粘B，締B



第 386 図　第 12 号堀跡・出土遺物実測図

覆土　７層に分層できる。第１・６・７層は含有物が均質に入っている堆積状況から自然堆積である。第２～５はロームブロックが含まれていることから人為堆積である。

遺物出土状況　陶器片６点（鉢１，甕５），磁器片１点（碗），土製品１点（土器片錘），石器１点（砥石）のほか，混入した土師器片 451 点（坏 310，椀 17，高坏３，鉢３，甕 109，甑９），須恵器片 11 点（坏６，高台付坏２，高台付盤１，蓋２），土製品１点（支脚）が出土している。

所見　時期は，出土遺物から 15 世紀中葉に廃絶されたと考えられる。館を区画する堀として機能したと考えられる。

第 186 表　第 12 号堀跡出土遺物一覧（第 386 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
1	磁器	碗	－	(5.2)	－	緻密	明緑灰	良好	鎬蓮弁文	覆土中	５％　PL103 龍泉窯
2	陶器	鉢	[29.8]	(10.1)	－	長石・石英・細礫	明赤褐	普通	外・内面ナデ	覆土中	10％

番号	器　種	長さ	幅	厚さ	重量	胎　　土	特　　徴	出土位置	備　考
3	土器片錘	(6.0)	7.5	1.5	(83.76)	長石・石英	端部打ち欠き　陶器甕転用	覆土中	

番号	器　種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特　　徴	出土位置	備　考
4	砥石	(10.3)	5.0	3.0	(276)	凝灰岩	砥面４面	覆土中	

第 13 号溝跡（第 387 図　付図　PL47）

位置　調査区中央部のＩ５g2 ～Ｊ５a2 区，標高 30 ｍほどの微高地上に位置している。

重複関係　第 10 号掘立柱建物，第 113･123･125 号土坑に掘り込まれている。第２号ピット群と重複しているが，新旧関係は不明である。

規模と形状　Ｊ５a2 区から北方向（Ｎ－ 7°－Ｗ）へ延びている。確認できた範囲では長さ 14.10 ｍで，上幅 30 ～ 57㎝，下幅 21 ～ 40㎝，深さ 10㎝である。断面形は逆台形で，壁は外傾して立ち上がっている。

第 387 図　第 13・14 号溝跡実測図

所見　時期は，特定できる土器が出土していないが，第 10 号溝とほぼ同軸であることから，同時代と考えられる。

第 14 号溝跡（第 387 図　付図　PL47）

位置　調査区中央部のＩ５i3 ～Ｉ５j3 区，標高 30 ｍほどの微高地上に位置している。

重複関係　第 126 土坑を掘り込み，第 127・129 号土坑に掘り込まれている。第 23 号溝跡，第２号ピット群と重複しているが，新旧関係は不明である。

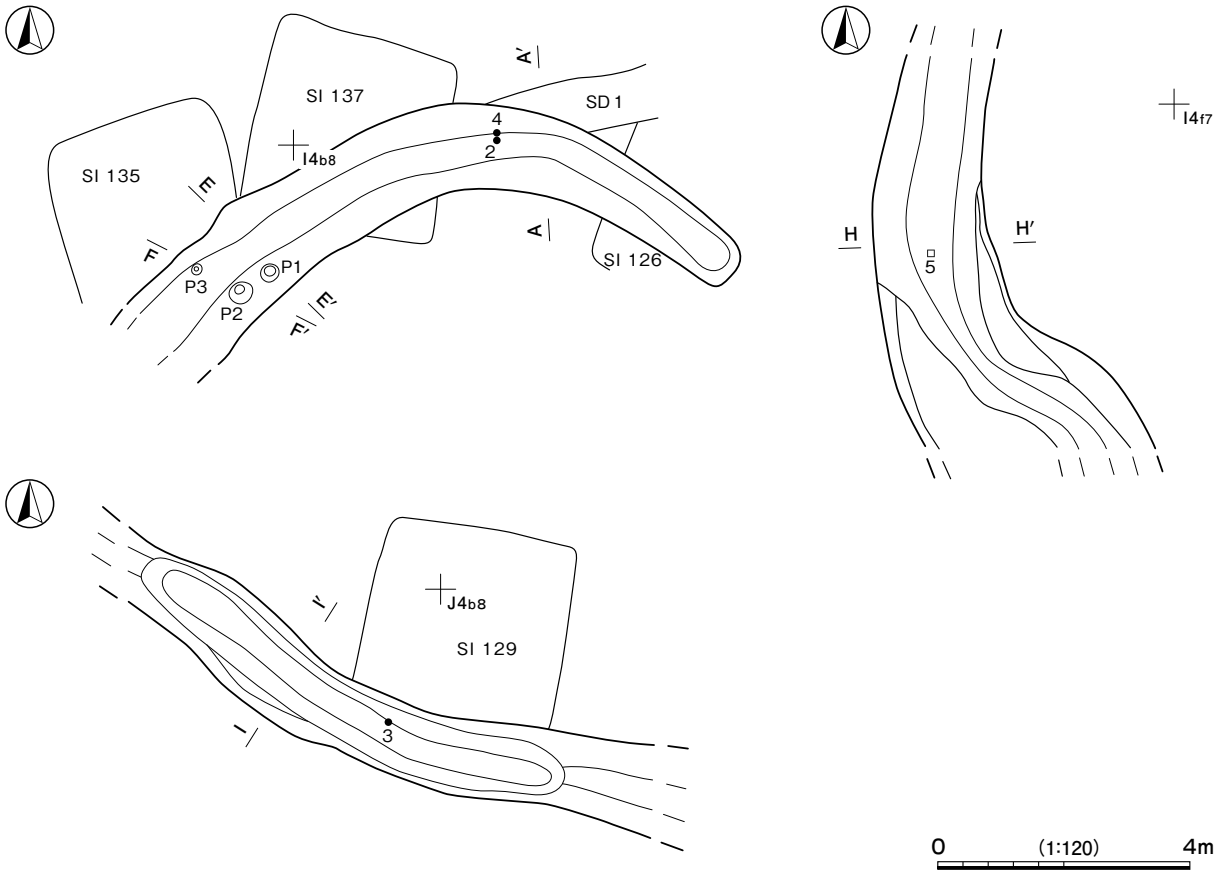
規模と形状　Ｉ５j3 区から北方向（Ｎ－８°－Ｅ）へ延びている。確認できた範囲では長さ 5.90 ｍで，上幅 49 ～ 73㎝，下幅 34 ～ 48㎝，深さ８㎝である。断面形は逆台形で，壁は外傾して立ち上がっている。

所見　時期は，特定できる土器が出土していないが，第 10 号溝とほぼ同軸であることから，同時代と考えられる。

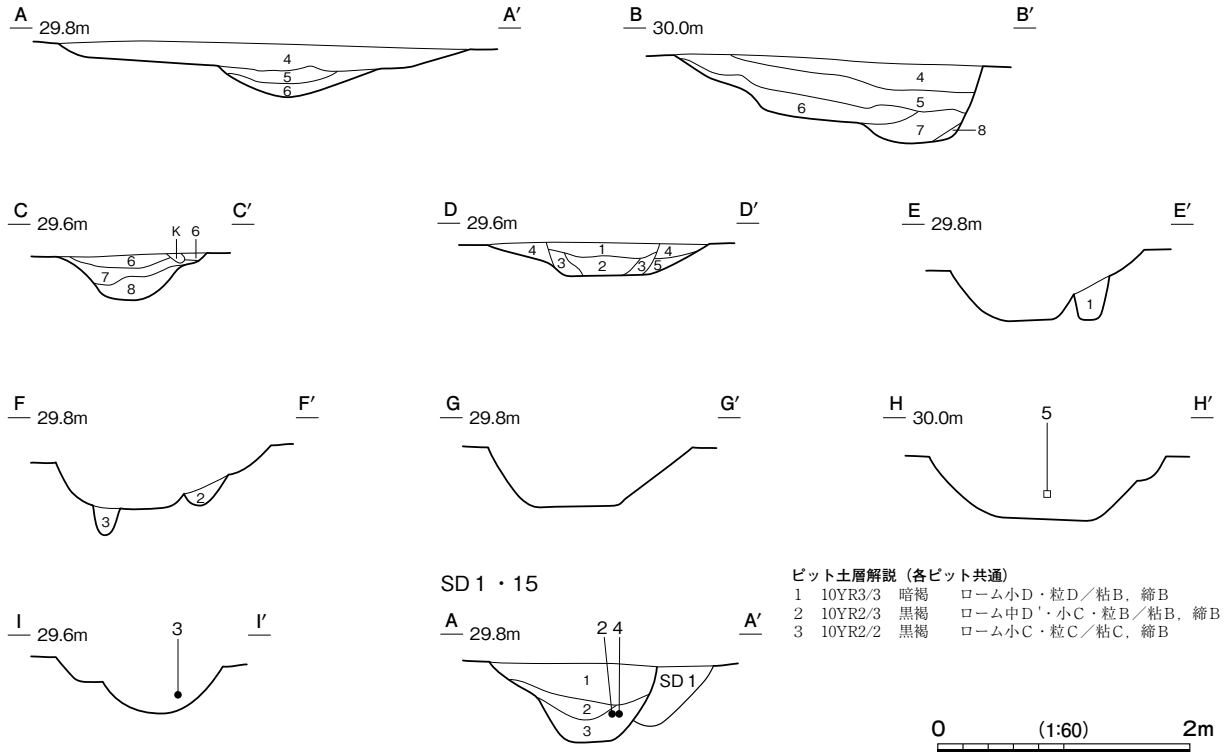
第 15 号溝跡（第 388 ～ 390 図　付図　PL47・50）

位置　調査区中央部のＩ４b9 ～Ｊ５c3 区，標高 30 ｍほどの微高地上に位置している。

重複関係　第 96・107・122・126・128・129・135・137 号竪穴建物跡，第 174・228・231・248・249・525 号土坑，



SD15



SD 1 ・15

ピット土層解説（各ピット共通）

1	10YR3/3	暗褐	ローム小D・粒D／粘B，締B
2	10YR2/3	黒褐	ローム中D'・小C・粒B／粘B，締B
3	10YR2/2	黒褐	ローム小C・粒C／粘C，締B

土層解説

1	10YR3/3	暗褐	ローム小D・粒A／粘B，締B	5	10YR3/3	暗褐	ローム小D・粒D／粘B，締B
2	10YR3/2	黒褐	ローム粒C／粘B，締B	6	10YR3/2	黒褐	ローム小D・粒C／粘B，締B
3	10YR3/3	暗褐	ローム小D'・粒B／粘B，締B	7	10YR3/2	黒褐	ローム中C・粒C／粘B，締B
4	10YR3/4	暗褐	ローム粒D／粘B，締B	8	10YR4/4	褐	ローム粒C／粘B，締B

第 388 図　第 15 号溝跡実測図

第26・32号井戸跡，第１号溝跡，第６号火葬施設を掘り込み，第232・447号土坑，第33号井戸，第７号ピット群に掘り込まれている。第235号土坑と重複しているが，新旧関係は不明である。

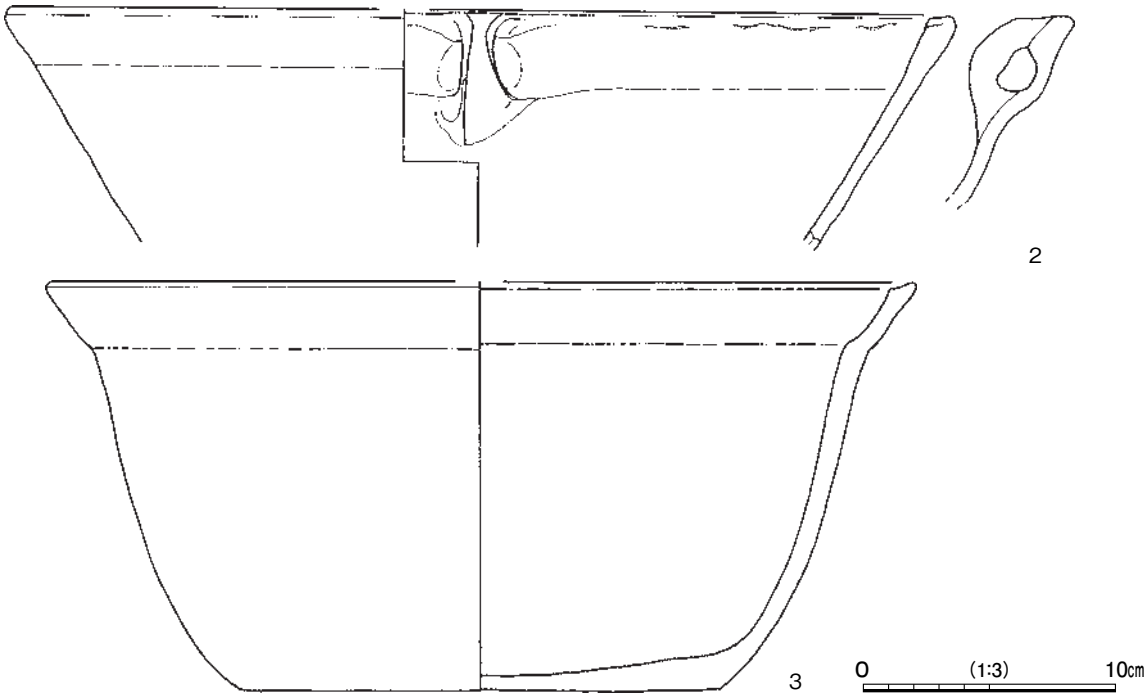
規模と形状　Ｊ５c3区から西方向（Ｎ－83°－Ｗ）へ，Ｊ４a5区から北方向（Ｎ－11°－Ｅ）へ，Ｉ４b8区から南東方向（Ｎ－122°－Ｅ）へ延びている。長さは62.10ｍで，上幅85～415cm，下幅20～80cm，深さ52～122cmである。断面形は逆台形で，壁は外傾または緩やかに立ち上がっている。

ピット　３か所。Ｐ１～Ｐ３は直径８～20cmの円形または楕円形で，溝の上端から深さ55～70cmである。Ｌ字状に並ぶことから橋脚の支柱穴であった可能性がある。

覆土　８層に分層できる。含有物が均質に入っている堆積状況から自然堆積である。Ｄラインの堆積状況から，溝の一部は掘り返しが行われていたと考えられる。

遺物出土状況　土師質土器片116点（小皿１，内耳鍋115），陶器片２点（大皿，小皿），石製品１点（五輪塔）のほか，混入した土師器片147点（坏94，高坏３，甕50），須恵器片６点（甕）が出土している。２と４は東部の覆土中層から出土している。３は南部の覆土下層から出土している。５は中央部の覆土下層から出土している。

所見　時期は，出土遺物から15世紀中葉に廃絶されたと考えられる。第１・15号溝内側の居住空間を区画する溝として機能したと考えられる。

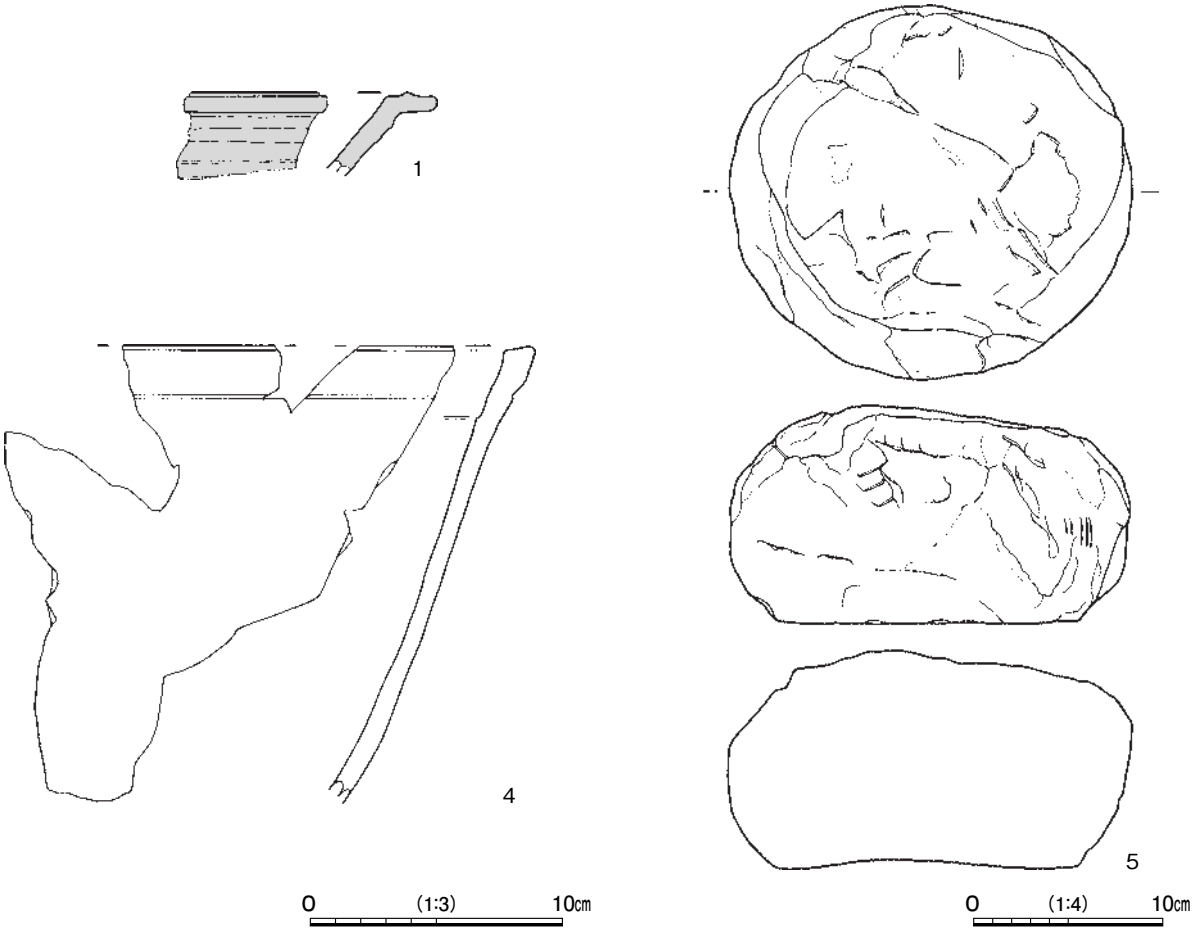


第389図　第15号溝跡出土遺物実測図(1)

第187表　第15号溝跡出土遺物一覧（第389・390図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
1	陶器	大皿	－	(3.2)	－	石英	オリーブ黄	良好	折縁　ロクロ整形	覆土中	５％　PL103 瀬戸・美濃系
2	土師質土器	内耳鍋	[37.2]	(9.3)	－	長石・石英・雲母	にぶい黄褐	普通	外面に厚く煤付着	覆土中層	10％
3	土師質土器	内耳鍋	[34.2]	16.2	19.0	長石・石英	にぶい橙	普通	外面に厚く煤付着	覆土下層	30％　PL98
4	土師質土器	内耳鍋	－	(18.1)	－	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	外面に厚く煤付着	覆土中層	10％

番号	器　種	長さ	幅	塔身	重量	材質	特　　徴	出土位置	備　考
5	五輪塔	19.5	21.0	11.4	6,445	花崗岩	水輪部	覆土下層	PL101



第 390 図　第 15 号溝跡出土遺物実測図(2)

第 16 号溝跡（第 391 図　付図）

位置　調査区北西部のＨ４e8 ～ Ｉ４b4 区，標高 30 mほどの微高地上に位置している。

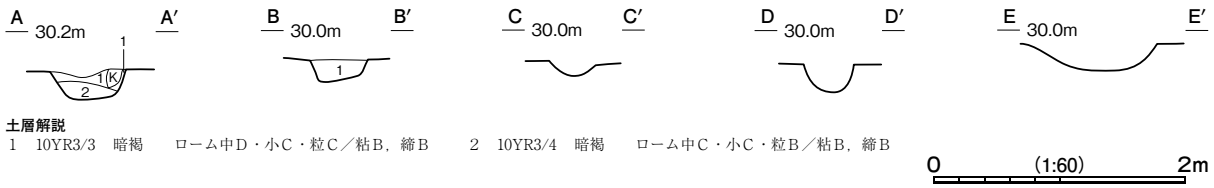
重複関係　第 95・114・131 号竪穴建物跡を掘り込んでいる。

規模と形状　北部が調査区域外に延びており，確認できた範囲では長さ 29.18 mである。Ｉ４b4 区から北方向（N － 26° － E）へ，Ｈ４j5 区から東方向（N － 97° － E）へ，Ｉ４a6区から北方向（N － 15° － E）へ，Ｈ４f7 区から北東方向（N － 60° － E）へ，Ｈ４f8 区から北方向（N － 20° － E）へ延びている。上幅 34 ～ 104cm，下幅 18 ～ 60cm，深さ 10 ～ 21cmである。断面形は浅いＵ字状で，壁は外傾している。

覆土　２層に分層できる。ロームブロックが含まれていることから人為堆積である。

遺物出土状況　混入した土師器片 34 点（坏 26，椀２，甕６），須恵器片３点（坏１，甕２）が出土している。

所見　時期は，特定できる土器が出土していないが，第 15 号溝跡の北東部と概ね平行するように延びていることから同時代と考えられる。区画溝として機能したと考えられる。



第 391 図　第 16 号溝跡実測図

第 17 号溝跡（第 392 図　付図）

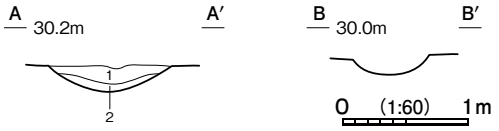
位置　調査区北部のＨ５e5～Ｈ５g6 区，標高 30 ｍほどの微高地上に位置している。

規模と形状　北部が調査区域外に延びており，確認できた範囲では長さ 6.00 ｍである。Ｈ５g6 区から北方向（Ｎ－ 13°－Ｗ）へ延びている。上幅 55 ～ 76cm，下幅 25 ～ 40cm，深さ 13 ～ 20cmである。断面形は浅いＵ字状で，壁は外傾している。

覆土　２層に分層できる。ロームブロックが含まれていることから人為堆積である。

遺物出土状況　混入した土師器片 24 点（坏 17，椀２，甕５），須恵器片１点（蓋）が出土している。

所見　時期は，特定できる土器が出土していないが，第２号堀とほぼ同軸であることから，同時代と考えられる。



土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム中Ｄ・小Ｄ・粒Ｃ／粘Ｂ，締Ｂ
2　10YR3/3　暗褐　ローム中Ｄ・小Ｃ・粒Ｂ／粘Ｂ，締Ｂ

第 392 図　第 17 号溝跡実測図

第 19 号溝跡（第 393 図　付図　PL47）

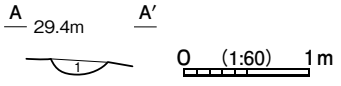
位置　調査区中央部のＪ５b3 ～Ｊ５d3 区，標高 29 ｍほどの微高地上に位置している。

重複関係　第８号柱穴列，第７号ピット群と重複しているが，新旧関係は不明である。

規模と形状　Ｊ５d3 区から北方向（Ｎ－ 10°－Ｗ）へ延びている。確認できた範囲では長さ 7.52 ｍで，上幅 42 ～ 76cm，下幅 18 ～ 36cm，深さ 20cmである。断面形は浅いＵ字状で，壁は外傾している。

覆土　単一層である。ロームブロックが含まれていることから人為堆積である。

所見　時期は，特定できる土器が出土していないが，方形区画堀の土橋内側に延びるように構築されていることから，同時代に機能していたと考えられる。



土層解説
1　10YR3/3　暗褐　ローム中Ｄ・小Ｃ・粒Ｂ／粘Ｂ，締Ｂ

第 393 図　第 19 号溝跡実測図

第 20 号溝跡（第 394 図　付図　PL47）

位置　調査区西部のＩ４e5 ～Ｉ４f4 区，標高 30 ｍほどの微高地上に位置している。

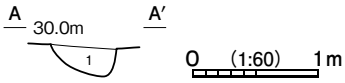
重複関係　第 10 号溝跡と重複しているが，新旧関係は不明である。

規模と形状　Ｉ４f4 区から東方向（Ｎ－ 63°－Ｅ）へ，Ｉ４f5 区から北方向（Ｎ－ 11°－Ｅ）へ延びている。確認できた範囲では長さ 6.95 ｍで，上幅 35 ～ 67cm，下幅 14 ～ 34cm，深さ 13 ～ 26cmである。断面形は浅いＵ字状で，壁は外傾している。

覆土　単一層である。ロームブロックが含まれていることから人為堆積である。

遺物出土状況　混入した土師器片６点（坏５，椀１）が出土している。

所見　時期は，特定できる土器が出土していないが，第 10・15 号溝跡との位置関係から同時代と考えられる。



土層解説
1　10YR3/4　暗褐　ローム中Ｃ・小Ｃ・粒Ｃ／粘Ｂ，締Ｂ

第 394 図　第 20 号溝跡実測図

第 21 号溝跡（第 395・396 図　付図　PL47）

位置　調査区中央部のＪ５a3 ～ Ｊ５c5 区，標高 29 ｍほどの微高地上に位置している。

重複関係　第 494 号土坑，第 23 号溝跡と重複しているが，新旧関係は不明である。

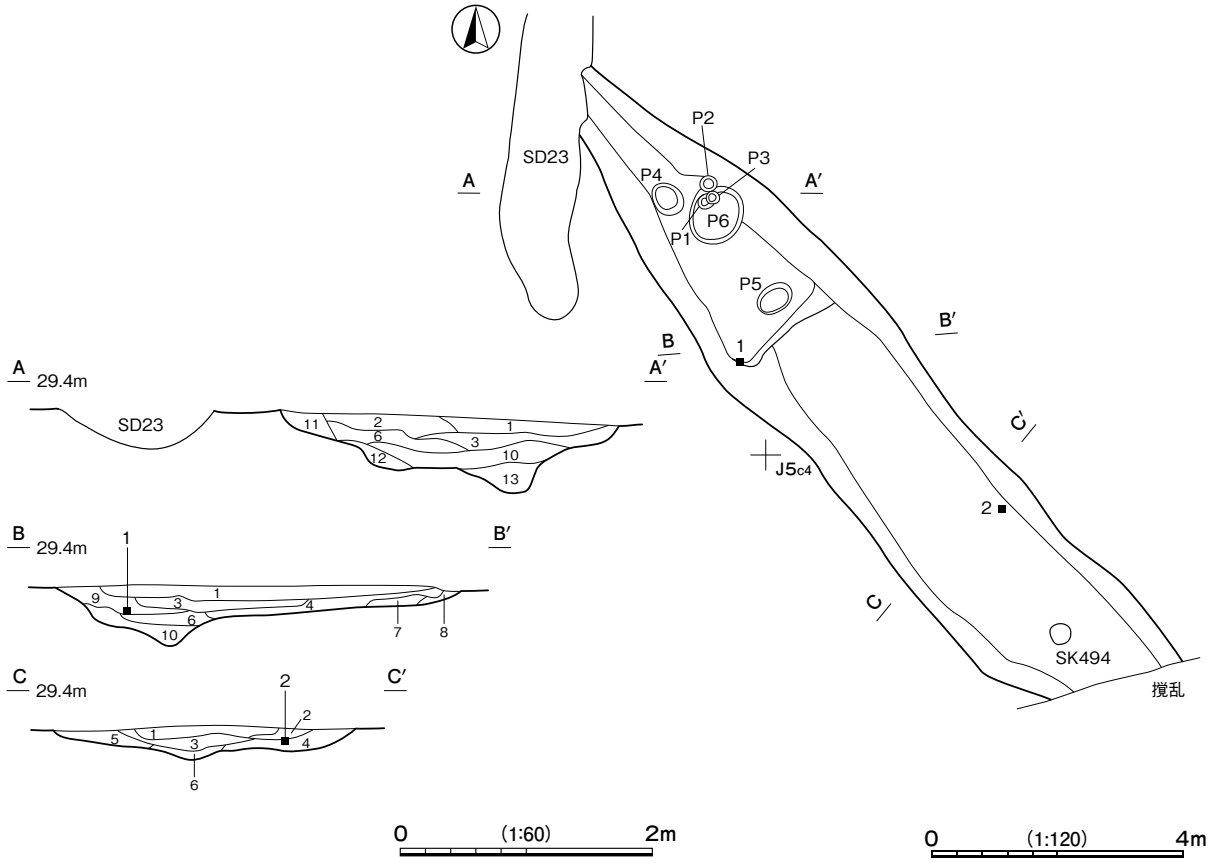
規模と形状　Ｊ５c5 区から北西方向（Ｎ－ 41°－Ｗ）へ延びている。南側が撹乱を受けているため，確認できた長さは 12.64 ｍで，上幅 120 ～ 274㎝，下幅 40 ～ 186㎝，深さ 17 ～ 28㎝である。断面形は浅いＵ字状で，壁は緩やかに立ち上がっている。

ピット　６か所。Ｐ１～Ｐ６は径 23 ～ 98㎝ほどの円形または楕円形で，溝の上端からの深さは 51 ～ 79㎝である。柱穴が底面付近に位置することから簡易的な橋脚が存在した可能性がある。

覆土　13 層に分層できる。不規則な堆積状況から人為堆積である。

遺物出土状況　土師質土器片 88 点（小皿１，鉢１，内耳鍋 86），陶器片５点（甕），磁器片２点（碗），石器１点（砥石），鉄滓１点（42.38g）のほか，混入した土師器片 28 点（坏 23，椀１，甕３，手捏土器１），須恵器片１点（甕）が出土している。１・２は中央部の覆土中層から出土している。

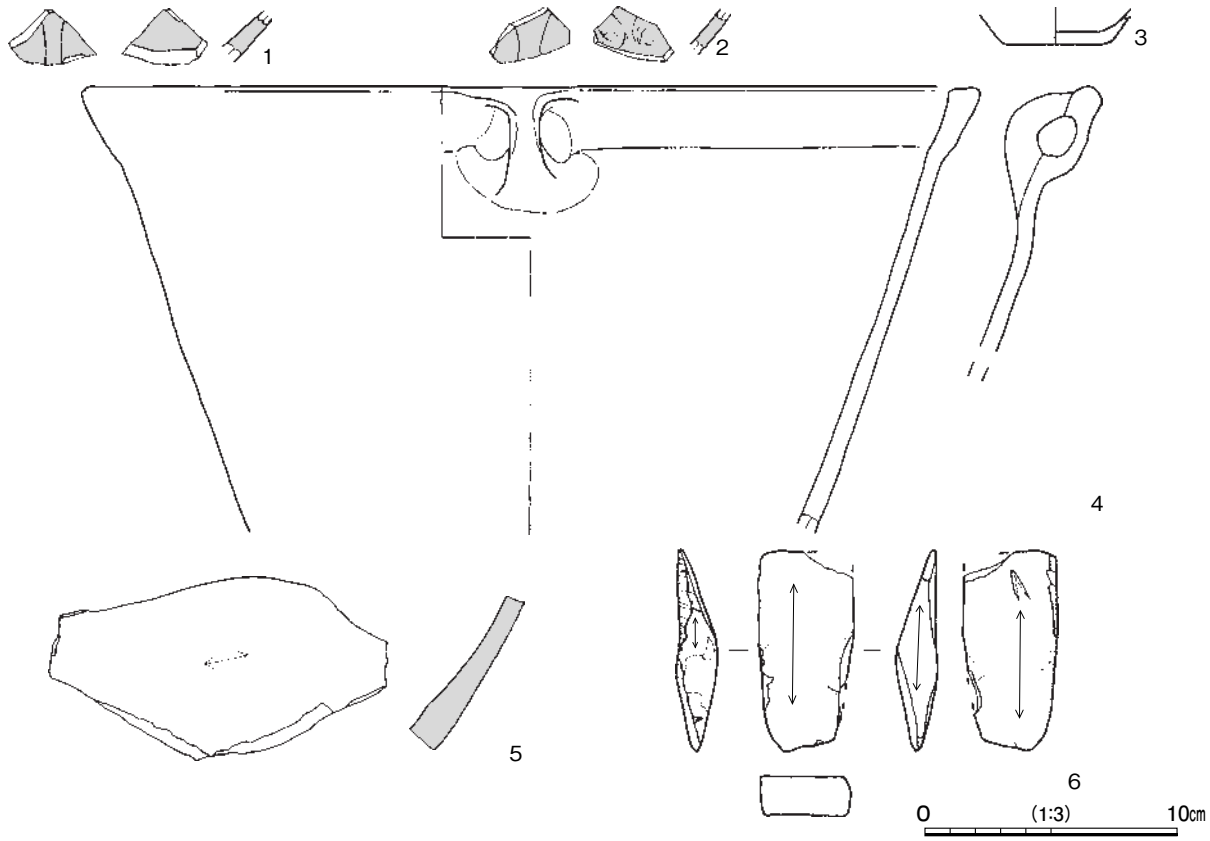
所見　時期は，出土遺物から 15 世紀代に廃絶したと考えられる。



土層解説

1　2.5YR4/2　灰赤　ローム中Ｂ・小Ｃ・粒Ｃ，炭化粒Ｄ，細礫Ｂ／粘Ｂ，締Ｂ
2　2.5YR4/1　赤灰　ローム粒Ｃ，炭化粒Ｄ／粘Ａ，締Ｂ
3　2.5YR3/2　暗赤褐　ローム粒Ｄ／粘Ａ，締Ｂ
4　2.5YR5/3　にぶい赤褐　ローム粒Ｄ，赤色粘土粒Ｂ／粘Ａ，締Ｂ
5　2.5YR4/4　にぶい赤褐　ローム粒Ｄ／粘Ａ，締Ｂ
6　2.5YR4/2　灰赤　ローム粒Ｄ'／粘Ａ，締Ｂ
7　2.5YR4/2　灰赤　ローム粒Ｃ／粘Ｂ，締Ｂ
8　2.5YR4/2　灰赤　ローム小Ｄ'・粒Ｃ／粘Ｂ，締Ｂ
9　2.5YR4/3　にぶい赤褐　ローム粒Ｃ，赤色粘土粒Ｃ／粘Ａ，締Ｂ
10　2.5YR5/1　赤灰　ローム中Ｄ・小Ｂ・粒Ａ，炭化粒Ｄ'／粘Ａ，締Ｂ
11　2.5YR4/2　灰赤　ローム大Ｃ・中Ｂ・小Ｃ・粒Ｃ／粘Ｂ，締Ｂ
12　2.5YR3/2　暗赤褐　ローム中Ｄ・小Ｄ・粒Ｃ／粘Ａ，締Ｂ
13　2.5YR3/1　暗赤灰　ローム中Ｄ・小Ｃ・粒Ｃ／粘Ａ'，締Ｂ

第 395 図　第 21 号溝跡実測図



第 396 図　第 21 号溝跡出土遺物実測図

第 188 表　第 21 号溝跡出土遺物一覧（第 396 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
1	磁器	碗	－	(2.2)	－	緻密	明緑灰	良好	鎬蓮弁文　内面圏線	覆土中層	5％　PL103 龍泉窯
2	磁器	碗	－	(2.0)	－	緻密	灰	良好	外面鎬蓮弁文　内面陰刻草花文	覆土中層	5％　PL103 龍泉窯
3	土師質土器	小皿	－	(1.4)	4.0	長石・雲母	明赤褐	普通	ロクロ整形　底部外面ナデ	覆土中	30％
4	土師質土器	内耳鍋	[35.0]	(17.8)	－	長石・石英・赤色粒子・雲母	にぶい褐	普通	外面に厚く煤付着	覆土中	20％
5	陶器	甕	－	(7.3)	－	長石・石英	灰	良好	外面平行叩きの痕跡	覆土中	5％　PL103 砥石転用

番号	器　種	長さ	幅	厚さ	重量	材　　質	特　　徴	出土位置	備　考
6	砥石	8.0	3.8	1.6	(52.31)	凝灰岩	砥面 4 面	覆土中	

第 22 号溝跡（第 397 図　付図）

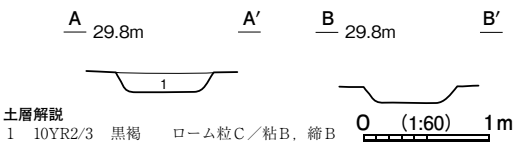
位置　調査区北部のＨ５j5 ～Ｉ５a7 区，標高 30 mほどの微高地上に位置している。

重複関係　第３・39 号竪穴建物跡を掘り込んでいる。

規模と形状　Ｉ５a7 区から西方向（Ｎ－85°－Ｗ）へ延びている。長さは 8.16 mで，上幅 60 ～ 84cm，下幅 44 ～ 74cm，深さ 12cmである。断面形は逆台形で，壁は外傾している。

覆土　単一層である。少量の含有物が均質に入っている堆積状況から自然堆積である。

所見　時期は，第２・５号堀跡とほぼ同軸であることから，同時代と考えられる。



第 397 図　第 22 号溝跡実測図

第 23 号溝跡（第 398 図　PL47）

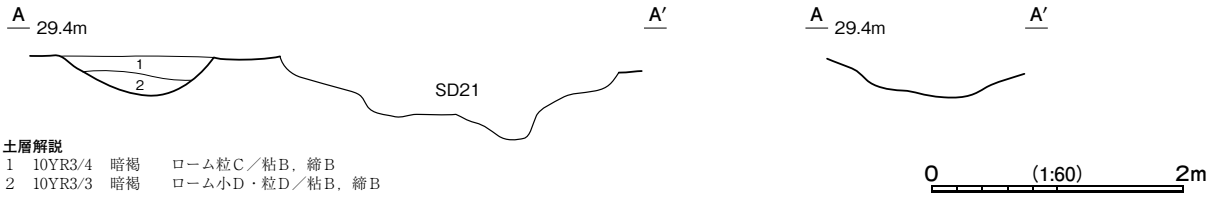
位置　調査区中央部のＩ５j3 ～ Ｊ５b3 区，標高 29 mほどの微高地上に位置している。

重複関係　第 14・21 号溝跡と重複しているが，新旧関係は不明である。

規模と形状　Ｊ５b3 から北方向（Ｎ－ 1°－Ｅ）へ延びている。長さは 5.78 mで，上幅 90 ～ 122cm，下幅 40 ～ 62cm，深さ 16 ～ 32cmである。断面形は浅いＵ字状で，壁は外傾している。

覆土　２層に分層できる。少量の含有物が均質に入っている堆積状況から自然堆積である。

所見　時期は，第 10 号溝とほぼ同軸であることから，同時代と考えられる。



土層解説
1　10YR3/4　暗褐　　ローム粒Ｃ／粘Ｂ，締Ｂ
2　10YR3/3　暗褐　　ローム小Ｄ・粒Ｄ／粘Ｂ，締Ｂ

第 398 図　第 23 号溝跡実測図

第 189 表　鎌倉・室町時代堀跡・溝跡一覧

番号	位　置	方　向	平面形	規　模				断　面	壁　面	覆　土	主な出土遺物	備　考
				長さ(m)	上幅（cm）	下幅（cm）	深さ(cm)					
1	Ｉ4a8～Ｊ5a9	Ｎ－ 16°－Ｅ Ｎ－ 56°－Ｗ Ｎ－ 12°－Ｅ Ｎ－ 78°－Ｗ Ｎ－ 21°－Ｗ Ｎ－115°－Ｗ	複数回屈曲	82.20	82 ～ 198	12 ～ 102	62 ～ 98	逆台形	外傾	自然 人為	土師質土器，陶器，瓦塔，砥石	SI 47・49・126 →本跡→ SK217・224，SD 7・15 ＳＥ 11 と新旧不明
2	Ｈ5e0～Ｊ5d4	Ｎ－ 95°－Ｅ Ｎ－ 0°	逆Ｌ字状	(99.80)	96 ～ 180	54 ～ 106	68 ～ 180	逆台形	外傾	自然	土師質土器，陶器，磁器，磨石，砥石，鉄滓	SI 9・27・31・32，SK364→本跡→SK511 SA 5・7と新旧不明
3	Ｉ6c1～Ｊ5e4	Ｎ－ 85°－Ｅ Ｎ－ 0°	逆Ｌ字状	77.20	110 ～ 144	74 ～ 120	60 ～ 110	逆台形	外傾	自然 人為	陶器，砥石，銭貨	SI 5・9・14・65・79，ＳＫ20・23・477・499→本跡
5	Ｉ3j6～Ｊ5d3	Ｎ－ 78°－Ｗ	直線状	(68.92)	134 ～ 248	48 ～ 120	43 ～ 84	逆台形	外傾	自然 人為	土師質土器，陶器，磁器，石造物，鉄碗	SI 88・105・109，SK147・320・441 →本跡→ SK451
6	Ｊ3b0～Ｊ5f3	Ｎ－ 77°－Ｗ	直線状	51.54	116 ～ 158	64 ～ 106	48 ～ 74	逆台形	外傾 ほぼ直立	自然 人為	土師質土器，陶器，磁器，砥石，	SI 86・87，SK519，SE34→本跡→ SK478・496
7	Ｈ5j1～Ｉ5b4	Ｎ－ 3°－Ｅ Ｎ－ 82°－Ｗ	Ｌ字状	15.50	60 ～ 100	22 ～ 33	28	浅い Ｕ字状	緩斜	自然 人為	土師質土器，陶器	SI 47・48，SD1 →本跡
8	Ｉ5d1～Ｉ5d3	Ｎ－ 88°－Ｅ	直線状	4.08	46 ～ 65	31 ～ 43	12	逆台形	外傾	人為	－	SI 50，SB 8 →本跡
9	Ｊ5a0～Ｊ5e0	Ｎ－ 5°－Ｅ	直線状	15.20	56 ～ 80	28 ～ 50	28 ～ 30	浅い Ｕ字状	緩斜	人為	土師質土器	
10	Ｈ4i9～Ｊ4a5	Ｎ－ 75°－Ｗ Ｎ－ 8°－Ｅ Ｎ－ 48°－Ｅ	直線状	62.10	28 ～ 70	16 ～ 44	8 ～ 35	逆台形	外傾	人為	陶器	SI 90・94・95・113・121，SK263→本跡→SK166・262 SD20と新旧不明
12	Ｈ4e5～Ｊ4a2	Ｎ－ 5°－Ｅ	直線状	66.00	116 ～ 216	48 ～ 100	58 ～ 70	逆台形	外傾	自然 人為	陶器，磁器，砥石	SI 94・109・112・119・132・139，SB 6，SK216・218・453， SE22→本跡→SK190
13	Ｉ5g2～Ｊ5a2	Ｎ－ 7°－Ｗ	直線状	(14.10)	30 ～ 57	21 ～ 40	10	逆台形	外傾	不明	－	本跡→SB10，SK113・123 125　PG 2と新旧不明
14	Ｉ5i3～Ｉ5j3	Ｎ－ 8°－Ｅ	直線状	5.90	49 ～ 73	34 ～ 48	8	逆台形	外傾	不明	－	SK126→本跡→ SK127・129 SD23，PG 2と新旧不明
15	Ｉ4b9～Ｊ5c3	Ｎ－ 83°－Ｗ Ｎ－ 11°－Ｅ Ｎ－122°－Ｅ	複数回屈曲	62.10	85 ～ 415	20 ～ 80	52 ～ 122	逆台形	外傾 緩斜	自然	土師質土器，陶器，五輪塔	SI 96・107・122・126・128・129・135・137，SK174・228・231・248・249・525，SE26・32，SD 1， 火葬施設 6→本跡→ SK232・447， SE33，PG 7　SK235と新旧不明
16	Ｈ4e8～Ｉ4b4	Ｎ－ 26°－Ｅ Ｎ－ 97°－Ｅ Ｎ－ 15°－Ｅ Ｎ－ 60°－Ｅ Ｎ－ 20°－Ｅ	直線状 複数回屈曲	(29.18)	34 ～ 104	18 ～ 60	10 ～ 21	浅い Ｕ字状	外傾	人為	－	SI 95・114・131 →本跡
17	Ｈ5e5～Ｈ5g6	Ｎ－ 13°－Ｗ	直線状	(6.00)	55 ～ 76	25 ～ 40	13 ～ 20	浅い Ｕ字状	外傾	人為	－	
19	Ｊ5b3～Ｊ5d3	Ｎ－ 10°－Ｗ	直線状	(7.52)	42 ～ 76	18 ～ 36	20	浅い Ｕ字状	外傾	人為	－	SA 8，PG 7と 新旧不明
20	Ｉ4e5～Ｉ4f4	Ｎ－ 63°－Ｅ Ｎ－ 11°－Ｅ	逆Ｌ字状	(6.95)	35 ～ 67	14 ～ 34	13 ～ 26	浅い Ｕ字状	外傾	人為	－	SD10 と新旧不明
21	Ｊ5a3～Ｊ5c5	Ｎ－ 41°－Ｗ	直線状	(12.64)	120 ～ 274	40 ～ 186	17 ～ 28	浅い Ｕ字状	緩斜	人為	土師質土器，陶器，磁器，砥石，鉄滓	SK494，SD23 と 新旧不明
22	Ｈ5j5～Ｉ5a7	Ｎ－ 85°－Ｗ	直線状	8.16	60 ～ 84	44 ～ 74	12	逆台形	外傾	自然	－	SI 3・39→本跡
23	Ｊ5j3～Ｊ5b3	Ｎ－ 1°－Ｅ	直線状	5.78	90 ～ 122	40 ～ 62	16 ～ 32	浅い Ｕ字状	外傾	自然	－	SD14・21 と新旧不明

(5) 柱穴列

第１号柱穴列（第 399 図）

位置　調査区中央部のＩ４h9 ～ Ｊ４b9 区，標高 30 mほどの微高地上に位置している。

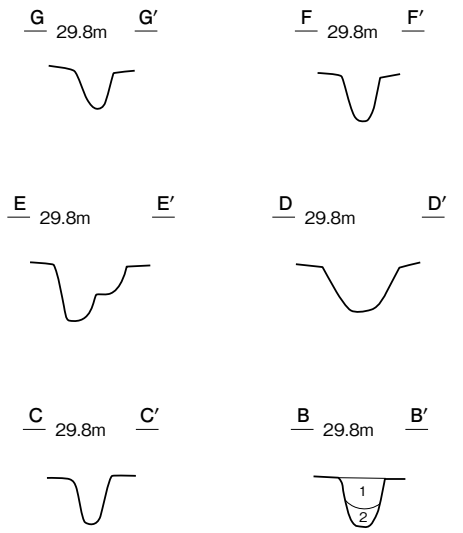
重複関係　第 212 号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状　北から南 14.85 mの間に配列された柱穴７か所を確認した。配列方向はＮ－７°－Ｅである。柱間寸法は 1.86 ～ 3.36 m（６～ 11 尺）で，柱筋はほぼ揃っている。

柱穴　７か所。平面形は円形または楕円形で，長径 22 ～ 60㎝，短径 20 ～ 45㎝である。深さは 22 ～ 45㎝で，断面形はＵ字状である。５層に分層でき，第５層は柱痕跡，第４層は掘方への埋土，第１～３層は柱抜き取り後の覆土である。

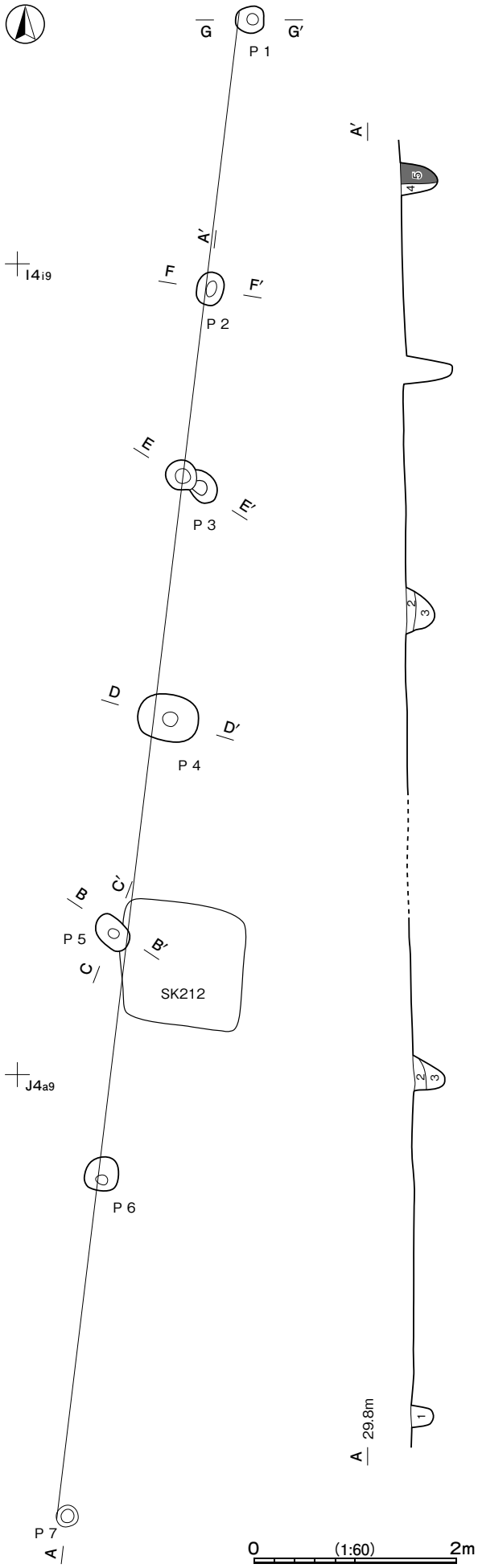
遺物出土状況　混入した土師器片 15 点（坏 13，鉢１，甕１）が出土している。

所見　時期は，第１・15 号溝の内側にあり，13 ～ 15 世紀の方形区画堀とほぼ同軸であることから，同時期に機能していたと考えられる。



土層解説（各ピット共通）

1	10YR3/3	暗褐	ローム小Ｄ・粒Ｃ，炭化粒Ｄ'／粘Ｂ，締Ｂ
2	10YR3/3	暗褐	ローム中Ｄ・小Ｂ・粒Ｂ／粘Ｂ，締Ｂ
3	10YR3/3	暗褐	ローム中Ｄ'・小Ｃ・粒Ｂ／粘Ｂ，締Ｂ
4	10YR3/3	暗褐	ローム中Ｄ・小Ｃ・粒Ｃ，炭化粒Ｄ'／粘Ｂ，締Ｂ
5	10YR2/2	黒褐	ローム中Ｄ'・小Ｄ・粒Ｂ，炭化粒Ｄ／粘Ｂ，締Ｂ

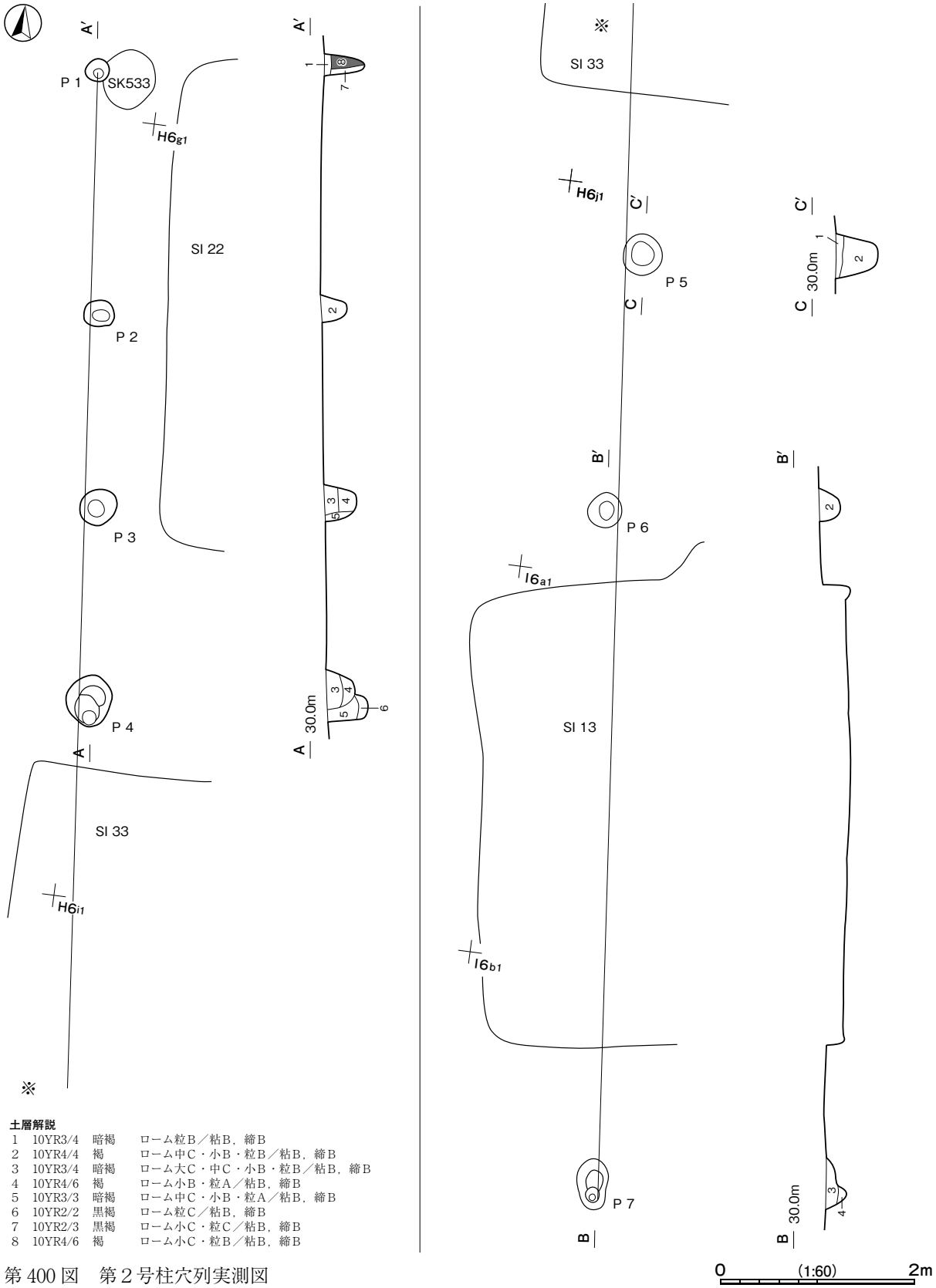


第 399 図　第１号柱穴列実測図

第２号柱穴列（第 400 図）

位置　調査区北部のＨ５f0 ～ Ｉ６b1 区，標高 30 ｍほどの微高地上に位置している。

重複関係　第 13・33 号竪穴建物跡，第 533 号土坑を掘り込んでいる。



土層解説

1	10YR3/4	暗褐	ローム粒Ｂ／粘Ｂ，締Ｂ
2	10YR4/4	褐	ローム中Ｃ・小Ｂ・粒Ｂ／粘Ｂ，締Ｂ
3	10YR3/4	暗褐	ローム大Ｃ・中Ｃ・小Ｂ・粒Ｂ／粘Ｂ，締Ｂ
4	10YR4/6	褐	ローム小Ｂ・粒Ａ／粘Ｂ，締Ｂ
5	10YR3/3	暗褐	ローム中Ｃ・小Ｂ・粒Ａ／粘Ｂ，締Ｂ
6	10YR2/2	黒褐	ローム粒Ｃ／粘Ｂ，締Ｂ
7	10YR2/3	黒褐	ローム小Ｃ・粒Ｃ／粘Ｂ，締Ｂ
8	10YR4/6	褐	ローム小Ｃ・粒Ｂ／粘Ｂ，締Ｂ

第 400 図　第２号柱穴列実測図

規模と形状　北から南 23.00 mの間に配列された柱穴７か所を確認した。配列方向はＮ－５°－Ｗである。柱間寸法は 2.00 ～ 7.15 m（７～ 24 尺）で，柱筋はほぼ揃っている。

柱穴　７か所。平面形は円形または楕円形で，長径 26 ～ 62㎝，短径 22 ～ 50㎝である。深さは 20 ～ 46㎝で，断面形はＵ字状及び皿状である。８層に分層できる。第８層は柱痕跡，第７層は掘方への埋土，第２～６層は柱抜き取り後の覆土，第１層は自然堆積である。

遺物出土状況　混入した土師器片 15 点（坏５，壺１，甕９）が出土している。

所見　時期は，第３号堀跡の延長線上にあり，第２号堀跡とほぼ平行に並んでいることなどから同時期に機能していたと考えられる。第 13・33 号竪穴建物跡の確認面では，柱穴は確認できなかった。

第５号柱穴列（第 401 図）

位置　調査区中央部のＪ５e5 ～ Ｊ５e8 区，標高 30 mほどの微高地上に位置している。

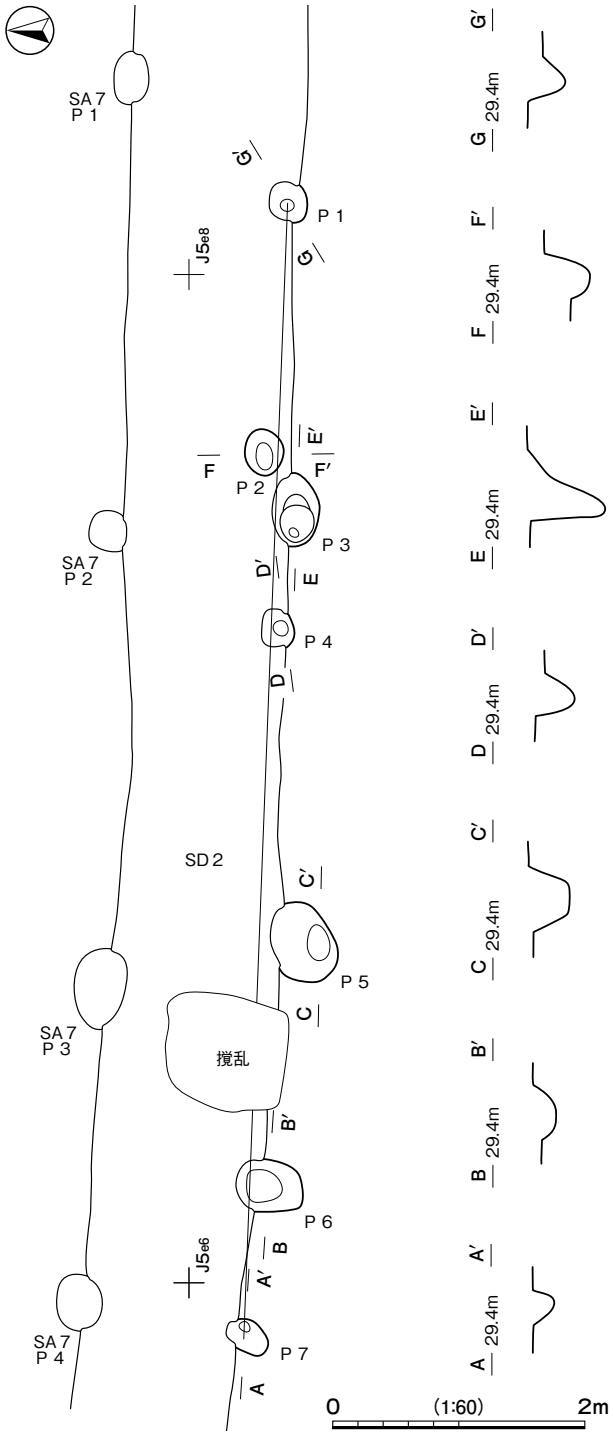
重複関係　第２号堀跡と重複しているが，同時期に機能していた可能性がある。

規模と形状　東から西 8.87 mの間に配列された柱穴７か所を確認した。配列方向はＮ－ 87°－Ｗである。柱間寸法は 0.60 ～ 2.50 m（２～８尺）で，柱筋はほぼ揃っている。

柱穴　７か所。平面形は円形または楕円形で，長径 30 ～ 68㎝，短径 24 ～ 48㎝である。深さは 14 ～ 58 ㎝で，断面形はＵ字状及び皿状である。

遺物出土状況　陶器片１点（大皿）がＰ３覆土中から出土している。

所見　時期は，出土土器から 14 ～ 15 世紀代と考えられる。第７号柱穴列と並列しており，同時期に第２号堀を囲んでいた可能性がある。



第 401 図　第５号柱穴列・出土遺物実測図

第 190 表　第５号柱穴列出土遺物一覧（第 401 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
1	陶器	大皿	－	(3.8)	－	黒色粒子	浅黄	良好	ロクロ整形　外・内面灰釉	Ｐ３覆土中	５％

第６号柱穴列（第 402 図）

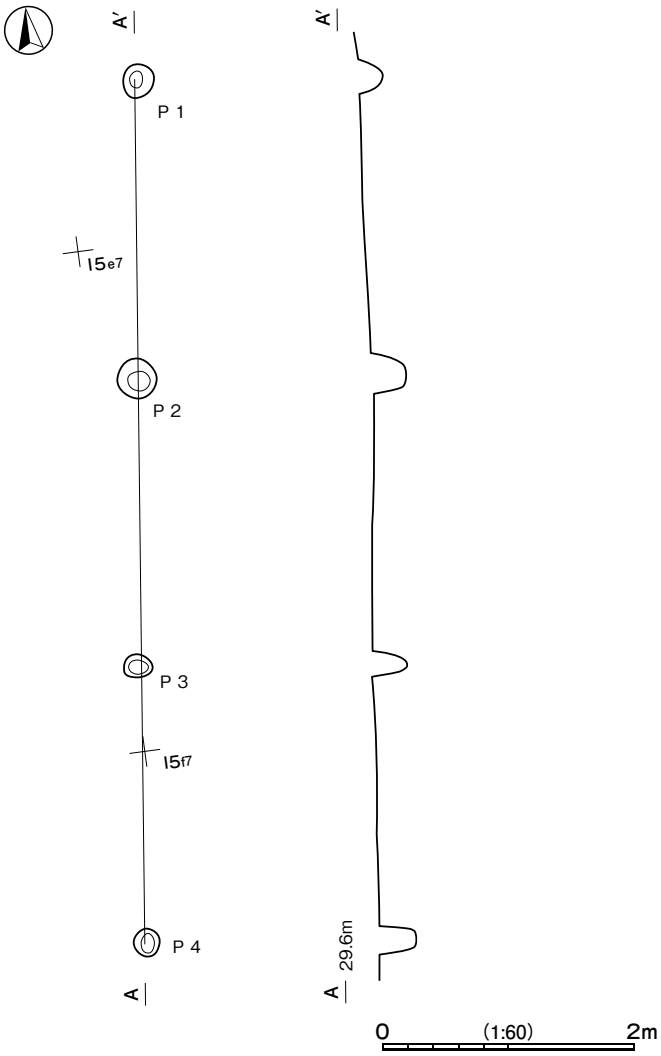
位置　調査区中央部のＩ５d7 ～ Ｉ５f7 区，標高 30 mほどの微高地上に位置している。

重複関係　第２号ピット群と重複している。

規模と形状　北から南 6.86 mの間に配列された柱穴４か所を確認した。配列方向はＮ－７°－Ｅである。柱間寸法は 2.20 ～ 2.36 m（８尺）で，柱筋は揃っている。

柱穴　４か所。平面形は円形または楕円形で，長径 22 ～ 33cm，短径 18 ～ 32cmである。深さは 18 ～ 30cmで，断面形はＵ字状である。

所見　時期は，13 ～ 15 世紀の第１号溝跡や第２号堀跡と平行に並んでいることから，同時期に機能していたと考えられる。



第 402 図　第６号柱穴列実測図

第７号柱穴列（第 403 図）

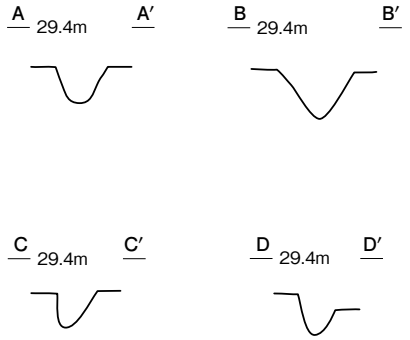
位置　調査区中央部のＪ５d5 ～ Ｊ５d8 区，標高 30 mほどの微高地上に位置している。

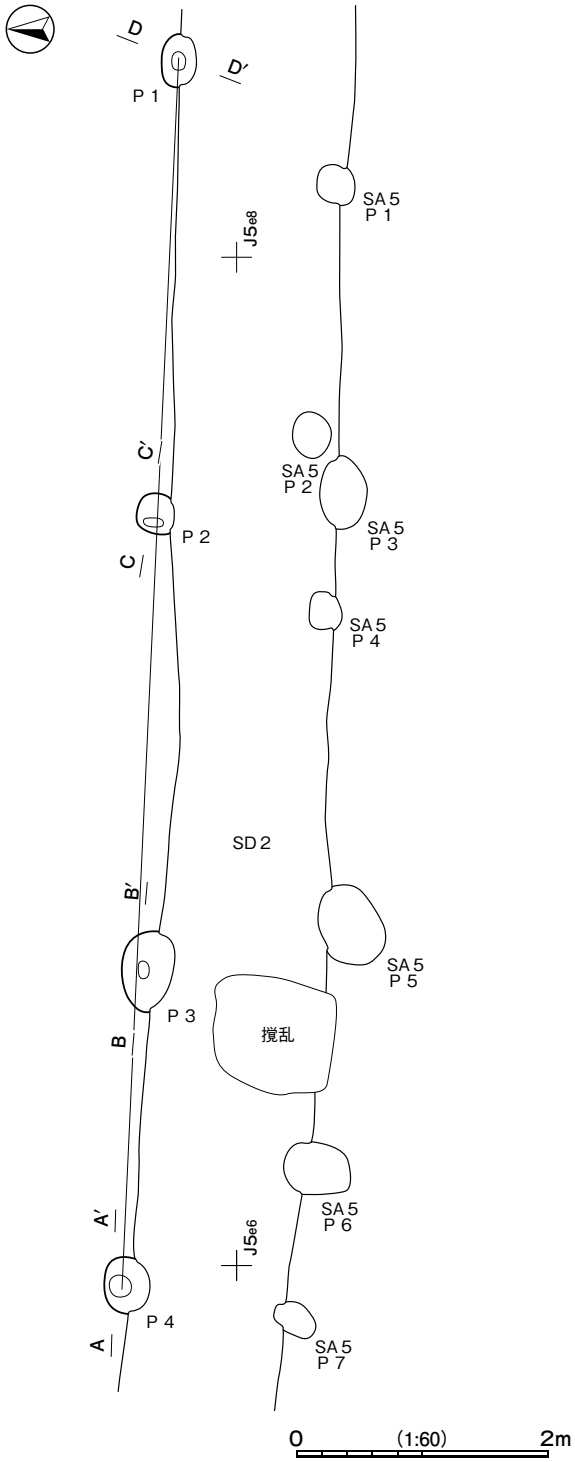
重複関係　第２号堀跡と重複しており，同時期に機能していた可能性がある。

規模と形状　東から西 9.73 mの間に配列された柱穴４か所を確認した。配列方向はN － 87° －Wである。柱間寸法は 2.50 ～ 3.63 m（８～ 12 尺）で，柱筋は揃っている。

柱穴　４か所。平面形は円形または楕円形で，長径 32 ～ 63㎝，短径 30 ～ 40㎝である。深さは 28 ～ 38㎝で，断面形はＵ字状及びＶ字状である。

所見　時期は，15 世紀中葉に廃絶された第２号堀と平行に並んでいることから，同時期に機能していたと考えられる。また，第８号柱穴列と連結して第２号堀の内側を囲んでいた可能性がある。





第 403 図　第７号柱穴列実測図

第８号柱穴列（第 404 図）

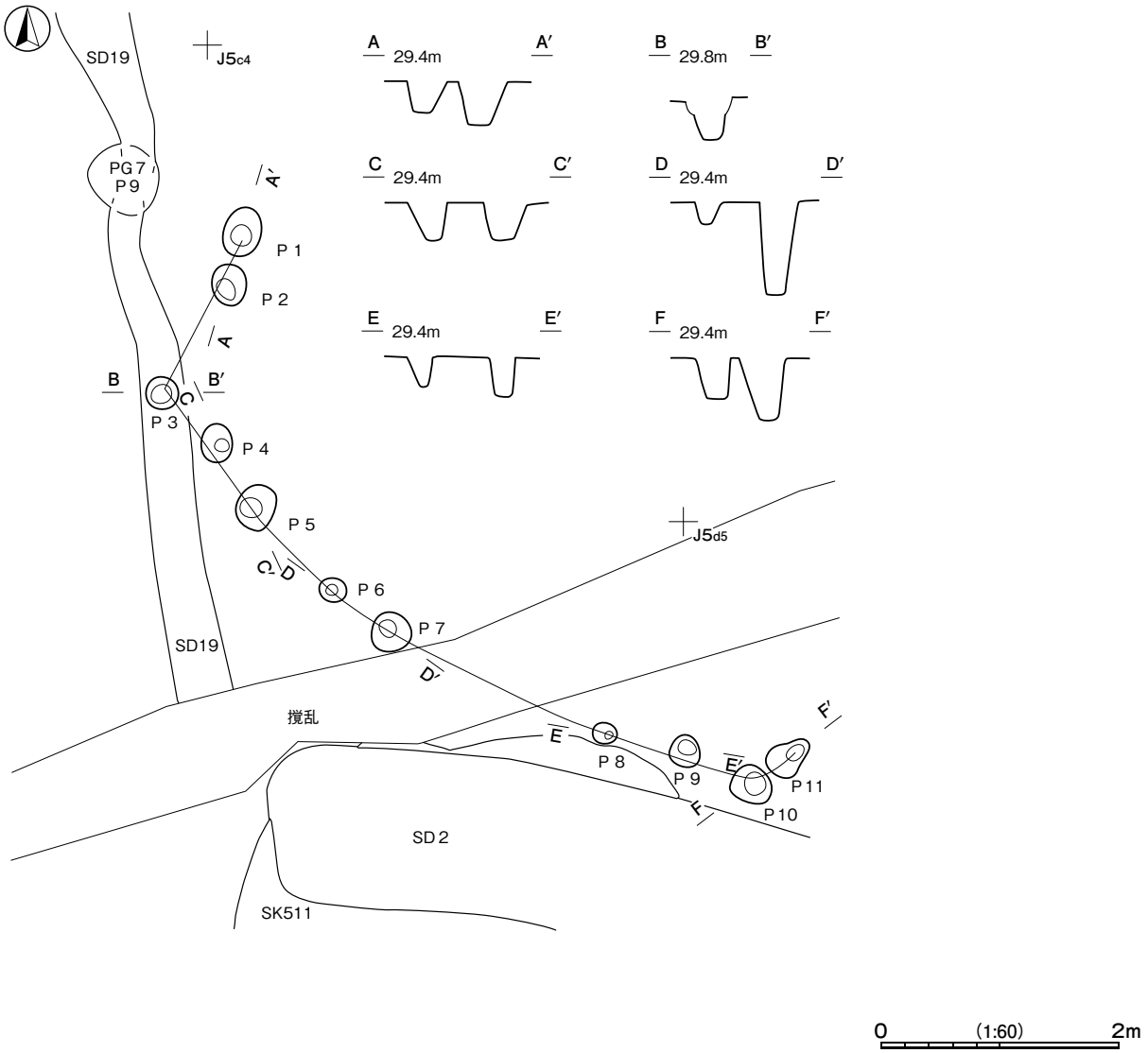
位置　調査区中央部のＪ５c4 ～ Ｊ５d5 区，標高 30 mほどの微高地上に位置している。

重複関係　第 19 号溝跡と重複しているが，新旧関係は不明である。

規模と形状　北から東 7.78 mの間に湾曲して配列された柱穴 11 か所を確認した。配列方向はＰ１～Ｐ３間がＮ－ 25° －Ｅ，Ｐ３～Ｐ 11 間がN － 55° －Wである。柱間寸法は 0.42 ～ 2.06 m（１～７尺）で，柱筋はほぼ揃っている。

柱穴　11 か所。平面形は円形または楕円形で，長径 20 ～ 43cm，短径 19 ～ 34cmである。深さは 18 ～ 78cmで，断面形は U 字状である。

所見　時期は，南東部が 15 世紀に廃絶された第２号堀に沿って延びていることから，同時期に機能していたと考えられる。また，第７号柱穴列と連結して第２号堀の内側を囲んでいた可能性がある。



第 404 図　第８号柱穴列実測図

第 191 表　鎌倉・室町時代柱穴列一覧

番号	位置	配列方向	長さ(m)	柱間(m)	柱穴					主な出土遺物	備考
					柱穴数	平面形	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)		
1	I4h9～J4b9	N－7°－E	14.85	1.86 ～ 3.36	7	円形・楕円形	22 ～ 60	20 ～ 45	22 ～ 45	－	SK212 →本跡
2	H5f0～I6b1	N－5°－W	23.00	2.00 ～ 7.15	7	円形・楕円形	26 ～ 62	22 ～ 50	20 ～ 46	－	SI 13・33，SK533 →本跡
5	J5e5～J5e8	N－87°－W	8.87	0.60 ～ 2.50	7	円形・楕円形	30 ～ 68	24 ～ 48	14 ～ 58	陶器	SD 2 と新旧不明
6	I5d7～I5f7	N－7°－E	6.86	2.20 ～ 2.36	4	円形・楕円形	22 ～ 33	18 ～ 32	18 ～ 30	－	PG 2 と新旧不明
7	J5d5～J5d8	N－87°－W	9.73	2.50 ～ 3.63	4	円形・楕円形	32 ～ 63	30 ～ 40	28 ～ 38	－	SD 2 と新旧不明
8	J5c4～J5d5	N－25°－E N－55°－W	7.78	0.42 ～ 2.06	11	円形・楕円形	20 ～ 43	19 ～ 34	18 ～ 78	－	SD19 と新旧不明

(6) 火葬施設

第１号火葬施設（第 405 図　PL51）

位置　調査区中央部のＪ４a8 区，標高 30 mほどの微高地上に位置している。

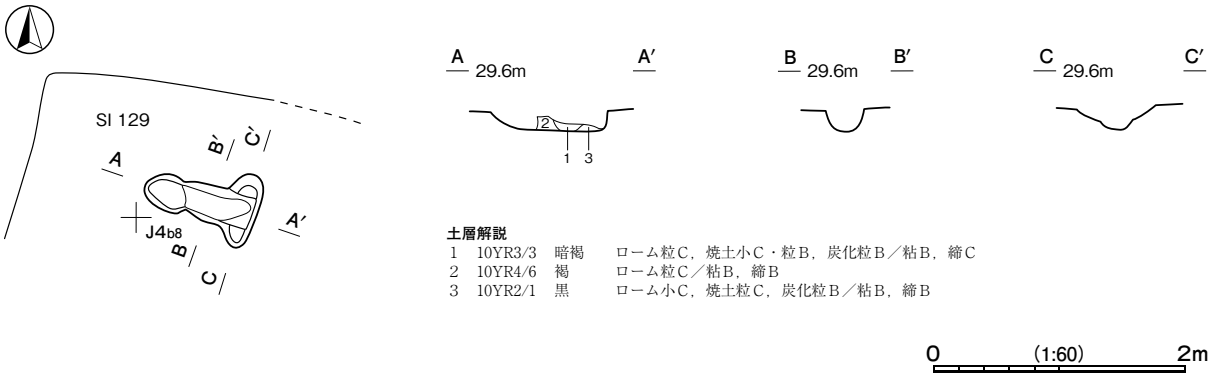
重複関係　第 129 号竪穴建物跡を掘り込んでいる。

規模と形状　平面形は呂字状で，主軸方向はＮ－ 110°－Ｅである。焚口部は長軸 0.36 m，短軸 0.28 mの楕円形で，深さは 15cmである。底面は平坦である。通風溝は燃焼部の中央部まで延びており，規模は長さ 0.52 m，上幅 0.30 m，下幅 0.18 mで，確認面からの深さは 17cmである。焚口部側が底面からやや掘りくぼめられている。燃焼部は長径 0.61 m，短径 0.26 mの楕円形で，確認面からの深さは 10cmである。底面は平坦で，壁は緩やかに立ち上がっている。

覆土　３層に分層できる。焼土ブロックと炭化粒子が含まれていることから人為堆積である。

遺物出土状況　混入した縄文土器片１点（深鉢）が出土している。

所見　時期は，呂字状が崩れた形状から 15・16 世紀代と考えられる。

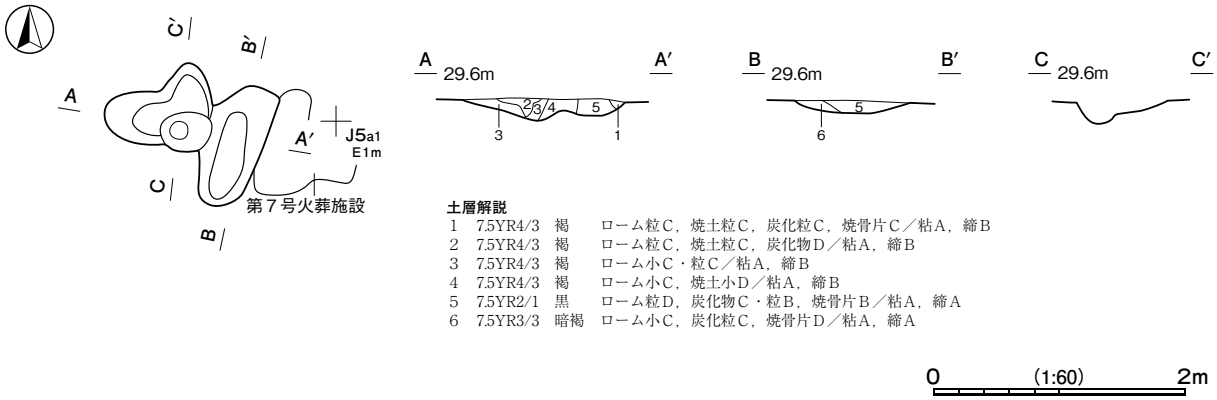


第 405 図　第１号火葬施設実測図

第２号火葬施設（第 406 図　PL51）

位置　調査区中央部のＪ４a0 区，標高 30 mほどの微高地上に位置している。

重複関係　第７号火葬施設を掘り込んでいる。



第 406 図　第２号火葬施設実測図

規模と形状　平面形は呂字状で，主軸方向はＮ－ 100゜－Ｅである。焚口部は長径 0.85 m短径 0.70 mの不定形で，深さは 10cmである。底面は平坦である。通風溝の規模は長さ 0.41 m，上幅 0.32 m，下幅 0.15 mで，確認面からの深さは 18cmである。底面は皿状で，燃焼部に向かって傾斜している。燃焼部は長軸 1.00 m，短軸 0.42 mの隅丸長方形で，確認面からの深さは 12cmである。底面は平坦で，壁は緩やかに立ち上がっている。

覆土　６層に分層できる。第１～４層は不規則な堆積状況から人為堆積である。燃焼部底面の第５・６層は焼骨片や炭化物が含まれている。

遺物出土状況　自然遺物 32 点（焼骨片）のほか，混入した土師器片２点（坏）が出土している。

所見　時期は，呂字状が崩れた形状から 15・16 世紀代と考えられる。

第３号火葬施設（第 407 図　PL51）

位置　調査区中央部のＪ５a1 区，標高 30 mほどの微高地上に位置している。

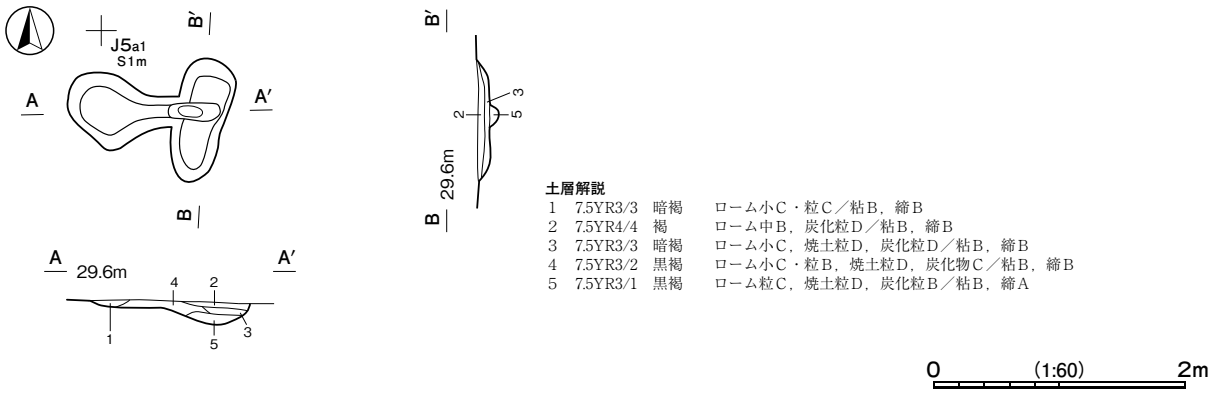
重複関係　第８号火葬施設を掘り込んでいる。

規模と形状　平面形は呂字状で，主軸方向はＮ－ 90゜－Ｅである。焚口部は長径 0.61 m，短径 0.58 mの楕円形で，深さは 12cmである。底面は平坦である。通風溝の規模は長さ 0.68 m，上幅 0.26 m，下幅 0.10 mで，確認面からの深さは８～ 12cmである。焚口部側が底面からやや掘りくぼめられている。燃焼部は長径 1.00 m，短径 0.41 mの楕円形で，確認面からの深さは 14cmである。底面はやや凸凹で，壁は緩やかに立ち上がっている。

覆土　５層に分層できる。ロームブロック，焼土，炭化物などが含まれていることから人為堆積である。

遺物出土状況　混入した土師器片１点（坏）が出土している。

所見　時期は，呂字状の形状が崩れた形状から 15・16 世紀代と考えられる。



第 407 図　第３号火葬施設実測図

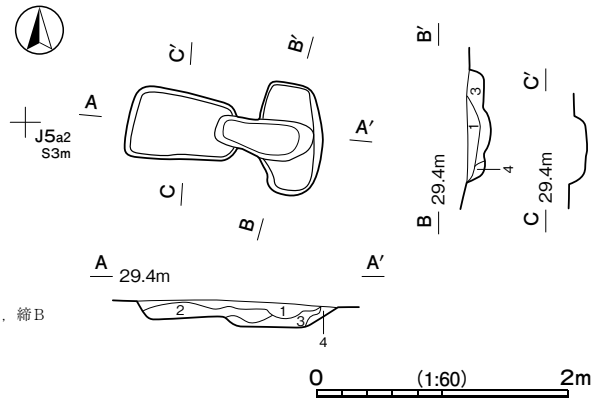
第４号火葬施設（第 408 図　PL51）

位置　調査区中央部のＪ５a2 区，標高 30 mほどの微高地上に位置している。

規模と形状　平面形は呂字状で，主軸方向はＮ－ 96゜－Ｅである。焚口部は長軸 0.86 m，短軸 0.52 mの長方形で，深さは 14cmである。底面は平坦である。通風溝は燃焼部の中央部まで延びており，規模は長さ 0.78 m，上幅 0.32 m，下幅 0.24 mで，確認面からの深さは 20cmである。燃焼部は長軸 0.88 m，短軸 0.47 mの長方形で，確認面からの深さは 16cmである。底面は平坦で，壁は外傾している。

覆土　４層に分層できる。焼土ブロックと炭化粒子が含まれていることから人為堆積である。

所見　時期は，呂字状の形状から 15 世紀代と考えられる。



土層解説

1	10YR4/6	褐	ローム粒Ｃ，焼土中Ｄ，炭化粒Ｄ／粘Ｂ，締Ａ
2	10YR2/2	黒褐	ローム粒Ｄ，焼土大Ｄ・中Ｃ・小Ｃ，炭化粒Ｃ／粘Ｂ，締Ｂ
3	10YR2/1	黒	ローム粒Ｄ，焼土大Ｄ・中Ｄ・粒Ｂ，炭化物Ｃ・粒Ｂ／粘Ｂ，締Ｂ
4	10YR4/4	褐	ローム粒Ｃ，焼土粒Ｄ／粘Ｂ，締Ｂ

第 408 図　第４号火葬施設実測図

第５号火葬施設（第 409 図　PL51）

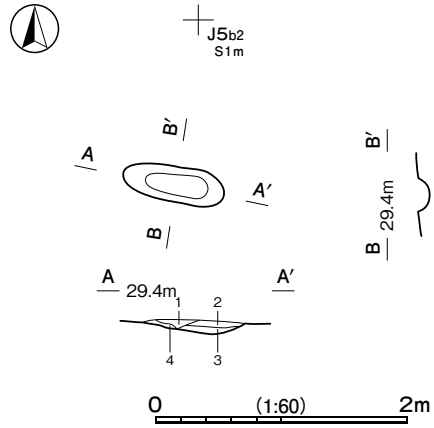
位置　調査区中央部のＪ５b1 区，標高 30 ｍほどの微高地上に位置している。

規模と形状　通風溝のみ確認でき，平面形は楕円形で，長径方向はＮ－ 78 ゜－Ｗである。通風溝の規模は長さ 0.82 ｍ，上幅 0.26 ｍ，下幅 0.17 ｍで，確認面からの深さは 10㎝である。底面は平坦で，壁は緩やかに立ち上がっている。

覆土　４層に分層できる。焼土ブロックと炭化物が含まれていることから人為堆積である。第１層には焼骨片や炭化物が含まれている。

遺物出土状況　自然遺物 18 点（焼骨片）のほか，混入した土師器片１点（坏）が出土している。

所見　時期は，通風溝のみ確認できた状況から中世と考えられる。



土層解説

1	7.5YR3/2	黒褐	焼土小Ｃ，炭化物Ｂ，焼骨片Ｃ／粘Ａ，締Ｂ
2	7.5YR2/1	黒	ローム小Ｃ，焼土粒Ｄ，炭化物Ｃ／粘Ａ，締Ｂ
3	7.5YR2/1	黒	ローム粒Ｃ，炭化物Ｂ・粒Ａ／粘Ａ，締Ａ
4	7.5YR5/4	にぶい褐	ローム中Ｂ／粘Ａ，締Ａ

第 409 図　第５号火葬施設実測図

第６号火葬施設（第 410 図）

位置　調査区中央部のＪ４b9 区，標高 30 ｍほどの微高地上に位置している。

重複関係　第 15 号溝跡を掘り込んでいる。

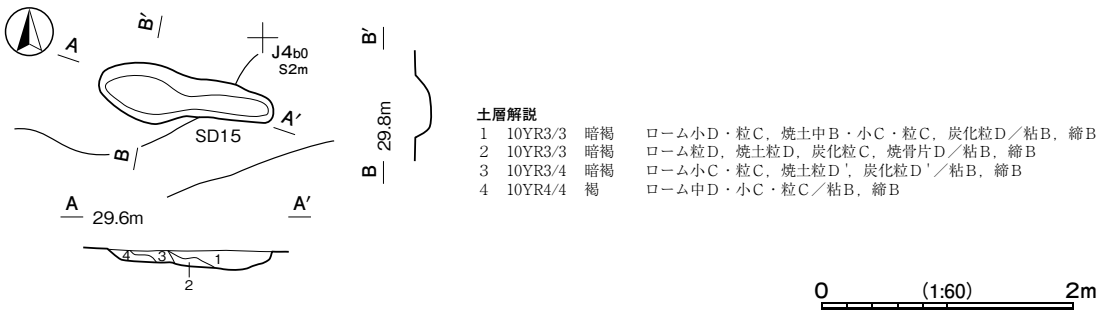
規模と形状　通風溝のみ確認でき，平面形は楕円形と推定され，長径方向はＮ－ 80 ゜－Ｗである。通風溝は長さ 1.41 ｍ，上幅 0.47 ｍ，下幅 0.25 ｍで，確認面からの深さは 10㎝である。底面は平坦で，壁は緩やかに立ち上がっている。

覆土　４層に分層できる。第１～４層はロームブロックと焼土ブロックなどが含まれていることから人為堆積

である。第２層には焼骨片や炭化粒子が含まれている。

遺物出土状況　自然遺物 12 点（焼骨片）が出土している。

所見　時期は，重複関係から 15 世紀中葉以降と考えられる。



第 410 図　第６号火葬施設実測図

第７号火葬施設（第 411 図　PL51）

位置　調査区中央部のＪ５a1 区，標高 30 mほどの微高地上に位置している。

重複関係　第２号火葬施設に掘り込まれている。

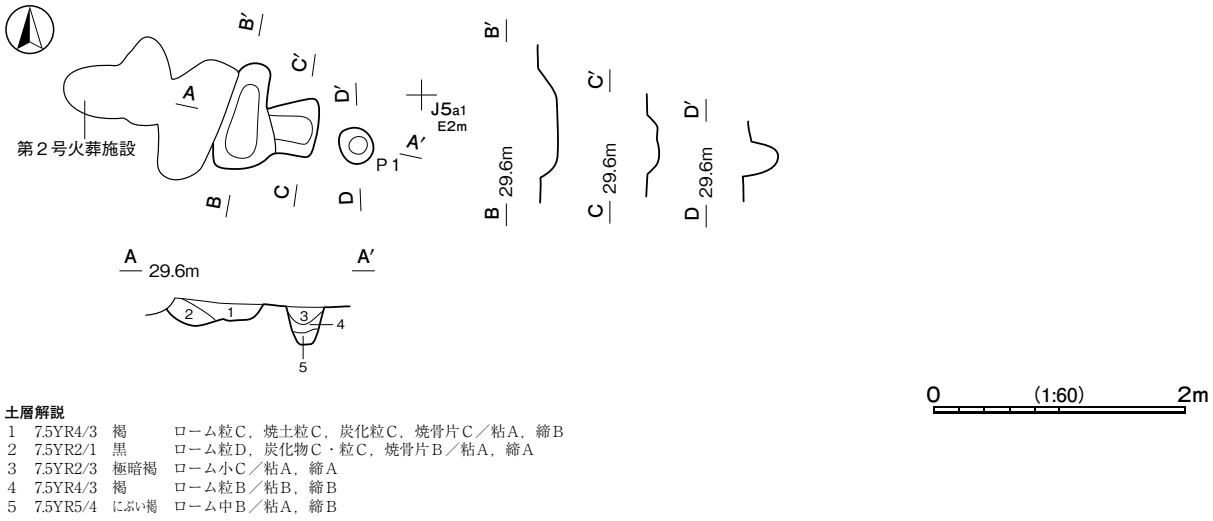
規模と形状　平面形はＴ字状で，主軸方向はＮ－ 80°－Ｗである。通風溝の規模は長さ 0.42 m , 上幅 0.46 m，下幅 0.22 mで，確認面からの深さは 13cmである。底面はほぼ平坦である。燃焼部は長径 0.86 m，短径 0.40 mの楕円形で，確認面からの深さは 16cmである。底面は平坦で，壁は緩やかに立ち上がっている。東部にＰ１があり，壁は外傾している。

ピット　Ｐ１は長径 30cm，短径 28cmの円形で，深さ 30cmである。燃焼部に関連する構造物の痕跡と推測されるが，性格は不明である。

覆土　５層に分層できる。第１層はロームブロックなどが含まれていることから人為堆積である。第３～５層は含有物が少なく，均質に含まれる堆積状況から自然堆積である。燃焼部底面の第１・２層には焼骨片や炭化物が含まれている。

遺物出土状況　自然遺物 27 点（焼骨片）が出土している。

所見　時期は，Ｔ字状の形状から 15・16 世紀代と考えられる。



第 411 図　第７号火葬施設実測図

第８号火葬施設（第 412 図　PL51）

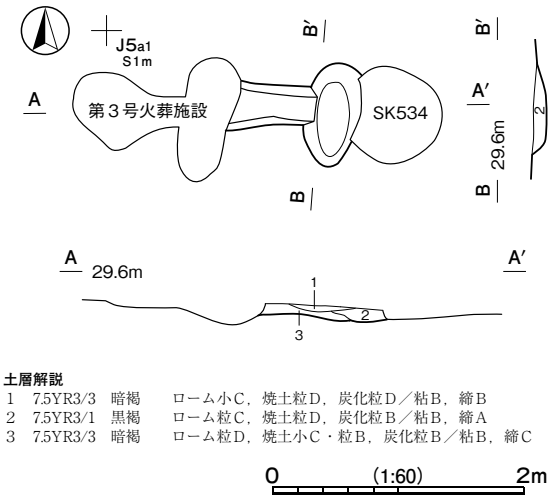
位置　調査区中央部のＪ５a1 区，標高 30 mほどの微高地上に位置している。

重複関係　第 534 号土坑，第３号火葬施設に掘り込まれている。

規模と形状　平面形は呂字状またはＴ字状と推測され，主軸方向はＮ－ 90゜－Ｅである。確認できた通風溝の規模は長さ 0.70 m , 上幅 0.40 m，下幅 0.24 mで，確認面からの深さは７～ 10㎝である。燃焼部に向かって傾斜している。確認できた燃焼部の規模は長径 0.84 mで，短径 0.40 mほどの楕円形と推測できる。確認面からの深さは 12㎝である。底面は平坦で，壁は緩やかに立ち上がっている。

覆土　３層に分層できる。ロームブロックと焼土，炭化物が含まれていることから人為堆積である。

所見　時期は，呂字またはＴ字状の形状から 15・16 世紀代と考えられる。



第 412 図　第８号火葬施設実測図

第 192 表　鎌倉・室町時代火葬施設一覧

番号	位置	軸方向	平面形	全長 (m)	焚口部				燃焼部				通風溝			覆土	主な出土遺物	備考
					長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (cm)	底面	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (cm)	底面	上幅 (m)	下幅 (m)	深さ (cm)			
1	J4a8	N－110゜－E	呂字状	0.93	0.36	0.28	15	平坦	0.61	0.26	10	平坦	0.30	0.18	17	人為	－	SI 129 →本跡
2	J4a0	N－100゜－E	呂字状	1.32	0.85	0.70	10	平坦	1.00	0.42	12	平坦	0.32	0.15	18	人為	焼骨片	第７号火葬施設→本跡
3	J5a1	N－ 90°－E	呂字状	1.26	0.61	0.58	12	平坦	1.00	0.41	14	やや凸凹	0.26	0.10	8～12	人為	－	第８号火葬施設→本跡
4	J5a2	N－ 96°－E	呂字状	1.56	0.86	0.52	14	平坦	0.88	0.47	16	平坦	0.32	0.24	20	人為	－	
5	J5b1	N－ 78°－W	(楕円形)	(0.82)	－	－	－	－	－	－	－	－	0.26	0.17	10	人為	焼骨片	
6	J4b9	N－ 80゜－W	(楕円形)	(1.41)	－	－	－	－	－	－	－	－	0.47	0.25	10	人為	焼骨片	SD15 →本跡
7	J5a1	N－ 80゜－W	Ｔ字状	(0.75)	－	－	－	－	0.86	(0.40)	16	平坦	0.46	0.22	13	自然人為	焼骨片	本跡→第２号火葬施設
8	J5a1	N－ 90°－E	[呂字状 Ｔ字状]	(1.10)	－	－	－	－	0.84	(0.40)	12	平坦	0.40	0.24	7～10	人為	－	本跡→第３号火葬施設・SK534

(7) ピット群

ピット群３か所は，解説及び実測図，遺構・遺物一覧を記載し，規模は計測表にて掲載する。なお，第２・５号ピット群は，第１・15 号溝内側の区画に確認したピット群を，便宜的に北部と南部に分けて扱っている（第 414 図）。

第２号ピット群（第 413・414 図）

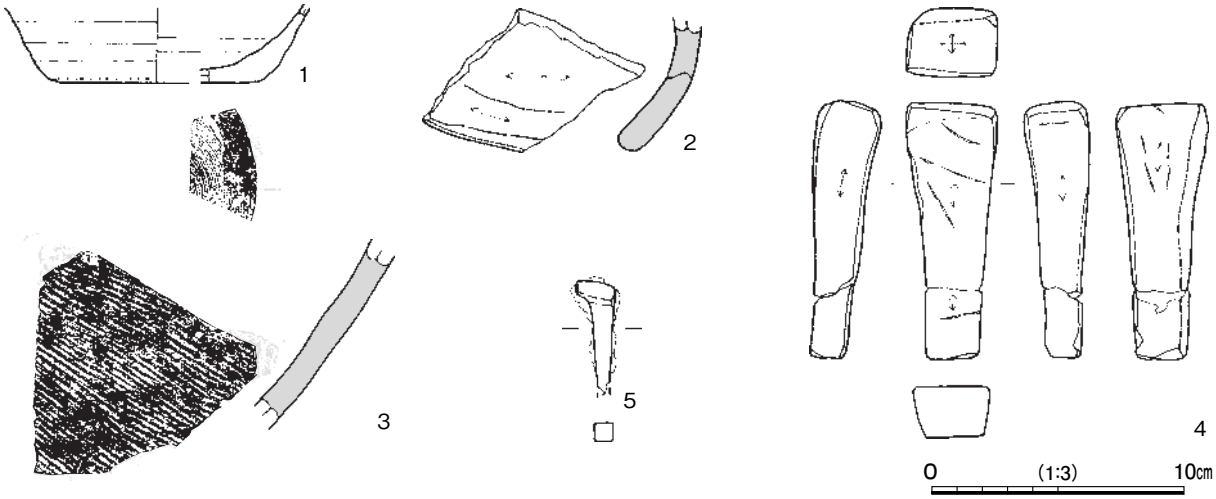
位置　調査区中央部のＩ４a0 ～ Ｉ５h5 区，標高 30 mの微高地上に位置している。

重複関係　第 43 ～ 45・47・50・98 号竪穴建物跡，第 365 号土坑を掘り込んでいる。第８・10・11・13 号掘立柱建物跡，第１号方形竪穴遺構，第 46・48 ～ 58・61・62・64 ～ 66・68・69・71 ～ 76・79 ～ 81・83・84・90 ～ 92・95・99・100・105 ～ 107・109・114・120・293・391 号土坑，第３・６・53・54 号井戸跡，第８・13 号溝跡，第６号柱穴列と重複している。

規模と形状　南北 28 m，東西 31 mの範囲に，ピット 396 か所を確認した。個々の形状，計測値については，一覧表に記載する。

遺物出土状況　土師質土器１点（小皿），陶器片２点（甕），石器１点（砥石），金属製品１点（鉄釘）のほか，混入した土師器片 119 点（坏 55，椀１，坩３，高坏３，甕 57），須恵器片３点（蓋１，瓶２）が出土している。

所見　時期は，出土土器から 13 ～ 15 世紀代と考えられる。第５号ピット群と合わせて，館の居住空間であったと考えられる。



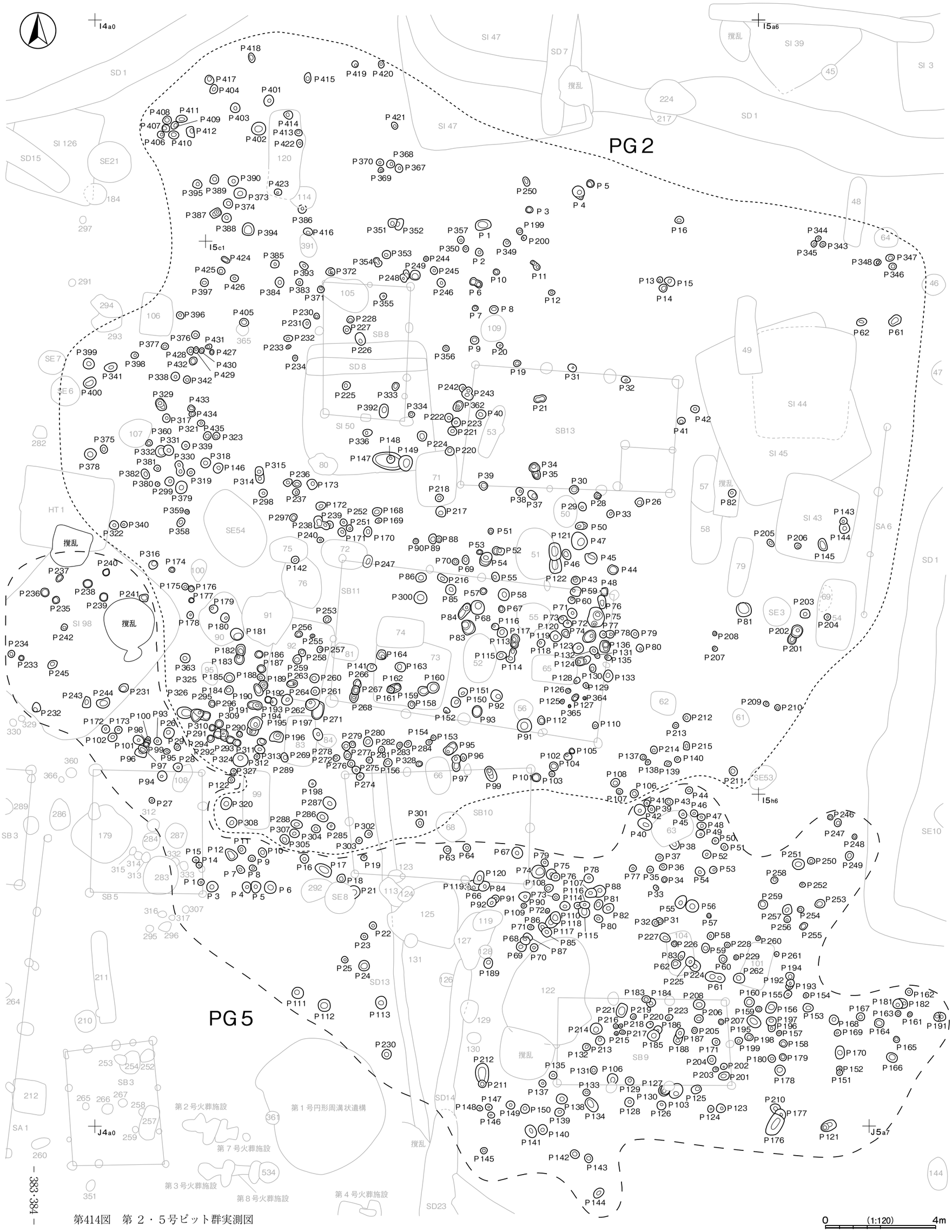
第 413 図　第２号ピット群出土遺物実測図

第 193 表　第２号ピット群出土遺物一覧（第 413 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
1	土師質土器	小皿	－	(3.1)	[8.0]	長石・石英・雲母・赤色粒子・黒色粒子	橙	普通	ロクロ整形　底部回転糸切り	Ｐ 72 覆土中	５％
2	陶器	甕	－	(5.3)	－	長石	黄灰	普通	外面・断面砥石転用	Ｐ 316 覆土中	５％
3	陶器	甕	－	(7.5)	－	長石	灰	普通	外面平行叩き	Ｐ 94 覆土中	５％

番号	器　種	長さ	幅	厚さ	重量	材　　質	特　　徴	出土位置	備　考
4	砥石	10.2	3.6	2.7	(99.06)	凝灰岩	砥面５面	Ｐ 95 覆土中	

番号	器　種	長さ	幅	厚さ	重量	材　　質	特　　徴	出土位置	備　考
5	釘	(4.4)	0.8	0.7	(10.10)	鉄	先端部欠損　角釘	Ｐ 415 覆土中	



第414図　第２・５号ピット群実測図

第194表　第2号ピット群一覧（第414図）

ピット番号	位置	形状	規模（cm）		
			長径	短径	深さ
1	Ⅰ5b3	楕円形	58	37	20
2	Ⅰ5c3	円形	29	27	22
3	Ⅰ5b3	円形	23	26	27
4	Ⅰ5b4	楕円形	53	42	83
5	Ⅰ5b4	円形	29	28	33
6	Ⅰ5c3	楕円形	46	29	21
7	Ⅰ5c3	円形	21	20	19
8	Ⅰ5c3	円形	31	31	23
9	Ⅰ5c3	円形	31	30	34
10	Ⅰ5c3	円形	23	22	27
11	Ⅰ5c3	楕円形	42	22	29
12	Ⅰ5c4	円形	23	21	26
13	Ⅰ5c5	円形	23	21	30
14	Ⅰ5c5	円形	30	29	26
15	Ⅰ5c5	楕円形	38	30	39
16	Ⅰ5b5	楕円形	32	27	33
19	Ⅰ5d3	円形	27	26	24
20	Ⅰ5c3	円形	24	22	17
21	Ⅰ5d4	楕円形	44	25	32
26	Ⅰ5e4	円形	32	31	29
28	Ⅰ5e4	楕円形	28	(23)	30
29	Ⅰ5e4	楕円形	30	26	22
30	Ⅰ5e4	円形	34	32	12
31	Ⅰ5d4	円形	32	30	24
32	Ⅰ5d4	楕円形	33	25	23
33	Ⅰ5e4	円形	29	27	21
34	Ⅰ5e3	楕円形	38	31	34
35	Ⅰ5e3	楕円形	31	28	38
37	Ⅰ5e3	楕円形	38	28	30
38	Ⅰ5e3	円形	28	27	35
39	Ⅰ5e3	円形	32	31	28
40	Ⅰ5d3	円形	36	34	40
41	Ⅰ5d5	楕円形	28	25	40
42	Ⅰ5d5	楕円形	30	27	22
43	Ⅰ5f4	円形	33	32	26
44	Ⅰ5e4	円形	35	35	29
45	Ⅰ5e4	不整円形	44	43	30
46	Ⅰ5e4	楕円形	42	34	31
47	Ⅰ5e4	楕円形	65	57	34
48	Ⅰ5f4	長方形	27	24	30
50	Ⅰ5e4	楕円形	43	26	34
51	Ⅰ5e3	円形	21	20	20
52	Ⅰ5e3	楕円形	45	29	13
53	Ⅰ5e3	楕円形	22	18	11
54	Ⅰ5e3	楕円形	53	42	54
55	Ⅰ5f3	楕円形	33	27	23
57	Ⅰ5f3	円形	25	23	22
58	Ⅰ5f3	円形	40	40	35
59	Ⅰ5f4	楕円形	39	34	39
60	Ⅰ5f4	楕円形	26	23	52
61	Ⅰ5c7	楕円形	48	32	15
62	Ⅰ5c6	楕円形	36	26	32
67	Ⅰ5f3	円形	24	24	14
68	Ⅰ5f3	円形	49	47	68
69	Ⅰ5e3	楕円形	35	24	21
70	Ⅰ5e3	円形	26	24	19
71	Ⅰ5f4	楕円形	36	32	38
72	Ⅰ5f4	円形	30	29	58
73	Ⅰ5f4	［円形］	30	(28)	18
74	Ⅰ5f4	楕円形	52	42	35
75	Ⅰ5f4	楕円形	70	59	40
76	Ⅰ5f4	楕円形	50	27	45
77	Ⅰ5f4	楕円形	27	23	36
78	Ⅰ5f4	［楕円形］	(29)	26	28
79	Ⅰ5f4	楕円形	32	28	30
80	Ⅰ5f4	円形	28	27	28
81	Ⅰ5f5	円形	57	55	61
82	Ⅰ5e5	円形	29	27	29
83	Ⅰ5f3	楕円形	55	47	56
84	Ⅰ5f3	楕円形	64	30	54
85	Ⅰ5f3	円形	37	37	58
86	Ⅰ5f2	楕円形	38	33	33
88	Ⅰ5e3	［楕円形］	25	(19)	21
89	Ⅰ5e3	楕円形	35	31	40
90	Ⅰ5e2	円形	20	20	31
91	Ⅰ5g3	円形	52	48	50
92	Ⅰ5g3	円形	43	40	57
93	Ⅰ5g3	円形	40	37	25
95	Ⅰ5g3	楕円形	53	38	48
96	Ⅰ5g3	楕円形	27	21	62
97	Ⅰ5g3	不整楕円形	60	33	51
99	Ⅰ5g3	楕円形	57	36	52
101	Ⅰ5g3	円形	31	30	29
102	Ⅰ5g4	円形	32	30	31
103	Ⅰ5g4	円形	20	20	16
104	Ⅰ5g4	円形	29	28	63
105	Ⅰ5g4	楕円形	23	18	18
106	Ⅰ5g4	円形	30	30	16
107	Ⅰ5g4	円形	22	22	20
108	Ⅰ5g4	円形	32	30	34
110	Ⅰ5g4	円形	25	23	37
112	Ⅰ5g4	楕円形	32	27	25
113	Ⅰ5f3	楕円形	51	30	32
114	Ⅰ5f3	不整楕円形	57	30	26
115	Ⅰ5f3	楕円形	37	29	4
116	Ⅰ5f3	楕円形	27	24	27
117	Ⅰ5f3	円形	38	38	56
118	Ⅰ5f4	円形	29	28	15
119	Ⅰ5f4	長方形	40	35	21
120	Ⅰ5f4	楕円形	33	25	34
121	Ⅰ5e4	楕円形	63	42	54
122	Ⅰ5e4	［楕円形］	(49)	42	52
123	Ⅰ5f4	円形	38	38	33
124	Ⅰ5f4	不整楕円形	58	31	34
125	Ⅰ5g4	円形	17	17	18
126	Ⅰ5g4	円形	19	19	24
127	Ⅰ5g4	楕円形	29	23	33
128	Ⅰ5f4	楕円形	25	21	66
129	Ⅰ5g4	楕円形	22	20	33
130	Ⅰ5f4	楕円形	32	26	16
131	Ⅰ5f4	［楕円形］	(20)	17	6
132	Ⅰ5f4	楕円形	31	25	28
133	Ⅰ5f4	楕円形	44	34	28
135	Ⅰ5f4	楕円形	23	18	29
136	Ⅰ5f4	長方形	44	35	48
137	Ⅰ5g4	円形	23	22	27
138	Ⅰ5g5	楕円形	21	19	23
139	Ⅰ5g5	長方形	24	20	37
140	Ⅰ5g5	円形	23	22	14
141	Ⅰ5f2	楕円形	35	31	42
142	Ⅰ5e1	楕円形	27	23	17
143	Ⅰ5e6	楕円形	27	24	42
144	Ⅰ5e6	楕円形	41	37	40
145	Ⅰ5e6	楕円形	45	33	20
146	Ⅰ5e1	楕円形	37	33	42
147	Ⅰ5d2	［楕円形］	(93)	62	46
148	Ⅰ5d2	円形	29	27	27
149	Ⅰ5d2	楕円形	57	51	56
150	Ⅰ5g3	円形	37	36	46
151	Ⅰ5g3	楕円形	36	32	61
152	Ⅰ5g3	楕円形	24	20	48
153	Ⅰ5g3	楕円形	24	20	21
154	Ⅰ5g3	楕円形	21	19	20
156	Ⅰ5g2	円形	33	32	35
158	Ⅰ5g2	円形	28	26	35
159	Ⅰ5g2	円形	36	35	23
160	Ⅰ5g2	円形	43	41	58
161	Ⅰ5g2	［楕円形］	31	(26)	40
162	Ⅰ5g2	［楕円形］	(31)	29	22
163	Ⅰ5f2	楕円形	40	34	16
164	Ⅰ5f2	［円形］	37	36	38
168	Ⅰ5e2	楕円形	36	28	33
169	Ⅰ5e2	楕円形	25	18	32
170	Ⅰ5e2	楕円形	35	27	31
171	Ⅰ5e2	円形	30	29	17
172	Ⅰ5e2	楕円形	38	27	33
173	Ⅰ5e1	方形	36	35	39
174	Ⅰ4e0	円形	22	21	40
175	Ⅰ4f0	円形	25	24	12
176	Ⅰ4f0	円形	23	22	10
177	Ⅰ4f0	円形	19	18	7
178	Ⅰ4f0	円形	26	24	25
179	Ⅰ5f1	円形	31	30	72
180	Ⅰ5f1	楕円形	35	31	66
181	Ⅰ5f1	円形	44	43	79
182	Ⅰ5f1	楕円形	(40)	35	29
183	Ⅰ5f1	楕円形	(35)	33	31
184	Ⅰ5f1	円形	33	32	43
185	Ⅰ5f1	円形	38	37	43
186	Ⅰ5f1	円形	28	27	49
187	Ⅰ5f1	円形	31	30	25
188	Ⅰ5f1	楕円形	28	24	52
189	Ⅰ5g1	［楕円形］	(33)	32	58
190	Ⅰ5g1	楕円形	45	26	30
191	Ⅰ5g1	楕円形	52	31	47
192	Ⅰ5g1	円形	26	25	28
193	Ⅰ5g1	楕円形	30	24	63
194	Ⅰ5g1	方形	47	47	63
195	Ⅰ5g1	［楕円形］	43	(25)	53
196	Ⅰ5g1	楕円形	45	40	70
197	Ⅰ5g1	楕円形	32	27	17
198	Ⅰ5g1	円形	26	26	10
199	Ⅰ5b3	円形	24	22	46
200	Ⅰ5b3	円形	19	18	20
201	Ⅰ5f6	［楕円形］	(35)	31	16
202	Ⅰ5f6	楕円形	47	42	22
203	Ⅰ5f6	円形	36	35	7
204	Ⅰ5f6	円形	23	23	41
205	Ⅰ5e6	楕円形	31	22	22
206	Ⅰ5e6	円形	23	22	22

ピット番号	位置	形状	規模（cm）		
			長径	短径	深さ
207	Ⅰ5f5	円形	18	18	24
208	Ⅰ5f5	円形	16	16	33
209	Ⅰ5g6	円形	20	20	23
210	Ⅰ5g6	円形	22	21	25
211	Ⅰ5g5	楕円形	30	27	30
212	Ⅰ5g5	円形	29	28	39
213	Ⅰ5g5	円形	22	21	18
214	Ⅰ5g5	楕円形	27	23	21
215	Ⅰ5g5	長方形	30	22	10
216	Ⅰ5f3	楕円形	37	25	24
217	Ⅰ5e3	円形	39	37	29
218	Ⅰ5e3	円形	28	28	39
220	Ⅰ5d3	円形	34	32	44
221	Ⅰ5d3	円形	35	32	27
222	Ⅰ5d3	円形	32	30	23
223	Ⅰ5d3	円形	34	32	28
224	Ⅰ5d2	円形	35	33	20
225	Ⅰ5d2	円形	31	31	21
226	Ⅰ5c2	楕円形	46	34	39
227	Ⅰ5c2	楕円形	31	24	35
228	Ⅰ5c2	円形	27	26	24
230	Ⅰ5c2	円形	21	21	25
231	Ⅰ5c1	楕円形	32	27	14
232	Ⅰ5c1	楕円形	32	22	7
233	Ⅰ5c1	楕円形	19	14	2
234	Ⅰ5d1	楕円形	22	19	23
235	Ⅰ5e1	楕円形	32	27	72
236	Ⅰ5e1	楕円形	30	25	40
237	Ⅰ5e1	円形	26	25	49
238	Ⅰ5e2	不定形	45	35	11
239	Ⅰ5e2	［楕円形］	28	(16)	5
240	Ⅰ5e2	楕円形	24	19	10
242	Ⅰ5d3	［円形］	28	27	13
243	Ⅰ5d3	不定形	44	44	18
244	Ⅰ5c2	円形	19	19	9
245	Ⅰ5c3	楕円形	30	26	9
246	Ⅰ5c3	楕円形	33	29	14
247	Ⅰ5e2	楕円形	45	30	51
248	Ⅰ5c2	不整楕円形	43	30	49
249	Ⅰ5c2	円形	36	36	15
250	Ⅰ5b3	楕円形	35	22	32
251	Ⅰ5e2	円形	24	23	15
252	Ⅰ5e2	円形	27	27	16
253	Ⅰ5f2	円形	29	28	34
255	Ⅰ5f1	楕円形	16	12	46
256	Ⅰ5f1	楕円形	26	22	14
257	Ⅰ5f2	円形	24	22	23
258	Ⅰ5f1	楕円形	28	25	37
259	Ⅰ5f1	楕円形	34	30	19
260	Ⅰ5f1	円形	34	33	63
261	Ⅰ5g1	円形	29	28	23
262	Ⅰ5g1	楕円形	53	40	46
263	Ⅰ5f1	楕円形	39	28	25
264	Ⅰ5g1	円形	39	39	44
266	Ⅰ5g2	［楕円形］	29	(25)	30
267	Ⅰ5g2	［楕円形］	(32)	29	66
268	Ⅰ5g2	［楕円形］	(30)	30	34
269	Ⅰ5g2	楕円形	44	35	57
270	Ⅰ5g2	円形	60	56	32
271	Ⅰ5g2	楕円形	65	(43)	－
272	Ⅰ5g2	円形	25	25	49
274	Ⅰ5g2	円形	29	28	15

ピット番号	位置	形状	規模（cm）		
			長径	短径	深さ
275	Ⅰ5g2	円形	31	29	8
276	Ⅰ5g2	円形	29	27	28
277	Ⅰ5g2	楕円形	32	27	45
278	Ⅰ5g2	円形	31	29	62
279	Ⅰ5g2	楕円形	28	24	27
280	Ⅰ5g2	円形	34	33	55
281	Ⅰ5g2	円形	25	24	28
282	Ⅰ5g2	円形	25	23	40
283	Ⅰ5g2	楕円形	24	21	43
284	Ⅰ5g2	円形	28	26	30
285	Ⅰ5h2	円形	26	26	16
286	Ⅰ5h2	楕円形	41	33	17
287	Ⅰ5h1	楕円形	50	44	23
288	Ⅰ5g1	楕円形	42	28	8
289	Ⅰ5g1	楕円形	35	27	25
290	Ⅰ5g1	円形	22	21	－
291	Ⅰ5g1	楕円形	36	(27)	－
292	Ⅰ5g1	楕円形	45	(28)	－
293	Ⅰ5g1	楕円形	(30)	28	21
294	Ⅰ5g1	楕円形	28	25	19
295	Ⅰ5g1	［楕円形］	(32)	30	45
296	Ⅰ5g1	円形	24	23	26
297	Ⅰ5e1	楕円形	29	25	30
298	Ⅰ5e1	円形	30	29	20
299	Ⅰ4e0	円形	33	32	11
300	Ⅰ5f2	円形	47	44	46
301	Ⅰ5h2	円形	30	29	13
302	Ⅰ5h2	円形	27	26	18
303	Ⅰ5h2	円形	24	23	10
304	Ⅰ5h1	楕円形	33	29	15
305	Ⅰ5h1	円形	33	31	12
307	Ⅰ5h1	楕円形	38	33	10
308	Ⅰ5h1	円形	39	37	54
309	Ⅰ5g1	円形	30	30	21
310	Ⅰ5g1	円形	23	22	21
311	Ⅰ5g1	楕円形	30	25	30
312	Ⅰ5g1	円形	20	20	18
313	Ⅰ5g1	楕円形	39	27	20
314	Ⅰ5e1	［楕円形］	(35)	30	24
315	Ⅰ5e1	円形	32	31	33
316	Ⅰ4e0	円形	33	31	25
317	Ⅰ4d0	楕円形	31	27	20
318	Ⅰ5e1	円形	35	34	30
319	Ⅰ4e0	円形	29	27	20
320	Ⅰ5h1	楕円形	45	40	24
321	Ⅰ5d1	円形	30	28	16
322	Ⅰ4e0	円形	34	32	28
323	Ⅰ5d1	円形	28	26	14
324	Ⅰ5g1	円形	55	53	48
325	Ⅰ4g0	楕円形	46	40	55
326	Ⅰ4g0	楕円形	(53)	41	40
327	Ⅰ5g1	円形	20	20	7
328	Ⅰ5g2	楕円形	23	20	19
329	Ⅰ4d0	楕円形	47	35	9
330	Ⅰ4e0	不整楕円形	55	29	31
331	Ⅰ4d0	円形	37	36	3
332	Ⅰ4d0	楕円形	42	(32)	13
333	Ⅰ5d2	楕円形	30	26	24
334	Ⅰ5d2	円形	23	22	36
336	Ⅰ5d2	楕円形	37	27	38
338	Ⅰ4d0	円形	32	31	20
339	Ⅰ4d0	円形	29	29	12

ピット番号	位置	形状	規模（cm）		
			長径	短径	深さ
340	Ⅰ4e0	円形	23	22	20
341	Ⅰ4d0	楕円形	46	29	7
342	Ⅰ4d0	円形	26	26	40
343	Ⅰ5c6	円形	23	21	10
344	Ⅰ5b6	楕円形	22	18	8
345	Ⅰ5c6	楕円形	23	20	7
346	Ⅰ5c7	円形	27	25	6
347	Ⅰ5c7	楕円形	32	25	7
348	Ⅰ5c7	円形	27	25	6
349	Ⅰ5c3	円形	28	26	26
350	Ⅰ5c3	円形	23	22	12
351	Ⅰ5b2	楕円形	37	33	46
352	Ⅰ5b2	［楕円形］	42	(25)	13
353	Ⅰ5c2	円形	32	30	32
354	Ⅰ5c2	不整楕円形	37	28	25
355	Ⅰ5c2	円形	25	23	25
356	Ⅰ5c3	円形	24	23	14
357	Ⅰ5b3	円形	27	25	20
358	Ⅰ4e0	楕円形	34	25	40
359	Ⅰ4e0	円形	17	16	40
360	Ⅰ4d0	円形	24	23	48
362	Ⅰ5d3	楕円形	41	33	61
363	Ⅰ4f0	円形	35	35	42
364	Ⅰ5g4	円形	12	11	9
365	Ⅰ5g4	円形	11	11	11
367	Ⅰ5b2	円形	31	30	20
368	Ⅰ5b2	円形	29	29	17
369	Ⅰ5b2	円形	21	21	6
370	Ⅰ5b2	円形	26	25	32
371	Ⅰ5c2	円形	25	24	20
372	Ⅰ5c2	楕円形	33	29	20
373	Ⅰ5b1	楕円形	44	35	36
374	Ⅰ5b1	円形	35	34	34
375	Ⅰ4d0	楕円形	30	26	23
376	Ⅰ4c0	円形	29	27	29
377	Ⅰ4c0	円形	26	25	40
378	Ⅰ4d9	円形	41	40	34
379	Ⅰ4e0	楕円形	46	42	29
380	Ⅰ4e0	円形	17	16	30
381	Ⅰ4e0	円形	24	23	25
382	Ⅰ4e0	楕円形	37	27	30
383	Ⅰ5c1	円形	26	26	27
384	Ⅰ5c1	楕円形	36	32	28
385	Ⅰ5c1	円形	32	30	23
386	Ⅰ5b1	［円形］	30	［30］	20
387	Ⅰ5b1	長方形	39	31	26
388	Ⅰ5b1	円形	34	33	17
389	Ⅰ5b1	円形	33	32	20
390	Ⅰ5b1	円形	37	36	32
392	Ⅰ5d2	楕円形	45	31	26
393	Ⅰ5c1	楕円形	34	23	25
394	Ⅰ5b1	円形	46	43	11
395	Ⅰ4b0	円形	32	30	27
396	Ⅰ4c0	円形	27	26	16
397	Ⅰ4c0	円形	29	28	33
398	Ⅰ4d0	円形	26	24	5
399	Ⅰ4d9	円形	40	40	8
400	Ⅰ4d9	楕円形	46	38	9
401	Ⅰ5a1	楕円形	40	36	23
402	Ⅰ5a1	楕円形	50	45	16
403	Ⅰ5a1	円形	36	34	9
404	Ⅰ5a1	楕円形	32	26	16

ピット番号	位　置	形　状	規　模（cm）		
			長径	短径	深さ
405	Ⅰ5c1	楕円形	34	30	34
406	Ⅰ4b0	円形	26	25	18
407	Ⅰ4a0	円形	28	27	15
408	Ⅰ4a0	円形	31	31	20
409	Ⅰ4a0	楕円形	29	23	34
410	Ⅰ4b0	楕円形	36	30	57
411	Ⅰ4a0	楕円形	42	26	35
412	Ⅰ4b0	不整楕円形	40	27	46
413	Ⅰ5b1	円形	27	25	44
414	Ⅰ5a1	円形	32	32	45
415	Ⅰ5a1	楕円形	37	24	57

ピット番号	位　置	形　状	規　模（cm）		
			長径	短径	深さ
416	Ⅰ5b1	楕円形	35	25	36
417	Ⅰ5a1	楕円形	35	29	33
418	Ⅰ5a1	楕円形	33	23	23
419	Ⅰ5a2	円形	24	24	29
420	Ⅰ5a2	楕円形	26	21	32
421	Ⅰ4a2	楕円形	27	23	41
422	Ⅰ5b1	楕円形	28	21	51
423	Ⅰ5b1	楕円形	28	23	60
424	Ⅰ5c1	楕円形	33	21	17
425	Ⅰ5c1	楕円形	28	25	35
426	Ⅰ5c1	楕円形	29	25	31

ピット番号	位　置	形　状	規　模（cm）		
			長径	短径	深さ
427	Ⅰ5d1	楕円形	20	17	13
428	Ⅰ4c0	楕円形	29	23	30
429	Ⅰ4c0	楕円形	23	18	40
430	Ⅰ4c0	楕円形	22	18	17
431	Ⅰ5c1	楕円形	25	18	13
432	Ⅰ4d0	楕円形	30	26	26
433	Ⅰ4d0	円形	26	24	25
434	Ⅰ4d0	［楕円形］	26	(17)	40
435	Ⅰ4d0	楕円形	28	24	35

第５号ピット群（第 414・415 図）

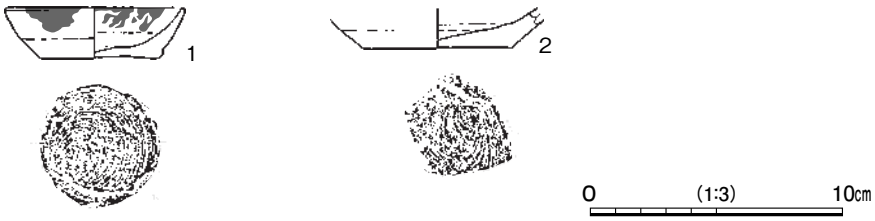
位置　調査区中央部のⅠ４g0 ～ Ｊ５a6 区，標高 29 ～ 30 mの微高地上に位置している。

重複関係　第 63・101・104・108・113・119・122 ～ 131・283・284・287・292・307・312・316・317・332・333 号土坑を掘り込んでおり，第５・９・10 号掘立柱建物跡，第８号井戸跡，第 13・14・23 号溝跡と重複している。

規模と形状　南北 14 m，東西 31 mの範囲に，ピット 247 か所を確認した。個々の形状，計測値については，一覧表に記載する。

遺物出土状況　土師質土器片２点（小皿）のほか，混入した土師器片 30 点（坏 11，坩２，高坏１，甕 16）が出土している。

所見　時期は，出土土器から 13 ～ 15 世紀代と考えられる。第２号ピット群と合わせて，館の居住空間であったと考えられる。



第 415 図　第５号ピット群出土遺物実測図

第 195 表　第５号ピット群出土遺物一覧（第 415 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　土	色　調	焼成	特　徴	出土位置	備　考
1	土師質土器	小皿	7.0	2.0	4.7	長石・石英・赤色粒子	にぶい黄橙	普通	ロクロ整形　底部回転糸切り　口縁部外面・内面油煙付着	P 31 覆土中	90% 灯明皿
2	土師質土器	小皿	－	(1.5)	[6.0]	長石・石英	にぶい橙	普通	ロクロ整形　底部回転糸切り	P 18 覆土中	20%

第196表　第5号ピット群一覧（第414図）

ピット番号	位置	形状	規模（cm）		
			長径	短径	深さ
1	Ⅰ4h0	円形	24	23	40
3	Ⅰ5h1	円形	40	39	37
4	Ⅰ5h1	楕円形	41	30	32
5	Ⅰ5h1	楕円形	43	37	31
6	Ⅰ5h1	円形	43	42	48
7	Ⅰ5h1	楕円形	32	25	18
8	Ⅰ5h1	楕円形	28	23	15
9	Ⅰ5h1	円形	25	25	16
10	Ⅰ5h1	楕円形	35	30	21
11	Ⅰ5h1	楕円形	30	26	22
12	Ⅰ5h1	楕円形	46	36	26
14	Ⅰ4h0	楕円形	24	19	22
15	Ⅰ4h0	円形	23	23	20
16	Ⅰ5h1	円形	32	32	15
17	Ⅰ5h2	楕円形	65	39	10
18	Ⅰ5h2	円形	31	30	11
19	Ⅰ5h2	円形	22	22	19
21	Ⅰ5h2	［楕円形］	(45)	(27)	18
22	Ⅰ5i2	円形	27	26	20
23	Ⅰ5i2	円形	26	25	22
24	Ⅰ5i2	円形	38	38	62
25	Ⅰ5i2	円形	25	23	12
26	Ⅰ4g0	円形	40	39	51
27	Ⅰ4h0	円形	21	21	35
28	Ⅰ4g0	円形	33	33	29
29	Ⅰ4g0	楕円形	25	22	67
31	Ⅰ5i5	［楕円形］	27	(20)	64
32	Ⅰ5i5	楕円形	28	23	47
33	Ⅰ5h5	楕円形	21	15	53
34	Ⅰ5h5	円形	20	20	54
35	Ⅰ5h5	円形	25	25	12
36	Ⅰ5h5	円形	25	23	5
37	Ⅰ5h5	円形	28	28	2
38	Ⅰ5h5	［楕円形］	35	(22)	52
39	Ⅰ5h5	円形	28	26	25
40	Ⅰ5h4	楕円形	55	40	13
41	Ⅰ5h4	円形	23	23	22
42	Ⅰ5h4	円形	43	40	28
43	Ⅰ5h5	円形	28	26	17
44	Ⅰ5g5	円形	27	25	32
45	Ⅰ5h5	円形	30	28	17
46	Ⅰ5h5	円形	26	25	19
47	Ⅰ5h5	円形	27	25	20
48	Ⅰ5h5	楕円形	33	26	22
49	Ⅰ5h5	円形	30	30	14
50	Ⅰ5h5	円形	25	25	19
51	Ⅰ5h5	円形	25	24	15
52	Ⅰ5h5	円形	30	30	13
53	Ⅰ5h5	円形	26	25	19
54	Ⅰ5h5	楕円形	36	30	11
55	Ⅰ5h5	楕円形	50	38	38
56	Ⅰ5i5	円形	47	45	40
57	Ⅰ5i5	楕円形	19	16	25
58	Ⅰ5i5	円形	26	25	16
59	Ⅰ5i5	楕円形	35	28	18
60	Ⅰ5i5	円形	30	30	13
61	Ⅰ5i5	楕円形	73	38	25
62	Ⅰ5i5	円形	32	31	24
63	Ⅰ5h3	円形	27	25	21
64	Ⅰ5h3	円形	28	26	21
66	Ⅰ5h3	［楕円形］	42	(35)	27
67	Ⅰ5h3	円形	40	40	29
68	Ⅰ5i3	楕円形	35	25	37
69	Ⅰ5i3	［円形］	35	35	25
70	Ⅰ5i3	円形	27	25	20
71	Ⅰ5i3	楕円形	23	20	37
72	Ⅰ5i4	楕円形	18	16	24
73	Ⅰ5h4	円形	24	22	14
74	Ⅰ5h4	円形	50	49	30
75	Ⅰ5h4	［円形］	38	35	28
76	Ⅰ5h4	円形	32	30	53
77	Ⅰ5h4	円形	25	25	38
78	Ⅰ5h4	円形	32	30	25
79	Ⅰ5h4	円形	27	25	27
80	Ⅰ5i4	楕円形	33	24	24
81	Ⅰ5h4	楕円形	38	28	25
82	Ⅰ5i4	楕円形	40	33	27
83	Ⅰ5i5	楕円形	33	21	21
84	Ⅰ5h3	楕円形	41	35	40
85	Ⅰ5i4	楕円形	35	31	34
86	Ⅰ5i4	［楕円形］	28	(24)	24
87	Ⅰ5i3	［楕円形］	32	(16)	28
88	Ⅰ5h4	［楕円形］	41	(32)	54
90	Ⅰ5h3	楕円形	40	35	40
91	Ⅰ5h3	［楕円形］	27	(17)	57
92	Ⅰ5h3	円形	34	34	24
93	Ⅰ4g0	円形	29	27	51
94	Ⅰ4g0	円形	35	33	41
95	Ⅰ4g0	楕円形	24	20	12
96	Ⅰ4g0	長方形	52	(24)	26
97	Ⅰ4g0	楕円形	35	23	40
98	Ⅰ4g0	［楕円形］	23	[14]	24
99	Ⅰ4g0	円形	23	21	46
100	Ⅰ4g0	円形	15	15	12
101	Ⅰ4g0	楕円形	40	34	51
102	Ⅰ4g0	円形	33	32	63
103	Ⅰ5j5	［楕円形］	57	(40)	28
106	Ⅰ5j4	［円形］	39	38	17
107	Ⅰ5h4	楕円形	45	35	21
108	Ⅰ5h4	楕円形	32	27	6
109	Ⅰ5i3	円形	20	19	7
110	Ⅰ5i4	楕円形	37	32	25
111	Ⅰ5i1	円形	52	50	24
112	Ⅰ5i2	円形	44	44	44
113	Ⅰ5i2	楕円形	46	40	40
114	Ⅰ5i4	［楕円形］	25	(22)	21
115	Ⅰ5i4	［楕円形］	42	(32)	23
116	Ⅰ5h4	楕円形	38	25	13
117	Ⅰ5i4	［楕円形］	40	(26)	25
118	Ⅰ5i4	楕円形	42	37	38
119	Ⅰ5h3	［楕円形］	23	(12)	23
120	Ⅰ5h3	楕円形	45	37	55
121	Ⅰ5j6	楕円形	55	37	43
122	Ⅰ5g1	楕円形	22	20	15
123	Ⅰ5j5	円形	32	31	19
124	Ⅰ5j5	円形	25	24	17
125	Ⅰ5j5	楕円形	38	30	22
126	Ⅰ5j5	円形	32	32	47
127	Ⅰ5j5	［楕円形］	34	(18)	25
128	Ⅰ5j4	円形	35	32	48
129	Ⅰ5j4	円形	32	31	16
130	Ⅰ5j5	［楕円形］	(38)	(10)	17
131	Ⅰ5j4	円形	26	25	14
132	Ⅰ5j4	円形	27	27	17
133	Ⅰ5j4	円形	26	25	10
134	Ⅰ5j4	楕円形	56	36	30
135	Ⅰ5j4	円形	29	27	16
137	Ⅰ5j4	円形	26	24	16
138	Ⅰ5j4	円形	39	36	36
139	Ⅰ5j4	楕円形	36	31	10
140	Ⅰ5a4	楕円形	35	31	9
141	Ⅰ5a3	楕円形	50	36	39
142	Ⅰ5a4	円形	32	30	18
143	Ⅰ5a4	円形	31	29	13
144	Ⅰ5a4	楕円形	35	21	12
145	Ⅰ5a3	円形	24	23	29
146	Ⅰ5j3	楕円形	25	22	26
147	Ⅰ5j3	円形	25	24	25
148	Ⅰ5j3	楕円形	21	19	8
149	Ⅰ5j3	円形	31	30	11
150	Ⅰ5j3	円形	31	31	12
151	Ⅰ5j6	円形	22	21	21
152	Ⅰ5j6	［円形］	21	(17)	22
153	Ⅰ5i6	楕円形	35	30	13
154	Ⅰ5i6	円形	21	20	8
155	Ⅰ5i6	楕円形	32	26	17
156	Ⅰ5i6	楕円形	45	35	20
157	Ⅰ5j6	円形	19	18	8
158	Ⅰ5j6	円形	30	29	18
159	Ⅰ5i5	円形	25	23	18
160	Ⅰ5i5	円形	35	35	21
161	Ⅰ5i7	円形	18	17	18
162	Ⅰ5i7	円形	27	26	10
163	Ⅰ5i7	円形	20	20	17
164	Ⅰ5j7	楕円形	35	30	14
165	Ⅰ5j7	円形	25	23	11
166	Ⅰ5j7	楕円形	40	33	20
167	Ⅰ5j6	円形	30	29	12
168	Ⅰ5j6	円形	35	35	19
169	Ⅰ5j6	円形	25	24	23
170	Ⅰ5j6	楕円形	47	34	35
171	Ⅰ5j5	円形	29	28	31
172	Ⅰ4g0	円形	30	29	22
173	Ⅰ4g0	円形	27	27	36
176	Ⅰ5j6	楕円形	80	50	62
177	Ⅰ5j6	［円形］	42	(22)	41
178	Ⅰ5j6	円形	38	37	29
179	Ⅰ5j6	円形	26	25	26
180	Ⅰ5j6	円形	28	26	30
181	Ⅰ5i7	円形	35	35	11
182	Ⅰ5i7	［楕円形］	35	(20)	10
183	Ⅰ5j4	円形	30	28	18
184	Ⅰ5j5	［楕円形］	35	(23)	18
185	Ⅰ5j5	楕円形	44	40	18
186	Ⅰ5j5	［楕円形］	30	(20)	25
187	Ⅰ5j5	楕円形	35	29	19
188	Ⅰ5j5	［楕円形］	31	(25)	8
189	Ⅰ5i3	楕円形	38	32	31
191	Ⅰ5j7	楕円形	43	33	37
192	Ⅰ5i6	楕円形	30	24	18

ピット番号	位置	形状	規模（cm）		
			長径	短径	深さ
193	Ⅰ5i6	［楕円形］	28	(13)	16
194	Ⅰ5i6	円形	30	29	24
195	Ⅰ5j5	楕円形	52	39	13
196	Ⅰ5j6	［楕円形］	26	(21)	17
197	Ⅰ5j6	円形	35	33	21
198	Ⅰ5j5	楕円形	30	25	14
199	Ⅰ5j5	円形	27	25	13
201	Ⅰ5j5	楕円形	40	29	47
202	Ⅰ5j5	円形	24	24	23
203	Ⅰ5j5	円形	20	20	26
204	Ⅰ5j5	楕円形	35	31	29
205	Ⅰ5j5	円形	21	21	36
206	Ⅰ5j5	円形	30	29	22
207	Ⅰ5j5	円形	21	20	18
208	Ⅰ5i5	楕円形	40	35	24
210	Ⅰ5j6	［楕円形］	34	(26)	29
211	Ⅰ5j3	円形	28	28	41
212	Ⅰ5j3	［楕円形］	(62)	47	14
213	Ⅰ5j4	円形	33	32	53
214	Ⅰ5j4	円形	42	40	37
215	Ⅰ5j4	円形	14	13	15
216	Ⅰ5j4	楕円形	18	16	15
217	Ⅰ5j4	楕円形	22	16	13

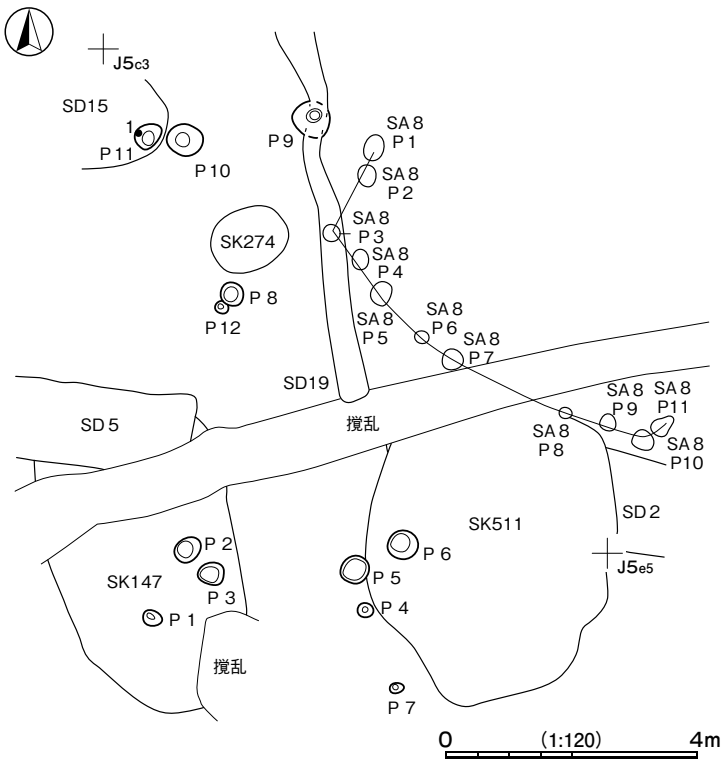
ピット番号	位置	形状	規模（cm）		
			長径	短径	深さ
218	Ⅰ5j4	円形	17	16	17
219	Ⅰ5j4	円形	22	21	21
220	Ⅰ5j5	円形	25	23	45
221	Ⅰ5j4	長方形	52	35	27
223	Ⅰ5j5	楕円形	27	23	42
224	Ⅰ5i5	［円形］	40	40	36
225	Ⅰ5i5	楕円形	35	30	18
226	Ⅰ5i5	円形	22	21	10
227	Ⅰ5i5	楕円形	40	32	28
228	Ⅰ5i5	円形	22	22	16
229	Ⅰ5i5	円形	18	18	14
230	Ⅰ5j2	円形	35	35	40
231	Ⅰ4f9	円形	36	34	34
232	Ⅰ4g9	円形	36	33	60
233	Ⅰ4f9	円形	22	20	25
234	Ⅰ4f9	円形	26	26	35
235	Ⅰ4f9	円形	33	33	30
236	Ⅰ4f9	円形	32	32	40
237	Ⅰ4f9	楕円形	32	22	25
238	Ⅰ4f9	円形	34	31	27
239	Ⅰ4f0	円形	33	33	28
240	Ⅰ4f0	楕円形	28	25	30
241	Ⅰ4f0	楕円形	33	28	35

ピット番号	位置	形状	規模（cm）		
			長径	短径	深さ
242	Ⅰ4f9	楕円形	26	23	58
243	Ⅰ4g9	楕円形	42	27	62
244	Ⅰ4g0	不整楕円形	48	33	56
245	Ⅰ4f9	楕円形	38	28	55
246	Ⅰ5h6	円形	20	20	10
247	Ⅰ5h6	楕円形	29	25	15
248	Ⅰ5h6	楕円形	19	17	12
249	Ⅰ5h6	楕円形	34	29	20
250	Ⅰ5h6	円形	28	26	16
251	Ⅰ5h6	楕円形	44	39	42
252	Ⅰ5h6	円形	21	20	30
253	Ⅰ5h6	楕円形	36	31	29
254	Ⅰ5i6	円形	23	22	21
255	Ⅰ5i6	楕円形	30	23	15
256	Ⅰ5i6	円形	24	24	19
257	Ⅰ5i6	楕円形	40	35	40
258	Ⅰ5h6	円形	25	25	13
259	Ⅰ5h6	円形	33	32	15
260	Ⅰ5i5	円形	18	17	36
261	Ⅰ5i6	円形	19	18	36
262	Ⅰ5i5	楕円形	42	37	35

第７号ピット群（第 416・417 図）

位置　調査区中央部のＪ５c3 ～ Ｊ５e4 区，標高 29 ｍの微高地上に位置している。

重複関係　第 147・511 号土坑を掘り込んでいる。第 274 号土坑，第２・５号堀跡，第 15・19 号溝跡，第８号柱穴列と重複している。



第 416 図　第７号ピット群実測図

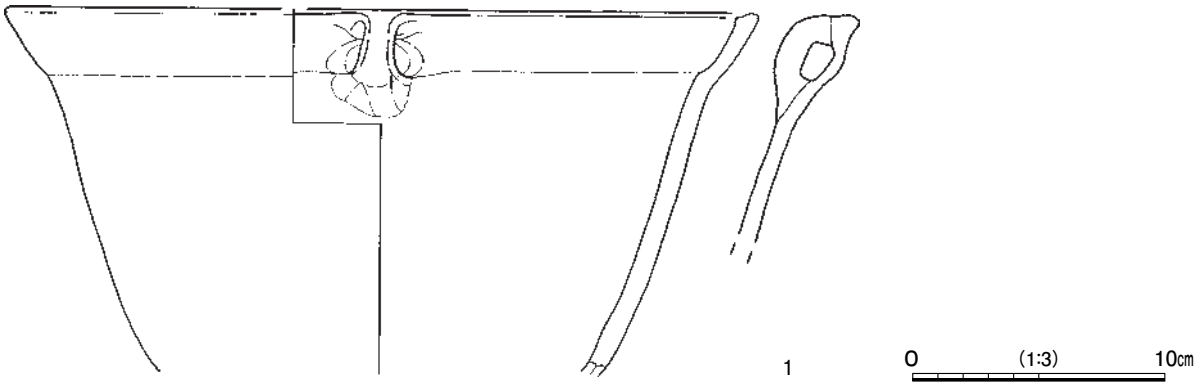
第 197 表　第７号ピット群一覧

ピット番号	位置	形状	規模（cm）		
			長径	短径	深さ
1	Ｊ5e3	楕円形	31	26	59
2	Ｊ5d3	楕円形	44	38	88
3	Ｊ5e3	楕円形	41	36	84
4	Ｊ5e4	円形	25	23	71
5	Ｊ5e4	円形	44	42	88
6	Ｊ5d4	円形	48	46	74
7	Ｊ5e4	楕円形	23	17	46
8	Ｊ5c3	円形	38	36	25
9	Ｊ5c3	楕円形	63	55	81
10	Ｊ5c3	円形	56	52	88
11	Ｊ5c3	楕円形	46	35	52
12	Ｊ5d3	円形	20	19	23

規模と形状　南北８ｍ，東西５ｍの範囲に，ピット 12 か所を確認した。個々の形状，計測値については，一覧表に記載する。

遺物出土状況　土師質土器片１点（内耳鍋）のほか，混入した土師器片３点（椀１，甕２）が出土している。

所見　時期は，出土土器から 13 ～ 15 世紀代と考えられる。



第 417 図　第７号ピット群出土遺物実測図

第 198 表　第７号ピット群出土遺物一覧（第 417 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
1	土師質土器	内耳鍋	［30.0］	（14.4）	－	長石・石英	にぶい赤褐	普通	外面煤付着	Ｐ 11 覆土中層	20％

第 199 表　鎌倉・室町時代ピット群一覧

番号	位置	柱　穴					主な出土遺物	備　考
		柱穴数	平面形	長径（cm）	短径（cm）	深さ（cm）		
2	I4a0 ～ I5h5	396	円形･楕円形･不整円形･不整楕円形	11 ～ (93)	11 ～ 62	2 ～ 72	陶器，砥石	SI 43 ～ 45・47・50・98，SK73・92・365→本跡　SB 8・10・11・13，HT 1，SK46・48 ～ 58・61・62・64 ～ 66・68・69・71・72・74 ～ 76・79 ～ 81・83・84・90 ～ 91・95・99・100・105 ～ 107・109・114・120・293・365・391，SE 3・6・53・54，SD 8・13，SA 6と新旧不明
5	I4g0 ～ J5a6	247	円形・楕円形	14 ～ 80	13 ～ 50	2 ～ 67	土師質土器	SK63・101・104・108・113・119・122 ～ 131・283・284・287・292・307・312・316・317・332・333→本跡 SB 5・9・10，SE 8，SD13・14・23と新旧不明
7	J5c3 ～ J5e4	12	円形・楕円形	20 ～ 63	17 ～ 55	23 ～ 88	土師質土器	SK147・511 →本跡 SK274，SD 2・5・15・19，SA 8と新旧不明

5　時期不明の遺構と遺物

時期が明らかでない竪穴建物跡 15 棟，円形周溝状遺構 1 基，土坑 479 基，溝跡 4 条，ピット群 5 か所を確認した。以下，遺構及び遺物について記述する。

(1)　竪穴建物跡

第 41 号竪穴建物跡（第 418 図　PL51）

位置　調査区北部のＨ５e8 区，標高 30 ｍほどの微高地上に位置している。

規模と形状　北部が調査区域外へ延びているため，確認できた東西軸は 4.55 ｍ，南北軸は 2.54 ｍで，方形または長方形と推定される。東西軸方向はＮ－ 73 ゜－Ｅである。壁高は６～ 25㎝で，ほぼ直立している。

床　平坦で，硬化面は確認できなかった。確認できた範囲では，壁溝が南部から西部にかけて巡っている。

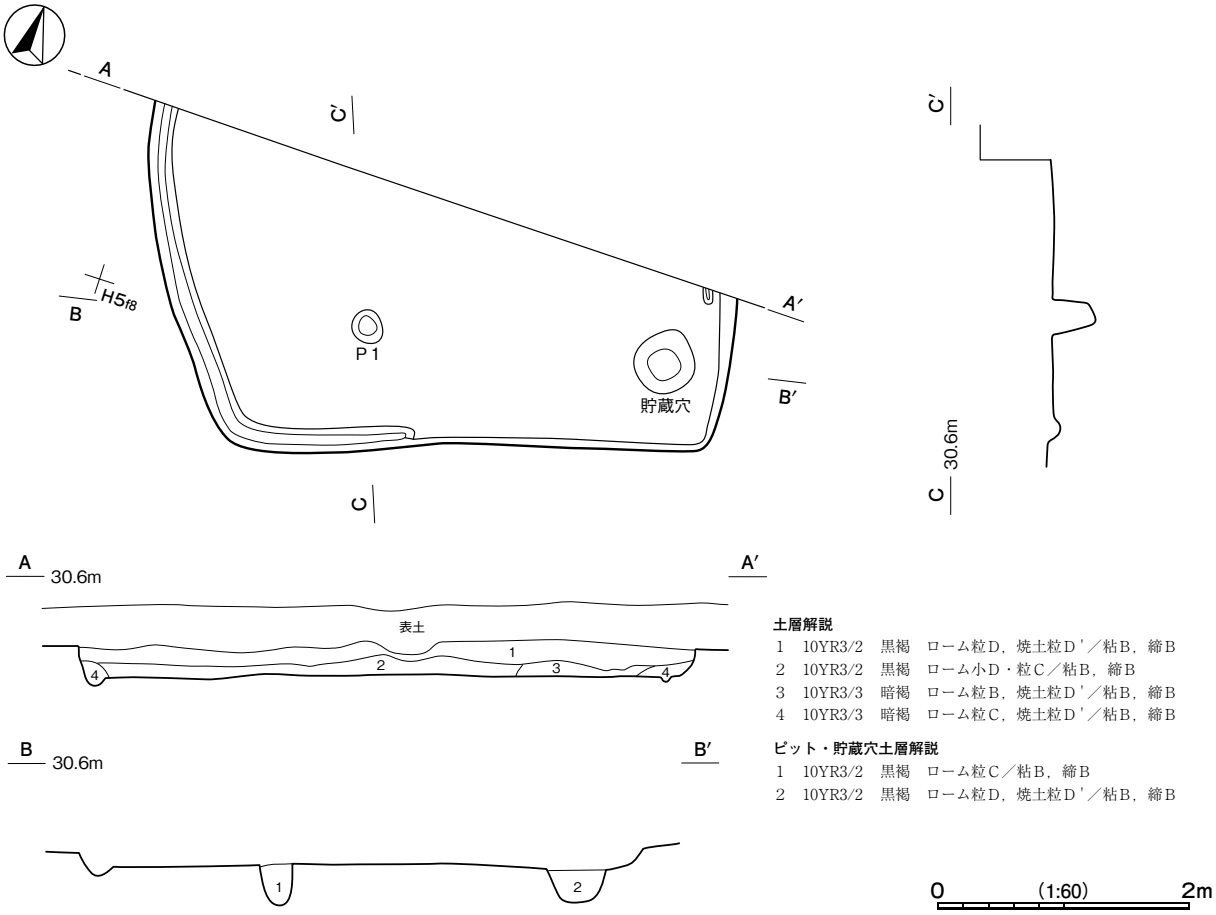
ピット　Ｐ１は深さ 35㎝で，性格不明である。

貯蔵穴　南東コーナー部に位置しており，長径 54㎝，短径 50㎝の円形である。位置と形状から貯蔵穴と判断した。深さは 26㎝ほどで，底面は皿状を呈し，壁は外傾している。単一層で，人為堆積である。

覆土　４層に分層できる。不規則な堆積状況から人為堆積である。

遺物出土状況　土師器片 12 点（坏１，甕 11）が出土している。遺物は細片のため図示できなかった。

所見　時期は，不明である。



第 418 図　第 41 号竪穴建物跡実測図

第 42 号竪穴建物跡（第 419 図　PL51）

位置　調査区北部のＨ６e2 区，標高 30 mほどの微高地上に位置している。

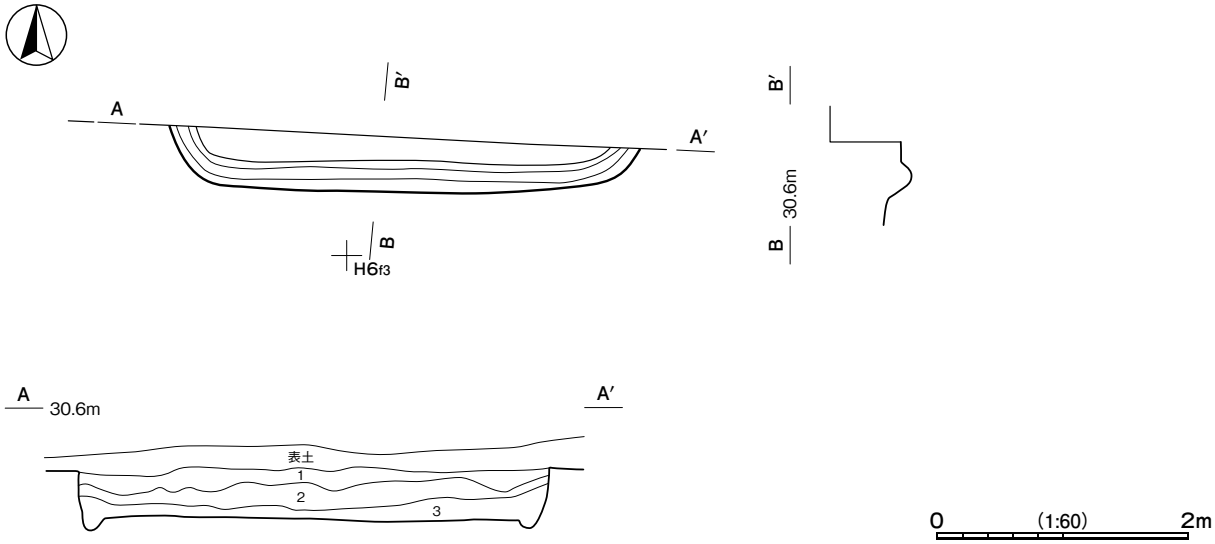
規模と形状　北側の大部分が調査区域外へ延びているため，確認できた東西軸は 3.68 m，南北軸は 0.46 mで，方形または長方形と推定される。東西軸方向はＮ－ 90゜である。壁高は 10 ～ 40cmで，ほぼ直立している。

床　平坦で，硬化面は確認できなかった。確認できた範囲では，壁溝が巡っている。

覆土　３層に分層できる。レンズ状の堆積状況から自然堆積である。

遺物出土状況　土師器片 40 点（坏 29，高坏１，甕 10），焼成粘土塊１点（9.79g）が出土している。遺物は細片のため図示できなかった。

所見　時期は，不明である。



土層解説
1　10YR2/2　黒褐　ローム小Ｃ・粒Ｃ，焼土小Ｃ／粘Ｂ，締Ｂ
2　10YR2/3　黒褐　ローム小Ｃ・粒Ｃ，焼土粒Ｄ／粘Ｂ，締Ｂ
3　10YR3/2　黒褐　ローム中Ｃ・小Ｂ・粒Ｂ／粘Ｂ，締Ｂ

第 419 図　第 42 号竪穴建物跡実測図

第 43 号竪穴建物跡（第 420 図　PL52）

位置　調査区中央部のＩ５e6 区，標高 30 mほどの微高地上に位置している。

重複関係　第 45 号竪穴建物跡を掘り込み，第２号ピット群（Ｐ 143 ～Ｐ 145）に掘り込まれている。

規模と形状　長軸 3.08 m，短軸 2.76 mの長方形で，長軸方向はＮ－９゜－Ｅである。壁高は８～ 16cmで，ほぼ直立しているが，東壁は緩やかに立ち上がっている。

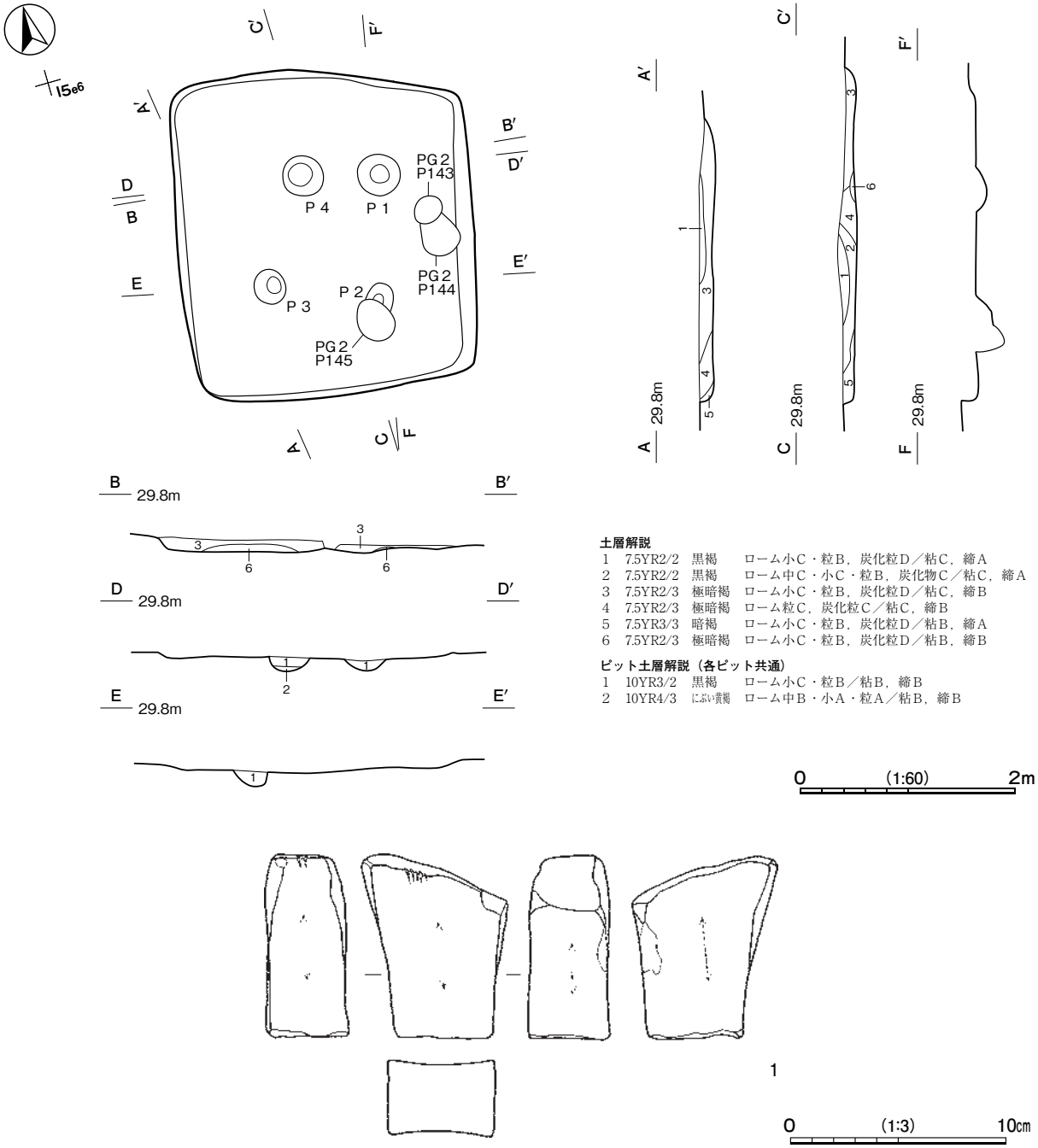
床　ほぼ平坦で，硬化面は確認できなかった。

ピット　４か所。Ｐ１～Ｐ４は深さ 12 ～ 16cmで，性格不明である。

覆土　６層に分層できる。不規則な堆積状況から人為堆積である。

遺物出土状況　土師器片 48 点（坏 15, 甕 33), 石器１点（砥石）が出土している。１は覆土中から出土している。

所見　時期は，重複関係から，４世紀中葉以降から中世と考えられるが，詳細な時期は不明である。



第 420 図　第 43 号竪穴建物跡・出土遺物実測図

第 200 表　第 43 号竪穴建物跡出土遺物一覧（第 420 図）

番号	器　種	長さ	幅	厚さ	重量	材　質	特　　徴	出土位置	備　考
1	砥石	8.5	6.8	3.8	301	凝灰岩	砥面 4 面	覆土中	

第 44 号竪穴建物跡（第 421 図　PL52）

位置　調査区中央部のⅠ5d6 区，標高 30 mほどの微高地上に位置している。

重複関係　第 45 号竪穴建物跡，第 49 号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状　長軸 4.00 m，短軸 3.54 mの長方形で，長軸方向はＮ－３°－Ｅである。壁高は６～16cmで，外傾している。

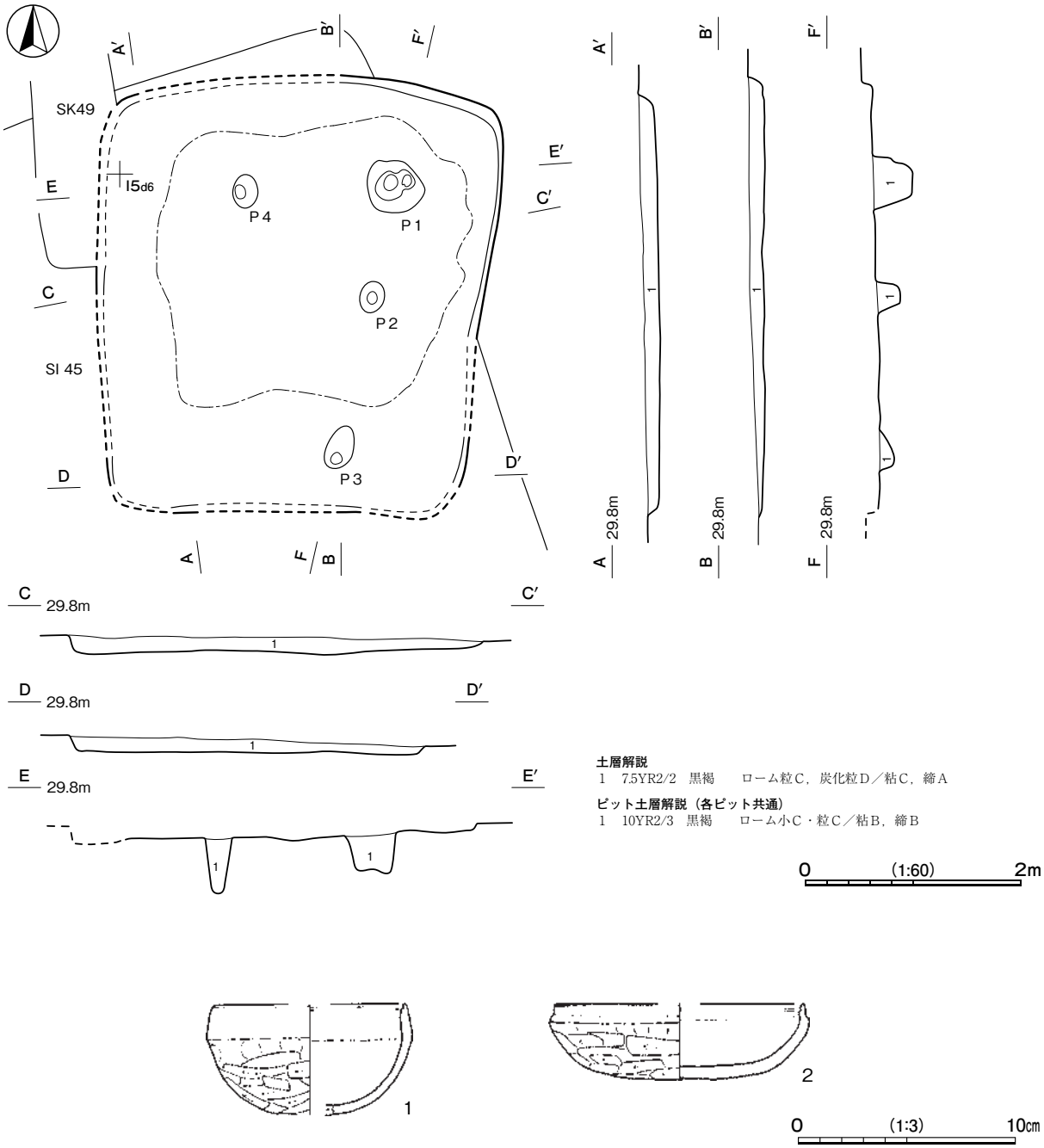
床　平坦で，中央部が踏み固められている。

ピット　４か所。Ｐ１～Ｐ４は深さ 12～52cmで，性格不明である。

覆土　単一層である。層厚が薄いため，堆積状況は不明である。

遺物出土状況　土師器片 146 点（坏３，坩 13，器台１，甕 129）が出土している。１・２は，覆土中から出土しているが，本跡に伴うものかは不明である。

所見　時期は，重複関係から４世紀中葉以降と考えられるが，詳細な時期は不明である。



第 421 図　第 44 号竪穴建物跡・出土遺物実測図

第 201 表　第 44 号竪穴建物跡出土遺物一覧（第 421 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
1	土師器	坏	[8.8]	(5.0)	－	長石・石英・赤色粒子	明赤褐	普通	口唇部内面沈線	覆土中	30%
2	土師器	坏	[11.4]	3.5	－	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	口唇部内面沈線	覆土中	40%

第 76 号竪穴建物跡（第 422 図　PL52）

位置　調査区南西部のＪ３i9 区，標高 30 mほどの微高地上に位置している。

規模と形状　北部が撹乱を受けているため，東西軸は 3.78 m，確認できた南北軸は 3.17 mの方形または長方形で，南北軸方向はＮ－ 20゜－Ｗである。壁高は 10 ～ 30cmで，外傾している。

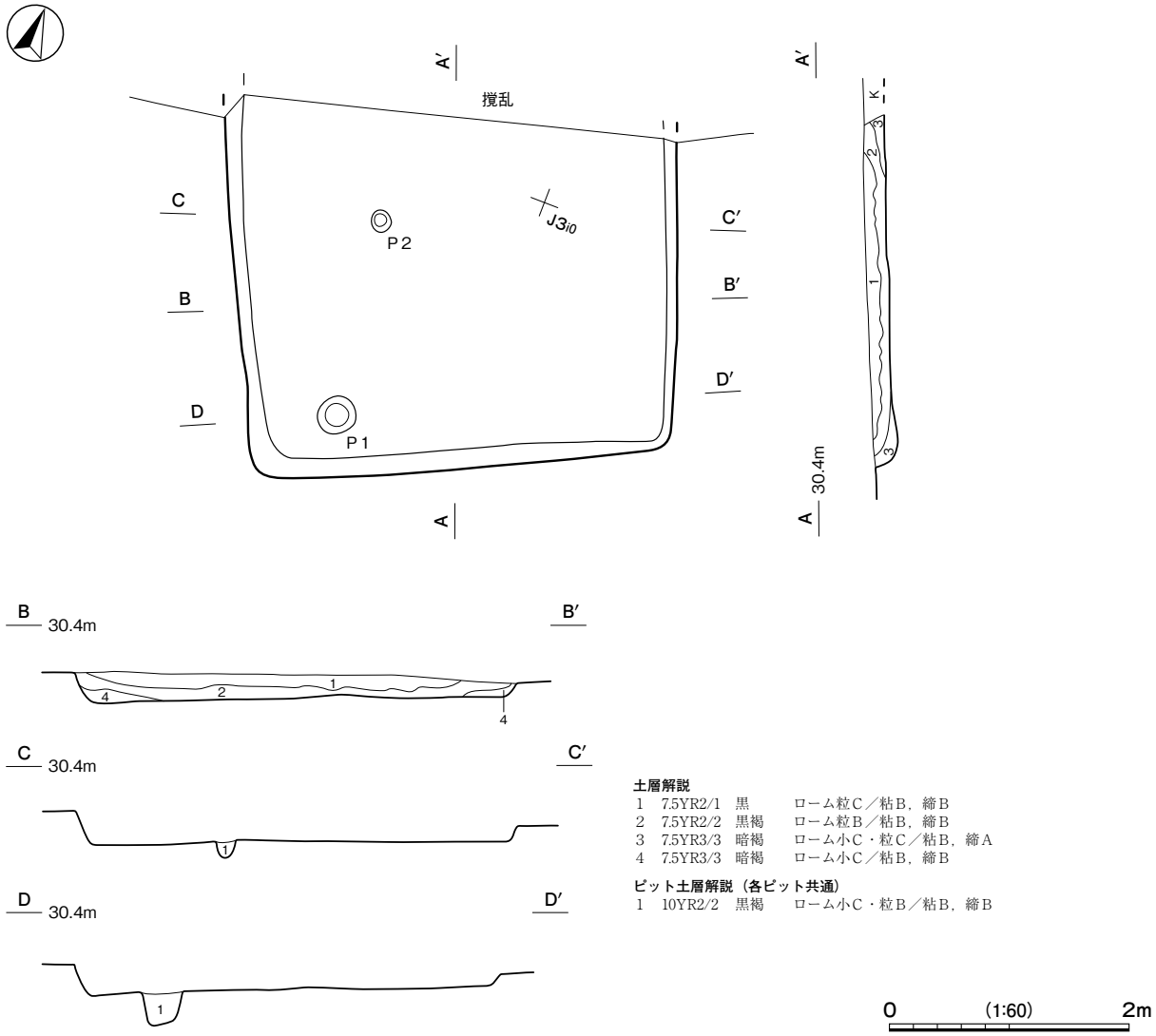
床　平坦で，硬化面は確認できなかった。

ピット　２か所。Ｐ１・Ｐ２は深さ 27・14cmで，性格不明である。

覆土　４層に分層できる。レンズ状の堆積状況から自然堆積である。

遺物出土状況　土師器片 19 点（坏３，器台１，甕 15）が出土している。いずれも細片のため図示できなかった。

所見　時期は，不明である。



第 422 図　第 76 号竪穴建物跡実測図

第83号竪穴建物跡（第423図　PL52）

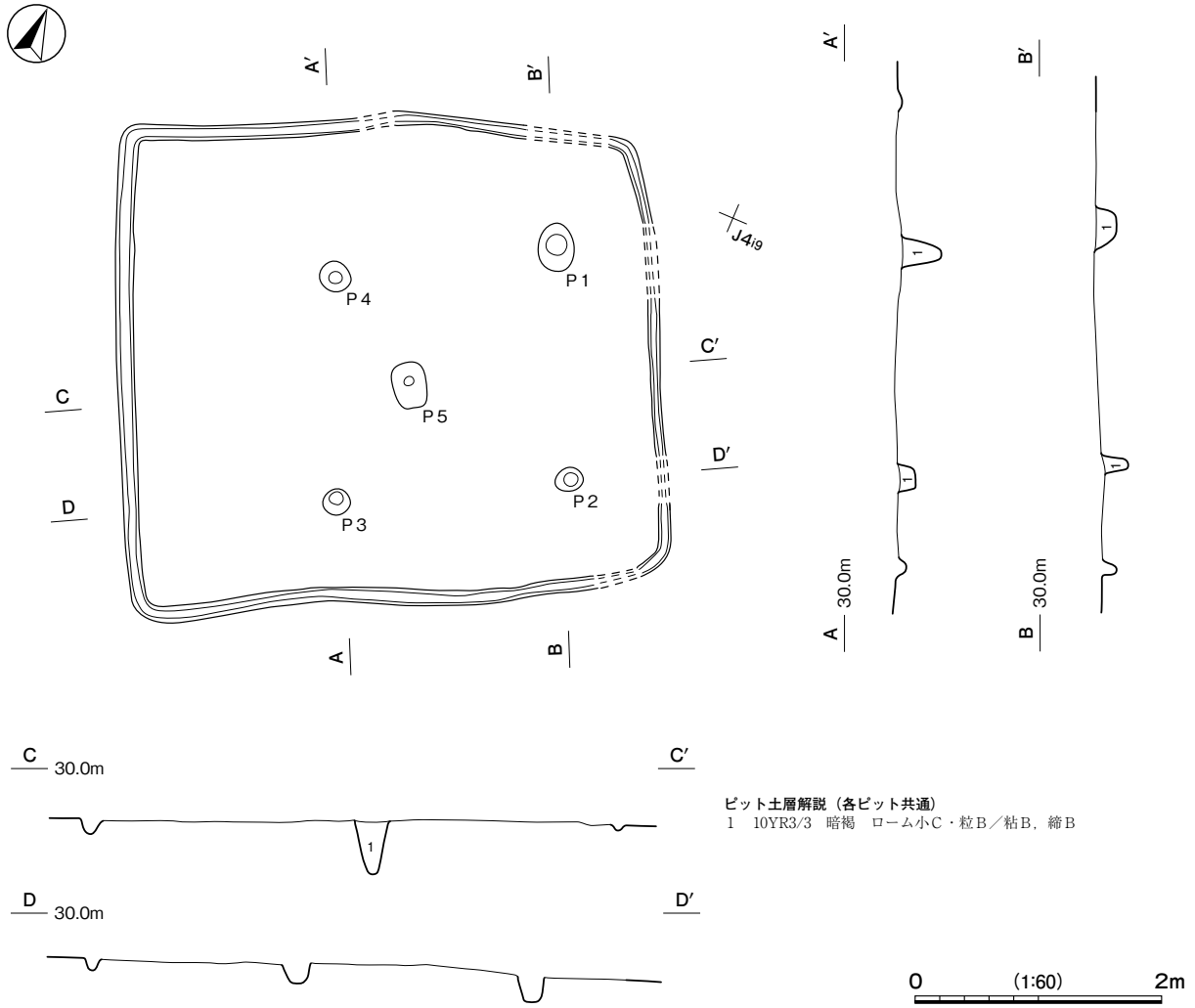
位置　調査区南部のＪ４i8区，標高30ｍほどの微高地上に位置している。

規模と形状　床面が削平されているため，残存している壁溝の位置から長軸4.42ｍ，短軸4.00ｍの長方形と推定され，長軸方向はＮ－68°－Ｅである。

床　床面が削平されているが，壁溝がほぼ全周している。

ピット　５か所。Ｐ１～Ｐ４は深さ16～33cmで，配置から主柱穴である。Ｐ５は深さ45cmで，性格不明である。

所見　時期は，特定できる遺物が出土していないため，不明である。



第423図　第83号竪穴建物跡実測図

第 103 号竪穴建物跡（第 424 図　PL52）

位置　調査区西部のＩ３j0 区，標高 30 ｍほどの微高地上に位置している。

重複関係　第 101 号竪穴建物跡を掘り込んでいる。

規模と形状　長軸 3.20 ｍ，短軸 3.18 ｍの方形で，長軸方向はＮ－ 70 °－Ｗである。壁高は 26 ～ 34㎝で，外傾している。

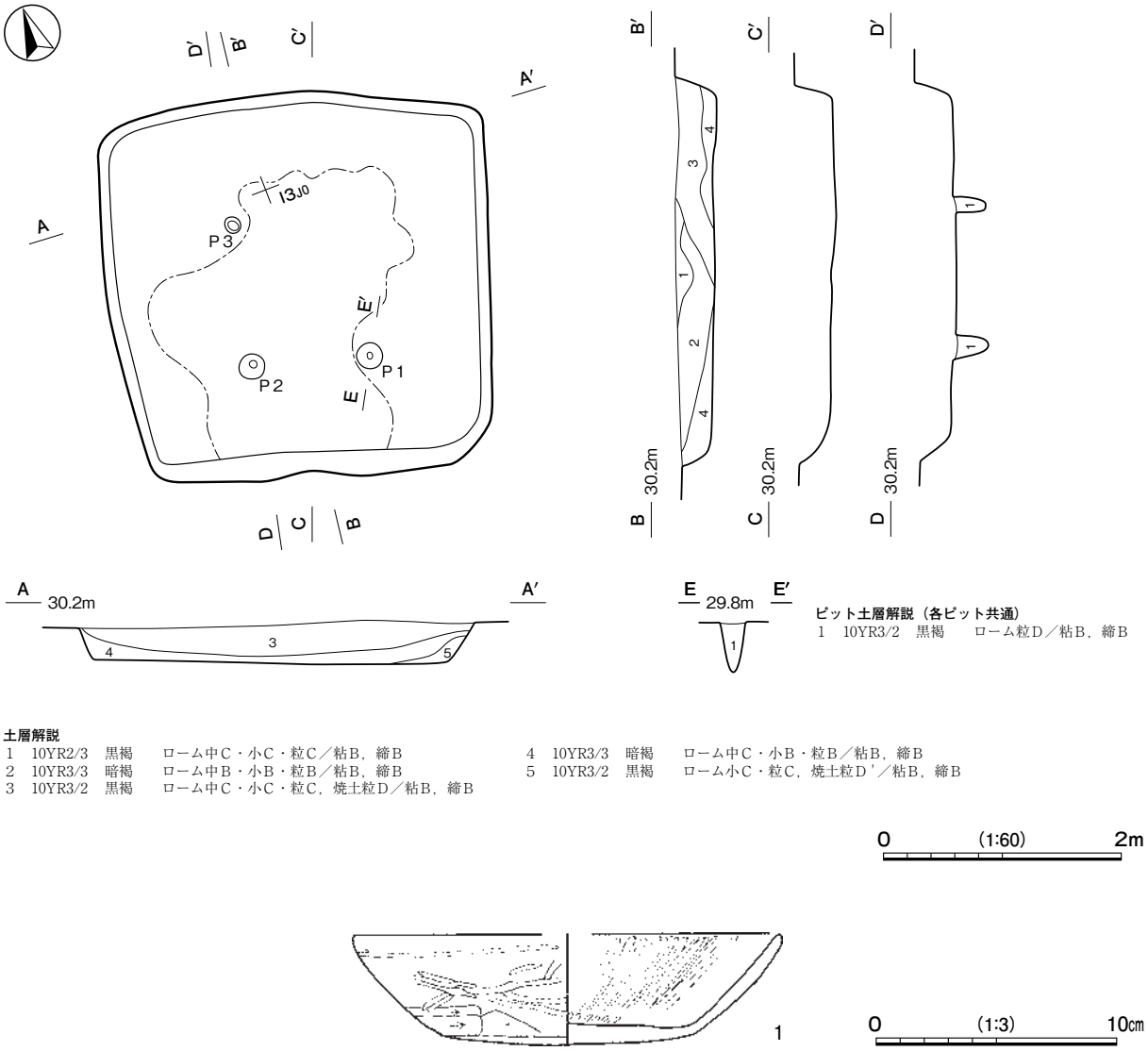
床　平坦で，中央部から南部にかけて踏み固められている。

ピット　３か所。Ｐ１～Ｐ３は深さ 26 ～ 40㎝で，性格不明であるが，配置から主柱穴の可能性がある。北東の柱穴は精査したが，確認できなかった。

覆土　５層に分層できる。不規則な堆積状況から人為堆積である。

遺物出土状況　土師器片 216 点（坏 186，鉢１，甕 29），須恵器片１点（甕），焼成粘土塊２点（7.32g）が出土している。１は覆土中層から出土しているが，遺構に伴う遺物であるかは不明である。

所見　時期は，重複関係から８世紀以降と考えられるが，詳細な時期は不明である。



第 424 図　第 103 号竪穴建物跡・出土遺物実測図

第 202 表　第 103 号竪穴建物跡出土遺物一覧（第 424 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
1	土師器	坏	［17.8］	4.5	［10.6］	長石・赤色粒子	明赤褐	普通	外面粗いヘラ磨き　体部内面放射状ヘラ磨き	覆土中層	30%

第 104 号竪穴建物跡（第 425 図　PL52）

位置　調査区西部のＪ４a1 区，標高 30 mほどの微高地上に位置している。

規模と形状　長軸 3.10 m，短軸 3.05 mの方形で，長軸方向はＮ－ 10゜－Ｅである。壁高は 30 ～ 38cmで，ほぼ直立している。

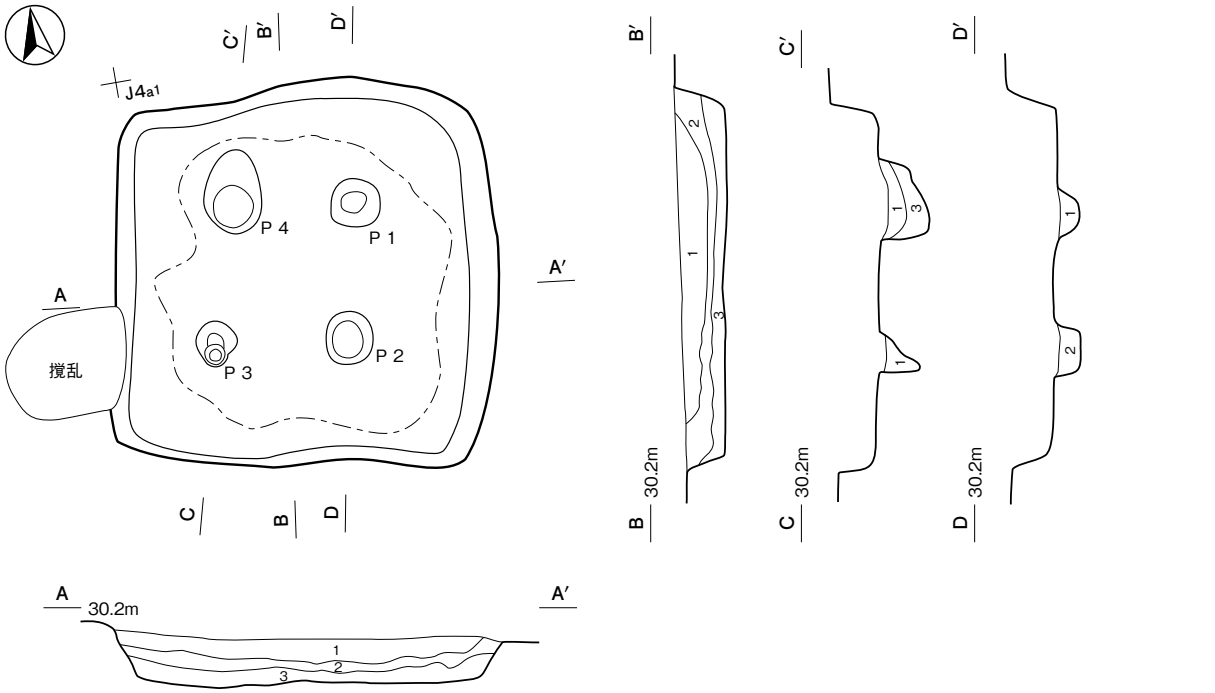
床　平坦で，中央部が踏み固められている。

ピット　４か所。Ｐ１～Ｐ４は深さ 18 ～ 40cmで，配置から主柱穴である。

覆土　４層に分層できる。ロームブロックが多量に含まれているため，人為堆積である。

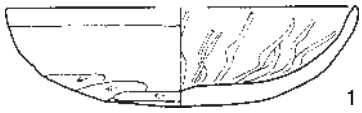
遺物出土状況　土師器片 206 点（坏 148，椀６，甕 52），須恵器片３点（瓶１，甕２）が出土している。１は覆土上層から出土しており，遺構に伴う遺物であるかは不明である。

所見　時期は，特定できる遺物が出土していないため，不明である。



土層解説
1　10YR3/3　暗褐　ローム大Ｄ・中Ｄ・小Ｃ・粒Ｃ，炭化粒Ｄ／粘Ｂ，締Ｂ
2　10YR2/1　黒　ローム中Ｄ・小Ｄ・粒Ｄ，炭化粒Ｂ／粘Ｂ，締Ｂ
3　10YR4/3　にぶい黄褐　ローム大Ｃ・中Ｂ・小Ｂ・粒Ａ，炭化粒Ｄ／粘Ｂ，締Ｂ

ピット土層解説（各ピット共通）
1　10YR3/3　暗褐　ローム小Ｃ・粒Ｃ／粘Ｂ，締Ｂ
2　10YR3/3　暗褐　ローム大Ｄ・小Ｄ・粒Ｃ／粘Ｂ，締Ｂ
3　10YR3/4　暗褐　ローム小Ｃ・粒Ｂ／粘Ｂ，締Ｂ



0　(1:60)　2m

0　(1:3)　10cm

第 425 図　第 104 号竪穴建物跡・出土遺物実測図

第 203 表　第 104 号竪穴建物跡出土遺物一覧（第 425 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
1	土師器	坏	[14.0]	3.9	－	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	内面放射状ヘラ磨き	覆土上層	70%　PL98

第 105 号竪穴建物跡（第 426 図　PL52）

位置　調査区西部のＪ３a9 区，標高 30 ｍほどの微高地上に位置している。

重複関係　第 88 号竪穴建物跡を掘り込み，第５号堀に掘り込まれている。

規模と形状　長軸 3.50 ｍ，短軸 2.74 ｍの長方形で，長軸方向はＮ－ 25゜－Ｅである。壁高は 18 ～ 36cmで，ほぼ直立している。

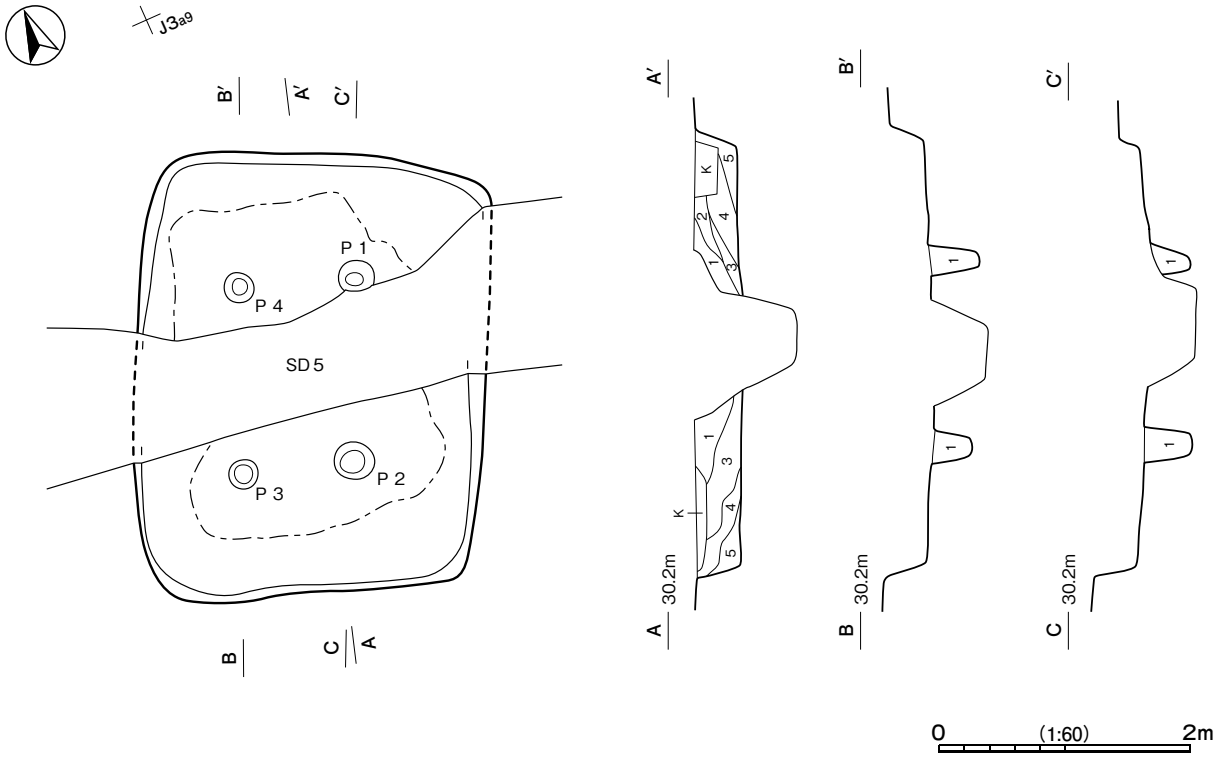
床　平坦で，中央部が踏み固められている。

ピット　４か所。Ｐ１～Ｐ４は深さ 32 ～ 40cmで，配置から主柱穴である。

覆土　５層に分層できる。レンズ状の堆積状況から自然堆積である。

遺物出土状況　土師器片 67 点（坏 53，高坏１，甕 13），須恵器片１点（高杯）が出土している。遺物は細片のため図示できなかった。また，本跡に伴うものかは不明である。

所見　時期は，重複関係から７世紀以降，中世以前と考えられるが，詳細な時期は不明である。



土層解説
1　7.5YR3/3　暗褐　ローム小Ｄ・粒Ｄ，焼土粒Ｄ'／粘Ｂ，締Ｂ
2　7.5YR3/2　黒褐　ローム中Ｄ・小Ｃ・粒Ｃ，焼土粒Ｄ'／粘Ｂ，締Ｂ
3　7.5YR3/4　暗褐　ローム中Ｄ・小Ｃ・粒Ｂ／粘Ｂ，締Ｂ
4　7.5YR3/3　暗褐　ローム大Ｄ'・中Ｃ・小Ｃ・粒Ｃ／粘Ｂ，締Ｂ
5　7.5YR3/2　黒褐　ローム大Ｄ・中Ｄ・小Ｃ・粒Ｃ／粘Ｂ，締Ｂ

ピット土層解説（各ピット共通）
1　10YR2/2　黒褐　ローム小Ｃ・粒Ｃ／粘Ｂ，締Ｂ

第 426 図　第 105 号竪穴建物跡実測図

第 125 号竪穴建物跡（第 427 図　PL52）

位置　調査区北西部のＩ４c8 区，標高 30 mほどの微高地上に位置している。

重複関係　第 185 号土坑に掘り込まれている。

規模と形状　長軸 3.50 m，短軸 3.26 mの方形で，長軸方向はＮ－ 84 °－Ｗである。壁高は６～ 24cmで，外傾している。

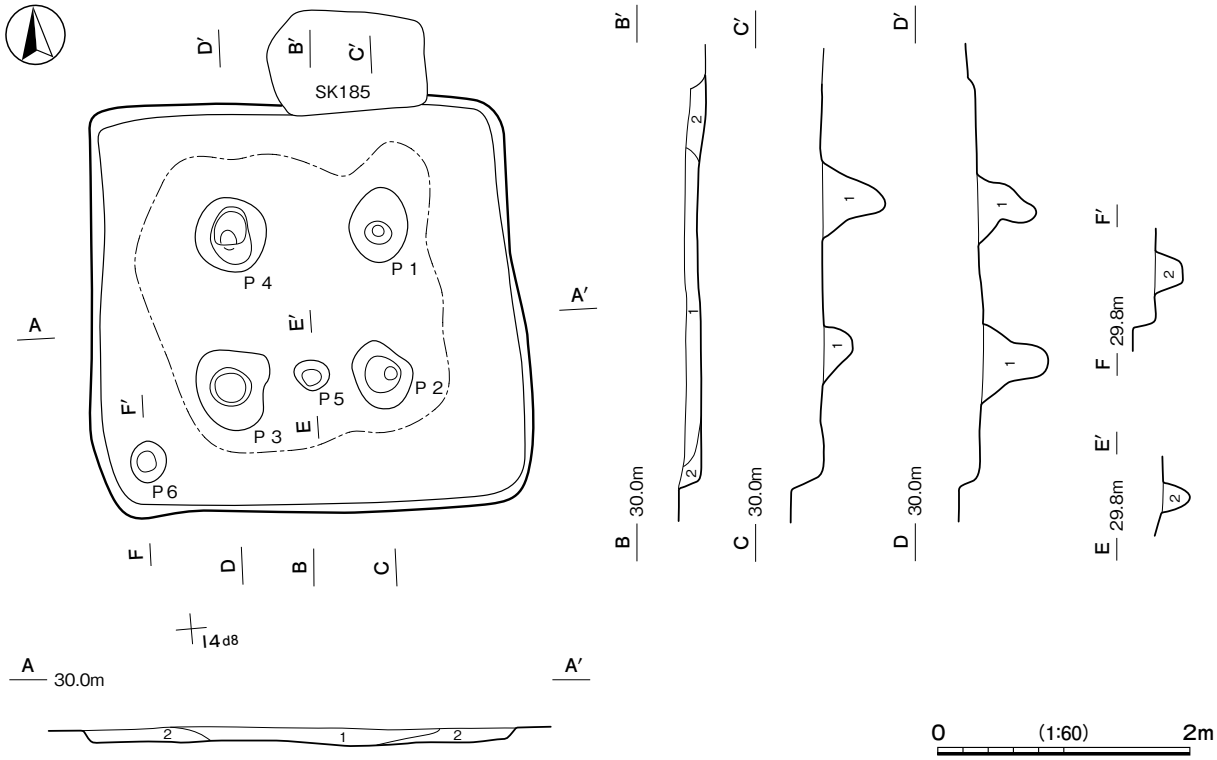
床　平坦で，中央部が踏み固められている。

ピット　６か所。Ｐ１～Ｐ４は深さ 24 ～ 55cmで，配置から主柱穴である。Ｐ５・Ｐ６は深さ 22・24cmで，性格不明である。

覆土　２層に分層できる。層厚が薄く，堆積状況は不明である。

遺物出土状況　土師器片 31 点（坏 17，高坏１，甕 12，甑１），須恵器片２点（坏，蓋），土製品１点（支脚）が出土している。遺物は細片のため図示できなかった。

所見　時期は，特定できる遺物が出土していないため，不明である。



土層解説
1　10YR3/3　暗褐　　ローム小Ｄ'・粒Ｄ，炭化粒Ｄ'／粘Ｂ，締Ｂ
2　10YR2/3　黒褐　　ローム小Ｃ・粒Ｄ／粘Ｂ，締Ｂ

ピット土層解説（各ピット共通）
1　10YR3/2　黒褐　　ローム粒Ｄ／粘Ｂ，締Ｂ
2　10YR3/3　暗褐　　ローム粒Ｃ／粘Ｂ，締Ｂ

第 427 図　第 125 号竪穴建物跡実測図

第 126 号竪穴建物跡（第 428 図　PL53）

位置　調査区北西部のＩ４b9 区，標高 30 mほどの微高地上に位置している。

重複関係　第 21 号井戸，第１・15 号溝に掘り込まれている。第 184 号土坑と重複しているが新旧関係は不明である。

規模と形状　長軸3.28ｍ，短軸3.13ｍの方形で，長軸方向はＮ－11°－Ｅである。壁高は27㎝で，外傾している。

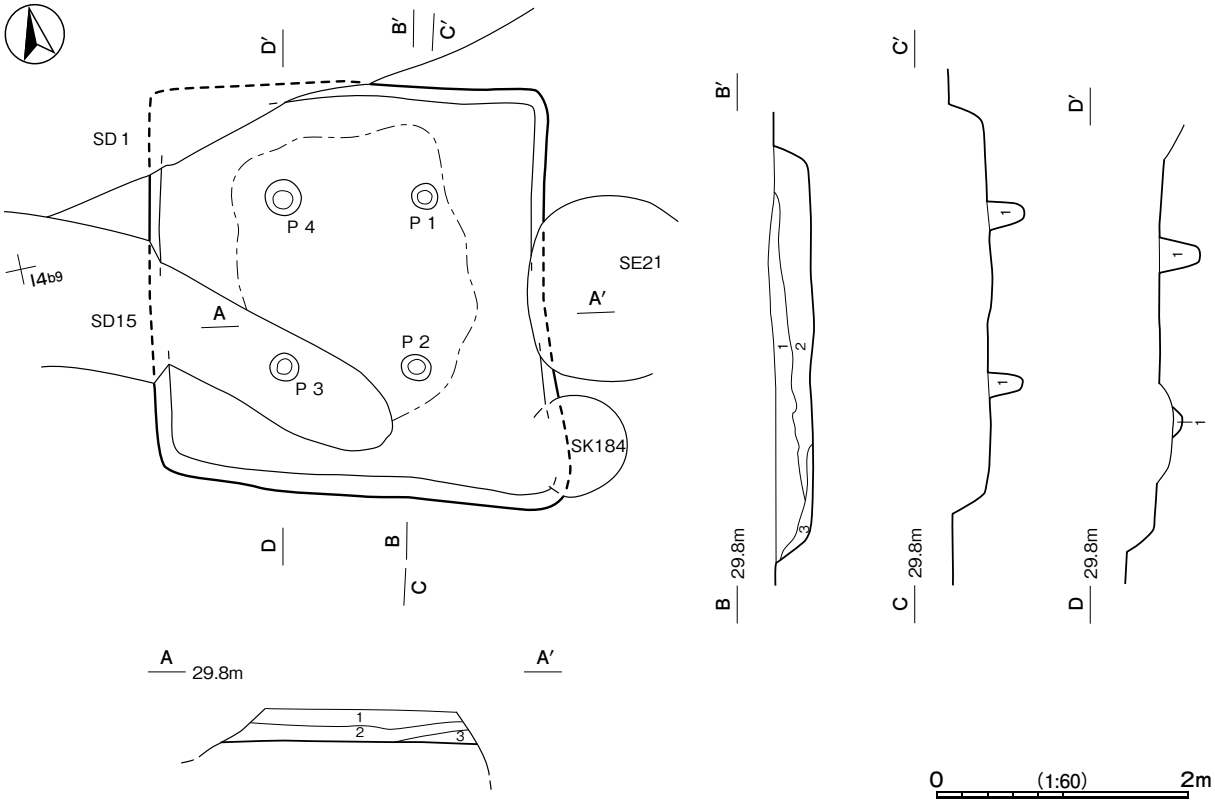
床　平坦で，中央部が踏み固められている。

ピット　４か所。Ｐ１～Ｐ４は深さ20～32㎝で，配置から主柱穴である。

覆土　３層に分層できる。ロームブロックが含まれ，不規則な堆積状況から人為堆積である。

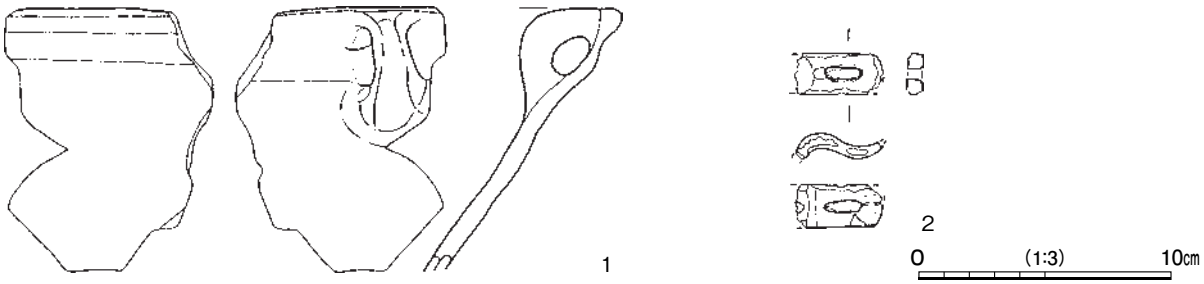
遺物出土状況　土師器片83点（坏26，椀２，甕55），須恵器片２点（瓶，甕），金属製品１点（鉸具）のほか，混入した土師質土器片20点（内耳鍋19，擂鉢１），が出土している。１・２は覆土中から出土しているが細片であり，本跡に伴うものかは不明である。

所見　時期は，重複関係から15世紀中葉以前と考えられるが，特定できる遺物が出土していないため，詳細な時期は不明である。



土層解説
1　10YR4/2　灰黄褐　ローム粒Ｄ／粘Ｂ，締Ｂ
2　10YR3/1　黒褐　ローム小Ｃ・粒Ｃ，焼土粒Ｄ'／粘Ｂ，締Ｂ
3　10YR3/3　暗褐　ローム中Ｂ・小Ｂ・粒Ａ／粘Ｂ，締Ｂ

ピット土層解説（各ピット共通）
1　10YR2/2　黒褐　ローム小Ｄ・粒Ｄ／粘Ｂ，締Ｂ



第428図　第126号竪穴建物跡・出土遺物実測図

第 204 表　第 126 号竪穴建物跡出土遺物一覧（第 428 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
1	土師質土器	内耳鍋	－	［10.5］	－	長石・石英・雲母・細礫	にぶい橙	普通	外面煤付着	覆土中	10%

番号	器　種	長さ	幅	厚さ	重量	材　質	特　　徴	出土位置	備　考
2	鈴具	(3.4)	1.6	0.5	(13.06)	銅	基部欠損	覆土中	PL104

第 129 号竪穴建物跡（第 429 図　PL53）

位置　調査区中央部のＪ４b8 区，標高 30 mほどの微高地上に位置している。

重複関係　第 15 号溝，第１号火葬施設に掘り込まれている。

規模と形状　重複のため，確認できた南北軸は 3.22 m，東西軸は 3.00 mである。平面形は長方形と推定され，長軸方向はＮ－ 13°－Ｅである。壁高は６～８㎝で，外傾している。

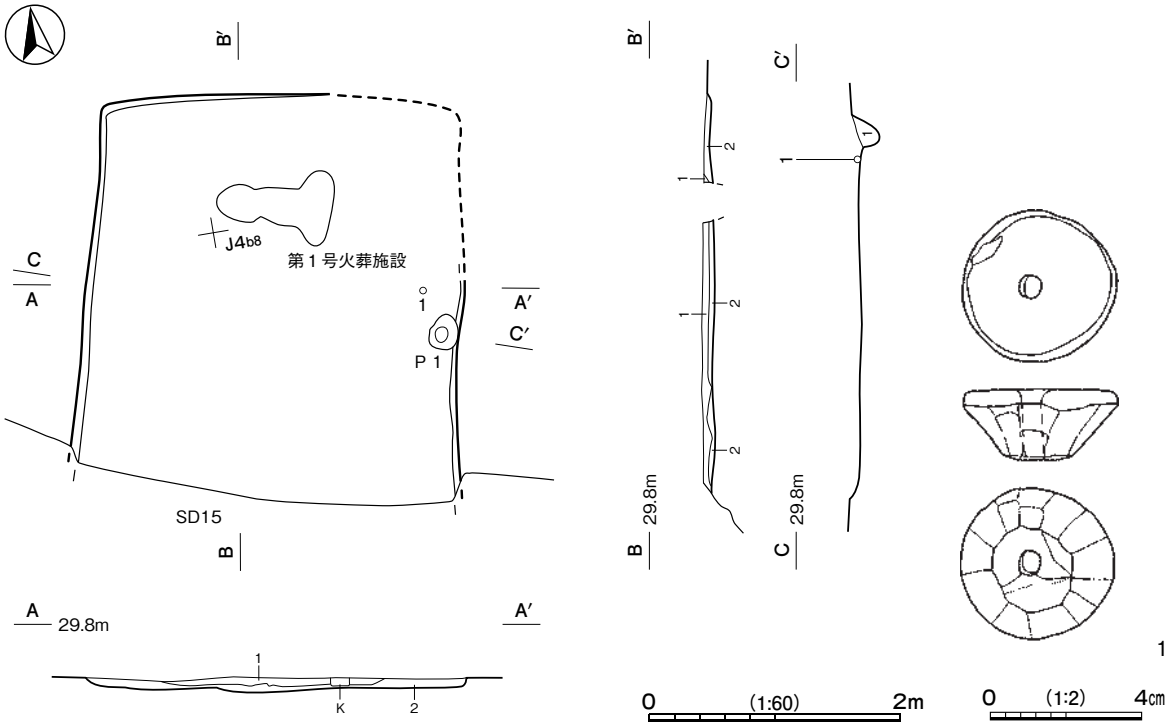
床　平坦で，硬化面は確認できなかった。

ピット　Ｐ１は深さ 15㎝で，性格不明である。

覆土　２層に分層できる。層厚が薄いため，堆積状況は不明である。

遺物出土状況　土師器片 21 点（坏 16，甕５），土製品１点（紡錘車）が出土している。１は東部の床面から出土している。

所見　時期は，出土遺物から古墳時代から奈良時代と考えられるが，詳細な時期は不明である。



土層解説
1　10YR3/2　黒褐　　ローム粒Ｄ／粘Ｂ，締Ｂ
2　10YR3/4　暗褐　　ローム中Ｃ・小Ｃ・粒Ｃ／粘Ｂ，締Ｂ

ピット土層解説
1　10YR3/2　黒褐　　ローム小Ｃ・粒Ｃ／粘Ｂ，締Ｂ

第 429 図　第 129 号竪穴建物跡・出土遺物実測図

第 205 表　第 129 号竪穴建物跡出土遺物一覧（第 429 図）

番号	器　種	上径	下径	厚さ	孔径	重量	胎　土	特　　徴	出土位置	備　考
1	土製紡錘車	4.0	1.9	1.9	0.6	(25.48)	長石・石英	外面やや雑なナデ	床面	

第 135 号竪穴建物跡（第 430 図）

位置　調査区北西部のⅠ４b7 区，標高 30 mほどの微高地上に位置している。

重複関係　第 128 号竪穴建物跡を掘り込み，第 15 号溝に掘り込まれている。

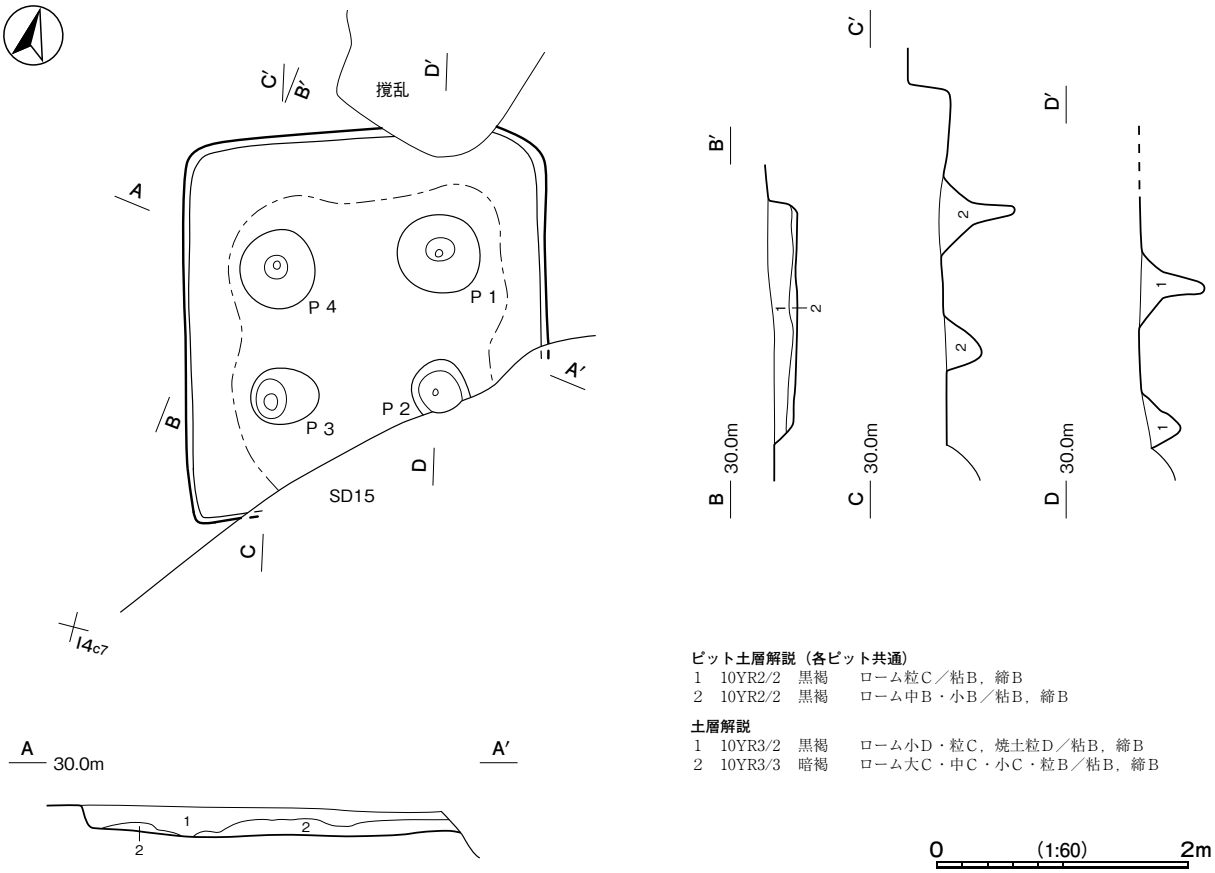
規模と形状　重複のため確認できた長軸は 3.00 m，短軸は 2.90 mの方形で，長軸方向はN－13°－Wである。壁高は 14 ～ 34cmで，ほぼ直立している。

床　平坦で，中央部が踏み固められている。

ピット　４か所。Ｐ１～Ｐ４は深さ 28 ～ 58cmで，配置から主柱穴である。

覆土　２層に分層できる。ロームブロックが含まれる不規則な堆積状況から人為堆積である。

所見　時期は，重複関係から８世紀中葉以降，中世以前と考えられるが，詳細な時期は不明である。



第 430 図　第 135 号竪穴建物跡実測図

第 137 号竪穴建物跡（第 431 図　PL53）

位置　調査区北西部のＩ４a8 区，標高 30 mほどの微高地上に位置している。

重複関係　第 15 号溝に掘り込まれている。

規模と形状　長軸 3.04 m，短軸 3.00 mの方形で，長軸方向はＮ－ 13゜－Ｅである。壁高は６～ 10cmで，緩やかに立ち上がっている。

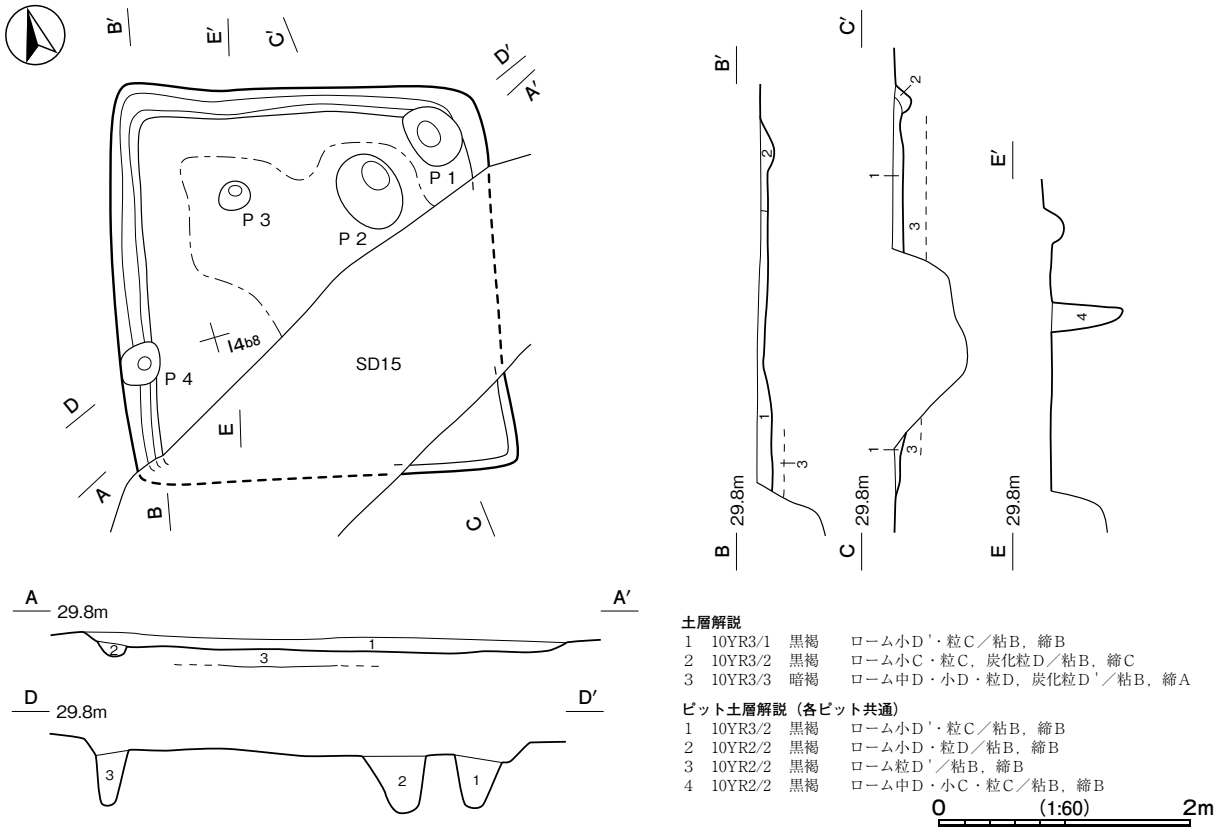
床　平坦で，中央部が踏み固められている。東壁下と南東コーナー部を除いて壁溝が巡っている。貼床は第 15 号溝跡の断面とサブトレンチによって確認され，第３層を埋土して構築されている。

ピット　４か所。Ｐ１～Ｐ４は深さ 44 ～ 56cmで，性格不明であるが，Ｐ２・Ｐ３は配置から主柱穴の可能性がある。

覆土　２層に分層できる。層厚が薄いため，堆積状況は不明である。

遺物出土状況　土師器片 18 点（坏８，甕 10）が出土している。遺物は細片のため図示できなかった。

所見　時期は，重複関係から中世以前と考えられるが，詳細な時期は不明である。



第 431 図　第 137 号竪穴建物跡実測図

第 139 号竪穴建物跡（第 432 図　PL53）

位置　調査区北西部のＩ４a3 区，標高 30 mほどの微高地上に位置している。

重複関係　第 12 号堀に掘り込まれている。

規模と形状　東部が第 12 号堀に掘り込まれているため，南北軸は 3.02 m，確認できた東西軸は 1.98 mである。方形または長方形と推定され，南北軸方向はＮ－ 15゜－Ｅである。壁高は 25 ～ 34cmで，ほぼ直立している。

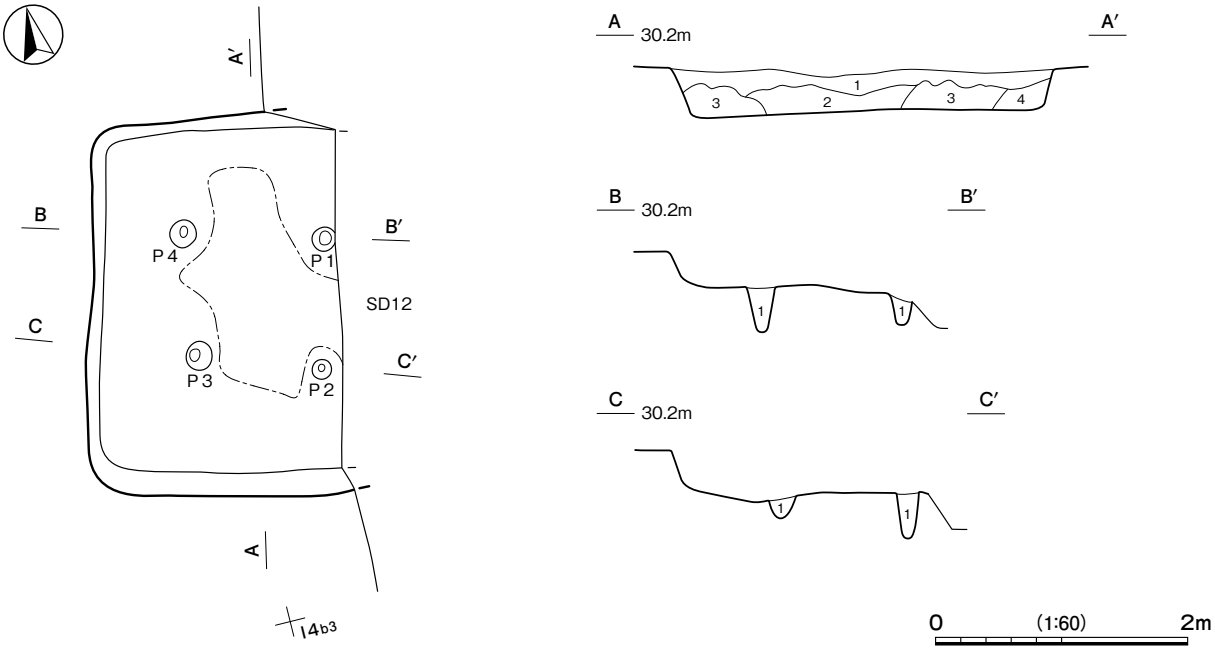
床　平坦で，中央部が踏み固められている。

ピット　４か所。Ｐ１～Ｐ４は深さ 15 ～ 38cmで，配置から主柱穴である。

覆土　４層に分層できる。ロームブロックが含まれる不規則な堆積状況から人為堆積である。

遺物出土状況　土師器片９点（坏４，甕５）が出土している。遺物は細片のため図示できなかった。

所見　時期は，重複関係から中世以前と考えられるが，詳細な時期は不明である。



土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム小Ｂ・粒Ｂ，炭化粒Ｄ／粘Ｂ，締Ｂ
2　10YR2/2　黒褐　ローム中Ｃ・小Ｂ・粒Ｂ，炭化粒Ｄ／粘Ｂ，締Ｂ
3　10YR3/4　暗褐　ローム大Ｃ・中Ｃ・小Ｂ・粒Ｂ／粘Ｂ，締Ｂ
4　10YR3/3　暗褐　ローム大Ｃ・中Ｂ・小Ｂ・粒Ｂ／粘Ｂ，締Ｂ

ピット土層解説（各ピット共通）
1　10YR3/3　暗褐　ローム粒Ｃ，炭化粒Ｄ′／粘Ｂ，締Ｃ

第 432 図　第 139 号竪穴建物跡実測図

第 206 表　時期不明竪穴建物跡一覧

番号	位置	長軸方向	平面形	規模 長軸×短軸（m）	壁高（cm）	床面	壁溝	内部施設 主柱穴	出入口	ピット	炉・竈	貯蔵穴	覆土	主な出土遺物	備考
41	Ｈ５e8	Ｎ－73°－Ｅ	［方形・長方形］	4.55 × (2.54)	６～25	平坦	一部	－	－	1	－	1	人為	土師器	
42	Ｈ６e2	Ｎ－90°	［方形・長方形］	(3.68) × (0.46)	10～40	平坦	一部	－	－	－	－	－	自然	土師器，焼成粘土塊	
43	Ｉ５e6	Ｎ－９°－Ｅ	長方形	3.08 × 2.76	８～16	平坦	－	－	－	4	－	－	人為	土師器，砥石	SI 45 →本跡→ PG 2
44	Ｉ５d6	Ｎ－３°－Ｅ	長方形	4.00 × 3.54	６～16	平坦	－	－	－	4	－	－	不明	土師器	SI 45，SK 49 →本跡
76	Ｊ３i9	Ｎ－20°－Ｗ	［方形・長方形］	3.78 × (3.17)	10～30	平坦	－	－	－	2	－	－	自然	土師器	
83	Ｊ４i8	Ｎ－68°－Ｅ	長方形	4.42 × 4.00	－	－	ほぼ全周	4	－	1	－	－	－	－	
103	Ｉ３j0	Ｎ－70°－Ｗ	方形	3.20 × 3.18	26～34	平坦	－	－	－	3	－	－	人為	土師器，須恵器，焼成粘土塊	SI 101 →本跡
104	Ｊ４a1	Ｎ－10°－Ｅ	方形	3.10 × 3.05	30～38	平坦	－	4	－	－	－	－	人為	土師器，須恵器	
105	Ｊ３a9	Ｎ－25°－Ｅ	長方形	3.50 × 2.74	18～36	平坦	－	4	－	－	－	－	不明	土師器，須恵器	SI 88 →本跡→ SD 5
125	Ｉ４c8	Ｎ－84°－Ｗ	方形	3.50 × 3.26	６～24	平坦	－	4	－	2	－	－	自然	土師器，須恵器，支脚	本跡→ SK185
126	Ｉ４b9	Ｎ－11°－Ｅ	方形	3.28 × 3.13	27	平坦	－	4	－	－	－	－	人為	土師器，須恵器，内耳鍋，擂鉢，鈕具	本跡→ SE21，SD 1 ・15 SK184 との新旧不明
129	Ｊ４b8	Ｎ－13°－Ｅ	［長方形］	(3.22) × 3.00	６～８	平坦	－	－	－	1	－	－	不明	土師器，紡錘車	本跡→ SD15，第１号火葬施設
135	Ｉ４b7	Ｎ－13°－Ｗ	方形	(3.00) × 2.90	14～34	平坦	－	4	－	－	－	－	人為	－	SI 128 →本跡→ SD15
137	Ｉ４a8	Ｎ－13°－Ｅ	方形	3.04 × 3.00	６～10	平坦	一部	－	－	4	－	－	不明	土師器	本跡→ SD15
139	Ｉ４a3	Ｎ－15°－Ｅ	［方形・長方形］	3.02 × (1.98)	25～34	平坦	－	4	－	－	－	－	人為	土師器	本跡→ SD12

(2) 円形周溝状遺構

第１号円形周溝状遺構（第 433 図）

位置　調査区中央部のＩ５j2 区，標高 30 mほどの微高地上に位置している。

重複関係　第 361 号土坑に掘り込まれている。

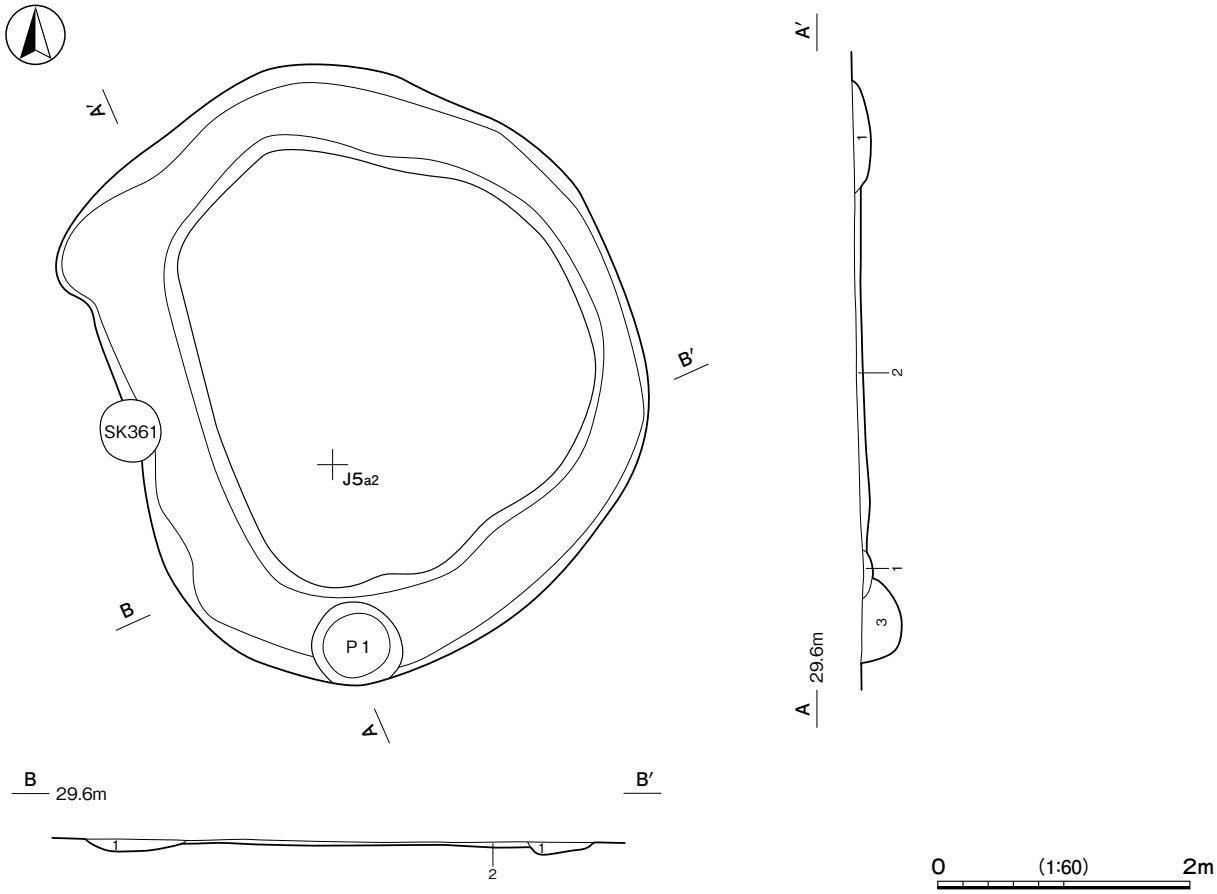
規模と形状　内径 3.00 ～ 3.55 m，外径 4.18 ～ 4.90 mの不整楕円形で，長径方向はＮ－ 22゜－Ｗである。上幅は 0.38 ～ 1.00，下幅は 0.20 ～ 0.82 mで，深さは 10 ～ 15cmである。断面形はＵ字状で，壁は外傾している。底面はほぼ平坦である。

ピット　Ｐ１は深さ 32cmで，性格は不明である。

覆土　３層に分層できる。層厚が薄く，堆積状況は不明である。

遺物出土状況　土師器片 23 点（坏９，高坏１，甕 13）が出土している。遺物は細片のため図示できなかった。

所見　時期は，不明である。



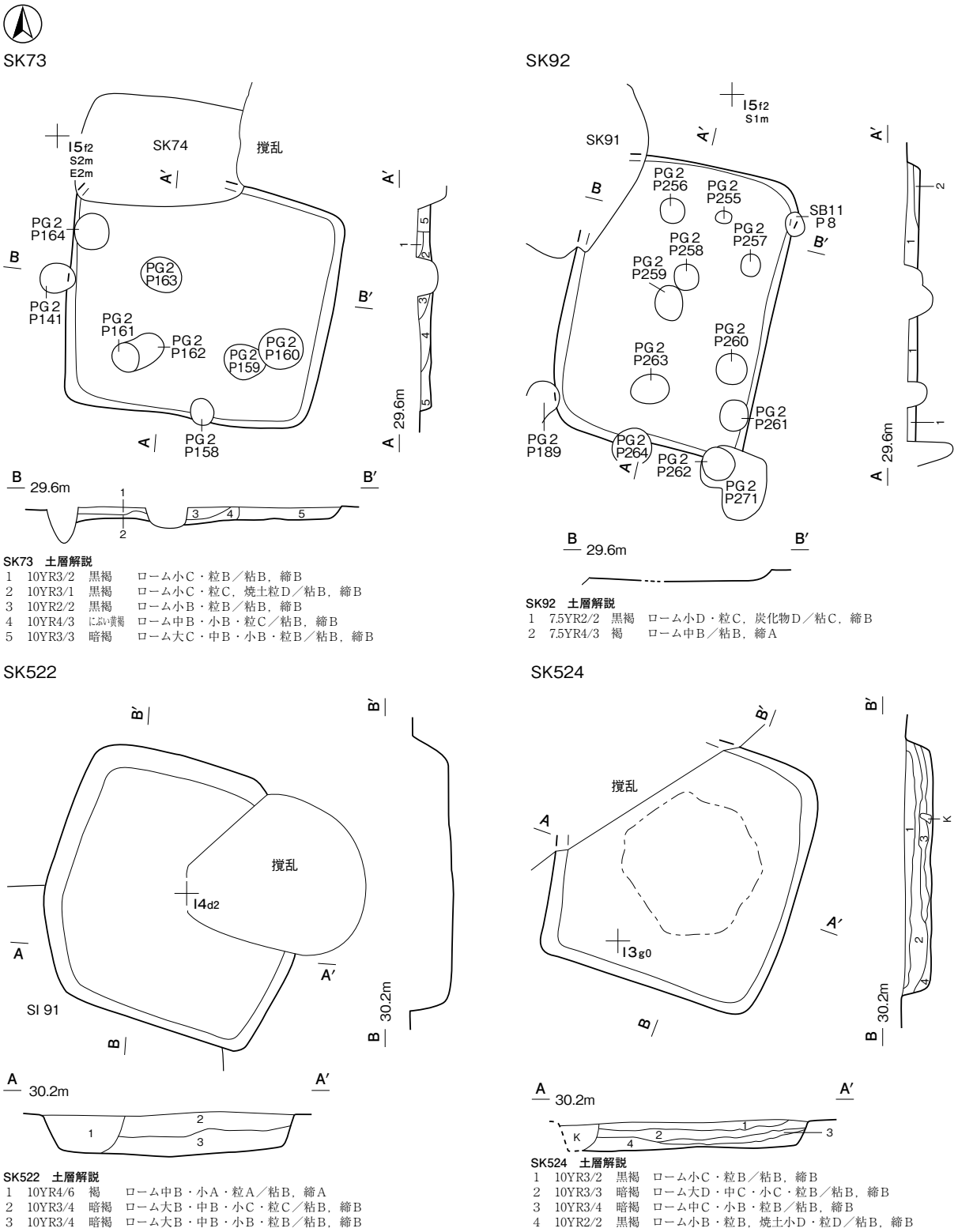
ピット・土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム粒Ｄ／粘Ｂ，締Ｂ
2　10YR5/6　黄褐　ローム大Ｄ・小Ｃ・粒Ｂ／粘Ｂ，締Ｂ
3　10YR2/2　黒褐　ローム小Ｄ・粒Ｄ／粘Ｂ，締Ｂ

第 433 図　第１号円形周溝状遺構実測図

(3) 土坑

時代が明らかでない土坑については，方形竪穴遺構の可能性がある土坑 10 基と井戸の可能性がある土坑 20 基を抽出し，その他の土坑 449 基を含めて実測図，土層解説を掲載する。

ア） 方形竪穴遺構の可能性がある土坑（第 434 ～ 437 図）



SK73 土層解説

1	10YR3/2	黒褐	ローム小C・粒B／粘B，締B
2	10YR3/1	黒褐	ローム小C・粒C，焼土粒D／粘B，締B
3	10YR2/2	黒褐	ローム小B・粒B／粘B，締B
4	10YR4/3	にぶい黄褐	ローム中B・小B・粒C／粘B，締B
5	10YR3/3	暗褐	ローム大C・中B・小B・粒B／粘B，締B

SK92 土層解説

1	7.5YR2/2	黒褐	ローム小D・粒C，炭化物D／粘C，締B
2	7.5YR4/3	褐	ローム中B／粘B，締A

SK522 土層解説

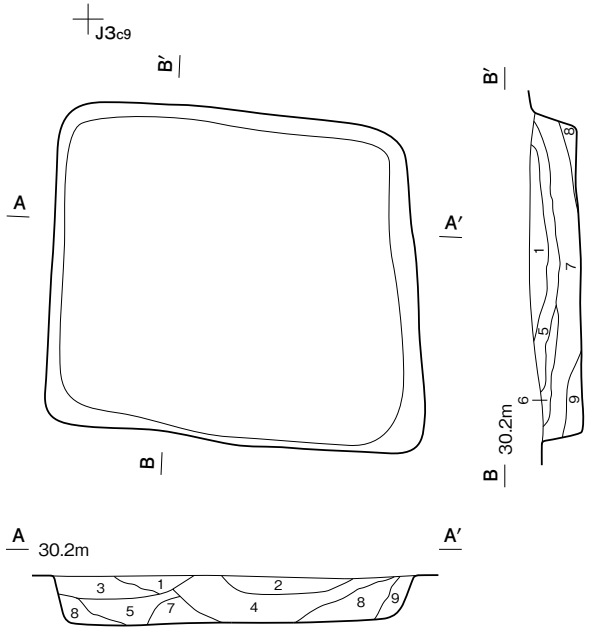
1	10YR4/6	褐	ローム中B・小A・粒A／粘B，締A
2	10YR3/4	暗褐	ローム大B・中B・小C・粒C／粘B，締B
3	10YR3/4	暗褐	ローム大B・中B・小B・粒B／粘B，締B

SK524 土層解説

1	10YR3/2	黒褐	ローム小C・粒B／粘B，締B
2	10YR3/3	暗褐	ローム大D・中C・小C・粒B／粘B，締B
3	10YR3/4	暗褐	ローム中C・小B・粒B／粘B，締B
4	10YR2/2	黒褐	ローム小B・粒B，焼土小D・粒D／粘B，締B

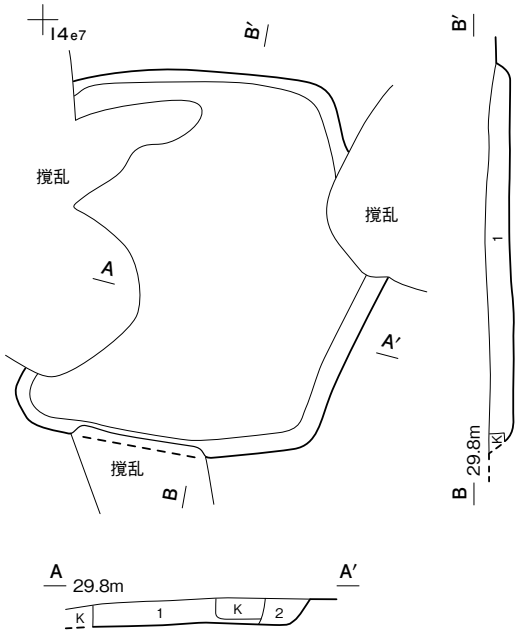
第 434 図　時期不明土坑実測図(1)

SK523



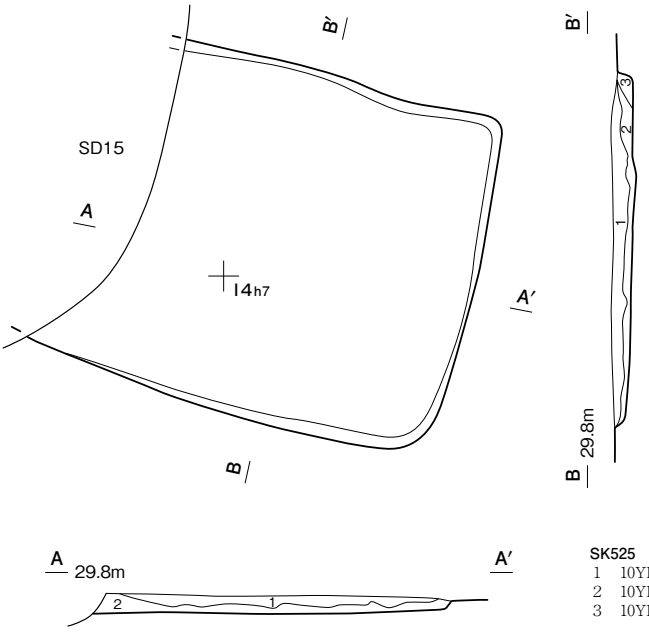
SK523　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム大D・中D・小C・粒C／粘B，締B
2　10YR3/3　暗褐　ローム小B・粒B／粘B，締B
3　10YR2/2　黒褐　ローム大C・中C・小B・粒B／粘B，締B
4　10YR4/6　褐　ローム中C・小B・粒B／粘B，締B
5　10YR2/2　黒褐　ローム大C・中B・小B・粒B，炭化粒D／粘B，締B
6　10YR3/2　黒褐　ローム中C・小C・粒C／粘B，締B
7　10YR4/4　褐　ローム大D・中C・小C・粒B／粘B，締B
8　10YR2/2　黒褐　ローム小C・粒C／粘B，締B
9　10YR4/6　褐　ローム小C・粒B／粘B，締B

SK527



SK527　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム中D・小D・粒C／粘B，締B
2　10YR3/3　暗褐　ローム粒C／粘B，締B

SK525

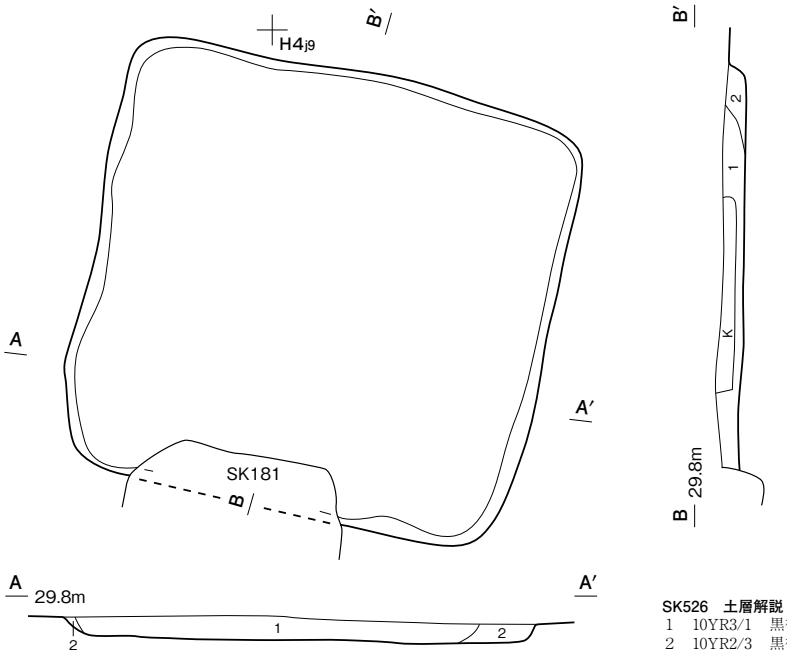


SK525　土層解説
1　10YR3/3　暗褐　ローム小D・粒C／粘B，締B
2　10YR3/4　暗褐　ローム中D・小C・粒B／粘B，締B
3　10YR4/6　褐　ローム粒A／粘B，締B

0　(1:60)　2m

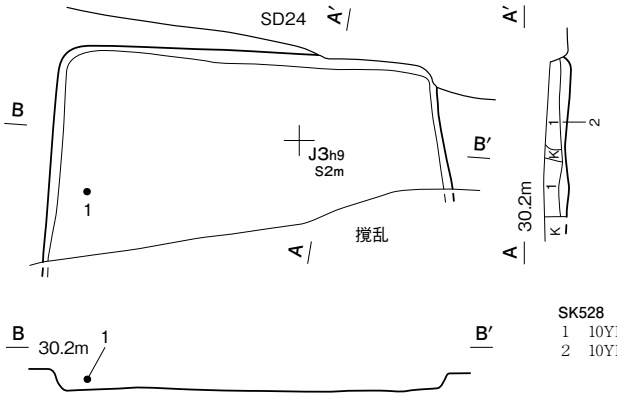
第 435 図　時期不明土坑実測図(2)

SK526



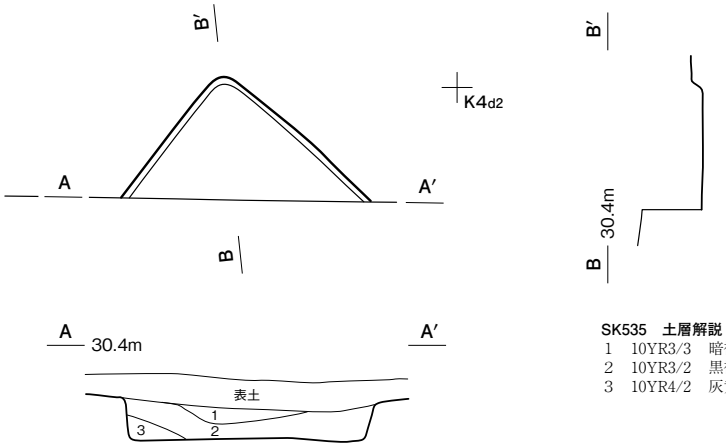
SK526　土層解説
1　10YR3/1　黒褐　ローム小C・粒C／粘B，締B
2　10YR2/3　黒褐　ローム小C・粒B，焼土粒D／粘B，締B

SK528



SK528　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム小C・粒B／粘B，締B
2　10YR4/4　褐　ローム中C・小B・粒B，細礫D／粘B，締B

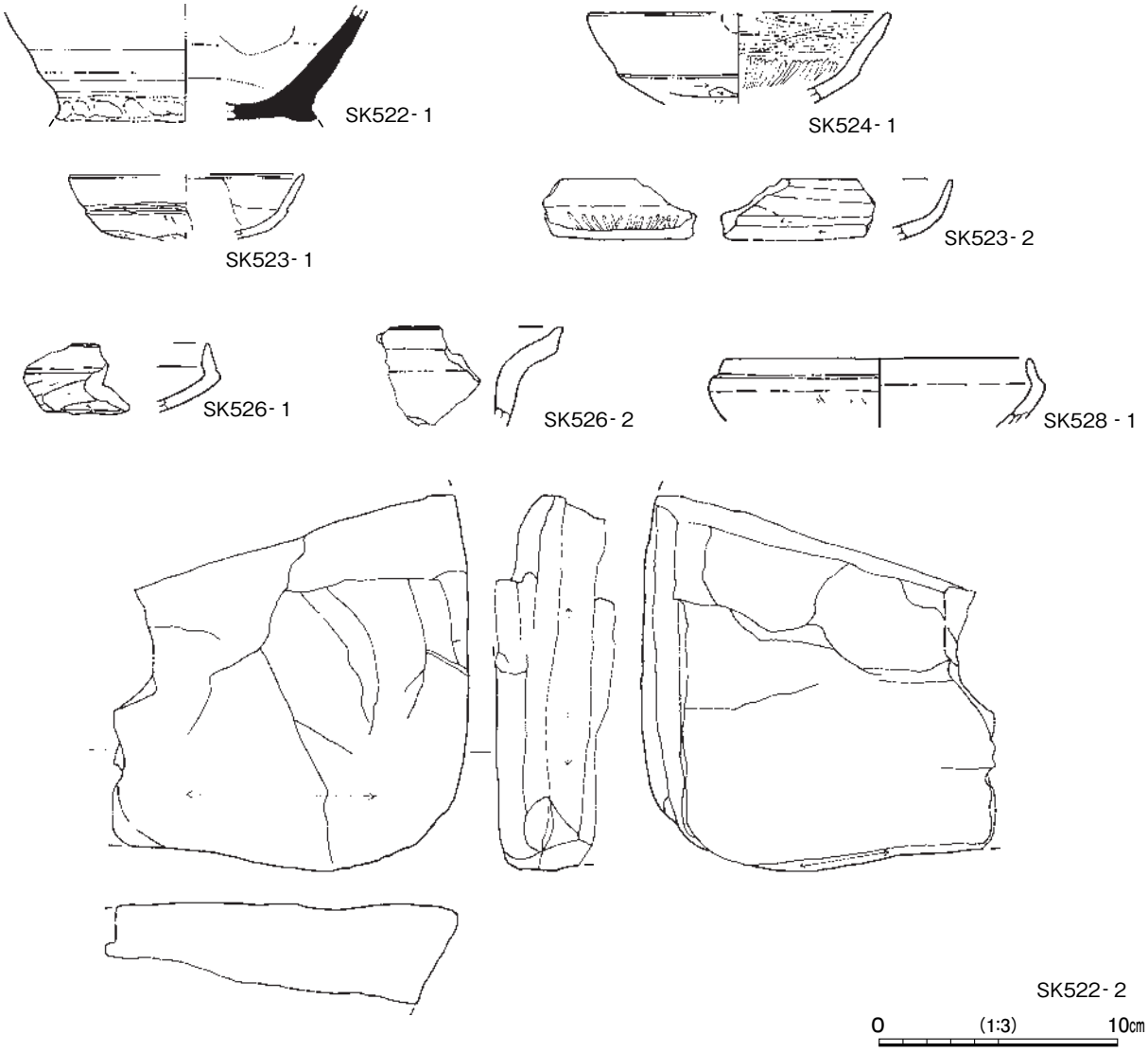
SK535



SK535　土層解説
1　10YR3/3　暗褐　ローム小C・粒C／粘B，締B
2　10YR3/2　黒褐　ローム小D・粒B／粘B，締B
3　10YR4/2　灰黄褐　ローム中C・小B・粒A／粘B，締B

0　(1:60)　2m

第 436 図　時期不明土坑実測図(3)



第 437 図　ア）時期不明土坑出土遺物実測図

第 207 表　第 522 号土坑出土遺物一覧（第 437 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
1	須恵器	甕	－	(4.8)	－	長石・石英	灰	良好	ロクロ整形	覆土中	10%

番号	器　種	長さ	幅	厚さ	重量	材　　質	特　　徴	出土位置	備　考
2	砥石	(15.7)	(15.0)	(5.1)	(1,600)	千枚岩	砥面２面　一部被熱	覆土中	

第 208 表　第 523 号土坑出土遺物一覧（第 437 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
1	土師器	坏	[9.8]	(2.6)	－	長石・石英	橙	普通	内面ナデ　口唇部内面沈線	覆土中	10%
2	土師器	坏	－	(2.5)	－	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	内面放射状ヘラ磨き	覆土中	５%

第 209 表　第 524 号土坑出土遺物一覧（第 437 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
1	土師器	坏	[12.6]	(3.8)	－	長石・石英	明赤褐	普通	口縁部内面横位ヘラ磨き　内面放射状ヘラ磨き	覆土中	10%

第 210 表　第 526 号土坑出土遺物一覧（第 437 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
1	土師器	坏	－	(2.9)	－	長石・石英	にぶい橙	普通	外・内面摩滅により調整不明瞭	覆土中	10%
2	土師器	甕	－	(4.1)	－	長石・石英・雲母	橙	普通	外・内面摩滅により調整不明瞭	覆土中	5 %

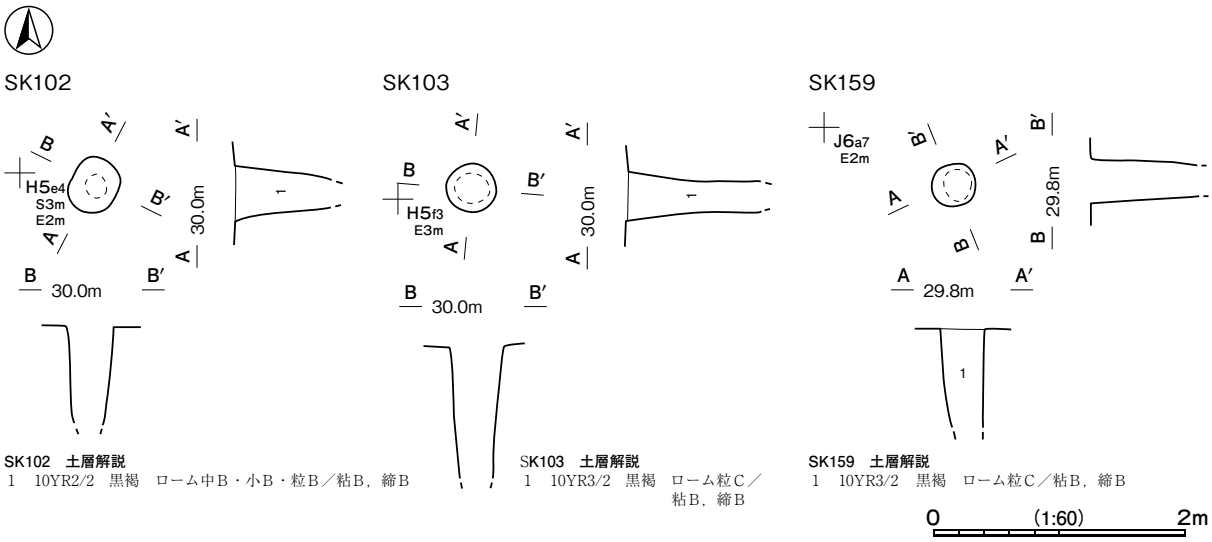
第 211 表　第 528 号土坑出土遺物一覧（第 437 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
1	土師器	坏	12.7	(2.8)	－	長石・石英・赤色粒子	にぶい褐	普通	内面ナデ　口縁部外面・内面黒色処理の痕跡	覆土下層	30%

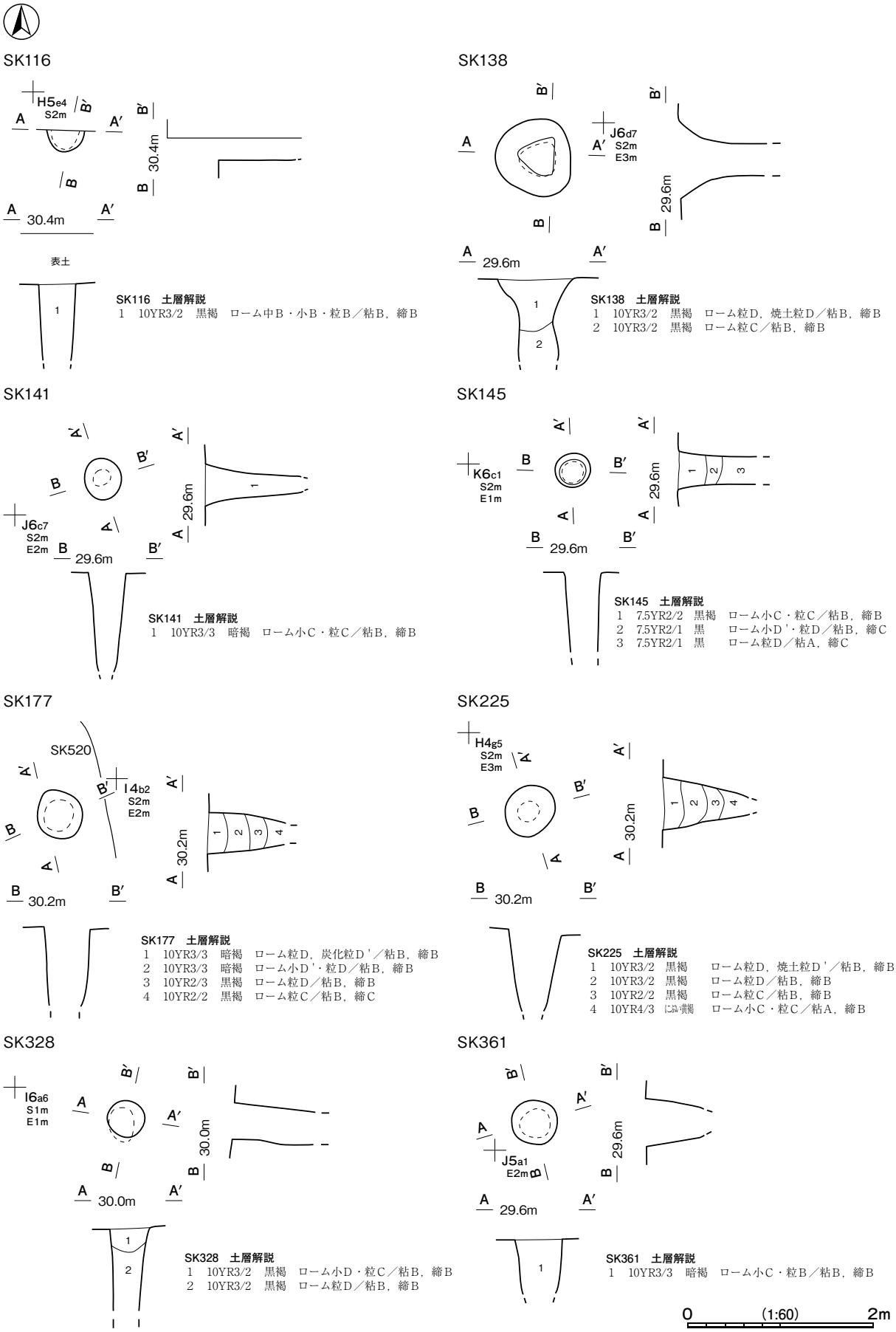
第 212 表　ア）方形竪穴遺構の可能性がある土坑一覧

番号	位 置	長軸方向	平 面 形	規　　模		壁　面	底　面	覆　土	主 な 出 土 遺 物	備　考
				長軸×短軸（m）	深さ（cm）					
73	I5f2	N－79°－W	長方形	2.70　×　2.44	18	直立	平坦	人為	土師器 9	本跡→ SK74,PG 2
92	I5f1	N－14°－E	長方形	2.84　×　2.07	13	外傾	平坦	人為	－	本跡→ SK91, PG 2 SB11 と新旧不明
522	I4d1	N－17°－E	方形	2.67　×　2.61	35	外傾	平坦	人為	土師器 45, 須恵器 1	SI 91 →本跡
523	J3c9	N－85°－W	長方形	2.92　×　2.63	38	外傾	平坦	人為	縄文土器 3，土師器 73	
524	I3f0	N－19°－E	方形	2.55　×　2.44	26	外傾	平坦	人為	縄文土器 4，土師器 88, 須恵器 2	
525	I4g7	N－79°－W	［長方形］	(3.00)　×　2.81	8 ～ 14	外傾	平坦	人為	土師器 49, 須恵器 1，土師質土器 29, 焼成粘土塊 10.28g	本跡→ SD15
526	H4j9	N－77°－W	方形	3.70　×　3.52	14	外傾	平坦	自然	土師器 83, 須恵器 2	本跡→ SK181
527	I4e7	N－ 6°－E	長方形	3.04　×　2.43	12 ～ 20	外傾	平坦	人為	土師器 19, 焼成粘土塊 5.94g	
528	J3h8	N－ 0 °	［方形・長方形］	3.18　×　(1.69)	13 ～ 17	外傾	平坦	人為	土師器 13	本跡→ SD24
535	K4d1	N－52°－W	［方形・長方形］	(1.60)　×　(1.30)	10 ～ 30	直立	平坦	自然	縄文土器 1，土師器 9	

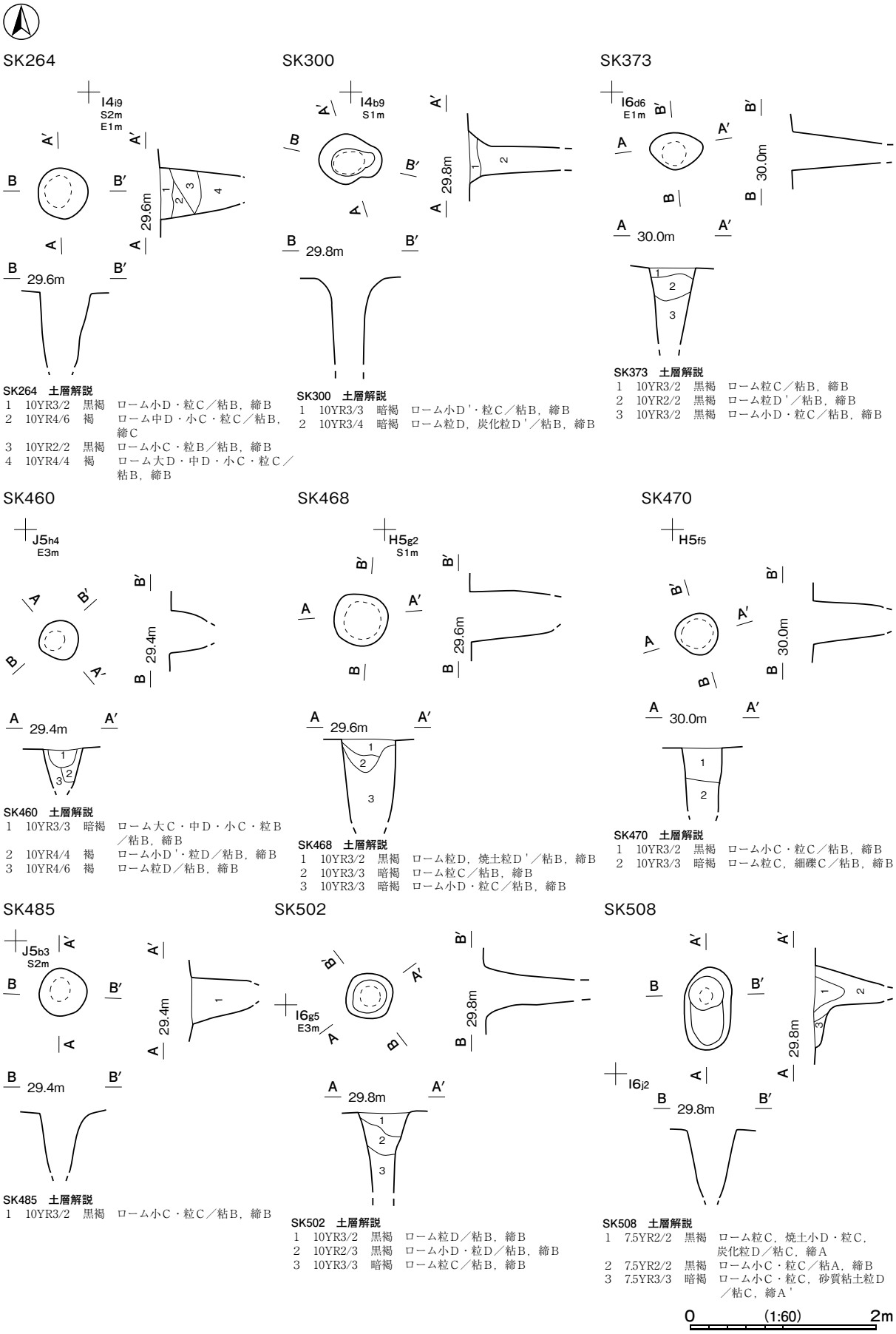
イ）　井戸の可能性がある土坑（第 438 ～ 440 図）



第 438 図　時期不明土坑実測図(4)



第 439 図　時期不明土坑実測図(5)



SK264　土層解説

1　10YR3/2　黒褐　ローム小D・粒C／粘B，締B
2　10YR4/6　褐　ローム中D・小C・粒C／粘B，締C
3　10YR2/2　黒褐　ローム小C・粒B／粘B，締B
4　10YR4/4　褐　ローム大D・中D・小C・粒C／粘B，締B

SK300　土層解説

1　10YR3/3　暗褐　ローム小D'・粒C／粘B，締B
2　10YR3/4　暗褐　ローム粒D，炭化粒D'／粘B，締B

SK373　土層解説

1　10YR3/2　黒褐　ローム粒C／粘B，締B
2　10YR2/2　黒褐　ローム粒D'／粘B，締B
3　10YR3/2　黒褐　ローム小D・粒C／粘B，締B

SK460　土層解説

1　10YR3/3　暗褐　ローム大C・中D・小C・粒B／粘B，締B
2　10YR4/4　褐　ローム小D'・粒D／粘B，締B
3　10YR4/6　褐　ローム粒D／粘B，締B

SK468　土層解説

1　10YR3/2　黒褐　ローム粒D，焼土粒D'／粘B，締B
2　10YR3/3　暗褐　ローム粒C／粘B，締B
3　10YR3/3　暗褐　ローム小D・粒C／粘B，締B

SK470　土層解説

1　10YR3/2　黒褐　ローム小C・粒C／粘B，締B
2　10YR3/3　暗褐　ローム粒C，細礫C／粘B，締B

SK485　土層解説

1　10YR3/2　黒褐　ローム小C・粒C／粘B，締B

SK502　土層解説

1　10YR3/2　黒褐　ローム粒D／粘B，締B
2　10YR2/3　黒褐　ローム小D・粒D／粘B，締B
3　10YR3/3　暗褐　ローム粒C／粘B，締B

SK508　土層解説

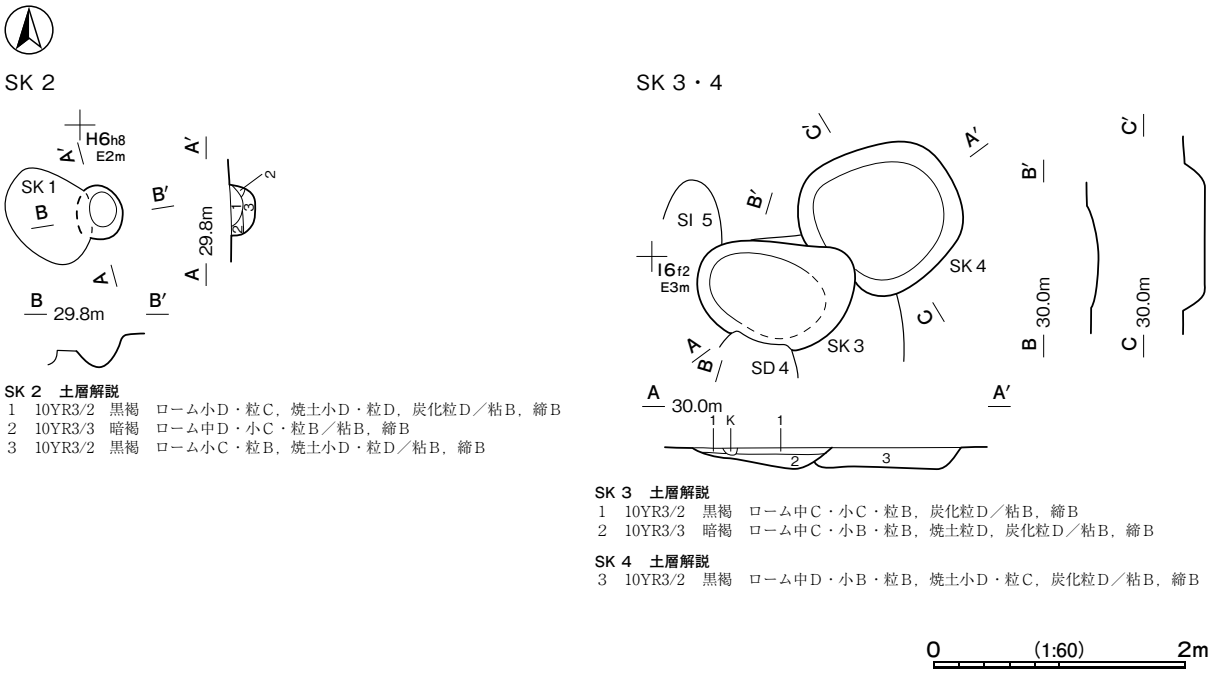
1　7.5YR2/2　黒褐　ローム粒C，焼土小D・粒C，炭化粒D／粘C，締A
2　7.5YR2/2　黒褐　ローム小C・粒C／粘A，締B
3　7.5YR3/3　暗褐　ローム小C・粒C，砂質粘土粒D／粘C，締A'

第 440 図　時期不明土坑実測図(6)

第 213 表　イ）井戸の可能性がある土坑一覧

番号	位置	長径方向	平面形	規模 長径×短径（m）			規模 深さ（cm）	壁面	底面	覆土	主な出土遺物	備考
102	H5e4	N－27°－E	楕円形	0.44	×	0.37	(83)	直立	－	人為	土師器 2	
103	H5e3	－	円形	0.40	×	0.38	(110)	直立	－	自然	土師器 5	
116	H5e4	－	[円形・楕円形]	0.40	×	(0.23)	(86)	直立	－	人為	土師器 5	
138	J6d7	－	円形	0.82	×	0.80	(90)	直立	－	自然	土師器 25	
141	J6c7	－	円形	0.43	×	0.40	(107)	直立	－	人為	－	
145	K6c1	－	円形	0.38	×	0.38	(84)	直立	－	人為	土師器 21，須恵器 1	
159	J6a7	－	円形	0.35	×	0.33	(78)	直立	－	自然	－	SK82 →本跡
177	I4b2	N－31°－W	楕円形	0.58	×	0.50	(84)	直立	－	自然	土師器 33	SI 115 → SK520 → 本跡
225	H4g5	N－40°－E	楕円形	0.56	×	0.50	(95)	外傾	－	自然	土師器 8	
264	I4i9	－	円形	0.57	×	0.55	(89)	直立	－	人為	土師器 1	
300	I4b9	N－90°	楕円形	0.68	×	0.53	(95)	直立	－	自然	土師器 3	
328	I6a6	－	円形	0.41	×	0.38	(90)	直立	－	自然	土師器 6	
361	I5j1	－	円形	0.50	×	0.48	(68)	直立	－	人為	土師器 3	第 1 号円形周溝状遺構→本跡
373	I6d6	N－86°－E	楕円形	0.56	×	0.42	(82)	直立	－	自然	土師器 4	
460	J5h4	－	円形	0.43	×	0.43	(46)	外傾	－	人為	－	
468	H5g1	－	円形	0.57	×	0.54	(95)	直立	－	自然	土師器 8	
470	H5f5	－	円形	0.48	×	0.47	(82)	直立	－	自然	土師器 3	
485	J5b3	－	円形	0.53	×	0.50	(65)	直立	－	人為	－	
502	I6f5	－	円形	0.50	×	0.48	(97)	直立	－	自然	土師器 6	
508	I6i2	N－0°	楕円形	0.87	×	0.51	(80)	外傾	－	人為	土師器 2	

ウ）　その他の土坑（第 441 ～ 490 図）

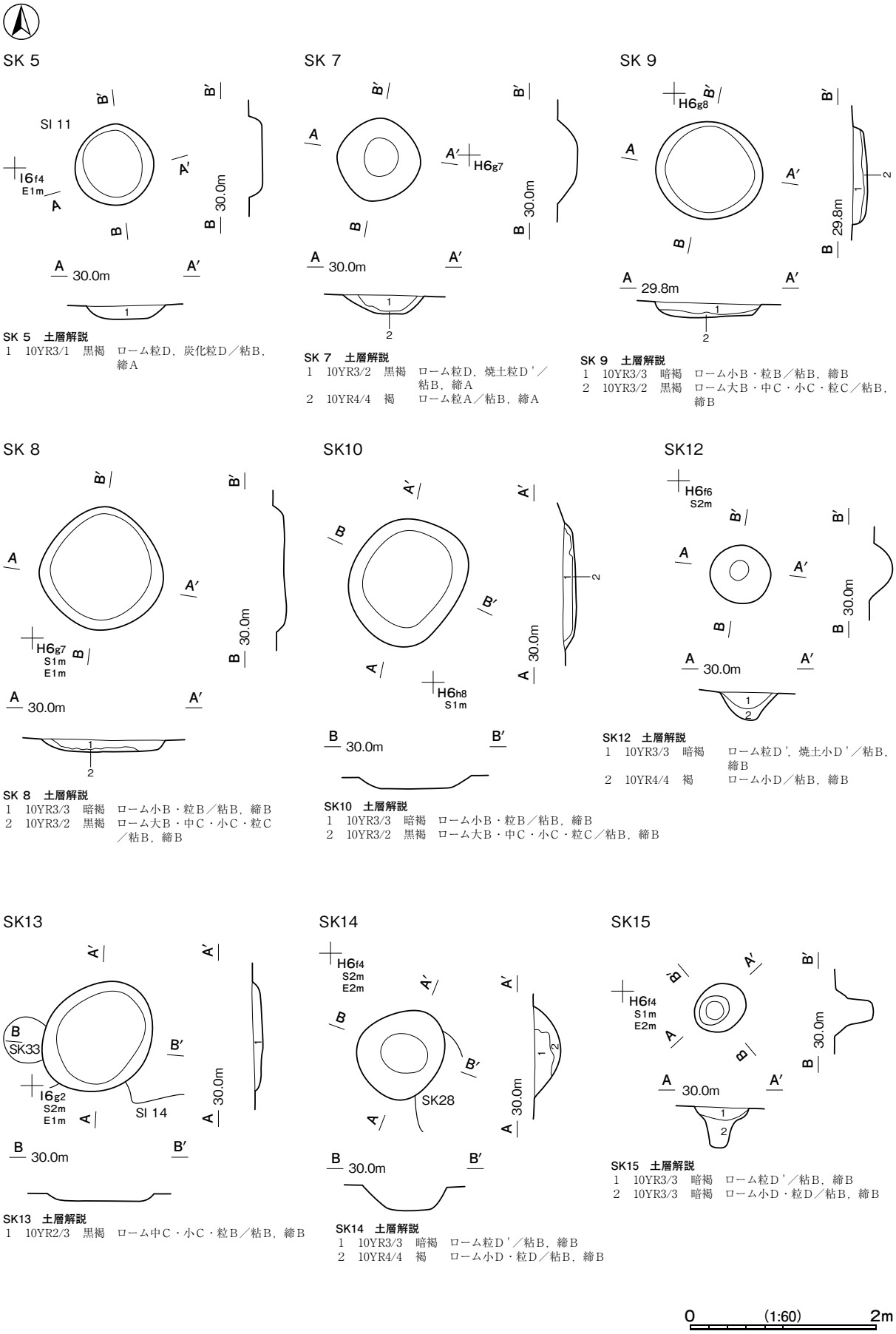


SK 2　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム小D・粒C，焼土小D・粒D，炭化粒D／粘B，締B
2　10YR3/3　暗褐　ローム中D・小C・粒B／粘B，締B
3　10YR3/2　黒褐　ローム小C・粒B，焼土小D・粒D／粘B，締B

SK 3　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム中C・小C・粒B，炭化粒D／粘B，締B
2　10YR3/3　暗褐　ローム中C・小B・粒B，焼土粒D，炭化粒D／粘B，締B

SK 4　土層解説
3　10YR3/2　黒褐　ローム中D・小B・粒B，焼土小D・粒C，炭化粒D／粘B，締B

第 441 図　時期不明土坑実測図(7)



SK 5　土層解説
1　10YR3/1　黒褐　ローム粒D，炭化粒D／粘B，締A

SK 7　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム粒D，焼土粒D'／粘B，締A
2　10YR4/4　褐　ローム粒A／粘B，締A

SK 9　土層解説
1　10YR3/3　暗褐　ローム小B・粒B／粘B，締B
2　10YR3/2　黒褐　ローム大B・中C・小C・粒C／粘B，締B

SK 8　土層解説
1　10YR3/3　暗褐　ローム小B・粒B／粘B，締B
2　10YR3/2　黒褐　ローム大B・中C・小C・粒C／粘B，締B

SK10　土層解説
1　10YR3/3　暗褐　ローム小B・粒B／粘B，締B
2　10YR3/2　黒褐　ローム大B・中C・小C・粒C／粘B，締B

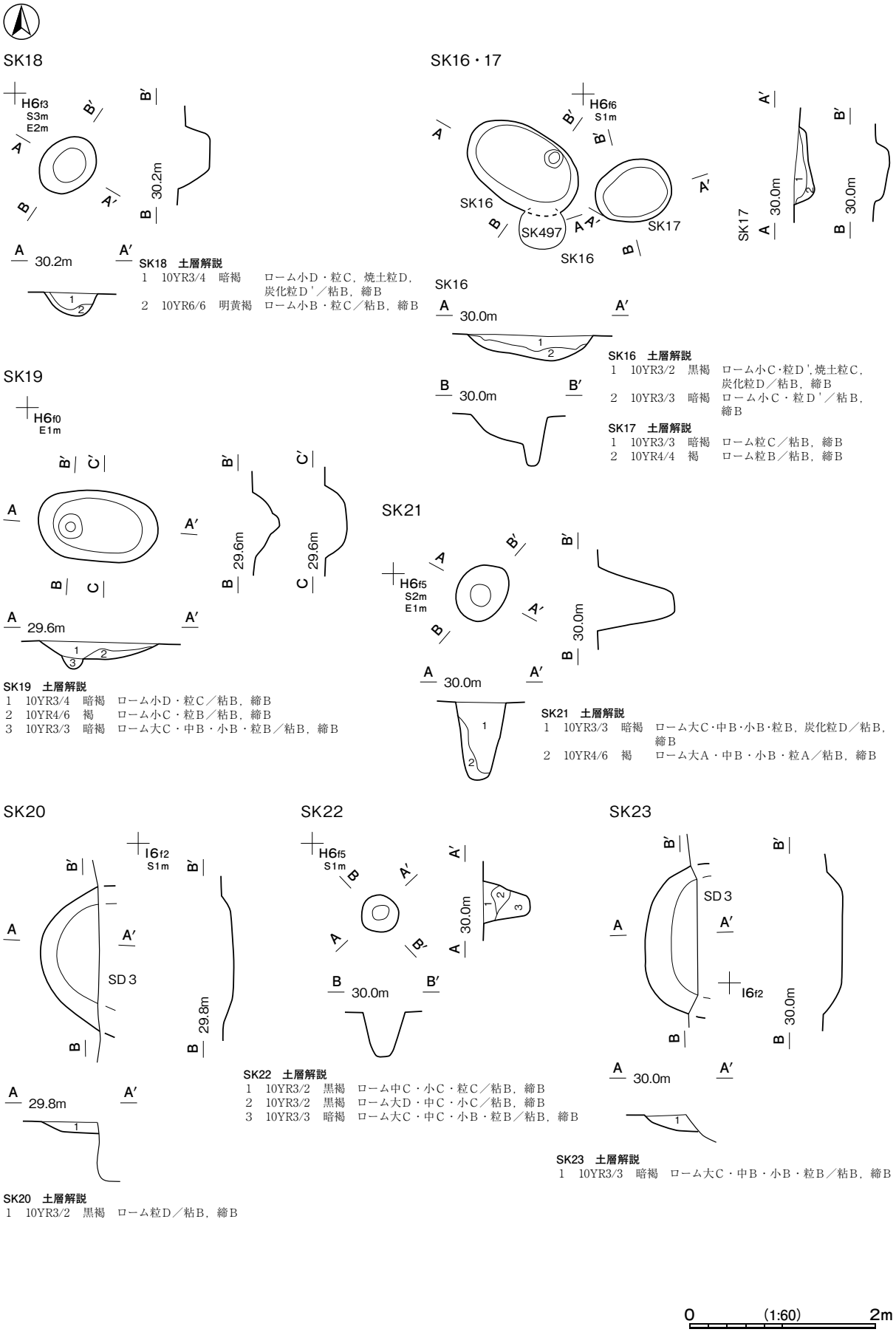
SK12　土層解説
1　10YR3/3　暗褐　ローム粒D'，焼土小D'／粘B，締B
2　10YR4/4　褐　ローム小D／粘B，締B

SK13　土層解説
1　10YR2/3　黒褐　ローム中C・小C・粒B／粘B，締B

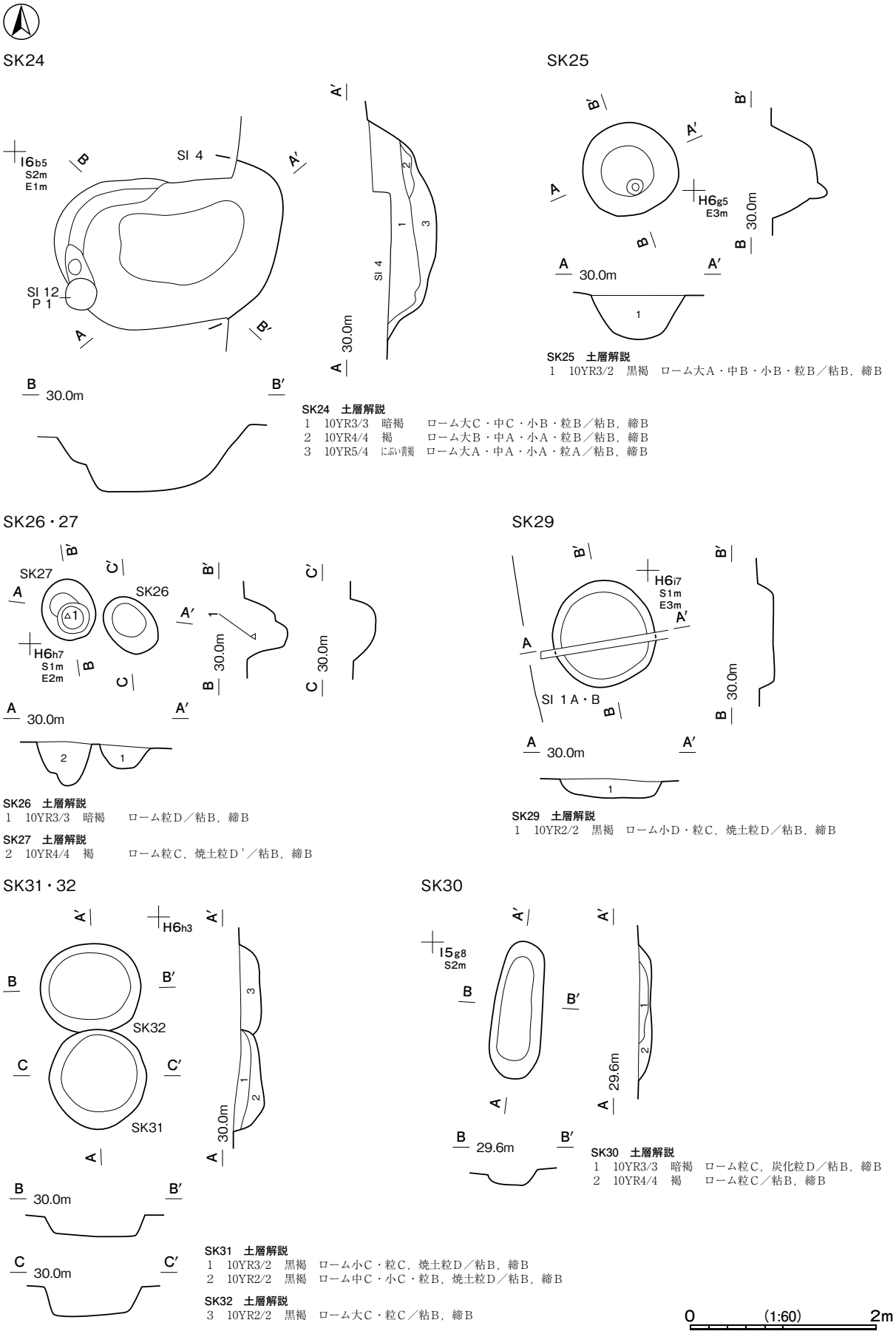
SK14　土層解説
1　10YR3/3　暗褐　ローム粒D'／粘B，締B
2　10YR4/4　褐　ローム小D・粒D／粘B，締B

SK15　土層解説
1　10YR3/3　暗褐　ローム粒D'／粘B，締B
2　10YR3/3　暗褐　ローム小D・粒D／粘B，締B

第 442 図　時期不明土坑実測図(8)



第443図　時期不明土坑実測図(9)



SK24　土層解説
1　10YR3/3　暗褐　　ローム大C・中C・小B・粒B／粘B，締B
2　10YR4/4　褐　　ローム大B・中A・小A・粒B／粘B，締B
3　10YR5/4　にぶい黄褐　ローム大A・中A・小A・粒A／粘B，締B

SK25　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム大A・中B・小B・粒B／粘B，締B

SK26　土層解説
1　10YR3/3　暗褐　　ローム粒D／粘B，締B

SK27　土層解説
2　10YR4/4　褐　　ローム粒C，焼土粒D'／粘B，締B

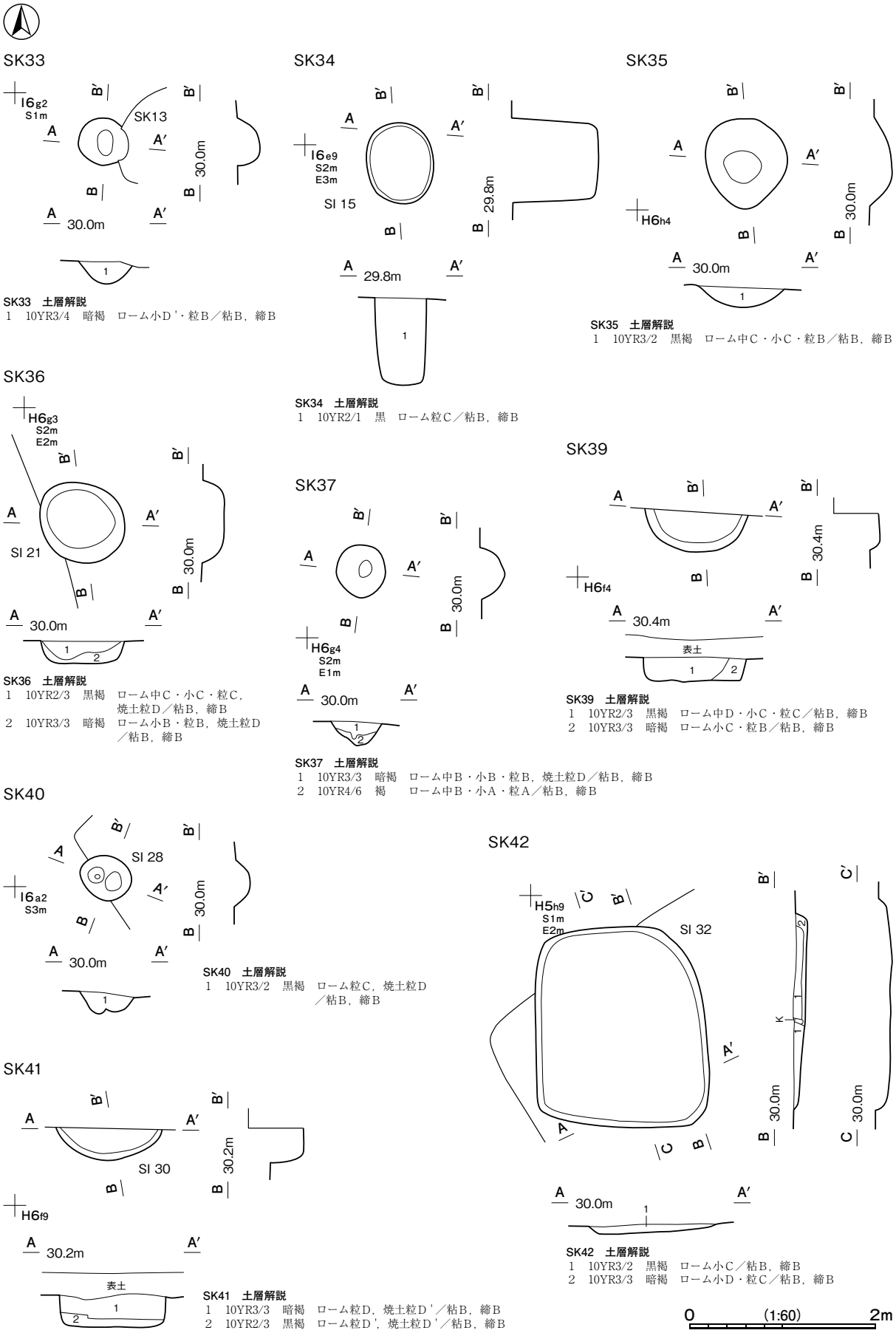
SK29　土層解説
1　10YR2/2　黒褐　ローム小D・粒C，焼土粒D／粘B，締B

SK30　土層解説
1　10YR3/3　暗褐　ローム粒C，炭化粒D／粘B，締B
2　10YR4/4　褐　　ローム粒C／粘B，締B

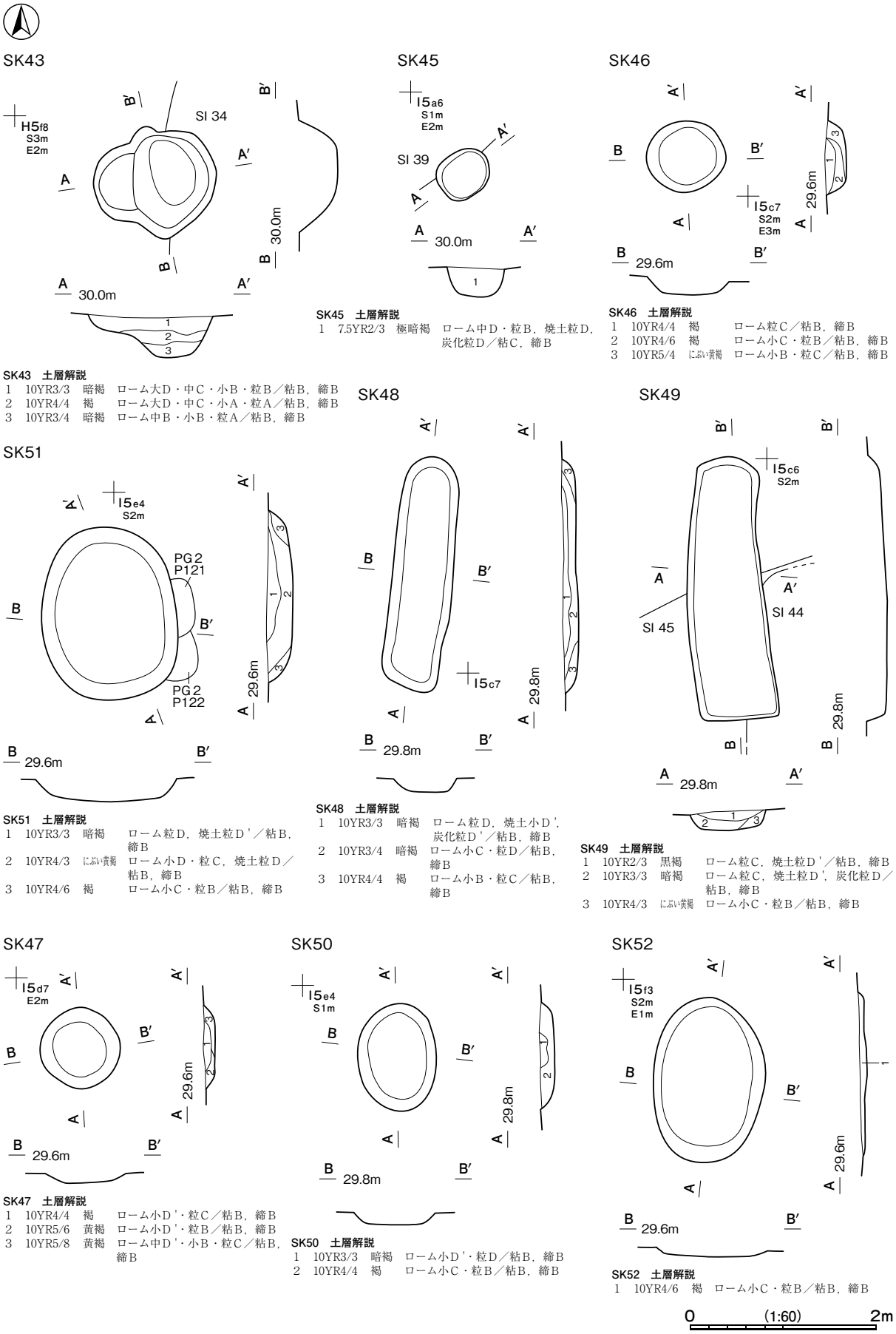
SK31　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム小C・粒C，焼土粒D／粘B，締B
2　10YR2/2　黒褐　ローム中C・小C・粒B，焼土粒D／粘B，締B

SK32　土層解説
3　10YR2/2　黒褐　ローム大C・粒C／粘B，締B

第 444 図　時期不明土坑実測図⑽



第 445 図　時期不明土坑実測図(11)



SK43 土層解説

1	10YR3/3	暗褐	ローム大D・中C・小B・粒B／粘B，締B
2	10YR4/4	褐	ローム大D・中C・小A・粒A／粘B，締B
3	10YR3/4	暗褐	ローム中B・小B・粒A／粘B，締B

SK45 土層解説

1	7.5YR2/3	極暗褐	ローム中D・粒B，焼土粒D，炭化粒D／粘C，締B

SK46 土層解説

1	10YR4/4	褐	ローム粒C／粘B，締B
2	10YR4/6	褐	ローム小C・粒B／粘B，締B
3	10YR5/4	にぶい黄褐	ローム小B・粒C／粘B，締B

SK51 土層解説

1	10YR3/3	暗褐	ローム粒D，焼土粒D'／粘B，締B
2	10YR4/3	にぶい黄褐	ローム小D・粒C，焼土粒D／粘B，締B
3	10YR4/6	褐	ローム小C・粒B／粘B，締B

SK48 土層解説

1	10YR3/3	暗褐	ローム粒D，焼土小D'，炭化粒D'／粘B，締B
2	10YR3/4	暗褐	ローム小C・粒D／粘B，締B
3	10YR4/4	褐	ローム小B・粒C／粘B，締B

SK49 土層解説

1	10YR2/3	黒褐	ローム粒C，焼土粒D'／粘B，締B
2	10YR3/3	暗褐	ローム粒C，焼土粒D'，炭化粒D／粘B，締B
3	10YR4/3	にぶい黄褐	ローム小C・粒B／粘B，締B

SK47 土層解説

1	10YR4/4	褐	ローム小D'・粒C／粘B，締B
2	10YR5/6	黄褐	ローム小D'・粒B／粘B，締B
3	10YR5/8	黄褐	ローム中D'・小B・粒C／粘B，締B

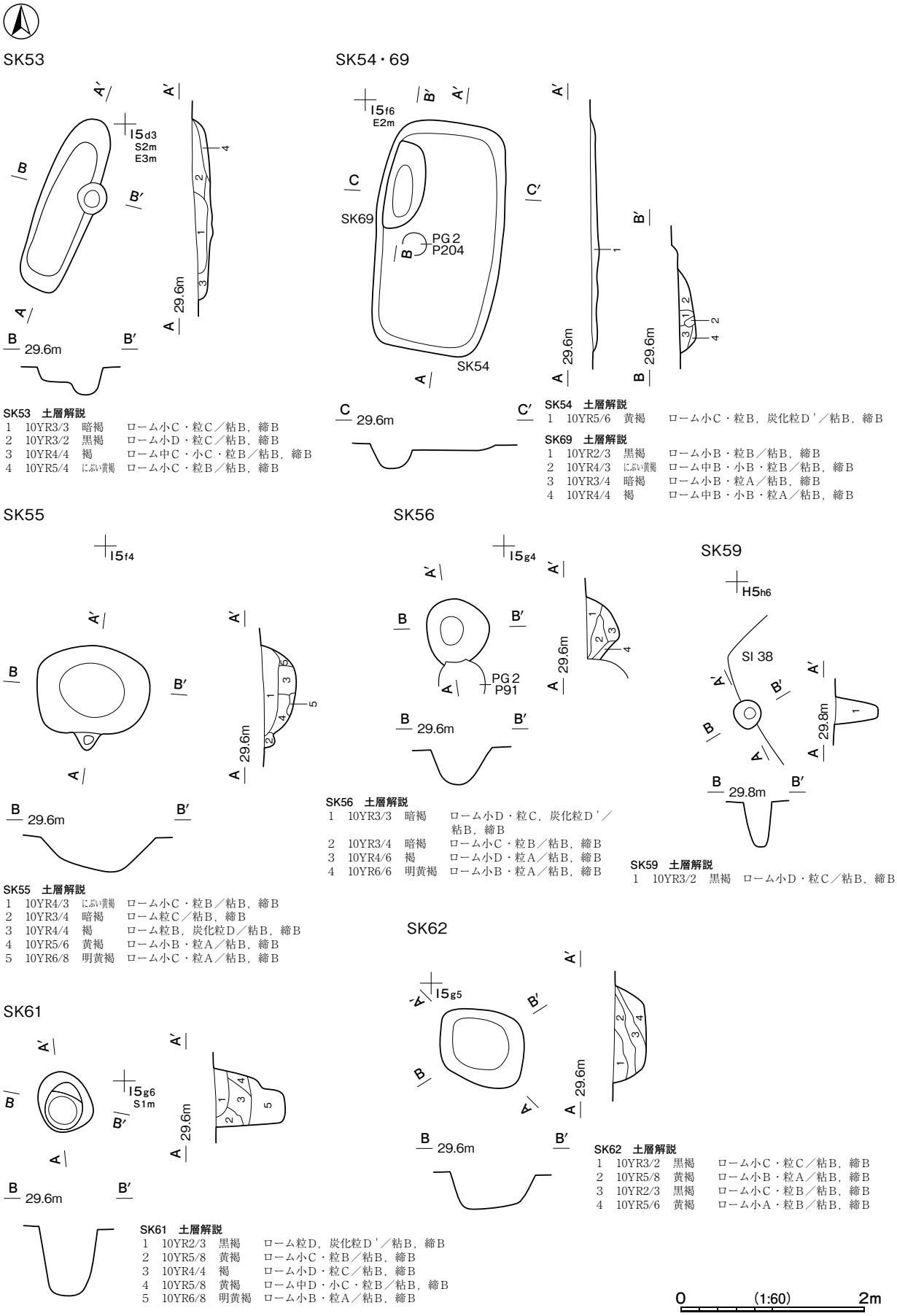
SK50 土層解説

1	10YR3/3	暗褐	ローム小D'・粒D／粘B，締B
2	10YR4/4	褐	ローム小C・粒B／粘B，締B

SK52 土層解説

1	10YR4/6	褐	ローム小C・粒B／粘B，締B

第 446 図　時期不明土坑実測図(12)



SK53　土層解説

1	10YR3/3	暗褐	ローム小C・粒C／粘B，締B
2	10YR3/2	黒褐	ローム小D・粒C／粘B，締B
3	10YR4/4	褐	ローム中C・小C・粒B／粘B，締B
4	10YR5/4	にぶい黄褐	ローム小C・粒B／粘B，締B

SK54　土層解説

1	10YR5/6	黄褐	ローム小C・粒B，炭化粒D'／粘B，締B

SK69　土層解説

1	10YR2/3	黒褐	ローム小B・粒B／粘B，締B
2	10YR4/3	にぶい黄褐	ローム中B・小B・粒B／粘B，締B
3	10YR3/4	暗褐	ローム小B・粒A／粘B，締B
4	10YR4/4	褐	ローム中B・小B・粒A／粘B，締B

SK55　土層解説

1	10YR4/3	にぶい黄褐	ローム小C・粒B／粘B，締B
2	10YR3/4	暗褐	ローム粒C／粘B，締B
3	10YR4/4	褐	ローム粒B，炭化粒D／粘B，締B
4	10YR5/6	黄褐	ローム小B・粒A／粘B，締B
5	10YR6/8	明黄褐	ローム小C・粒A／粘B，締B

SK56　土層解説

1	10YR3/3	暗褐	ローム小D・粒C，炭化粒D'／粘B，締B
2	10YR3/4	暗褐	ローム小C・粒B／粘B，締B
3	10YR4/6	褐	ローム小D・粒A／粘B，締B
4	10YR6/6	明黄褐	ローム小B・粒A／粘B，締B

SK59　土層解説

1	10YR3/2	黒褐	ローム小D・粒C／粘B，締B

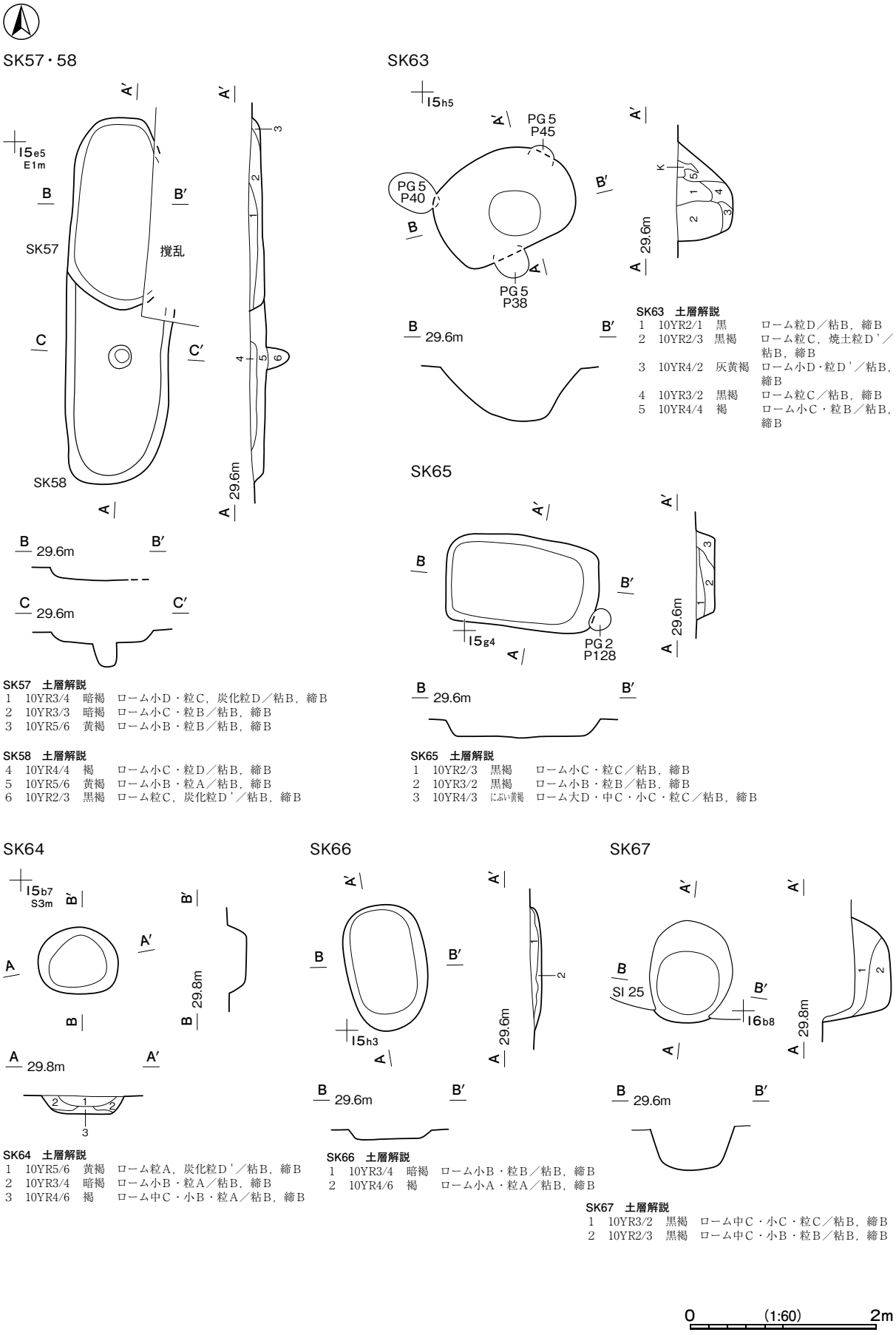
SK62　土層解説

1	10YR3/2	黒褐	ローム小C・粒C／粘B，締B
2	10YR5/8	黄褐	ローム小B・粒A／粘B，締B
3	10YR2/3	黒褐	ローム小C・粒B／粘B，締B
4	10YR5/6	黄褐	ローム小A・粒B／粘B，締B

SK61　土層解説

1	10YR2/3	黒褐	ローム粒D，炭化粒D'／粘B，締B
2	10YR5/8	黄褐	ローム小C・粒B／粘B，締B
3	10YR4/4	褐	ローム小D・粒C／粘B，締B
4	10YR5/8	黄褐	ローム中D・小C・粒B／粘B，締B
5	10YR6/8	明黄褐	ローム小B・粒A／粘B，締B

第 447 図　時期不明土坑実測図(13)



SK63　土層解説

1	10YR2/1	黒	ローム粒D／粘B，締B
2	10YR2/3	黒褐	ローム粒C，焼土粒D'／粘B，締B
3	10YR4/2	灰黄褐	ローム小D・粒D'／粘B，締B
4	10YR3/2	黒褐	ローム粒C／粘B，締B
5	10YR4/4	褐	ローム小C・粒B／粘B，締B

SK57　土層解説

1	10YR3/4	暗褐	ローム小D・粒C，炭化粒D／粘B，締B
2	10YR3/3	暗褐	ローム小C・粒B／粘B，締B
3	10YR5/6	黄褐	ローム小B・粒B／粘B，締B

SK58　土層解説

4	10YR4/4	褐	ローム小C・粒D／粘B，締B
5	10YR5/6	黄褐	ローム小B・粒A／粘B，締B
6	10YR2/3	黒褐	ローム粒C，炭化粒D'／粘B，締B

SK65　土層解説

1	10YR2/3	黒褐	ローム小C・粒C／粘B，締B
2	10YR3/2	黒褐	ローム小B・粒B／粘B，締B
3	10YR4/3	にぶい黄褐	ローム大D・中C・小C・粒C／粘B，締B

SK64　土層解説

1	10YR5/6	黄褐	ローム粒A，炭化粒D'／粘B，締B
2	10YR3/4	暗褐	ローム小B・粒A／粘B，締B
3	10YR4/6	褐	ローム中C・小B・粒A／粘B，締B

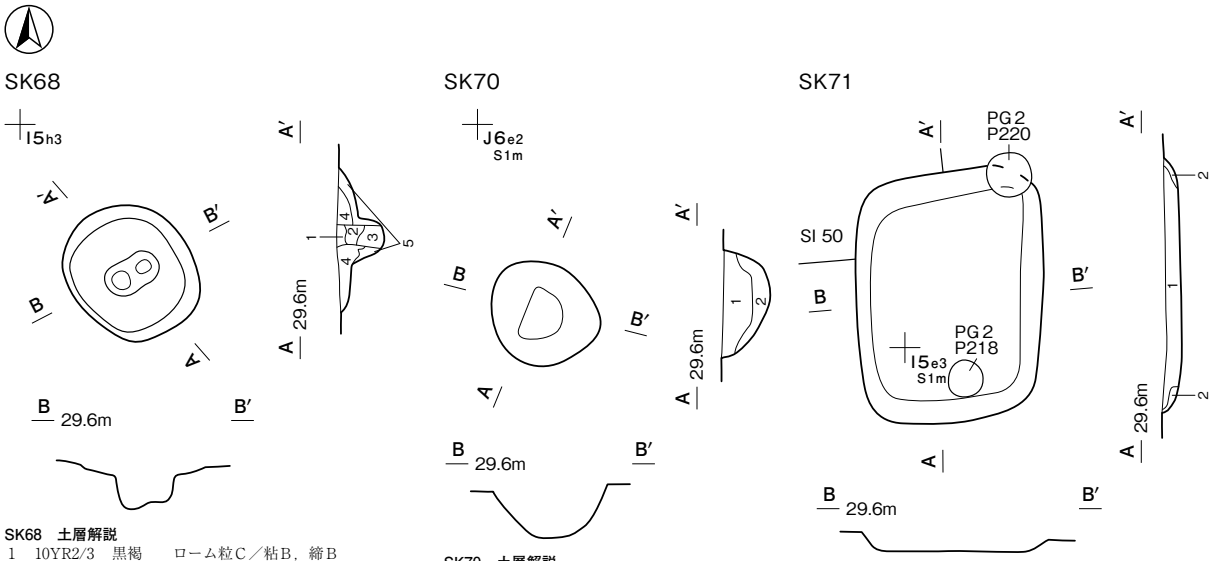
SK66　土層解説

1	10YR3/4	暗褐	ローム小B・粒B／粘B，締B
2	10YR4/6	褐	ローム小A・粒A／粘B，締B

SK67　土層解説

1	10YR3/2	黒褐	ローム中C・小C・粒C／粘B，締B
2	10YR2/3	黒褐	ローム中C・小B・粒B／粘B，締B

第 448 図　時期不明土坑実測図(14)



SK68　土層解説

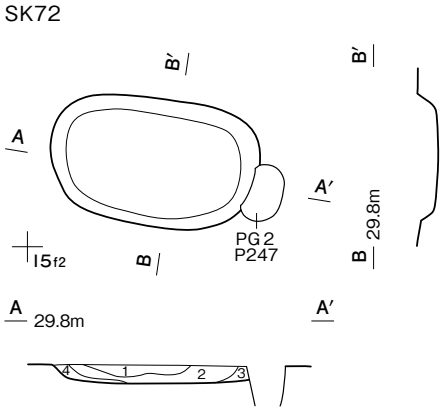
1　10YR2/3　黒褐　ローム粒C／粘B，締B
2　10YR2/2　黒褐　ローム小C・粒C／粘B，締B
3　10YR3/4　暗褐　ローム中C・小C・粒B／粘B，締B
4　10YR4/3　にぶい黄褐　ローム大D・中C・小B・粒B／粘B，締B
5　10YR4/6　褐　ローム中B・小A・粒A／粘B，締B

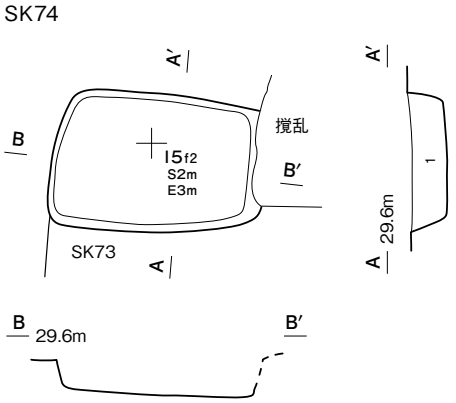
SK70　土層解説

1　10YR2/2　黒褐　ローム粒D／粘B，締B
2　10YR3/3　暗褐　ローム中C・小C・粒D／粘B，締B

SK71　土層解説

1　10YR3/2　黒褐　ローム中B・小B・粒A／粘B，締B
2　10YR2/3　黒褐　ローム中C・小B・粒B／粘B，締B



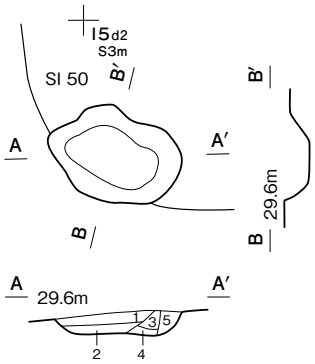


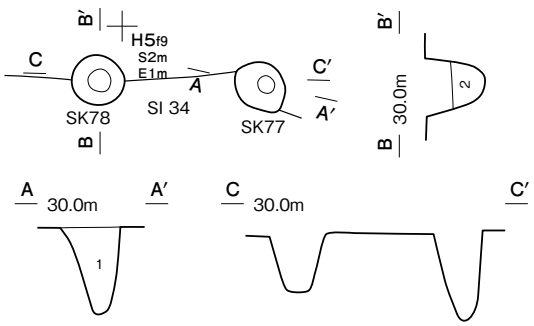
SK72　土層解説

1　10YR3/2　黒褐　ローム小B・粒B／粘B，締B
2　10YR3/4　暗褐　ローム中C・小B・粒B／粘B，締B
3　10YR4/3　にぶい黄褐　ローム小B・粒A／粘B，締B
4　10YR4/6　褐　ローム小A・粒A／粘B，締B

SK74　土層解説

1　10YR3/2　黒褐　ローム大B・中B・小B・粒B／粘B，締B





SK80　土層解説

1　7.5YR2/2　黒褐　ローム小D・粒C，炭化粒D／粘B，締A
2　7.5YR2/3　極暗褐　ローム小B／粘B，締A
3　7.5YR3/2　黒褐　ローム粒C，炭化物D／粘A，締A
4　7.5YR4/4　褐　ローム中B／粘A，締A
5　7.5YR2/2　黒褐　ローム粒D，炭化物D・粒D／粘B，締A

SK77　土層解説

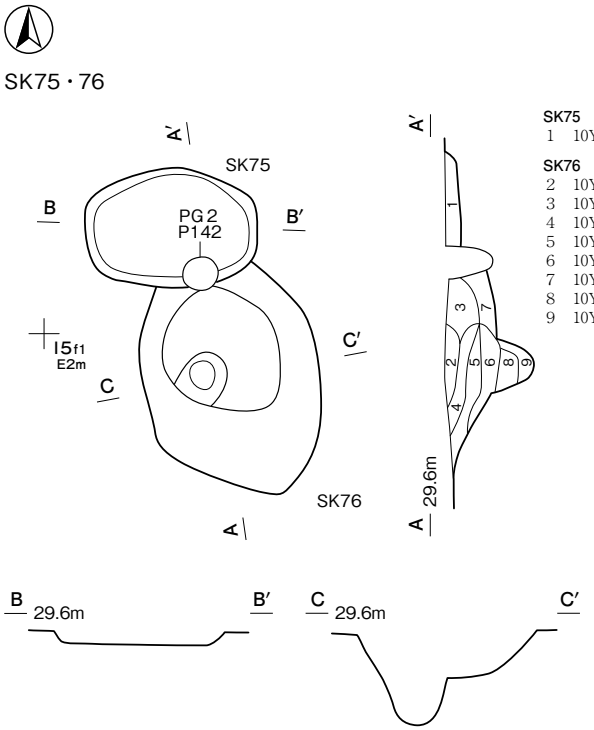
1　10YR3/3　暗褐　ローム粒D，焼土粒D／粘B，締B

SK78　土層解説

2　10YR3/3　暗褐　ローム粒D，焼土粒D'／粘B，締B

0　(1:60)　2m

第449図　時期不明土坑実測図(15)

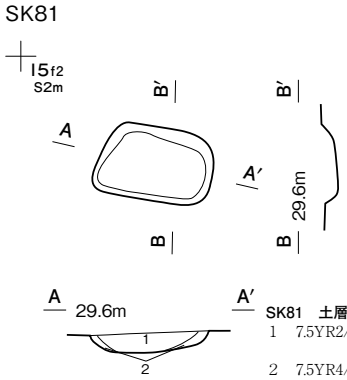


SK75　土層解説

1　10YR3/4　暗褐　ローム小C・粒B／粘B，締B

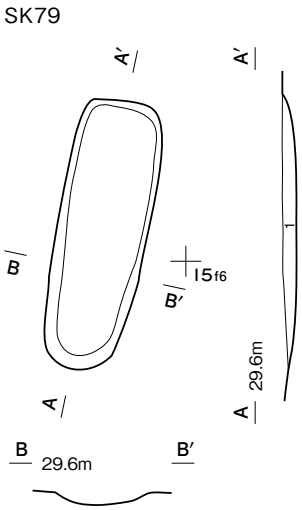
SK76　土層解説

2　10YR2/3　黒褐　ローム小C・粒C／粘B，締B
3　10YR3/2　黒褐　ローム中D・小C・粒C／粘B，締B
4　10YR3/3　暗褐　ローム小C・粒B／粘B，締B
5　10YR3/4　暗褐　ローム中C・小B・粒B／粘B，締B
6　10YR4/2　灰黄褐　ローム大D・中C・小B・粒B／粘B，締B
7　10YR3/3　暗褐　ローム中C・小C・粒B／粘B，締B
8　10YR3/2　黒褐　ローム中B・小B・粒B／粘B，締B
9　10YR4/6　褐　ローム中B・小A・粒A／粘B，締B



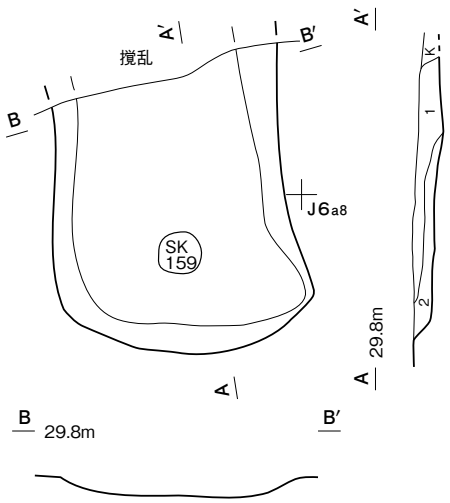
SK81　土層解説

1　7.5YR2/2　黒褐　ローム小C，焼土粒D／粘C，締A
2　7.5YR4/4　褐　ローム中B／粘B，締A



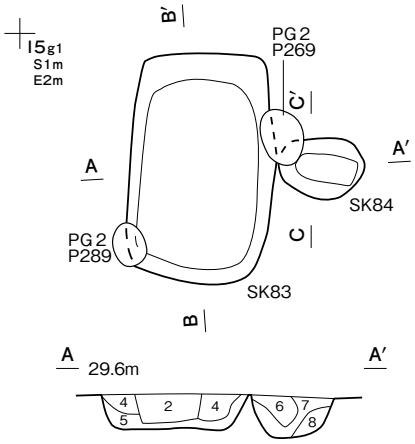
SK79　土層解説

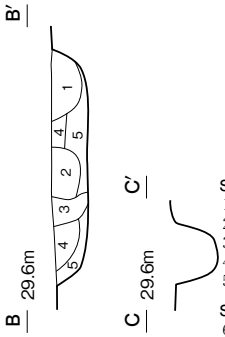
1　7.5YR2/2　黒褐　ローム小C・粒C／粘A，締C



SK82　土層解説

1　7.5YR2/2　黒褐　ローム粒D，焼土粒D'，炭化粒D'／粘B，締B
2　7.5YR2/2　黒褐　ローム中D・小C・粒C，焼土粒D'／粘B，締B





SK83　土層解説

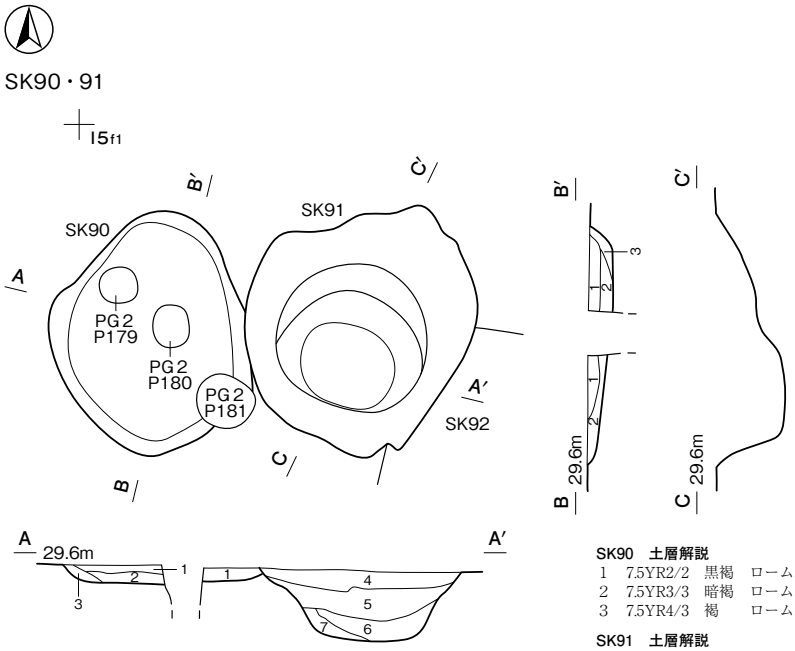
1　7.5YR3/2　黒褐　ローム小C・粒B，焼土小D・粒C，炭化粒D／粘B，締B
2　7.5YR2/3　極暗褐　ローム小D・粒C，炭化粒D／粘B，締A
3　7.5YR3/2　黒褐　ローム小C・粒C／粘B，締A
4　7.5YR4/3　褐　ローム小C・粒B，炭化粒D／粘B，締A
5　7.5YR4/4　褐　ローム中B／粘B，締A

SK84　土層解説

6　7.5YR3/3　暗褐　ローム粒C／粘B，締A
7　7.5YR4/3　褐　ローム小C・粒C／粘B，締A
8　7.5YR2/2　黒褐　ローム粒B／粘A，締A

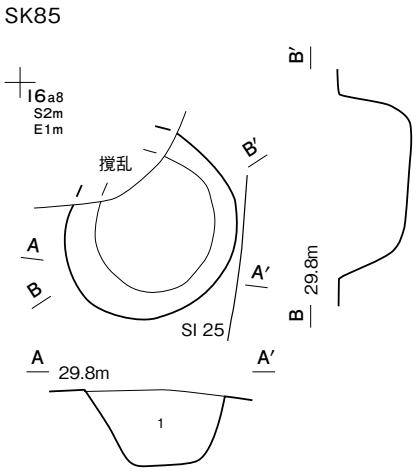
0　(1:60)　2m

第 450 図　時期不明土坑実測図⑯

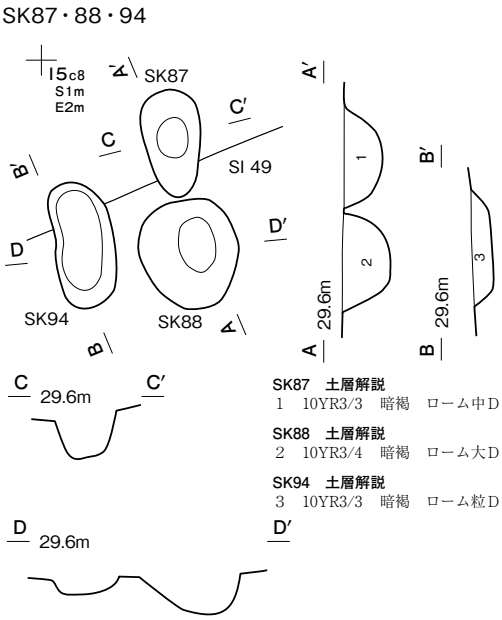


SK90　土層解説
1　7.5YR2/2　黒褐　ローム粒D，焼土粒D，炭化粒D／粘C，締B
2　7.5YR3/3　暗褐　ローム小D・粒C／粘B，締B
3　7.5YR4/3　褐　ローム粒B／粘B，締B

SK91　土層解説
4　7.5YR2/2　黒褐　ローム粒D，焼土粒D，炭化粒D／粘B，締B
5　7.5YR2/2　黒褐　ローム粒C，焼土粒D，炭化粒D／粘B，締B
6　7.5YR2/2　黒褐　焼土粒D／粘B，締B
7　7.5YR2/3　極暗褐　黄色粘土小C／粘A，締B



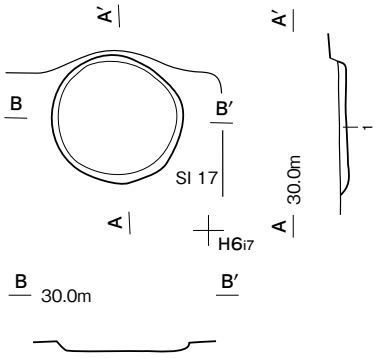
SK85　土層解説
1　10YR2/2　黒褐　ローム中D・小C・粒C／粘B，締B



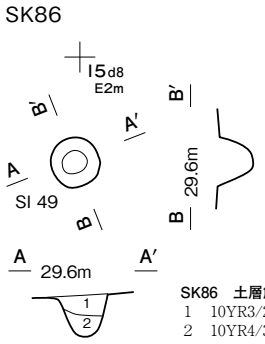
SK87　土層解説
1　10YR3/3　暗褐　ローム中D・小B・粒B／粘B，締B

SK88　土層解説
2　10YR3/4　暗褐　ローム大D・中C・小C・粒C／粘B，締B

SK94　土層解説
3　10YR3/3　暗褐　ローム粒D'／粘B，締B



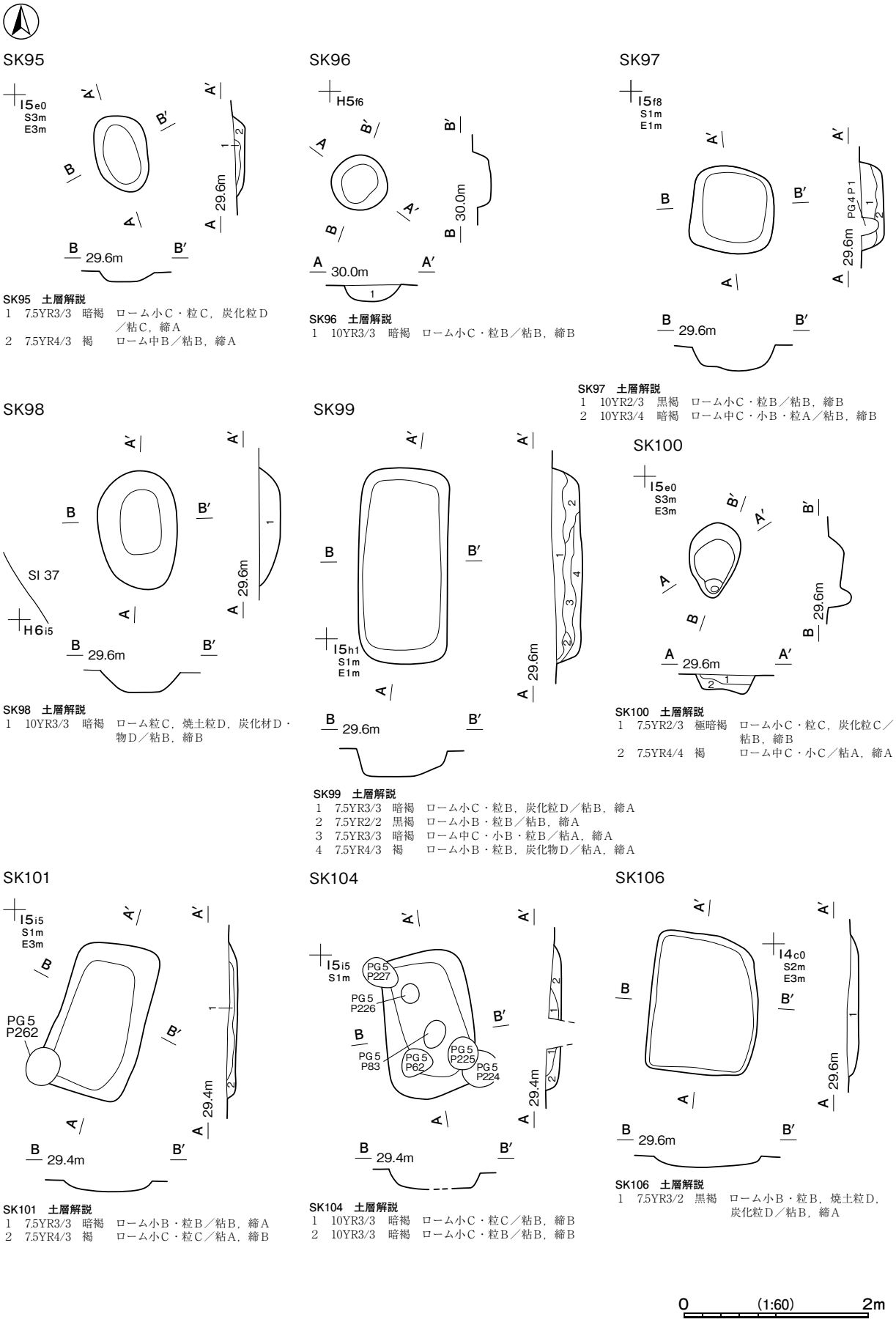
SK89　土層解説
1　10YR3/3　暗褐　ローム粒C／粘B，締B



SK86　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム小C・粒B／粘B，締B
2　10YR4/3　にぶい黄褐　ローム中B・小B・粒A／粘B，締B

0　(1:60)　2m

第 451 図　時期不明土坑実測図(17)



SK95　土層解説
1　7.5YR3/3　暗褐　ローム小C・粒C，炭化粒D／粘C，締A
2　7.5YR4/3　褐　ローム中B／粘B，締A

SK96　土層解説
1　10YR3/3　暗褐　ローム小C・粒B／粘B，締B

SK97　土層解説
1　10YR2/3　黒褐　ローム小C・粒B／粘B，締B
2　10YR3/4　暗褐　ローム中C・小B・粒A／粘B，締B

SK98　土層解説
1　10YR3/3　暗褐　ローム粒C，焼土粒D，炭化材D・物D／粘B，締B

SK99　土層解説
1　7.5YR3/3　暗褐　ローム小C・粒B，炭化粒D／粘B，締A
2　7.5YR2/2　黒褐　ローム小B・粒B／粘B，締A
3　7.5YR3/3　暗褐　ローム中C・小B・粒B／粘A，締A
4　7.5YR4/3　褐　ローム小B・粒B，炭化物D／粘A，締A

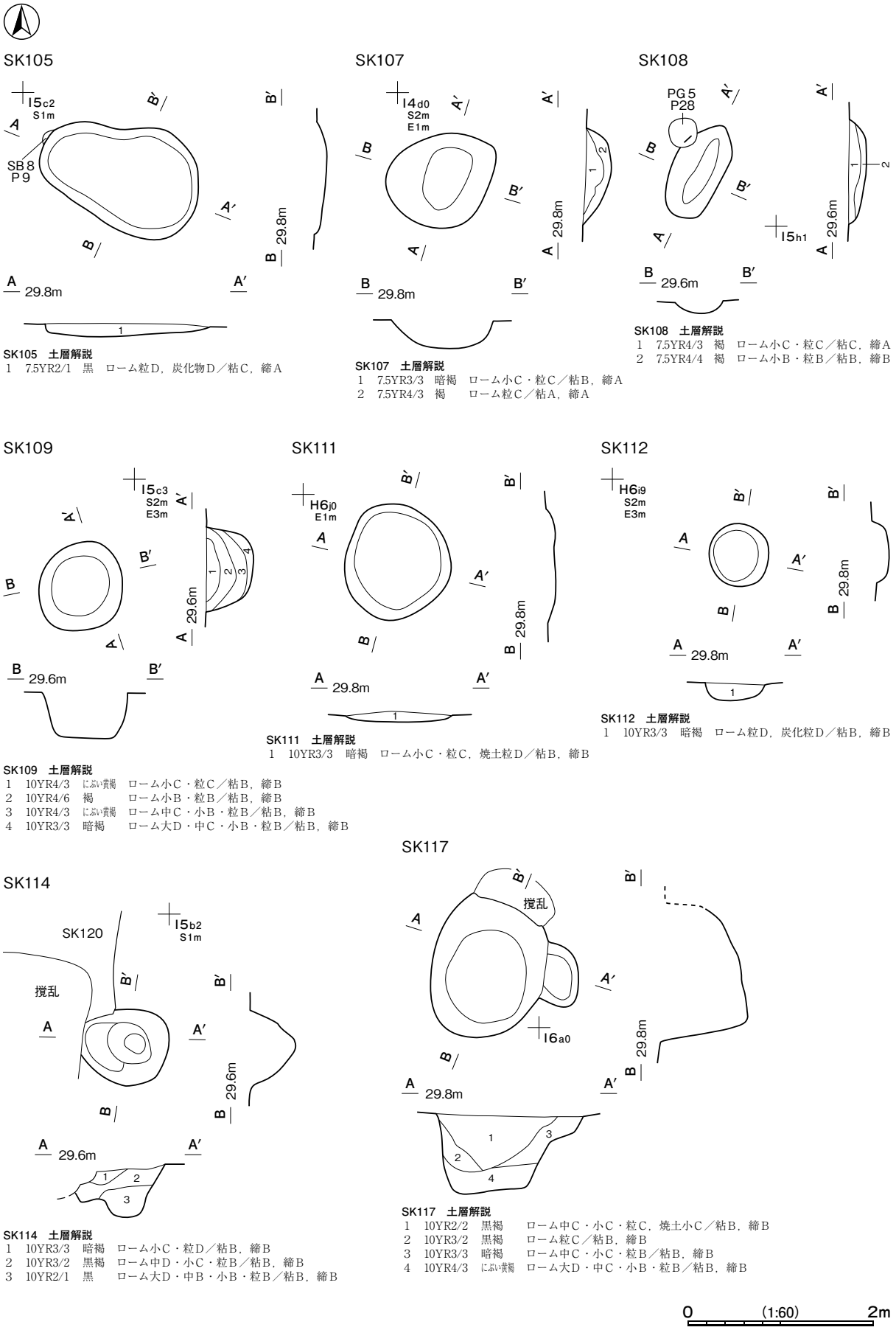
SK100　土層解説
1　7.5YR2/3　極暗褐　ローム小C・粒C，炭化粒C／粘B，締B
2　7.5YR4/4　褐　ローム中C・小C／粘A，締A

SK101　土層解説
1　7.5YR3/3　暗褐　ローム小B・粒B／粘B，締A
2　7.5YR4/3　褐　ローム小C・粒C／粘A，締B

SK104　土層解説
1　10YR3/3　暗褐　ローム小C・粒C／粘B，締B
2　10YR3/3　暗褐　ローム小C・粒B／粘B，締B

SK106　土層解説
1　7.5YR3/2　黒褐　ローム小B・粒B，焼土粒D，炭化粒D／粘B，締A

第 452 図　時期不明土坑実測図(18)



SK105　土層解説
1　7.5YR2/1　黒　ローム粒D，炭化物D／粘C，締A

SK107　土層解説
1　7.5YR3/3　暗褐　ローム小C・粒C／粘B，締A
2　7.5YR4/3　褐　ローム粒C／粘A，締A

SK108　土層解説
1　7.5YR4/3　褐　ローム小C・粒C／粘C，締A
2　7.5YR4/4　褐　ローム小B・粒B／粘B，締B

SK109　土層解説
1　10YR4/3　にぶい黄褐　ローム小C・粒C／粘B，締B
2　10YR4/6　褐　ローム小B・粒B／粘B，締B
3　10YR4/3　にぶい黄褐　ローム中C・小B・粒B／粘B，締B
4　10YR3/3　暗褐　ローム大D・中C・小B・粒B／粘B，締B

SK111　土層解説
1　10YR3/3　暗褐　ローム小C・粒C，焼土粒D／粘B，締B

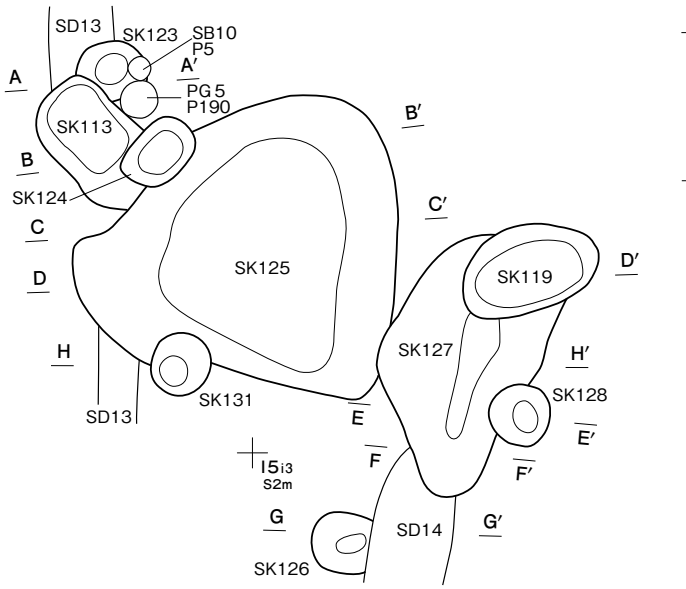
SK112　土層解説
1　10YR3/3　暗褐　ローム粒D，炭化粒D／粘B，締B

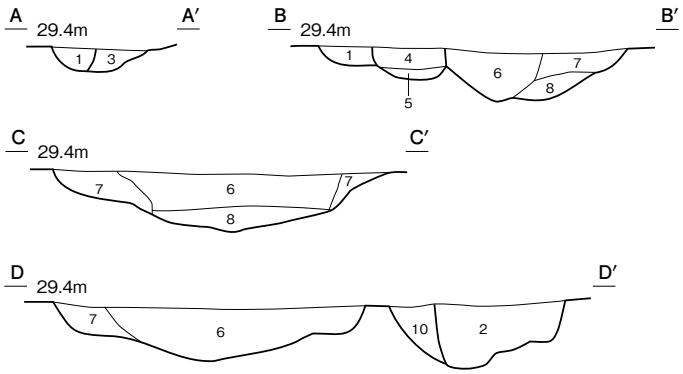
SK114　土層解説
1　10YR3/3　暗褐　ローム小C・粒D／粘B，締B
2　10YR3/2　黒褐　ローム中D・小C・粒B／粘B，締B
3　10YR2/1　黒　ローム大D・中B・小B・粒B／粘B，締B

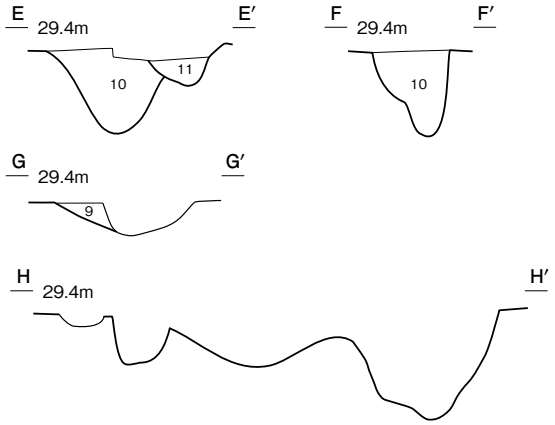
SK117　土層解説
1　10YR2/2　黒褐　ローム中C・小C・粒C，焼土小C／粘B，締B
2　10YR3/2　黒褐　ローム粒C／粘B，締B
3　10YR3/3　暗褐　ローム中C・小C・粒B／粘B，締B
4　10YR4/3　にぶい黄褐　ローム大D・中C・小B・粒B／粘B，締B

第453図　時期不明土坑実測図(19)

SK113・119・123～128・131







SK113　土層解説
1　10YR3/3　暗褐　ローム小C・粒C／粘B，締B

SK119　土層解説
2　10YR2/2　黒褐　ローム粒C／粘B，締B

SK123　土層解説
3　10YR3/3　暗褐　ローム粒D／粘B，締B

SK124　土層解説
4　10YR3/4　暗褐　ローム粒D，炭化粒D'／粘B，締B
5　10YR3/4　暗褐　ローム大B・中B・小A・粒A／粘B，締B

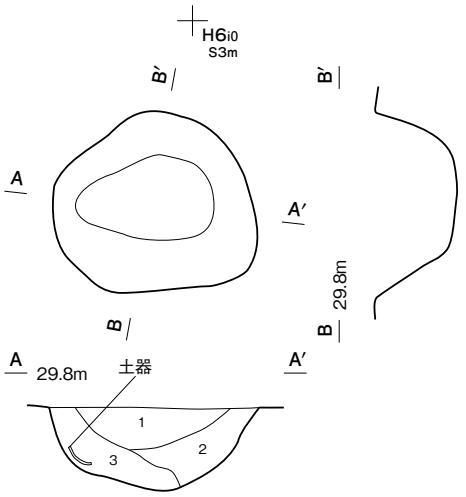
SK125　土層解説
6　10YR3/3　暗褐　ローム中C・小C・粒B，炭化粒D'／粘B，締B
7　10YR4/3　にぶい黄褐　ローム中B・小B・粒A，炭化粒D／粘B，締B
8　10YR4/3　にぶい黄褐　ローム大C・中B・小B・粒A，炭化粒D／粘B，締B

SK126　土層解説
9　10YR3/3　暗褐　ローム中B・小B・粒C／粘B，締B

SK127　土層解説
10　10YR3/3　暗褐　ローム大B・中C・小B・粒B，炭化粒D／粘B，締B

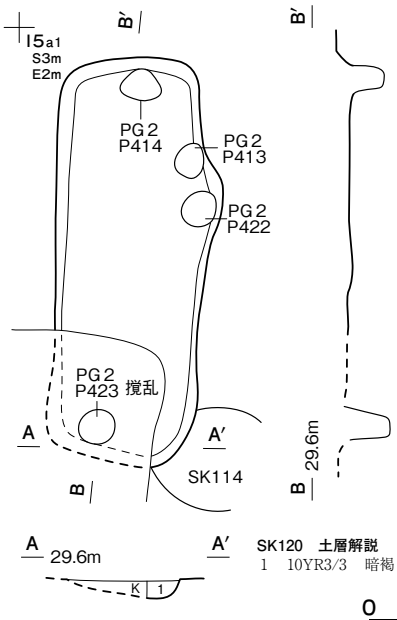
SK128　土層解説
11　10YR3/3　暗褐　ローム中C・小B・粒B／粘B，締B

SK118



SK118　土層解説
1　10YR3/4　暗褐　ローム小C・粒B，焼土粒D，炭化粒D／粘B，締B
2　10YR3/2　黒褐　ローム大C・中C・小C・粒B，焼土粒C／粘B，締B
3　10YR2/3　黒褐　ローム大C・中C・小B・粒B，焼土粒D／粘B，締B

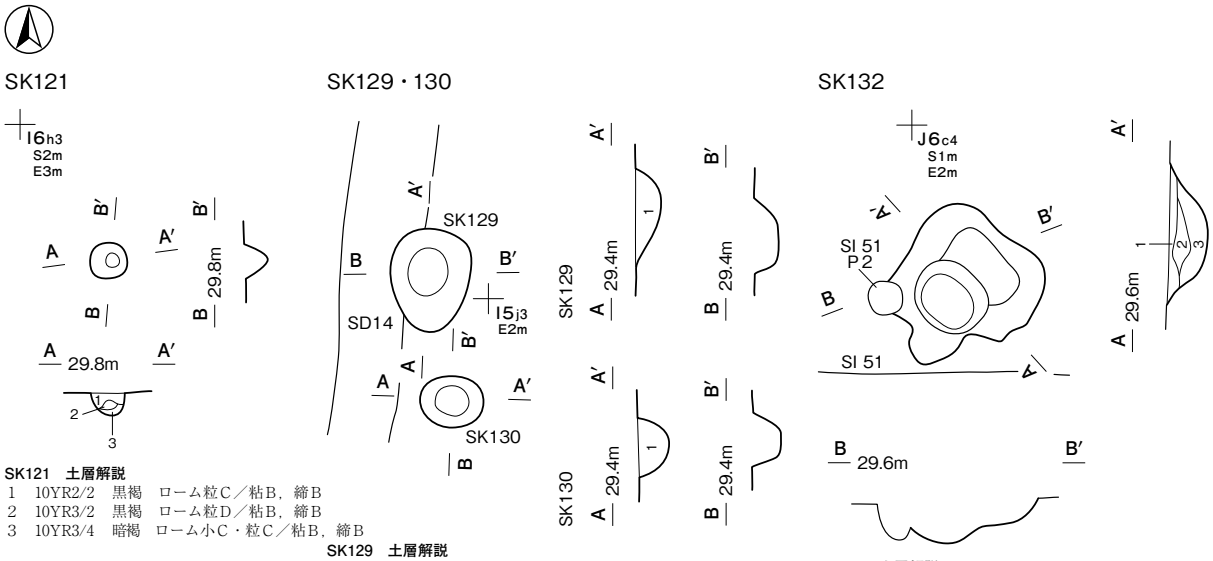
SK120



SK120　土層解説
1　10YR3/3　暗褐　ローム小D'・粒D'／粘B，締B

0　(1:60)　2m

第 454 図　時期不明土坑実測図⑳

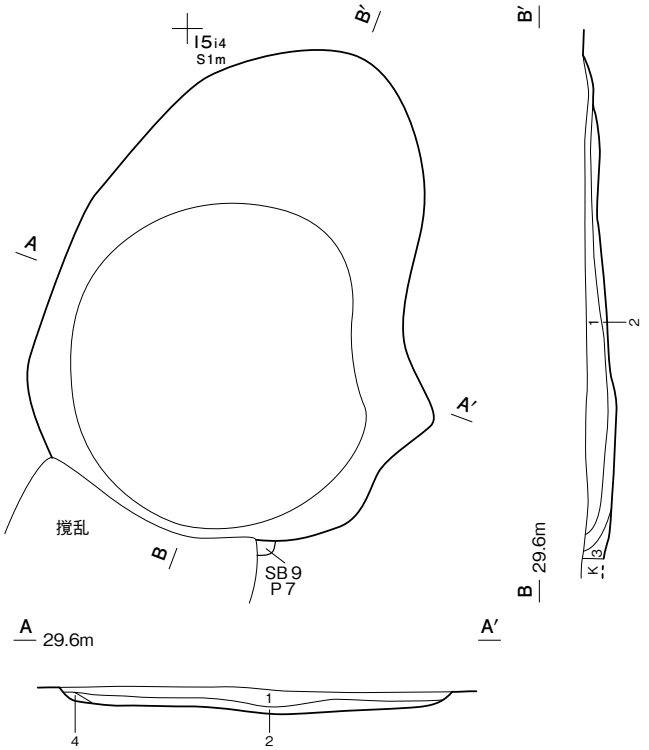


SK121　土層解説
1　10YR2/2　黒褐　ローム粒C／粘B，締B
2　10YR3/2　黒褐　ローム粒D／粘B，締B
3　10YR3/4　暗褐　ローム小C・粒C／粘B，締B

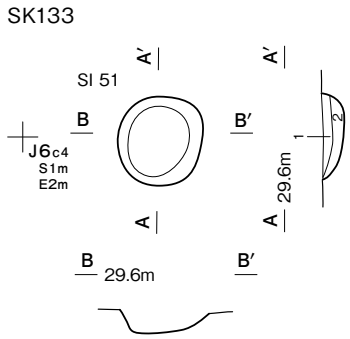
SK129　土層解説
1　10YR4/3　にぶい黄褐　ローム中B・小B・粒A／粘B，締B

SK130　土層解説
1　10YR3/3　暗褐　ローム中B・小A・粒A／粘B，締B

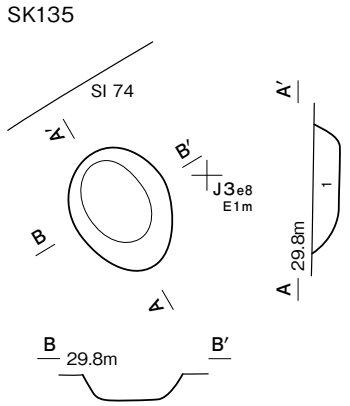
SK132　土層解説
1　10YR3/3　暗褐　ローム中D・小B・粒B，炭化粒D／粘B，締B
2　10YR3/3　暗褐　ローム中D'・小C・粒B，炭化粒D'／粘B，締B
3　10YR3/2　黒褐　ローム中D'・小B・粒A／粘B，締B



SK122　土層解説
1　7.5YR3/3　暗褐　ローム小C・粒C／粘B，締B
2　7.5YR3/3　暗褐　ローム大D'・中D・小D・粒C／粘B，締B
3　7.5YR4/3　褐　ローム中C・小B・粒A／粘B，締B
4　7.5YR3/3　暗褐　ローム中D・小C・粒C／粘B，締B



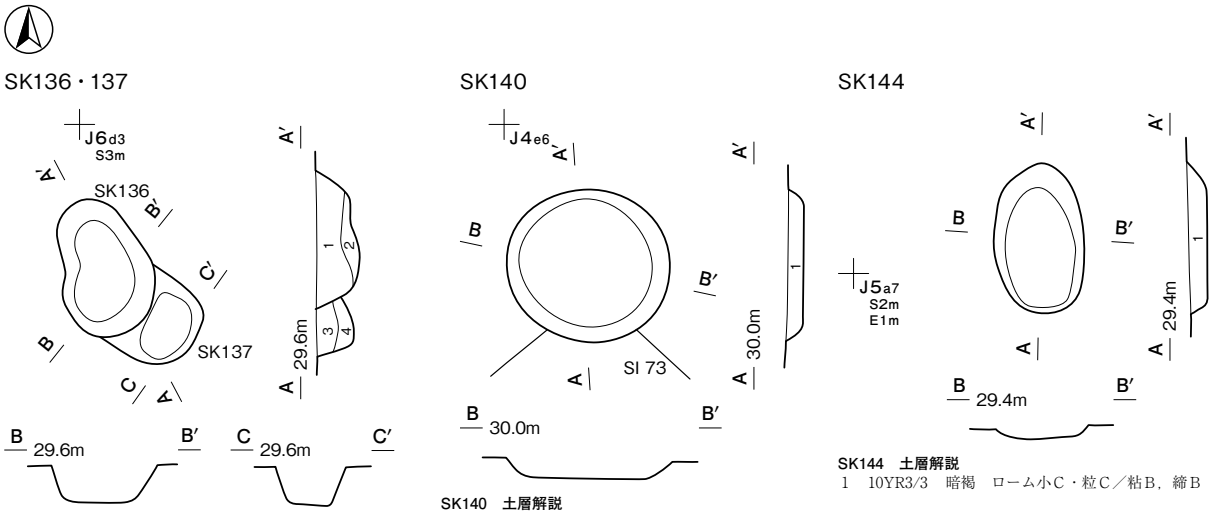
SK133　土層解説
1　10YR3/3　暗褐　ローム中D・小C・粒B，炭化物D'・粒D／粘B，締B
2　10YR4/3　にぶい黄褐　ローム中D・小C・粒C，炭化粒D／粘B，締B



SK135　土層解説
1　10YR3/3　暗褐　ローム中C・小B・粒B，焼土粒D／粘B，締B

0　(1:60)　2m

第 455 図　時期不明土坑実測図(21)

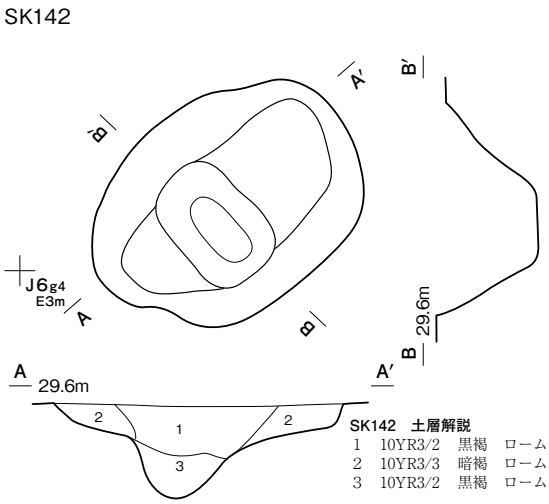


SK136　土層解説
1　10YR3/3　暗褐　ローム大D'・粒C／粘B，締B
2　10YR4/3　にぶい黄褐　ローム中C・小B・粒A／粘B，締B

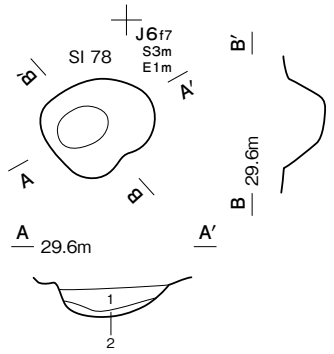
SK137　土層解説
3　10YR2/2　黒褐　ローム大B・中B・小B・粒A／粘B，締B
4　10YR3/3　暗褐　ローム大B・中A・小B・粒B／粘B，締B

SK140　土層解説
1　10YR2/3　黒褐　ローム小C・粒B／粘B，締B

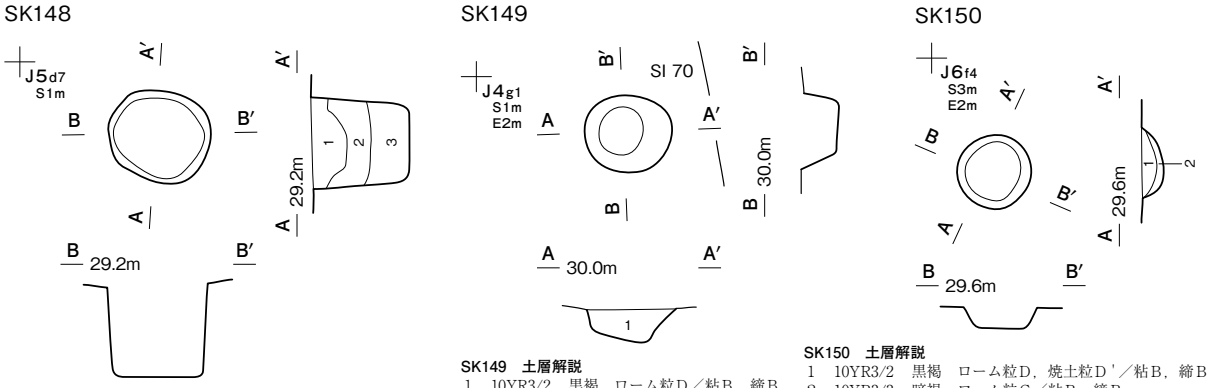
SK144　土層解説
1　10YR3/3　暗褐　ローム小C・粒C／粘B，締B



SK142　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム小C・粒C／粘B，締B
2　10YR3/3　暗褐　ローム粒B／粘B，締B
3　10YR3/2　黒褐　ローム小D・粒C／粘B，締B



SK146　土層解説
1　10YR3/3　暗褐　ローム小D・粒C／粘B，締B
2　10YR4/3　にぶい黄褐　ローム中B・小C・粒B／粘B，締B



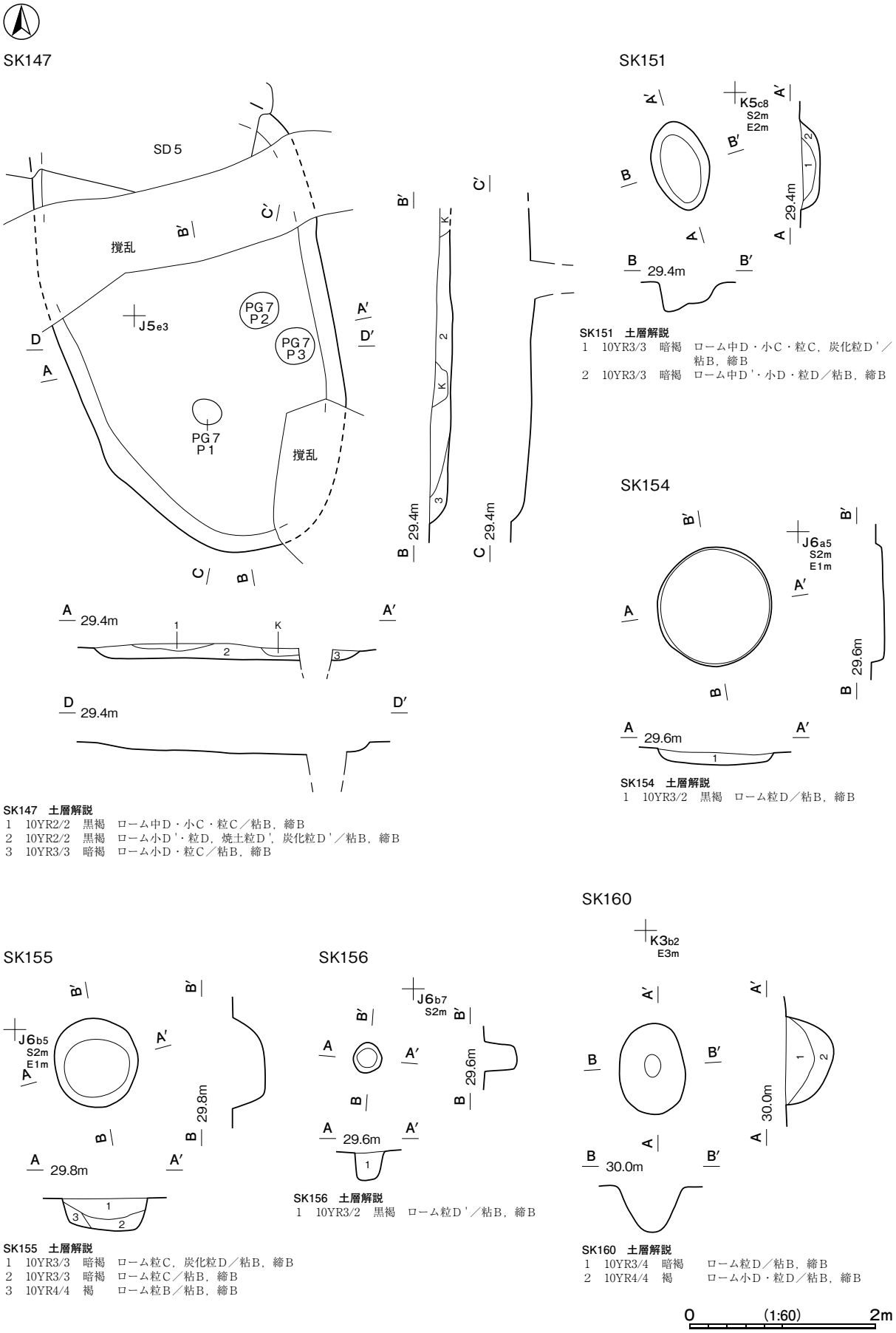
SK148　土層解説
1　10YR3/3　暗褐　ローム小D・粒C，炭化粒D／粘A，締B
2　10YR3/2　黒褐　ローム粒C／粘A，締B
3　10YR3/2　黒褐　ローム粒B，炭化物D／粘A，締B

SK149　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム粒D／粘B，締B

SK150　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム粒D，焼土粒D'／粘B，締B
2　10YR3/3　暗褐　ローム粒C／粘B，締B

0　(1:60)　2m

第 456 図　時期不明土坑実測図(22)



SK151　土層解説
1　10YR3/3　暗褐　ローム中D・小C・粒C，炭化粒D'／粘B，締B
2　10YR3/3　暗褐　ローム中D'・小D・粒D／粘B，締B

SK147　土層解説
1　10YR2/2　黒褐　ローム中D・小C・粒C／粘B，締B
2　10YR2/2　黒褐　ローム小D'・粒D，焼土粒D'，炭化粒D'／粘B，締B
3　10YR3/3　暗褐　ローム小D・粒C／粘B，締B

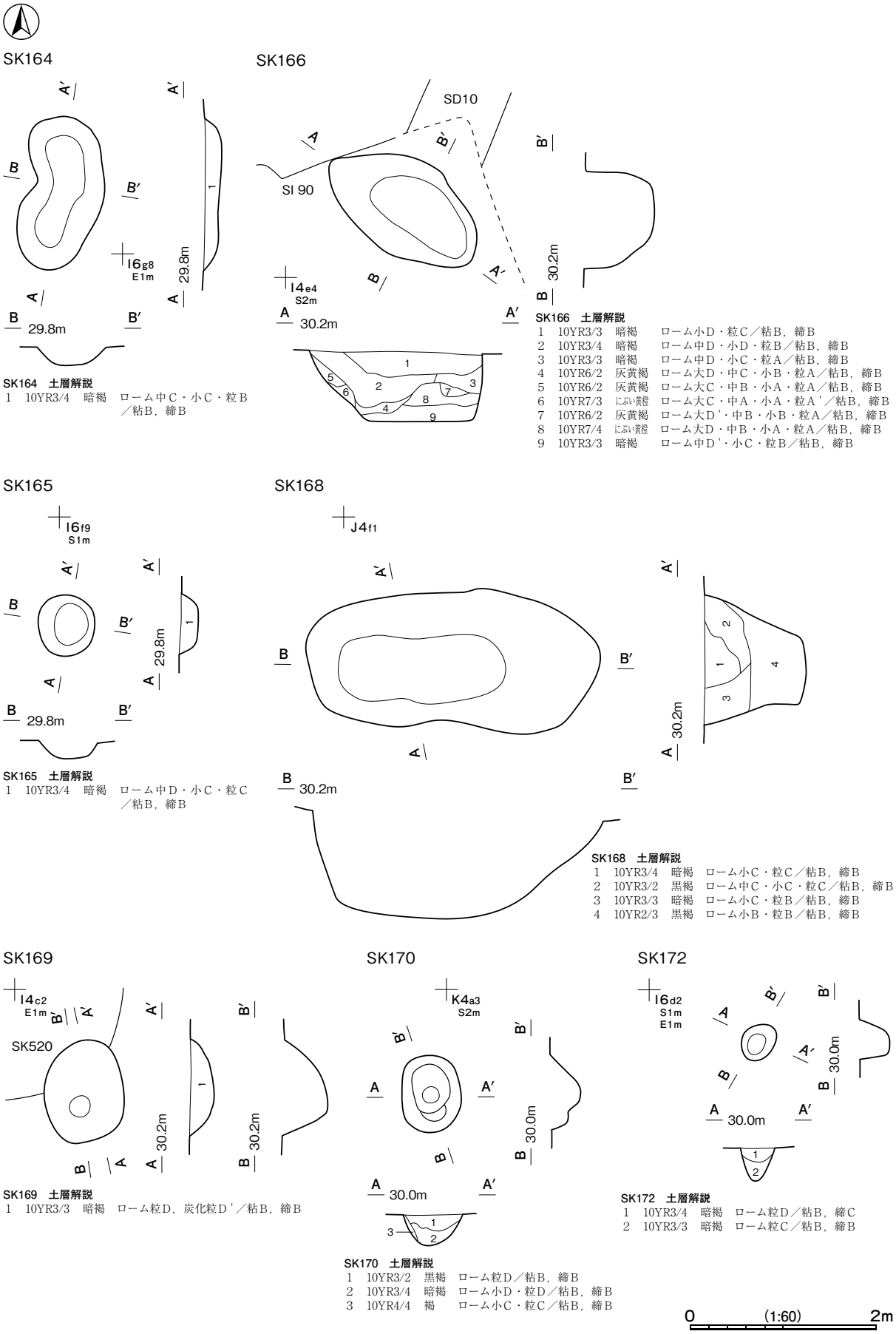
SK154　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム粒D／粘B，締B

SK155　土層解説
1　10YR3/3　暗褐　ローム粒C，炭化粒D／粘B，締B
2　10YR3/3　暗褐　ローム粒C／粘B，締B
3　10YR4/4　褐　ローム粒B／粘B，締B

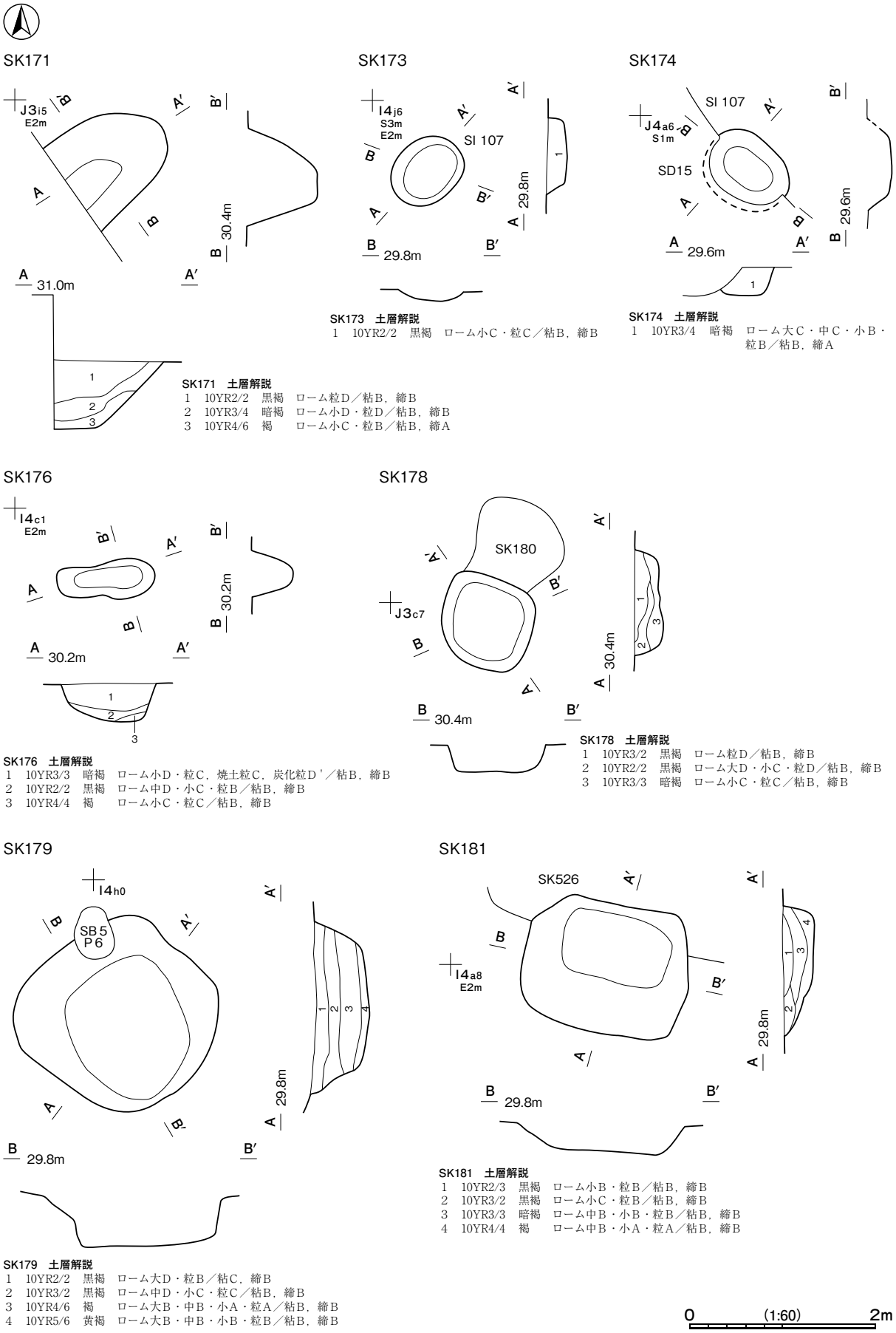
SK156　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム粒D'／粘B，締B

SK160　土層解説
1　10YR3/4　暗褐　ローム粒D／粘B，締B
2　10YR4/4　褐　ローム小D・粒D／粘B，締B

第 457 図　時期不明土坑実測図(23)



第 458 図　時期不明土坑実測図(24)



SK173　土層解説
1　10YR2/2　黒褐　ローム小C・粒C／粘B，締B

SK174　土層解説
1　10YR3/4　暗褐　ローム大C・中C・小B・粒B／粘B，締A

SK171　土層解説
1　10YR2/2　黒褐　ローム粒D／粘B，締B
2　10YR3/4　暗褐　ローム小D・粒D／粘B，締B
3　10YR4/6　褐　ローム小C・粒B／粘B，締A

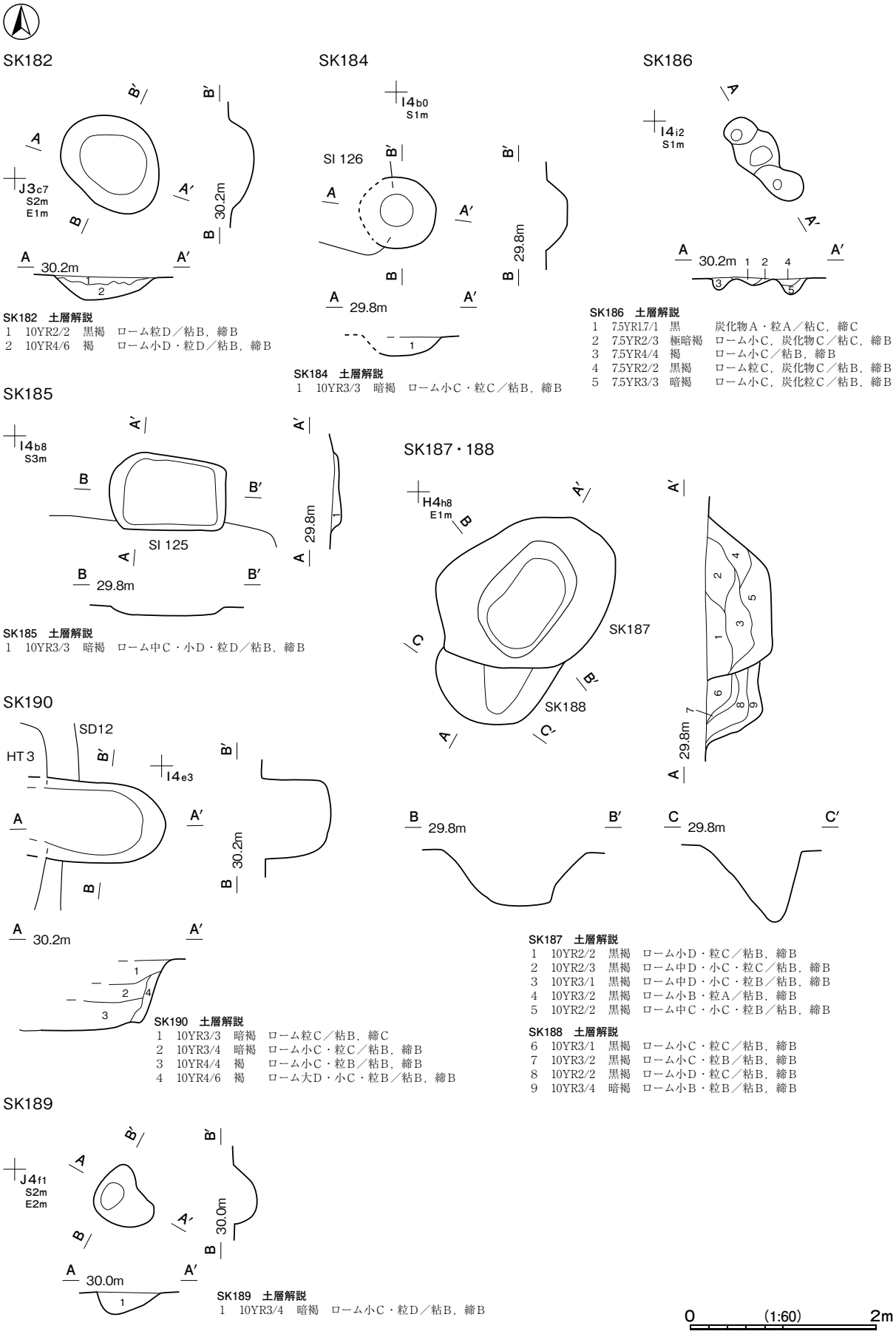
SK176　土層解説
1　10YR3/3　暗褐　ローム小D・粒C，焼土粒C，炭化粒D'／粘B，締B
2　10YR2/2　黒褐　ローム中D・小C・粒B／粘B，締B
3　10YR4/4　褐　ローム小C・粒C／粘B，締B

SK178　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム粒D／粘B，締B
2　10YR2/2　黒褐　ローム大D・小C・粒D／粘B，締B
3　10YR3/3　暗褐　ローム小C・粒C／粘B，締B

SK179　土層解説
1　10YR2/2　黒褐　ローム大D・粒B／粘C，締B
2　10YR3/2　黒褐　ローム中D・小C・粒C／粘B，締B
3　10YR4/6　褐　ローム大B・中B・小A・粒A／粘B，締B
4　10YR5/6　黄褐　ローム大B・中B・小B・粒B／粘B，締B

SK181　土層解説
1　10YR2/3　黒褐　ローム小B・粒B／粘B，締B
2　10YR3/2　黒褐　ローム小C・粒B／粘B，締B
3　10YR3/3　暗褐　ローム中B・小B・粒B／粘B，締B
4　10YR4/4　褐　ローム中B・小A・粒A／粘B，締B

第459図　時期不明土坑実測図(25)



SK182　土層解説
1　10YR2/2　黒褐　ローム粒D／粘B，締B
2　10YR4/6　褐　ローム小D・粒D／粘B，締B

SK184　土層解説
1　10YR3/3　暗褐　ローム小C・粒C／粘B，締B

SK186　土層解説
1　7.5YR1.7/1　黒　炭化物A・粒A／粘C，締C
2　7.5YR2/3　極暗褐　ローム小C，炭化物C／粘C，締B
3　7.5YR4/4　褐　ローム小C／粘B，締B
4　7.5YR2/2　黒褐　ローム粒C，炭化物C／粘B，締B
5　7.5YR3/3　暗褐　ローム小C，炭化粒C／粘B，締B

SK185　土層解説
1　10YR3/3　暗褐　ローム中C・小D・粒D／粘B，締B

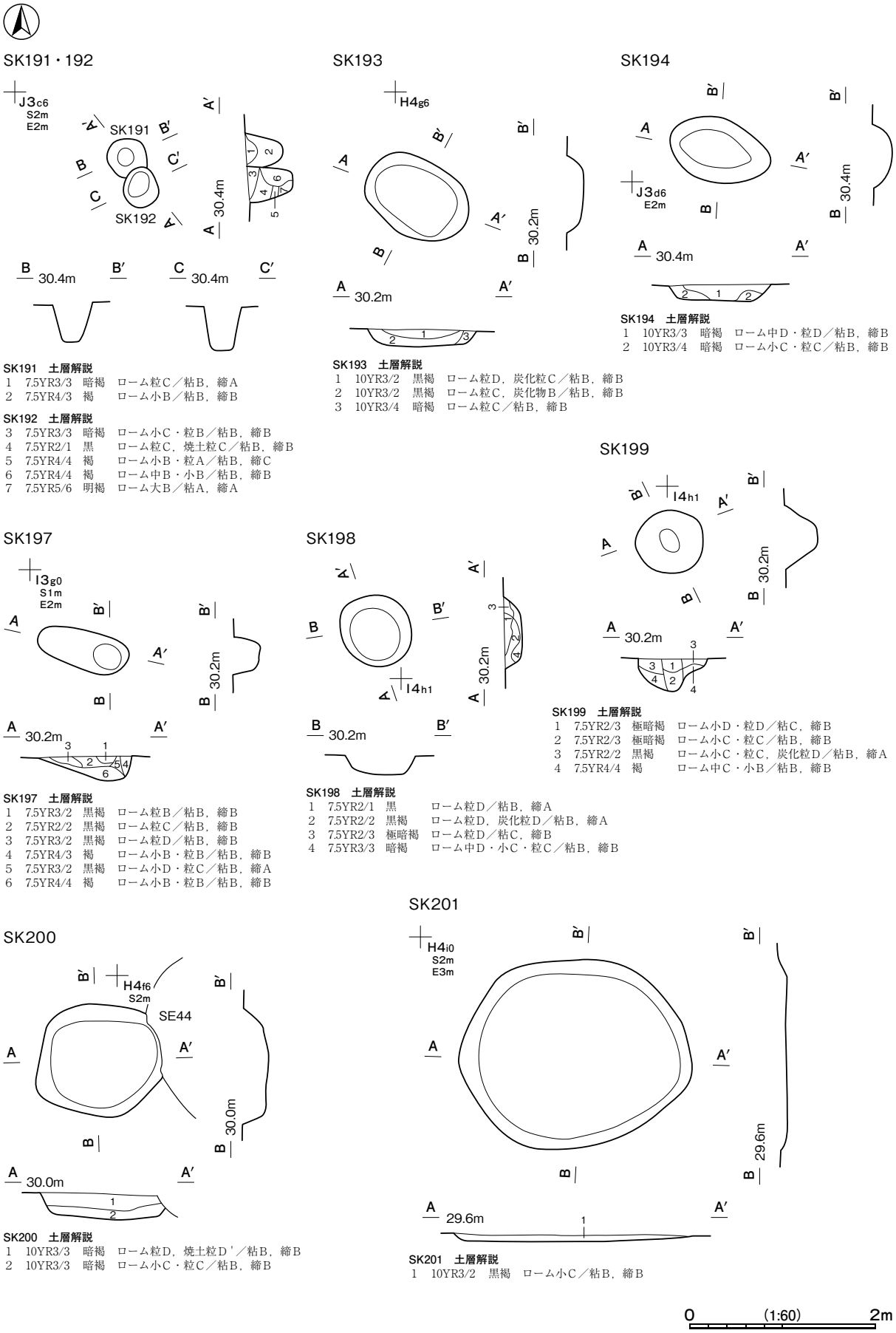
SK190　土層解説
1　10YR3/3　暗褐　ローム粒C／粘B，締C
2　10YR3/4　暗褐　ローム小C・粒C／粘B，締B
3　10YR4/4　褐　ローム小C・粒B／粘B，締B
4　10YR4/6　褐　ローム大D・小C・粒B／粘B，締B

SK187　土層解説
1　10YR2/2　黒褐　ローム小D・粒C／粘B，締B
2　10YR2/3　黒褐　ローム中D・小C・粒C／粘B，締B
3　10YR3/1　黒褐　ローム中D・小C・粒B／粘B，締B
4　10YR3/2　黒褐　ローム小B・粒A／粘B，締B
5　10YR2/2　黒褐　ローム中C・小C・粒B／粘B，締B

SK188　土層解説
6　10YR3/1　黒褐　ローム小C・粒C／粘B，締B
7　10YR3/2　黒褐　ローム小C・粒B／粘B，締B
8　10YR2/2　黒褐　ローム小D・粒C／粘B，締B
9　10YR3/4　暗褐　ローム小B・粒B／粘B，締B

SK189　土層解説
1　10YR3/4　暗褐　ローム小C・粒D／粘B，締B

第460図　時期不明土坑実測図(26)



SK191　土層解説
1　7.5YR3/3　暗褐　ローム粒C／粘B，締A
2　7.5YR4/3　褐　ローム小B／粘B，締B

SK192　土層解説
3　7.5YR3/3　暗褐　ローム小C・粒B／粘B，締B
4　7.5YR2/1　黒　ローム粒C，焼土粒C／粘B，締B
5　7.5YR4/4　褐　ローム小B・粒A／粘B，締C
6　7.5YR4/4　褐　ローム中B・小B／粘B，締B
7　7.5YR5/6　明褐　ローム大B／粘A，締A

SK193　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム粒D，炭化粒C／粘B，締B
2　10YR3/2　黒褐　ローム粒C，炭化物B／粘B，締B
3　10YR3/4　暗褐　ローム粒C／粘B，締B

SK194　土層解説
1　10YR3/3　暗褐　ローム中D・粒D／粘B，締B
2　10YR3/4　暗褐　ローム小C・粒C／粘B，締B

SK197　土層解説
1　7.5YR3/2　黒褐　ローム粒B／粘B，締B
2　7.5YR2/2　黒褐　ローム粒C／粘B，締B
3　7.5YR3/2　黒褐　ローム粒D／粘B，締B
4　7.5YR4/3　褐　ローム小B・粒B／粘B，締B
5　7.5YR3/2　黒褐　ローム小D・粒C／粘B，締A
6　7.5YR4/4　褐　ローム小B・粒B／粘B，締B

SK198　土層解説
1　7.5YR2/1　黒　ローム粒D／粘B，締A
2　7.5YR2/2　黒褐　ローム粒D，炭化粒D／粘B，締A
3　7.5YR2/3　極暗褐　ローム粒D／粘C，締B
4　7.5YR3/3　暗褐　ローム中D・小C・粒C／粘B，締B

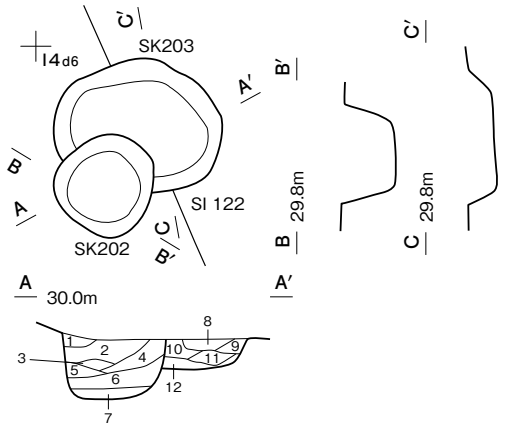
SK199　土層解説
1　7.5YR2/3　極暗褐　ローム小D・粒D／粘C，締B
2　7.5YR2/3　極暗褐　ローム小C・粒C／粘B，締B
3　7.5YR2/2　黒褐　ローム小C・粒C，炭化粒D／粘B，締A
4　7.5YR4/4　褐　ローム中C・小B／粘B，締B

SK200　土層解説
1　10YR3/3　暗褐　ローム粒D，焼土粒D'／粘B，締B
2　10YR3/3　暗褐　ローム小C・粒C／粘B，締B

SK201　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム小C／粘B，締B

第461図　時期不明土坑実測図(27)

SK202・203



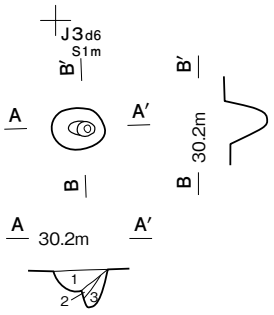
SK202　土層解説

1	10YR4/4	褐	ローム大D／粘B，締B
2	10YR3/2	黒褐	ローム小C・粒C，焼土粒D'／粘B，締B
3	10YR3/3	暗褐	ローム粒C／粘B，締B
4	10YR3/3	暗褐	ローム小C・粒A，焼土粒D'／粘B，締B
5	10YR4/4	褐	ローム粒A／粘B，締B
6	10YR3/3	暗褐	ローム大D・粒C，焼土粒D'／粘B，締B
7	10YR3/3	暗褐	ローム大D'・粒B／粘B，締B

SK203　土層解説

8	10YR3/3	暗褐	ローム大D'・小D／粘B，締B
9	10YR3/3	暗褐	ローム粒C／粘B，締B
10	10YR3/3	暗褐	ローム粒D，焼土粒C，炭化粒D'／粘B，締B
11	10YR3/3	暗褐	ローム粒B／粘B，締B
12	10YR4/4	褐	ローム中D・粒B／粘B，締B

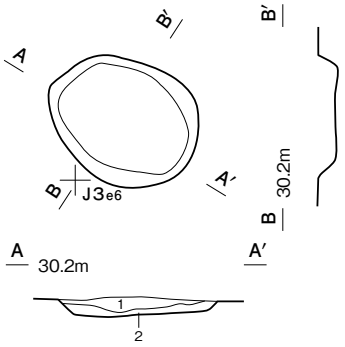
SK204



SK204　土層解説

1	10YR2/2	黒褐	ローム中C・小C・粒B／粘B，締B
2	10YR3/2	黒褐	ローム中C・小B・粒B／粘B，締B
3	10YR4/6	褐	ローム小C・粒B／粘B，締B

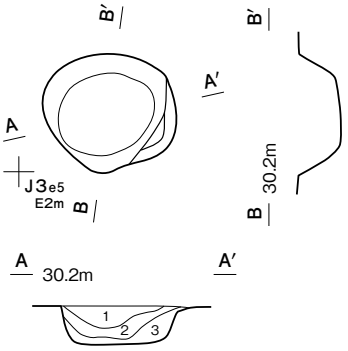
SK205



SK205　土層解説

1	10YR3/3	暗褐	ローム中C・粒D／粘B，締B
2	10YR3/4	暗褐	ローム大D・中D・粒C／粘B，締B

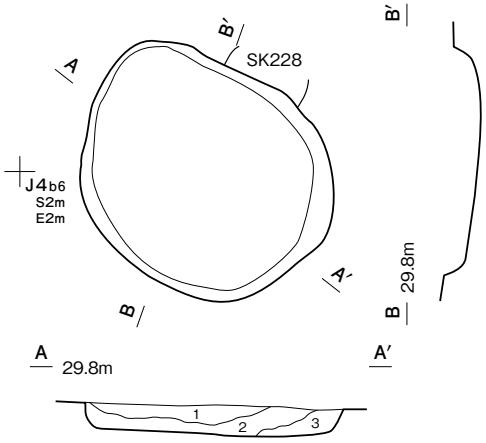
SK206



SK206　土層解説

1	10YR2/2	黒褐	ローム粒D／粘B，締B
2	10YR3/4	暗褐	ローム小D・粒D／粘B，締B
3	10YR4/4	褐	ローム小D・粒C／粘B，締B

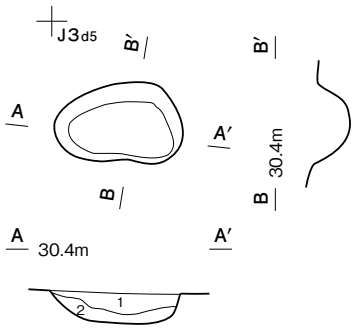
SK207



SK207　土層解説

1	10YR3/2	黒褐	ローム粒C／粘B，締B
2	10YR2/2	黒褐	ローム大D・中C・小C・粒B／粘B，締B
3	10YR4/4	褐	ローム大C・中C／粘B，締B

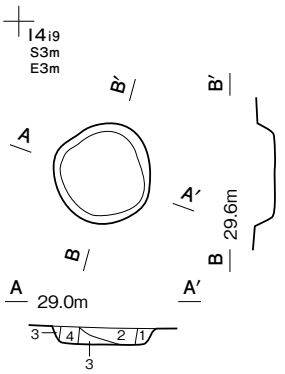
SK208



SK208　土層解説

1	10YR4/4	褐	ローム小C・粒C／粘B，締B
2	10YR4/6	褐	ローム小C・粒B／粘B，締B

SK210

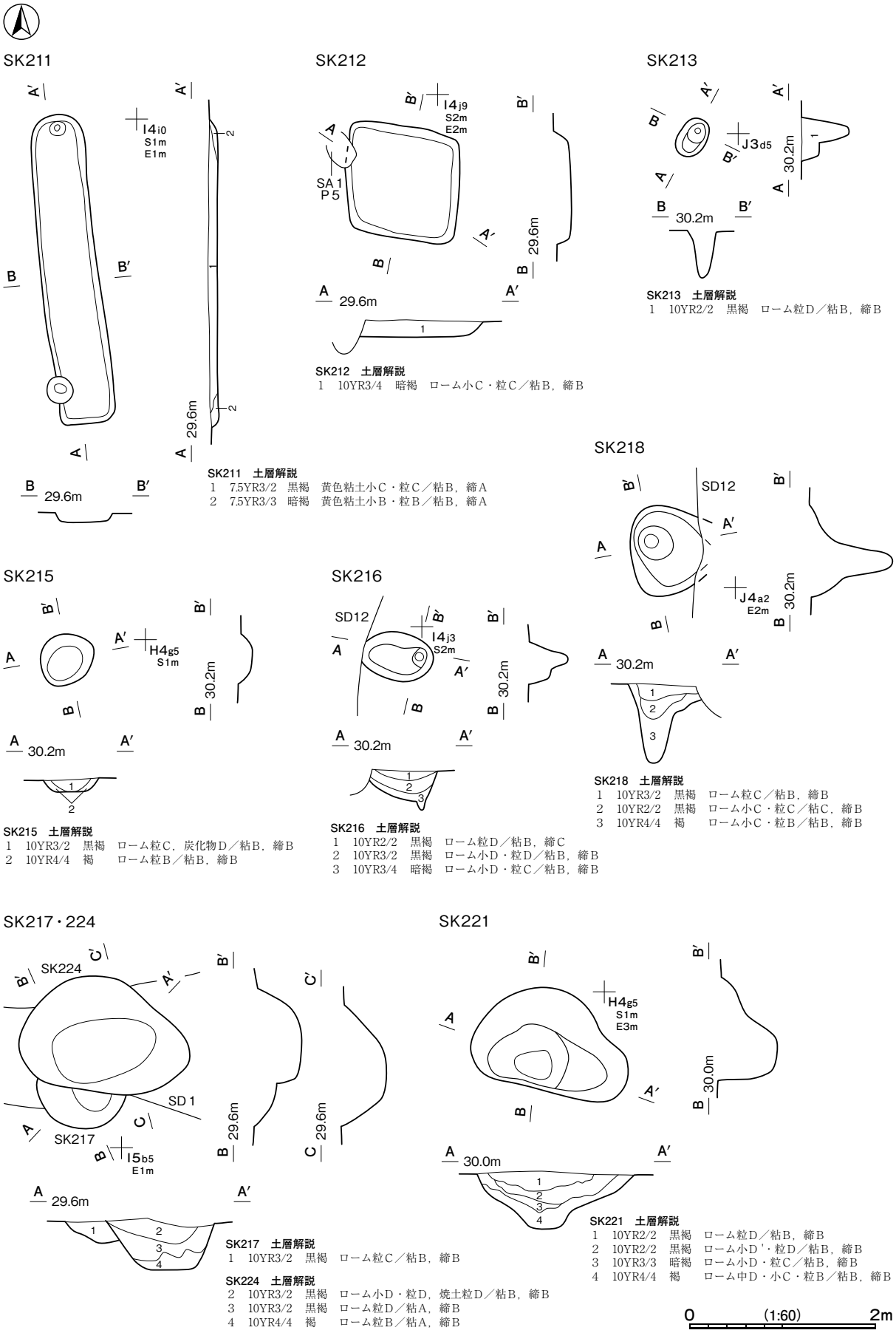


SK210　土層解説

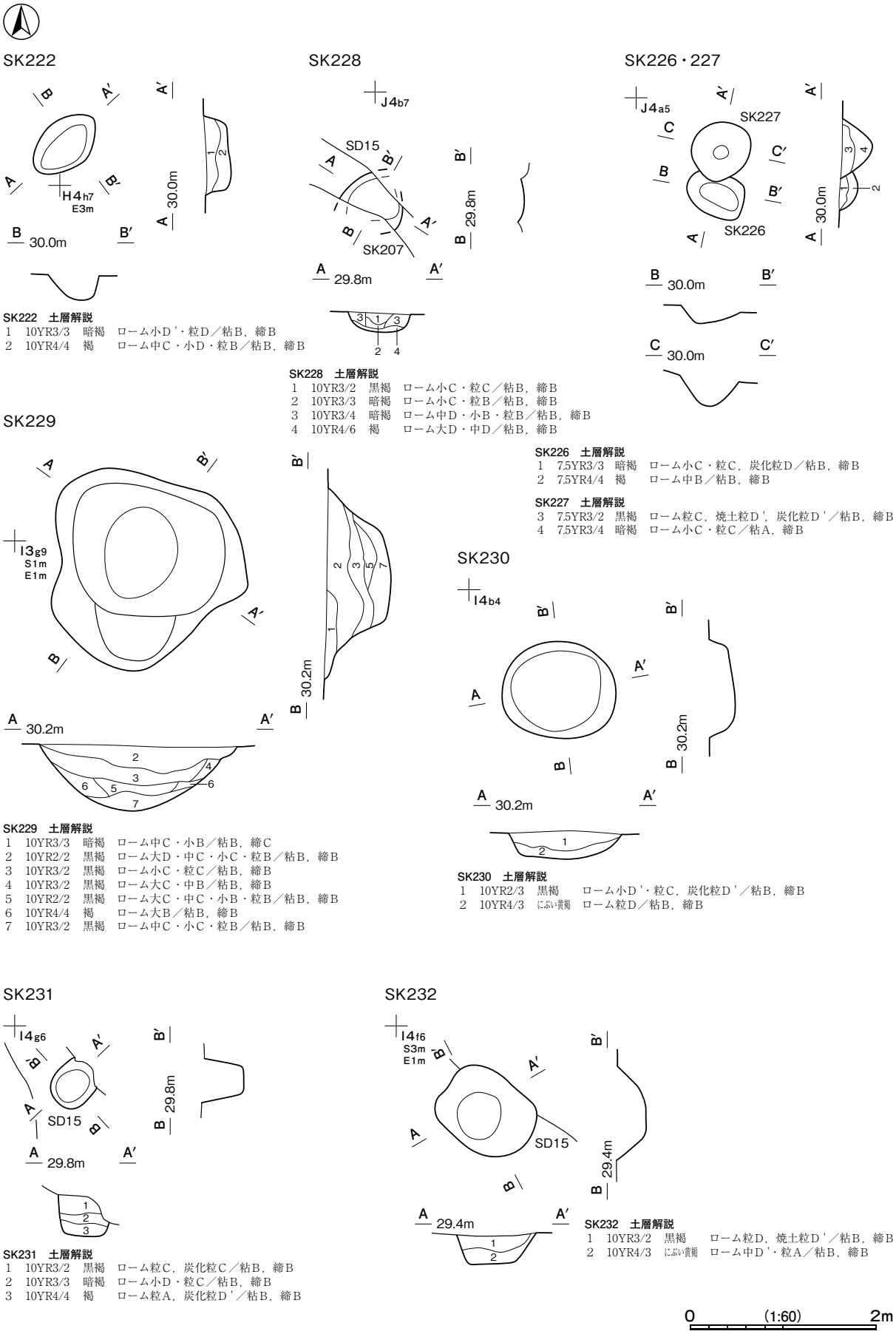
1	7.5YR4/3	褐	ローム小C・粒C／粘B，締B
2	7.5YR4/3	褐	ローム小B・粒B／粘A，締B
3	7.5YR4/4	褐	ローム中C・小C，炭化粒D／粘A，締A
4	7.5YR4/3	褐	ローム粒B，炭化粒D／粘A，締C

0　(1:60)　2m

第 462 図　時期不明土坑実測図(28)



第463図　時期不明土坑実測図(29)



SK222　土層解説
1　10YR3/3　暗褐　ローム小D'・粒D／粘B，締B
2　10YR4/4　褐　ローム中C・小D・粒B／粘B，締B

SK228　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム小C・粒C／粘B，締B
2　10YR3/3　暗褐　ローム小C・粒B／粘B，締B
3　10YR3/4　暗褐　ローム中D・小B・粒B／粘B，締B
4　10YR4/6　褐　ローム大D・中D／粘B，締B

SK226　土層解説
1　7.5YR3/3　暗褐　ローム小C・粒C，炭化粒D／粘B，締B
2　7.5YR4/4　褐　ローム中B／粘B，締B

SK227　土層解説
3　7.5YR3/2　黒褐　ローム粒C，焼土粒D'，炭化粒D'／粘B，締B
4　7.5YR3/4　暗褐　ローム小C・粒C／粘A，締B

SK229　土層解説
1　10YR3/3　暗褐　ローム中C・小B／粘B，締C
2　10YR2/2　黒褐　ローム大D・中C・小C・粒B／粘B，締B
3　10YR3/2　黒褐　ローム小C・粒C／粘B，締B
4　10YR3/2　黒褐　ローム大C・中B／粘B，締B
5　10YR2/2　黒褐　ローム大C・中C・小B・粒B／粘B，締B
6　10YR4/4　褐　ローム大B／粘B，締B
7　10YR3/2　黒褐　ローム中C・小C・粒B／粘B，締B

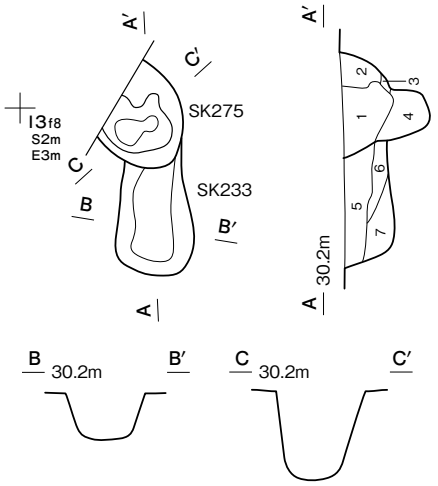
SK230　土層解説
1　10YR2/3　黒褐　ローム小D'・粒C，炭化粒D'／粘B，締B
2　10YR4/3　にぶい黄褐　ローム粒D／粘B，締B

SK231　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム粒C，炭化粒C／粘B，締B
2　10YR3/3　暗褐　ローム小D・粒C／粘B，締B
3　10YR4/4　褐　ローム粒A，炭化粒D'／粘B，締B

SK232　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム粒D，焼土粒D'／粘B，締B
2　10YR4/3　にぶい黄褐　ローム中D'・粒A／粘B，締B

第 464 図　時期不明土坑実測図(30)

SK233・275



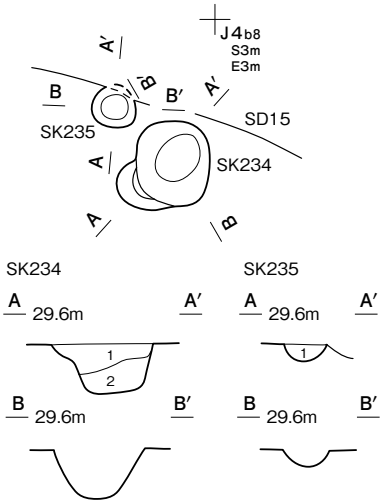
SK233　土層解説

5	10YR3/2	黒褐	ローム小D・粒C，炭化粒D′／粘B，締B
6	10YR3/3	暗褐	ローム粒C／粘B，締B
7	10YR3/3	暗褐	ローム小D′・粒C／粘B，締B

SK275　土層解説

1	10YR3/2	黒褐	焼土粒D′，炭化粒D′，黄色粘土小D・粒C／粘B，締B
2	10YR3/3	暗褐	黄色粘土小D′・粒B／粘B，締B
3	10YR4/4	褐	黄色粘土粒B／粘B，締B
4	10YR3/3	暗褐	黄色粘土小C・粒C／粘B，締B

SK234・235



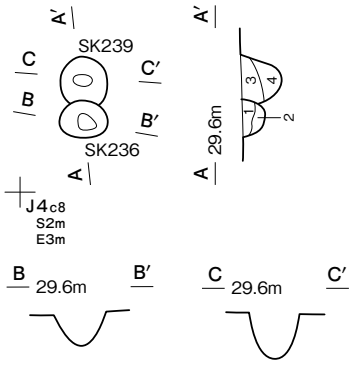
SK234　土層解説

1	10YR3/4	暗褐	ローム大C・中C・小B・粒B／粘B，締C
2	10YR4/4	褐	ローム大D・中C／粘B，締B

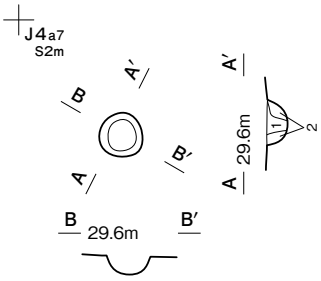
SK235　土層解説

1	10YR2/3	黒褐	ローム粒D／粘B，締B

SK236・239



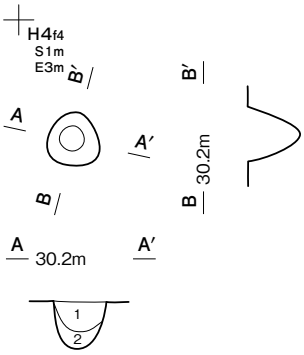
SK237



SK237　土層解説

1	10YR3/4	暗褐	ローム小B・粒B，焼土粒D／粘B，締B
2	10YR4/6	褐	ローム小A・粒A／粘B，締B

SK240



SK236　土層解説

1	10YR3/4	暗褐	ローム粒D／粘B，締C
2	10YR4/6	褐	ローム小D・粒D／粘B，締B

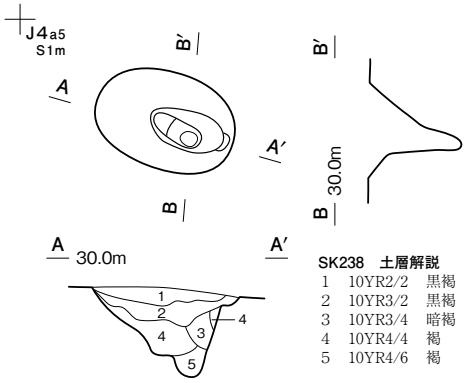
SK239　土層解説

3	10YR3/3	暗褐	ローム粒C／粘B，締B
4	10YR4/4	褐	ローム小C・粒B／粘B，締B

SK240　土層解説

1	10YR3/3	暗褐	ローム小D・粒C，焼土小D・粒C／粘B，締B
2	10YR3/3	暗褐	ローム粒C／粘B，締B

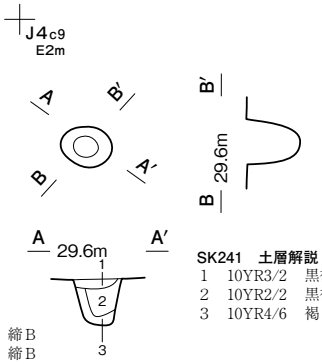
SK238



SK238　土層解説

1	10YR2/2	黒褐	ローム大D・粒B／粘B，締B
2	10YR3/2	黒褐	ローム小C・粒B／粘B，締B
3	10YR3/4	暗褐	ローム中C・小C・粒B／粘B，締B
4	10YR4/4	褐	ローム中C・小B・粒B／粘B，締B
5	10YR4/6	褐	ローム大C・中C・小B・粒B／粘B，締B

SK241

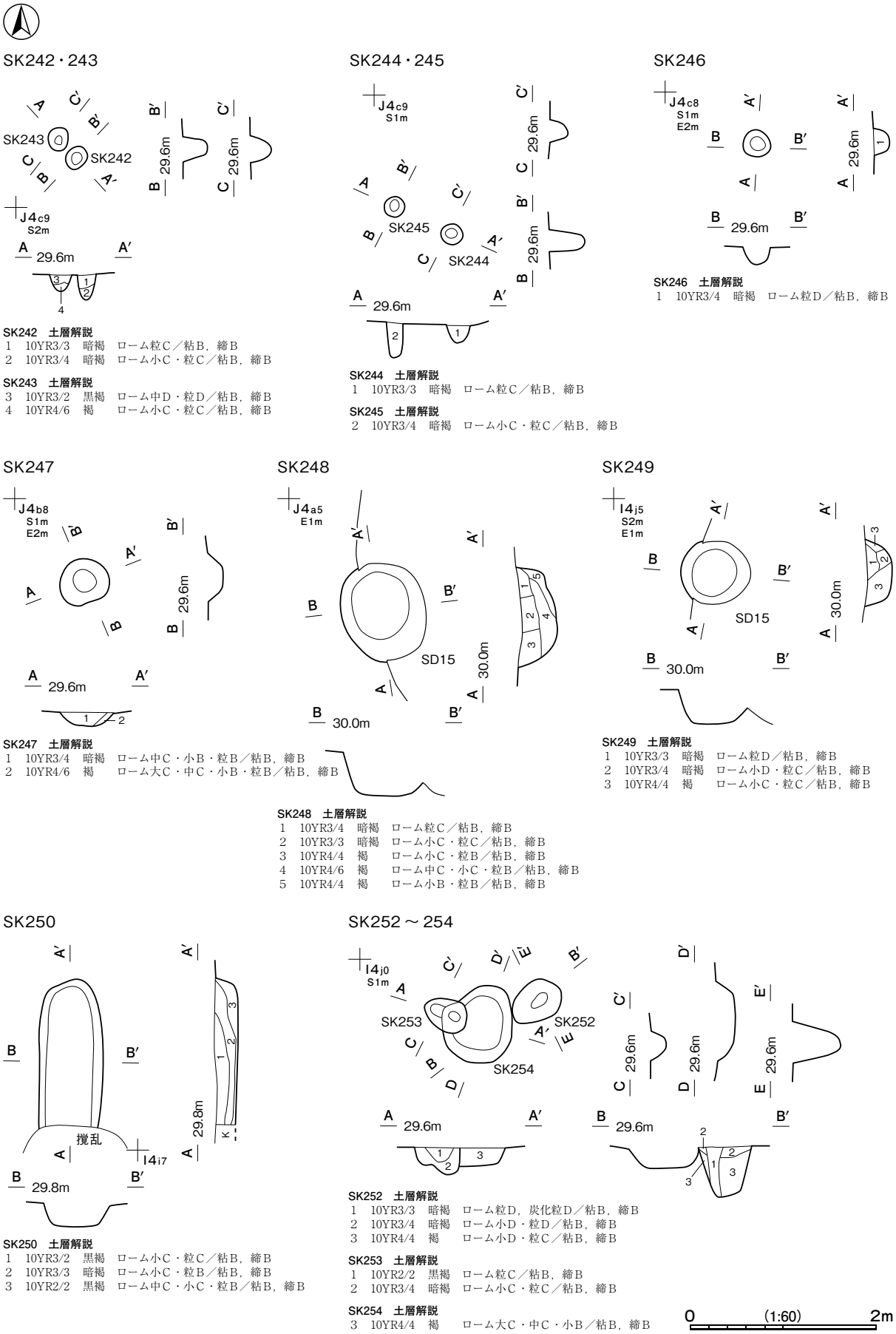


SK241　土層解説

1	10YR3/2	黒褐	ローム大D・粒C／粘B，締B
2	10YR2/2	黒褐	ローム小C・粒C／粘B，締B
3	10YR4/6	褐	ローム中D・粒D／粘B，締B

0　(1:60)　2m

第465図　時期不明土坑実測図(31)



SK242 土層解説
1 10YR3/3 暗褐 ローム粒C／粘B，締B
2 10YR3/4 暗褐 ローム小C・粒C／粘B，締B

SK243 土層解説
3 10YR3/2 黒褐 ローム中D・粒D／粘B，締B
4 10YR4/6 褐 ローム小C・粒C／粘B，締B

SK244 土層解説
1 10YR3/3 暗褐 ローム粒C／粘B，締B

SK245 土層解説
2 10YR3/4 暗褐 ローム小C・粒C／粘B，締B

SK246 土層解説
1 10YR3/4 暗褐 ローム粒D／粘B，締B

SK247 土層解説
1 10YR3/4 暗褐 ローム中C・小B・粒B／粘B，締B
2 10YR4/6 褐 ローム大C・中C・小B・粒B／粘B，締B

SK248 土層解説
1 10YR3/4 暗褐 ローム粒C／粘B，締B
2 10YR3/3 暗褐 ローム小C・粒C／粘B，締B
3 10YR4/4 褐 ローム小C・粒B／粘B，締B
4 10YR4/6 褐 ローム中C・小C・粒B／粘B，締B
5 10YR4/4 褐 ローム小B・粒B／粘B，締B

SK249 土層解説
1 10YR3/3 暗褐 ローム粒D／粘B，締B
2 10YR3/4 暗褐 ローム小D・粒C／粘B，締B
3 10YR4/4 褐 ローム小C・粒C／粘B，締B

SK250 土層解説
1 10YR3/2 黒褐 ローム小C・粒C／粘B，締B
2 10YR3/3 暗褐 ローム小C・粒B／粘B，締B
3 10YR2/2 黒褐 ローム中C・小C・粒B／粘B，締B

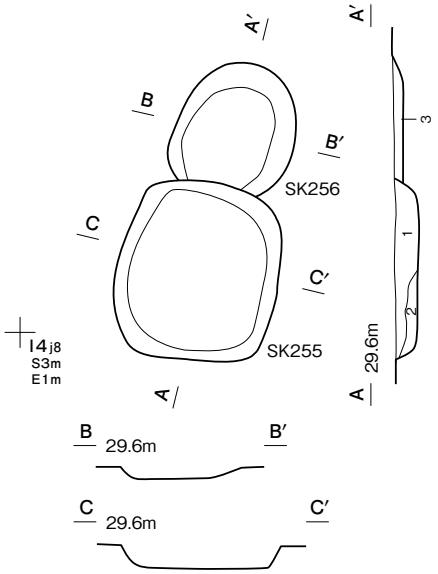
SK252 土層解説
1 10YR3/3 暗褐 ローム粒D，炭化粒D／粘B，締B
2 10YR3/4 暗褐 ローム小D・粒D／粘B，締B
3 10YR4/4 褐 ローム小D・粒C／粘B，締B

SK253 土層解説
1 10YR2/2 黒褐 ローム粒C／粘B，締B
2 10YR3/4 暗褐 ローム小C・粒C／粘B，締B

SK254 土層解説
3 10YR4/4 褐 ローム大C・中C・小B／粘B，締B

第 466 図　時期不明土坑実測図(32)

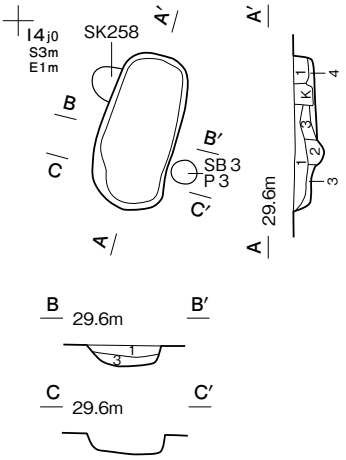
SK255・256



SK255　土層解説
1　10YR2/2　黒褐　ローム中C・小B・粒B／粘B，締B
2　10YR4/4　褐　ローム大D・中C・小B／粘B，締B

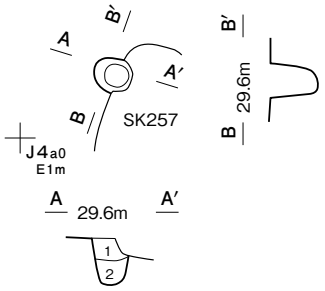
SK256　土層解説
3　10YR3/2　黒褐　ローム小C・粒B／粘B，締B

SK257



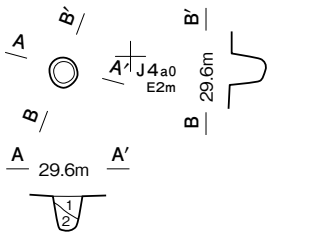
SK257　土層解説
1　10YR4/6　褐　ローム中C・小B・粒B／粘B，締C
2　10YR3/2　黒褐　ローム小B・粒B／粘B，締B
3　10YR2/2　黒褐　ローム粒C／粘B，締B
4　10YR4/4　褐　ローム小D・粒D／粘B，締B

SK258



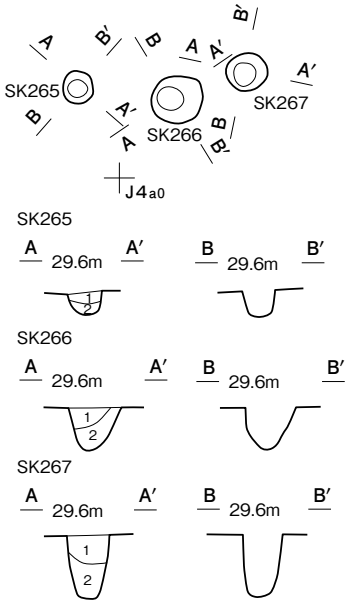
SK258　土層解説
1　10YR2/2　黒褐　ローム粒D／粘B，締B
2　10YR3/4　暗褐　ローム小D・粒D／粘B，締B

SK259



SK259　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム小D・粒D／粘B，締B
2　10YR2/2　黒褐　ローム小D・粒C／粘B，締B

SK265～267

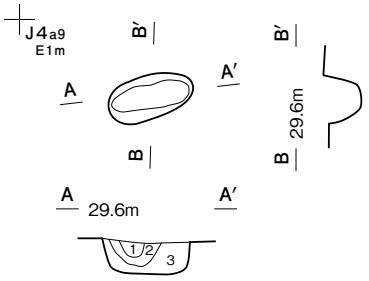


SK265　土層解説
1　10YR2/2　黒褐　ローム粒C／粘B，締B
2　10YR3/2　黒褐　ローム小C・粒B／粘B，締B

SK266　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム小D・粒D／粘B，締B
2　10YR3/3　暗褐　ローム中C・小D・粒D／粘B，締B

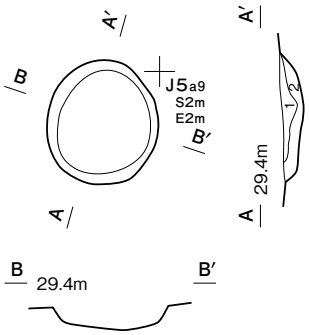
SK267　土層解説
1　10YR2/2　黒褐　ローム小C・粒C／粘B，締B
2　10YR3/4　暗褐　ローム小C・粒B／粘B，締B

SK260



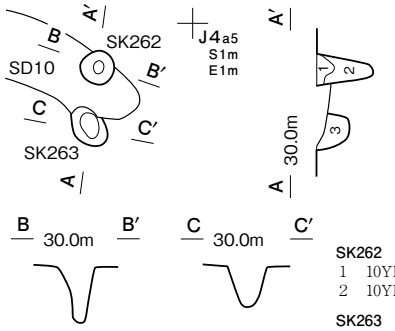
SK260　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム小D・粒D／粘B，締B
2　10YR3/4　暗褐　ローム小C・粒D／粘B，締B
3　10YR3/3　暗褐　ローム中D・小C・粒C／粘B，締B

SK261



SK261　土層解説
1　10YR2/2　黒褐　ローム小C・粒C／粘B，締B
2　10YR4/6　褐　ローム小C・粒B／粘B，締B

SK262・263

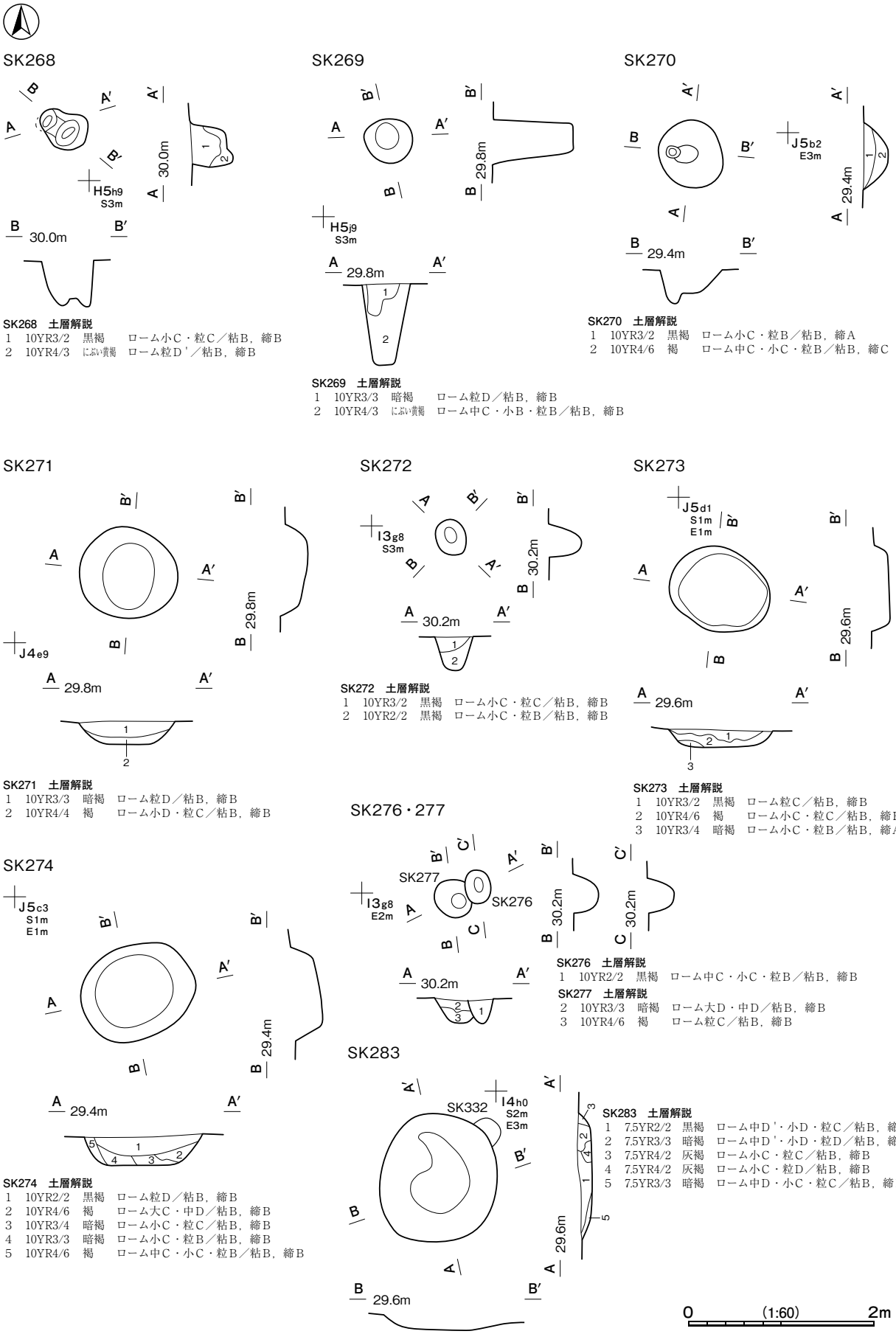


SK262　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム小C・粒D／粘B，締B
2　10YR2/2　黒褐　ローム小D・粒D／粘B，締B

SK263　土層解説
3　10YR2/2　黒褐　ローム小D・粒C／粘B，締B

0　(1:60)　2m

第467図　時期不明土坑実測図(33)



SK268　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム小C・粒C／粘B，締B
2　10YR4/3　にぶい黄褐　ローム粒D'／粘B，締B

SK269　土層解説
1　10YR3/3　暗褐　ローム粒D／粘B，締B
2　10YR4/3　にぶい黄褐　ローム中C・小B・粒B／粘B，締B

SK270　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム小C・粒B／粘B，締A
2　10YR4/6　褐　ローム中C・小C・粒B／粘B，締C

SK271　土層解説
1　10YR3/3　暗褐　ローム粒D／粘B，締B
2　10YR4/4　褐　ローム小D・粒C／粘B，締B

SK272　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム小C・粒C／粘B，締B
2　10YR2/2　黒褐　ローム小C・粒B／粘B，締B

SK273　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム粒C／粘B，締B
2　10YR4/6　褐　ローム小C・粒C／粘B，締B
3　10YR3/4　暗褐　ローム小C・粒B／粘B，締A

SK276　土層解説
1　10YR2/2　黒褐　ローム中C・小C・粒B／粘B，締B

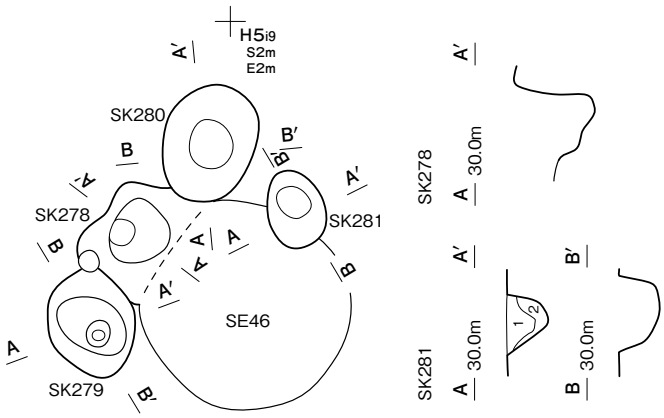
SK277　土層解説
2　10YR3/3　暗褐　ローム大D・中D／粘B，締B
3　10YR4/6　褐　ローム粒C／粘B，締B

SK274　土層解説
1　10YR2/2　黒褐　ローム粒D／粘B，締B
2　10YR4/6　褐　ローム大C・中D／粘B，締B
3　10YR3/4　暗褐　ローム小C・粒C／粘B，締B
4　10YR3/3　暗褐　ローム小C・粒B／粘B，締B
5　10YR4/6　褐　ローム中C・小C・粒B／粘B，締B

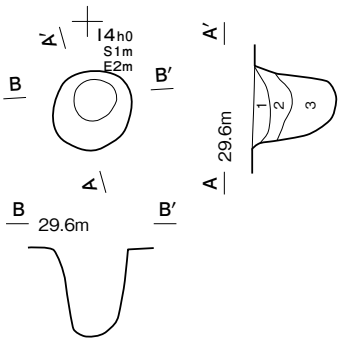
SK283　土層解説
1　7.5YR2/2　黒褐　ローム中D'・小D・粒C／粘B，締B
2　7.5YR3/3　暗褐　ローム中D'・小D・粒D／粘B，締B
3　7.5YR4/2　灰褐　ローム小C・粒C／粘B，締B
4　7.5YR4/2　灰褐　ローム小C・粒D／粘B，締B
5　7.5YR3/3　暗褐　ローム中D・小C・粒C／粘B，締B

第 468 図　時期不明土坑実測図(34)

SK278～281

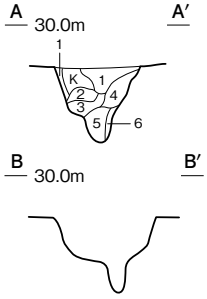


SK284

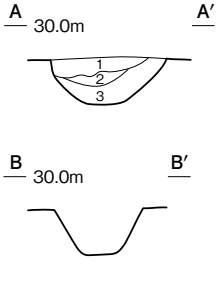


SK284　土層解説
1　7.5YR4/3　褐　　ローム中B・小C・粒C，炭化粒D／粘B，締C
2　7.5YR3/3　暗褐　ローム大D・中C・小C・粒C，炭化粒C／粘B，締C
3　7.5YR3/2　黒褐　ローム大D'・中D・小C・粒B，炭化粒D'／粘B，締C

SK279



SK280

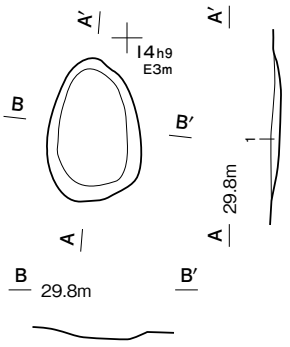


SK279　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　　ローム小C・粒C／粘B，締B
2　10YR3/3　暗褐　　ローム小B・粒A／粘B，締B
3　10YR5/4　にぶい黄褐　ローム小A・粒A／粘B，締B
4　10YR4/2　灰黄褐　ローム小A・粒A／粘B，締B
5　10YR3/4　暗褐　　ローム中C・小B・粒A／粘B，締B
6　10YR4/6　褐　　ローム中A・小A・粒A／粘B，締B

SK280　土層解説
1　10YR2/3　黒褐　　ローム小C・粒C，焼土粒C／粘B，締A
2　10YR3/3　暗褐　　ローム中C・小B・粒B，炭化粒D／粘B，締B
3　10YR3/4　暗褐　　ローム小B・粒B，焼土粒D，炭化粒D／粘B，締B

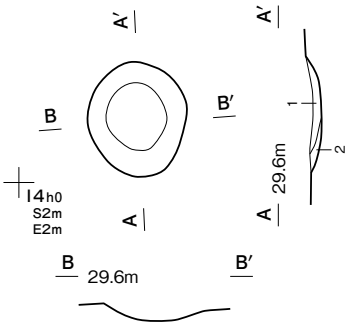
SK281　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　　ローム小C・粒C，炭化粒D／粘B，締B
2　10YR3/4　暗褐　　ローム中C・小A・粒A／粘B，締B

SK286



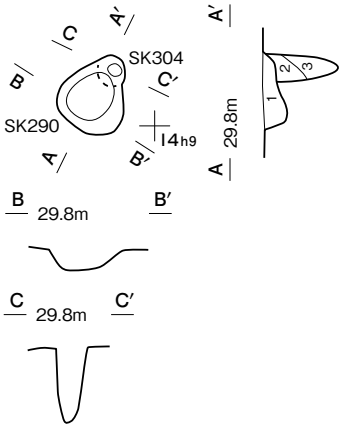
SK286　土層解説
1　7.5YR2/2　黒褐　ローム小C・粒C／粘B，締B

SK287



SK287　土層解説
1　7.5YR3/4　暗褐　ローム小C・粒A／粘B，締C
2　7.5YR4/4　褐　　ローム中C・小C・粒B／粘A，締B

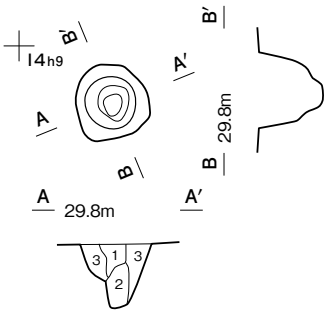
SK290・304



SK290　土層解説
1　10YR3/4　暗褐　ローム小C・粒C／粘B，締B

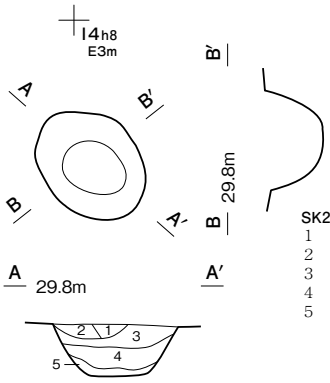
SK304　土層解説
2　10YR2/3　黒褐　ローム粒C／粘B，締B
3　10YR3/3　暗褐　ローム小C・粒B／粘B，締B

SK289



SK289　土層解説
1　10YR3/4　暗褐　　ローム粒C，炭化粒D／粘B，締B
2　10YR3/3　暗褐　　ローム中C・小C・粒B／粘B，締B
3　10YR4/6　褐　　ローム大C・中D／粘B，締B

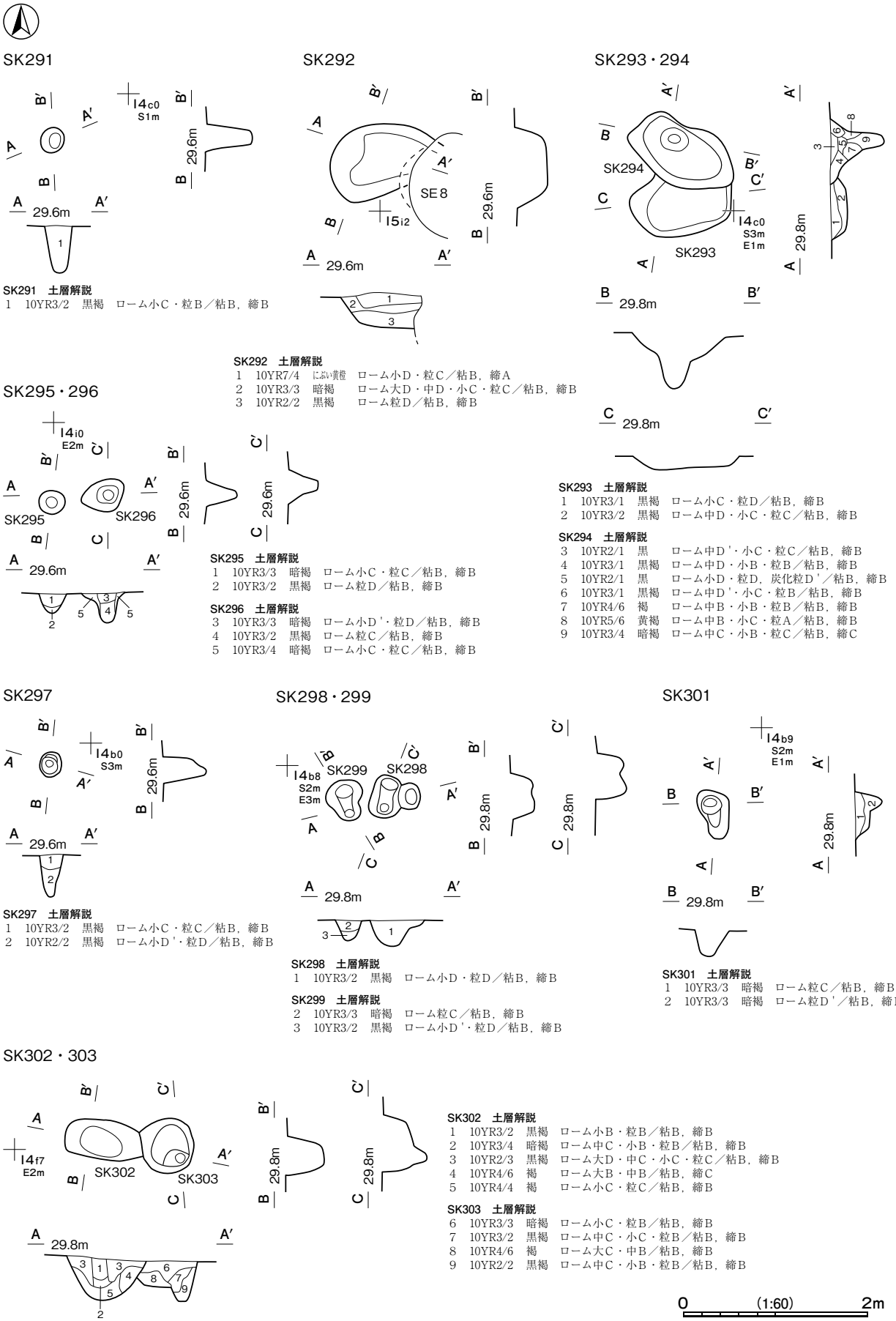
SK288



SK288　土層解説
1　10YR2/3　黒褐　ローム粒C／粘B，締B
2　10YR3/2　黒褐　ローム小C・粒B／粘B，締B
3　10YR3/3　暗褐　ローム中C・小C・粒B／粘B，締B
4　10YR4/4　褐　　ローム大D・中C／粘B，締B
5　10YR4/6　褐　　ローム大C・中C／粘B，締A

0　(1:60)　2m

第469図　時期不明土坑実測図(35)



SK291　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム小C・粒B／粘B，締B

SK292　土層解説
1　10YR7/4　にぶい黄橙　ローム小D・粒C／粘B，締A
2　10YR3/3　暗褐　ローム大D・中D・小C・粒C／粘B，締B
3　10YR2/2　黒褐　ローム粒D／粘B，締B

SK293　土層解説
1　10YR3/1　黒褐　ローム小C・粒D／粘B，締B
2　10YR3/2　黒褐　ローム中D・小C・粒C／粘B，締B

SK294　土層解説
3　10YR2/1　黒　ローム中D'・小C・粒C／粘B，締B
4　10YR3/1　黒褐　ローム中D・小B・粒B／粘B，締B
5　10YR2/1　黒　ローム小D・粒D，炭化粒D'／粘B，締B
6　10YR3/1　黒褐　ローム中D'・小C・粒B／粘B，締B
7　10YR4/6　褐　ローム中B・小B・粒B／粘B，締B
8　10YR5/6　黄褐　ローム中B・小C・粒A／粘B，締B
9　10YR3/4　暗褐　ローム中C・小B・粒C／粘B，締C

SK295　土層解説
1　10YR3/3　暗褐　ローム小C・粒C／粘B，締B
2　10YR3/2　黒褐　ローム粒D／粘B，締B

SK296　土層解説
3　10YR3/3　暗褐　ローム小D'・粒D／粘B，締B
4　10YR3/2　黒褐　ローム粒C／粘B，締B
5　10YR3/4　暗褐　ローム小C・粒C／粘B，締B

SK297　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム小C・粒C／粘B，締B
2　10YR2/2　黒褐　ローム小D'・粒D／粘B，締B

SK298　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム小D・粒D／粘B，締B

SK299　土層解説
2　10YR3/3　暗褐　ローム粒C／粘B，締B
3　10YR3/2　黒褐　ローム小D'・粒D／粘B，締B

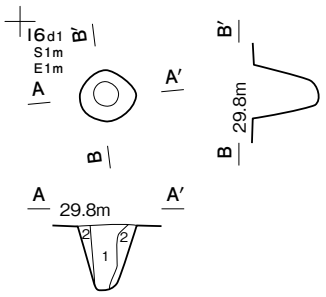
SK301　土層解説
1　10YR3/3　暗褐　ローム粒C／粘B，締B
2　10YR3/3　暗褐　ローム粒D'／粘B，締B

SK302　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム小B・粒B／粘B，締B
2　10YR3/4　暗褐　ローム中C・小B・粒B／粘B，締B
3　10YR2/3　黒褐　ローム大D・中C・小C・粒C／粘B，締B
4　10YR4/6　褐　ローム大B・中B／粘B，締C
5　10YR4/4　褐　ローム小C・粒C／粘B，締B

SK303　土層解説
6　10YR3/3　暗褐　ローム小C・粒B／粘B，締B
7　10YR3/2　黒褐　ローム中C・小C・粒B／粘B，締B
8　10YR4/6　褐　ローム大C・中B／粘B，締B
9　10YR2/2　黒褐　ローム中C・小B・粒B／粘B，締B

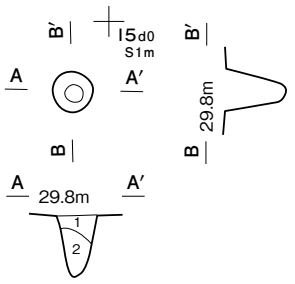
第 470 図　時期不明土坑実測図(36)

SK305



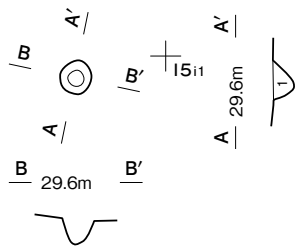
SK305　土層解説
1　10YR2/2　黒褐　ローム中C・小D・粒B／粘B，締B
2　10YR4/4　褐　ローム大C・中B・小B・粒A／粘B，締B

SK306



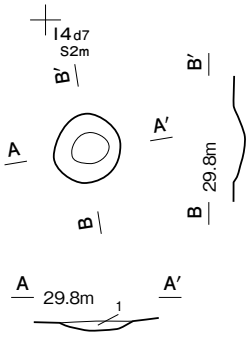
SK306　土層解説
1　10YR2/2　黒褐　ローム中C・小B・粒B／粘B，締B
2　10YR3/2　黒褐　ローム大D・中C・小B・粒B／粘B，締B

SK307



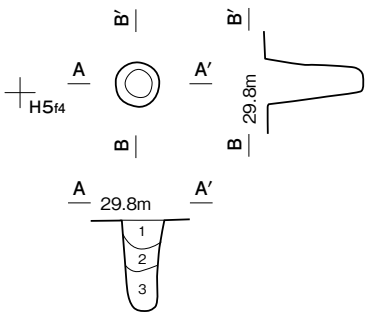
SK307　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム小C・粒C／粘B，締B

SK308



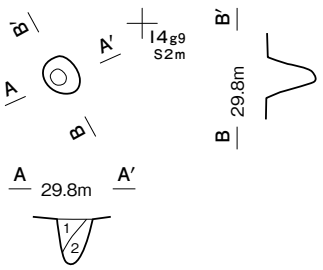
SK308　土層解説
1　7.5YR3/3　暗褐　ローム小D・粒D／粘B，締B

SK309



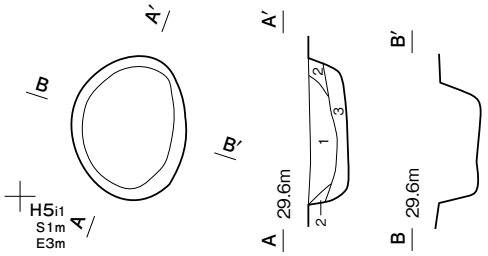
SK309　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム粒D，炭化粒D′／粘B，締B
2　10YR3/2　黒褐　ローム粒D′／粘B，締B
3　10YR3/2　黒褐　ローム粒C／粘B，締B

SK310



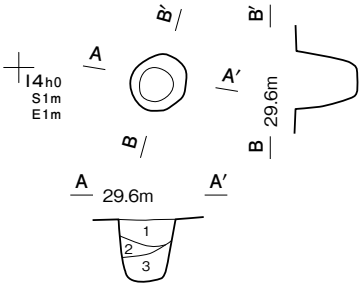
SK310　土層解説
1　10YR2/2　黒褐　ローム粒C／粘B，締B
2　10YR3/4　暗褐　ローム小C・粒B／粘B，締B

SK311



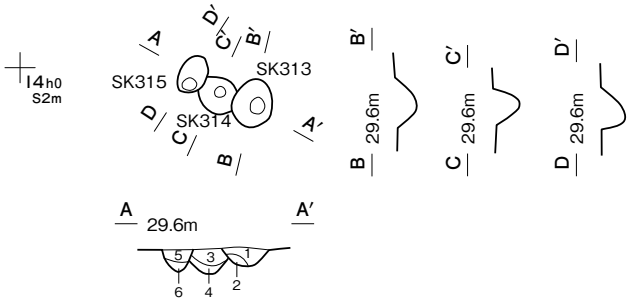
SK311　土層解説
1　10YR3/3　暗褐　ローム粒D，炭化粒D／粘B，締B
2　10YR4/3　にぶい黄褐　ローム粒D／粘B，締B
3　10YR4/3　にぶい黄褐　ローム小D・粒C／粘B，締B

SK312



SK312　土層解説
1　10YR4/4　褐　ローム中C・小B・粒B／粘B，締B
2　10YR3/4　暗褐　ローム小C・粒B／粘B，締B
3　10YR3/2　黒褐　ローム小B・粒B／粘B，締B

SK313～315



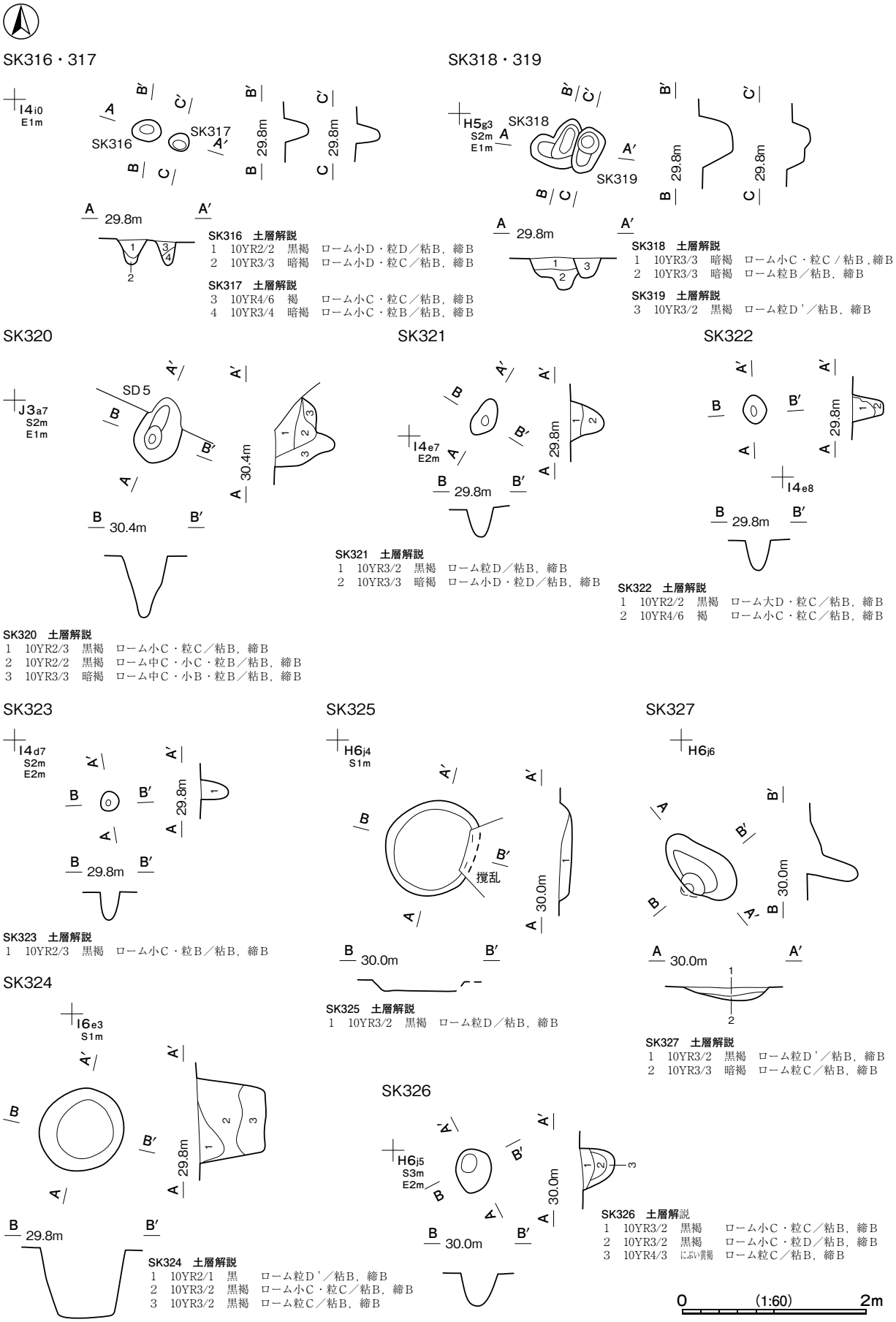
SK313　土層解説
1　10YR2/2　黒褐　ローム粒D／粘B，締B
2　10YR4/4　褐　ローム小C・粒C／粘B，締B

SK314　土層解説
3　10YR3/4　暗褐　ローム大D・中D／粘B，締B
4　10YR4/4　褐　ローム粒C／粘B，締B

SK315　土層解説
5　10YR4/6　褐　ローム小D・粒D／粘B，締B
6　10YR4/4　褐　ローム小D・粒C／粘B，締B

0　(1:60)　2m

第 471 図　時期不明土坑実測図(37)



SK316 土層解説
1 10YR2/2 黒褐 ローム小D・粒D／粘B，締B
2 10YR3/3 暗褐 ローム小D・粒C／粘B，締B

SK317 土層解説
3 10YR4/6 褐 ローム小C・粒C／粘B，締B
4 10YR3/4 暗褐 ローム小C・粒B／粘B，締B

SK318 土層解説
1 10YR3/3 暗褐 ローム小C・粒C／粘B，締B
2 10YR3/3 暗褐 ローム粒B／粘B，締B

SK319 土層解説
3 10YR3/2 黒褐 ローム粒D'／粘B，締B

SK320 土層解説
1 10YR2/3 黒褐 ローム小C・粒C／粘B，締B
2 10YR2/2 黒褐 ローム中C・小C・粒B／粘B，締B
3 10YR3/3 暗褐 ローム中C・小B・粒B／粘B，締B

SK321 土層解説
1 10YR3/2 黒褐 ローム粒D／粘B，締B
2 10YR3/3 暗褐 ローム小D・粒D／粘B，締B

SK322 土層解説
1 10YR2/2 黒褐 ローム大D・粒C／粘B，締B
2 10YR4/6 褐 ローム小C・粒C／粘B，締B

SK323 土層解説
1 10YR2/3 黒褐 ローム小C・粒B／粘B，締B

SK324 土層解説
1 10YR2/1 黒 ローム粒D'／粘B，締B
2 10YR3/2 黒褐 ローム小C・粒C／粘B，締B
3 10YR3/2 黒褐 ローム粒C／粘B，締B

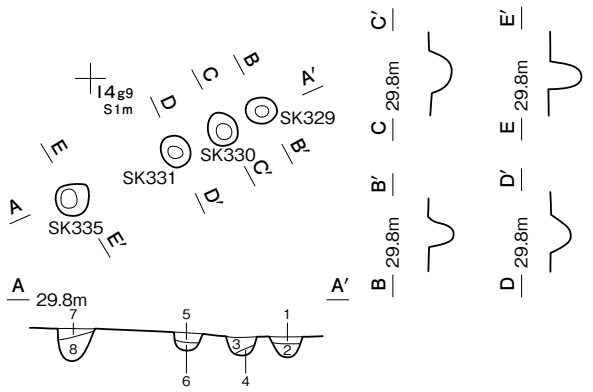
SK325 土層解説
1 10YR3/2 黒褐 ローム粒D／粘B，締B

SK326 土層解説
1 10YR3/2 黒褐 ローム小C・粒C／粘B，締B
2 10YR3/2 黒褐 ローム小C・粒D／粘B，締B
3 10YR4/3 にぶい黄褐 ローム粒C／粘B，締B

SK327 土層解説
1 10YR3/2 黒褐 ローム粒D'／粘B，締B
2 10YR3/3 暗褐 ローム粒C／粘B，締B

第 472 図　時期不明土坑実測図(38)

SK329 ～ 331・335



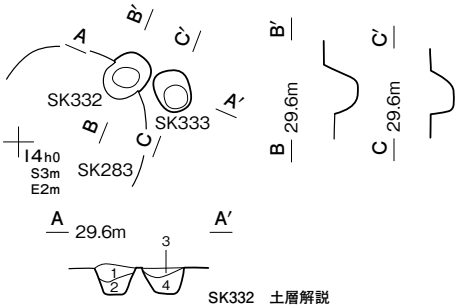
SK329　土層解説
1　10YR2/2　黒褐　ローム粒D／粘B，締B
2　10YR3/4　暗褐　ローム小C・粒D／粘B，締B

SK330　土層解説
3　10YR3/3　暗褐　ローム粒C／粘B，締B
4　10YR3/4　暗褐　ローム小C・粒B／粘B，締B

SK331　土層解説
5　10YR3/2　黒褐　ローム粒D／粘B，締B
6　10YR3/3　暗褐　ローム小D・粒D／粘B，締B

SK335　土層解説
7　10YR2/3　黒褐　ローム粒D／粘B，締B
8　10YR3/4　暗褐　ローム大D・中C／粘B，締B

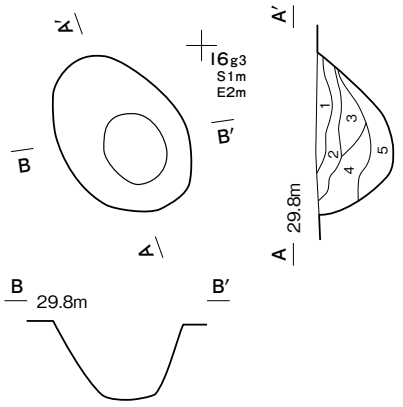
SK332・333



SK332　土層解説
1　10YR3/3　暗褐　ローム粒D／粘B，締B
2　10YR4/6　褐　ローム小D・粒D／粘B，締B

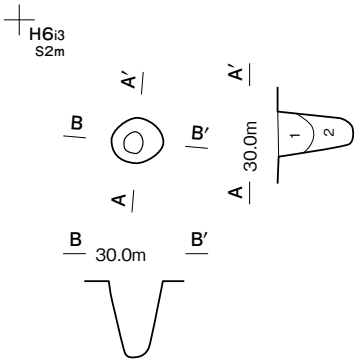
SK333　土層解説
3　10YR4/4　褐　ローム小D・粒C／粘B，締B
4　10YR4/6　褐　ローム小C・粒C／粘B，締B

SK334



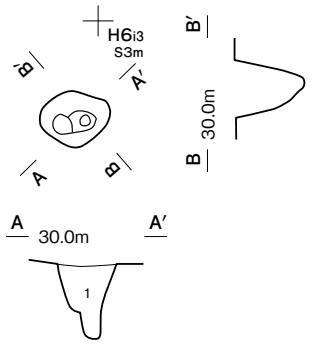
SK334　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム粒C／粘B，締B
2　10YR3/3　暗褐　ローム小C・粒B／粘B，締B
3　10YR3/3　暗褐　ローム小D・粒B／粘B，締B
4　10YR3/3　暗褐　ローム小D・粒C／粘B，締B
5　10YR4/3　にぶい黄褐　ローム中C・小D・粒C／粘B，締B

SK336



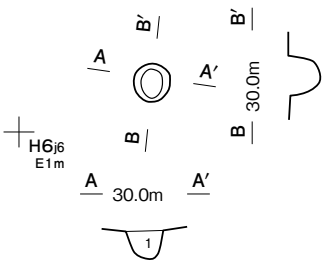
SK336　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム粒D／粘B，締B
2　10YR3/2　黒褐　ローム粒C／粘B，締B

SK337



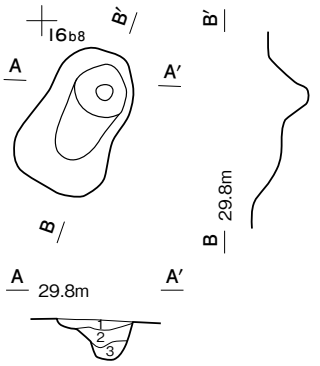
SK337　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム小C・粒B／粘B，締B

SK338



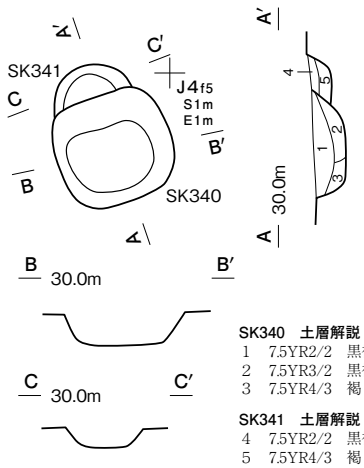
SK338　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム粒C／粘B，締B

SK339



SK339　土層解説
1　10YR3/3　暗褐　ローム粒D／粘B，締B
2　10YR3/2　黒褐　ローム小D・粒D／粘B，締B
3　10YR4/3　にぶい黄褐　ローム粒C／粘B，締B

SK340・341



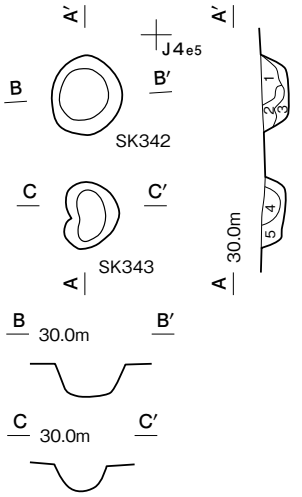
SK340　土層解説
1　7.5YR2/2　黒褐　ローム粒C／粘B，締B
2　7.5YR3/2　黒褐　ローム小C・粒B／粘B，締B
3　7.5YR4/3　褐　ローム小B／粘A，締A

SK341　土層解説
4　7.5YR2/2　黒褐　ローム粒D／粘B，締A
5　7.5YR4/3　褐　ローム小B／粘A，締A

0　(1:60)　2m

第 473 図　時期不明土坑実測図(39)

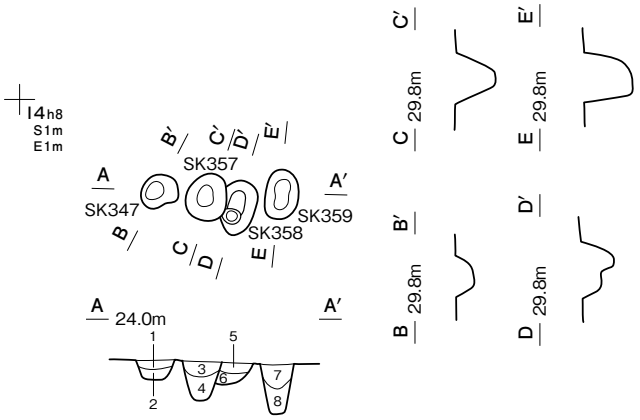
SK342・343



SK342　土層解説
1　7.5YR3/2　黒褐　ローム小D・粒C／粘B，締B
2　7.5YR3/3　暗褐　ローム粒B／粘B，締A
3　7.5YR4/3　褐　ローム中B／粘A，締A

SK343　土層解説
4　7.5YR3/2　黒褐　ローム小C・粒C／粘B，締A
5　7.5YR4/3　褐　ローム中B／粘B，締A

SK347・357～359



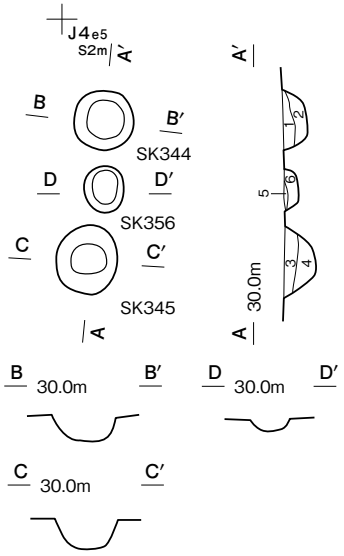
SK347　土層解説
1　10YR4/6　褐　ローム粒D／粘B，締B
2　10YR4/4　褐　ローム小D・粒D／粘B，締B

SK357　土層解説
3　10YR3/3　暗褐　ローム小D・粒D／粘B，締B
4　10YR2/2　黒褐　ローム小C・粒C／粘B，締B

SK358　土層解説
5　10YR3/4　暗褐　ローム粒C／粘B，締B
6　10YR4/6　褐　ローム小C・粒B／粘B，締B

SK359　土層解説
7　10YR2/3　黒褐　ローム小C・粒C／粘B，締B
8　10YR3/2　黒褐　ローム小C・粒B／粘B，締B

SK344・345・356

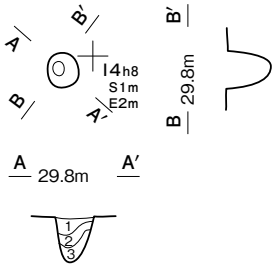


SK344　土層解説
1　7.5YR3/2　黒褐　ローム粒C／粘B，締A
2　7.5YR4/4　褐　ローム中B／粘A，締A

SK345　土層解説
3　7.5YR3/3　暗褐　ローム小B／粘B，締A
4　7.5YR2/3　極暗褐　ローム中D・小C／粘B，締B

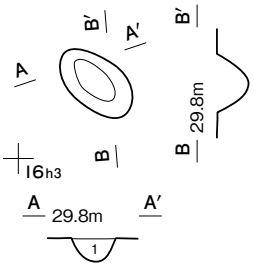
SK356　土層解説
5　7.5YR3/2　黒褐　ローム粒D／粘C，締A
6　7.5YR4/3　褐　ローム小B／粘B，締B

SK346



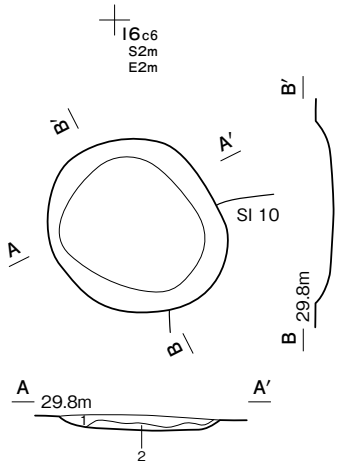
SK346　土層解説
1　10YR3/3　暗褐　ローム小C・粒C／粘B，締B
2　10YR3/4　暗褐　ローム中C・小C・粒B／粘B，締B
3　10YR3/4　暗褐　ローム大D・中C・小B・粒B／粘B，締B

SK348



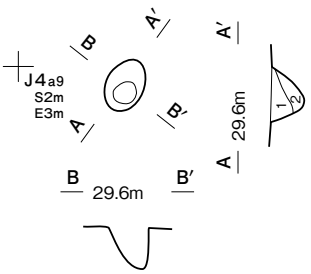
SK348　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム粒C／粘B，締B

SK349



SK349　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム粒C／粘B，締B
2　10YR3/3　暗褐　ローム小D・粒C／粘B，締B

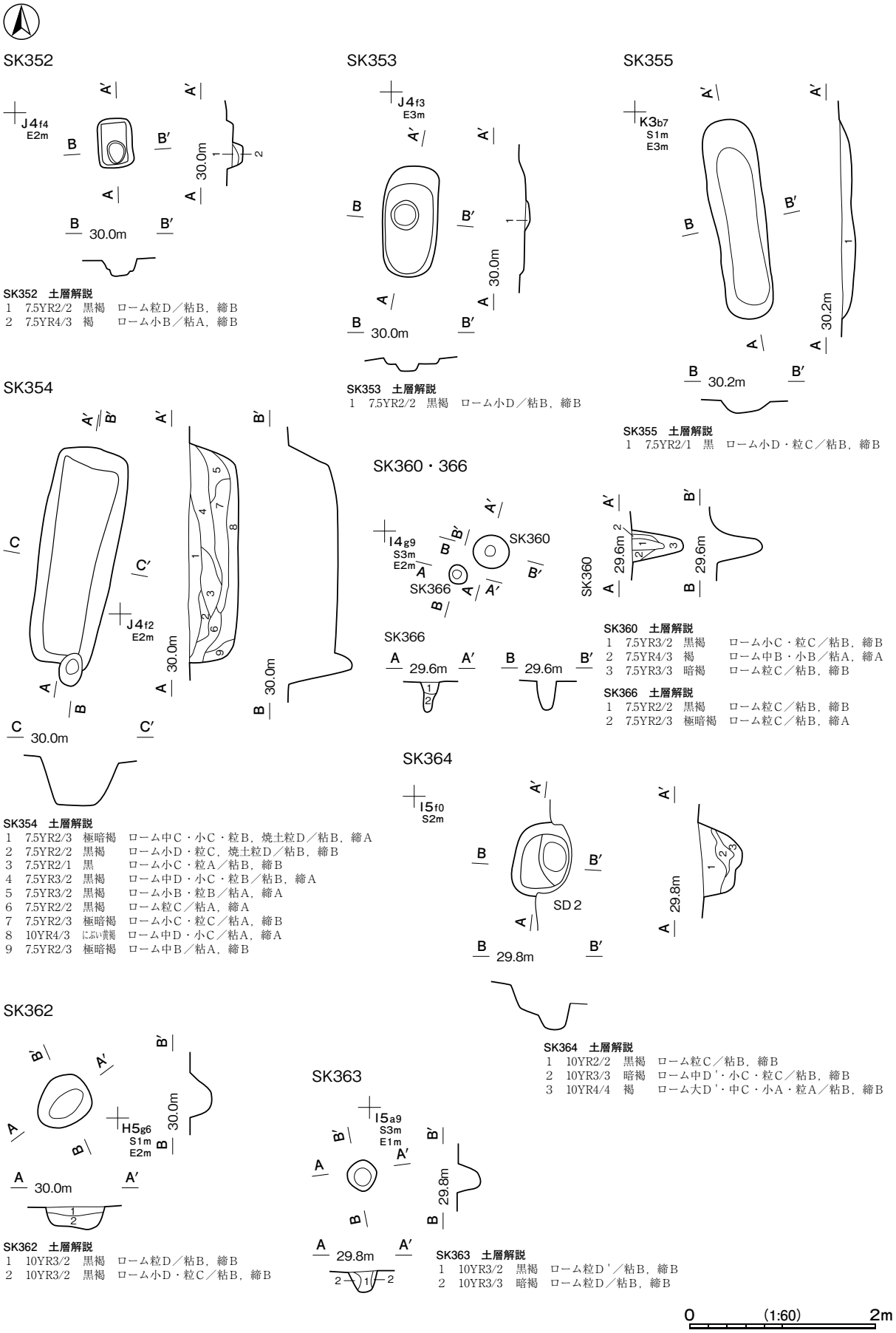
SK351



SK351　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム小C・粒B／粘B，締B
2　10YR3/4　暗褐　ローム中C・小C・粒B／粘B，締B

0　(1:60)　2m

第474図　時期不明土坑実測図(40)



SK352　土層解説
1　7.5YR2/2　黒褐　ローム粒D／粘B，締B
2　7.5YR4/3　褐　ローム小B／粘A，締B

SK353　土層解説
1　7.5YR2/2　黒褐　ローム小D／粘B，締B

SK355　土層解説
1　7.5YR2/1　黒　ローム小D・粒C／粘B，締B

SK354　土層解説
1　7.5YR2/3　極暗褐　ローム中C・小C・粒B，焼土粒D／粘B，締A
2　7.5YR2/2　黒褐　ローム小D・粒C，焼土粒D／粘B，締B
3　7.5YR2/1　黒　ローム小C・粒A／粘B，締B
4　7.5YR3/2　黒褐　ローム中D・小C・粒B／粘B，締A
5　7.5YR3/2　黒褐　ローム小B・粒B／粘A，締A
6　7.5YR2/2　黒褐　ローム粒C／粘A，締A
7　7.5YR2/3　極暗褐　ローム小C・粒C／粘A，締B
8　10YR4/3　にぶい黄褐　ローム中D・小C／粘A，締A
9　7.5YR2/3　極暗褐　ローム中B／粘A，締B

SK360　土層解説
1　7.5YR3/2　黒褐　ローム小C・粒C／粘B，締B
2　7.5YR4/3　褐　ローム中B・小B／粘A，締A
3　7.5YR3/3　暗褐　ローム粒C／粘B，締B

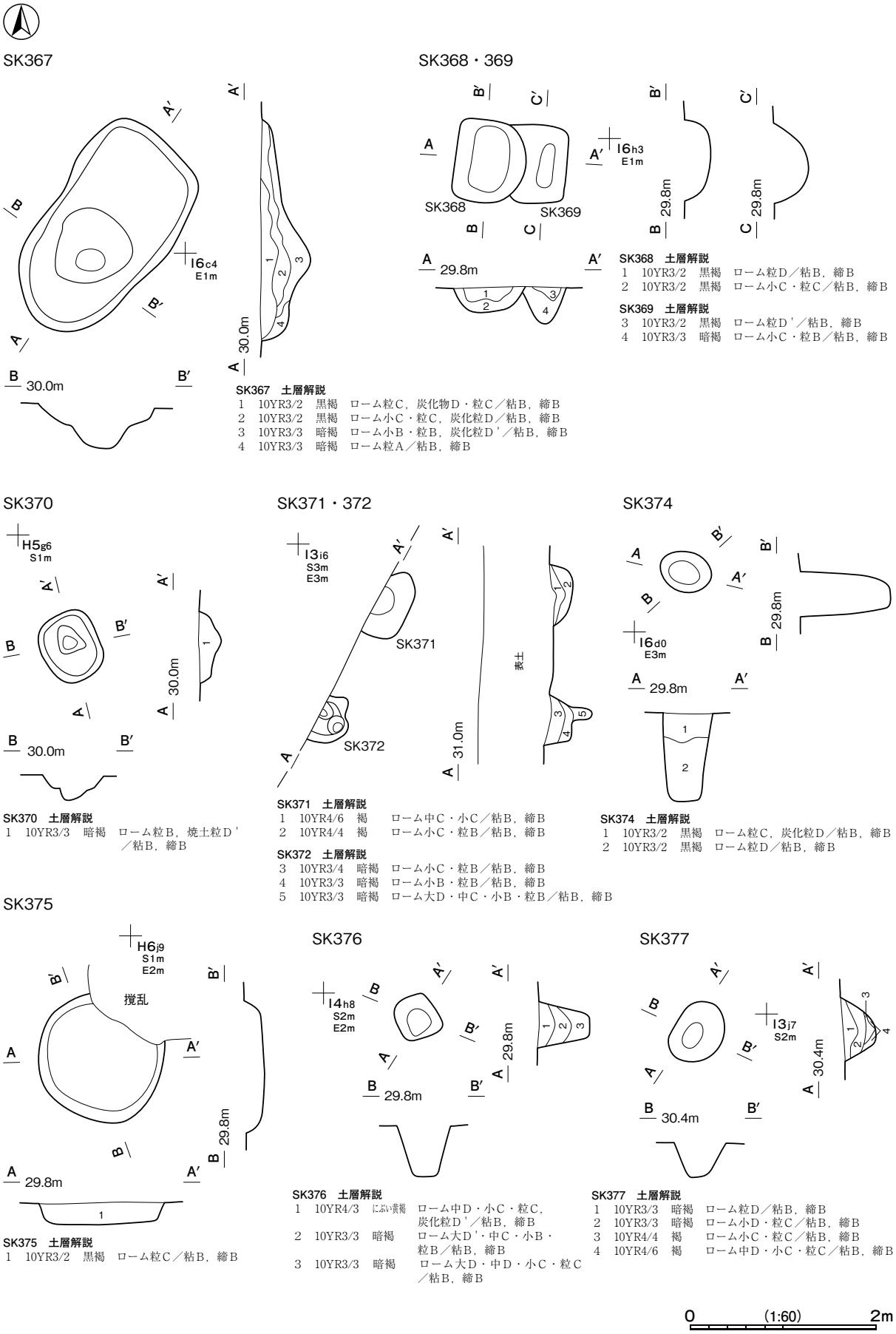
SK366　土層解説
1　7.5YR2/2　黒褐　ローム粒C／粘B，締B
2　7.5YR2/3　極暗褐　ローム粒C／粘B，締A

SK364　土層解説
1　10YR2/2　黒褐　ローム粒C／粘B，締B
2　10YR3/3　暗褐　ローム中D'・小C・粒C／粘B，締B
3　10YR4/4　褐　ローム大D'・中C・小A・粒A／粘B，締B

SK362　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム粒D／粘B，締B
2　10YR3/2　黒褐　ローム小D・粒C／粘B，締B

SK363　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム粒D'／粘B，締B
2　10YR3/3　暗褐　ローム粒D／粘B，締B

第 475 図　時期不明土坑実測図(41)



SK367　土層解説

1　10YR3/2　黒褐　ローム粒C，炭化物D・粒C／粘B，締B
2　10YR3/2　黒褐　ローム小C・粒C，炭化粒D／粘B，締B
3　10YR3/3　暗褐　ローム小B・粒B，炭化粒D'／粘B，締B
4　10YR3/3　暗褐　ローム粒A／粘B，締B

SK368　土層解説

1　10YR3/2　黒褐　ローム粒D／粘B，締B
2　10YR3/2　黒褐　ローム小C・粒C／粘B，締B

SK369　土層解説

3　10YR3/2　黒褐　ローム粒D'／粘B，締B
4　10YR3/3　暗褐　ローム小C・粒B／粘B，締B

SK370　土層解説

1　10YR3/3　暗褐　ローム粒B，焼土粒D'／粘B，締B

SK371　土層解説

1　10YR4/6　褐　ローム中C・小C／粘B，締B
2　10YR4/4　褐　ローム小C・粒B／粘B，締B

SK372　土層解説

3　10YR3/4　暗褐　ローム小C・粒B／粘B，締B
4　10YR3/3　暗褐　ローム小B・粒B／粘B，締B
5　10YR3/3　暗褐　ローム大D・中C・小B・粒B／粘B，締B

SK374　土層解説

1　10YR3/2　黒褐　ローム粒C，炭化粒D／粘B，締B
2　10YR3/2　黒褐　ローム粒D／粘B，締B

SK375　土層解説

1　10YR3/2　黒褐　ローム粒C／粘B，締B

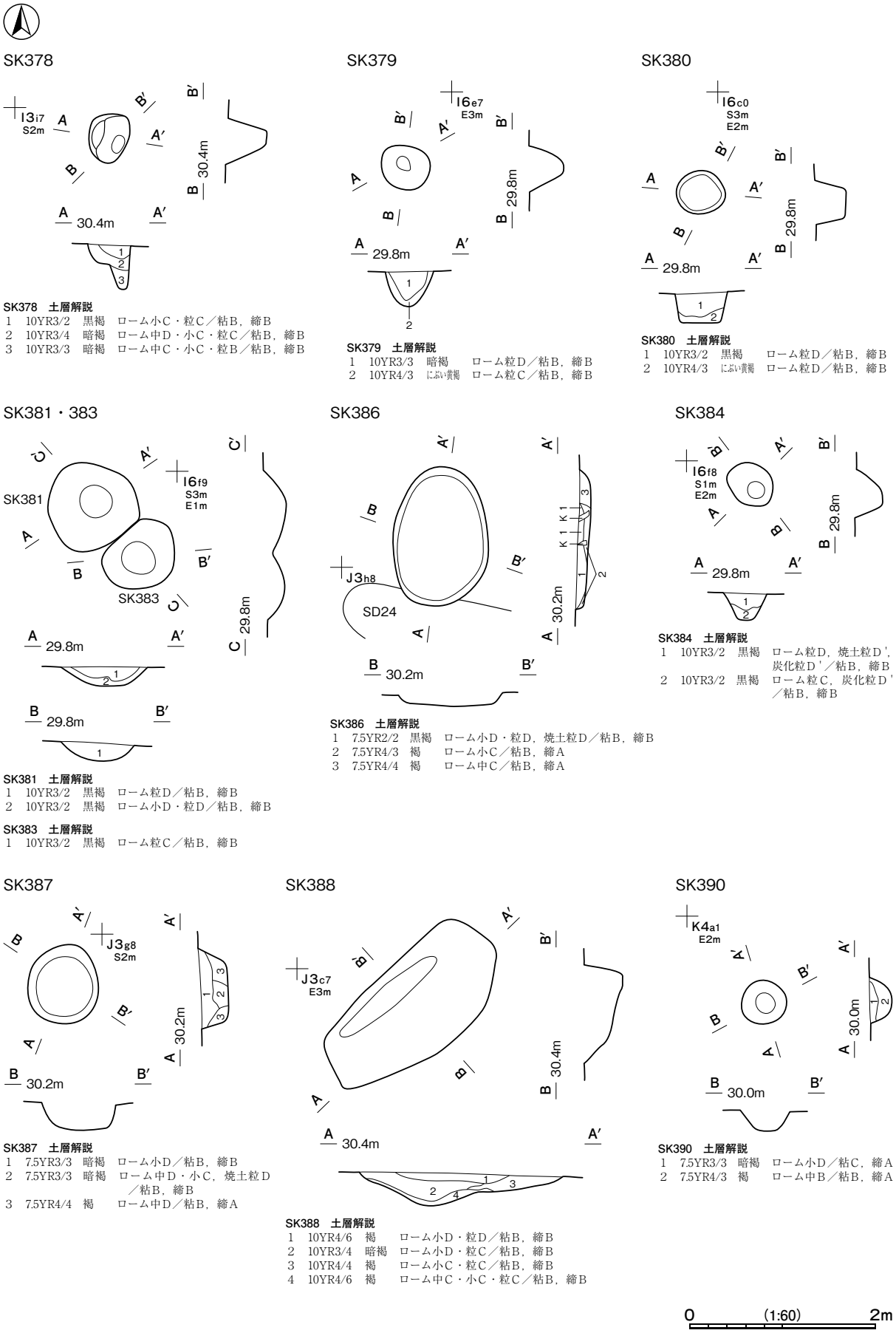
SK376　土層解説

1　10YR4/3　にぶい黄褐　ローム中D・小C・粒C，炭化粒D'／粘B，締B
2　10YR3/3　暗褐　ローム大D'・中C・小B・粒B／粘B，締B
3　10YR3/3　暗褐　ローム大D・中D・小C・粒C／粘B，締B

SK377　土層解説

1　10YR3/3　暗褐　ローム粒D／粘B，締B
2　10YR3/3　暗褐　ローム小D・粒C／粘B，締B
3　10YR4/4　褐　ローム小C・粒C／粘B，締B
4　10YR4/6　褐　ローム中D・小C・粒C／粘B，締B

第 476 図　時期不明土坑実測図(42)



SK378　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム小C・粒C／粘B，締B
2　10YR3/4　暗褐　ローム中D・小C・粒C／粘B，締B
3　10YR3/3　暗褐　ローム中C・小C・粒B／粘B，締B

SK379　土層解説
1　10YR3/3　暗褐　ローム粒D／粘B，締B
2　10YR4/3　にぶい黄褐　ローム粒C／粘B，締B

SK380　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム粒D／粘B，締B
2　10YR4/3　にぶい黄褐　ローム粒D／粘B，締B

SK381　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム粒D／粘B，締B
2　10YR3/2　黒褐　ローム小D・粒D／粘B，締B

SK383　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム粒C／粘B，締B

SK386　土層解説
1　7.5YR2/2　黒褐　ローム小D・粒D，焼土粒D／粘B，締B
2　7.5YR4/3　褐　ローム小C／粘B，締A
3　7.5YR4/4　褐　ローム中C／粘B，締A

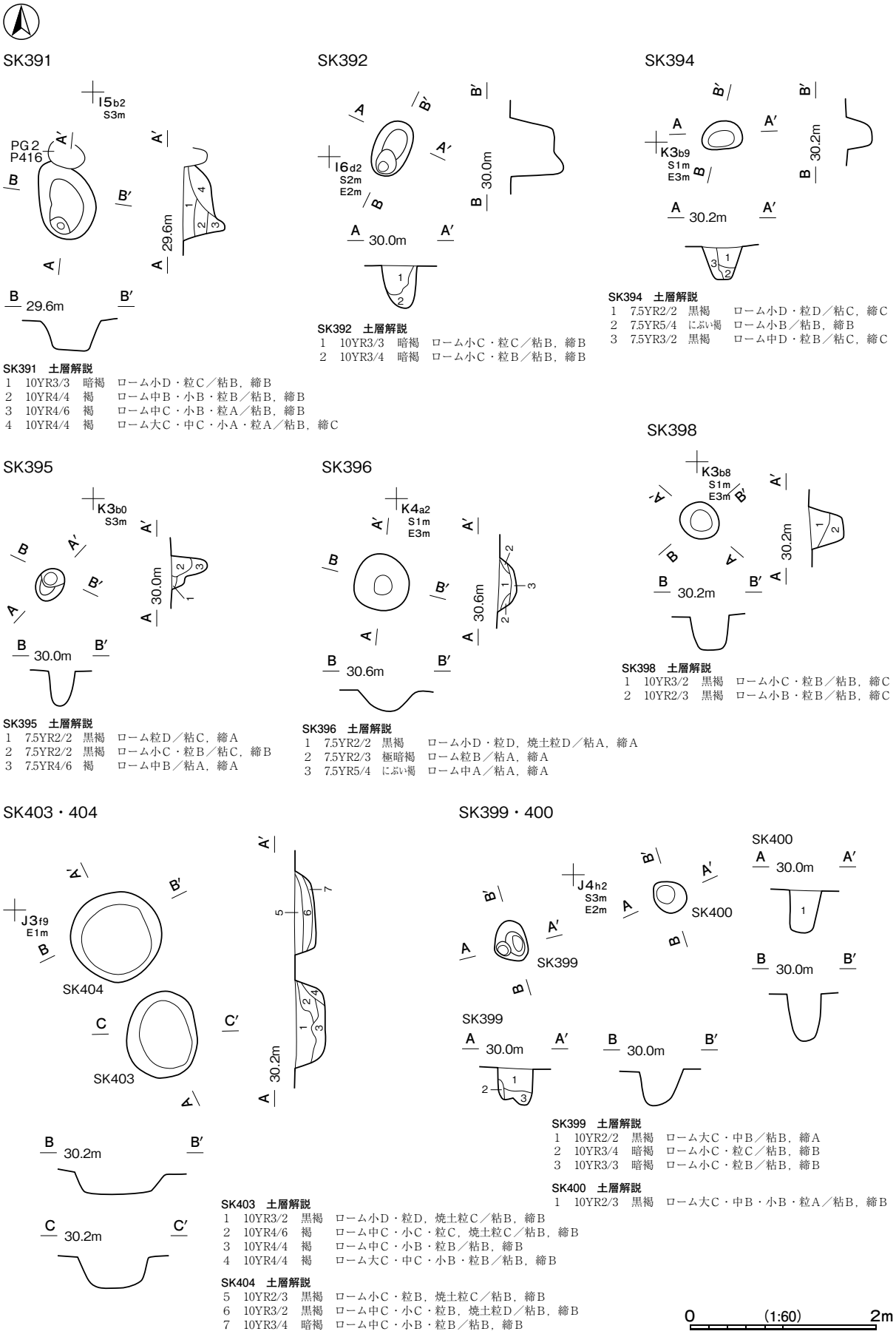
SK384　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム粒D，焼土粒D'，炭化粒D'／粘B，締B
2　10YR3/2　黒褐　ローム粒C，炭化粒D'／粘B，締B

SK387　土層解説
1　7.5YR3/3　暗褐　ローム小D／粘B，締B
2　7.5YR3/3　暗褐　ローム中D・小C，焼土粒D／粘B，締B
3　7.5YR4/4　褐　ローム中D／粘B，締A

SK388　土層解説
1　10YR4/6　褐　ローム小D・粒D／粘B，締B
2　10YR3/4　暗褐　ローム小D・粒C／粘B，締B
3　10YR4/4　褐　ローム小C・粒C／粘B，締B
4　10YR4/6　褐　ローム中C・小C・粒C／粘B，締B

SK390　土層解説
1　7.5YR3/3　暗褐　ローム小D／粘C，締A
2　7.5YR4/3　褐　ローム中B／粘B，締A

第 477 図　時期不明土坑実測図(43)



SK391　土層解説

1　10YR3/3　暗褐　ローム小D・粒C／粘B，締B
2　10YR4/4　褐　ローム中B・小B・粒B／粘B，締B
3　10YR4/6　褐　ローム中C・小B・粒A／粘B，締B
4　10YR4/4　褐　ローム大C・中C・小A・粒A／粘B，締C

SK392　土層解説

1　10YR3/3　暗褐　ローム小C・粒C／粘B，締B
2　10YR3/4　暗褐　ローム小C・粒B／粘B，締B

SK394　土層解説

1　7.5YR2/2　黒褐　ローム小D・粒D／粘C，締C
2　7.5YR5/4　にぶい褐　ローム小B／粘B，締B
3　7.5YR3/2　黒褐　ローム中D・粒B／粘C，締C

SK395　土層解説

1　7.5YR2/2　黒褐　ローム粒D／粘C，締A
2　7.5YR2/2　黒褐　ローム小C・粒B／粘C，締B
3　7.5YR4/6　褐　ローム中B／粘A，締A

SK396　土層解説

1　7.5YR2/2　黒褐　ローム小D・粒D，焼土粒D／粘A，締A
2　7.5YR2/3　極暗褐　ローム粒B／粘A，締A
3　7.5YR5/4　にぶい褐　ローム中A／粘A，締A

SK398　土層解説

1　10YR3/2　黒褐　ローム小C・粒B／粘B，締C
2　10YR2/3　黒褐　ローム小B・粒B／粘B，締C

SK399　土層解説

1　10YR2/2　黒褐　ローム大C・中B／粘B，締A
2　10YR3/4　暗褐　ローム小C・粒C／粘B，締B
3　10YR3/3　暗褐　ローム小C・粒B／粘B，締B

SK400　土層解説

1　10YR2/3　黒褐　ローム大C・中B・小B・粒A／粘B，締B

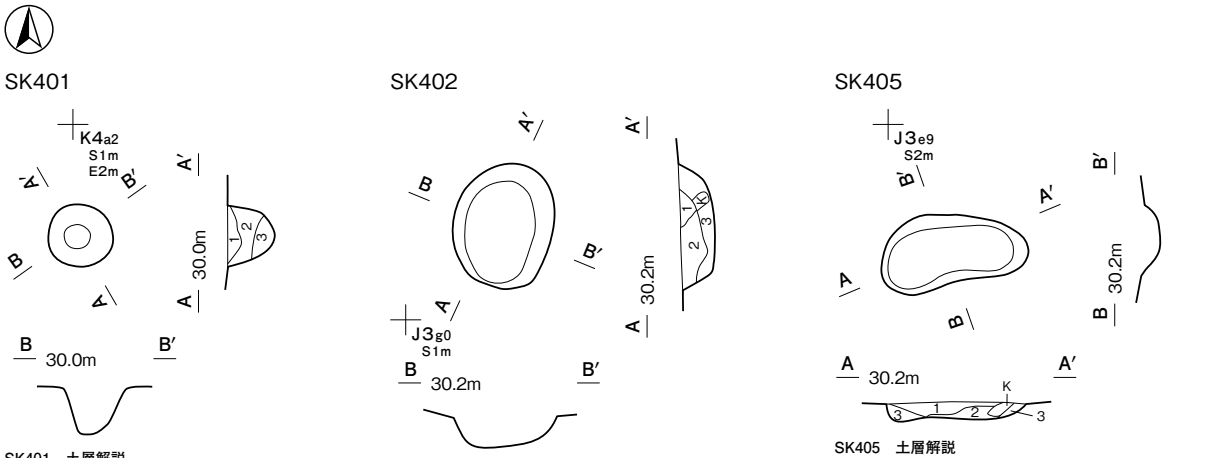
SK403　土層解説

1　10YR3/2　黒褐　ローム小D・粒D，焼土粒C／粘B，締B
2　10YR4/6　褐　ローム中C・小C・粒C，焼土粒C／粘B，締B
3　10YR4/4　褐　ローム中C・小B・粒B／粘B，締B
4　10YR4/4　褐　ローム大C・中C・小B・粒B／粘B，締B

SK404　土層解説

5　10YR2/3　黒褐　ローム小C・粒B，焼土粒C／粘B，締B
6　10YR3/2　黒褐　ローム中C・小C・粒B，焼土粒D／粘B，締B
7　10YR3/4　暗褐　ローム中C・小B・粒B／粘B，締B

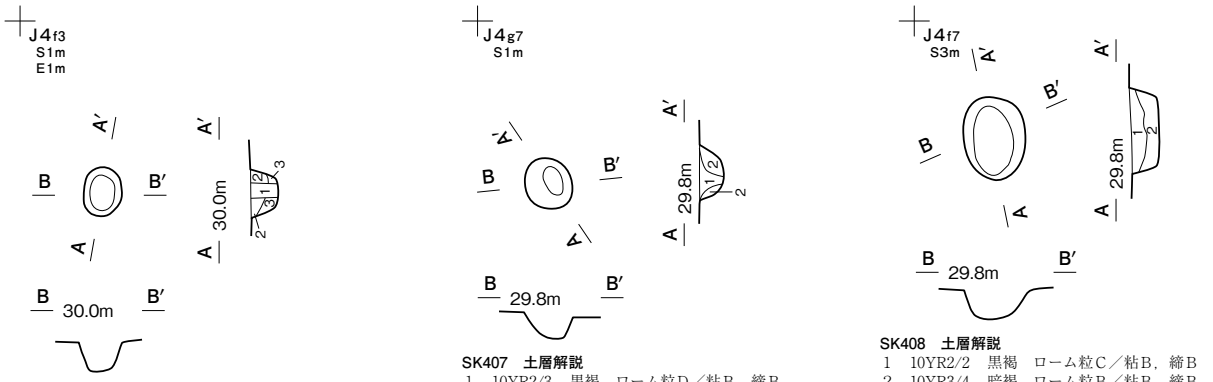
第 478 図　時期不明土坑実測図(44)



SK401　土層解説
1　7.5YR3/4　暗褐　ローム粒D，炭化粒D／粘B，締A
2　7.5YR4/4　褐　ローム中D・小C／粘A，締A
3　7.5YR4/3　褐　ローム中B／粘A，締A

SK402　土層解説
1　10YR2/2　黒褐　ローム粒D／粘B，締B
2　10YR3/2　黒褐　ローム中D・小C・粒C／粘B，締B
3　10YR4/6　褐　ローム大C・中C・小C・粒B／粘B，締B

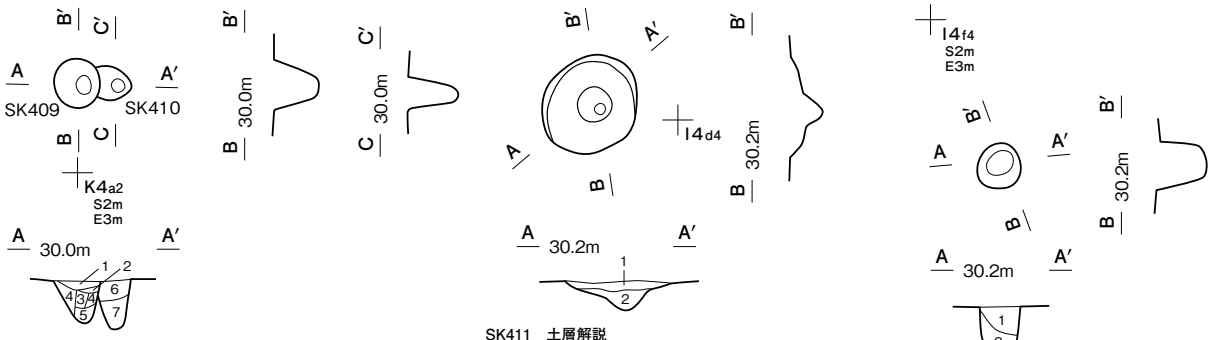
SK405　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム小D・粒D／粘B，締B
2　10YR4/6　褐　ローム小D・粒C／粘B，締B
3　10YR3/3　暗褐　ローム小C・粒C／粘B，締B



SK406　土層解説
1　10YR2/3　黒褐　ローム小C・粒C，焼土粒D／粘B，締B
2　10YR3/2　黒褐　ローム粒B，焼土粒C／粘B，締B
3　10YR3/4　暗褐　ローム小C・粒B／粘B，締B

SK407　土層解説
1　10YR2/3　黒褐　ローム粒D／粘B，締B
2　10YR4/6　褐　ローム小D・粒D／粘B，締A

SK408　土層解説
1　10YR2/2　黒褐　ローム粒C／粘B，締B
2　10YR3/4　暗褐　ローム粒B／粘B，締B



SK409　土層解説
1　7.5YR2/2　黒褐　ローム粒C／粘C，締A
2　7.5YR3/2　黒褐　ローム粒B／粘C，締A
3　7.5YR2/2　黒褐　ローム小D・粒C／粘C，締B
4　7.5YR3/3　暗褐　ローム小C・粒B／粘B，締A
5　7.5YR4/3　褐　ローム小B／粘B，締B

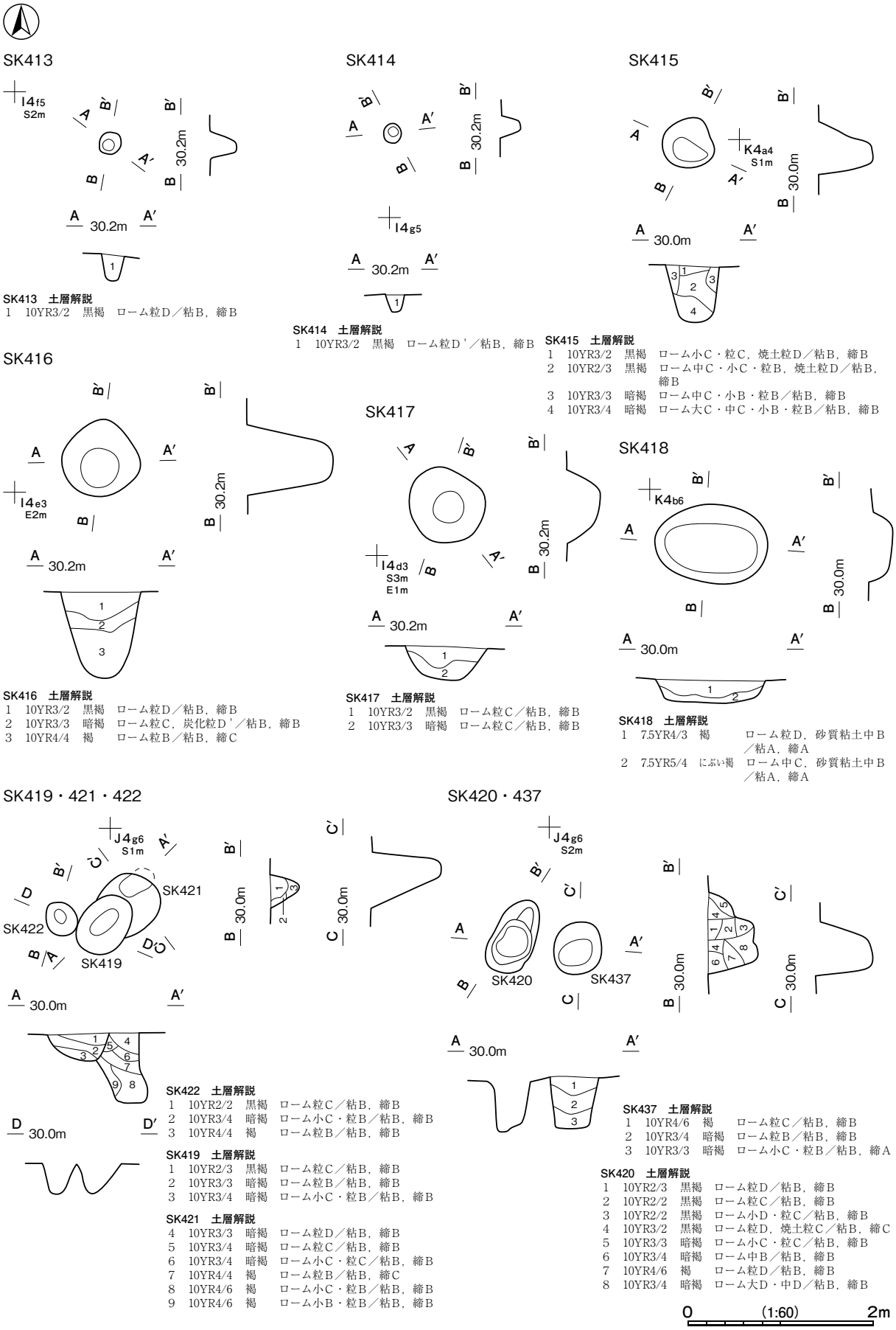
SK410　土層解説
6　7.5YR3/2　黒褐　ローム粒B／粘C，締A
7　7.5YR3/2　黒褐　ローム小D・粒D／粘C，締B

SK411　土層解説
1　10YR3/4　暗褐　ローム小D・粒B／粘B，締A
2　10YR4/4　褐　ローム小B・粒A／粘B，締B

SK412　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム粒C／粘B，締B
2　10YR4/3　にぶい黄褐　ローム粒B／粘B，締B

0　(1:60)　2m

第 479 図　時期不明土坑実測図(45)



SK413　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム粒D／粘B，締B

SK414　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム粒D′／粘B，締B

SK415　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム小C・粒C，焼土粒D／粘B，締B
2　10YR2/3　黒褐　ローム中C・小C・粒B，焼土粒D／粘B，締B
3　10YR3/3　暗褐　ローム中C・小B・粒B／粘B，締B
4　10YR3/4　暗褐　ローム大C・中C・小B・粒B／粘B，締B

SK416　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム粒D／粘B，締B
2　10YR3/3　暗褐　ローム粒C，炭化粒D′／粘B，締B
3　10YR4/4　褐　ローム粒B／粘B，締C

SK417　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム粒C／粘B，締B
2　10YR3/3　暗褐　ローム粒C／粘B，締B

SK418　土層解説
1　7.5YR4/3　褐　ローム粒D，砂質粘土中B／粘A，締A
2　7.5YR5/4　にぶい褐　ローム中C，砂質粘土中B／粘A，締A

SK422　土層解説
1　10YR2/2　黒褐　ローム粒C／粘B，締B
2　10YR3/4　暗褐　ローム小C・粒B／粘B，締B
3　10YR4/4　褐　ローム粒B／粘B，締B

SK419　土層解説
1　10YR2/3　黒褐　ローム粒C／粘B，締B
2　10YR3/3　暗褐　ローム粒B／粘B，締B
3　10YR3/4　暗褐　ローム小C・粒B／粘B，締B

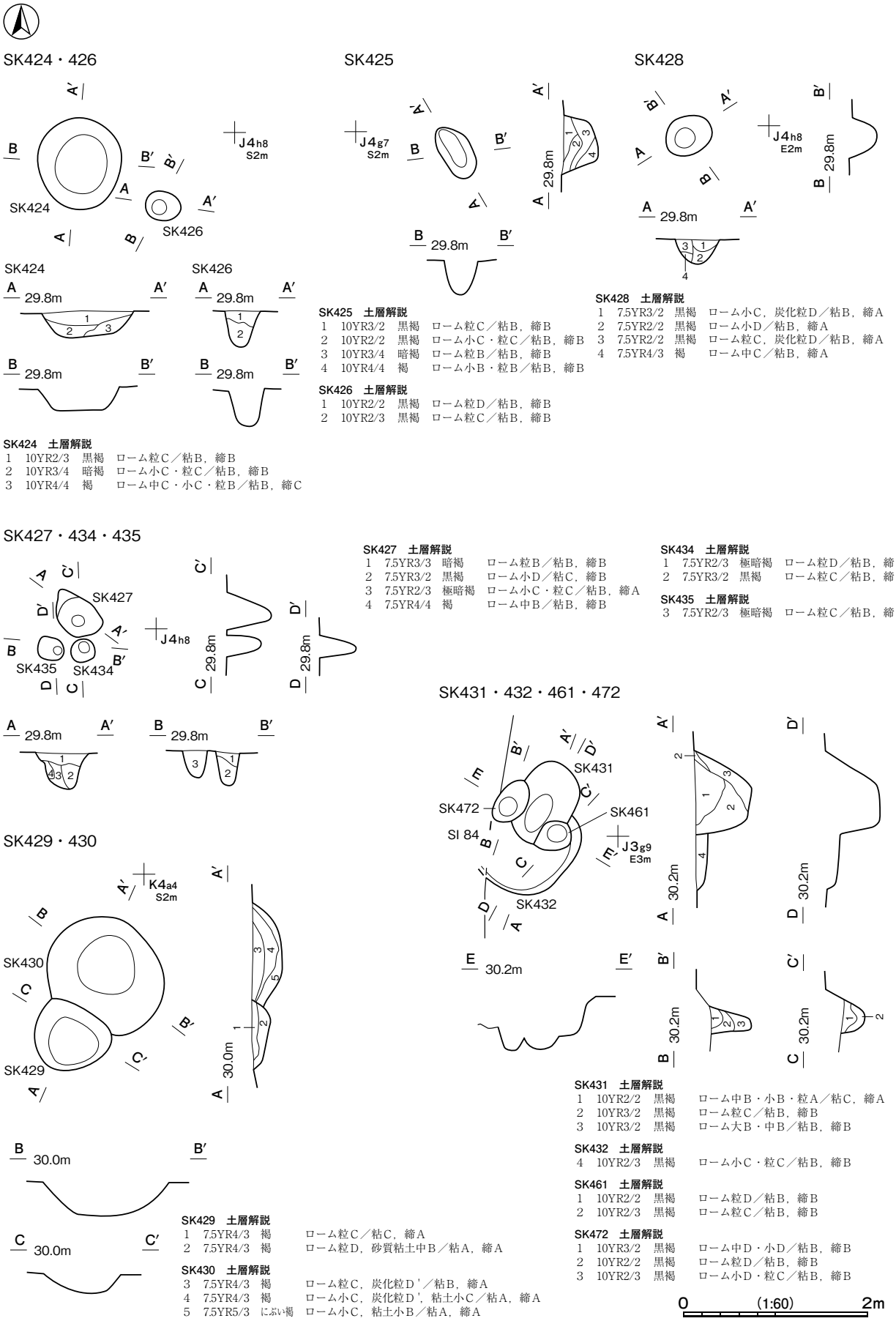
SK421　土層解説
4　10YR3/3　暗褐　ローム粒D／粘B，締B
5　10YR3/4　暗褐　ローム粒C／粘B，締B
6　10YR3/4　暗褐　ローム小C・粒C／粘B，締B
7　10YR4/4　褐　ローム粒B／粘B，締C
8　10YR4/6　褐　ローム小C・粒B／粘B，締B
9　10YR4/6　褐　ローム小B・粒B／粘B，締B

SK437　土層解説
1　10YR4/6　褐　ローム粒C／粘B，締B
2　10YR3/4　暗褐　ローム粒B／粘B，締B
3　10YR3/3　暗褐　ローム小C・粒B／粘B，締A

SK420　土層解説
1　10YR2/3　黒褐　ローム粒D／粘B，締B
2　10YR2/2　黒褐　ローム粒C／粘B，締B
3　10YR2/2　黒褐　ローム小D・粒C／粘B，締B
4　10YR3/2　黒褐　ローム粒D，焼土粒C／粘B，締C
5　10YR3/3　暗褐　ローム小C・粒C／粘B，締B
6　10YR3/4　暗褐　ローム中B／粘B，締B
7　10YR4/6　褐　ローム粒D／粘B，締B
8　10YR3/4　暗褐　ローム大D・中D／粘B，締B

0　(1:60)　2m

第480図　時期不明土坑実測図(46)



SK425 土層解説

1	10YR3/2	黒褐	ローム粒C／粘B，締B
2	10YR2/2	黒褐	ローム小C・粒C／粘B，締B
3	10YR3/4	暗褐	ローム粒B／粘B，締B
4	10YR4/4	褐	ローム小B・粒B／粘B，締B

SK426 土層解説

1	10YR2/2	黒褐	ローム粒D／粘B，締B
2	10YR2/3	黒褐	ローム粒C／粘B，締B

SK428 土層解説

1	7.5YR3/2	黒褐	ローム小C，炭化粒D／粘B，締A
2	7.5YR2/2	黒褐	ローム小D／粘B，締A
3	7.5YR2/2	黒褐	ローム粒C，炭化粒D／粘B，締A
4	7.5YR4/3	褐	ローム中C／粘B，締A

SK424 土層解説

1	10YR2/3	黒褐	ローム粒C／粘B，締B
2	10YR3/4	暗褐	ローム小C・粒C／粘B，締B
3	10YR4/4	褐	ローム中C・小C・粒B／粘B，締C

SK427 土層解説

1	7.5YR3/3	暗褐	ローム粒B／粘B，締B
2	7.5YR3/2	黒褐	ローム小D／粘C，締B
3	7.5YR2/3	極暗褐	ローム小C・粒C／粘B，締A
4	7.5YR4/4	褐	ローム中B／粘B，締B

SK434 土層解説

1	7.5YR2/3	極暗褐	ローム粒D／粘B，締B
2	7.5YR3/2	黒褐	ローム粒C／粘B，締B

SK435 土層解説

3	7.5YR2/3	極暗褐	ローム粒C／粘B，締B

SK429 土層解説

1	7.5YR4/3	褐	ローム粒C／粘C，締A
2	7.5YR4/3	褐	ローム粒D，砂質粘土中B／粘A，締A

SK430 土層解説

3	7.5YR4/3	褐	ローム粒C，炭化粒D'／粘B，締A
4	7.5YR4/3	褐	ローム小C，炭化粒D'，粘土小C／粘A，締A
5	7.5YR5/3	にぶい褐	ローム小C，粘土小B／粘A，締A

SK431 土層解説

1	10YR2/2	黒褐	ローム中B・小B・粒A／粘C，締A
2	10YR3/2	黒褐	ローム粒C／粘B，締B
3	10YR3/2	黒褐	ローム大B・中B／粘B，締B

SK432 土層解説

4	10YR2/3	黒褐	ローム小C・粒C／粘B，締B

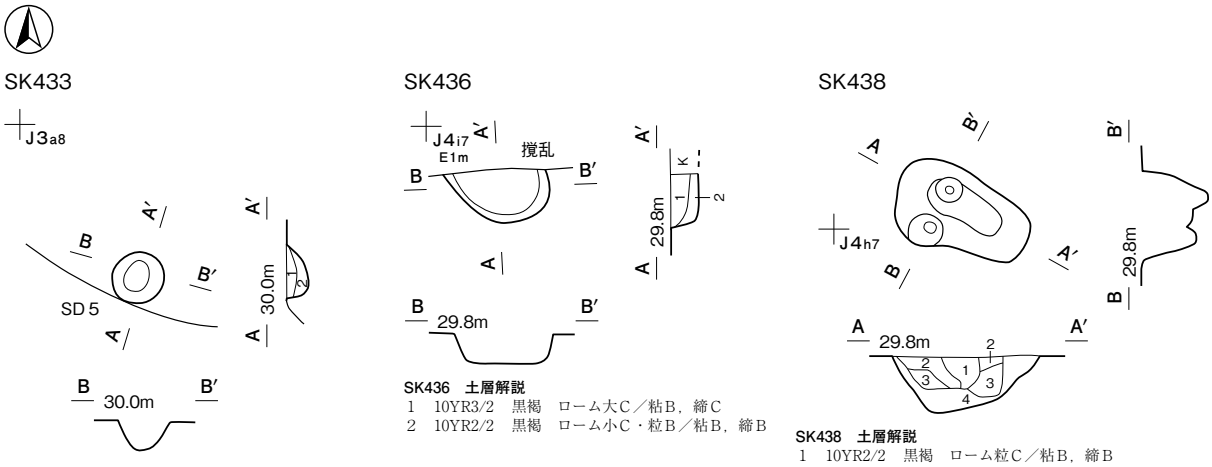
SK461 土層解説

1	10YR2/2	黒褐	ローム粒D／粘B，締B
2	10YR2/3	黒褐	ローム粒C／粘B，締B

SK472 土層解説

1	10YR3/2	黒褐	ローム中D・小D／粘B，締B
2	10YR2/2	黒褐	ローム粒D／粘B，締B
3	10YR2/3	黒褐	ローム小D・粒C／粘B，締B

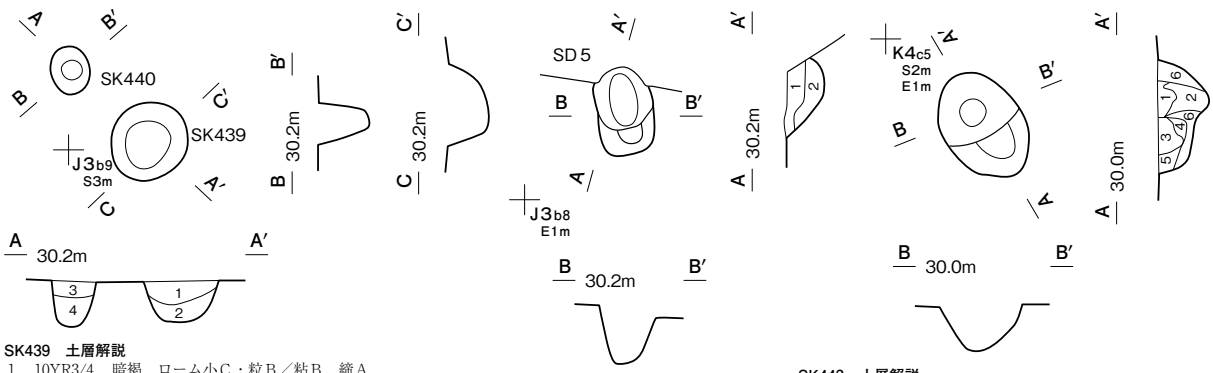
第481図　時期不明土坑実測図(47)



SK433　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム粒D／粘B，締B
2　10YR3/4　暗褐　ローム粒C／粘B，締B

SK436　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム大C／粘B，締C
2　10YR2/2　黒褐　ローム小C・粒B／粘B，締B

SK438　土層解説
1　10YR2/2　黒褐　ローム粒C／粘B，締B
2　10YR3/4　暗褐　ローム粒B／粘B，締C
3　10YR3/2　黒褐　ローム小C・粒B／粘B，締B
4　10YR4/6　褐　ローム中C・小B・粒B／粘B，締B

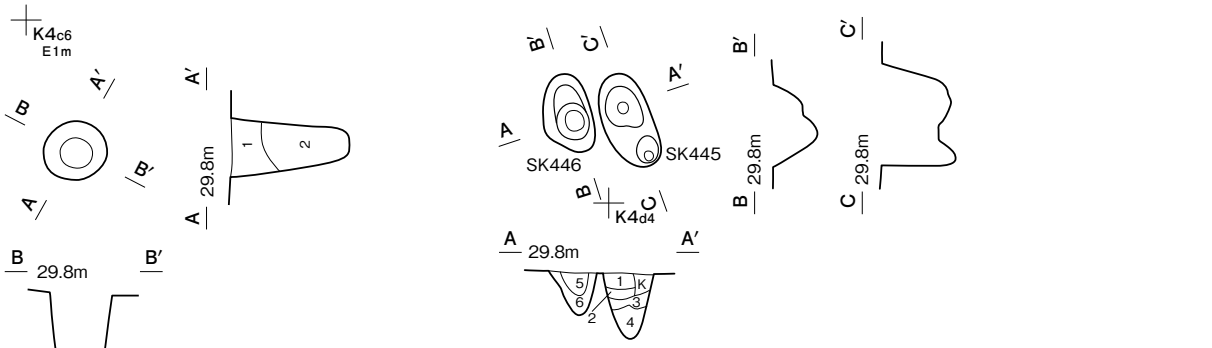


SK439　土層解説
1　10YR3/4　暗褐　ローム小C・粒B／粘B，締A
2　10YR4/6　褐　ローム小B・粒B／粘B，締B

SK440　土層解説
3　10YR2/2　黒褐　ローム粒C，焼土粒C／粘B，締A
4　10YR2/3　黒褐　ローム粒B／粘B，締B

SK441　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム粒C／粘B，締A
2　10YR3/3　暗褐　ローム粒B／粘B，締B

SK443　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム粒D／粘B，締B
2　10YR2/2　黒褐　ローム小D・粒D／粘B，締B
3　10YR2/3　黒褐　ローム粒C／粘B，締B
4　10YR3/3　暗褐　ローム小C・粒C／粘B，締B
5　10YR3/4　暗褐　ローム小C・粒B／粘B，締B
6　10YR4/6　褐　ローム中C・小C・粒B／粘B，締B



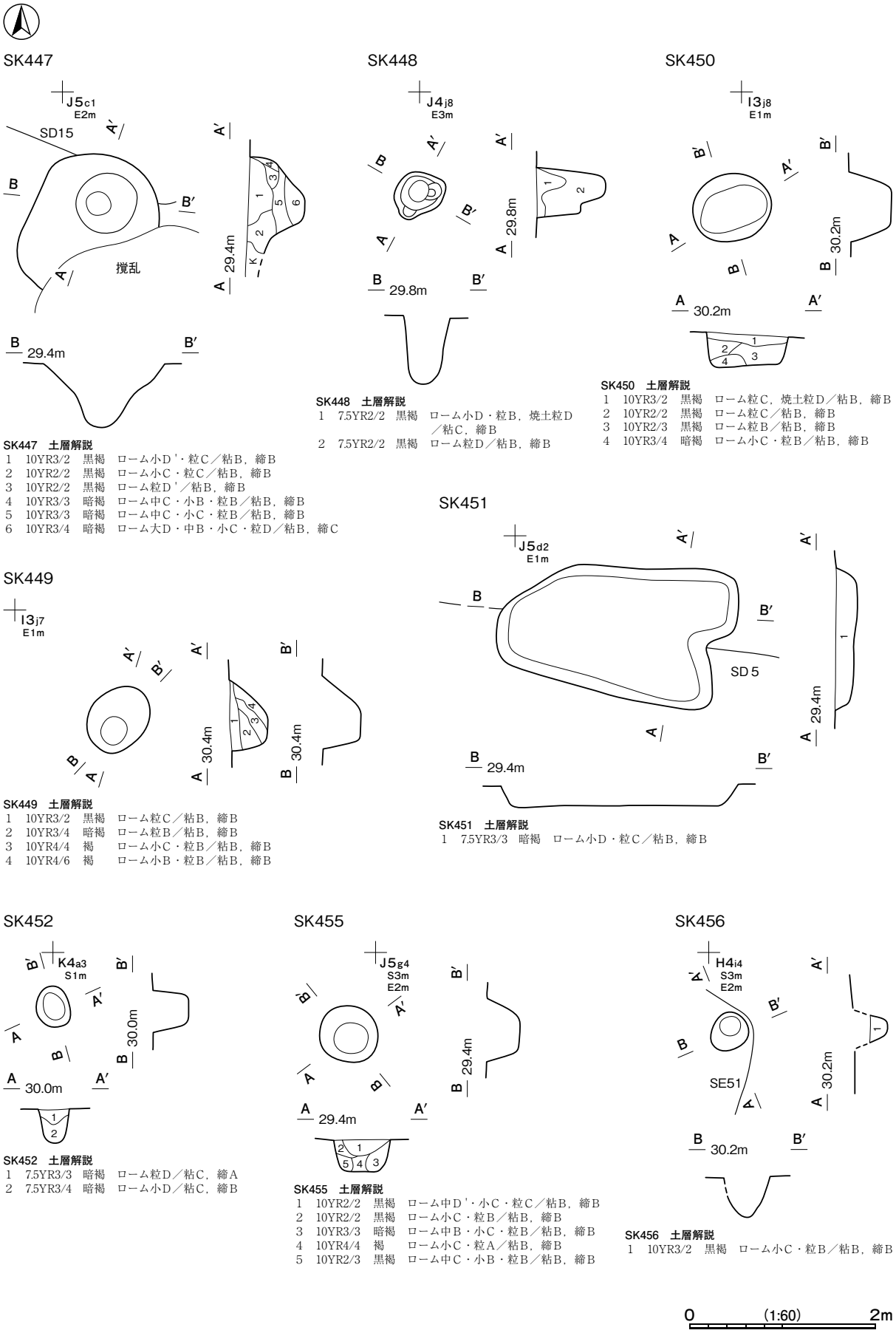
SK442　土層解説
1　10YR2/2　黒褐　ローム大C・中C・小B／粘B，締C
2　10YR2/3　黒褐　ローム粒C／粘B，締B

SK445　土層解説
1　10YR3/3　暗褐　ローム粒C／粘B，締B
2　10YR3/2　黒褐　ローム粒B／粘B，締B
3　10YR3/4　暗褐　ローム小C・粒C／粘B，締B
4　10YR4/6　褐　ローム小C・粒B／粘B，締B

SK446　土層解説
5　10YR3/2　黒褐　ローム粒B／粘B，締C
6　10YR3/4　暗褐　ローム小C・粒B／粘B，締B

0　(1:60)　2m

第 482 図　時期不明土坑実測図(48)



SK447　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム小D'・粒C／粘B，締B
2　10YR2/2　黒褐　ローム小C・粒C／粘B，締B
3　10YR2/2　黒褐　ローム粒D'／粘B，締B
4　10YR3/3　暗褐　ローム中C・小B・粒B／粘B，締B
5　10YR3/3　暗褐　ローム中C・小C・粒B／粘B，締B
6　10YR3/4　暗褐　ローム大D・中B・小C・粒D／粘B，締C

SK448　土層解説
1　7.5YR2/2　黒褐　ローム小D・粒B，焼土粒D／粘C，締B
2　7.5YR2/2　黒褐　ローム粒D／粘B，締B

SK450　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム粒C，焼土粒D／粘B，締B
2　10YR2/2　黒褐　ローム粒C／粘B，締B
3　10YR2/3　黒褐　ローム粒B／粘B，締B
4　10YR3/4　暗褐　ローム小C・粒B／粘B，締B

SK449　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム粒C／粘B，締B
2　10YR3/4　暗褐　ローム粒B／粘B，締B
3　10YR4/4　褐　ローム小C・粒B／粘B，締B
4　10YR4/6　褐　ローム小B・粒B／粘B，締B

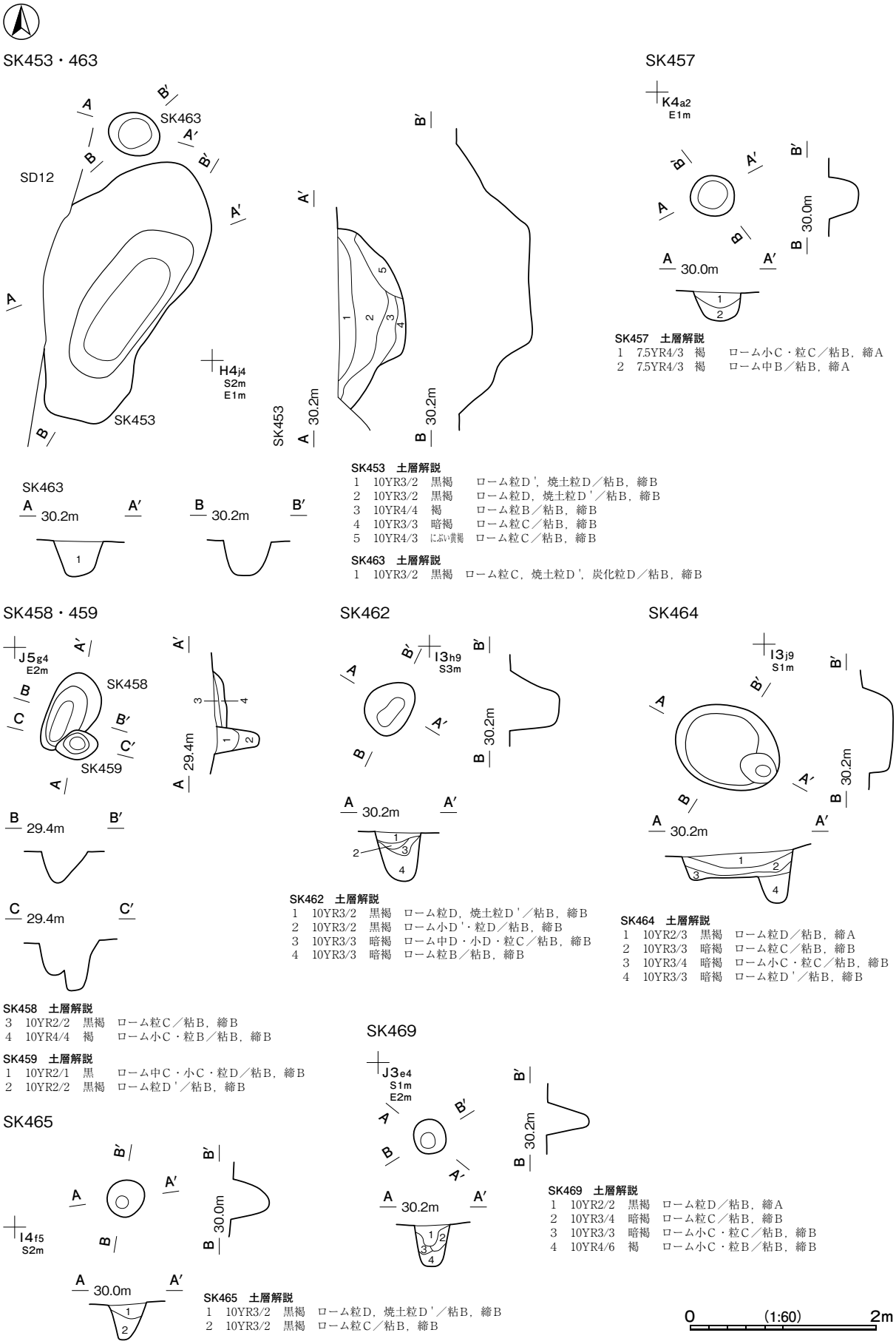
SK451　土層解説
1　7.5YR3/3　暗褐　ローム小D・粒C／粘B，締B

SK452　土層解説
1　7.5YR3/3　暗褐　ローム粒D／粘C，締A
2　7.5YR3/4　暗褐　ローム小D／粘C，締B

SK455　土層解説
1　10YR2/2　黒褐　ローム中D'・小C・粒C／粘B，締B
2　10YR2/2　黒褐　ローム小C・粒B／粘B，締B
3　10YR3/3　暗褐　ローム中B・小C・粒B／粘B，締B
4　10YR4/4　褐　ローム小C・粒A／粘B，締B
5　10YR2/3　黒褐　ローム中C・小B・粒B／粘B，締B

SK456　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム小C・粒B／粘B，締B

第 483 図　時期不明土坑実測図(49)



SK453　土層解説

1　10YR3/2　黒褐　ローム粒D'，焼土粒D／粘B，締B
2　10YR3/2　黒褐　ローム粒D，焼土粒D'／粘B，締B
3　10YR4/4　褐　ローム粒B／粘B，締B
4　10YR3/3　暗褐　ローム粒C／粘B，締B
5　10YR4/3　にぶい黄褐　ローム粒C／粘B，締B

SK463　土層解説

1　10YR3/2　黒褐　ローム粒C，焼土粒D'，炭化粒D／粘B，締B

SK457　土層解説

1　7.5YR4/3　褐　ローム小C・粒C／粘B，締A
2　7.5YR4/3　褐　ローム中B／粘B，締A

SK458　土層解説

3　10YR2/2　黒褐　ローム粒C／粘B，締B
4　10YR4/4　褐　ローム小C・粒B／粘B，締B

SK459　土層解説

1　10YR2/1　黒　ローム中C・小C・粒D／粘B，締B
2　10YR2/2　黒褐　ローム粒D'／粘B，締B

SK462　土層解説

1　10YR3/2　黒褐　ローム粒D，焼土粒D'／粘B，締B
2　10YR3/2　黒褐　ローム小D'・粒D／粘B，締B
3　10YR3/3　暗褐　ローム中D・小D・粒C／粘B，締B
4　10YR3/3　暗褐　ローム粒B／粘B，締B

SK464　土層解説

1　10YR2/3　黒褐　ローム粒D／粘B，締A
2　10YR3/3　暗褐　ローム粒C／粘B，締B
3　10YR3/4　暗褐　ローム小C・粒C／粘B，締B
4　10YR3/3　暗褐　ローム粒D'／粘B，締B

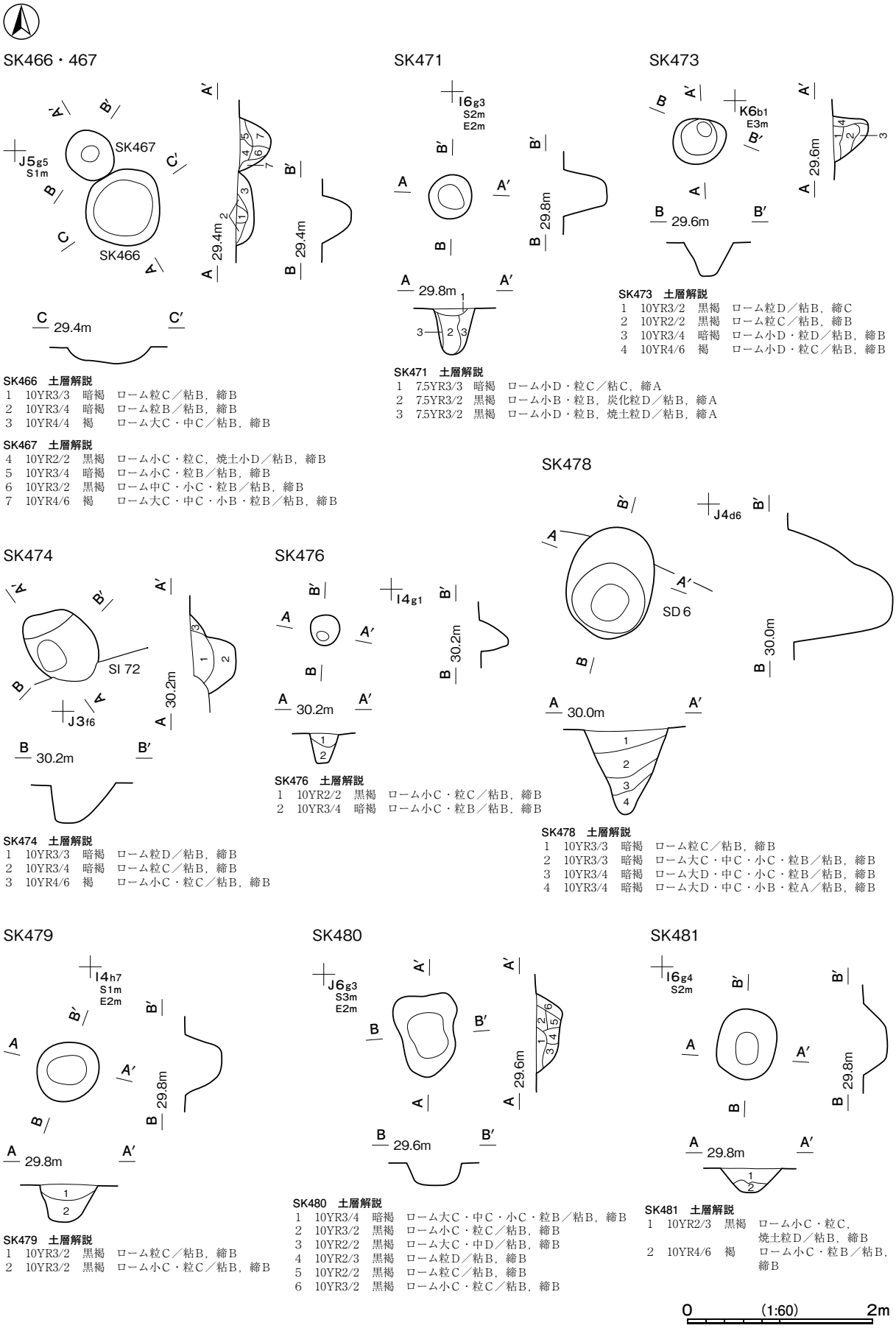
SK465　土層解説

1　10YR3/2　黒褐　ローム粒D，焼土粒D'／粘B，締B
2　10YR3/2　黒褐　ローム粒C／粘B，締B

SK469　土層解説

1　10YR2/2　黒褐　ローム粒D／粘B，締A
2　10YR3/4　暗褐　ローム粒C／粘B，締B
3　10YR3/3　暗褐　ローム小C・粒C／粘B，締B
4　10YR4/6　褐　ローム小C・粒B／粘B，締B

第 484 図　時期不明土坑実測図(50)



SK466　土層解説
1　10YR3/3　暗褐　ローム粒C／粘B，締B
2　10YR3/4　暗褐　ローム粒B／粘B，締B
3　10YR4/4　褐　ローム大C・中C／粘B，締B

SK467　土層解説
4　10YR2/2　黒褐　ローム小C・粒C，焼土小D／粘B，締B
5　10YR3/4　暗褐　ローム小C・粒B／粘B，締B
6　10YR3/2　黒褐　ローム中C・小C・粒B／粘B，締B
7　10YR4/6　褐　ローム大C・中C・小B・粒B／粘B，締B

SK471　土層解説
1　7.5YR3/3　暗褐　ローム小D・粒C／粘C，締A
2　7.5YR3/2　黒褐　ローム小B・粒B，炭化粒D／粘B，締A
3　7.5YR3/2　黒褐　ローム小D・粒B，焼土粒D／粘B，締A

SK473　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム粒D／粘B，締C
2　10YR2/2　黒褐　ローム粒C／粘B，締B
3　10YR3/4　暗褐　ローム小D・粒D／粘B，締B
4　10YR4/6　褐　ローム小D・粒C／粘B，締B

SK474　土層解説
1　10YR3/3　暗褐　ローム粒D／粘B，締B
2　10YR3/4　暗褐　ローム粒C／粘B，締B
3　10YR4/6　褐　ローム小C・粒C／粘B，締B

SK476　土層解説
1　10YR2/2　黒褐　ローム小C・粒C／粘B，締B
2　10YR3/4　暗褐　ローム小C・粒B／粘B，締B

SK478　土層解説
1　10YR3/3　暗褐　ローム粒C／粘B，締B
2　10YR3/3　暗褐　ローム大C・中C・小C・粒B／粘B，締B
3　10YR3/4　暗褐　ローム大D・中C・小C・粒B／粘B，締B
4　10YR3/4　暗褐　ローム大D・中C・小B・粒A／粘B，締B

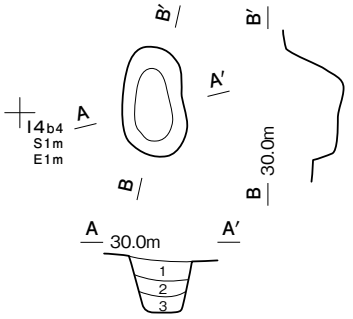
SK479　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム粒C／粘B，締B
2　10YR3/2　黒褐　ローム小C・粒C／粘B，締B

SK480　土層解説
1　10YR3/4　暗褐　ローム大C・中C・小C・粒B／粘B，締B
2　10YR3/2　黒褐　ローム小C・粒C／粘B，締B
3　10YR2/2　黒褐　ローム大C・中D／粘B，締B
4　10YR2/3　黒褐　ローム粒D／粘B，締B
5　10YR2/2　黒褐　ローム粒C／粘B，締B
6　10YR3/2　黒褐　ローム小C・粒C／粘B，締B

SK481　土層解説
1　10YR2/3　黒褐　ローム小C・粒C，焼土粒D／粘B，締B
2　10YR4/6　褐　ローム小C・粒B／粘B，締B

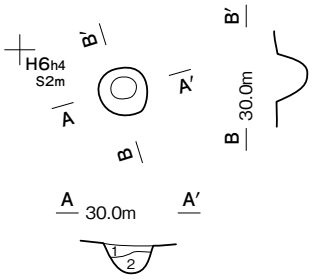
第 485 図　時期不明土坑実測図(51)

SK482



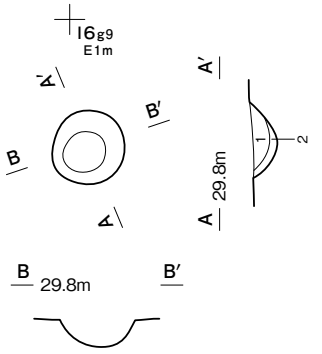
SK482　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム小C・粒D'／粘B，締B
2　10YR3/2　黒褐　ローム小C・粒D／粘B，締B
3　10YR3/2　黒褐　ローム小D・粒D／粘B，締B

SK484



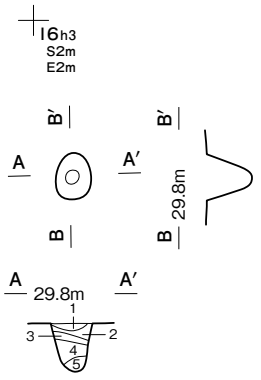
SK484　土層解説
1　10YR2/3　黒褐　ローム中D／粘B，締B
2　10YR2/2　黒褐　ローム大D／粘B，締B

SK486



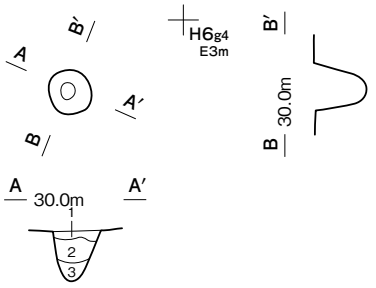
SK486　土層解説
1　10YR3/2　黒褐　ローム粒D／粘B，締B
2　10YR3/4　暗褐　ローム粒C／粘B，締B

SK488



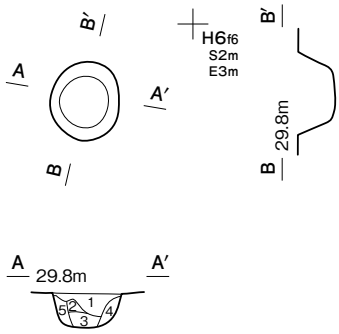
SK488　土層解説
1　7.5YR2/2　黒褐　ローム粒D，焼土粒D／粘C，締A
2　7.5YR3/2　黒褐　ローム粒C，焼土粒D'／粘B，締A
3　7.5YR2/3　極暗褐　ローム粒D／粘B，締B
4　7.5YR3/3　暗褐　ローム小D・粒C／粘B，締B
5　7.5YR4/3　褐　ローム中B／粘A，締A

SK490



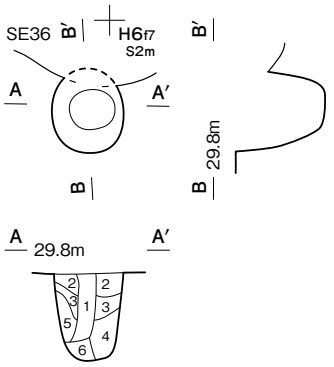
SK490　土層解説
1　10YR2/3　黒褐　ローム小C・粒C／粘B，締B
2　10YR3/4　暗褐　ローム粒B／粘B，締B
3　10YR4/6　褐　ローム小B・粒B／粘B，締B

SK491



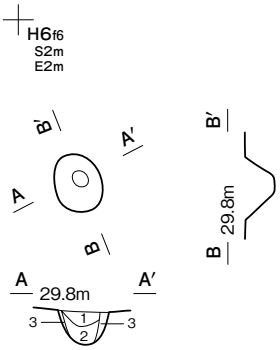
SK491　土層解説
1　10YR4/2　灰黄褐　ローム中D・小C・粒C／粘B，締B
2　10YR2/2　黒褐　ローム中D・小C・粒C／粘B，締B
3　10YR4/3　にぶい黄褐　ローム中B・小B／粘B，締B
4　10YR4/6　褐　ローム中C・小B・粒A／粘B，締B
5　10YR3/3　暗褐　ローム小C・粒B／粘B，締B

SK492



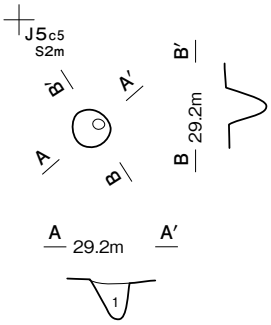
SK492　土層解説
1　10YR3/4　暗褐　ローム小C・粒B，炭化粒D／粘B，締B
2　10YR4/4　褐　ローム大D・中C・小C・粒A，焼土粒D，炭化粒D，粘土大B／粘B，締B
3　10YR4/3　にぶい黄褐　ローム中C・小B・粒A／粘B，締B
4　10YR4/6　褐　ローム中B・小A・粒A／粘B，締B
5　10YR4/4　褐　ローム小A・粒A／粘B，締B
6　10YR3/4　暗褐　ローム中C・小B・粒B／粘B，締B

SK493



SK493　土層解説
1　10YR4/2　灰黄褐　ローム小C・粒C，焼土粒D／粘B，締A
2　10YR3/4　暗褐　ローム中D・小D・粒A／粘B，締B
3　10YR4/4　褐　ローム小B・粒A／粘B，締B

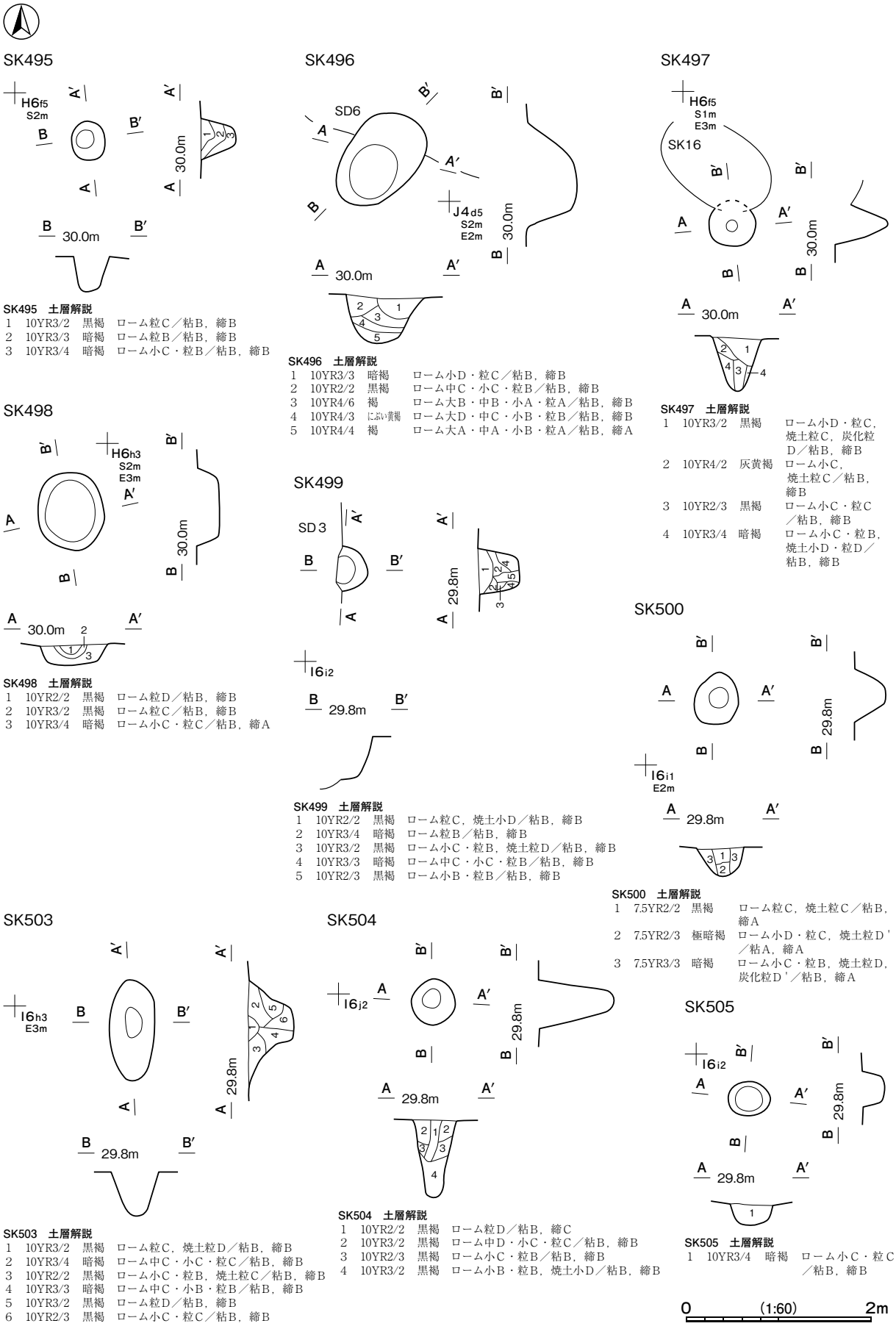
SK494



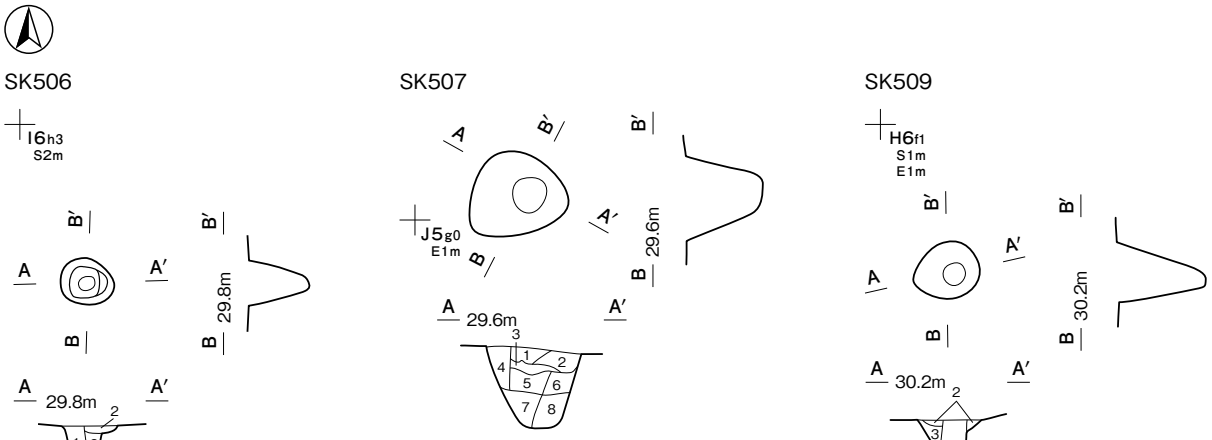
SK494　土層解説
1　10YR4/3　にぶい黄褐　ローム大D・中C・小C・粒B／粘B，締B

0　(1:60)　2m

第 486 図　時期不明土坑実測図(52)



第 487 図　時期不明土坑実測図(53)



SK506　土層解説

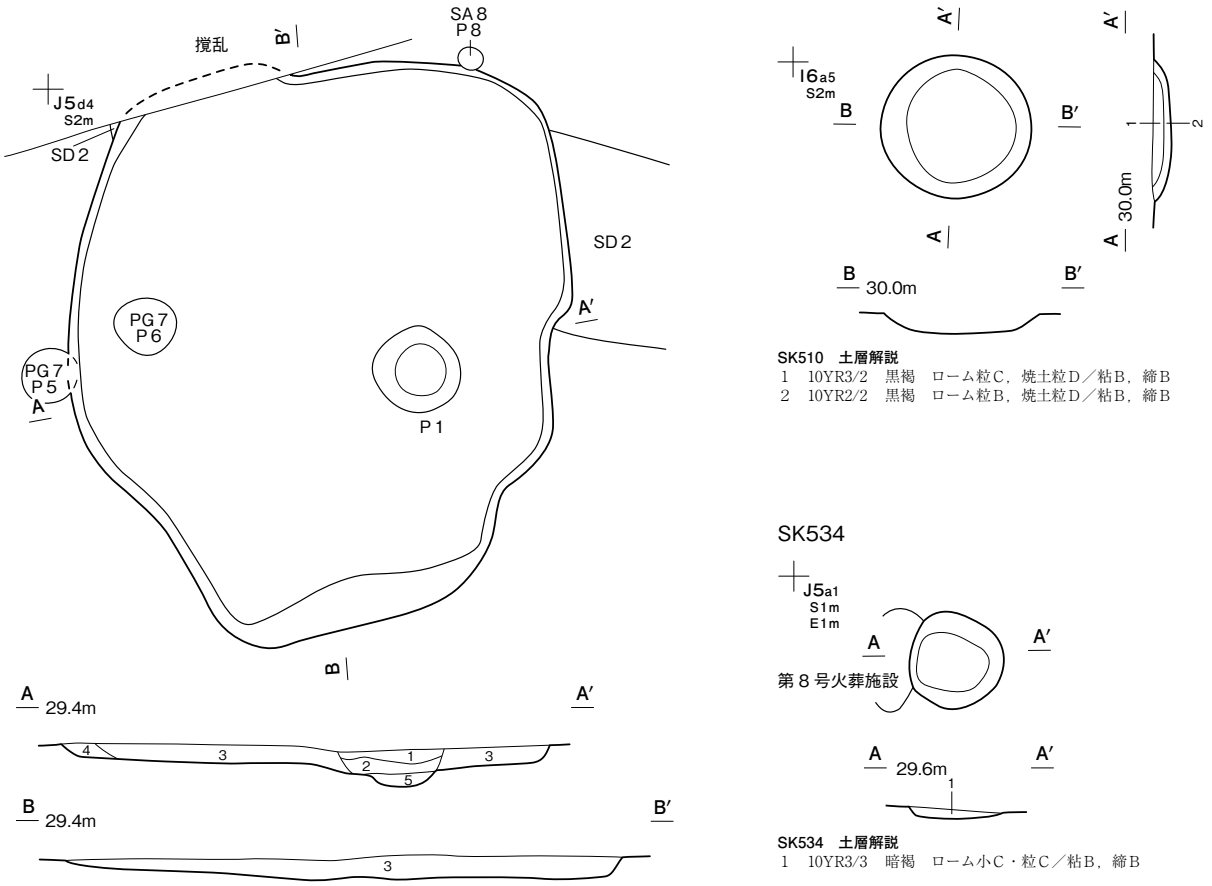
1	7.5YR2/3	極暗褐	ローム粒D，炭化粒D'／粘B，締A
2	7.5YR3/2	黒褐	ローム粒D／粘C，締A
3	7.5YR3/3	暗褐	ローム粒C，炭化粒D／粘B，締A

SK507　土層解説

1	10YR2/2	黒褐	ローム粒D，焼土粒D／粘B，締B
2	10YR3/4	暗褐	ローム中C・小C・粒B／粘B，締B
3	10YR2/3	黒褐	ローム粒D／粘B，締B
4	10YR4/4	褐	ローム小C・粒C／粘B，締B
5	10YR3/2	黒褐	ローム中D／粘B，締B
6	10YR2/2	黒褐	ローム小C・粒C／粘B，締B
7	10YR2/3	黒褐	ローム小C・粒B／粘B，締B
8	10YR3/3	暗褐	ローム大C・中C・小B・粒B／粘B，締B

SK509　土層解説

1	10YR2/3	黒褐	ローム大D・粒D／粘B，締C
2	10YR3/3	暗褐	ローム小C・粒C／粘B，締B
3	10YR4/4	褐	ローム小C・粒B／粘B，締B



SK511　土層解説

1	10YR4/4	褐	ローム粒B，炭化物D'／粘B，締B
2	10YR3/2	黒褐	ローム粒D，炭化粒D／粘B，締B
3	10YR3/2	黒褐	ローム粒C，焼土粒D'／粘B，締B
4	10YR3/3	暗褐	ローム粒C／粘B，締B

SK511 ピット土層解説

5	10YR3/3	暗褐	ローム粒C，礫小D／粘B，締B

SK510　土層解説

1	10YR3/2	黒褐	ローム粒C，焼土粒D／粘B，締B
2	10YR2/2	黒褐	ローム粒B，焼土粒D／粘B，締B

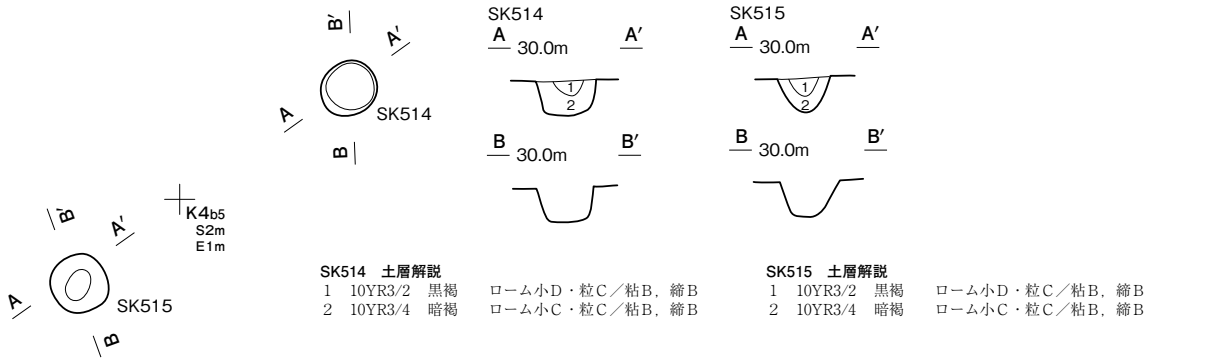
SK534　土層解説

1	10YR3/3	暗褐	ローム小C・粒C／粘B，締B

0　(1:60)　2m

第488図　時期不明土坑実測図(54)

SK514・515



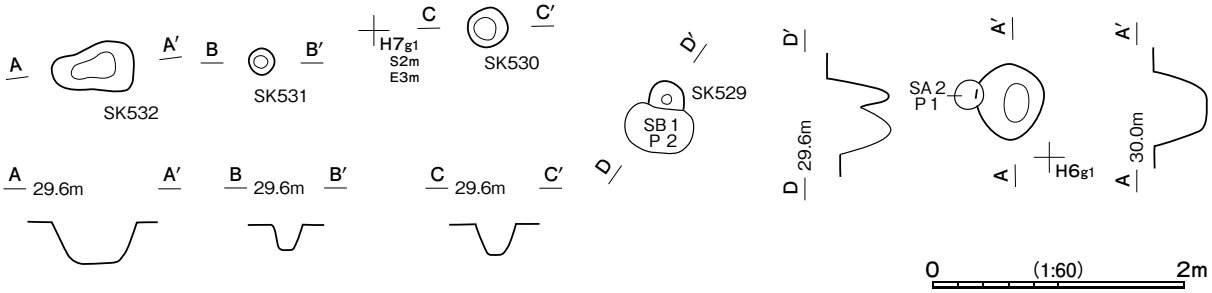
SK514　土層解説

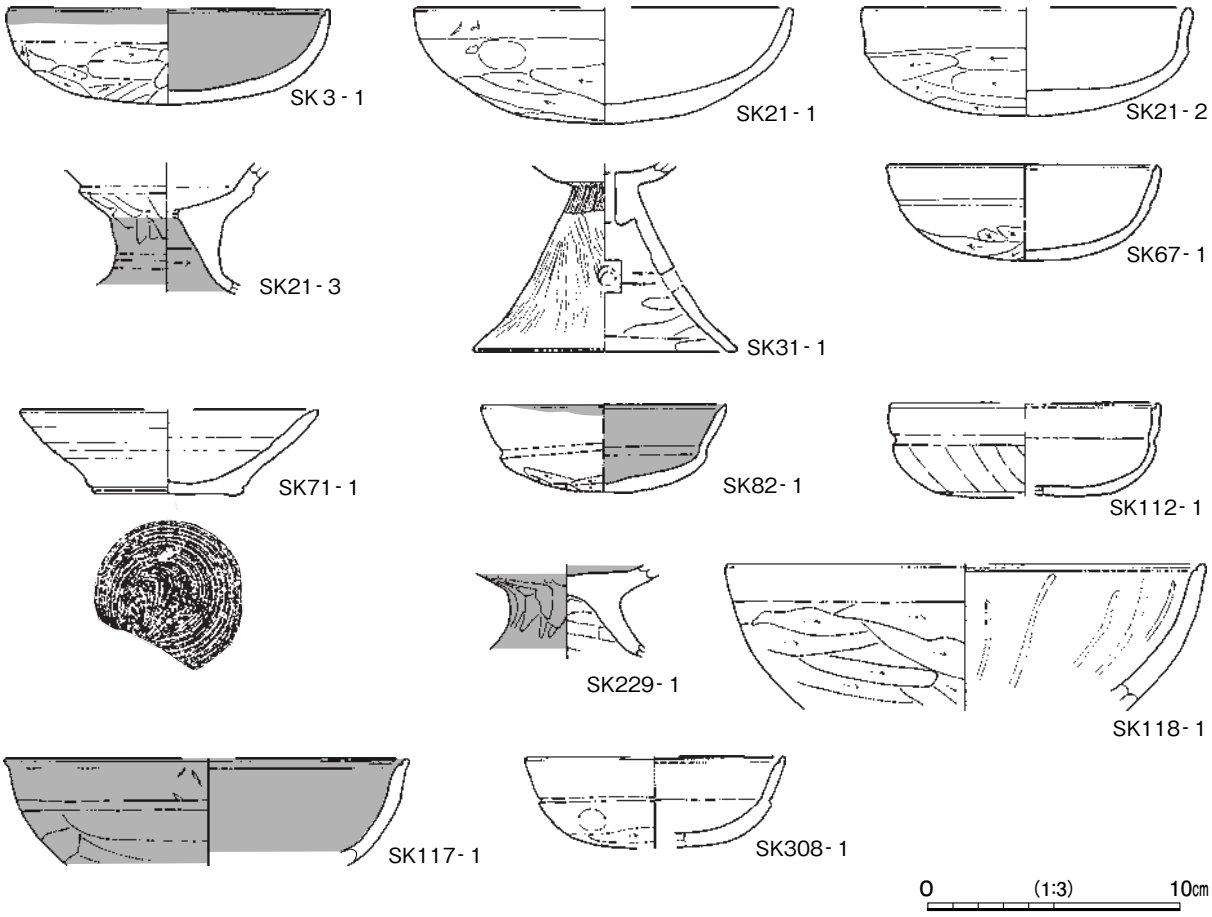
1　10YR3/2　黒褐　ローム小D・粒C／粘B，締B
2　10YR3/4　暗褐　ローム小C・粒C／粘B，締B

SK515　土層解説

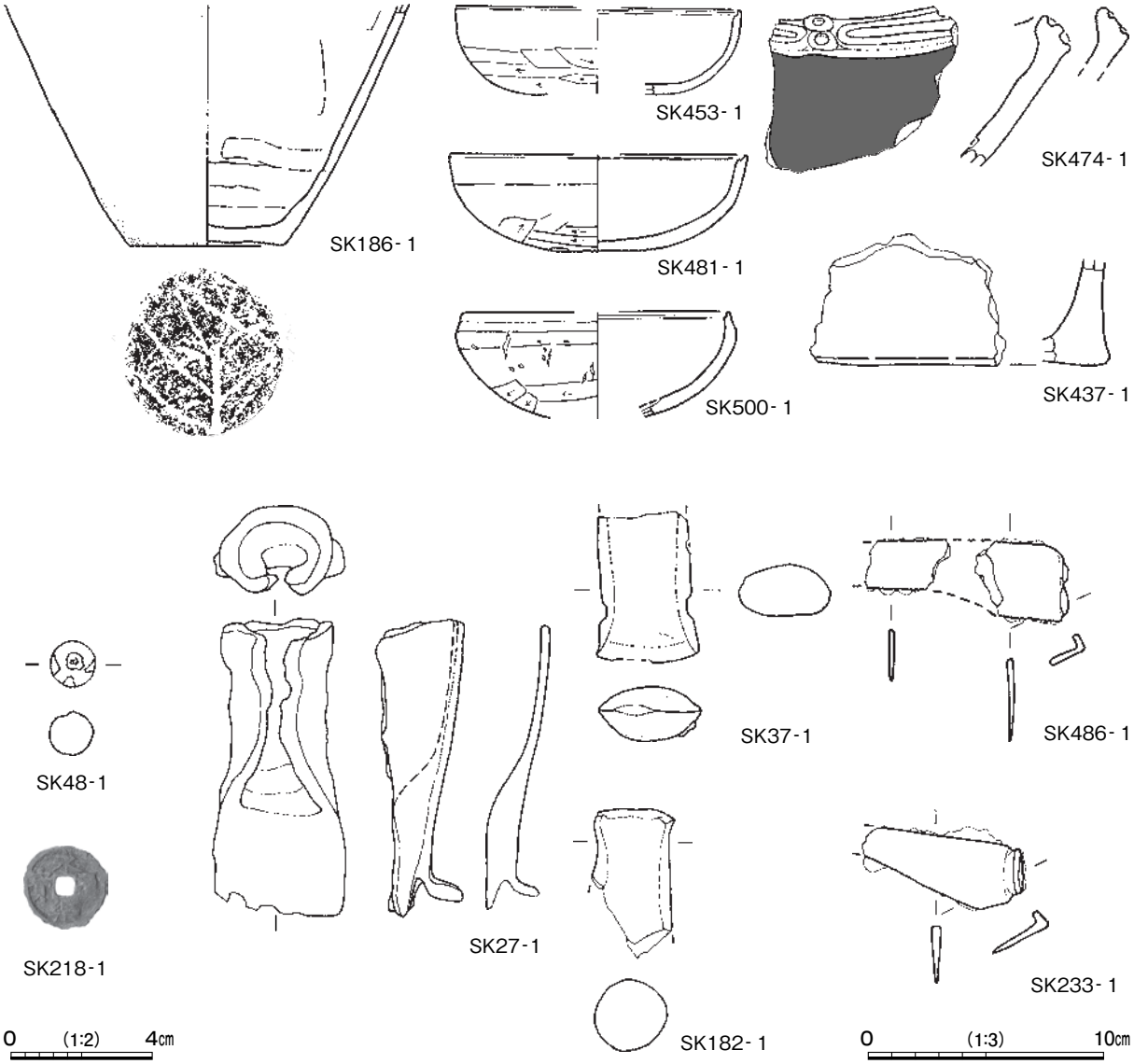
1　10YR3/2　黒褐　ローム小D・粒C／粘B，締B
2　10YR3/4　暗褐　ローム小C・粒C／粘B，締B

SK529～532　　SK533





第489図　ウ）時期不明土坑・出土遺物実測図



第 490 図　ウ）時期不明土坑出土遺物実測図

第 214 表　第 3 号土坑出土遺物一覧（第 489 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
1	土師器	坏	[12.6]	3.8	－	長石・石英	灰褐	普通	口唇部内面沈線　口縁部外面・内面黒色処理	覆土中	30%

第 215 表　第 21 号土坑出土遺物一覧（第 489 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
1	土師器	坏	[14.7]	4.6	－	長石・石英・赤色粒子	にぶい橙	普通	内面ナデ	覆土中	50%　PL98
2	土師器	坏	[13.0]	4.2	－	長石・石英・赤色粒子	灰白	普通	外・内面摩滅により調整不明瞭	覆土中	40%
3	土師器	高坏	－	(5.2)	－	長石・石英	にぶい橙	普通	脚部外・内面黒色処理	覆土中	10%

第 216 表　第 27 号土坑出土遺物一覧（第 490 図）

番号	器　種	長さ	幅	厚さ	重量	材　　質	特　　徴	出土位置	備　考
1	鉄斧	(12.6)	(5.6)	(3.7)	(255)	鉄	袋状鉄斧　刃部先端めくれ上がるように破損	覆土上層	PL105

第 217 表　第 31 号土坑出土遺物一覧（第 489 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
1	土師器	器台	－	(7.4)	[10.4]	長石・石英・赤色粒子	赤橙	普通	全面被熱　穿孔１か所残存	覆土中	40%

第 218 表　第 37 号土坑出土遺物一覧（第 490 図）

番号	器　種	長さ	幅	厚さ	重量	材　　質	特　　徴	出土位置	備　考
1	鉄斧	(6.4)	4.5	2.2	(95.09)	鉄	袋状鉄斧　基部破損	覆土中	PL105

第 219 表　第 48 号土坑出土遺物一覧（第 490 図）

番号	器　種	長さ	幅	厚さ	重量	材　　質	特　　徴	出土位置	備　考
1	鉄砲玉	1.2	1.2	1.2	(10.77)	鉛	表面腐食　バリ残存	覆土中	

第 220 表　第 67 号土坑出土遺物一覧（第 489 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
1	土師器	坏	10.7	3.7	－	長石・石英・赤色粒子	灰褐	普通	口唇部内面弱い沈線　口縁部外面・内面黒色処理の痕跡	覆土中	60%

第 221 表　第 71 号土坑出土遺物一覧（第 489 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
1	土師質土器	小皿	[11.8]	3.4	5.9	長石・石英	橙	普通	ロクロ整形　底部回転糸切り	覆土中	40%

第 222 表　第 82 号土坑出土遺物一覧（第 489 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
1	土師器	坏	9.6	3.5	－	長石	にぶい褐	普通	口唇部内面弱い沈線　口縁部外面・内面黒色処理	覆土中	80%

第 223 表　第 112 号土坑出土遺物一覧（第 489 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
1	土師器	坏	[10.6]	3.7	－	長石	橙	普通	口唇部内面沈線	覆土中	30%

第 224 表　第 117 号土坑出土遺物一覧（第 489 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
1	土師器	椀	[16.0]	(4.2)	－	長石・石英・雲母	淡赤橙	普通	口唇部内面沈線　外・内面黒色処理	覆土中	10%

第 225 表　第 118 号土坑出土遺物一覧（第 489 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
1	土師器	椀	[18.8]	(5.7)	－	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	口唇部内面沈線　内面放射状ヘラ磨き	覆土中	20%

第 226 表　第 182 号土坑出土遺物一覧（第 490 図）

番号	器　種	上径	下径	高さ	重量	胎　土	特　　徴	出土位置	備　考
1	支脚	3.3	－	(6.3)	(54.12)	長石・石英	全面ナデ	覆土中	５%

第 227 表　第 186 号土坑出土遺物一覧（第 490 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
1	土師器	甕	－	(10.2)	6.6	長石・石英・細礫	にぶい橙	普通	底部外面木葉痕　被熱	覆土中	20%

第 228 表　第 218 号土坑出土遺物一覧（第 490 図）

番号	器　種	径	孔幅	厚さ	重量	材　　質	特　　徴	出土位置	備　考
1	銭貨	[2.4]	0.6	0.1	(0.11)	銅	1408 年「永樂通寶」明銭	覆土中	PL104

第 229 表　第 229 号土坑出土遺物一覧（第 489 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
1	土師器	高坏	－	(13.7)	－	長石・石英	灰褐	普通	坏部外・内面・脚部外面黒色処理	覆土中	20%

第 230 表　第 233 号土坑出土遺物一覧（第 490 図）

番号	器　種	長さ	幅	厚さ	重量	材　　質	特　　徴	出土位置	備　考
1	鎌	(6.8)	3.4	0.4	(22.41)	鉄	先端部欠損	覆土中	PL105

第 231 表　第 308 号土坑出土遺物一覧（第 489 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
1	土師器	坏	[10.1]	3.6	－	長石・石英	明赤褐	普通	口唇部内面沈線	覆土中	10%

第 232 表　第 437 号土坑出土遺物一覧（第 490 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
1	土製品	不明	－	(5.5)	－	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	内面黒色処理	覆土中	

第 233 表　第 453 号土坑出土遺物一覧（第 490 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
1	土師器	坏	[12.0]	3.7	－	長石・石英	橙	普通	口唇部内面沈線　内面痘痕状に剥落	覆土中	20%

第 234 表　第 474 号土坑出土遺物一覧（第 490 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
1	縄文土器	深鉢	－	(7.0)	－	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	外面煤付着	覆土中	5 %

第 235 表　第 481 号土坑出土遺物一覧（第 490 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
1	土師器	坏	[12.5]	4.0	－	長石・石英	灰褐	普通	口唇部内面沈線	覆土中	20%

第 236 表　第 486 号土坑出土遺物一覧（第 490 図）

番号	器　種	長さ	幅	厚さ	重量	材　　質	特　　徴	出土位置	備　考
1	鎌	(3.1) (4.2)	2.4 3.7	0.2 0.3	(6.52) (9.51)	鉄	刃部先端・中央部欠損	覆土中	

第 237 表　第 500 号土坑出土遺物一覧（第 490 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
1	土師器	坏	[11.2]	(4.4)	－	長石・石英・赤色粒子	にぶい橙	普通	口唇部内面沈線　口縁部外面・内面黒色処理の痕跡	覆土中	20%

第 238 表　ウ）その他の土坑一覧

番号	位 置	長径方向	平 面 形	規　　模		壁　面	底　面	覆　土	主 な 出 土 遺 物	備　考
				長径×短径（m）	深さ（cm）					
2	H6h8	N－9°－W	楕円形	0.42 × 0.36	20	外傾	U字状	人為	土師器 4	SK 1 と新旧不明
3	I6f2	N－66°－W	楕円形	1.20 × [0.84]	7 ～ 15	外傾	傾斜	人為	土師器 35	SI 5，SK 4→本跡→SD4
4	I6e3	－	円形	1.26 × 1.18	18	外傾	平坦	人為	土師器 34	SI 5→本跡→SK 3
5	I6e4	－	円形	0.87 × 0.85	16	外傾	平坦	人為	土師器 39，焼成粘土塊 12.35g	SI 11 →本跡
7	H6g6	－	円形	0.90 × 0.85	20	外傾	平坦	人為	－	
8	H6g7	－	円形	1.34 × 1.32	12	外傾	平坦	人為	土師器 13	
9	H6g8	－	円形	1.12 × 1.05	16	外傾	平坦	人為	土師器 26	
10	H6h7	N－37°－E	楕円形	1.37 × 1.18	16	外傾	平坦	人為	土師器 17	
12	H6f6	－	円形	0.65 × 0.65	30	外傾	皿状	人為	土師器 7	
13	I6g2	N－41°－E	楕円形	1.30 × 1.10	10	外傾	平坦	人為	土師器 4	SI 14，SK33 →本跡
14	H6f4	N－40°－E	楕円形	1.00 × 0.90	26	外傾	平坦	人為	土師器 12	SK28 →本跡
15	H6f4	N－48°－E	楕円形	0.59 × 0.48	39	外傾	U字状	人為	土師器 11	
16	H6f5	N－57°－W	楕円形	1.30 × 0.82	27 ピット 23	外傾	皿状	人為	土師器 23	SK497 と新旧不明
17	H6f6	N－61°－E	楕円形	0.82 × 0.70	22	外傾	平坦	自然	土師器 3	
18	H6f3	N－33°－E	楕円形	0.68 × 0.53	28	外傾	平坦	人為	土師器 8	
19	H6f0	N－85°－W	楕円形	1.30 × 0.76	19 ～ 28	外傾	平坦	人為	－	
20	I6f1	－	[円形・楕円形]	(1.55) × (0.63)	12	外傾	平坦	自然	－	本跡→SD 3
21	H6f5	N－42°－E	楕円形	0.66 × 0.53	84	直立	U字状	人為	縄文土器 2，土師器 38	
22	H6f5	－	円形	0.40 × 0.40	50	外傾	U字状	人為	土師器 10	
23	I6e1	－	[円形・楕円形]	(1.63) × (0.66)	20	外傾	平坦	人為	－	本跡→SD 3
24	I6b5	N－81°－E	[楕円形]	(2.48) × 1.62	72	外傾	U字状	人為	土師器 73，礫 2	本跡→SI 4・12
25	H6f5	－	円形	1.04 × 0.98	48 ～ 59	外傾	平坦	人為	土師器 16	
26	H6h7	N－43°－W	楕円形	0.65 × 0.50	30	外傾	平坦	自然	土師器 10	
27	H6h7	N－18°－W	楕円形	0.69 × 0.58	28 ～ 40	外傾	平坦	人為	土師器 5，須恵器 2	
29	H6i7	－	円形	1.12 × 1.10	18	外傾	平坦	人為	土師器 19，須恵器 1	SI 1 A・B→本跡
30	I5g8	N－6°－E	楕円形	1.47 × 0.54	16	外傾	平坦	自然	土師器 1	
31	H6h2	－	円形	1.08 × 1.04	32	外傾	平坦	人為	土師器 59	SI 2・21，SK32 →本跡
32	H6h2	N－88°－E	[楕円形]	1.08 × (0.90)	23	外傾	平坦	人為	土師器 33	SI 21 →本跡 →SK31
33	I6g2	－	円形	0.53 × 0.50	25	外傾	平坦	人為	－	本跡→SK13
34	I6e9	N－5°－W	楕円形	0.87 × 0.71	93	直立	平坦	人為	土師器 19，須恵器 4，焼成粘土塊 13.66g	SI 15 A・B→本跡
35	H6g4	N－5°－W	楕円形	0.96 × 0.86	22	外傾	U字状	人為	縄文土器 1，土師器 48	
36	H6g3	N－56°－W	楕円形	0.97 × 0.84	24	外傾	平坦	人為	土師器 7	SI 21 →本跡
37	H6g4	－	円形	0.56 × 0.53	26	外傾	U字状	人為	土師器 1	
39	H6e4	－	[円形・楕円形]	1.10 × (0.42)	26	外傾	平坦	人為	－	
40	I6a2	N－65°－W	楕円形	0.54 × 0.47	24	外傾	凹凸	人為	土師器 4	SI 28 →本跡
41	H6e9	－	[円形・楕円形]	(1.12) × (0.36)	36	直立	平坦	人為	土師器 3	SI 30 →本跡
42	H5h9	N－0°	隅丸長方形	2.14 × 1.86	10	外傾	平坦	人為	－	SI 32 →本跡
43	H5f8	N－83°－E	不定形	1.32 × 1.21	43	外傾	皿状	人為	土師器 15	SI 34 →本跡

番号	位置	長径方向	平面形	規模 長径×短径（m）	規模 深さ（cm）	壁面	底面	覆土	主な出土遺物	備考
45	Ｉ５a6	N－48°－E	楕円形	0.58 × 0.50	30	外傾	平坦	人為	土師器６	SI 39 →本跡
46	Ｉ５c7	－	円形	0.85 × 0.78	23	外傾	平坦	人為	－	
47	Ｉ５d7	－	円形	0.88 × 0.87	13	外傾	平坦	人為	土師器１	
48	Ｉ５b6	N－７°－E	隅丸長方形	2.50 × 0.66	16	外傾	平坦	人為	土師器８	
49	Ｉ５c5	N－２°－W	長方形	2.83 × 0.80	21	外傾	平坦	人為	－	SI 44・45 →本跡
50	Ｉ５e4	N－３°－W	楕円形	1.16 × 0.85	15	外傾	平坦	人為	－	
51	Ｉ５e4	N－５°－W	楕円形	1.84 × 1.46	27	外傾	平坦	人為	土師器17	PG２（P 121・122）→本跡
52	Ｉ５f3	N－６°－E	楕円形	1.76 × 1.16	8	外傾	平坦	人為	土師器１	SB11 と新旧不明
53	Ｉ５d3	N－21°－E	楕円形	1.95 × 0.59	20 ピット10	外傾	平坦	人為	土師器５	SB13 と新旧不明
54	Ｉ５f6	N－９°－E	長方形	2.50 × 1.34	7	外傾	平坦	自然	－	SK69 →本跡
55	Ｉ５f3	N－89°－W	楕円形	1.22 × 0.94	27	外傾	皿状	人為	－	SB11 と新旧不明
56	Ｉ５g3	－	円形	0.71 × 0.68	38	外傾	U字状	人為	－	本跡→ PG２（P 91） SB11 と新旧不明
57	Ｉ５e5	N－３°－E	楕円形	2.03 × 0.84	14	外傾	平坦	人為	－	SK58 →本跡
58	Ｉ５e5	N－30°－E	［楕円形］	(2.25) × 1.10	10 ピット25	外傾	平坦	人為	－	本跡→ SK57
59	Ｈ5h6	－	円形	0.30 × 0.29	48	直立	U字状	人為	－	SI 38 →本跡
61	Ｉ５g5	N－19°－W	楕円形	0.66 × 0.56	75	外傾	有段	人為	－	
62	Ｉ５g5	N－85°－W	長方形	0.95 × 0.82	40	外傾	平坦	人為	土師器２	
63	Ｉ５h5	N－66°－E	楕円形	1.50 × 1.08	57	外傾	U字状	人為	土師器５	PG ５（P 38・40・45）と新旧不明
64	Ｉ５b7	N－76°－E	楕円形	0.87 × 0.70	20	外傾	平坦	人為	土師器２	
65	Ｉ５f4	N－85°－W	隅丸長方形	1.65 × 0.98	20	外傾	平坦	人為	土師器１	SB11, PG２（P 128）と新旧不明
66	Ｉ５g3	N－６°－W	楕円形	1.34 × 0.87	10	外傾	平坦	人為	－	SB10 と新旧不明
67	Ｉ６b7	［N－６°－E］	［楕円形］	(1.08) × (0.92)	76	外傾	平坦	人為	土師器26	本跡→ SI 25
68	Ｉ５h3	N－41°－W	楕円形	1.12 × 0.98	34	外傾	凹凸	自然	－	SB10 と新旧不明
69	Ｉ５f6	N－９°－E	楕円形	1.00 × 0.48	(26)	外傾	U字状	人為	土師器２	本跡→ SK54
70	Ｊ６e2	N－60°－W	楕円形	1.00 × 0.84	36	外傾	U字状	人為	土師器10	
71	Ｉ５e3	N－０°	隅丸長方形	2.00 × 1.48	15	外傾	平坦	人為	土師質土器１	SI 50 →本跡 PG２（P 218・P 220）と新旧不明
72	Ｉ５e2	N－79°－W	楕円形	1.65 × 0.12	18	外傾	平坦	人為	土師器１	本跡→ PG２（P 247） SB11 と新旧不明
74	Ｉ５f2	N－84°－W	長方形	1.55 × 1.08	26	直立	平坦	人為	－	SK73 →本跡 SB11 と新旧不明
75	Ｉ５e1	N－87°－W	楕円形	1..46 × 0.92	12	外傾	平坦	人為	－	SK76 →本跡→ PG ２（P 142）
76	Ｉ５f1	N－17°－W	［楕円形］	(1.70) × 1.40	74	外傾 直立	有段	人為	土師器11	本跡→ SK75, PG ２（P 142）
77	Ｈ５f9	N－34°－W	楕円形	0.46 × 0.36	70	外傾	皿状	人為	土師器17	SI 34 →本跡
78	Ｈ５f9	－	円形	0.42 × 0.40	46	外傾	皿状	人為	－	SI 34 →本跡
79	Ｉ５e5	N－12°－E	長方形	2.18 × 0.72	10	外傾	平坦	人為	土師器８	
80	Ｉ５e2	N－75°－W	不整楕円形	1.08 × 0.76	18	外傾	平坦	人為	－	SI 50 →本跡
81	Ｉ５f2	N－78°－W	長方形	0.90 × 0.60	12	外傾	平坦	人為	－	SB11 と新旧不明
82	Ｊ６a7	N－０°	［長方形］	(2.18) × 1..94	15	外傾	平坦	人為	土師器15	本跡→ SK159
83	Ｉ５g1	N－６°－E	長方形	1.83 × 1.15	28	外傾	平坦	人為	土師器１	本跡→ PG ２ （P 269・389）
84	Ｉ５g2	N－84°－W	楕円形	0.66 × 0.57	33	外傾	平坦	人為	－	本跡→ PG２（P 269）
85	Ｉ６a8	N－14°－E	楕円形	1.52 × 1.32	54	外傾	平坦	人為	土師器35	SI 25 →本跡
86	Ｉ５d8	－	円形	0.40 × 0.37	28	外傾	皿状	人為	－	SI 49 →本跡
87	Ｉ５c8	N－10°－W	楕円形	0.86 × 0.47	30	外傾	U字状	自然	－	SI 49 →本跡
88	Ｉ５c8	N－10°－W	楕円形	0.88 × 0.79	40	外傾	皿状	人為	－	SI 49 →本跡
89	Ｈ６h6	－	円形	1.05 × 1.03	(20)	直立	平坦	人為	土師器17	本跡→ SI 17
90	Ｉ５f1	N－13°－E	楕円形	1.93 × (1.64)	17	外傾	平坦	人為	－	本跡→ SK91, PG ２ （P 179 ～P 181）
91	Ｉ５f1	N－30°－E	不整楕円形	2.03 × 1.78	58	外傾	皿状	人為	－	SK90・92 →本跡
94	Ｉ５c8	N－11°－W	楕円形	1.02 × 0.50	15	外傾	平坦	人為	－	SI 49 →本跡

番号	位置	長径方向	平面形	規模 長径×短径（m）	規模 深さ（cm）	壁面	底面	覆土	主な出土遺物	備考
95	I5f1	N－17°－W	楕円形	0.85 × 0.56	12	外傾	平坦	人為	－	
96	H5f6	－	円形	0.60 × 0.58	18	外傾	U字状	人為	土師器3	
97	I5f8	N－2°－E	方形	0.94 × 0.90	30	外傾	平坦	人為	－	本跡→PG 4（P 1）
98	H6h5	N－3°－W	楕円形	1.31 × 0.85	19	外傾	平坦	人為	土師器39，須恵器1	本跡→SI 19・37
99	I5h1	N－2°－E	長方形	2.12 × 0.97	30	外傾	平坦	人為	土師器8	
100	I4e0	N－6°－E	楕円形	0.82 × 0.55	21 ピット15	外傾	傾斜	人為	土師器6	
101	I5i5	N－15°－E	長方形	1.70 × 0.94	12	外傾	平坦	人為	－	本跡→PG 5（P 262）
104	I5i5	N－7°－W	長方形	1.58 × 0.96	20	外傾	平坦	人為	－	本跡→PG 5（P 62・P 83・P 224～P 227）
105	I5c2	N－70°－W	楕円形	1.76 × 0.16	12	外傾	平坦	自然	－	SB 8，PG 2（P 371）→本跡
106	I4c0	N－5°－E	長方形	1.52 × 1.19	12	外傾	平坦	人為	土師器6，須恵器1	
107	I4d0	N－58°－E	楕円形	1.21 × 1.00	29	外傾	U字状	人為	－	
108	I4g0	N－25°－E	楕円形	1.10 × 0.54	14	外傾	平坦	人為	－	本跡→PG 5（P 28） SB 5と新旧不明
109	I5c3	N－30°－E	楕円形	1.02 × 0.91	48	外傾	平坦	人為	－	
111	H6j0	－	円形	1.24 × 1.16	9	外傾	平坦	人為	－	
112	H6i0	－	円形	0.68 × 0.66	16	外傾	平坦	自然	土師器6	
113	I5h2	N－43°－W	長方形	(1.08) × 0.67	18	外傾	平坦	人為	土師器3	SD13→SK123→本跡→SK125→SK124
114	I5b1	N－82°－W	楕円形	(1.02) × 0.84	58	外傾	有段	人為	土師器8	本跡→SK120
117	H6j9	N－18°－E	楕円形	[1.58] × 1.20	95	外傾	平坦	人為	土師器139	
118	H6j9	N－78°－W	楕円形	1.67 × 1.47	65	外傾	平坦	人為	土師器209，須恵器2，焼成粘土塊19.46g	
119	I5i3	N－68°－E	楕円形	1.14 × 0.68	50	直立	平坦	人為	－	SK127→本跡
120	I5b1	N－2°－E	長方形	(3.24) × 1.16	14	外傾	平坦	人為	土師器16，須恵器1	SK114→本跡 PG 2(P 413・414・422・423)と新旧不明
121	I6h3	－	円形	0.30 × 0.28	28	外傾	皿状	人為	－	
122	I5i4	N－21°－E	不整楕円形	(3.95) × 3.18	24	外傾	やや凹凸	人為	土師器31，須恵器1	SB 9（P 7）→本跡
123	I5h2	－	[円形・楕円形]	(0.59) × (0.46)	18	外傾	U字状	人為	－	SD13→本跡→SB10，SK113
124	I5h2	N－45°－E	楕円形	0.60 × 0.42	25	外傾	平坦	人為	－	SK113→SK125→本跡
125	I5i3	－	不整円形	2.62 × 2.48	48	外傾	平坦	人為	－	SD13→SK113→本跡→SK124・127・131
126	I5i3	[N－83°－W]	[楕円形]	(0.45) × 0.48	20	外傾	U字状	人為	－	本跡→SD14
127	I5i3	N－11°－E	不整楕円形	(2.10) × 1.21	85	外傾	U字状	人為	－	SK125，SD14→本跡→SK119・128
128	I5i3	－	円形	0.51 × 0.48	20	外傾	U字状	人為	－	SK127→本跡
129	I5i3	N－0°	楕円形	0.82 × 0.65	20	外傾	皿状	人為	－	SD14→本跡
130	I5j3	N－83°－W	楕円形	0.50 × 0.40	23	外傾	皿状	人為	－	
131	I5i2	－	円形	0.50 × 0.50	38	外傾 直立	U字状	－	－	SK125→本跡
132	J6c4	N－44°－E	不定形	1.25 × 1.13	(34)	外傾	有段	人為	土師器14	本跡→SI 51
133	J6c4	－	円形	0.70 × 0.68	(19)	外傾	平坦	人為	土師器5	本跡→SI 51
135	J3e8	N－31°－W	楕円形	1.01 × 0.78	(21)	外傾	平坦	人為	－	本跡→SI 74
136	J6e3	N－25°－W	楕円形	1.08 × 0.76	30	外傾	平坦	人為	土師器23	SK137→本跡
137	J6e3	－	[円形・楕円形]	0.66 × (0.44)	32	外傾	平坦	人為	土師器1	本跡→SK136
140	J4e6	－	円形	1.30 × 1.24	12	外傾	平坦	人為	土師器10	SI 73→本跡
142	J6f5	N－49°－E	楕円形	2.27 × 1.68	78	外傾	有段	人為	－	
144	J5a7	N－0°－	楕円形	1.18 × 0.73	14	外傾	平坦	人為	－	
146	J6f7	N－56°－E	楕円形	0.86 × 0.71	32	外傾	平坦	人為	土師器8	SI 78→本跡
147	J5e3	N－17°－W	[楕円形]	(4.50) × 3.00	20	外傾	平坦	人為	土師器27，陶器2	本跡→SD 5，PG 7（P 1～P 3）
148	J5d7	－	円形	0.80 × 0.73	74	直立	平坦	自然 人為	土師器3	
149	J4g1	N－89°－W	楕円形	0.68 × 0.61	(28)	外傾	平坦	自然	土師器2	本跡→SI 70
150	J6f4	－	円形	0.60 × 0.58	17	外傾	平坦	自然	－	
151	K5c8	N－18°－W	楕円形	0.94 × 0.60	35	外傾	平坦	人為	－	

番号	位置	長径方向	平面形	規模 長径×短径（m）	規模 深さ（cm）	壁面	底面	覆土	主な出土遺物	備考
154	J6a5	－	円形	1.26 × 1.22	12	外傾	平坦	自然	－	
155	J6b5	－	円形	0.94 × 0.92	32	外傾	平坦	人為	土師器1	
156	J6b6	－	円形	0.32 × 0.30	34	直立	平坦	自然	土師器2	
160	K4b2	N－3°－W	楕円形	0.93 × 0.70	50	外傾	U字状	自然 人為	土師器5	
164	I6f8	N－10°－E	楕円形	1.64 × 0.74	18	外傾	平坦	人為	土師器14	
165	I6f9	－	円形	0.63 × 0.61	20	外傾	平坦	人為	土師器1	
166	I4e4	N－54°－W	楕円形	1.82 × 1.04	76	外傾 直立	平坦	人為	土師器26	SI 90，SD10→本跡
168	J4f1	N－90°	不定形	3.15 × 1.50	112	外傾 直立	平坦	人為	－	
169	I4c2	N－21°－W	楕円形	1.07 × 0.86	47	外傾	U字状	人為	－	SK520→本跡
170	K4a2	N－15°－W	楕円形	0.82 × 0.64	30	外傾	有段	人為	－	
171	J3i5	N－55°－E	［楕円形］	(1.18) × 1.00	76	外傾	平坦	自然 人為	－	
172	I6d2	N－40°－E	楕円形	0.42 × 0.38	29	外傾	平坦	自然	－	
173	I4j6	N－47°－E	楕円形	0.82 × 0.66	22	外傾	平坦	人為	縄文土器1，土師器14	SI 107→本跡
174	J4a6	N－45°－W	［楕円形］	(0.96) × [0.77]	(26)	外傾	平坦	人為	土師器2	本跡→ SI 107，SD15
176	I4c1	N－90°	楕円形	1.08 × 0.43	40	外傾	平坦	人為	土師器43	
178	J3c7	N－71°－W	隅丸方形	1.00 × 0.96	30	外傾	平坦	自然 人為	土師器3	SK180→本跡
179	I4h0	－	不整円形	2.22 × 2.12	53	直立	平坦	人為	－	本跡→ SB 5（P6）
181	H4j8	N－77°－W	長方形	1.78 × 1.38	32	外傾	平坦	人為	－	SK526→本跡
182	J3c7	N－45°－W	楕円形	1.18 × 0.90	26	外傾	皿状	人為	土師器3，支脚1	
184	I4b0	－	［円形］	[0.81] × 0.74	20	外傾	平坦	人為	－	SI 126と新旧不明
185	I4b8	N－86°－W	長方形	1.24 × 0.79	10	外傾	平坦	人為	－	SI 125→本跡
186	I4i2	N－40°－W	不整楕円形	1.09 × 0.45	15	外傾	凹凸	人為	土師器3	
187	H4h8	N－40°－E	楕円形	1.90 × 1.65	62	外傾	平坦	人為	－	SK188→本跡
188	H4h8	－	［円形・楕円形］	1.30 × (0.85)	78	外傾	U字状	人為	－	本跡→SK187
189	J4f1	－	不整円形	0.68 × 0.62	23	外傾	U字状	人為	－	
190	I4e2	N－88°－W	［楕円形］	(1.24) × 0.87	72	直立	平坦	人為	－	SD12→本跡 HT 3と新旧不明
191	J3c6	－	円形	0.44 × 0.41	41	直立	平坦	人為	縄文土器1	本跡→SK192
192	J3c6	－	円形	0.41 × 0.39	48	直立	平坦	人為	土師器1	SK191→本跡
193	H4g6	N－57°－W	楕円形	1.16 × 0.82	18	外傾	平坦	人為	土師器4	
194	J3c6	N－70°－W	楕円形	1.09 × 0.70	20	外傾	U字状	人為	縄文土器1	
197	I3g0	N－77°－W	楕円形	0.98 × 0.34	28	外傾	U字状	人為	－	
198	I3g0	－	円形	0.80 × 0.75	20	外傾	平坦	人為	土師器4	
199	I4h1	－	円形	0.73 × 0.67	36	外傾	U字状	人為	土師器9	
200	H4f5	N－74°－E	楕円形	(1.38) × 1.26	28	外傾	平坦	人為	土師器35	本跡→SE44
201	H5i1	N－90°	楕円形	2.50 × 2.02	10	外傾	平坦	人為	土師器8	
202	I4d6	－	円形	0.78 × 0.75	40	直立	平坦	人為	－	SK203→本跡
203	I4d6	N－81°－W	楕円形	1.33 × 0.98	23	外傾	平坦	人為	－	SI 122→本跡→ SK202
204	J3d6	N－76°－E	楕円形	0.42 × 0.32	32	外傾	U字状	人為	土師器1	
205	J3d6	N－63°－W	楕円形	1.30 × 0.98	16	外傾	平坦	人為	縄文土器5，土師器1	
206	J3d5	N－62°－W	楕円形	1.10 × 0.94	34	外傾	平坦	自然 人為	縄文土器1	
207	J4b6	N－21°－W	楕円形	2.18 × 1.80	22	外傾	平坦	人為	縄文土器2，土師器16	SK228→本跡
208	J3d5	N－83°－W	楕円形	1.02 × 0.60	27	外傾	U字状	人為	縄文土器8，土師器4	
210	I4j9	－	円形	0.82 × 0.82	15	外傾	平坦	人為	－	
211	I4i0	N－6°－W	長方形	3.55 × 0.62	12	外傾	平坦	人為	－	
212	I4j9	N－81°－W	隅丸方形	1.22 × 1.20	17	外傾	平坦	人為	－	本跡→SA 1（P5）
213	J3d4	N－27°－E	楕円形	0.44 × 0.31	50	直立	有段	自然	土師器2	

番号	位置	長径方向	平面形	規模 長径×短径（m）	規模 深さ（cm）	壁面	底面	覆土	主な出土遺物	備考
215	H4g4	N－50°－E	楕円形	0.62 × 0.53	13	外傾	平坦	人為	縄文土器1	
216	I4j2	N－73°－W	楕円形	(0.74) × 0.50	40	外傾	U字状	自然	－	本跡→SD12
217	I5a5	－	[円形・楕円形]	0.98 × (0.41)	22	外傾	平坦	人為	－	SD 1→本跡→SK224
218	I4j2	－	[円形]	0.97 × (0.90)	86	直立	U字状	人為	土師器10，銭貨1	本跡→SD12
221	H4g5	N－71°－W	楕円形	1.72 × 1.08	62	外傾	U字状	人為	－	
222	H4g7	N－48°－E	楕円形	0.82 × 0.52	26	外傾 直立	平坦	人為	－	
224	I5a5	N－87°－W	楕円形	1.85 × 1.22	48	外傾	平坦	自然 人為	－	SD 1→SK217→本跡
226	J4a5	N－72°－W	楕円形	0.64 × 0.45	20	外傾	平坦	人為	－	本跡→SK227
227	J4a5	－	円形	0.64 × 0.59	34	外傾	平坦	人為	－	SK226→本跡
228	J4b6	－	[円形・楕円形]	0.64 × (0.40)	20	外傾	平坦	人為	土師器3	本跡→SK207，SD15
229	I3g9	－	不整円形	2.24 × 2.08	70	外傾	平坦	人為	縄文土器2，土師器47，須恵器4，剥片1	
230	I4b4	－	円形	1.10 × 1.10	28	外傾	平坦	人為	土師器19，焼成粘土塊21.72g	
231	I4g6	N－47°－E	楕円形	0.56 × 0.46	(44)	直立	平坦	人為	－	本跡→SD15
232	I4f6	N－48°－W	長方形	1.00 × 0.82	30	外傾	平坦	人為	－	SD15→本跡
233	I3f9	N－2°－E	[楕円形]	(0.82) × 0.62	36	外傾	平坦	人為	土師器37，鎌1	本跡→SK275
234	J4c8	N－41°－E	楕円形	0.82 × 0.67	40	外傾	有段	人為	－	
235	J4b8	－	円形	0.36 × 0.35	15	外傾	U字状	人為	－	SD15と新旧不明
236	J4c8	N－81°－W	楕円形	0.40 × 0.30	26	外傾	U字状	人為	－	SK239→本跡
237	J4a7	－	円形	0.36 × 0.35	14	外傾	U字状	人為	土師器1	
238	J4a5	N－68°－W	楕円形	1.16 × 0.76	74	外傾	U字状	人為	縄文土器1，土師器7	
239	J4c8	－	[円形・楕円形]	(0.35) × 0.35	36	外傾	U字状	人為	－	本跡→SK236
240	H4f4	－	円形	0.42 × 0.40	38	外傾	U字状	人為	土師器2	SB 6と新旧不明
241	J4c9	N－83°－W	楕円形	0.40 × 0.33	41	外傾	U字状	人為	－	
242	J4c9	N－43°－E	楕円形	0.27 × 0.20	26	外傾	U字状	人為	－	
243	J4c9	N－12°－E	楕円形	0.25 × 0.21	22	外傾	U字状	人為	－	
244	J4c9	－	円形	0.23 × 0.22	20	外傾	U字状	人為	－	
245	J4c9	－	円形	0.22 × 0.22	38	直立	U字状	人為	－	
246	J4c8	－	円形	0.30 × 0.28	19	外傾	U字状	人為	－	
247	J4b8	－	円形	0.54 × 0.50	16	外傾	平坦	人為	－	
248	J4a5	N－22°－W	[楕円形]	1.08 × (0.90)	48	外傾	平坦	人為	－	本跡→SD15
249	I4j5	－	[円形]	(0.75) × (0.70)	38	外傾	平坦	人為	－	本跡→SD15
250	I4h6	N－0°	楕円形	(1.56) × 0.69	26	外傾	平坦	人為	－	
252	I4j0	N－57°－E	楕円形	0.58 × 0.42	52	外傾	平坦	人為	－	SB 3と新旧不明
253	I4j0	N－69°－W	楕円形	0.48 × 0.38	29	外傾	有段	人為	－	SK254→本跡 SB 3と新旧不明
254	I4j0	N－19°－E	楕円形	0.86 × 0.68	21	外傾	平坦	人為	－	本跡→SK253 SB 3と新旧不明
255	I4j8	N－14°－E	隅丸長方形	1.42 × 1.28	19	外傾	平坦	人為	土師器18	SK256→本跡
256	I4j8	N－19°－E	楕円形	(0.98) × 0.95	7	外傾	平坦	人為	土師器3	本跡→SK255
257	I4j0	N－15°－E	楕円形	1.24 × 0.61	17	直立	平坦	人為	－	SK258→本跡 SB 3と新旧不明
258	I4j0	N－63°－W	[楕円形]	(0.30) × 0.27	38	直立	U字状	自然	－	本跡→SK257 SB 3と新旧不明
259	J4a0	－	円形	0.24 × 0.23	26	直立	U字状	人為	－	SB 3と新旧不明
260	J4a9	N－73°－E	楕円形	0.70 × 0.30	29	外傾	平坦	人為	－	
261	J5a9	－	円形	0.98 × 0.90	20	外傾	U字状	人為	－	
262	J4a5	－	円形	0.27 × 0.26	44	直立	U字状	人為	縄文土器2，土師器3	SD10→本跡
263	J4a5	N－30°－W	楕円形	(0.34) × 0.25	32	外傾	U字状	人為	－	本跡→SD10
265	I4j9	－	円形	0.26 × 0.24	21	直立	U字状	人為	－	SB 3と新旧不明
266	I4j0	－	円形	0.42 × 0.40	34	外傾	U字状	人為	－	SB 3と新旧不明

番号	位置	長径方向	平面形	規模 長径×短径（m）	規模 深さ（cm）	壁面	底面	覆土	主な出土遺物	備考
267	Ⅰ4j0	N－57°－E	楕円形	0.32 × 0.29	49	直立	U字状	人為	－	SB 3と新旧不明
268	H5h8	N－50°－W	不整楕円形	0.55 × 0.42	48	直立	凹凸	人為	－	
269	H5j9	N－74°－W	楕円形	0.54 × 0.46	86	直立	平坦	人為	縄文土器1，土師器11	
270	J5b2	－	円形	0.74 × 0.68	24 ピット12	外傾	U字状	人為	－	
271	J4d9	N－71°－W	楕円形	1.06 × 0.96	26	外傾	平坦	人為	－	
272	Ⅰ3g8	N－44°－W	楕円形	0.40 × 0.34	34	直立	U字状	人為	縄文土器1，土師器1	
273	J5d1	N－68°－W	楕円形	1.08 × 0.86	18	外傾	平坦	人為	－	
274	J5c3	N－79°－E	楕円形	1.30 × 1.00	30	外傾	平坦	自然 人為	－	
275	I3f8	N－44°－W	［楕円形］	(0.80) × 0.71	70	外傾 直立	U字状	人為	土師器11	SK233→本跡
276	I3f8	N－6°－W	楕円形	0.38 × 0.26	25	外傾	U字状	人為	土師器5	SK277→本跡
277	Ⅰ3g8	－	円形	0.40 × 0.40	25	外傾	U字状	人為	－	本跡→SK276
278	H5i9	－	［円形・楕円形］	(0.80) × (0.55)	59	直立	凹凸	人為	－	本跡→SK279・280 SE46と新旧不明
279	H5j9	N－10°－W	楕円形	0.86 × 0.70	59	外傾	凹凸	人為	縄文土器1，土師器3	SK278→本跡
280	H5i9	N－22°－E	楕円形	0.92 × 0.70	35	外傾	平坦	人為	土師器1	SK278→本跡 SE46と新旧不明
281	H5i9	N－22°－W	楕円形	0.60 × 0.47	32	外傾	皿状	人為	縄文土器4，土師器18	SE46→本跡
283	Ⅰ4h0	N－14°－W	楕円形	1.40 × 1.30	12	外傾	平坦	人為	土師器2	SK332→本跡 SB 5と新旧不明
284	Ⅰ4h0	－	円形	0.62 × 0.62	70	直立	U字状	人為	－	SB 5と新旧不明
286	Ⅰ4h9	N－5°－E	楕円形	1.15 × 0.76	6	外傾	平坦	人為	－	
287	Ⅰ4h0	N－7°－W	楕円形	0.94 × 0.80	10	外傾	平坦	人為	－	SB 5と新旧不明
288	Ⅰ4h8	N－40°－W	楕円形	1.00 × 0.75	44	外傾	U字状	人為	土師器1	SB 4と新旧不明
289	Ⅰ4h9	－	円形	0.63 × 0.61	51	外傾	U字状	人為	－	SB 4と新旧不明
290	Ⅰ4g8	N－30°－E	楕円形	0.65 × 0.55	18	外傾	平坦	人為	－	SK304→本跡 SB 4と新旧不明
291	Ⅰ4c9	－	円形	0.27 × 0.25	52	直立	U字状	人為	－	
292	Ⅰ5h1	N－80°－E	楕円形	(1.12) × 0.78	36	外傾	平坦	人為	－	本跡→SE 8
293	Ⅰ4c0	N－67°－E	［楕円形］	1.11 × (0.75)	17	外傾	平坦	人為	土師器5	本跡→SK294
294	Ⅰ4c0	N－52°－W	楕円形	1.17 × 0.68	57	外傾	U字状	人為	－	SK293→本跡
295	Ⅰ4i0	－	円形	0.29 × 0.28	35	直立	U字状	人為	土師器1	
296	Ⅰ4i0	N－75°－E	楕円形	0.50 × 0.35	30	外傾	U字状	人為	土師器1	
297	Ⅰ4b9	－	円形	0.26 × 0.24	48	直立	U字状	人為	土師器3	
298	Ⅰ4b9	－	不整円形	0.58 × 0.56	33	直立	凹凸	人為	土師器3	
299	Ⅰ4b8	－	不整円形	0.45 × 0.42	27	直立	凹凸	人為	－	
301	Ⅰ4b9	N－19°－W	楕円形	0.56 × 0.32	30	外傾	有段	人為	土師器1	
302	Ⅰ4e7	N－80°－W	楕円形	0.86 × 0.42	40	直立	平坦	人為	土師器5	SK303→本跡
303	Ⅰ4e7	－	［円形］	0.60 × (0.56)	48	外傾	有段	人為	土師器1	本跡→SK302
304	Ⅰ4g8	－	［円形］	0.24 × [0.24]	58	直立	U字状	人為	－	本跡→SK290 SB 4と新旧不明
305	Ⅰ6d1	－	円形	0.44 × 0.40	50	外傾	U字状	人為	－	
306	Ⅰ5d0	－	円形	0.30 × 0.30	50	直立	U字状	人為	－	
307	Ⅰ4i0	－	円形	0.28 × 0.26	18	外傾	平坦	人為	－	
308	Ⅰ4d7	－	円形	0.54 × 0.54	6	外傾	平坦	人為	土師器1	
309	H5e4	－	円形	0.34 × 0.34	78	直立	U字状	自然	土師器5	
310	Ⅰ4g8	N－25°－W	楕円形	0.34 × 0.26	36	外傾	U字状	人為	土師器2	
311	H5i1	N－18°－E	楕円形	1.12 × 0.92	32	外傾	平坦	自然	－	
312	Ⅰ4h0	－	円形	0.47 × 0.43	50	直立	平坦	人為	－	SB 5と新旧不明
313	Ⅰ4h0	N－20°－E	楕円形	0.39 × 0.33	14	外傾	U字状	人為	－	SK314→本跡
314	Ⅰ4h0	－	［円形］	0.28 × (0.26)	22	外傾	U字状	人為	－	本跡→SK313・315 SB 5と新旧不明
315	Ⅰ4h0	N－31°－E	楕円形	0.32 × 0.22	17	外傾	U字状	人為	－	SK314→本跡 SB 5と新旧不明

番号	位置	長径方向	平面形	規模 長径×短径（m）	規模 深さ（cm）	壁面	底面	覆土	主な出土遺物	備考
316	Ⅰ4 i0	N－78°－E	楕円形	0.32 × 0.24	26	直立	U字状	人為	－	
317	Ⅰ4 i0	－	円形	0.21 × 0.20	25	直立	U字状	人為	－	
318	H5g3	10°－E	不定形	0.56 × (0.46)	37	外傾	有段	人為	－	本跡→SK319
319	H5g3	N－21°－E	楕円形	0.50 × 0.30	26	外傾	有段	人為	土師器3	SK318→本跡
320	J3a7	N－23°－E	楕円形	(0.72) × 0.49	66	外傾	有段	人為	－	本跡→SD 5
321	Ⅰ4d7	N－31°－E	楕円形	0.45 × 0.24	32	直立	U字状	自然	土師器2	
322	Ⅰ4d7	N－5°－W	楕円形	0.31 × 0.26	33	直立	U字状	人為	－	
323	Ⅰ4d7	－	円形	0.21 × 0.20	32	直立	U字状	人為	－	
324	Ⅰ6e3	－	円形	0.90 × 0.90	74	外傾 直立	平坦	自然 人為	－	
325	H6j4	－	[円形・楕円形]	1.06 × (0.90)	12	外傾	平坦	自然	土師器13，焼成粘土塊1.70g	
326	H6j5	N－2°－E	楕円形	0.47 × 0.39	36	外傾	U字状	人為	－	
327	H6j6	N－41°－W	楕円形	0.90 × 0.54	50	内傾	有段	自然	－	
329	Ⅰ4g9	－	円形	0.24 × 0.22	20	外傾	U字状	自然	－	
330	Ⅰ4g9	－	円形	0.26 × 0.24	18	外傾	U字状	自然	－	
331	Ⅰ4g9	－	円形	0.26 × 0.24	16	外傾	U字状	自然	－	
332	Ⅰ4h0	N－45°－E	楕円形	(0.40) × 0.32	26	外傾	平坦	自然	－	本跡→SK283 SB 5と新旧不明
333	Ⅰ4h0	N－22°－W	楕円形	0.34 × 0.29	18	外傾	平坦	人為	－	SB 5と新旧不明
334	Ⅰ6g3	N－37°－W	楕円形	1.30 × 0.96	60	外傾	U字状	人為	－	
335	Ⅰ4g8	N－57°－E	楕円形	0.30 × 0.26	24	直立	U字状	自然	－	
336	H6i3	N－87°－E	楕円形	0.42 × 0.36	60	外傾	U字状	自然	－	
337	H6i2	N－65°－E	楕円形	0.56 × 0..48	54	外傾 直立	有段	人為	土師器5	
338	H6i6	－	円形	0.30 × 0.28	24	直立	U字状	人為	－	
339	Ⅰ6b8	N－24°－E	楕円形	1.18 × 0.78	34	外傾	有段	自然 人為	土師器2	
340	J4f5	N－70°－E	隅丸方形	0.92 × 0.85	27	外傾	平坦	人為	－	SK341→本跡
341	J4f5	－	[円形・楕円形]	0.65 × (0.38)	15	外傾	平坦	人為	－	本跡→SK340
342	J4e4	N－0°	楕円形	0.63 × 0.55	23	外傾	平坦	人為	－	
343	J4e4	N－2°－W	不整楕円形	0.53 × 0.41	20	外傾	平坦	人為	－	
344	J4e5	－	円形	0.47 × 0.47	20	外傾	平坦	人為	縄文土器1，土師器1	
345	J4e5	N－6°－E	楕円形	0.54 × 0.49	23	外傾	U字状	人為	－	
346	Ⅰ4h8	N－0°	楕円形	0.28 × 0.25	33	外傾	U字状	人為	－	SB 4と新旧不明
347	Ⅰ4h8	N－52°－E	楕円形	0.30 × 0.25	14	外傾	U字状	自然 人為	土師器1	
348	Ⅰ6g3	N－52°－W	楕円形	0.70 × 0.40	24	外傾	U字状	人為	土師器6	
349	Ⅰ6c6	N－51°－W	楕円形	1.48 × 1.33	13	外傾	平坦	人為	土師器16	SI 10→本跡
351	J4a9	N－30°－E	楕円形	0.43 × 0.30	33	外傾 直立	U字状	人為	土師器2	
352	J4f4	N－2°－W	隅丸長方形	0.52 × 0.38	17	外傾	有段	自然 人為	土師器1	
353	J4f3	N－3°－E	隅丸長方形	1.20 × 0.61	13	直立	有段	人為	土師器1	
354	J4e2	N－10°－E	隅丸長方形	2.84 × 0.83	52	外傾	平坦	人為	土師器7，須恵器1	
355	K3b8	N－10°－W	隅丸長方形	2.14 × 0.60	15	外傾	平坦	人為	土師器3	
356	J4e5	N－3°－E	楕円形	0.37 × 0.30	9	外傾	平坦	人為	－	
357	Ⅰ4h8	N－30°－E	楕円形	0.40 × 0.32	32	外傾	U字状	人為	土師器2	SK358→本跡 SB 4と新旧不明
358	Ⅰ4h8	N－15°－E	楕円形	0.45 × (0.24)	25	外傾	有段	人為	－	本跡→SK357 SB 4と新旧不明
359	Ⅰ4h8	N－0°	楕円形	0.40 × 0.27	36	外傾	U字状	人為	土師器1	SB 4と新旧不明
360	Ⅰ4g9	－	円形	0.38 × 0.35	50	外傾	U字状	人為	土師器3	
362	H5g6	N－58°－E	楕円形	0.60 × 0.52	22	外傾	平坦	自然 人為	土師器1	
363	Ⅰ5a9	－	円形	0.32 × 0.30	22	外傾	平坦	人為	－	
364	Ⅰ5f0	N－4°－E	[楕円形]	(0.78) × (0.61)	50	外傾 直立	有段	人為	土師器10	本跡→SD 2

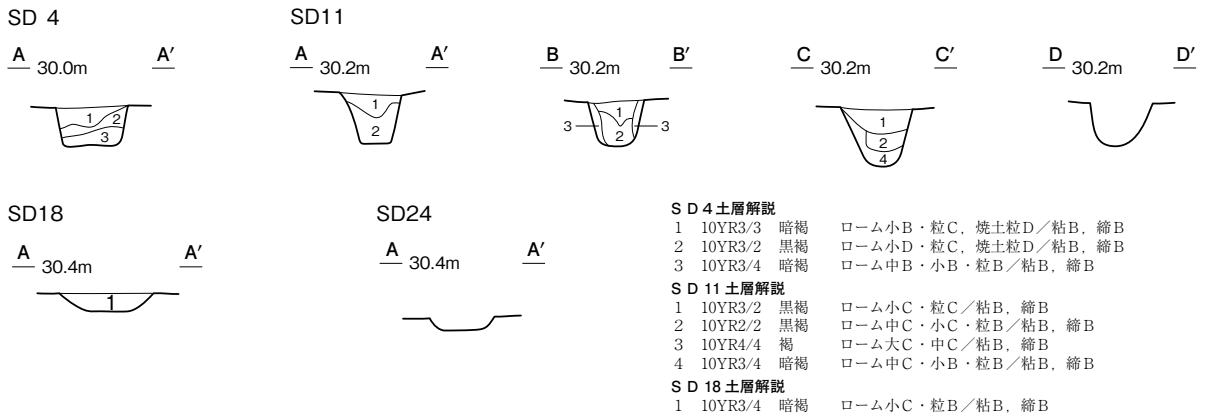
番号	位置	長径方向	平面形	規模 長径×短径（m）	規模 深さ（cm）	壁面	底面	覆土	主な出土遺物	備考
366	I 4 g9	－	円形	0.20 × 0.20	31	直立	U字状	人為	－	
367	I 6 b4	N－35°－E	楕円形	2.36 × 1.36	46	外傾	有段	人為	土師器22	
368	I 6 h2	N－7°－E	楕円形	0.86 × 0.74	28	外傾	U字状	自然 人為	土師器4	SK369→本跡
369	I 6 h3	N－3°－E	［長方形］	0.85 × (0.57)	38	外傾	U字状	人為	土師器11	本跡→SK368
370	H 5 g6	N－12°－W	楕円形	0.76 × 0.64	26	外傾	有段	人為	土師器3	
371	H 3 i6	－	［円形・楕円形］	0.78 × (0.35)	22	直立	平坦	人為	－	
372	I 3 j6	不明	不定形	(0.59) × (0.34)	29～49	外傾 直立	凹凸	人為	土師器1	
374	I 6 c0	N－69°－W	楕円形	0.56 × 0.44	95	直立	平坦	人為	－	
375	H 6 j9	－	円形	1.43 × 1.37	23	外傾	平坦	人為	土師器12	
376	I 4 h8	－	円形	0.55 × 0.52	54	直立	平坦	人為	－	SB 4と新旧不明
377	I 3 j6	N－35°－E	楕円形	0.70 × 0.51	36	外傾	平坦	自然 人為	土師器2	
378	I 3 i7	N－37°－E	楕円形	0.50 × 0.44	38	外傾	凹凸	人為	－	
379	I 6 e7	N－64°－W	楕円形	0.53 × 0.47	38	外傾	U字状	自然	－	
380	I 6 d0	－	円形	0.51 × 0.48	34	直立	平坦	自然	－	
381	I 6 f9	－	円形	0.94 × 0.93	25	外傾	平坦	自然 人為	土師器6	
383	I 6 f9	N－38°－E	楕円形	0.84 × 0.67	20	外傾	U字状	人為	－	
384	I 6 f8	N－42°－W	楕円形	0.53 × 0.42	28	外傾	U字状	自然	－	
386	J 3 g8	N－5°－E	楕円形	1.49 × 1.02	15	外傾	平坦	人為	－	SD24→本跡
387	J 3 g7	N－8°－E	楕円形	0.86 × 0.75	31	外傾	U字状	人為	－	
388	J 3 c8	N－50°－E	不整長方形	2.14 × 1.03	41	外傾 直立	平坦	人為	－	
390	K 4 a1	－	円形	0.50 × 0.47	22	外傾	平坦	人為	－	
391	I 5 c1	N－26°－W	楕円形	0.87 × 0.60	34	外傾	平坦	人為	－	本跡→PG 2（P 416）
392	I 6 d2	N－25°－E	楕円形	0.62 × 0.38	28～38	直立	有段	人為	土師器4	
394	K 3 b9	N－85°－E	楕円形	0.43 × 0.31	26	外傾	平坦	人為	－	
395	K 3 b9	N－26°－E	楕円形	0.36 × 0.28	38	外傾 直立	有段	人為	土師器5	
396	K 4 a2	－	円形	0..60 × 0.59	30	外傾	平坦	人為	－	
398	K 3 b8	N－50°－W	楕円形	0.43 × 0.38	35	外傾	平坦	人為	－	
399	J 4 h2	N－18°－W	楕円形	0.45 × 0.37	38	外傾	凹凸	人為	－	
400	J 4 h2	N－53°－W	楕円形	0.38 × 0.33	52	直立	U字状	人為	土師器3	
401	K 4 a2	－	円形	0.52 × 0.50	36	外傾	U字状	自然 人為	－	
402	J 3 g0	N－21°－E	楕円形	1.00 × 0.80	22	外傾	平坦	人為	－	
403	J 3 f9	N－5°－E	楕円形	0.96 × 0.76	32	直立	平坦	人為	－	
404	J 3 f9	－	円形	1.00 × 0.98	22	外傾	平坦	人為	土師器35	
405	J 3 e9	N－76°－E	不整楕円形	1.18 × 0.54	14	外傾	平坦	人為	土師器12	
406	J 4 f3	N－6°－E	楕円形	0.38 × 0.30	20	外傾	平坦	人為	－	
407	J 4 g7	－	円形	0.41 × 0.38	20	外傾	平坦	人為	－	
408	J 4 f7	N－7°－W	楕円形	0.66 × 0.48	22	直立	平坦	人為	縄文土器1	
409	K 4 a2	－	円形	0.38 × 0.36	36	外傾	U字状	人為	－	SK410→本跡
410	K 4 a2	N－83°－W	［楕円形］	(0.26) × 0.25	39	外傾	U字状	人為	－	本跡→SK409
411	I 4 d3	－	円形	0.82 × 0..76	28	外傾	凹凸	人為	土師器1	
412	I 4 f4	－	円形	0.36 × 0.34	38	直立	平坦	人為	－	
413	I 4 f5	－	円形	0.25 × 0.23	30	直立	U字状	自然	－	
414	I 4 f5	－	円形	0.21 × 0.20	19	直立	U字状	人為	－	
415	K 4 a3	－	円形	0.58 × 0.53	60	直立	平坦	人為	－	
416	I 4 d3	－	円形	0.82 × 0.81	92	直立	平坦	人為	土師器2，須恵器1	
417	I 4 d3	－	円形	0.85 × 0.82	33	外傾	U字状	人為	－	

番号	位置	長径方向	平面形	規模 長径×短径（m）	規模 深さ（cm）	壁面	底面	覆土	主な出土遺物	備考
418	K4b6	N－90°	楕円形	1.23 × 0.80	25	外傾	平坦	人為	－	
419	J4g5	N－40°－E	楕円形	0.70 × 0.50	32	外傾	U字状	人為	縄文土器2	SK421→本跡
420	J4g5	N－30°－E	楕円形	0.84 × 0.48	54	直立	有段	人為	－	
421	J4g6	－	［円形］	0.50 × (0.30)	76	外傾 内傾	平坦	人為	縄文土器12	本跡→SK419
422	J4g5	N－36°－W	楕円形	0.39 × 0.34	32	外傾	平坦	人為	縄文土器2	
424	J4h7	－	円形	0.98 × 0.90	27	外傾	平坦	人為	－	
425	J4g7	N－29°－W	楕円形	0.62 × 0.34	38	直立	平坦	人為	－	
426	J4h7	N－73°－W	楕円形	0.40 × 0.30	38	外傾	平坦	人為	－	
427	J4g7	N－46°－W	楕円形	0.60 × 0.39	44	外傾	U字状	人為	－	
428	J4h8	N－58°－E	楕円形	0.51 × 0.43	26	外傾	U字状	人為	－	
429	K4a3	－	円形	0.83 × 0.77	22	外傾	平坦	人為	－	SK430→本跡
430	K4a3	N－52°－W	［楕円形］	1.34 × (1.10)	36	外傾	平坦	人為	縄文土器10	本跡→SK429
431	J3f9	N－28°－E	楕円形	0.92 × 0.64	58	外傾	平坦	人為	－	SK432→本跡 SK461・472と新旧不明
432	J3g9	N－37°－E	［楕円形］	(1.04) × 0.93	15	外傾	平坦	人為	土師器19，須恵器1	本跡→SK431 SK461・472・SI84と新旧不明
433	J3a8	－	円形	0.42 × 0.40	24	外傾	U字状	自然	土師器1	
434	J4h7	－	円形	0.26 × 0.24	36	外傾	U字状	人為	土師器2	
435	J4h7	N－53°－W	楕円形	0.30 × 0.26	38	外傾	U字状	人為	－	
436	J4i7	－	［円形・楕円形］	0.84 × (0.44)	26	外傾	平坦	人為	－	
437	J4g6	－	円形	0.54 × 0.50	60	外傾 直立	平坦	人為	－	
438	J4g7	N－62°－W	楕円形	1.13 × 0.70	52	外傾	凹凸	人為	土師器6	
439	J3b9	－	円形	0.65 × 0.60	32	外傾	平坦	人為	－	
440	J3b9	N－6°－W	楕円形	0.39 × 0.30	39	直立	平坦	人為	縄文土器1，土師器6	
441	J3a8	N－12°－W	楕円形	(0.70) × 0.45	45	外傾	有段	人為	－	本跡→SD 5
442	K4c6	－	円形	0.52 × 0.48	97	直立	平坦	人為	－	
443	K4c5	N－30°－W	楕円形	0.93 × 0.63	33	外傾	U字状	人為	土師器6	
445	K4c4	N－19°－W	楕円形	0.78 × 0.38	56	外傾 直立	有段	人為	－	
446	K4c3	N－15°－W	楕円形	0.64 × 0.40	32	外傾	有段	人為	－	
447	J5c1	N－16°－E	［楕円形］	(1.58 × 1.33)	68	外傾	皿状	人為	－	SD15→本跡
448	J4j8	－	不整円形	0.54 × 0.50	72	直立	U字状	人為	土師器2	
449	I3j7	N－45°－E	楕円形	0.76 × 0.61	42	外傾 直立	平坦	人為	土師器3	
450	I3j8	N－60°－E	楕円形	0.85 × 0.72	45	外傾	平坦	人為	－	
451	J5d2	N－75°－W	不整長方形	2.35 × 1.81	22	外傾	平坦	人為	－	SD 5→本跡
452	K4a3	N－15°－W	楕円形	0.46 × 0.37	38	外傾	平坦	自然	－	
453	H4j4	N－19°－E	不整楕円形	2.98 × (1.52)	70	外傾	平坦	自然 人為	土師器44	本跡→SD12
455	J5g4	－	円形	0.67 × 0.63	36	外傾	平坦	人為	土師器2	
456	H4i4	N－63°－E	楕円形	0.45 × 0.38	15	外傾	平坦	人為	－	SE51→本跡
457	K4a2	－	円形	0.47 × 0.44	32	外傾	U字状	人為	－	
458	J5g4	N－25°－E	楕円形	0.90 × 0.52	34	外傾	U字状	人為	－	本跡→SK459
459	J5g4	N－75°－W	楕円形	0.45 × 0.32	52	外傾	U字状	人為	－	SK458→本跡
461	J3g9	－	［円形・楕円形］	(0.35) × 0.35	(24)	外傾	U字状	人為	土師器1	SK431・432と新旧不明
462	I3h8	N－43°－E	楕円形	0.61 × 0.49	53	外傾	U字状	人為	土師器9	
463	H4i4	N－83°－W	楕円形	0.58 × 0.46	35	外傾	U字状	人為	土師器4	
464	I3j8	N－60°－W	楕円形	1.15 × 0.88	32 ピット28	外傾	平坦	自然	－	
465	I4f5	－	円形	0.41 × 0.38	38	外傾	U字状	自然	－	
466	J5g5	－	円形	0.84 × 0.80	18	外傾	平坦	人為	－	
467	J5g5	N－33°－W	楕円形	0.57 × 0.51	32	外傾	U字状	人為	－	

番号	位置	長径方向	平面形	規模 長径×短径（m）	規模 深さ（cm）	壁面	底面	覆土	主な出土遺物	備考
469	J3e4	－	円形	0.38 × 0.34	48	外傾	U字状	人為	－	
471	I6g3	－	円形	0.50 × 0.47	46	直立	平坦	人為	土師器11	
472	J3f9	－	［円形・楕円形］	0.30 × (0.22)	(42)	外傾	U字状	人為	－	SI 84,SK431・432と新旧不明
473	K6b1	N－63°－E	楕円形	0.60 × 0.52	38	外傾	U字状	人為	土師器5	
474	J3e5	N－39°－W	楕円形	0.90 × 0.70	42	外傾	U字状	自然	縄文土器17，土師器5	本跡→SI 72
476	I3g0	－	円形	0.34 × 0.32	32	外傾	U字状	人為	土師器2	
478	J4d5	N－13°－E	楕円形	1.20 × 0.92	108	外傾	平坦	人為	－	SD 6→本跡
479	J4h7	－	円形	0.65 × 0.65	40	外傾	平坦	人為	－	
480	I6g3	N－5°－W	不整楕円形	0.86 × 0.65	25	外傾	平坦	人為	－	
481	I6g4	N－2°－E	楕円形	0.79 × 0.65	25	外傾	平坦	人為	土師器18	
482	I4b4	N－5°－W	楕円形	0.90 × 0.52	45	外傾	平坦	人為	－	
484	H6h4	－	円形	0.40 × 0.38	24	外傾	U字状	人為	土師器2	
486	I6g9	－	円形	0.60 × 0.58	20	外傾	U字状	自然	土師器6，鎌1	
488	I6h3	N－0°	楕円形	0.36 × 0.29	36	外傾	U字状	人為	土師器5	
490	H6g4	－	円形	0.37 × 0.35	41	外傾	U字状	人為	土師器12	
491	H6f6	N－13°－E	楕円形	0.63 × 0.54	29	外傾	平坦	人為	土師器5	
492	H6f6	N－7°－W	楕円形	0.68 × 0.57	71	直立	U字状	人為	土師器4	SE36と新旧不明
493	H6f6	N－29°－W	楕円形	0.49 × 0.38	24	外傾	平坦	人為	－	
494	J5c5	－	円形	0.30 × 0.30	31	外傾	U字状	人為	－	SD21と新旧不明
495	H6f5	N－4°－W	楕円形	0.42 × 0.37	37	外傾	U字状	人為	－	
496	J4d5	N－42°－E	楕円形	1.13 × 0.75	53	外傾	平坦	人為	土師器2	SD 6→本跡
497	H6f5	－	円形	0.50 × 0.50	57	外傾	U字状	人為	土師器22，支脚1	SK16と新旧不明
498	H6h3	N－28°－W	楕円形	0.84 × 0.64	20	外傾	平坦	自然	土師器6	
499	I6h2	N－90°	［円形・楕円形］	0.48 × (0.35)	45	外傾	平坦	人為	土師器6	本跡→SD 3
500	I6h1	N－0°	楕円形	0.55 × 0.50	34	外傾	皿状	人為	土師器6	
503	I6h4	N－3°－W	楕円形	1.00 × 0.48	48	外傾	平坦	人為	土師器16	
504	I6j2	－	円形	0.50 × 0.49	84	直立	U字状	人為	土師器5，須恵器1	
505	I6i2	N－84°－W	楕円形	0.46 × 0.37	24	外傾	平坦	人為	土師器3	
506	I6h3	N－90°	楕円形	0.43 × 0.37	48	外傾	U字状	人為	土師器8	
507	J5f0	－	不整円形	0.76 × 0.72	60	外傾	U字状	人為	土師器5	
509	H6f1	N－77°－E	楕円形	0.54 × 0.44	70	直立	U字状	人為	－	
510	I6a5	－	円形	1.20 × 1.16	15	外傾	平坦	人為	土師器19	
511	J5e4	N－20°－E	不定形	4.90 × 3.82	14～30	外傾	平坦	人為	土師器19	SD 2→本跡 PG 7，SA 8と新旧不明
514	K4b5	－	円形	0.46 × 0.43	28	直立	平坦	人為	－	
515	K4b5	－	円形	0.47 × 0.46	28	外傾	U字状	人為	－	
529	H7g1	－	［円形］	0.27 × (0.22)	50	直立	U字状	－	土師器14	本跡→SB 1（P 2）
530	H7g1	－	円形	0.32 × 0.30	25	外傾	平坦	－	－	SB11と新旧不明
531	H7f2	－	円形	0.21 × 0.21	20	外傾	平坦	－	－	SB11と新旧不明
532	H7g1	N－82°－E	楕円形	0.65 × 0.40	33	外傾	平坦	－	－	SB11と新旧不明
533	H5g0	N－1°－W	楕円形	0.66 × 0.50	28	外傾	平坦	－	土師器14	本跡→SA 2（P 1）
534	J5a1	－	円形	0.75 × 0.73	8	緩斜	平坦	人為	－	第8号火葬施設→本跡

(4) 溝跡

溝跡４条の平面形は全体図（付図）に掲載し，以下，実測図及び一覧表を記載する。



第 491 図　時期不明溝跡実測図

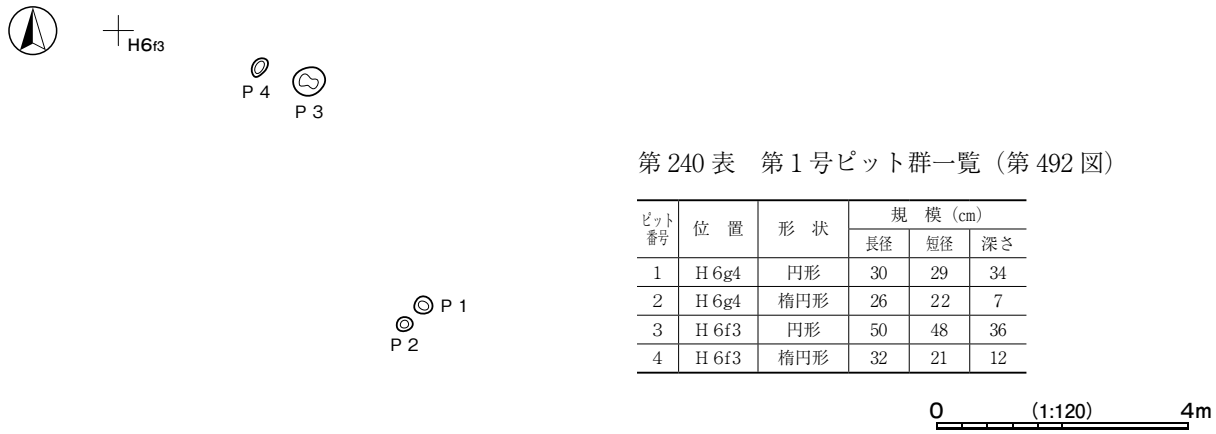
第 239 表　時期不明溝跡一覧

番号	位　置	方　向	平面形	規　模				断　面	壁　面	覆　土	主な出土遺物	備　考
				長さ(m)	上幅（m）	下幅（m）	深さ(cm)					
4	I6f2～I6g3	N－５°－W	直線状	3.80	0.55～0.68	0.44～0.61	32	U 字状	直立	人為	－	SI ５，SK ３→本跡
11	J3i7～K3d9	N－21°－W	直線状	(21.46)	0.50～0.70	0.22～0.36	32～44	逆台形	外傾	人為	土師器８	SI 80→本跡
18	J3h5～J3h6	N－73°－E	直線状	(4.76)	0.46～0.72	0.24～0.40	12	逆台形	外傾	人為	土師器９	SI 71→本跡
24	J3h8～J3h9	N－80°－W	直線状	(7.06)	0.42～0.60	0.32～0.40	10	逆台形	外傾	－	－	SI 138,SK386, SE48→本跡

(5) ピット群

ピット群５か所は，実測図及び遺構・遺物一覧を記載し，規模は計測表にて掲載する。

第１号ピット群（第 492 図　第 240 表）

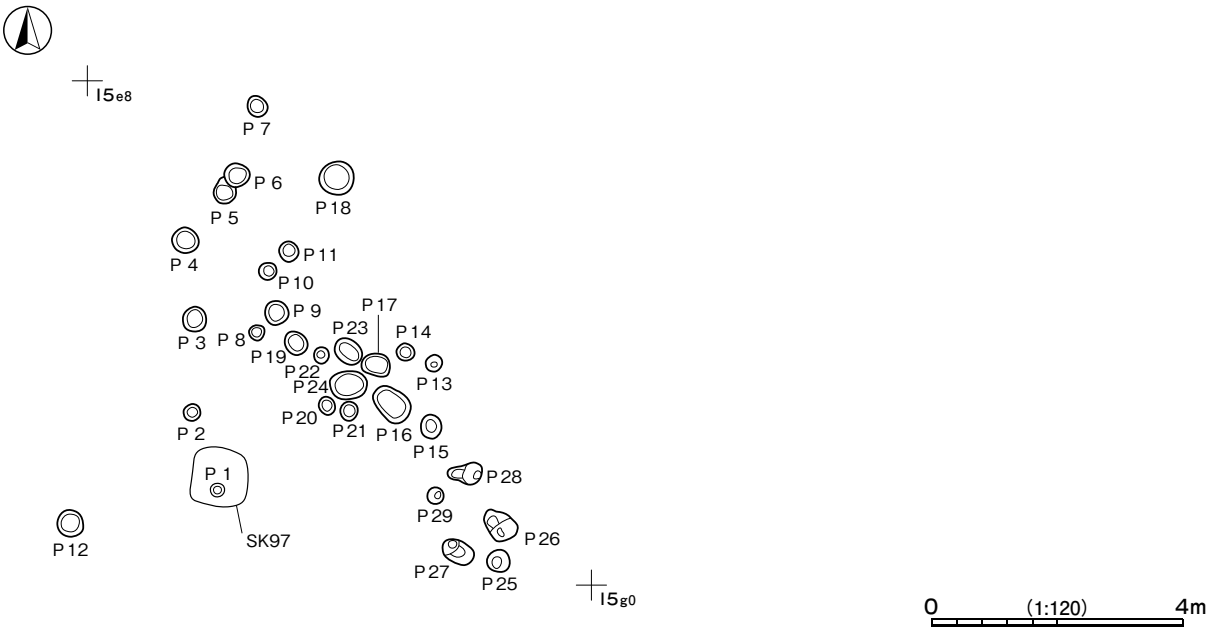


第 240 表　第１号ピット群一覧（第 492 図）

ピット番号	位　置	形　状	規　模（cm）		
			長径	短径	深さ
1	H6g4	円形	30	29	34
2	H6g4	楕円形	26	22	7
3	H6f3	円形	50	48	36
4	H6f3	楕円形	32	21	12

第 492 図　第１号ピット群実測図

第４号ピット群（第 493 図　第 241 表）



第 493 図　第４号ピット群実測図

第 241 表　第４号ピット群一覧（第 493 図）

ピット番号	位置	形状	規模（cm）			ピット番号	位置	形状	規模（cm）			ピット番号	位置	形状	規模（cm）		
			長径	短径	深さ				長径	短径	深さ				長径	短径	深さ
1	I 5f8	円形	19	19	31	11	I 5e8	円形	35	32	17	21	I 5f9	円形	30	28	37
2	I 5f8	円形	28	26	14	12	I 5f7	円形	41	41	88	22	I 5f8	円形	25	25	68
3	I 5e8	円形	40	40	14	13	I 5f9	円形	26	25	33	23	I 5f9	楕円形	48	37	24
4	I 5e8	円形	42	40	7	14	I 5f9	円形	28	27	11	24	I 5f9	楕円形	60	45	9
5	I 5e8	楕円形	41	35	14	15	I 5f9	楕円形	38	33	26	25	I 5f9	円形	35	35	12
6	I 5e8	楕円形	40	35	11	16	I 5f9	楕円形	65	46	13	26	I 5f9	不整楕円形	59	42	24/43
7	I 5e8	楕円形	34	30	22	17	I 5f9	楕円形	45	34	11	27	I 5f9	楕円形	52	35	46/66
8	I 5e8	円形	26	25	10	18	I 5e8	円形	56	55	12	28	I 5f9	不整楕円形	55	29	22/34
9	I 5e8	円形	40	38	22	19	I 5f8	楕円形	38	34	18	29	I 5f9	円形	25	25	15
10	I 5e8	円形	29	27	10	20	I 5f8	円形	28	27	14						

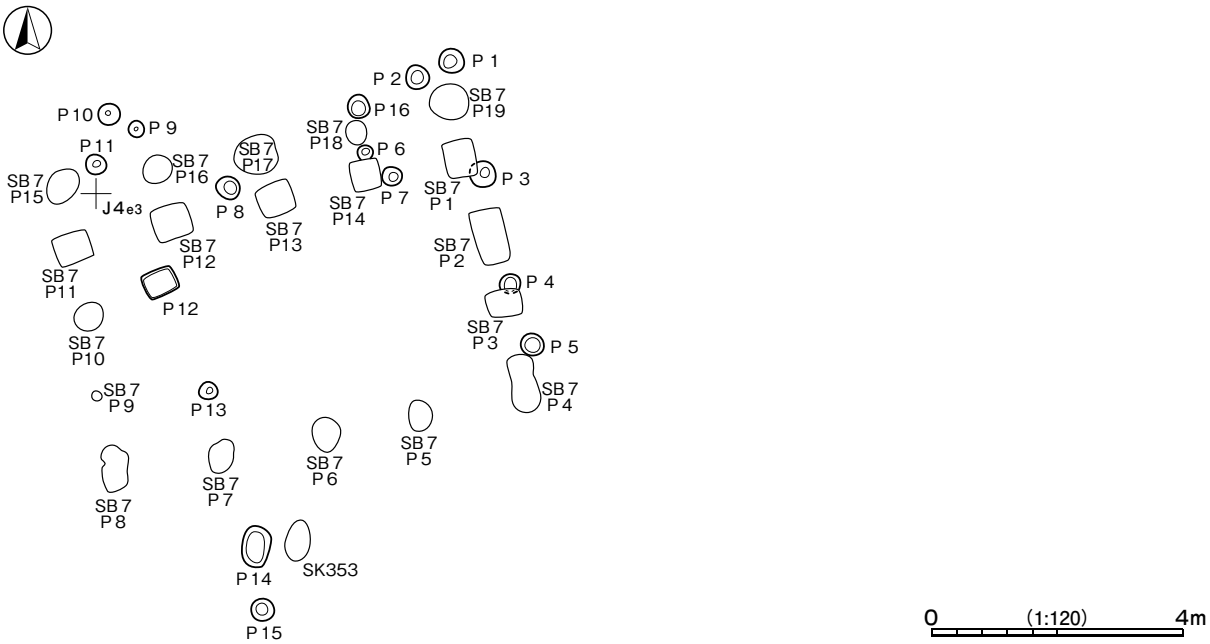
第８号ピット群（第 494 図　第 242 表）

第 242 表　第８号ピット群一覧（第 494 図）

ピット番号	位置	形状	規模（cm）			ピット番号	位置	形状	規模（cm）			ピット番号	位置	形状	規模（cm）		
			長径	短径	深さ				長径	短径	深さ				長径	短径	深さ
1	J 5j6	不整楕円形	98	51	43	9	K5b8	円形	32	30	53	17	K5b0	円形	52	51	49
2	J 5j6	楕円形	40	35	35	10	K5b8	［楕円形］	(46)	42	50	18	K6b1	楕円形	35	26	32
3	K5a8	楕円形	44	33	57	11	K5b8	［円形］	(42)	41	57	19	K6b2	円形	26	26	69
4	K5a7	楕円形	45	36	51	12	K5c8	不整楕円形	75	43	43	20	K6b2	楕円形	22	19	70
5	K5b7	楕円形	48	37	65	13	K5b8	円形	42	42	41	21	K6b2	楕円形	22	20	25
6	K5b7	円形	38	36	26	14	K5b8	円形	26	26	63	22	K6a2	円形	41	39	35
7	K5b7	楕円形	49	43	69	15	K5c8	隅丸長方形	32	28	47	23	K6a3	円形	40	38	78
8	K5b8	円形	49	46	65	16	K5a9	楕円形	63	56	45						

第494図　第８号ピット群実測図

第９号ピット群（第 495 図　第 243 表）



第 495 図　第９号ピット群実測図

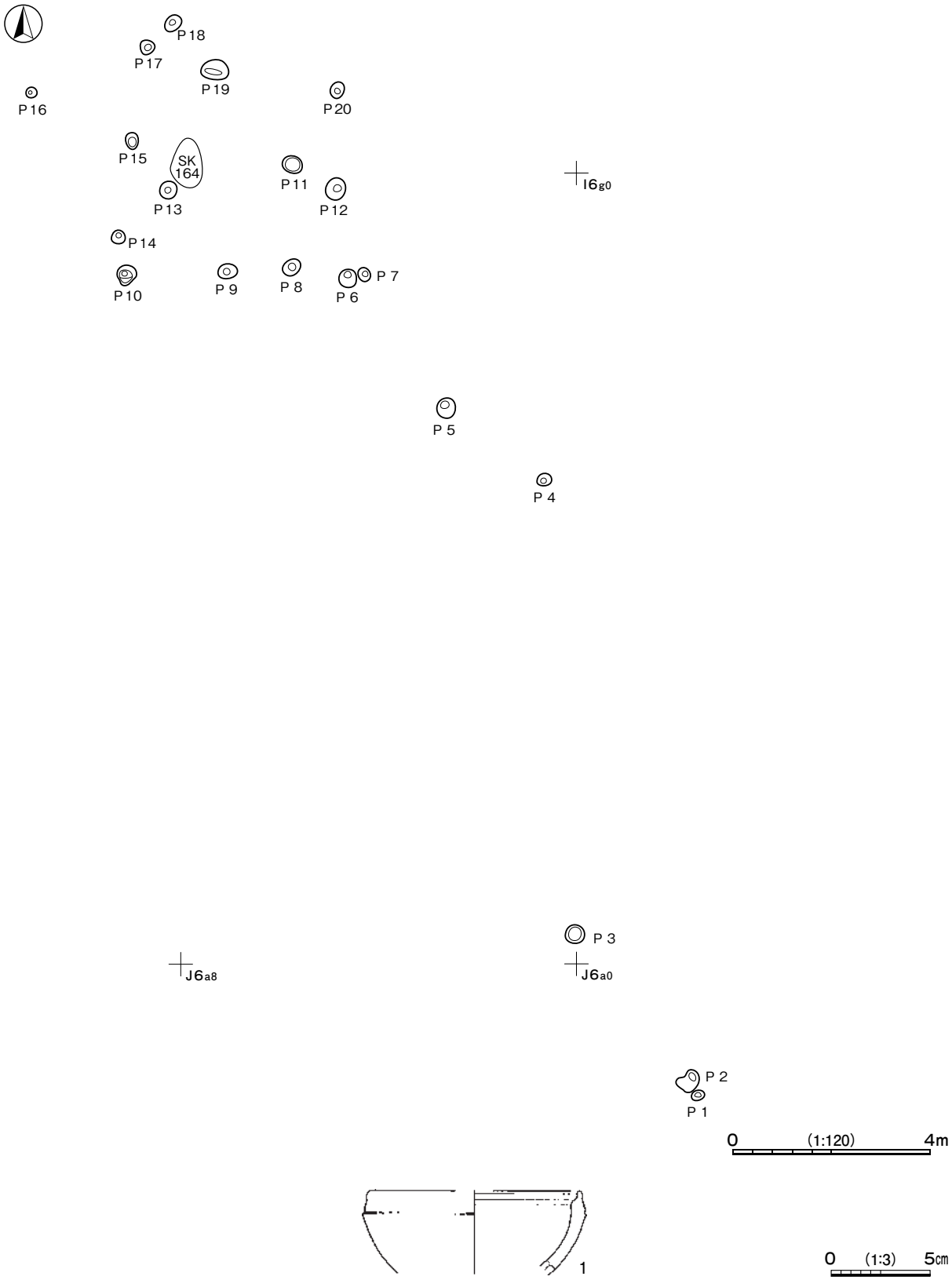
第 243 表　第９号ピット群一覧（第 495 図）

ピット番号	位　置	形　状	規　模（cm）		
			長径	短径	深さ
1	J 4d4	円形	39	39	21
2	J 4d4	円形	38	37	28
3	J 4d4	円形	42	41	17
4	J 4e4	円形	32	31	17
5	J 4e4	円形	36	34	15
6	J 4d4	円形	25	24	17
7	J 4d4	円形	32	30	15
8	J 4d3	円形	38	35	40
9	J 4d3	円形	26	24	25
10	J 4d3	円形	34	34	51
11	J 4d3	円形	31	30	22
12	J 4e3	長方形	52	42	25
13	J 4e3	円形	29	28	36
14	J 4f3	隅丸長方形	63	43	15
15	J 4f3	円形	37	36	14
16	J 4d4	楕円形	38	34	20

第 10 号ピット群（第 496 図　第 244・245 表）

第 244 表　第 10 号ピット群一覧（第 496 図）

ピット番号	位　置	形　状	規　模（cm）		
			長径	短径	深さ
1	J 6a0	楕円形	25	20	46
2	J 6a0	不整楕円形	47	36	59
3	I 6j9	円形	49	48	108
4	I 6h9	円形	28	27	49
5	I 6h9	円形	40	39	56
6	I 6g8	円形	36	36	35
7	I 6g8	楕円形	28	25	44
8	I 6g8	楕円形	40	30	30
9	I 6g8	楕円形	40	30	35
10	I 6g7	楕円形	39	35	67
11	I 6f8	楕円形	41	35	21
12	I 6g8	楕円形	45	40	43
13	I 6g7	円形	37	35	78
14	I 6g7	円形	28	27	38
15	I 6f7	楕円形	33	27	38
16	I 6f7	円形	23	22	16
17	I 6f7	不整円形	30	28	32
18	I 6f7	楕円形	37	28	41
19	I 6f8	楕円形	55	40	9
20	I 6f8	楕円形	34	30	31



第 496 図　第 10 号ピット群・出土遺物実測図

第 245 表　第 10 号ピット群出土遺物一覧（第 496 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
1	土師器	坏	［10.1］	（4.2）	－	長石・石英	橙	普通	口唇部内面沈線	P 10 覆土中	5 %

第 246 表　時期不明ピット群一覧

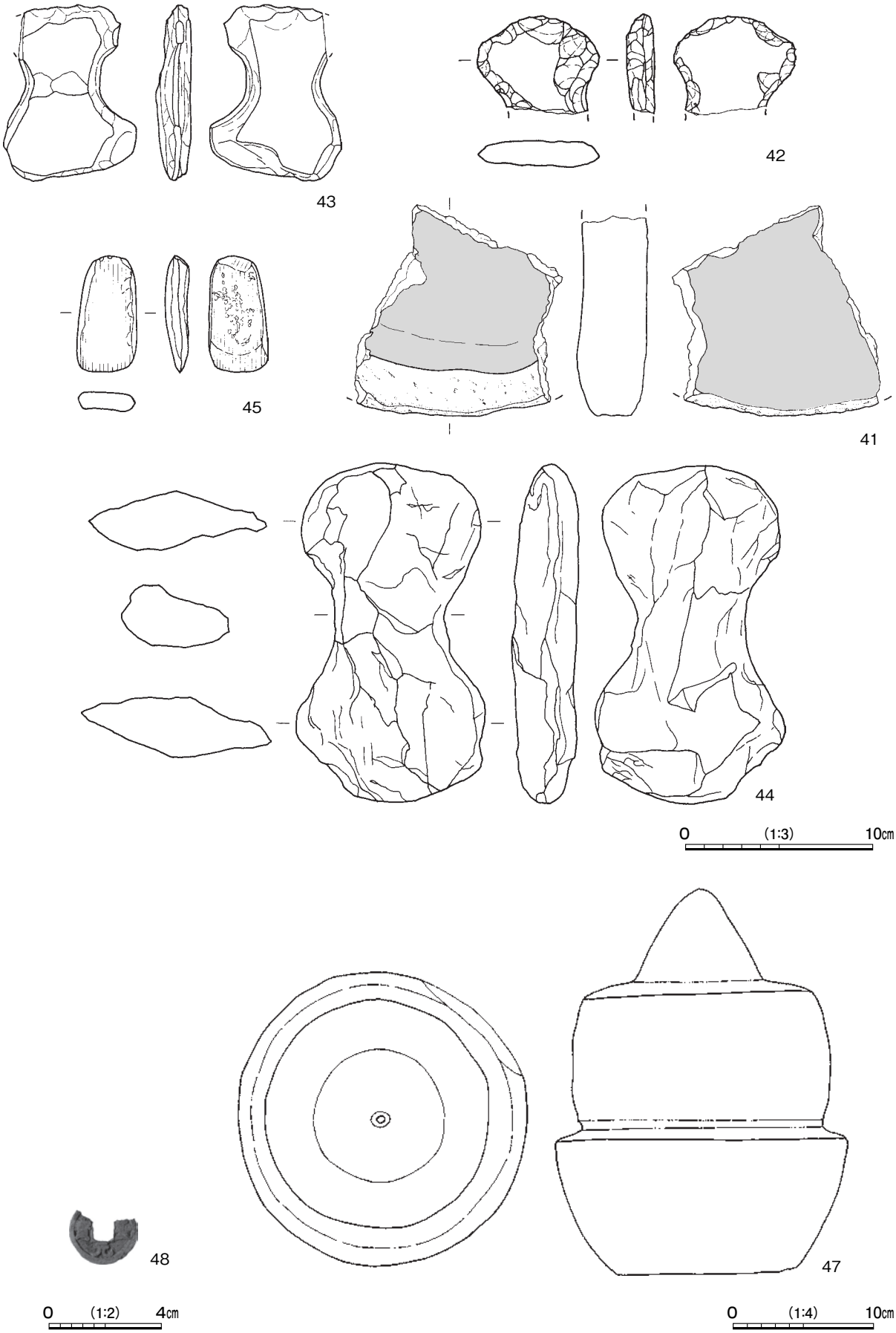
番号	位　置	柱　穴					主な出土遺物	備　考
		柱穴数	平面形	長軸(cm)	短軸(cm)	深さ(cm)		
1	H6f3 ～ H6g4	4	円形・楕円形	26 ～ 50	21 ～ 48	7 ～ 36	土師器片 4	
4	I5e7 ～ I5f9	29	円形・楕円形・不整楕円形	25 ～ 65	25 ～ 55	7 ～ 88	－	SK97 →本跡
8	J5j6 ～ K6c3	23	円形・楕円形・不整楕円形・隅丸長方形	22 ～ 98	19 ～ 56	25 ～ 78	土師器片 12	SK151・473と新旧不明
9	J4d3 ～ J4f4	16	円形・楕円形・長方形・隅丸長方形	25 ～ 63	24 ～ 43	14 ～ 51	土師器片 13	SB7，SK353と新旧不明
10	I6f7 ～ J6a0	20	円形・楕円形・不整円形・不整楕円形	23 ～ 55	20 ～ 48	9 ～ 108	土師器片 32	SK164と新旧不明

(6)　遺構外出土遺物

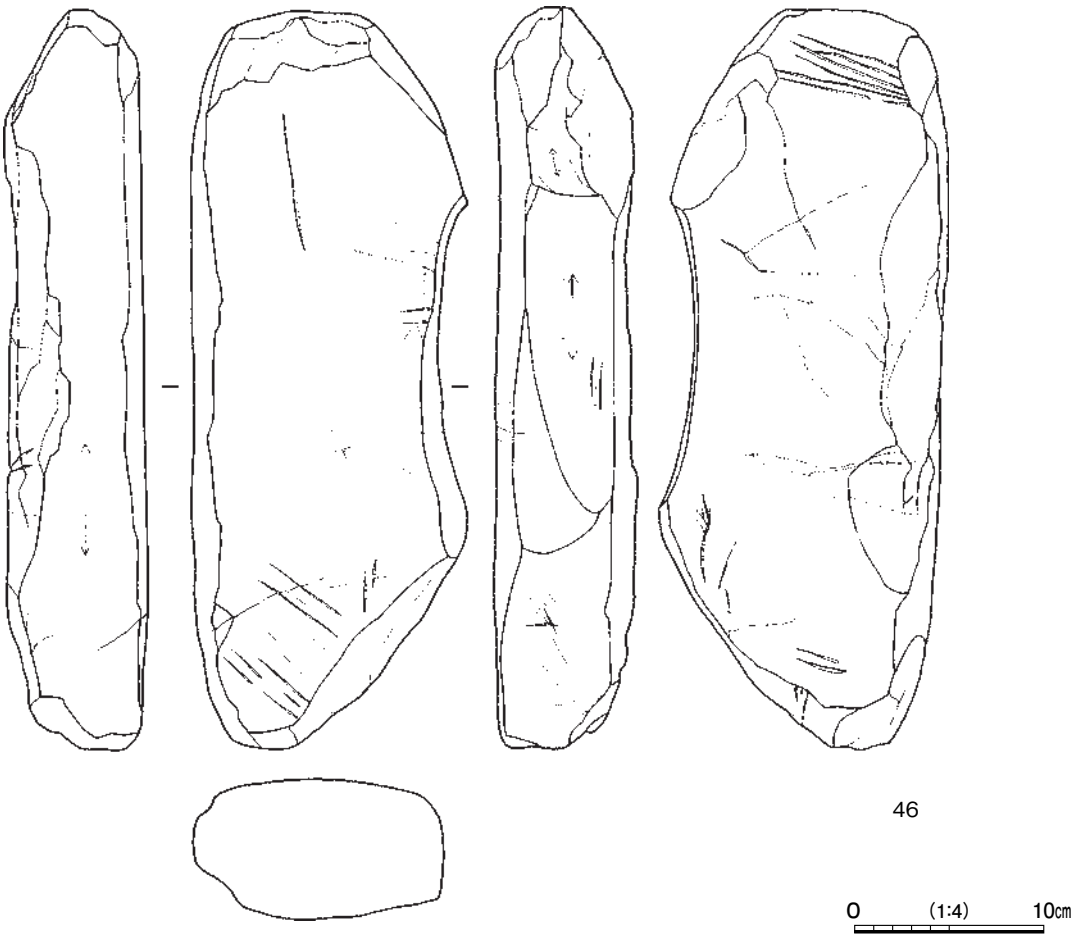
遺構に伴わない遺物については，遺物実測図（第 497 ～ 500 図）及び遺物一覧（第 247 表）で掲載する。

第 497 図　遺構外出土遺物実測図(1)

第 498 図　遺構外出土遺物実測図(2)



第 499 図　遺構外出土遺物実測図(3)



第 500 図　遺構外出土遺物実測図(4)

第 247 表　遺構外出土遺物一覧（第 497 ～ 500 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　土	色　調	焼成	特　徴	出土位置	備　考
1	縄文土器	深鉢	－	(5.4)	－	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	２条の沈線　貝殻腹縁による押引文	表土	浮島式
2	縄文土器	深鉢	－	(4.8)	－	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	口縁部貝殻押圧　口縁部と胴部を沈線により区画　貝殻波状文	表土	浮島式
3	縄文土器	深鉢	－	(3.0)	－	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	二重口縁　原体側面圧痕	表土	中期初頭
4	縄文土器	深鉢	－	(5.3)	－	長石・石英・雲母	橙	普通	口縁部区画内沈線充填	表土	加曽利ＥⅢ式
5	縄文土器	深鉢	－	(4.7)	－	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	Ｊ字文	表土	後期初頭
6	縄文土器	深鉢	－	(4.3)	－	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	沈線脇に刺突列	表土	中期前葉
7	縄文土器	深鉢	－	(6.7)	－	長石・石英・雲母	橙	普通	口縁部に１条の沈線	表土	後期初頭
8	縄文土器	深鉢	－	(4.5)	－	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	Ｊ字文内に刺突	表土	後期初頭
9	縄文土器	深鉢	－	(15.7)	－	長石・石英・雲母	にぶい赤褐	普通	蛇行する懸垂文と長方形区画文で縦位区画	表土	堀之内１式
10	縄文土器	深鉢	－	(4.8)	－	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	隆帯上に竹管による刺突列　無節 l	表土	後期初頭～前葉
11	縄文土器	深鉢	－	(5.5)	－	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	櫛歯状工具による沈線文	表土	後期前葉
12	縄文土器	深鉢	－	(4.7)	－	長石・石英・雲母	橙	普通	口縁部文様帯に刺突文	表土	後期初頭～前葉
13	縄文土器	深鉢	－	(6.6)	－	長石・石英・雲母	橙	普通	渦巻文	表土	中期中葉
14	縄文土器	深鉢	－	(4.8)	－	長石・石英・雲母	橙	普通	渦巻文	表土	中期中葉
15	縄文土器	深鉢	－	(7.8)	－	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	単節 LR 縄文充填後，無文部ヘラ磨き	表土	後期初頭～前葉
16	縄文土器	深鉢	－	(4.6)	－	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	隆帯貼付け　隆帯脇に沈線　補修孔	表土	中期

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
17	土師器	坏	10.9	3.8	－	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	口唇部内面沈線	表土	90%　PL98
18	土師器	坏	11.0	4.1	－	長石・石英・赤色粒子	にぶい橙	普通	口唇部内面沈線	SD 7 覆土中	70%　PL98
19	土師器	坏	［11.4］	(4.5)	－	長石・石英・雲母	橙	普通	口唇部内面沈線　口縁部外面・内面黒色処理	SB12 覆土中	20%
20	土師器	坏	［14.6］	(4.2)	－	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	口縁部内面横位ヘラ磨き　内面放射状ヘラ磨き	SI 122 覆土中	10%
21	土師器	坏	［11.6］	4.3	－	長石・石英・赤色粒子	にぶい橙	普通	口縁・体部境外面沈線　口唇部内面沈線　黒色処理の痕跡	SI 38 覆土中	50%
22	土師器	坏	13.1	4.0	－	長石・石英・雲母	橙	普通	口唇部内面沈線　口縁部外面・内面黒色処理の痕跡	SE79 付近	80%　PL98
23	須恵器	坏	［10.4］	3.7	［7.2］	長石・石英	灰	良好	ロクロ整形　底部回転ヘラ削り	SI 11 覆土中	20%
24	土師器	器台	－	(1.8)	－	長石	橙	普通	外・内面摩滅	SD 1 覆土中	10%　PL102
25	土師器	高坏	［10.0］	(4.1)	－	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	口唇部内面沈線	SE 2 覆土中	20%
26	土師器	鉢	［10.0］	7.0	－	長石・赤色粒子	橙	普通	口唇部内面稜線	SD 6 覆土中	50%
27	土師器	壺	［23.7］	(5.7)	－	長石・石英	明赤褐	普通	折り返し口縁	表土	5％　PL102
28	須恵器	短頸壺	［8.7］	11.1		長石・石英・細礫	灰	良好	ロクロ整形	表土	90%　PL98
29	須恵器	甕	－	(10.6)	－	長石・石英	灰	普通	外面平行叩き	SE11 覆土中	5％ 砥石転用
30	須恵器	甕	－	(6.1)	－	長石・石英・雲母	灰白	普通	外面平行叩き	SE24 覆土中	10%
31	土師器	手捏土器	－	(2.9)	［4.0］	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	内面黒色処理	表土	30%
32	土師器	手捏土器	［6.6］	4.1	［3.1］	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	底部外面ヘラ削り	表土	40%
33	土師器	手捏土器	［6.2］	4.6	5.0	長石・石英	橙	普通	底部木葉痕	表土	50%

番号	器　種	上径	下径	厚さ	孔径	重量	胎　　土	特　　徴	出土位置	備　考
34	土製紡錘車	6.1	5.3	2.3	1.0	102	長石・石英・雲母・赤色粒子	外面ナデ	SD 2 覆土中	PL99

番号	器　種	長さ	幅	厚さ	孔径	重量	胎　　土	色　調	特　　徴	出土位置	備　考
35	土製勾玉	2.5	1.3	0.9	0.2～0.5	(2.16)	長石・石英	明赤褐	一方向から穿孔	表土	
36	土製勾玉	3.2	1.6	1.2	0.1～0.4	5.32	長石・黒色粒子・赤色粒子	にぶい黄橙	一方向から穿孔	表土	

番号	器　種	径	高さ	孔径	重量	胎　　土	色　調	特　　徴	出土位置	備　考
37	土玉	1.6	1.1	0.15～0.2	(1.60)	長石・石英	橙	一方向から穿孔	表土	
38	土玉	1.5	1.4	0.2～0.25	2.72	長石・石英	橙	一方向から穿孔	表土	PL103

番号	器　種	長さ	幅	厚さ	重量	材　　質	特　　徴	出土位置	備　考
39	石鏃	2.49	1.35	0.53	(2.12)	黒曜石	凹基無茎鏃	表土	PL104
40	石鏃	1.88	1.63	0.43	1.66	黒曜石	凹基無茎鏃	表土	PL104
41	石皿	(11.2)	(10.5)	3.7	(541)	砂岩	磨面２面	表土	
42	打製石斧	(5.2)	6.6	1.4	(66.04)	安山岩	分銅形ヵ	表土	PL104
43	打製石斧	9.3	7.2	1.9	(133)	流紋岩	分銅形	SI 74 覆土中	PL104
44	打製石斧	18.1	10.2	3.5	660	流紋岩	分銅形	SE15 覆土中	PL104
45	磨製石斧	6.2	3.1	1.2	39.59	蛇紋岩	短冊形　片面の研磨弱い	表土	PL104
46	砥石	38.7	14.5	7.6	7000	凝灰岩	砥面４面	表土	

番号	器　種	長さ	幅	高さ	重量	材　　質	特　　徴	出土位置	備　考
47	五輪塔	20.5	20.7	27.4	(12,800)	花崗岩	空風輪	表土	PL101

番号	器　種	径	孔幅	厚さ	重量	材　　質	特　　徴	出土位置	備　考
48	銭貨	2.1	0.7	0.2	(2.12)	銅	「□聖元寶」 1023 年「天聖元寶」ヵ　北宋銭	表土	PL104

第４節　総　　括

1　はじめに

塔ノ内南遺跡は，平成 31（令和元）年度に調査を行い，竪穴建物跡 126 棟（縄文時代１，古墳時代 102，奈良時代８，時期不明 15），掘立柱建物跡 13 棟（古墳時代３，鎌倉・室町時代 10），方形竪穴遺構３棟（鎌倉・室町時代），円形周溝状遺構１基（時期不明），堀跡５条（鎌倉・室町時代），溝跡 19 条（鎌倉・室町時代 15，時期不明４），柱穴列６条（鎌倉・室町時代），ピット群８か所（鎌倉・室町時代３，時期不明５），土坑 532 基（縄文時代 18，古墳時代 34，奈良時代１，時期不明 479），井戸跡 54 基（古墳時代 17，奈良時代１，鎌倉・室町時代 36），火葬施設８基（鎌倉・室町時代）を確認した。当遺跡で中心となるのは古墳時代後期から奈良時代にかけての集落跡と，鎌倉・室町時代の館跡である。本節では，古墳時代の当遺跡と周辺地域の土器の様相を対比しながら時期区分し，集落の変遷を概観するとともに，13 世紀後半の館跡の性格と周辺地域との関わりについて若干の考察を加え，総括とする。

2　古墳時代の出土土器と集落変遷

⑴　分析手法の確認と出土土器の分類

塔ノ内南遺跡では，古墳時代後期から奈良時代前半の土器について，良好な一括資料が出土している。既に茨城県南地域や栃木県西地域といった周辺地域では当該期の土器編年が提示されているが[1)]，茨城県西部では大規模な既往調査が少なく，明確な編年案が提示されていない。その意味で当遺跡出土資料は当地域における土器様相の指標となり得ると思われる。ここでは，当該期において最も多くの遺構から出土しており，形態や技法の変遷が時期差として把握しやすい土師器坏を軸に，当遺跡における土器編年を考えてみたい。

分析の手法として，千葉県東金市山田水呑遺跡や栃木県宇都宮市薬師寺南遺跡でとられた，「土器総体を対象とした類型化作業」を行い，「土師器杯型土器群に見られる時間帯を段階として把握」し，「各群に共伴する（中略）甕形土器の類型の消長関係を通観」する手法を用いる[2)]。また，分析に当たって用いる資料は残存率 50％以上のものを用い，一括性に配慮して人為堆積の遺構か，自然堆積の場合は床面出土遺物などに限って実施した[3)]。

以下，当遺跡から出土した土師器坏の分類を行い，特徴と変遷を述べる。

Ａ類　口縁部と体部の境に段または稜を持ち，口縁部が内傾するもので，須恵器坏身模倣の土師器坏を起源に持つ。当遺跡で見られるＡ類は既に定型化した様相を示し，周辺地域の編年と比較してみても，先行する段階があることは明らかである。形態や調整技法の変遷をみると，主に体部削り範囲や，受け部，底部の形状に，３段階の変遷が見て取れる（第 501 図）。

Ａ１段階では，体部から底部を受け部の稜と接するまで削り切っている。受け部の幅は狭く，口縁部との境目は凹線で表現される（SI6-1）。黒色処理は外・内面の全面に施している。

Ａ２段階では，いくつかの形態的バリエーションをもつが，これらは受け部表現の簡略化に起因している。受け部の高さが広がり，口縁部が直立ぎみになるもの（SI114-1），受け部と口縁部を沈線で区画するもの（SI80-4），受け部と口縁部の境目にあった凹線が消滅するもの（SI80-3）がある。これらのうち後者２つが坏Ｄ類に派生していく。また，受け部と体部の削りの間に狭い無調整帯[4)]を持つ坏が見られる

ようになる。底部はＡ１段階に引き続き丸底ではあるが，体部と底部の削り調整の境目が僅かに角ばる。黒色処理は外・内面全面に施している。

Ａ３段階の坏は１点のみである（SE44-1）。受け部が内傾してから口縁部が直立して立ち上がる形態は第２段階と同様だが，体部の無調整化と平底化の傾向が顕著である。同時期のＡ′類よりは大きいが，第２段階と比べ法量は確実に小さくなっている。

Ａ′類　口縁部と体部の境に段を持ち，口縁部が短く外傾または直立するもの。技法的にはＡ類から連続的に派生している（第 501 図）が，須恵器坏身に備わっていた受け部の形態的特徴が失われている。この点で須恵器坏身の「模倣」であったＡ類と一線を画しており，別類型として設定する。主に体部削り範囲や口縁部の形状に，４段階の変遷が見て取れる（第 501・502 図）。

Ａ′１段階では，Ａ２段階の傾向を引き継いで，口縁部付近に形態的なバリエーションを持ち，口縁部のナデと体部の削りの間に狭い無調整帯を持つ。受け部は退化し，口縁部は短くなり，口縁部・体部を沈線で区画するようになる。具体的には，単純に受け部が消失したもの（SI40-8），受け部の稜線が鈍化し，沈線を挟んで受け部の上下を一息にナデ調整するもの（SI40-9）などがある。後者についてはＡ類には存在しなかった変則的な調整で，受け部の下にナデ調整を施すものである。ここで注意しておきたいのは，口縁部のナデ調整の幅がＢ類と類似していることであり，Ａ′類の製作にＢ類の技法が導入された可能性がある。口縁部のナデという極めて一般的な技法の流用ではあるが，類型の間の境界が，技法的，形態的に近づいていると言えるだろう。

Ａ′２段階では，受け部の形骸化はさらに進み，口縁部・受け部の境ではなく口縁部の途中に沈線を入れるものが現れる。また，沈線を挟んで受け部の上下を一息にナデ調整するものも増える。体部の無調整帯はさらに広がり，平底化はさらに進行する。

Ａ′３段階では，他の類型同様，若干ではあるが法量の大形化が見られる。口縁部周辺に見られるバリエーションは第２段階に輪をかけて多様化する。第２段階に見られたもののほか，沈線が消失したもの（SI85-7）や，沈線区画上の口縁部が極端に短いもの（SI85-8）がある。後者は口縁部の途中に沈線を入れるものから派生したと見られる。

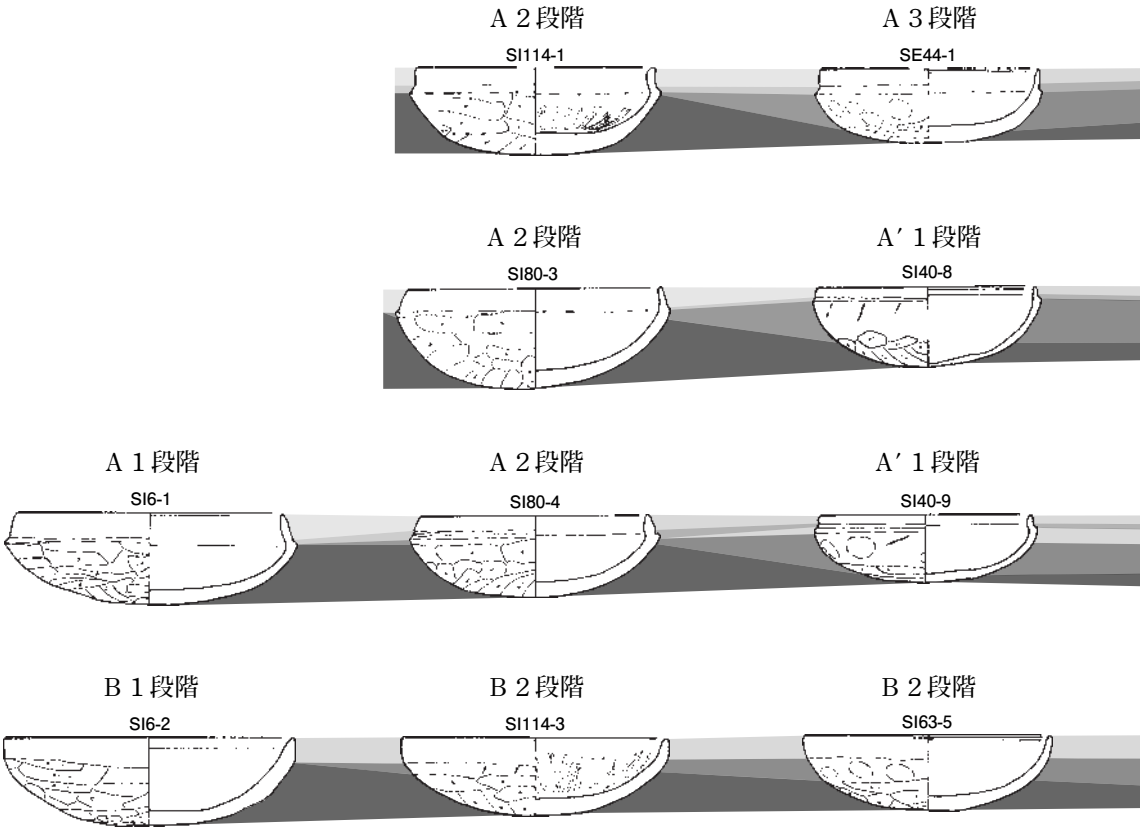
Ａ′４段階とした坏は１点のみであり（SI15A-1），法量の大形化が見られる。沈線区画上の口縁部は極端に短くなり，体部は下端のみを削り，底部は平底化している。

Ｂ類　口縁部と体部の境に稜を持ち，口縁部が直立または内傾するもの。須恵器坏蓋模倣の土師器坏を起源に持つ。Ａ類と同様，既に定型化した様相を示し，先行する段階が明らかである。形態や調整技法の変遷をみると，主に体部削り範囲や底部の形状に，４段階の変遷が見て取れる（第 501・502 図）。

Ｂ１段階では，体部から底部を口縁部のナデと接するまで削り切っており，器形は半球形である。次の段階で増加する口縁部のナデと体部の削りの間に無調整帯があるものが少ないながら出現している（SI53-5 など）。Ａ類同様，黒色処理は，外・内面全面に施している。

Ｂ２段階では，器高が，４㎝程度の浅いもの（SI34-5・6 ほか）と，５㎝程度のやや深いもの（SI114-5・6 ほか）に分かれる。どちらの系統でも口縁部のナデと体部の削りの間に狭い無調整帯を持つ坏が増える。また，Ａ２段階の坏と同様に体部と底部の削り調整の境目が僅かに角ばる。黒色処理は，口縁部外面・内面に施しているが，外面は口縁部にとどまらず体部まではみ出していることもある。

Ｂ３段階では，口縁部と体部から底部の間にある無調整帯が広がる。体部が完全に無調整になり，底部のみを削るものも現れる。体部と底部の削り調整の境目は更に角ばり，平底化の傾向にある。また，器高



第501図　土師器坏における形態・技法の変遷(1)

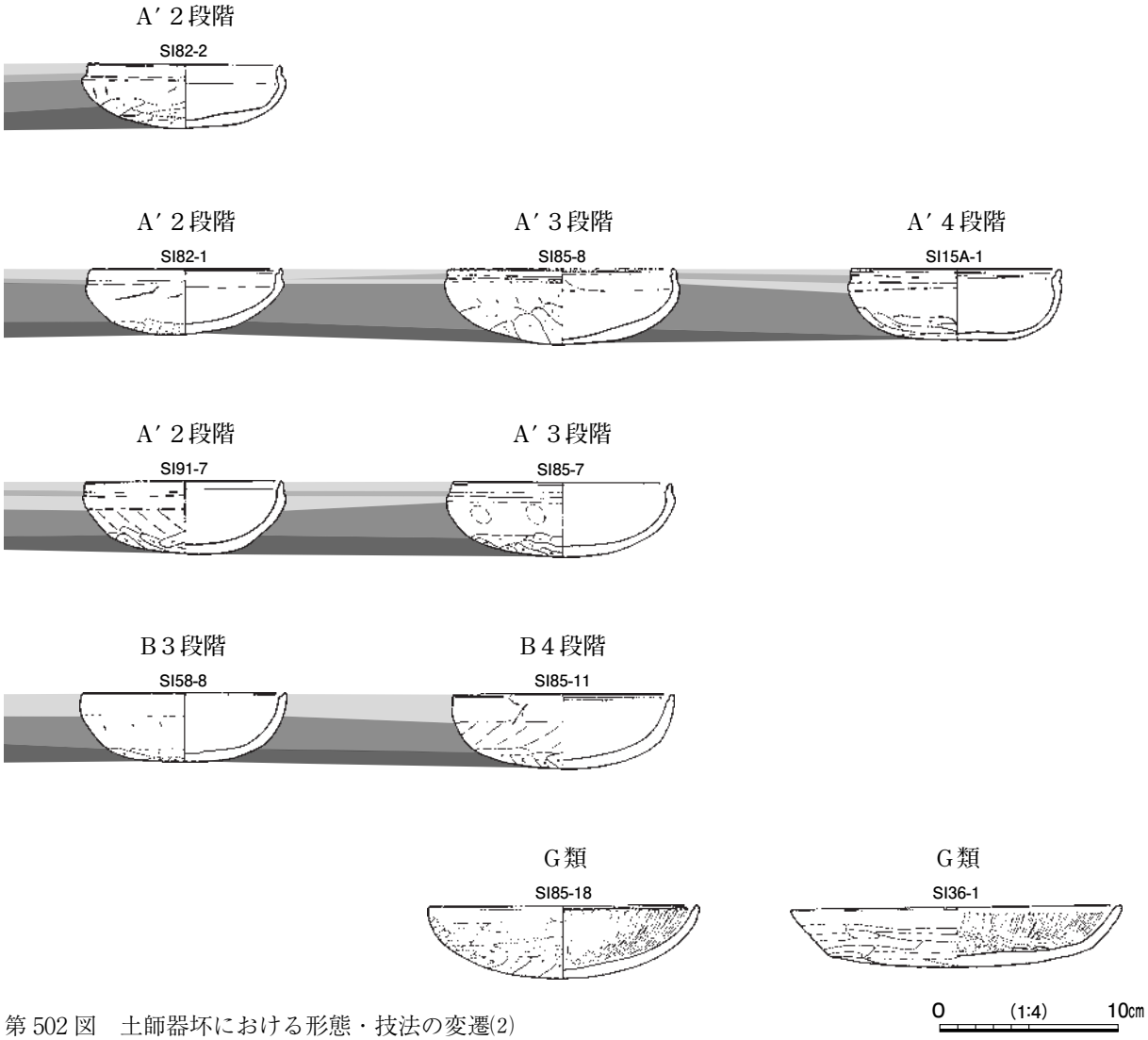
の深い系統は少数ながら存在しており，調整や平底化の傾向などは器高の浅いものと同様である。黒色処理は，口縁部外面・内面に施している。

Ｂ４段階ではＢ類の体部調整に揺り戻しが起こり，底部のみを削るもの，体部下半まで削るもののほかに口縁部まで削りきるものが再び増加する。また，体部が短くなることで器高が低下し，皿形に近いものが現れる（SI66-5･6）。数は少ないながら,内面に放射状ヘラ磨きを施すものもある。黒色処理の範囲は,口縁部外面・内面に施している。

Ｃ類　口縁部と体部の境に稜を持ち，口縁部が外傾するもの。須恵器坏蓋模倣の土師器坏を起源に持つ。当遺跡での出土は各期を通じて客体的であり，形態の変化を通時的に捉えるのが難しい。

Ｄ類　口縁部と体部の境に段または稜を持ち，口縁部が外傾するもの。形態的にはＣ類と類似するが,法量や沈線の有無などに違いがあり，同一系統上に位置づけられるか不明である。口縁部と体部の間に無調整帯があり，平底化の傾向にある。口縁部と体部は沈線によって区画される。Ｄ類は一定の出土量があるが，法量や調整が類似しており段階設定が難しい。

Ｅ類　丸底もしくは扁平気味の丸底で，口縁部が長く，外反するものである。当遺跡でＥ類としたもののほとんどは，赤褐色から橙色を呈し，内面を中心に磨きを施す。これらは，茨城県南部から千葉県北部



第 502 図　土師器坏における形態・技法の変遷(2)

地域で「橙色暗文坏」とされてきたものと特徴が一致する[5)]。逆に，橙色でないものは，第 70 号竪穴建物から出土した黒色処理を施す坏（SI70-4）のみである。

Ｅ１段階では，口径 18cm程度の大形の坏と口径 15cm程度の小形の坏に分かれる可能性がある。口縁部外面と体部外面は沈線で区画されるが，その上にナデ調整を施すことが多く，沈線の痕跡が残らないものもある。口縁部直下に無調整帯を持つものが多く，その下の底部を削りで調整する。底部は基本的に丸底であるが，削りの範囲によって平底に近くなる形態もある。口縁部内面を横位に，底部内面を放射状に磨く。このとき磨きの範囲は口縁部と底部の稜線で区切られ，接することはあるが境界を越えることはない。そのため，往々にして口縁部内面と底部の磨きの間に空隙が見られる。また，底部内面の磨きは規則的だが，それに比して口縁部内面の磨きはやや乱雑で規則性はない。また，黒斑の付き方に特徴があり，底部中央付近に黒斑を持つ。

Ｅ２段階は，前段階の特徴を引き継ぐ。ただし，口縁部外面と体部外面は沈線で区画されているが，区画部分が幅広くなり，直立するものがある。また，坏の内面のみならず外面を磨くもの，逆に全く磨きを施さないものや小形のものが見られる。以上のことから，技法的な崩れが起きていると捉えて，段階を設定した。

F類　丸底もしくは扁平気味の丸底で，口縁部が長く，直立または内傾するものである。E類と同じく，赤褐色から橙色を呈し，内面を中心に磨きを施す。F類も「橙色暗文土器」として捉えられる。各期でE類と共伴しているが客体的な出土であり，形態の変化を通時的に捉えるのが難しい。F類も黒斑の付き方にE類と同様の特徴があり，底部中央付近に黒斑を持つ。

G類　口径が大きく，内面に放射状ヘラ磨きを施し，口唇部内面に沈線を有すものであり，鶴間正明氏が示した「新型の土師器坏(1)」に相当すると考えられる[6)]。形態的，技法的にはB類の系統上にあるが，前述の点で同一類型と判断しがたい程度には差別化されている。器形は扁平な半球形（SI85-17 ～ 21）や，皿形に近いもの（SI101-5）がある。いずれも体部の無調整帯を残さず，外面には磨きや丁寧なナデ調整やヘラ削りを施し，胎土も精錬されている。赤彩はされていないが，色調は橙色や赤褐色など赤色系であり，畿内産土師器坏の色調を意識しているといえる。

(2)　土師器坏類の共伴関係と消長関係

前項で行った分類に則って，各類型を出土遺構にもどして共伴関係を表に示し，時期区分を行った（第248表)。表の横軸には各類型の出土点数を，縦軸には出土遺構をあてている[7)]。A・A′・B・C・D類とE・F類との間に明確な共伴関係は認められないが，それぞれの類型に共伴する須恵器（SI96-16，SI80-14）からE・F類が先行することがわかる。B類は分析対象となった遺構の多くから出土しており，B類の変遷を時期決定の基準とし，A類，A′類，G類で補完した。また，共伴関係表をもとに，消長関係を模式的に示した（第503図)。

ここで，各期の実年代を考えてみたい。年代決定資料となり得るのは，１期に第96号竪穴建物跡出土の須恵器高坏，４期に第80号竪穴建物跡出土の須恵器坏身，７期に第22号竪穴建物跡出土の須恵器坏，第85号竪穴建物跡などから出土している土師器坏G類（いわゆる「新型の土師器坏(1)」）がある。

第96号竪穴建物跡出土の須恵器高坏は，坏部が外に開き無蓋の高坏の形態をとる。脚部は３方１段の透かしを入れ，やや長脚化の傾向にある。坏部に残る透かしの切り込みの入れ方は粗雑で正確に３等分されておらず，関東の在地窯の製品と考えられる。そのため，陶邑編年に直接当てはめるのははばかられるが，形態・法量から概ねTK10平行としておきたい。第80号竪穴建物跡出土の須恵器坏身にも同じことがいえるが，概ねTK209からTK217古段階に平行すると考えておきたい。第22号竪穴建物跡出土の須恵器は平底の坏である。生産地の特定はできないが，犬田神社前遺跡第205号竪穴建物跡などに類例がある。形態からみて７世紀第４四半期のものと考えたい。土師器坏G類は，茨城県南部では目立った出土例はないものの，近隣の栃木県域では７世紀第３四半期から第４四半期にかけて出土している[8)]。

以上から実年代は，　１期：６世紀第２四半期，２期：６世紀第３四半期，３期：６世紀第４四半期，４期：７世紀第１四半期，５期：７世紀第２四半期，６期：７世紀第３四半期，７期：７世紀第４四半期，８期：８世紀第１～３四半期とした。

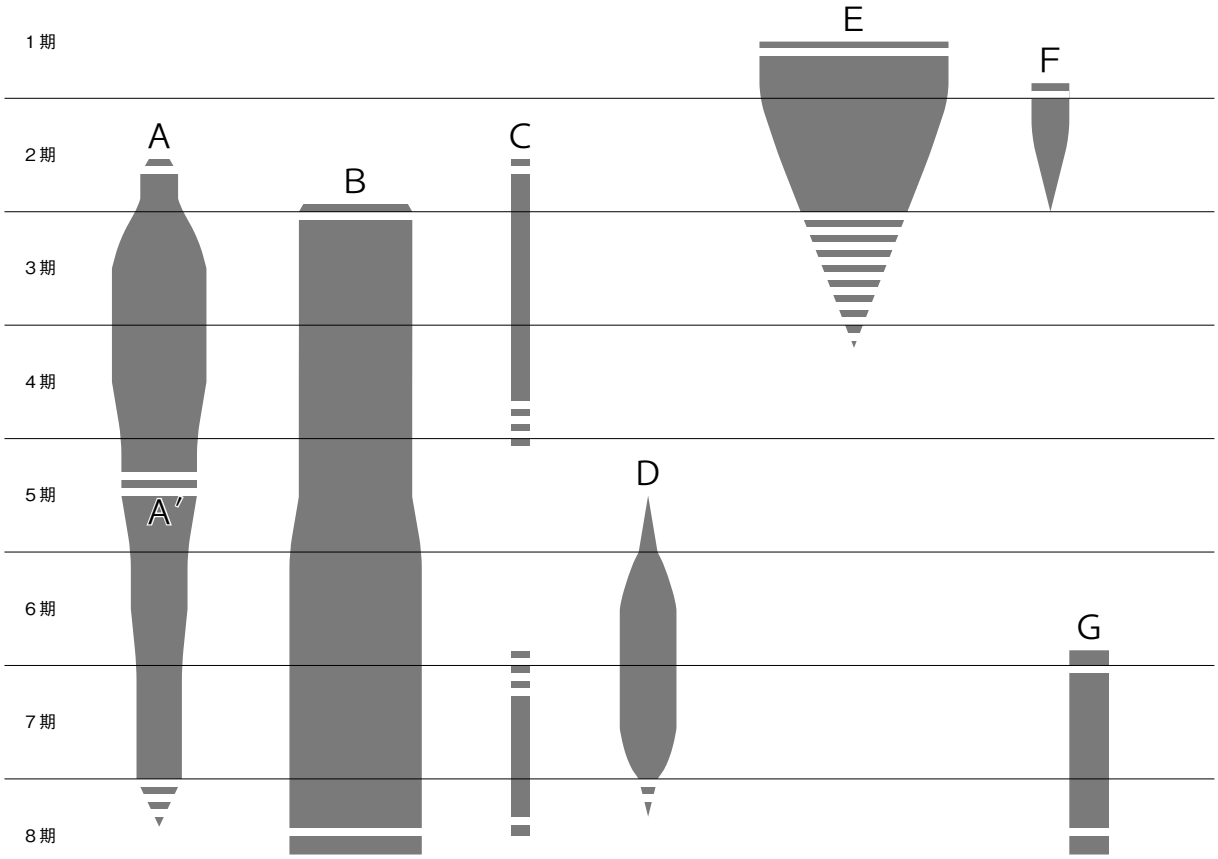
写真　第96号竪穴建物跡出土高坏に残る切れ込み

(3)　時期ごとの様相

前項で決定した各段階ごとに，土師器坏の法量や坏以外の器種を含めた，各時期の土器様相を概観する。

第 248 表　土師器坏共伴遺構一覧

時期	遺構番号	A1	A2	A3	A′1	A′2	A′3	A′4	B1	B2	B3	B4	C	D	E	F	G	合計
1期	SI 96														11 (100%)			11
2期	SI 109														7 (88%)	1 (13%)		8
	SI 90														20 (91%)	2 (9%)		22
3期	SI 132	1 (50%)							1 (50%)									2
	SI 6	1 (14%)							6 (86%)									7
	SI 53	2 (50%)								1 (25%)			1 (25%)					4
4期	SI 34		2 (50%)						1 (25%)	1 (25%)								4
	SI 80	1 (14%)	5 (71%)							1 (14%)								7
	SI 114			1 (20%)						3 (60%)								5
5期	SI 40				4 (40%)	1 (10%)				2 (20%)	3 (30%)							10
	SI 18				1 (17%)	1 (17%)				2 (33%)	1 (17%)			1 (17%)				6
	SI 4									1 (33%)	1 (33%)			1 (33%)				3
	SI 51									1 (50%)				1 (50%)				2
6期	SI 39				1 (50%)					1 (50%)								2
	SI 10					1 (13%)				4 (50%)	2 (25%)			1 (13%)				8
	SI 102					1 (25%)						1 (25%)		2 (50%)				4
	SI 131					1 (25%)	1 (25%)					1 (25%)		1 (25%)				4
	SI 1 A					1 (17%)	1 (17%)			1 (17%)	1 (17%)	1 (17%)		1 (17%)				6
	SI 23					1 (11%)	1 (11%)				3 (33%)	3 (33%)		1 (11%)				9
	SI 58						3 (30%)				3 (30%)	2 (20%)		2 (20%)				10
	SI 8					2 (29%)				1 (14%)	1 (14%)	1 (14%)		2 (29%)				7
	SI 91					1 (14%)					3 (43%)	1 (14%)		2 (29%)				7
	SK157					2 (33%)	1 (17%)				1 (17%)	1 (17%)		1 (17%)				6
	SI 11											3 (60%)		2 (40%)				5
	SI 14										1 (50%)			1 (50%)				2
	SI 25										1 (13%)	3 (38%)		4 (50%)				8
	SI 69													1 (100%)				1
	SI 9											1 (50%)		1 (50%)				2
	SK110						1 (33%)					1 (33%)		1 (33%)				3
7期	SI 101						1 (17%)					1 (17%)	1 (17%)				3 (50%)	6
	SK516						2 (33%)					3 (50%)					1 (17%)	6
	SI 22						2 (40%)					1 (20%)		2 (40%)				5
	SI 33						2 (40%)					1 (20%)		2 (40%)				5
	SI 66						1 (25%)					2 (50%)		1 (25%)				4
	SI 85						3 (14%)				2 (10%)	5 (24%)		6 (29%)			5 (24%)	21
	SI 35						1 (33%)							2 (67%)				3
8期	SI 61											3 (100%)						3
	SE52												1 (100%)					1
	SI 15 A							1 (100%)										1
	SI 128											1 (100%)						1



第503図　土師器坏類の消長関係

１期（６世紀第２四半期）

第96号竪穴建物跡出土遺物のみで，サンプル数がやや少ないが，素描を試みる。

坏Ｅ類の口径は18.0～13.9cmで，15.3～14.2cmの範囲に分布の半数が収まる。すべて橙色暗文土器で，ある。中には黒色処理するもの（SI96-6）がある。土師器鉢・壺・甑も坏と同様に橙色の胎土を用い，外・内面に磨きを施す。甕に用いられる胎土はその限りではなく，長石や砂粒を混ぜ込んだざっくりとした胎土である。甕の体部から口縁部を立ち上げる際に粘土紐の乾燥帯を挟み，明瞭な接合痕が残る。底部は突出している。また，１点ではあるが，有段口縁の鉢が出土している。口縁部の段は緩く，関東西部に見られる有段口縁の土師器と関連するかやや疑問である。また，これも１点のみではあるが，須恵器高坏が出土している。前述の通り，同時期の陶邑窯産などと比べると製作技法に崩れが見られる。

２期（６世紀第３四半期）

第90・109号竪穴建物跡出土遺物が該当する。坏Ｅ類の口径は16.1～11.7cmで，15.0～14.0cmの範囲に分布の半数が収まる。１期と同様，口縁部外面と体部外面は沈線で区画されているが，区画部分が幅広くなり，直立するものがある。また，外面を磨くもの，磨きを施さないもの，小形のものが見られる。坏Ｆ類に関してはサンプル数が少ないが，口径は11.6～10.5cmの範囲に収まる。口縁部が直立ぎみであることを除けば，形態・調整技法は坏Ｅ類に準ずる。なお，第109号竪穴建物跡は自然堆積であり，覆土中層の出土遺物は後続する時期の遺物が流入している。土師器鉢・壺・甑は１期と同様，橙色の胎土で磨きを施すものが見られるほか，大形の甕と同様の胎土で作られたと思われる褐色を呈するものが現れる。

甕は１期とほぼ同様であるが，大形の甕の胎土を用いながら橙色暗文土器と同様の手法で磨きを施す甕（SI109-27）があり，注目される。

３期（６世紀第４四半期）

坏Ａ類の口径は 14.4 ～ 11.9cmで，14.1 ～ 12.2cmの範囲に分布の半数が収まる。坏Ｂ類の口径は 15.4 ～ 11.5cmで，15.2 ～ 14.0cmの範囲に分布の半数が収まる。器高は 5.5 ～ 3.9cmで概ね口径に比例し，4.7 ～ 4.5cmの範囲に分布の半数が収まる。鉢は寸胴のもの（SI132-4）と坏をそのまま大きくしたもの（SI6-9, SI53-6）がある。甕は中形で寸胴気味の，胴部下半に最大径をもつもの（SI53-7, SI132-5）が見られるほか，大形の甕で底部が突出するもの（SI53-8），底部が突出しないもの（SI ６-13・14）がある。SI ６-14 は口縁部をつまみ上げており常総型甕の影響と思われるが，体部の磨きは見られない。このほかに，ハケ目調整の甕が出土している（SI6-11）。主に東北地方から栃木県内で見られるが，当遺跡出土の土器は体部下半を削りで調整しており，栃木県域のものに近い。また，脚付鉢が１点出土している（SI6-10）。高坏の出土は少ない。

４期（７世紀第１四半期）

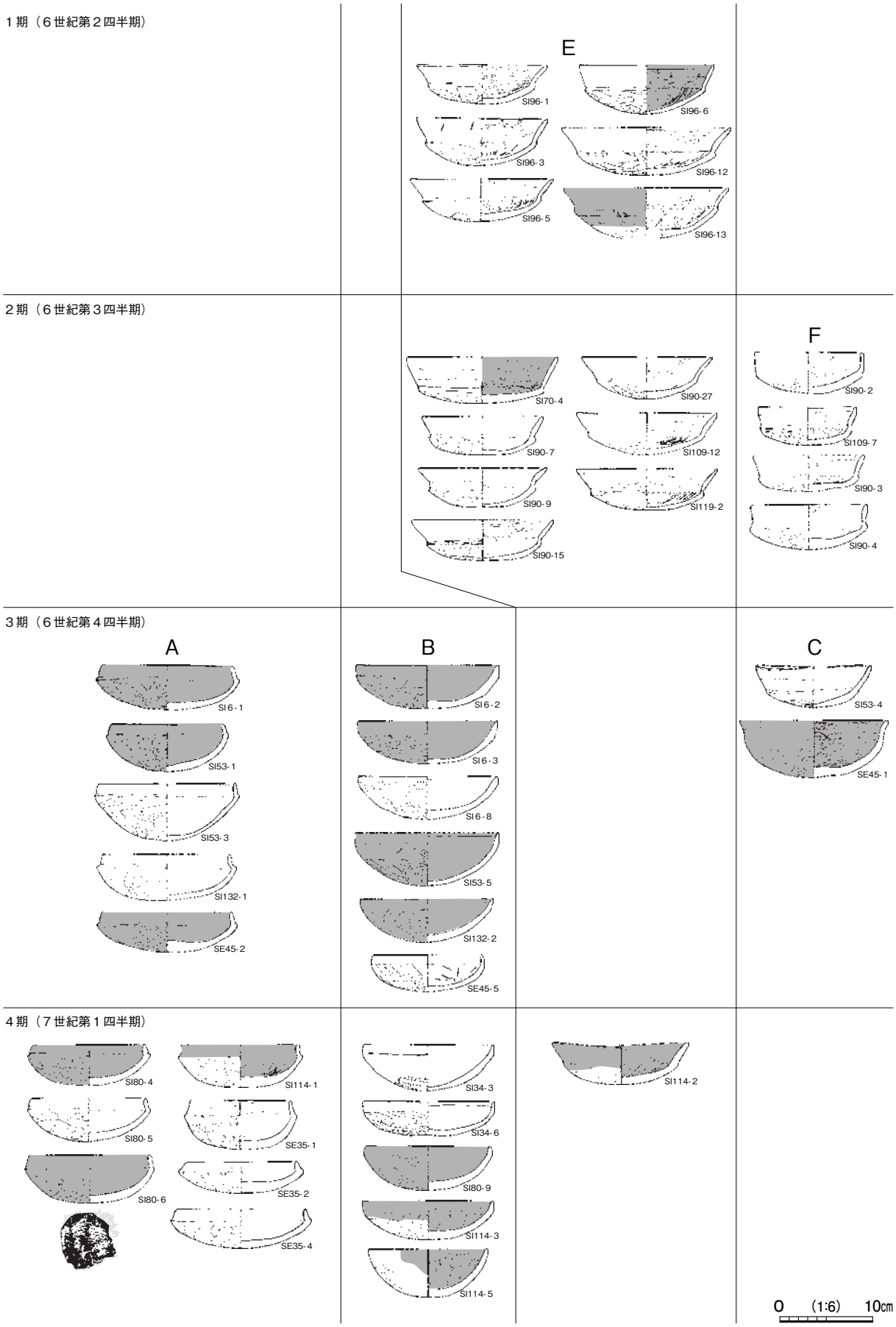
坏Ａ類の口径は 13.8 ～ 10.9cmで，13.1 ～ 11.9cmの範囲に分布の半数が収まる。坏Ｂ類の口径は 13.8 ～ 10.8cmで，13.5 ～ 12.4cmの範囲に分布の半数が収まる。鉢は体部に丸みを帯びたやや平底気味のもの（SI80-18・19）が見られる。中形で寸胴気味の甕は，最大径が胴部半ばまで上がってきている（SI34-11）。高坏は少数ながら，坏部の大きいものが見られる（SI80-15）。第 114 号竪穴建物跡出土遺物は判断が難しく，口径が小形化し受け部の伸びた坏Ａ類と，内面に磨きを施す坏Ｅ類が共伴している。また，この遺構から出土する土器は６世紀に見られた橙色暗文土器ほどではないが，きめの細かい胎土を用いている。色調もあまり鮮やかではないが橙色であり，橙色暗文土器の技法が受け継がれていると見ることもできる。竈心材に使われている甑は１段階遡って第３期に属すると判断し，坏類は本期に属すとした。

５期（７世紀第２四半期）

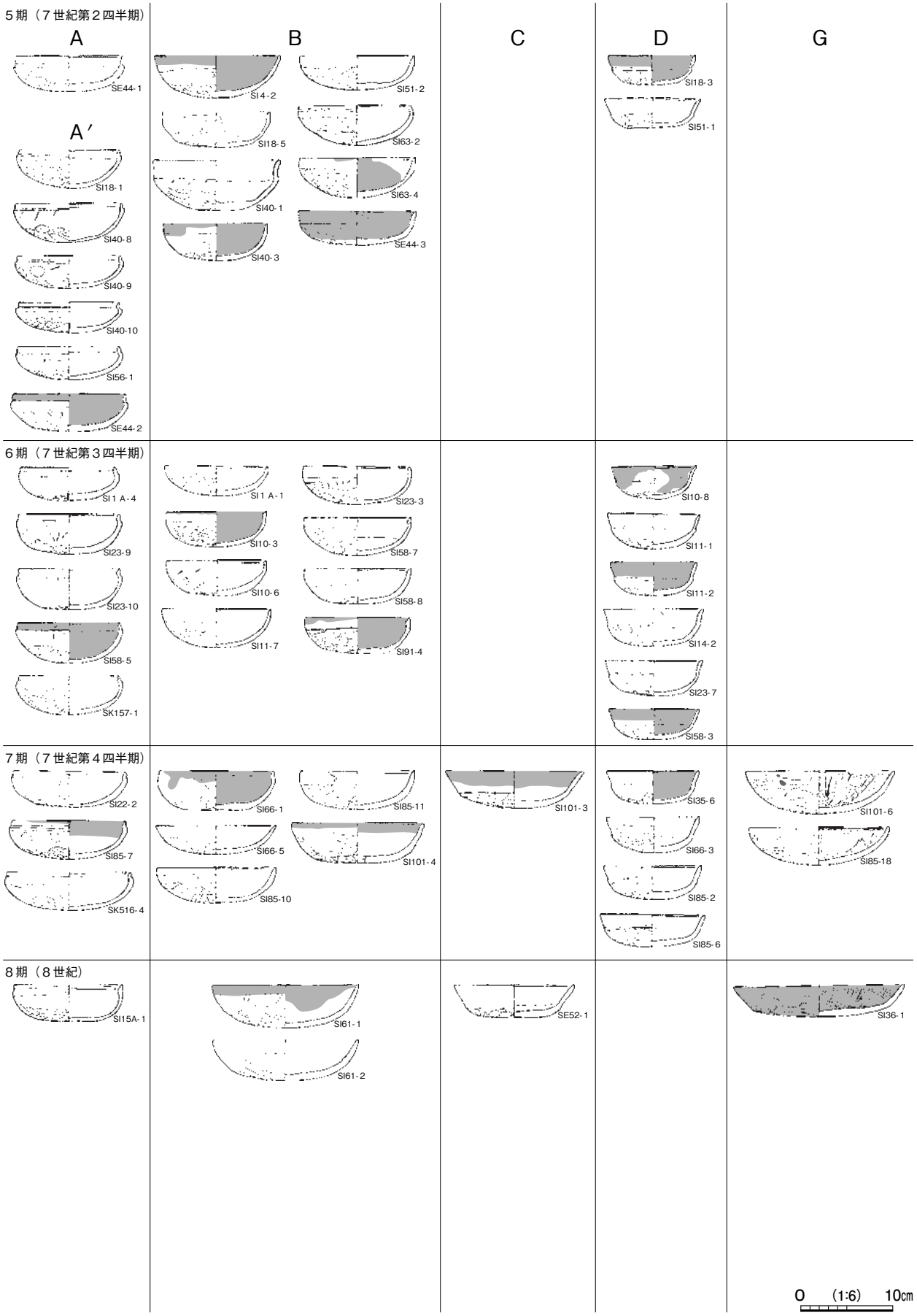
坏Ａ類は１点のみである。本期を最後に坏Ａ類は見られなくなり，坏Ａ′類へ置き換わる。坏Ａ′類の口径は 11.5 ～ 8.4cmで，11.3 ～ 10.6cmの範囲に分布の半数が収まる。坏Ｂ類の口径は 14.4 ～ 10.5cmで，12.7 ～ 11.2cmの範囲に分布の半数が収まる。坏Ｄ類は，数が少ないものの，口径は 10.2 ～ 9.2cmである。他の坏と比べてやや法量が小さく，この傾向は８期まで変わらない。高坏は大形（SI4-4），小形（SI18-10）の２種がある。大形品は椀に，小形品は坏Ｄ類に脚部をつけたような形状である。椀は坏類をそのまま大きくしたような形状である（SI18-9 など）。中形の甕の最大径は変わらず胴部半ばにある（SI13-4）。大形の甕は完形が少なく様相が明らかでないが，長胴の甕が多いようである（SI13-5，SI40-14）。

６期（７世紀第３四半期）

坏Ａ′類の口径は 11.6 ～ 9.6cmで，10.9 ～ 10.3cmの範囲に分布の半数が収まる。坏Ｂ類の口径は 14.1 ～ 8.4 cmで，11.8 ～ 11.0cmの範囲に分布の半数が収まる。坏Ｂ類の体部は底部のみを削るもの，体部下半まで削るもの，口縁部まで削りきるものの３種が共存する。坏Ｄ類の口径は 10.9 ～ 8.4cmで，10.4 ～ 9.3cmの範囲に分布の半数が収まる。法量は若干小形化するものの，調整方法は５期と変わらない。高坏は小形で，坏部外面の中段に稜線があるもの（SI10-10）や，坏Ｂ類に脚部をつけたようなもの（SI91-9･10）がある。甕は小形の球胴甕がみられ（SI10-13・14），中形の甕の最大径は口縁部に移る（SI39-3）。大形の甕は常総型甕（SI9-7，SI69-13），長胴甕（SI1A-11，SI8-10）のほか，少ないながら底部突出の甕（SI69-12）が確認できる。



第504図　出土坏類変遷図(1)



第505図　出土坏類変遷図(2)

７期（７世紀第４四半期）

坏 A′ 類は，口径は 13.3 ～ 9.0cmで，12.7 ～ 11.3cmの範囲に分布の半数が収まる。他の類型同様，若干ではあるが法量の大形化が見られる。坏Ｂ類の口径は 14.6 ～ 10.6cmで，13.6 ～ 12.1cmの範囲に分布の半数が収まる。坏Ｂ類の口径は 16.0 ～ 14.5cmで，15.4 ～ 14.6cmの範囲に分布の半数が収まる。第６期と比べて口径はさらに大形化するが器高は変わらない。坏Ｄ類の口径は 11.3 ～ 9.8cmで，10.8 ～ 10.0cmの範囲に分布の半数が収まる。この時期になると他類型の坏と同様，法量の大形化が見られるが，依然として他類型より法量は小さい。また，口縁部と体部を区画していた沈線が稜線化するなど，やや形態が崩れたものになる。坏Ｄ類の本跡での出土は，本期を最後に確認できなくなる。高坏はさらに小形化し，坏部外面の稜線が下段にあるもの（SI35-8）や，稜線が消滅するもの（SI66-9）がある。坏Ｇ類は数を増し，坏Ｂ類の３割ほどになる。高坏は本期で消滅する。椀は坏 A′ 類をそのまま大きくしたような形状である(SI85-22)。大形の甕は常総型甕（SI85-26）と，長胴甕（SI19-6）が見られる。また，本期から須恵器坏の出土が増加する（SI22-7・8 ほか)。底部はほぼ完全な平底であり，県南地域とは様相を異にしている。

８期（８世紀第１～３四半期）

坏 A′ 類の口径は８世紀第２四半期で 11.6cm，坏Ｂ類の口径は８世紀第１四半期で 15.8 ～ 14.6cm，８世紀第３四半期で 10.8cm，坏Ｇ類の口径は８世紀第１四半期で 18.2cmである。本期は集落の衰退期であり，土師器坏の出土量も減っているため，上記の数値をそのまま当期の法量として扱うのは難しいが，法量の大形化の傾向は見て取れる。供膳具における土師器の出土量は減少したかわりに，須恵器の割合は増加している。甕は古墳時代と同様，常総型甕（SI26-6，SI112-15）と，長胴甕（SI26-7，SI112-12・13）が存続している。長胴甕の最大径は口縁部にあり，口縁部のくびれが目立たなくなる。

(4) 土師器坏の口唇部内面に見られる沈線について

当遺跡出土土師器坏に見られる特徴として，口唇部内面に沈線，あるいは稜線をもつことが挙げられる。口唇部内面の沈線については津野仁氏の論考や，合田恵美子氏による栃木県二宮町峰高前遺跡の報告でふれられている[9)]。津野氏は口唇部内面に沈線を持つ坏を型式設定し，芳賀郡周辺に分布する坏とした。その後，合田氏は峰高前遺跡において，半球形を中心に，坏身模倣，外形口縁の坏が沈線を有していると報告された。

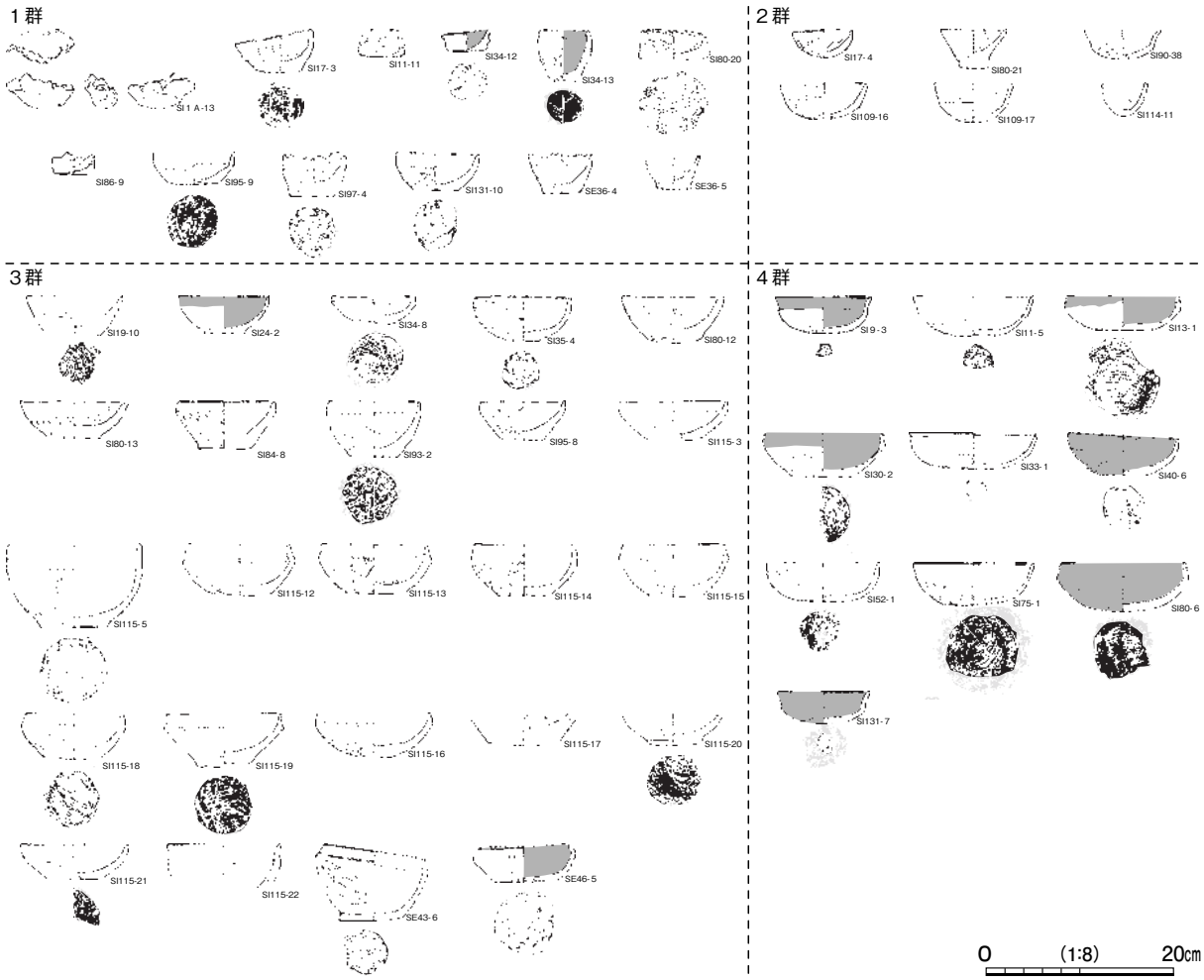
当遺跡においては，土師器坏の良好な資料に恵まれ，口唇部内面の沈線は６世紀後半から８世紀にかけて，技法的に連続するものとして捉えることができる。すなわち，３期の坏Ａ・Ｂ類の稜線に始まり，４期に沈線化し，５期以降は坏 A′ ・Ｂ・Ｄ類に施され，８期に入っても確認されている。

当地域の特徴として特筆すべきなのは，沈線施文率の高さである。４期には坏Ｂ類の２割に過ぎないが，５期には A′ 類の６割，Ｂ類の７割に増える。６期には坏 A′ 類７割，Ｂ類８割，Ｄ類８割とピークを迎え，７期には坏 A′ 類６割，Ｂ類７割，Ｄ類９割とわずかに減少するものの，半数以上に施文されている。また，坏類と比べると施文率は落ちるが，土師器椀，高坏や甕の口唇部にも施されている。器種を越えて口唇部に共通の調整が施されているのは興味深い現象である。

(5) ミニチュア土器・手捏土器・手捏ね様の土器について

当遺跡では，通常のミニチュア土器や手捏土器の他に，作り方が粗雑ないわゆる「手捏ね様の土器」や，精緻な作り方であるものの底部に糸切り痕を残す土器など，一見して分類に迷うような土器が出土している。これらの遺物について若干の考察を加え，土器の性格を考察する一助にしたい。

若干冗長かとも思うが，今一度「手捏土器」，「ミニチュア土器」の用語について確認しておきたい。ま



第 506 図　塔ノ内南遺跡出土手捏・ミニチュア土器

ず，手捏土器を字義通り捉えれば「手捏ね」，つまり一つの粘土塊を成形していく手法を用いて作られた土器を指すことになる。例えば，本庄市川越田遺跡第 1 号祭祀跡出土の手捏土器などがそれにあたる[10]。しかし，『日本考古学事典』の手づくね土器の項に「粘土紐積上法によるものも含めて，古墳時代の祭祀用の土器を手づくね土器と呼ぶこともある」[11] とあるように，祭祀用と想定される土器は製作技法に関わらず手捏土器と呼び習わされている。次に，『日本考古学事典』におけるミニチュア土器の項を引けば，「日常用の土器に比べて極端に小型の土器。（中略）文様がなく，手づくねで整形も粗雑なものと通常の土器の形や文様を忠実に模した小型品とがある。前者を手づくね土器，後者をミニチュア土器と呼び分けることが多い。（中略）この種の土器は世界的にも広く分布し，祭壇供献用ないし供献埋納用とするものが多い」[12] とされている。

上記をまとめると，本来，手捏土器は製作技法に判断基準があり，ミニチュア土器は大きさに判断基準があった。しかし，古墳時代のミニチュア土器，つまり祭祀用の土器に「手捏土器」が多かったために，やや誤用的に古墳時代の祭祀用の土器をまとめて「手捏土器」と呼称している現状がある。

ここで，当遺跡の第 115 号竪穴建物跡や第 521 号土坑から出土した土器（SI115-3・5・12 ～ 22）を見てみる（第 506 図左下）。これらの土器は通常の土器と比べて厚く，成形・整形が粗雑で，指押さえなど成形時の痕跡を多く残し，体部から底部にかけての削りなどの製作工程を一部省略するといった特徴をもつ。口径の平均値は，同時期に出土した坏の平均値よりも 1.8㎝ほど小さい。第 115 号竪穴建物跡での出

土状況を鑑みても，意図的に小さく作られた祭祀用の土器と考えたい。また，体部が無調整で，底部がやや突出した土器がある。いわゆる「手捏ね様の土器」として知られる土器である。全体の成形を行い口縁部を整形した後，底部を削り落とす工程を省略しているためにこのような形状になると推測される。これらの土器は同時期に出土した坏と比べると口径が小さくなる傾向を持つ。どの程度小形化するかの違いはあるものの，前述の第115号竪穴建物跡出土土器群と製作工程の省略，小形化の傾向は共通しており，本質的に違いは無いものと想定したい。

次に，同時代の土器に比べて法量が半分にも満たない土器がある（第506図上，１・２群）。法量から判断すれば，これらの土器は全てミニチュア土器といえる。同時に，第131号竪穴建物跡出土土器などには，指頭痕，底部糸切り痕や粘土を引き出した痕跡が残っており，手捏ね技法で作られた狭義の意味での「手捏土器」である（第506図左上，１群）。

通常は底部調整によって痕跡を消すため，土師器坏に糸切り痕が残ることはほとんどない[13]。しかし本跡では，糸切り痕は残っているものの，法量は通常の土師器と変わりない土器がある（第506図，４群）。これらは偶然削りきれずに残ってしまったと思われるものの他，底部のほぼ全面に糸切り痕が残るものがある。後者の土器は体部から底部にかけての厚さも同時期のものと変わらないかむしろ薄く，糸切り痕を削りによって消そうとすると底部の厚さが確保できなくなるため，そのままにしたものと思われる。

以上，法量の違いや製作工程の省略など，通常の土器と異なる特徴を持つ土器を概観し，いくつかのパターンが想定できることを確認した。結果として４群を除いて祭祀用の土器と想定した。しかし，第115号竪穴建物の竈や第46号井戸は，遺物出土状況から廃絶時に祭祀に用いられたと言えるが，その他は遺物出土状況から積極的に祭祀に用いたとは言い難い。今後の検討課題としたい。

(6) 焼成粘土塊について

当遺跡では焼成粘土塊が一定量出土している（第249表）。その性格について考察を加えてみたい。

焼成粘土塊については，主に土器生産において多彩な用途に使われていることが想定されている。秋山浩三氏は土器の焼成遺構に関連する遺物属性として，焼成失敗品や焼成不良品と共に「スサ入り状焼成粘土塊」を挙げている[14]。また，いくつかの焼成実験によって，焼成粘土塊は土器の焼成時に遮蔽材として粘土を用いた場合に残されることが指摘されている[15]。遮蔽材に用いた場合には，覆い焼きに用いる粘土の面積から考えると周縁部が欠けて出土することになる。ただし，実際の出土例では周縁部が欠けているものだけでなく，小さな塊のまま焼けているような，いわば「完形」で出土するものも多い。また，土器焼成以外の使用方法を想定できる場合もあり，土生朗治氏は木葉型の焼成粘土塊を土製品として捉え，土玉の焼成に用いられた窯道具であることを指摘している[16]。上記のように多様に想定される用途の中から，いざ実際の用途を峻別しようとすると困難であることも多い。

当遺跡で出土した焼成粘土塊はいわゆる「スサ入り」の他に，草本類の圧痕や焼け残りの付着がなく純粋に粘土が焼けたものもある。また，表面の調整や混和物についても，単に手のひらで握ったものの他，工具痕やナデ調整が施されるものなど，幅広い様相を見せる。粘土を加工する際のナデや工具での調整の施しやすさや，土器の焼き上がりを確認するためのテストピースとして用いられていた可能性もある。焼成粘土塊に用いられる粘土は，土器に用いられる粘土とほぼ同様の色調を示している。中には白色と赤褐色の粘土をマーブル状に混ぜ合わせている粘土塊も見られ，土器製作用に粘土を配合しているようにも見える。また，焼成粘土塊の出土重量を見ると，７世紀第３・４四半期の遺構で多く出土する。同時期の７世紀第３・４四半期に比定される第23・33・66・84・101・131号竪穴建物跡では，浅い貯蔵穴や竈脇の

第 249 表　塔ノ内南遺跡出土焼成粘土塊一覧

遺　構	個　数	重さ（g）	床　面	覆土下層（30～45cm）	覆土中層（15～30cm）	覆土上層（0～15cm）	貯蔵穴覆土	覆土中	竈	ピット	時　期
SI 1A	1	11.40			1						7世紀第3四半期
SI 2	3	12.02			3						7世紀第3四半期
SI 4	10	188.1			3	4		1	2		7世紀第2四半期
SI 8	7	34.06			2	2			1	2	7世紀第3四半期
SI 9	17	69.22			11	6					7世紀第3四半期
SI10	2	19.13			2						7世紀第3四半期
SI11	31	221.89			10	18			3		7世紀第3四半期
SI14	3	19.71				1				2	7世紀第3四半期
SI16	7	26.39				7					7世紀第4四半期
SI17	3	11.57				1			2		7世紀第3四半期
SI19	14	197.21				14					7世紀第4四半期
SI22	1	21.82				1					7世紀第4四半期
SI23	2	14.72				2					7世紀第3四半期
SI24	1	4.03				1					7世紀第2四半期
SI25	9	53.48				9					7世紀第3四半期
SI27	1	6.31						1			4世紀
SI29	2	9.76			1	1					時代不明
SI30	1	2.88			1						7世紀第4四半期
SI34	2	9.87			1			1			7世紀第1四半期
SI37	2	5.37				2					4世紀
SI38	1	5.46				1					4世紀
SI39	1	31.04							1		7世紀第3四半期
SI40	15	84.89				15					7世紀第2四半期
SI42	1	9.79						1			時代不明
SI47	2	34.85				2					4世紀
SI51	1	3.66						1			7世紀第2四半期
SI52	2	12.16		1	1						7世紀第3四半期
SI55	1	10.09				1					7世紀第3四半期
SI59	1	13.69				1					7世紀第3四半期
SI60	1	8.13				1					7世紀第1四半期
SI67	9	96.61				9					7世紀第4四半期
SI69	11	49.36			3	2			1	5	7世紀第3四半期
SI71	2	26.74				2					7世紀第1四半期
SI81	2	12.11				2					7世紀第4四半期
SI82	2	5.50				2					7世紀第3四半期
SI84	4	27.25			2				2		7世紀第4四半期
SI85	12	152.86	1		6	3		2			7世紀第4四半期
SI88	1	19.74					1				4世紀
SI90	1	12.09				1					6世紀第3四半期
SI91	2	17.80			1				1		7世紀第3四半期
SI95	2	13.15				2					7世紀第1四半期
SI96	1	5.48							1		6世紀第2四半期
SI101	15	137.23			6	9					7世紀第4四半期
SI102	1	11.65							1		7世紀第3四半期
SI103	2	7.32			1	1					時代不明
SI106	1	2.18								1	時代不明
SI109	1	6.85				1					6世紀第3四半期
SI115	1	20.17						1			7世紀第1四半期
SI119	1	16.04				1					6世紀第3四半期
SI120	1	13.75				1					時代不明
SI124	1	10.28				1					時代不明
SI131	3	14.33			3						7世紀第3四半期
SI132	3	23.21				3					6世紀第4四半期
SI15A	3	17.57				2		1			8世紀第2四半期
SI31	2	16.01		2							8世紀第1四半期
SI36	7	24.98				3		4			8世紀第1四半期
SI61	1	2.73				1					8世紀第1四半期
SI112	1	2.99				1					8世紀第2四半期
SE 1	1	4.65						1			鎌倉・室町時代
SE24	2	12.37						2			鎌倉・室町時代
SE35	3	16.43						3			鎌倉・室町時代
SK 5	3	12.35						3			7世紀第1四半期
SK34	2	13.66						2			時代不明
SK118	2	19.46						2			時代不明
SK153	1	6.95						1			7世紀第4四半期
SK167	3	13.93						3			6世紀第4四半期
SK230	3	21.72						3			時代不明
SK325	1	1.70						1			時代不明
SK527	1	5.94						1			時代不明
SB 2	2	33.9								2	古墳時代
SD 1	1	9.81				1					鎌倉・室町時代
SD 6	2	5.69						2			鎌倉・室町時代
遺構外	59	369.59						35			

床から白色粘土塊が検出されている。焼成粘土塊の出土が増える時期と，粘土貯蔵穴をもつ竪穴建物が増える時期が一致しており，この時期に集落内部で土器生産が行われていた可能性がある。もちろん，建物に貯蔵された白色粘土が土器生産のみに用いられたとは限らず，詳細は今後の資料増加に期待したい。

(7) 古墳時代から奈良時代の井戸跡

当遺跡では，古墳時代から奈良時代にかけて，特徴的な形状の井戸跡を 18 基確認している（第 507 図）。茨城県内では調査事例の少ない遺構であるため，ここで周辺地域での類例を挙げておく。

分布の中心は栃木県であり，上三川町多功南原遺跡，茂原向原遺跡，向原遺跡，小山市寺野東遺跡，宇都宮市中島笹塚遺跡，西刑部西原遺跡，佐野市堀米遺跡，市貝町高林遺跡などから類似した井戸跡が確認されている。いずれも栃木県南部に位置しており，本県の県西地域と近接している。これらの遺跡から確認された井戸は，有段部の平面形が方形や円形のもの，有段部の底面が平坦であるものや溝があるもの，ピットを有するものなど，形状に若干の相違が見られる。茨城県内では，当遺跡から北東に約 10㎞に位置する犬田神社前遺跡[17]から，段を有し，中央部が円筒状に掘り込まれた井戸跡が２例確認されている。

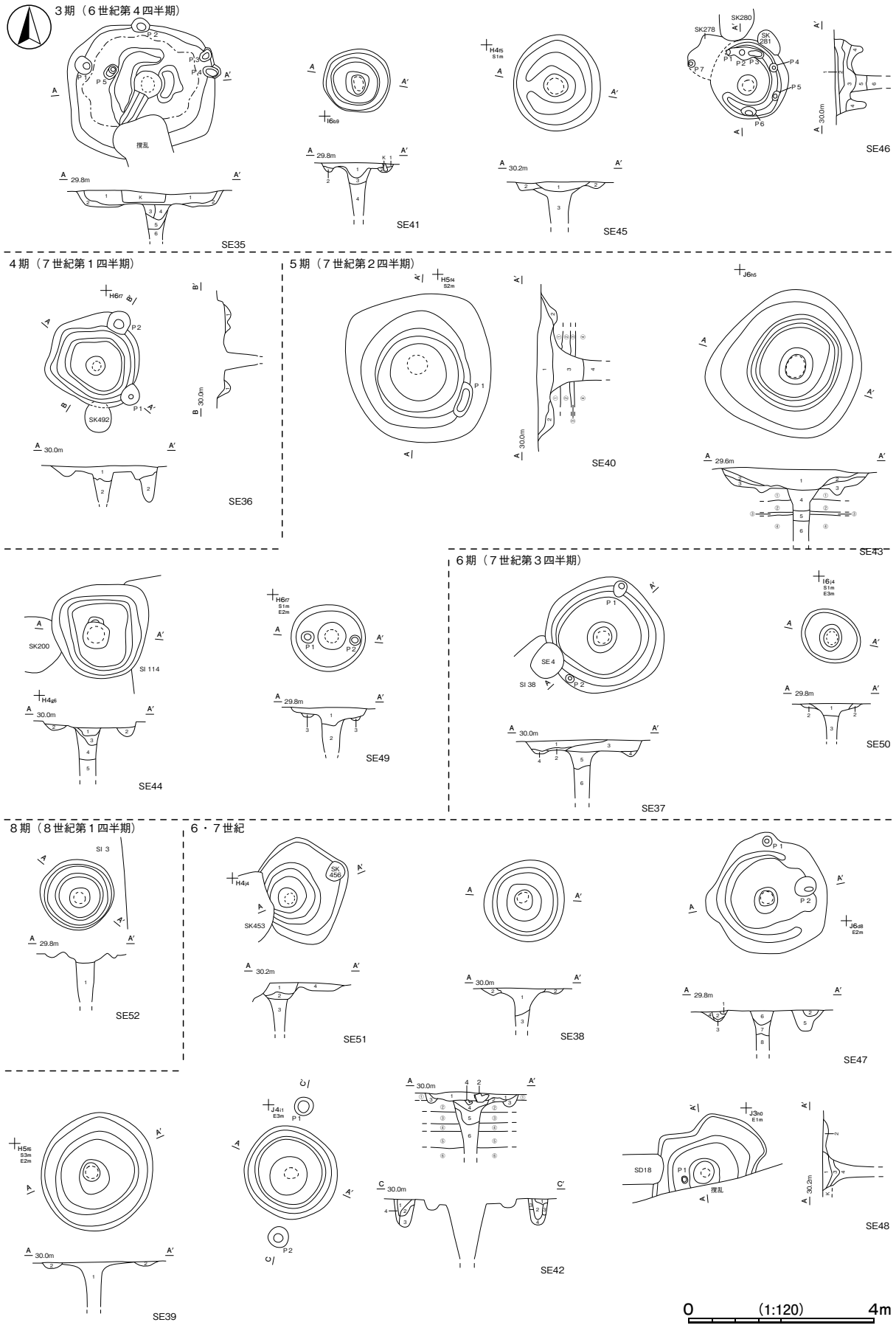
当遺跡の井戸跡は，すべて有段部をもつ。有段部の平面形は，円形 10 基，楕円形１基，不整円形５基，隅丸方形２基であり，円形を志向して構築されたものが多数を占める。有段部に周溝があるものは 16 基，ピットをもつものは 10 基である。

有段部の用途であるが，高林遺跡の報告で栃木県内での集成を行った今平氏によって，形状によりいくつかの用途が推測されている[18]。高林遺跡の井戸跡は，有段部の平面形が円形の井戸跡に方形の平場が付設され，円形部と方形部のつながる部分には溝状の平場が存在している。円形部より方形部の平場が低く井戸からの導水，あるいは排水の可能性が指摘されている。また，多功南原遺跡の井戸跡は，段を有する部分に井戸枠を設置していたと考えられている[19]。井戸枠を設置する際にロームブロックと鹿沼軽石を混ぜた土で裏込めし整地したと推定されている。上記の類例から推測するに，当遺跡の井戸跡は，溝状の掘り込みの覆土から遺物が数点出土していることや，井戸の外側から掘り込まれた溝の底部にかけて砂利やローム粒子が堆積していることから，外側からの土砂の流入を防いだり，井戸から汲み上げた水の排水溝としたりして使用していた可能性が考えられる。

遺物は，６世紀後葉から８世紀前葉にかけての土師器坏，甕や須恵器坏が出土している。出土遺物から帰属時期は，古墳時代後期が 17 基，奈良時代前期が１基である。そのうち６世紀第４四半期が第 35・41・45・46 号井戸跡，７世紀第１四半期が第 36 号井戸跡，７世紀第２四半期が第 40・43・44・49 号井戸跡，７世紀第３四半期が第 37・50 号井戸跡，７世紀代が第 38・39・42・47・48 号井戸跡，６・７世紀代が第 51 号井戸跡，８世紀第１四半期が第 52 号井戸跡である。先述した高林遺跡，多功南原遺跡で確認された井戸跡の帰属時期は奈良時代から平安時代と考えられており，当遺跡の井戸跡の方が時代が若干古い。６世紀第４四半期から８世紀第１四半期までの期間，連綿と確認できることから，集落の存続期間中は同一の形状の井戸を作り続けていたと考えられる。

(8) 古墳時代後期の集落変遷

当遺跡では，６世紀から８世紀までの竪穴建物跡 110 棟，掘立柱建物跡３棟，井戸跡 18 基，土坑 33 基が確認されている。まず，古墳時代後期の遺構分布を見てみると，調査区中央部に空白地があることがわかる。この区域は鎌倉・室町時代の方形区画内部であり，特に第２・５号ピット群の範囲と重なる。等高線を確認してみると，ちょうどピット群の範囲と土橋の周辺で地形が低くなっている。鎌倉・室町時代に整地されていると考えられ，古墳時代後期の遺構は削平されている可能性がある。とはいえ，面積にして



第507図　古墳・奈良時代の井戸跡

13,500㎡を調査しており，上記の条件でも集落変遷の一端を窺うことは出来るだろう。以下に時期ごとの遺構数と配置を述べる。なお，竪穴建物跡の面積の平均値は，復元値，推定値を含まない遺構の平均を使用した。

６世紀第２・３四半期（第２四半期 SI １棟・第３四半期 SI ４棟）

古墳時代後期集落の黎明期である。竪穴建物跡はいずれも微高地の縁辺部寄りに立地し，西側は旧河川の痕跡が見られる低地になっている。当該期の井戸は確認されておらず，自然湧水を使用した生活基盤を形成した可能性がある。竪穴建物跡の主軸方向はさして揃わないものの，立地は近接している。

６世紀第４四半期（SI ４棟，SE ２基，SK ２基）

この時期は，確認出来た遺構数は少なく，遺構同士が離れて立地している。また，当該期から周溝を有する井戸跡が確認され始める。しかし，第 35 号井戸跡の周囲 80 ｍには遺構が見当たらず，削平や壁立の建物など痕跡の残らない遺構を想定しなければ，居住空間と水場が離れた不自然な配置になってしまう。

７世紀第１四半期（SI ７棟，SE ３基，SK １基）

この時期から遺構数が増加する。竪穴建物跡の面積の平均は 28.62㎡ほどである。竪穴建物跡の大きさにあまり差異はないが，内部施設をみると主柱穴や貯蔵穴の有無に若干の違いがある。竈は，１棟を除いて北竈であるが，この時期に最も狭い第 115 号竪穴建物跡は東竈である。

７世紀第２四半期（SI14 棟，SE ３基）

遺構数は引き続き増加傾向にある。竪穴建物跡の面積の平均は 20.93㎡ほどである。平均より大きい竪穴建物跡（SI ４，27.00㎡）や，平均より小さい竪穴建物跡（SI97，14.04㎡）はあるものの，竪穴建物跡の面積はおおよそ揃う。また，７世紀第１四半期と比べて小形化している。竪穴建物跡の主軸方向に統一性はみられない。第 75 号竪穴建物跡が東竈であるのを除けば，他はすべて北竈である。

７世紀第３四半期（SI23 棟，SE ３基，SK １基）

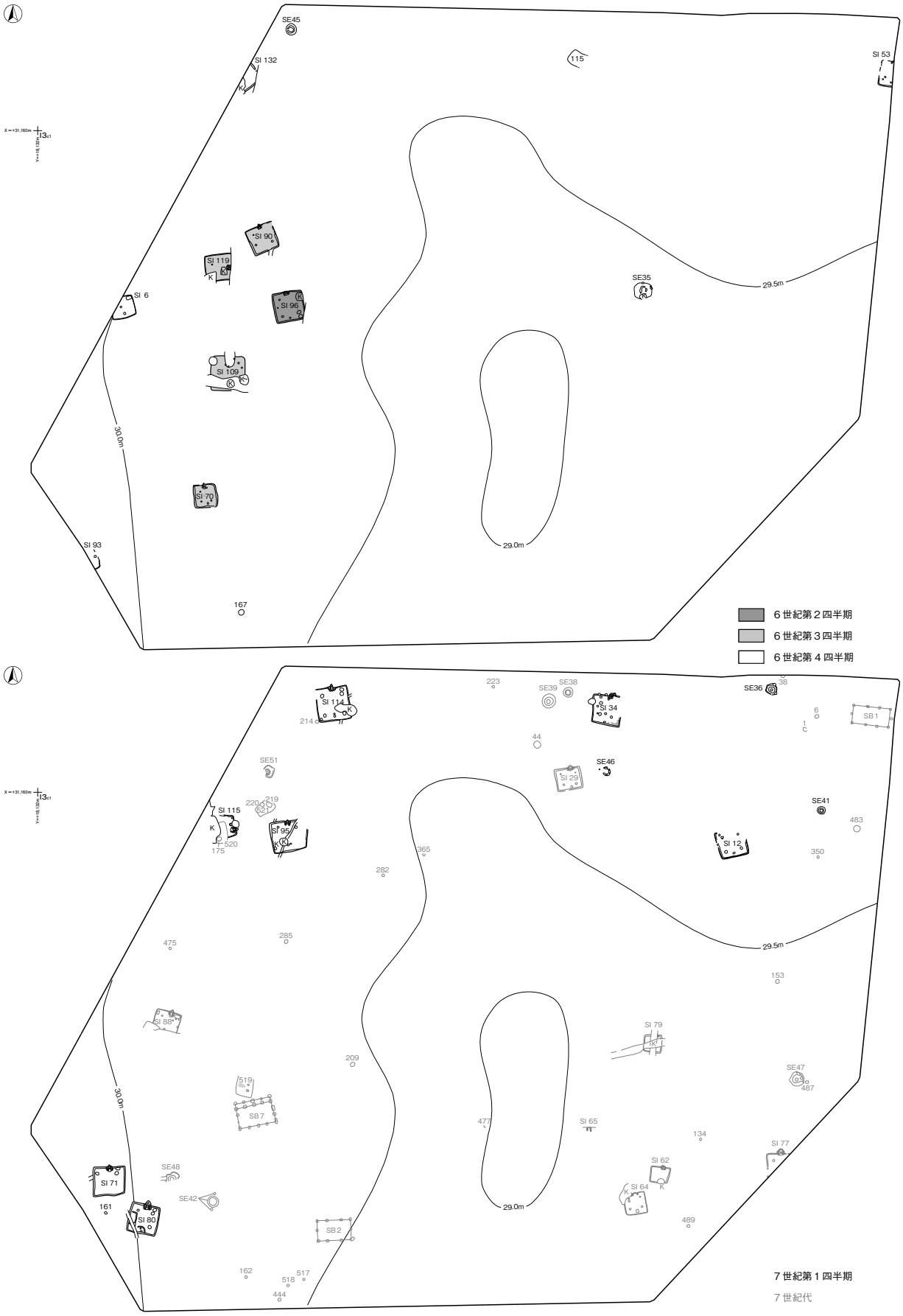
遺構数はピークに達し，集落の最盛期と言える。竪穴建物跡の面積の平均は 20.75㎡ほどである。面積が 15㎡以下の小形の竪穴建物跡が増加し，それに伴い床面に主柱穴が確認できない建物が増える。一方で，面積 30㎡以上の大形の竪穴建物跡も出現するようになる（SI91 など）。井戸と竪穴建物跡の配置に関連は見いだせない。また，竪穴建物跡の主軸方向と，面積や内部施設の有無に相関関係は無いように見える。この時期は竪穴建物同士が近接しており，この時期の中でさらに細分できる可能性がある。竈をもつ竪穴建物跡は全て北竈である。

７世紀第４四半期（SI18 棟，SK ３基）

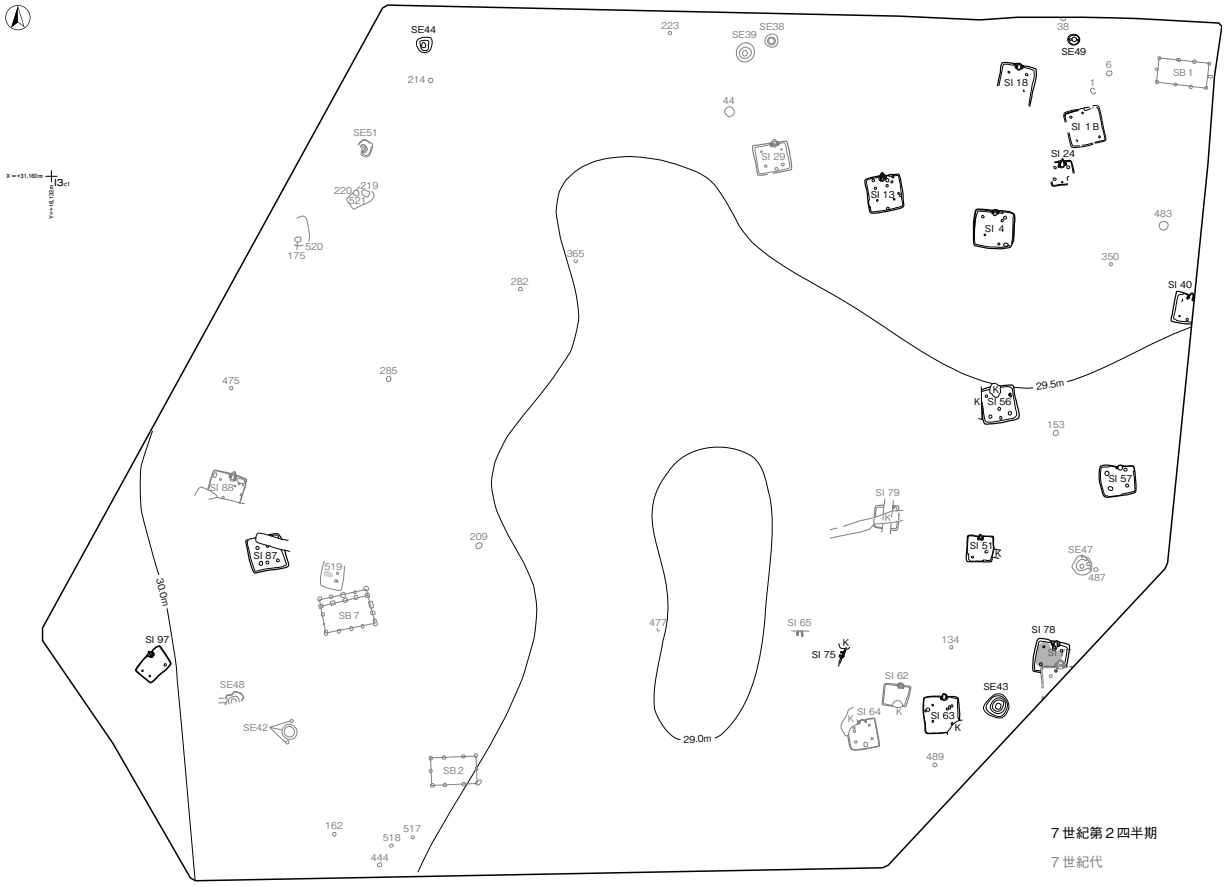
やや遺構数が減り始める。竪穴建物跡の面積の平均は 21.36㎡ほどである。15 ～ 20㎡の中形の建物と，25 ～ 35㎡以上の大形の竪穴建物がほぼ同数確認出来る。また 15㎡以下の小形の竪穴建物跡も継続して見られる。竪穴建物跡の主軸方向と，面積や内部施設に関連性はみられない。７世紀第３四半期同様，竪穴建物同士が近接しており，この時期の中でさらに細分できる可能性がある。第 55 号竪穴建物跡のみ東竈であるのを除けば，他はすべて北竈である。

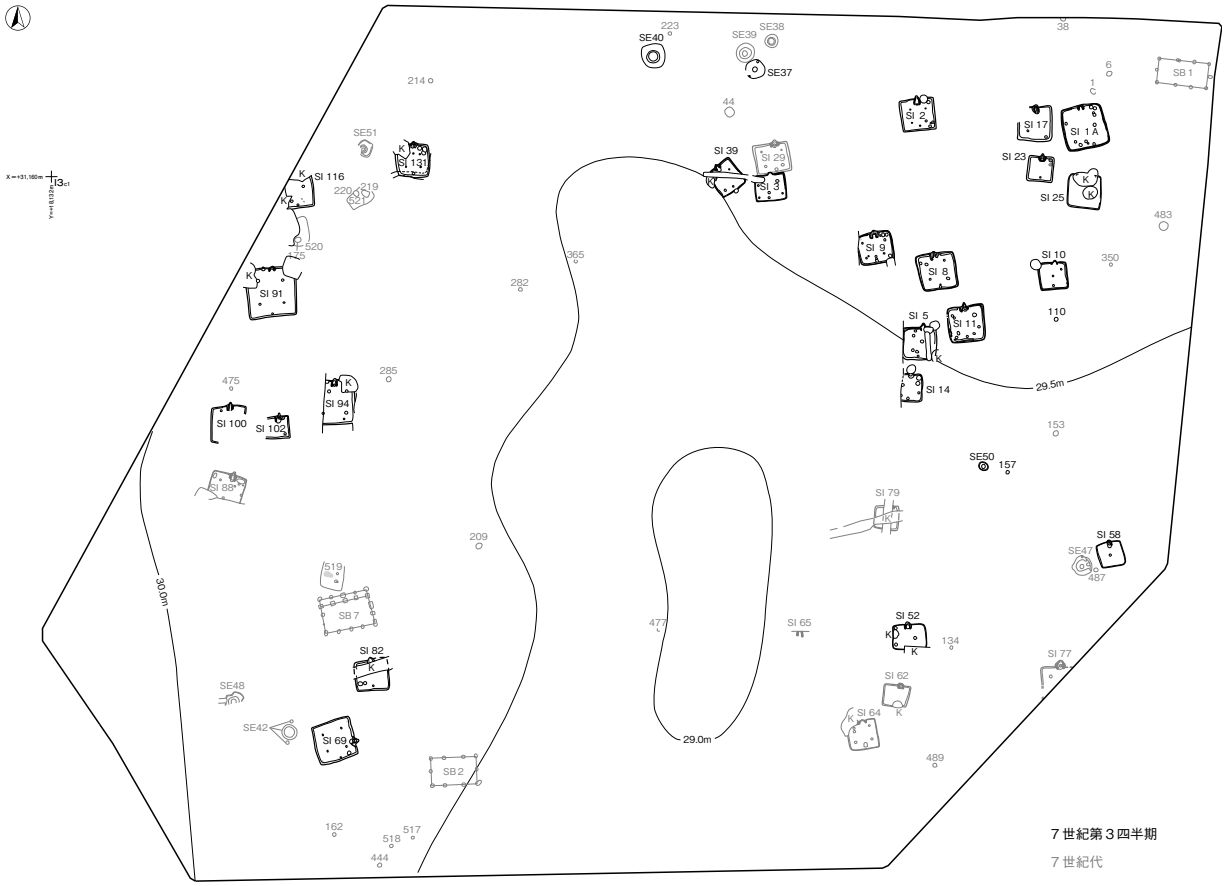
８世紀第１～第３四半期（第１四半期 SI ３棟，SE １基・第２四半期 SI ３棟・第３四半期 SI １棟）

８世紀になると遺構数が急激に減り，集落としては衰退期に入ると考えられる。調査区北部に竪穴建物跡や井戸跡の分布が偏っており，調査区域外に集落の範囲が広がる可能性がある。８世紀第３四半期には集落として終焉を迎える。

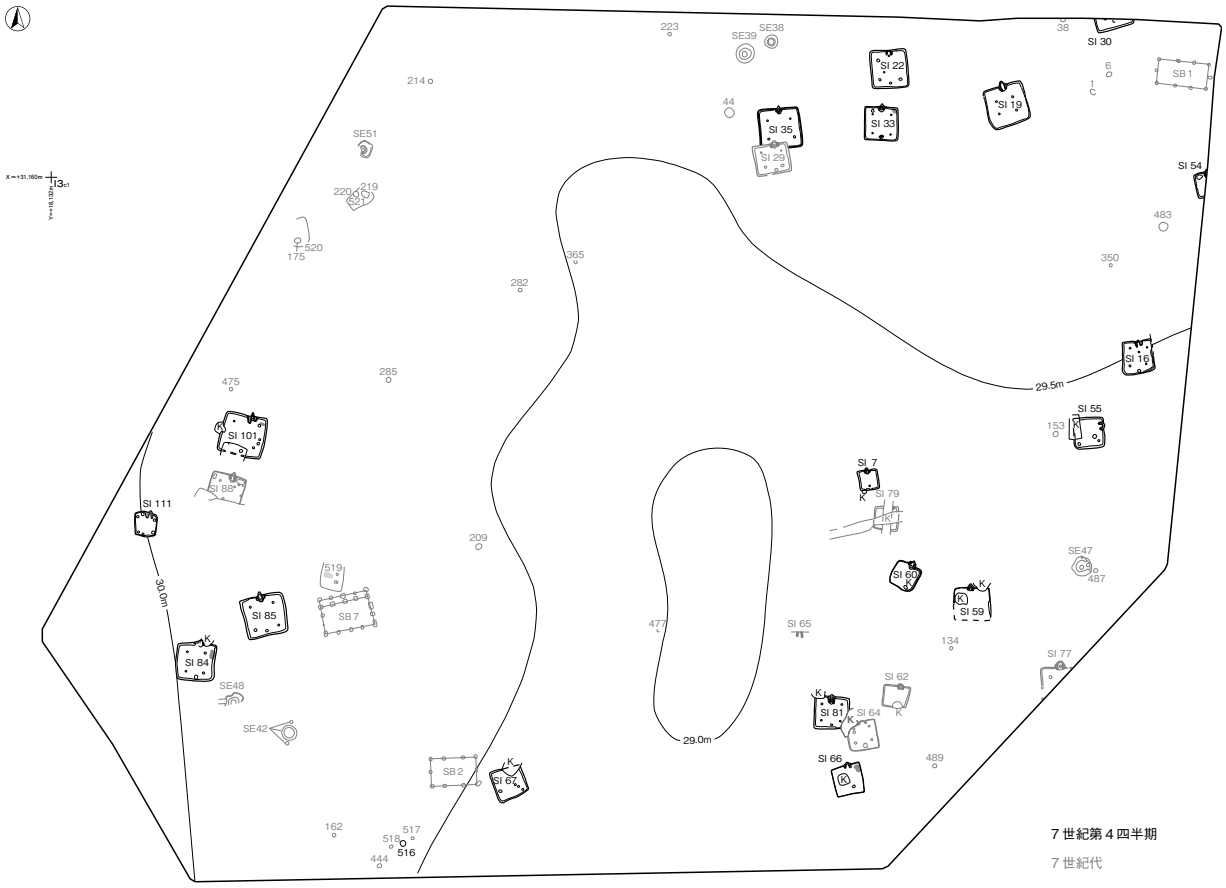


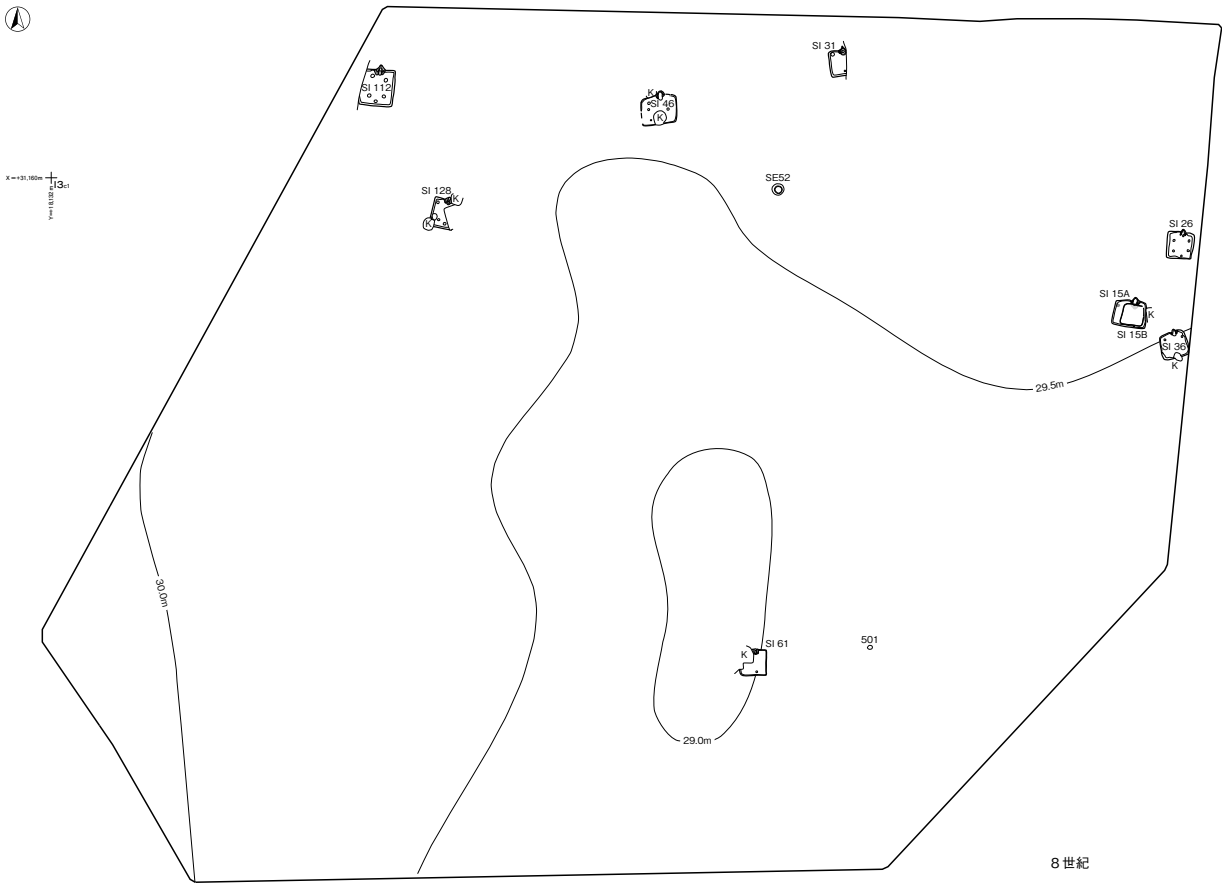
第508図　塔ノ内南遺跡集落変遷図（縮尺1,000分の1）(1)





第 509 図　塔ノ内南遺跡集落変遷図（縮尺 1,000 分の１）(2)





第 510 図　塔ノ内南遺跡集落変遷図（縮尺 1,000 分の 1 ）(3)

3　鎌倉・室町時代の遺構と遺物

今回の調査によって，当該期の遺構として掘立柱建物跡10棟，方形竪穴遺構３棟，堀跡５条，溝跡15条，柱穴列６条，ピット群３か所，井戸跡36基，火葬施設８基を確認した。これらは，方形に区画された堀の内側から集中して確認されている。そこで，方形区画堀に関わる遺構と遺物について概観し，調査成果と照らし合わせながら，当遺跡が形成された中世前期の周辺地域の背景を確認した上で，館の様相に迫りたい。

⑴　方形区画堀に関わる遺構と遺物

当該期の館の痕跡は，方形に区画された第２・３・５・６・12号堀跡と，その内側の馬蹄形に延びた第１・15号溝跡やその周囲に直線状やＬ字状に延びた第７・９・10・13・14・16・17・19～23号溝跡からうかがい知ることができる。さらに，堀跡の内側の第３～６・８～11・13号掘立柱建物跡，堀跡と同軸に並んだ第１・２・５～８号柱穴列，そして，堀跡・溝跡付近に集中して確認された第１～34・52・53号井戸跡が関連する施設である。第１～８号火葬施設については，形状から当該期の遺構と判断するが，館跡に伴うものかは難しく，館跡とは区別して考察したい。

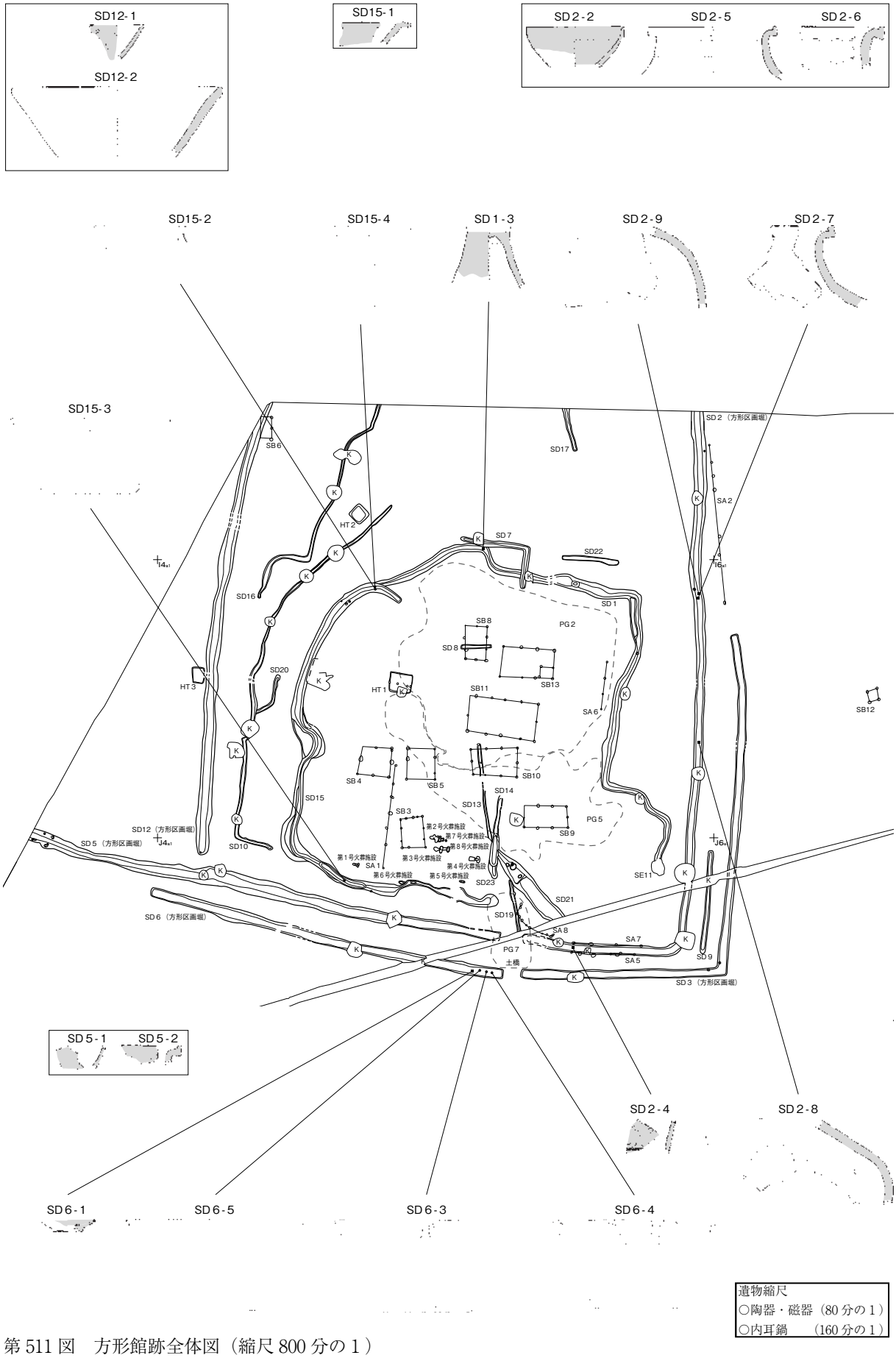
①　方形区画堀について

当遺跡の方形区画堀は，第２・３・５・６・12号堀跡で構成しており，堀の南部には土橋を付設している。南側と東側には平行して延びる２条の堀跡を確認し，東側と西側のそれぞれ１条の堀跡が北側の調査区域外に延びている。南側が92mと84m，東側が80mと50m，西側が66mで，上幅96～248cm，下幅48～120cm，深さ48～180ｍの箱堀状を呈している。土層の堆積状況から堀浚いが行われていたと考えられる。調査前の現況からは土塁の検出はなく，堀の堆積土からも土塁の痕跡は確認できず，防御の意識がみられないことから，館と外側を区画するため構築された堀と想定される。

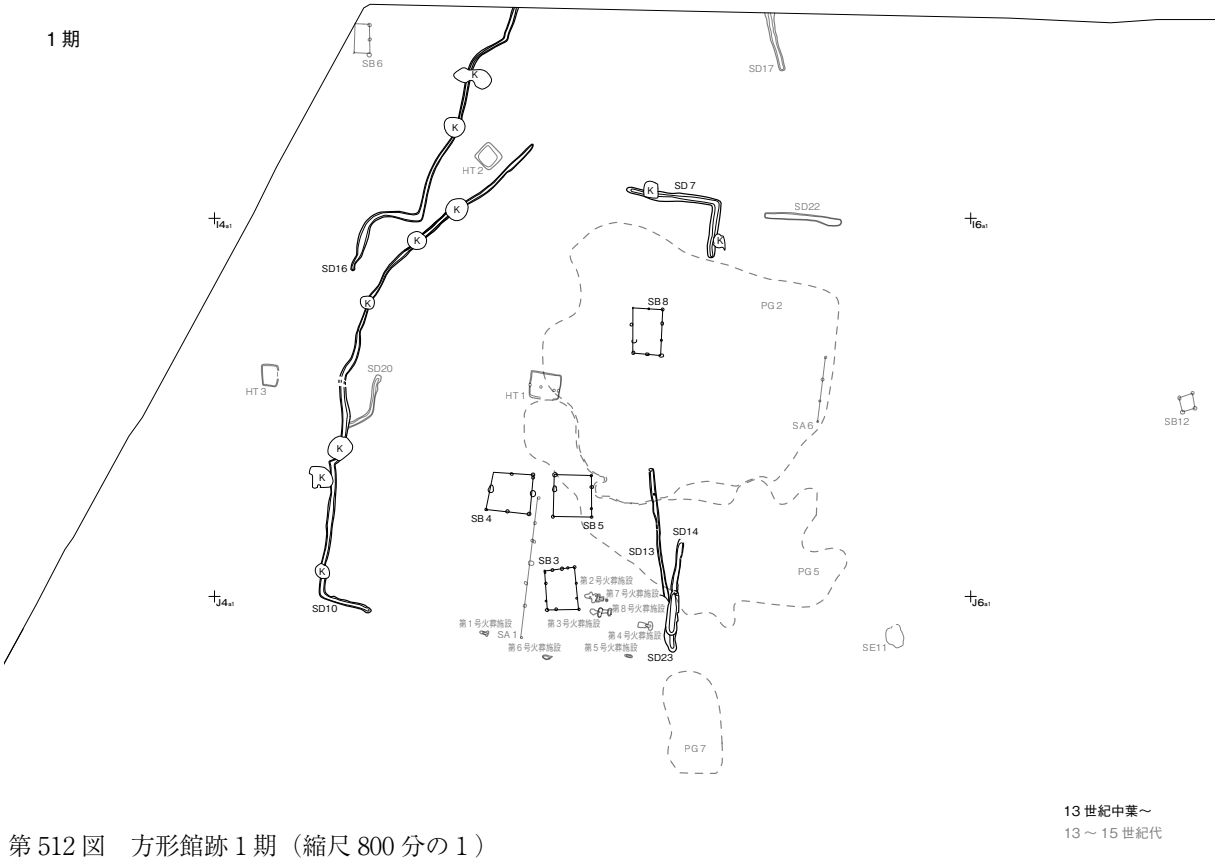
出土遺物は，青磁片２点（碗），白磁片２点（碗，梅瓶），瀬戸美濃系陶器片１点（天目茶碗），常滑産陶器片26点（甕），土師質土器片55点（小皿２，内耳鍋53）である。第５・12号堀跡からは龍泉窯青磁碗が出土しており，山本分類Ｅ期Ⅰ５ｂ（1230～1280年）[20]に比定できる。第６号堀跡の覆土中層からは定窯系白磁碗，第２号堀跡の底面からは龍泉窯梅瓶が出土している。いずれも小片のため型式年代の判断はできなかった。第２号堀跡から天目茶碗が出土しており，藤沢編年中期様式Ⅲ・Ⅳ期（14世紀前葉から中葉）[21]と考えられる。第２・５号堀跡の底面から覆土下層にかけて常滑甕が出土しており，中野編年５型式（1220～1250年）[22]に該当する。内耳鍋は第６号堀跡の土橋付近の底面から投棄された状態で出土している。口径35.7～37.4cm，底径18.0～19.0cmで全体的に大形で器高が高く，越田編年第１期１式（15世紀中葉）[23]に該当する。出土遺物から方形区画堀の時期は，中野編年５型式の常滑甕が出土することから13世紀後葉以降に構築されたものと推測され，越田編年第１期１式の内耳鍋以降の遺物が出土していないことから，15世紀中葉には廃絶されたものと考えられる（第511図）。

②　方形館について

県内における方形区画を呈した堀跡が見られる遺跡として，水戸市白石遺跡[24]，つくば市島名前野東遺跡[25]，小泉館跡[26]，龍ヶ崎市屋代Ｂ遺跡[27]が挙げられる。いずれも「方形館」として13世紀後葉から14世紀後葉にかけて成立し，その後，白石遺跡，小泉館跡，屋代Ｂ遺跡は拡張・整備され15世紀後葉以降の「城館」として発展している。当遺跡の「方形館」の帰属時期については，方形区画堀の出土遺物から15世紀中葉には廃絶していたものと考えると，前述した遺跡で「城館」に発展する以前の「方形館」として築かれていた時期と一致する。当遺跡の「方形館」が構築された時期については，時期決定できる遺物の出土量が僅少で，遺物からは判断し難い。13世紀から15世紀前葉にかけて構築



第511図　方形館跡全体図（縮尺800分の1）



第512図　方形館跡１期（縮尺800分の１）

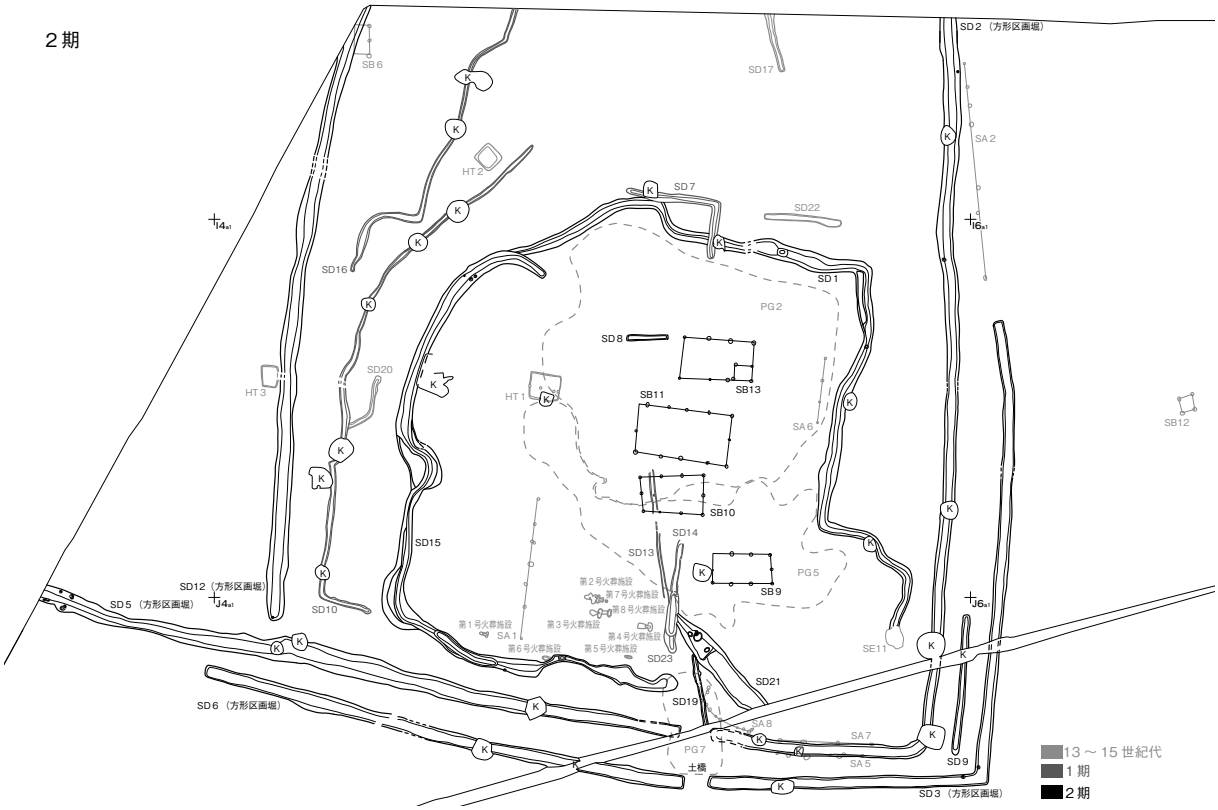
された白石遺跡の「方形館」の様相をみると，初期の浅い溝から深い溝へと作り替えがおこなわれており，区画の溝から防御の意識がわずかに見られるようになる。また，屋代Ｂ遺跡も，初期の方形に廻る薬研堀を改築して堀への拡張が行われている。このように，当該期の「方形館」には複数期の変遷が見られることから，当遺跡も方形区画堀が最終期の館に伴うものであったと想定する。

１期

館の拡張があったとすると，第２・３・５・６・12号堀跡の内側の溝跡に注目をしたい。西側の第12号堀跡の内側に並走して延びる第10・16号溝跡の一部と，それより東側の第７・13・14・23号溝，南側の第15号溝の一部をつなげるとほぼ方形の区画となる（第512図）。仮にこの方形区画を当遺跡の「方形館」の１期とすると，区画内に第３～５・８号掘立柱建物跡がある。これらのうち，第３号掘立柱建物跡は桁行方向をＮ－６°－Ｗとする南北棟，第５号掘立柱建物跡は桁行方向をＮ－０°とする南北棟，第８号掘立柱建物跡は桁行方向をＮ－４°－Ｅとする南北棟とほぼ同軸に並ぶことから，当該期に属する施設と想定する。１期とした方形館の東側の第７号溝跡の南端部から第23号溝跡，第15号溝跡の東端部にかけて溝が検出されていない範囲があり，第３～５・８号掘立柱建物跡が南北棟で建っていることから，東側に出入口部が作られていた可能性も想定される。遺物は，第７号溝跡から内耳鍋片１点，土釜片１点，陶器甕１点と第10号溝跡から陶器甕片１点が出土している。出土遺物はいずれも小片で時期特定の判断はできなかったが，当遺跡から13世紀中葉以降の遺物が出土していることから，１期の帰属時期は，概ね13世紀中葉以降と想定する。

２期（前期）

第１・15・19号溝跡に注目したい。第１・15号溝跡は北西側で連結し，馬蹄形を呈した形状となる。



第513図　方形館跡２期（縮尺800分の１）

この溝跡の区画を２期前期と考える。遺物では，第１号溝跡の北西部覆土下層からは花瓶Ⅳ類の脚部が出土しており，藤沢編年古瀬戸Ⅳ期古段階（15世紀中葉）と比定できる。さらに，第15号溝跡の土橋付近からは折縁大皿が出土しており，藤沢編年古瀬戸後期様式Ⅱ～Ⅳ期古段階（14世紀後葉から15世紀中葉）に該当する。第６号堀跡の底面からは越田編年第１期１式の内耳鍋が出土しており，これらの状況を勘案すると，第１・15・19号溝跡は第６号堀跡が構築されていた時期にも存在していたと推測できる。前述したように方形区画堀が構築された時期は，13世紀後葉以降と想定するが，館の拡張があったと考えると，方形区画堀の内側の第１・15・19号溝跡の構築時期は13世紀後葉以前であると推測される。また，第７・14～16・23号溝は，１期の区画を掘り返しながら継続的に使用していたと考えられる（第513図）。

２期（後期）

方形区画堀を構成している第２・３・５・６・12号堀跡は，館の終末期と考える。第15号溝跡の南東端部と第19号溝跡との間と，方形区画堀の土橋部分がほぼ一直線になっている。また，第８号柱穴列に沿うように第19号溝跡の南端部と第２号堀跡の土橋側端部が近接して構築されていることから，２期前期に構築された遺構も同時期に存在していたと考えられる。次に，区画内に第９～11・13号掘立柱建物跡がある。中世前半の館跡は，正門を入ると整地された広場が広がり，その正面に主屋を配置して儀礼的な場所を設け，その後ろには日常的な場所として整備されていたと考えられている。当遺跡も南部の土橋を正門として門を入ると広場となる。第11号掘立柱建物跡は桁行４間，梁行２間，面積51.57㎡の側柱建物跡で，桁行方向をＮ－81°－Ｗとする東西棟である。方形館内では最大で，他の掘立柱建物跡より大きく，方形館の主屋と考えられる。他の第９・10・13号掘立柱建物跡もいずれも東西棟で，桁行方向も第９・10号掘立柱建物跡がＮ－90°，第13号掘立柱建物跡がＮ－87°－Ｗ，第４号掘立柱建物跡はＮ－83°

－Wとほぼ同軸になるため，同時期に帰属していた建屋と想定される。また，第９号掘立柱建物跡から第13号掘立柱建物跡の範囲に第２・５号ピット群が重複しており，第11号掘立柱建物跡と第10号掘立柱建物跡の間隔が狭いことや，第11号掘立柱建物跡と第９号掘立柱建物跡の間隔と第13号掘立柱建物跡と第10号掘立柱建物跡の間隔がほぼ同じであることから，複数回の建て替えが行われていた可能性もあることを示唆しておきたい。また，第２・５号ピット群の範囲と土橋周辺は，方形区画堀の外側より0.5～1.0ｍほど地形が低くなっている。この範囲に中世より前の時代の遺構が少ないことから，館を構築する際に意識して方形区画堀の内側を整地した可能性がある。

③　周辺地域について

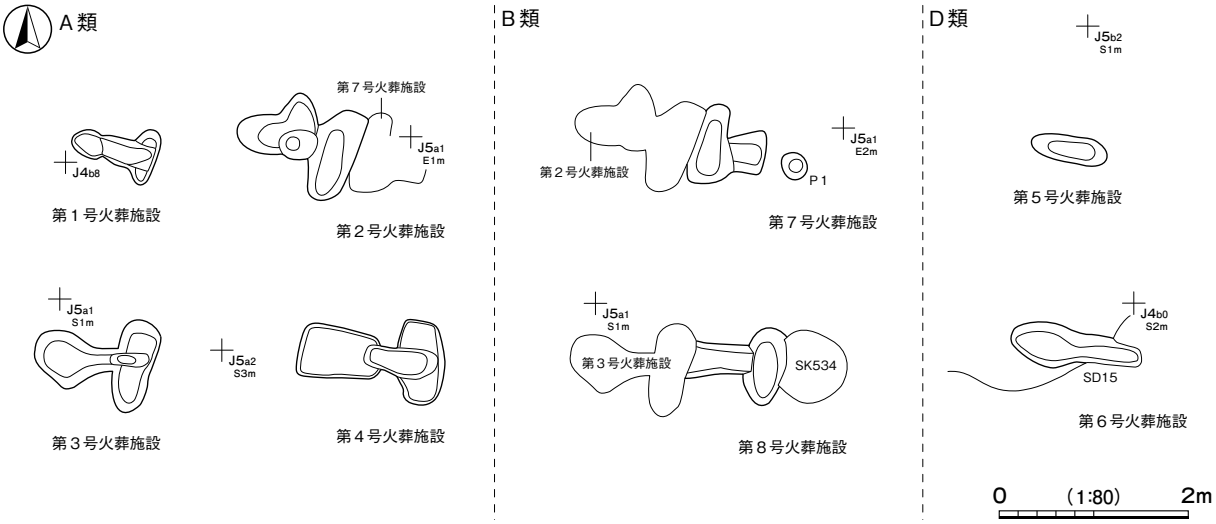
鎌倉時代後期の当地は，東に常陸平氏本宗の真壁氏，南に常陸守護の小田氏，西に小山・結城氏，北に常陸平氏小栗流が勢力を保持しており，その境界付近に位置していたと想定される。しかしながら，当遺跡がある筑西市猫島地区は，鎌倉時代から残る地名とされているが，当地区に関する中世の文献資料等があまり知られていないため，当時の塔ノ内南遺跡及びその周辺地域の支配者層については不明な点が多い。鎌倉期の真壁氏に纏わる文献から，筑西市宮後･宮山･押尾地区は，真壁氏所領であったことが分かっている。猫島地区と隣接した地域でもあることから，何かしら真壁氏の勢力が伸張していたのではないかと想定される。また，鎌倉期の禅僧である性西法心が，13世紀中葉に松島青龍山瑞巌円福禅寺（宮城県宮城郡松島町）の前身の松島円福寺を開山し，その俗称とされるのが真壁平四郎といわれている。真壁平四郎については，猫島高松家の出身であることや，真壁氏族との所縁があるといわれているが，詳細な生涯については不明なことが多い。但し，性西法心については，14世紀前葉の『雑談集』に，著者の鎌倉後期の僧である無住一円が寛元（かんげん）３（1245）年に性西法心から法華玄義（ほっけげんぎ）を聴いたことが記されている。無住一円は仁治（にんじ）２（1241）年からしばらくの期間，常陸国にとどまって生活していたとされており，性西法心が13世紀前半に渡宋して戻ってきた後，真壁氏の領域内で出逢ったのではないかとされている[28]。また，荒川正夫氏が「13世紀中葉から14世紀前葉には周囲を堀で区画し，古代以来の血縁的な性格を持った館から，地縁的性格の政治的色合いを持つ館へと変貌し，在地領主たちは寺院を建立し，在地支配を行っている。」と指摘していることも興味深い内容である。

⑵　火葬施設について

一般的に火葬を行った施設として「火葬土坑」と用いているが，当遺跡で確認された「火葬施設」も同様の定義として考察する。

今回の調査では，火葬施設８基を確認した。いずれも方形区画堀の内側に位置している。第１～４号火葬施設は平面形が呂字状を呈し，焚口部，燃焼部，通風溝を確認した。第７号火葬施設は平面形がＴ字状を呈し，燃焼部，通風溝を確認した。第５・６号火葬施設は平面形が楕円形を呈し，通風溝のみ確認した。第８号火葬施設は第３号火葬施設の燃焼部と重複しており，平面形が呂字状またはＴ字状を呈していたと推測され，燃焼部と通風溝を確認している。

一般的に火葬施設は平面形が長方形で付属施設があるものが多い。その中でも，長方形の土坑に張り出し部を有したＴ字状を呈する形状が，千葉北部・茨城南部・栃木南部・群馬・埼玉・東京の関東地方の中央部付近に分布の中心が見られる。簗瀬裕一氏は，千葉県の県北部から確認された火葬土坑について型式分類と編年を組んでいる[29]。まず，形状は５つに分類している。燃焼坑と焚口坑を通気孔で連結させたものをＡ類。横長の燃焼坑の片側に張り出し部が付設されたものをＢ類。方形ないし縦長の長方形の燃焼坑の中央に火通し溝が設けられたものをＣ類。縦長の溝状ないし棒状の形状を呈しているものをＤ類。



第 514 図　火葬施設分類図

基本形は火通し溝が十文字を呈しているものをＥ類。土坑ないしピット状の形状を呈しているものをＦ類としている。これを当遺跡の火葬施設と照合すると，第１～４号火葬施設がＡ類，第７号火葬施設がＢ類に該当する。第５・６号火葬施設はＤ類に該当するが，層厚が薄く，遺構上面が削平されている可能性もある。第８号火葬施設については，確認された付属施設を考慮し，Ｂ類に分類して考察する。編年については，Ａ類が最も古く，それが崩れて退化し，Ｂ類が派生した可能性があると考えている。Ａ類は 15 世紀後半代で，Ｂ類が 15 世紀後半以降としており，Ａ類とＢ類には時期差はないと考えられている（第 514 図）。

これらのことから，当遺跡の火葬施設の帰属時期は 15 世紀後半以降と推定される。さらに，方形館は 15 世紀中葉には廃絶していたものと考えると，火葬施設は方形館に後続するもので，葬送に関する場所や土地利用の方法の変化があったと考えられる。但し，文献や遺物からは，方形館の廃絶時期を断定できないため，方形館の終末期と重っていた可能性もある。

4　おわりに

塔ノ内南遺跡は，筑波山麓に近接し，陸標をなす筑波山を遠望しながら，古代から人々がこの地に集まり，集落を形成し，中世には館を築いて統治的な地域社会が構築されていたことが分かった。その中でも，多数出土した６世紀から７世紀の土器には，茨城県南部で見られる器形と栃木県南部から埼玉県北部に見られる器形が混在する特徴があり，県西地域における当該期の土器様相の一端を知ることができた。また，13 世紀後半から 15 世紀中葉の館の役割を果たしていた遺構を確認したが，当該地域に関する中世の文献資料等がわずかであるため，当遺跡及びその周辺地域の支配者層については不明な点が多い。今後，資料の増加によって，当地域の人々の生活や中世館跡の性格についてさらなる解明ができることを期待したい。

註

1）茨城県南地域では樫村 1993，茨城の７世紀の論考としては渥美 2013，栃木県域では津野 1995，池田 2009 などがある。
渥美賢吾「常陸における七世紀の土器」『博古研究』第 45 号　博古研究会　2013 年４月
池田敏宏「栃木県域における６・７世紀の土器様相」『古代社会と地域間交流』国士舘大学考古学会　2009 年
樫村宣行「茨城県南部における鬼高式土器について」『研究ノート』２号　茨城県教育財団　1993 年７月
津野仁「栃木県における６・７世紀の土器編年と地域的特徴」『東国土器研究』4　東国土器研究会　1995 年
また，近隣地域の土器については，赤井博之氏，津野仁氏，中村岳彦氏，土生朗治氏から多大なご教示をいただいた。

2）松村恵司「Ⅰ　出土土器の分類と編年」『山田水呑遺跡』山田遺跡調査団　1977 年
橋本澄朗「第Ⅲ章　問題点の整理と考察」『薬師寺南遺跡（本文編）』栃木県埋蔵文化財調査報告書第 23 集　栃木県教育委員会　1979 年３月
3）出土位置が「床面」である遺物以外にも，複数の遺物が床面から積み重なって出土しており，上に積み重なっている個体の出土位置を「覆土下層」としている場合など，図面記録や写真から一括性があると判断した資料を用いている。
4）厳密にいえば無調整ではなく，整形時に調整を施さず，成形時の痕跡がそのまま残ったものと捉えられる。指頭痕，指頭押圧をしながら斜めにナデ上げたような痕跡，器表面のひび割れのほか，ほとんど痕跡が残らないものが観察できる。
5）高橋誠「⑷特論Ⅱ　土師器坏の細別型式」『南羽鳥遺跡群Ⅲ』財団法人印旛郡市文化財センター発掘調査報告書第 145 集　財団法人印旛郡市文化財センター　1999 年３月
6）鶴間正明「関東における律令体制成立期の土師器供膳具」『東京考古』19 東京考古談話会　2001 年５月
7）出土量が極端に少ない第１期と第８期を除き，同一類型のみが出土した遺構は表に示していない。
8）前掲６に同じ
9）前掲津野 1995, 合田恵美子「第４章　調査の成果」『峰高前遺跡』栃木県埋蔵文化財調査報告第 308 集　栃木県教育委員会・とちぎ生涯学習文化財団　2007 年９月
10）福田聖『川越田遺跡Ｈ地点』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第 375 集　2011 年２月
11）佐原真編『日本考古学事典』三省堂　2002 年
12）前掲９に同じ
13）当遺跡周辺地域で糸切り痕が残る土師器の出土事例を挙げれば，茨城県内では桜川市犬田神社前遺跡 SI205 出土土器，栃木県内では宇都宮市西刑部遺跡 SI12 出土土器などがあり，関東西部を中心に少ないながらも存在している。
14）秋山浩三「黒斑等の遺物属性からみた土器焼成遺構」『古代の土師器生産と焼成遺構』1997 年５月　真陽社
15）桜岡正信「黒色土器づくり」『世界の土器づくり』 2005 年 12 月　同成社
16）土生朗治　宮本久子『塚前貝塚・五輪前遺跡（第二次調査）』毛野考古学研究所　2017 年３月
17）寺内久永　須賀川正一『犬田神社前遺跡３　北関東自動車（協和～友部）建設事業地内埋蔵文化財調査報告書ⅩⅣ』茨城県教育財団文化財調査報告第 270 集　2007 年３月
18）今平昌子「第４章　調査のまとめ」『高林遺跡』栃木県埋蔵文化財調査報告第 272 集　栃木県教育委員会・とちぎ生涯学習文化財団　2003 年３月
19）山口仁『多功南原遺跡　住宅・都市整備公団宇都宮都市計画事業多功南原地区埋蔵文化財発掘調査』栃木県埋蔵文化財調査報告第 222 集　栃木県教育委員会　財団法人栃木県文化振興事業団　1999 年３月
20）太宰府市教育委員会 「大宰府条坊跡ＸＶ－陶磁器分類編－」『太宰府市の文化財　第 49 集』 2000 年３月
貿易陶磁器の型式名と編年は，上記編年を使用した。
21）藤沢良祐「古瀬戸中期様式の成立過程」『東洋陶磁８』 1982 年
藤沢良祐「瀬戸大窯発掘調査報告」『瀬戸市歴史民俗資料館　研究紀要Ⅴ』 1986 年
藤沢良祐「瀬戸古窯址群Ⅱ－古瀬戸後期様式の編年－」『瀬戸市歴史民俗資料館Ⅹ』 1991 年
22）中野晴久「赤羽・中野「生産地における編年について」」『全国シンポジウム「中世常滑焼を追って」資料集』 日本福祉大学知多半島総合研究所　1994 年
23）越田真太郎「県内の在地土器」『茨城中世考古学の最前線　編年と基準資料　茨城県考古学協会シンポジウム』 茨城県考古学協会　2011 年
24）樫村宣行『白石遺跡　（仮称）水戸浄水場予定地内埋蔵文化財調査報告書』茨城県教育財団文化財調査報告第 82 集　1993 年３月
25）小松﨑和治『島名境松遺跡　島名前野東遺跡　島名・福田坪一体型特定土地区画整理事業地内埋蔵文化財調査報告書XⅣ』茨城県教育財団文化財調査報告第 281 集　2007 年３月
26）矢ノ倉正男『小泉館跡　一般県道長高野筑波線道路改良工事地内埋蔵文化財調査報告書』茨城県教育財団文化財調査報告第 97 集　1995 年３月
27）佐藤正好『屋代Ｂ遺跡Ⅲ　水戸浄水場予定地内埋蔵文化財調査報告書』茨城県教育財団文化財調査報告第 82 集　1993 年３月
28）明野町史編さん委員会『明野町史』明野町　1985 年７月
29）簗瀬裕一「房総の中世墓」『日本の中世墓』高志書院　2009 年３月

参考文献

・稲田義弘　川村満博　田中幸夫　荒蒔克一郎「遺跡紹介－中世方形館跡－」『研究ノート』12 号　財団法人茨城県教育財団　2003 年６月
・荒川正夫「北武蔵における中世方形館の成立と集落載蔵国児玉郡・義美郡を中心に」『第 19 回中世土器研究会報告資料』中世土器研究会　2000 年 12 月

写　真　図　版

第96号竪穴建物跡出土遺物

遺跡全景

PL2

遺跡遠景（北西から）

基本層序

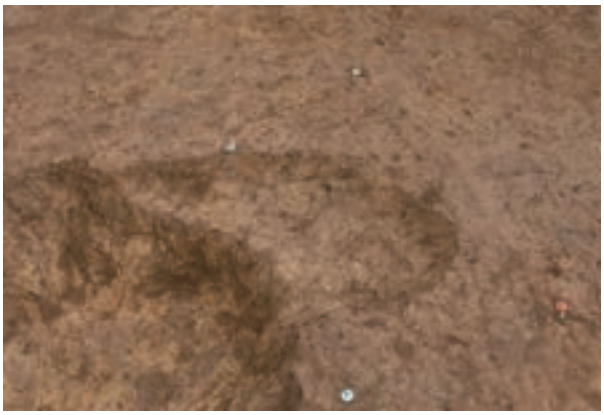
第110号竪穴建物跡 遺物出土状況 (1)

第110号竪穴建物跡 遺物出土状況 (2)

第110号竪穴建物跡 遺物出土状況 (3)

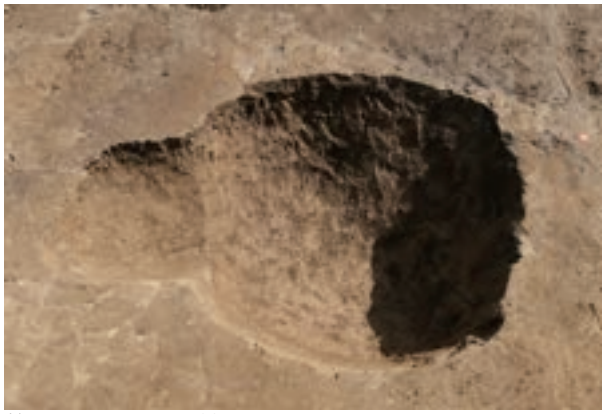
第110号竪穴建物跡 炉

第110号竪穴建物跡


第28号土坑

第139号土坑 遺物出土状況 (1)

第139号土坑 遺物出土状況 (2)


第143・382号土坑

第158号土坑

第163号土坑 遺物出土状況

第180号土坑 遺物出土状況

第183号土坑

第195号土坑

第251号土坑 遺物出土状況

第389号土坑

第393号土坑

第397号土坑

第512号土坑

第513号土坑

第１A号竪穴建物跡 遺物出土状況

第１A号竪穴建物跡

第１B号竪穴建物跡

第２号竪穴建物跡 遺物出土状況

第２号竪穴建物跡 竈 遺物出土状況

第２号竪穴建物跡

第３号竪穴建物跡

第４号竪穴建物跡 竈 遺物出土状況

第４号竪穴建物跡

第５号竪穴建物跡 竈 遺物出土状況

第５号竪穴建物跡

第６号竪穴建物跡

第７号竪穴建物跡 竈

第７号竪穴建物跡

第８号竪穴建物跡 竈

第８号竪穴建物跡

第９号竪穴建物跡 竈

第９号竪穴建物跡

第10号竪穴建物跡 遺物出土状況 (1)

第10号竪穴建物跡 遺物出土状況 (2)

第10号竪穴建物跡 遺物出土状況 (3)

第10号竪穴建物跡 竈 遺物出土状況

第10号竪穴建物跡

第11号竪穴建物跡

第12号竪穴建物跡

第13号竪穴建物跡 竈 遺物出土状況

第13号竪穴建物跡

第14号竪穴建物跡

第16号竪穴建物跡 遺物出土状況

第16号竪穴建物跡 竈

第16号竪穴建物跡

第17号竪穴建物跡 竈

第17号竪穴建物跡

第18号竪穴建物跡 遺物出土状況

第18号竪穴建物跡

第19号竪穴建物跡 竈 遺物出土状況

第19号竪穴建物跡

第20号竪穴建物跡 遺物出土状況 (1)

第20号竪穴建物跡 遺物出土状況 (2)

第20号竪穴建物跡 遺物出土状況 (3)

第20号竪穴建物跡

第21号竪穴建物跡

第22号竪穴建物跡 遺物出土状況 (1)

第22号竪穴建物跡 遺物出土状況 (2)

第22号竪穴建物跡 竈 遺物出土状況

第22号竪穴建物跡

第23号竪穴建物跡 遺物出土状況

第23号竪穴建物跡 竈 遺物出土状況

第23号竪穴建物跡

第24号竪穴建物跡

第25号竪穴建物跡 遺物出土状況

第27号竪穴建物跡 遺物出土状況

第27号竪穴建物跡 貯蔵穴遺物出土状況

第28号竪穴建物跡 炉

第28号竪穴建物跡

第29号竪穴建物跡 竈

第29号竪穴建物跡

第30号竪穴建物跡

第32号竪穴建物跡

第33号竪穴建物跡 竈

第33号竪穴建物跡

第34号竪穴建物跡 竈１ 遺物出土状況

第34号竪穴建物跡 竈１・２

第34号竪穴建物跡

第35号竪穴建物跡 竈

第35号竪穴建物跡

第37号竪穴建物跡

第38号竪穴建物跡 炉

第38号竪穴建物跡

第39号竪穴建物跡 竈 遺物出土状況

第39号竪穴建物跡

第40号竪穴建物跡 遺物出土状況 (1)

第40号竪穴建物跡 遺物出土状況 (2)

第40号竪穴建物跡 竈

第40号竪穴建物跡

第45号竪穴建物跡 炉

第45号竪穴建物跡

第47号竪穴建物跡

第48号竪穴建物跡

第49号竪穴建物跡

第50号竪穴建物跡

第51号竪穴建物跡 竈

第51号竪穴建物跡

第52号竪穴建物跡 遺物出土状況

第52号竪穴建物跡 竈 遺物出土状況

第52号竪穴建物跡

第53号竪穴建物跡 遺物出土状況

第53号竪穴建物跡 竈 遺物出土状況

第53号竪穴建物跡

第54号竪穴建物跡 竈

第54号竪穴建物跡

第55号竪穴建物跡 竈

第55号竪穴建物跡

第56号竪穴建物跡

第57号竪穴建物跡 竈

第57号竪穴建物跡

第58号竪穴建物跡 竈

第58号竪穴建物跡

第59号竪穴建物跡 竈

第59号竪穴建物跡

第60号竪穴建物跡

第62号竪穴建物跡 竈 遺物出土状況

第62号竪穴建物跡

第63号竪穴建物跡 竈

第63号竪穴建物跡

第64号竪穴建物跡 竈

第64号竪穴建物跡

第66号竪穴建物跡 竈

第66号竪穴建物跡

第67号竪穴建物跡

第68号竪穴建物跡

第69号竪穴建物跡 竈

第69号竪穴建物跡

第70号竪穴建物跡 焼土

第70号竪穴建物跡

第71号竪穴建物跡

第73号竪穴建物跡

第74号竪穴建物跡 遺物出土状況

第74号竪穴建物跡

第75号竪穴建物跡 竈 遺物出土状況

第77号竪穴建物跡 竈

第77号竪穴建物跡

第78号竪穴建物跡 竈 遺物出土状況

第78号竪穴建物跡

第79号竪穴建物跡

第80号竪穴建物跡 遺物出土状況 (1)

第80号竪穴建物跡 遺物出土状況 (2)

第80号竪穴建物跡 遺物出土状況 (3)

第80号竪穴建物跡 遺物出土状況 (4)

第80号竪穴建物跡 遺物出土状況 (5)

第80号竪穴建物跡 竈 遺物出土状況

第80号竪穴建物跡

第81号竪穴建物跡 竈

第81号竪穴建物跡

第82号竪穴建物跡

第84号竪穴建物跡

第85号竪穴建物跡 遺物出土状況 (1)

第85号竪穴建物跡 遺物出土状況 (2)

第85号竪穴建物跡 竈

第85号竪穴建物跡

第86号竪穴建物跡

第87号竪穴建物跡

第88号竪穴建物跡 竈

第88号竪穴建物跡

第90号竪穴建物跡 遺物出土状況

第90号竪穴建物跡 竈 遺物出土状況 (1)

第90号竪穴建物跡 竈 遺物出土状況 (2)

第91号竪穴建物跡 竈 1

第91号竪穴建物跡 竈２ 遺物出土状況

第91号竪穴建物跡

第93号竪穴建物跡

第94号竪穴建物跡 竈

第94号竪穴建物跡

第95号竪穴建物跡 竈 遺物出土状況

第95号竪穴建物跡

第96号竪穴建物跡 遺物出土状況

第96号竪穴建物跡 貯蔵穴遺物出土状況

第96号竪穴建物跡 竈 遺物出土状況

第96号竪穴建物跡

第97号竪穴建物跡 竈

第97号竪穴建物跡

第98号竪穴建物跡 炉

第98号竪穴建物跡

第100号竪穴建物跡 竈

第100号竪穴建物跡

第101号竪穴建物跡 竈

第101号竪穴建物跡

第102号竪穴建物跡 竈

第102号竪穴建物跡

第107号竪穴建物跡

第109号竪穴建物跡 遺物出土状況

第109号竪穴建物跡

第111号竪穴建物跡 竈 遺物出土状況

第111号竪穴建物跡

第113号竪穴建物跡

第114号竪穴建物跡 竈 遺物出土状況

第114号竪穴建物跡

第115号竪穴建物跡 竈１・２ 遺物出土状況

第115号竪穴建物跡 竈２ 遺物出土状況

第115号竪穴建物跡 竈１

第115号竪穴建物跡

第116号竪穴建物跡

第118号竪穴建物跡 掘方

第119号竪穴建物跡 遺物出土状況

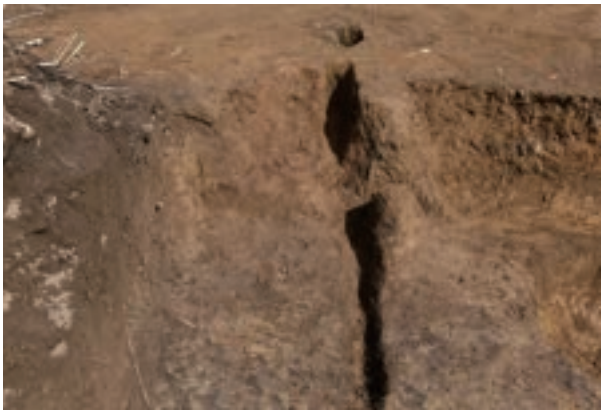
第119号竪穴建物跡 竈 遺物出土状況 (1)

第119号竪穴建物跡 竈 遺物出土状況 (2)

第119号竪穴建物跡

第121号竪穴建物跡，第２号方形竪穴遺構

第122号竪穴建物跡


第131号竪穴建物跡 竈

第131号竪穴建物跡

第132号竪穴建物跡 遺物出土状況 (1)

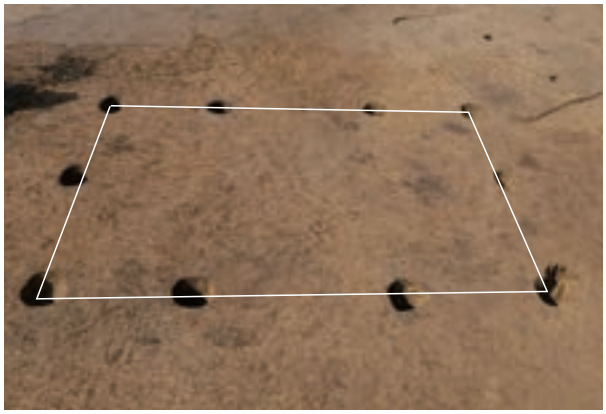
第132号竪穴建物跡 遺物出土状況 (2)

第133号竪穴建物跡

第134号竪穴建物跡 炉

第134号竪穴建物跡

第１号掘立柱建物跡


第２号掘立柱建物跡

第７号掘立柱建物跡

第７号掘立柱建物跡 掘方

第38号土坑 遺物出土状況

第44号土坑 遺物出土状況

第110号土坑 遺物出土状況

第110号土坑

第115号土坑 遺物出土状況 (1)

第115号土坑 遺物出土状況 (2)

第115号土坑

第134号土坑

第153号土坑

第157号土坑

第161号土坑 遺物出土状況

第161号土坑

第162号土坑

第167号土坑 遺物出土状況

第175号土坑 遺物出土状況

第209号土坑 遺物出土状況

第214号土坑

第219号土坑 遺物出土状況

第223号土坑

第282号土坑

第285号土坑 遺物出土状況

第350号土坑 遺物出土状況

第444号土坑

第475号土坑 遺物出土状況

第483号土坑

第487号土坑

第489号土坑

第516～518号土坑 遺物出土状況

第516号土坑 遺物出土状況

第520号土坑 遺物出土状況

第520号土坑

第521号土坑 遺物出土状況

第35号井戸跡 遺物出土状況

第35号井戸跡

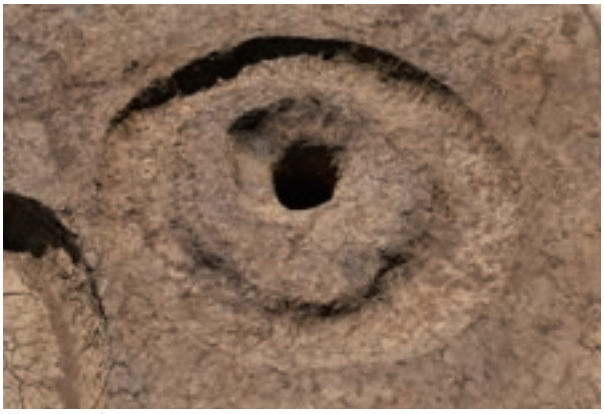
第36号井戸跡 遺物出土状況

第36号井戸跡

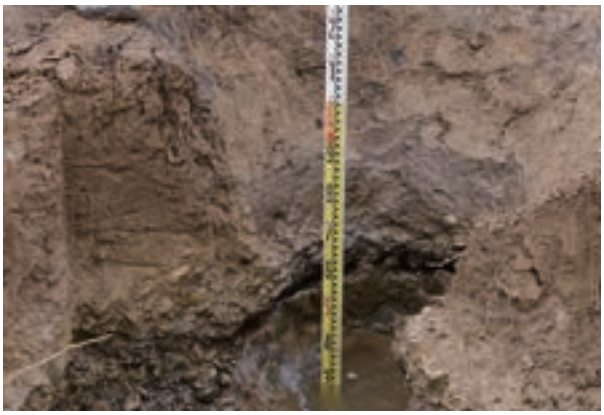
第37号井戸跡

第38号井戸跡 土層断面

第38号井戸跡


第39号井戸跡

第40号井戸跡


第40号井戸跡 断割状況

第41号井戸跡 遺物出土状況

第42号井戸跡 遺物出土状況（1）

第42号井戸跡 遺物出土状況 (2)

第42号井戸跡

第42号井戸跡 断割状況

第43号井戸跡 土層断面

第43号井戸跡

第44号井戸跡 遺物出土状況

第44号井戸跡

第44号井戸跡 断割状況

第45号井戸跡

第46号井戸跡 遺物出土状況

第46号井戸跡

第47号井戸跡 土層断面

第47号井戸跡

第48号井戸跡

第49号井戸跡 土層断面

第49号井戸跡

第50号井戸跡

第51号井戸跡

第15A号竪穴建物跡 竈 遺物出土状況

第15A号竪穴建物跡

第26号竪穴建物跡 遺物出土状況

第26号竪穴建物跡 竈

第26号竪穴建物跡

第31号竪穴建物跡 竈

第31号竪穴建物跡

第36号竪穴建物跡 遺物出土状況

第36号竪穴建物跡 竈

第36号竪穴建物跡

第46号竪穴建物跡 遺物出土状況

第46号竪穴建物跡 竈

第46号竪穴建物跡

第61号竪穴建物跡 竈

第61号竪穴建物跡

第112号竪穴建物跡 遺物出土状況 (1)

第112号竪穴建物跡 遺物出土状況 (2)

第112号竪穴建物跡 竈

第112号竪穴建物跡

第128号竪穴建物跡 遺物出土状況

第128号竪穴建物跡 竈 遺物出土状況

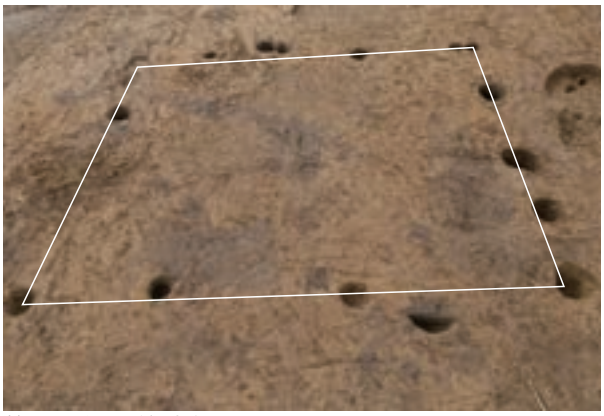
第501号土坑

第52号井戸跡 遺物出土状況 (1)

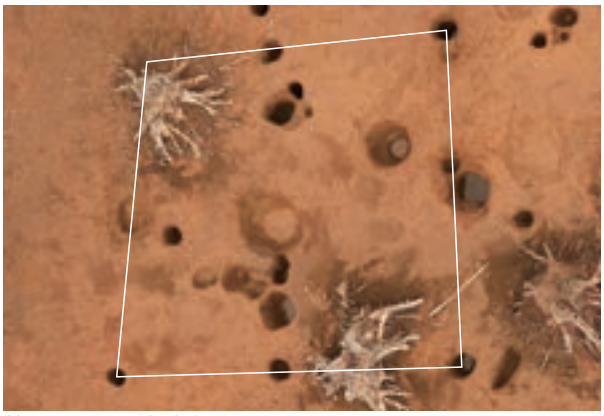
第52号井戸跡 遺物出土状況 (2)

第52号井戸跡 遺物出土状況 (3)

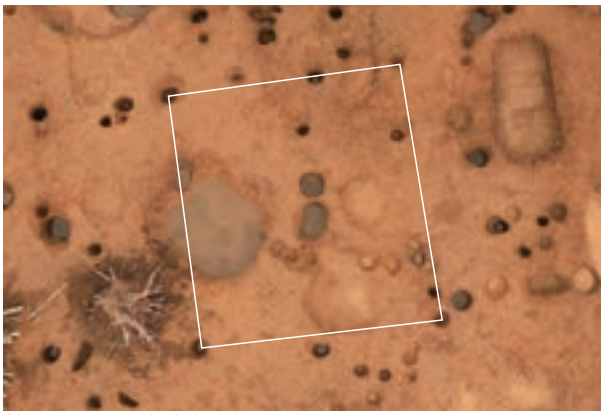
第52号井戸跡



第３号掘立柱建物跡

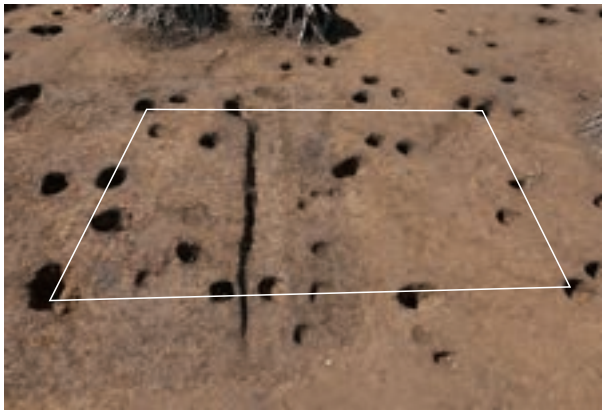


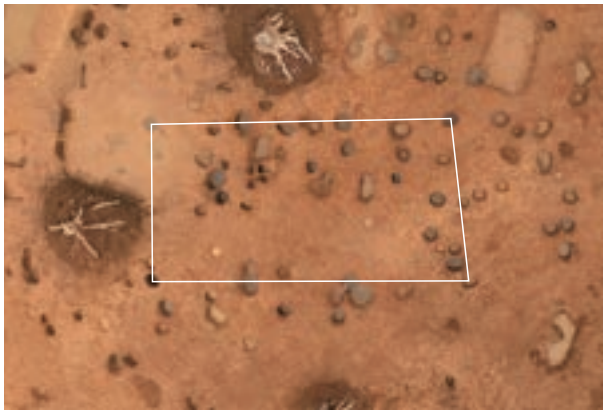
第４号掘立柱建物跡

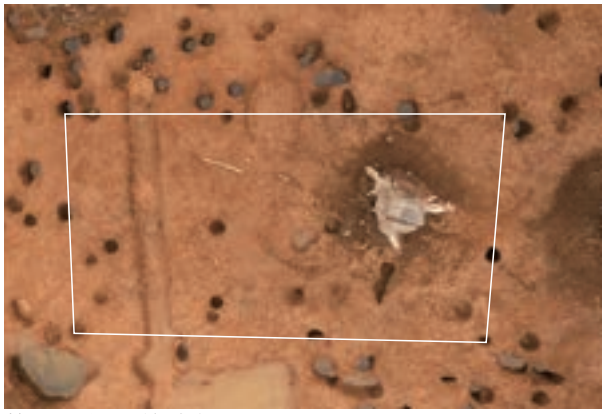


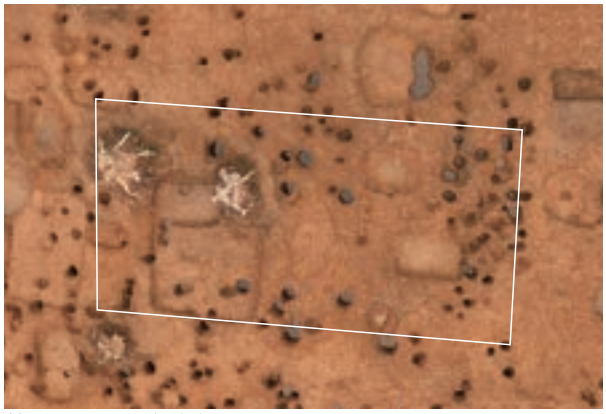
第５号掘立柱建物跡

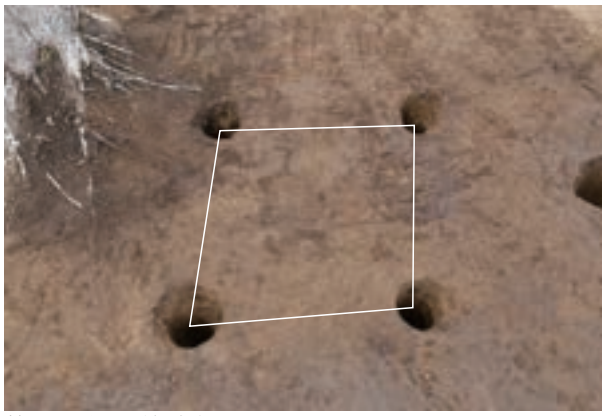
第６号掘立柱建物跡

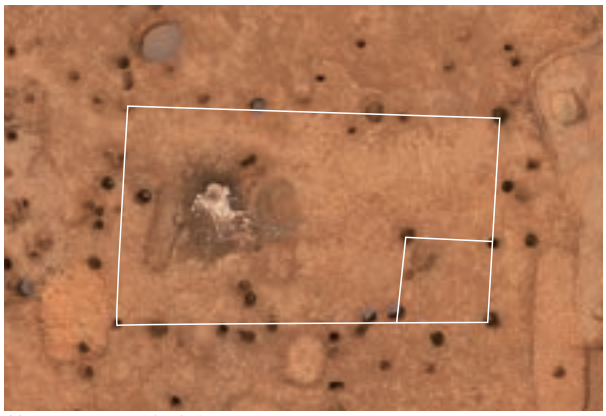

第８号掘立柱建物跡


第９号掘立柱建物跡


第10号掘立柱建物跡


第11号掘立柱建物跡


第12号掘立柱建物跡


第13号掘立柱建物跡

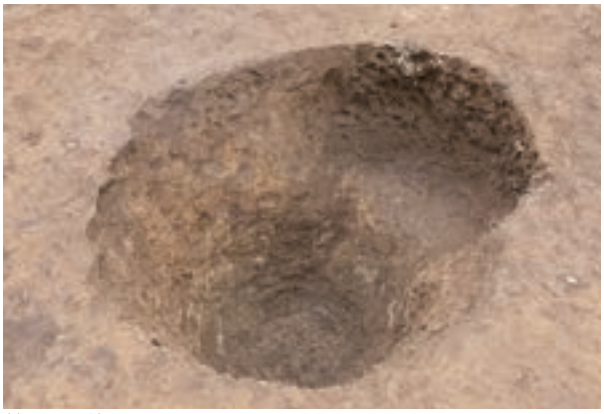
第１号方形竪穴遺構 遺物出土状況

第１号方形竪穴遺構

第２号方形竪穴遺構 土層断面

第３号方形竪穴遺構

第１号井戸跡 土層断面



第２号井戸跡

第３号井戸跡

第４号井戸跡

第５号井戸跡

第６号井戸跡

第８号井戸跡

第９・11号井戸跡

第10号井戸跡 遺物出土状況

第12号井戸跡 土層断面

第13号井戸跡 土層断面

第14号井戸跡

第16号井戸跡

第17号井戸跡 土層断面

第18号井戸跡 土層断面

第20号井戸跡

第23号井戸跡

第24号井戸跡

第25号井戸跡 土層断面

第26号井戸跡

第27号井戸跡

第28号井戸跡

第29号井戸跡

第30号井戸跡

第31号井戸跡

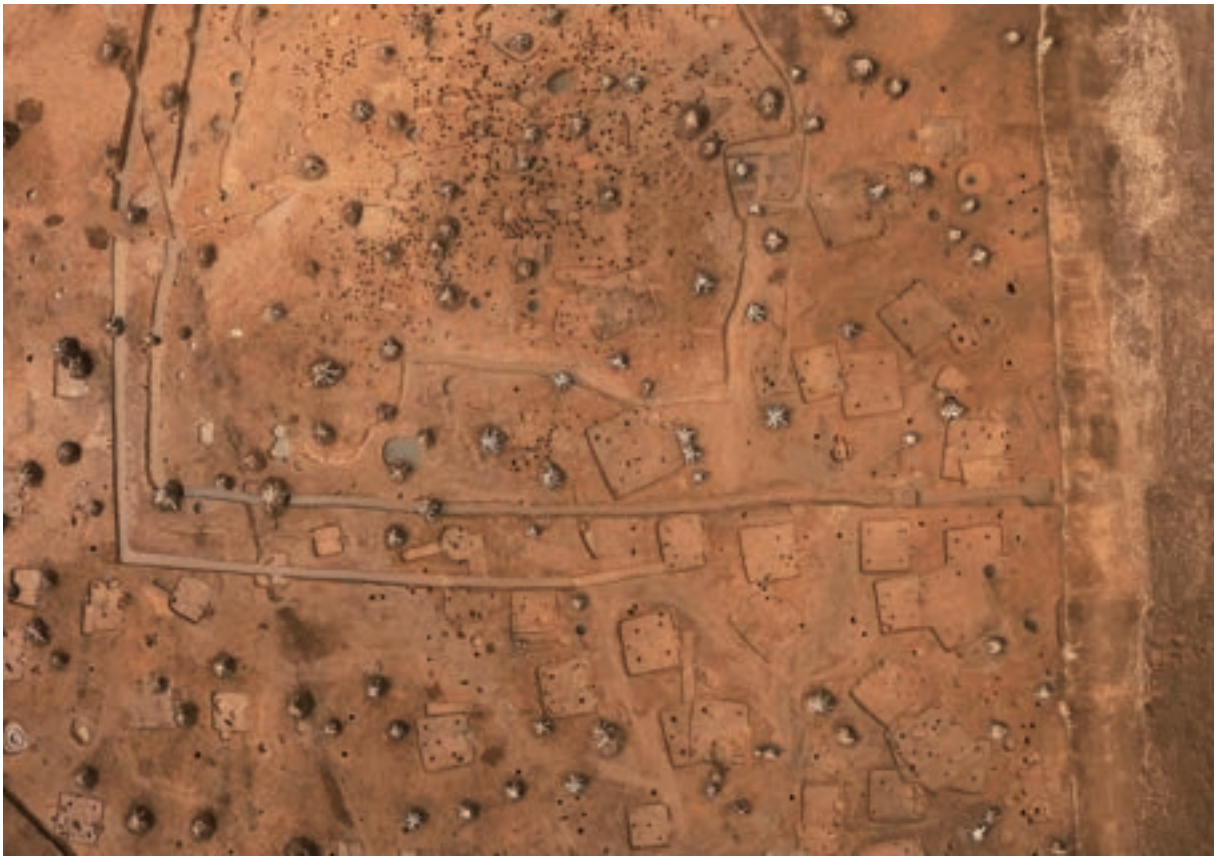
第32号井戸跡

第33号井戸跡

第34号井戸跡

第54号井戸跡 遺物出土状況

第54号井戸跡



第２・３号堀跡，第１・７・９号溝跡（東から）

第５・６・12号堀跡，第13～15・19～21・23号溝跡（南から）

第２号堀跡 土層断面 (1)

第２号堀跡 土層断面 (2)

第２号堀跡 土層断面 (3)

第２号堀跡 土層断面 (4)

第２号堀跡 土層断面 (5)

第２号堀跡 遺物出土状況 (1)

第２号堀跡 遺物出土状況 (2)

第３号堀跡 土層断面 (1)

第３号堀跡 土層断面 (2)

第３号堀跡 土層断面 (3)

第３号堀跡 土層断面 (4)

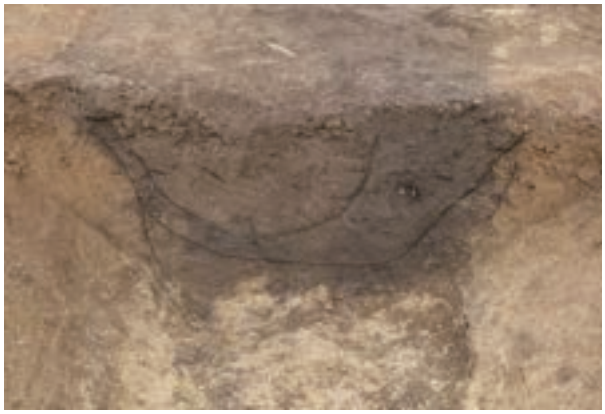
第３号堀跡 遺物出土状況

第５号堀跡 土層断面 (1)

第５号堀跡 土層断面 (2)

第５号堀跡 土層断面 (3)

第５号堀跡，第105号竪穴建物跡 土層断面


第６号堀跡 土層断面 (1)

第６号堀跡 土層断面 (2)

第６号堀跡 遺物出土状況 (1)

第６号堀跡 遺物出土状況 (2)

第12号堀跡 土層断面 (1)

第12号堀跡 土層断面 (2)

第12号堀跡

第15号溝跡

第１号火葬施設

第２・７号火葬施設

第３・８号火葬施設

第４号火葬施設 土層断面

第４号火葬施設

第５号火葬施設

第41号竪穴建物跡

第42号竪穴建物跡

第43号竪穴建物跡

第44号竪穴建物跡

第76号竪穴建物跡

第83号竪穴建物跡

第103号竪穴建物跡

第104号竪穴建物跡

第105号竪穴建物跡

第125号竪穴建物跡

第126号竪穴建物跡

第129号竪穴建物跡 遺物出土状況

第129号竪穴建物跡

第137号竪穴建物跡

第139号竪穴建物跡

第１号円形周溝状遺構

第103号土坑

第116号土坑 土層断面

第138号土坑

第145号土坑

第225号土坑

第264号土坑

第361号土坑

第373号土坑

第468号土坑

第470号土坑

第485号土坑

第523号土坑

第524号土坑

第525号土坑

第526号土坑

第527号土坑

第528号土坑 遺物出土状況

第535号土坑

第80号竪穴建物跡出土遺物

第90号竪穴建物跡出土遺物

SI 110-2

SI 110-3

SI 1A-1

SI 110-4

SI 1A-3

SI 1A-5

SI 1A-4

SI 1A-6

SI 1A-7

第110・1A号竪穴建物跡出土土器

SI 2-1

SI 2-2

SI 2-3

SI 2-13

SI 2-5

SI 2-10

SI 4-1

第２・４号竪穴建物跡出土土器

SI 4-4

SI 4-3

SI 6-1

SI 5-1

SI 6-4

SI 6-2

SI 6-8

SI 6-5

SI 6-9

SI 6-10

第４～６号竪穴建物跡出土土器

第６～８号竪穴建物跡出土土器

SI 9-4

SI 10-3

SI 10-4

SI 10-6

SI 10-8

SI 10-13

SI 9-7

SI 10-5

SI 10-7

SI 10-10

SI 10-14

第９・10号竪穴建物跡出土土器

SI 10-16

SI 10-17

SI 11-1

SI 11-7

SI 12-1

SI 13-2

SI 13-5

第10～13号竪穴建物跡出土土器

SI 13-4

SI 14-2

SI 16-4

SI 18-1

SI 18-5

SI 14-1

SI 16-1

SI 17-3

SI 18-3

SI 18-9

第13・14・16～18号竪穴建物跡出土土器

SI 18-11

SI 19-3

SI 19-7

SI 20-1

SI 20-2

SI 20-3

SI 20-4

SI 20-7

第18～20号竪穴建物跡出土土器

SI 21-1

SI 21-3

SI 22-1

SI 22-2

SI 22-5

SI 22-6

SI 22-7

SI 22-8

SI 23-1

SI 23-2

第21～23号竪穴建物跡出土土器

SI 23-3

SI 23-4

SI 23-5

SI 23-6

SI 23-7

SI 23-9

SI 23-10

SI 25-1

SI 25-2

SI 25-8

SI 25-3

SI 25-11

第23・25号竪穴建物跡出土土器

SI 25-12

SI 30-1

SI 33-1

SI 33-3

SI 34-2

SI 34-1

SI 27-1

SI 33-2

SI 33-4

SI 33-5

SI 34-3

第25・27・30・33・34号竪穴建物跡出土土器

SI 34-8

SI 34-9

SI 35-1

SI 34-11

SI 34-10

SI 34-12

SI 35-4

SI 35-6

第34・35号竪穴建物跡出土土器

第39・40号竪穴建物跡出土土器

SI 51-1

SI 51-2

SI 52-2

SI 52-1

SI 52-3

SI 53-1

SI 53-4

SI 53-2

SI 53-5

SI 54-1

SI 55-4

SI 53-6

第51～55号竪穴建物跡出土土器

第53・55・58号竪穴建物跡出土土器

SI 58-11

SI 60-1

SI 63-1

SI 63-2

SI 63-3

SI 63-4

SI 63-5

SI 66-1

SI 66-2

SI 66-8

SI 66-10

SI 67-5

第58・60・63・66・67号竪穴建物跡出土土器

SI 69-13

SI 67-6

SI 70-3

SI 71-1

SI 73-1

SI 74-6

SI 70-7

SI 74-7

SI 70-11

第67・69～71・73・74号竪穴建物跡出土土器

第80号竪穴建物跡出土土器

SI 80-12

SI 80-14

SI 80-20

SI 81-1

SI 81-2

SI 82-1

SI 82-2

SI 82-3

SI 84-8

SI 85-1

SI 85-2

SI 85-7

第80～82・84・85号竪穴建物跡出土土器

SI 85-8

SI 85-10

SI 85-11

SI 85-15

SI 85-16

SI 85-17

SI 85-18

SI 85-25

SI 85-19

SI 85-20

SI 86-2

第85・86号竪穴建物跡出土土器

SI 86-3

SI 86-4

SI 86-5

SI 86-6

SI 86-9

SI 86-8

SI 87-4

SI 87-1

SI 90-2

第86・87・90号竪穴建物跡出土土器

SI 90-3

SI 90-4

SI 90-5

SI 90-6

SI 90-7

SI 90-8

SI 90-9

SI 90-10

SI 90-11

SI 90-12

SI 90-13

SI 90-14

第90号竪穴建物跡出土土器

SI 90-15

SI 90-16

SI 90-19

SI 90-20

SI 90-22

SI 90-23

SI 90-31

SI 90-32

SI 90-30

SI 90-33

第90号竪穴建物跡出土土器

SI 90-36

SI 91-1

SI 91-3

SI 91-4

SI 90-37

SI 90-34

SI 90-35

第90・91号竪穴建物跡出土土器

第91・96号竪穴建物跡出土土器

SI 96-14

SI 96-16

SI 96-17

SI 96-25

SI 96-19

SI 96-20

SI 97-2

SI 97-4

第96・97号竪穴建物跡出土土器

SI 101-1

SI 101-5

SI 101-6

SI 102-1

SI 102-2

SI 102-3

SI 102-4

SI 109-7

SI 109-10

SI 109-11

SI 109-12

SI 109-13

第101・102・109号竪穴建物跡出土土器

SI 109-32

SI 111-3

SI 114-5

SI 109-24

SI 111-1

SI 114-2

SI 114-3

SI 114-4

SI 114-6

第109・111・114号竪穴建物跡出土土器

第114・115号竪穴建物跡出土土器

SI 115-12

SI 115-5

SI 115-8

SI 115-13

SI 115-14

SI 115-11

SI 115-18

SI 116-1

第115・116号竪穴建物跡出土土器

SI 119-1

SI 119-2

SI 119-3

SI 119-4

SI 131-3

SI 131-4

SI 131-7

SI 119-8

SI 132-2

SI 132-4

第119・131・132号竪穴建物跡出土土器

第132号竪穴建物跡出土土器，第６・38・44・110・115号土坑出土土器

SK115-1

SK115-5

SK115-6

SK157-1

SK157-2

SK157-6

SI 157-10

SK167-2

SK161-2

第115・157・161・167号土坑出土土器

SK167-3

SK167-5

SK223-1

SK285-1

SK350-1

SK516-2

SK516-3

第167・223・285・350・516号土坑出土土器

SK516-4

SK516-5

SK516-6

SK520-2

SK521-1

SK521-3

SK521-8

SK521-7

SK521-12

SK521-13

第516・520・521号土坑出土土器

SE35-2

SE35-5

SE35-6

SE36-4

SE36-5

SE40-1

SE40-5

SE42-2

SE42-1

第35・36・40・42号井戸跡出土土器

SE43-1

SE43-6

SE44-3

SE45-5

SE45-1

SE42-3

SE44-7

第42～45号井戸跡出土土器

SE46-7

SE50-2

SI 15A-1

SE50-4

SI 15A-4

SI 26-2

SI 26-3

SI 26-4

SI 26-5

第46・50号井戸跡，第15A・26号竪穴建物跡出土土器

SI 26-7

SI 26-9

SI 31-3

SI 36-1

SI 36-2

SI 31-2

SI 46-4

SI 61-1

第26・31・36・46・61号竪穴建物跡出土土器

SI 112-11

SI 61-3

SI 128-1

SI 112-15

SI 128-3

SI 112-12

SI 112-13

第61・112・128号竪穴建物跡出土土器

SI 128-4

SE52-1

SE52-2

SE52-3

SE52-4

SE54-1

SE52-5

SE10-2

SE31-1

第128号竪穴建物跡，第52・10・31・54号井戸跡出土土器

SD６-４

SD６-５

SD15-３

PG５-２

SI 104-１

SK21-１

遺構外-17

遺構外-18

遺構外-22

遺構外-28

第６号堀跡，第15号溝跡，第104号竪穴建物跡，第21号土坑，第５号ピット群，遺構外出土土器

SI 8-11

SI 8-12

SI 8-13

SI 8-14

SI 8-15

SI 8-16

SI 8-17

SI 8-18

SI 27-3

遺構外-34

SI 8-19

SI 8-20

SI 8-21

SI 8-23

SI 13-7

SI 95-10

SI 85-29

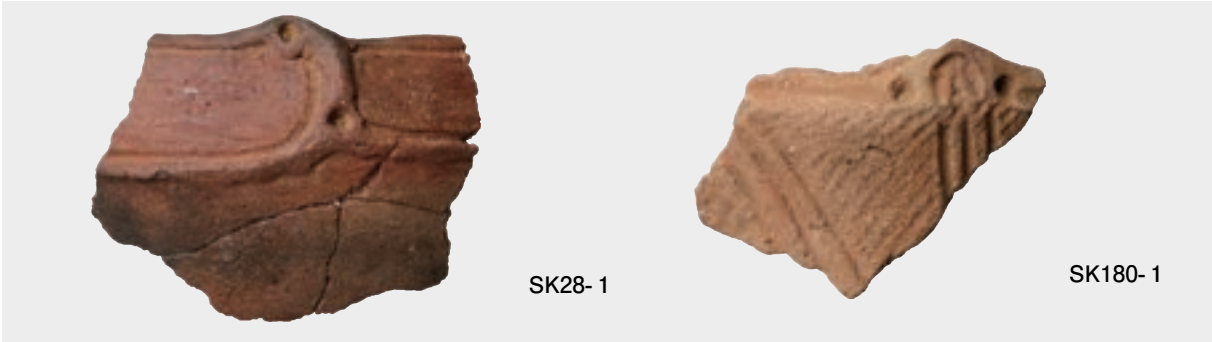
SI 80-22

SD 1-5

第８・13・27・80・85・95号竪穴建物跡，第１号溝跡，遺構外出土土製品

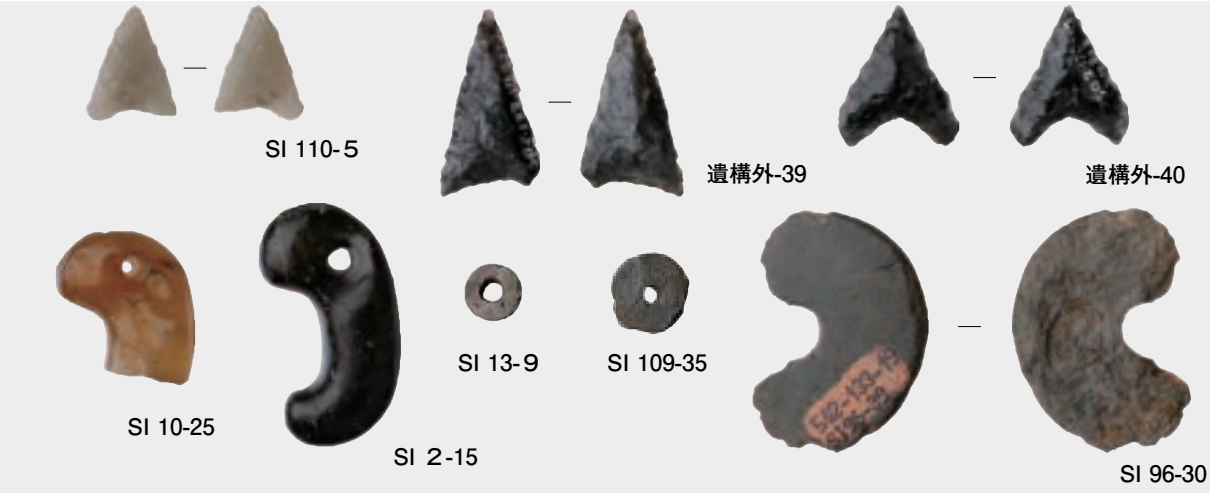
第1A・10・11・23・40・52・55・110号竪穴建物跡出土石器

第69・72号竪穴建物跡，第35・36・40井戸跡，第115号土坑，第15号溝跡，遺構外出土石器・石製品，第35号竪穴建物跡出土金属製品



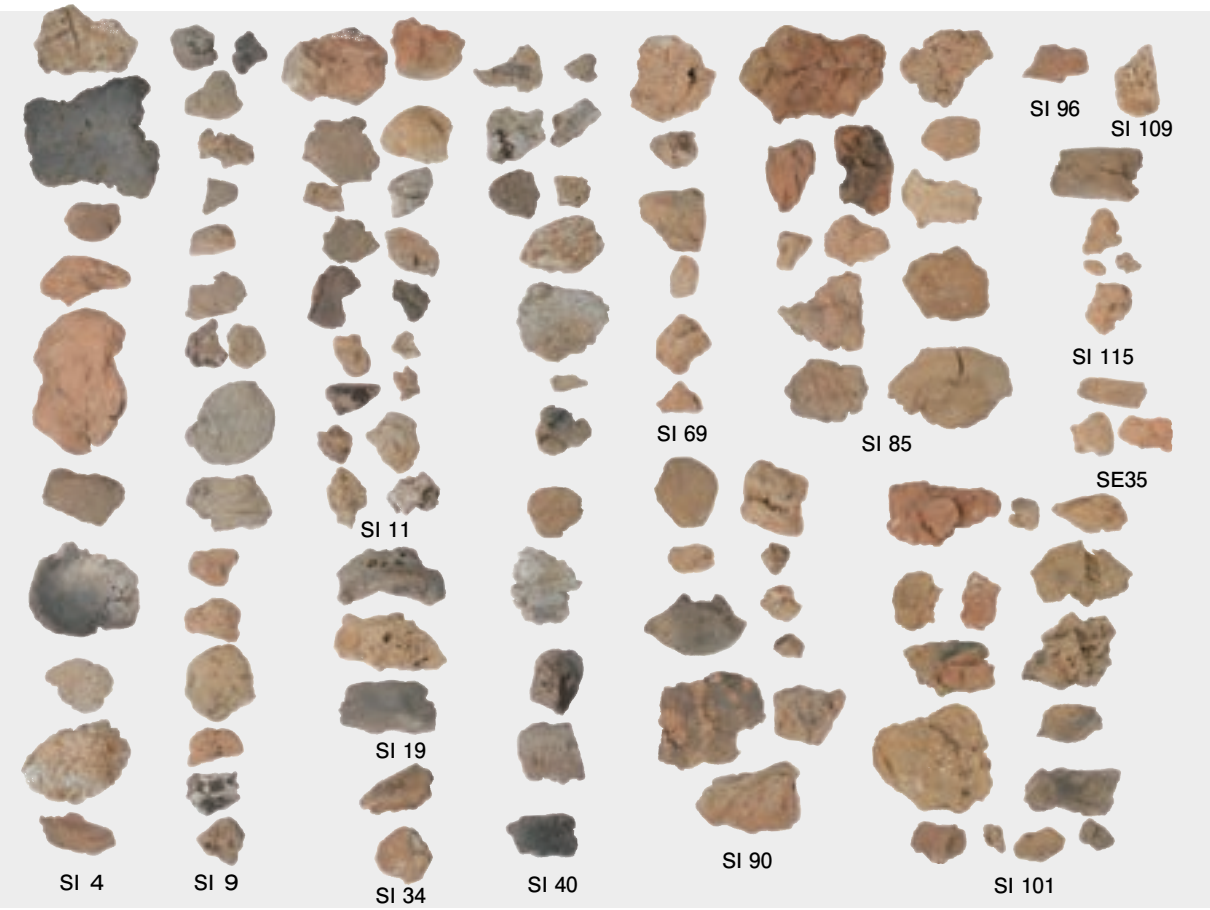
第１A・２・８・56・96号竪穴建物跡，第28・180・520号土坑，第41・44号井戸跡，遺構外出土土器

第２・５・６・12号堀跡，第15・21号溝跡，第５号柱穴列出土土器
第１A・８・11・19・20・81号竪穴建物跡，第282号土坑，第７号溝跡，遺構外出土土製品



第２・10・13・96・109・110号竪穴建物跡，遺構外出土石器・石製品
第18・87・102・126号竪穴建物跡，第218号土坑，第３号堀跡，遺構外出土金属製品

第２・４・５・11・19・33・35・67・112・116号竪穴建物跡，第27・37・233号土坑出土金属製品



第１号方形竪穴遺構出土馬歯，塔ノ内南遺跡出土焼成粘土塊

抄　　録

ふりがな	とうのうちみなみいせき
書　　名	塔ノ内南遺跡
副 書 名	つくば明野北部工業団地（拡張②）造成整備事業地内埋蔵文化財調査報告書
シリーズ名	茨城県教育財団文化財調査報告第462集
著 者 名	齋藤貴稚　根本　佑　野田良直
編集機関	公益財団法人茨城県教育財団
所 在 地	〒310－0911　茨城県水戸市見和1丁目356番地の2　　ＴＥＬ 029－225－6587
発 行 日	2022（令和4）年3月18日

ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード	北緯	東経	標高	調査期間	調査面積	調査原因
塔ノ内南遺跡	茨城県筑西市 内淀字富士山（現猫島字溜井西原） 613番地1ほか	08502 － 133	36度 16分 50秒	140度 02分 07秒	29 ～ 30 m	20190401 ～ 20191030	13,500㎡	つくば明野北部工業団地（拡張②）造成整備事業に伴う事前調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
塔ノ内南遺跡	集落跡	縄文	竪穴建物跡　1棟 土坑　18基	縄文土器（深鉢・注口土器・壺），石器（石鏃・磨石・凹石）	
		古墳	竪穴建物跡　102棟 掘立柱建物跡　3棟 土坑　34基 井戸跡　17基	土師器（坏・椀・坩・器台・高坏・壺・甕・甑・手捏土器），須恵器（坏・高台付坏・蓋・高坏・堤瓶・甕），土製品（土玉・紡錘車・支脚・勾玉），石器（磨石・紡錘車），石製品（勾玉），金属製品（刀子・鉄鏃・鎌・斧・釘・鉸具・耳環）	
		奈良	竪穴建物跡　8棟 土坑　1基 井戸跡　1基	土師器（坏・椀・高坏・壺・甕・甑），須恵器（坏・高台付坏・蓋・高坏・鉢・壺・瓶・甕），土製品（支脚），金属製品（刀子）	
	館跡	鎌倉 室町	掘立柱建物跡　10棟 方形竪穴遺構　3棟 井戸跡　36基 堀跡　5条 溝跡　15条 柱穴列　6条 火葬施設　8基 ピット群　3か所	土師質土器（小皿・鉢・内耳鍋・土釜），陶器（皿・花瓶・鉢・甕），磁器（碗），土製品（瓦塔），石器（磨石・砥石），石製品（五輪塔），金属製品（釘・鋺），銭貨（治平元寶），自然遺物（馬歯）	
	その他	時期不明	竪穴建物跡　15棟 円形周溝状遺構　1基 土坑　479基 溝跡　4条 ピット群　5か所	縄文土器（深鉢），土師器（坏・椀・坩・器台・高坏・鉢・壺・甕・甑），須恵器（坏・蓋・高坏・瓶・甕），土師質土器（内耳鍋・擂鉢），陶器（甕），土製品（支脚），石器（砥石），金属製品（鎌・斧・鉸具），銭貨（□聖元寶・永樂通寶）	

要　　約

縄文時代と古墳時代前期，後期から奈良時代を中心とした集落跡と13世紀後半以降の館跡を確認した。6世紀中葉から7世紀後葉の竪穴建物跡が77棟確認され，栃木県から埼玉県に多くみられる赤みがかった粘土を使って作られた土師器が多数出土した。さらに，周囲に溝が廻り中央部を深く掘り込んだ井戸跡を18基確認し，類似した井戸跡が栃木県南部の遺跡からも確認されている。当遺跡は，鬼怒川水系の支流に近く，水運によって他地域の文物が持ち込まれたものと思われる。また，13世紀後半から15世紀中葉の方形区画堀を確認した。館を区画していたと考えられる方形区画堀の内側からは掘立柱建物跡，井戸跡などが確認され，陶器の甕や磁器の碗，土師質土器の内耳鍋などが出土している。遺構や遺物などから中世館跡の一端が明らかになった。

印　刷　仕　様

編　　集	ＯＳ	Microsoft Windows 10 Pro
	編集	Adobe InDesign 2020
	図版作成	Adobe Illustrator 2020
	写真調整	Adobe Photoshop 2020
	Scanning	EPSON DS－G20000
使用Font	OpenType	リュウミンPro L－KL，太ゴB101 Pro Bold
		見出ミンＭＡ31 Pro，太ミンＡ101 Pro Bold
		中ゴシックBBB Pro Medium
写　　真	線数	カラー210線以上
印　　刷	印刷所へは，Adobe InDesign 2020 でデータ入稿	

茨城県教育財団文化財調査報告第462集

筑西市

塔 ノ 内 南 遺 跡

つくば明野北部工業団地（拡張②）造成
整備事業地内埋蔵文化財調査報告書

下巻

令和４（2022）年　３月18日　発行

発行　公益財団法人茨城県教育財団
〒310－0911　水戸市見和１丁目356番地の２
茨城県水戸生涯学習センター分館内
TEL　029－225－6587
ＨＰ　http：//www.ibaraki-maibun.org

印刷　株式会社　あけぼの印刷社
〒310－0804　水戸市白梅１丁目２番11号
TEL　029－227－5505

付図　塔ノ内南遺跡遺構全体図（茨城県教育財団文化財調査報告第 462 集）

0　(1:300)　20m